USER GUIDE

ドコモ　W-CDMA方式

このたびは、「DOLCE SL（FOMA SH902iSL）」を
お買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、このUSER GUIDE（取扱説明書）および電池パックなどの機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
FOMA SH902iSLは、あなたの有能なパートナーです。大切にお取り扱いのうえ、末長くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かないところ、屋外でも電波の弱いところおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが３本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万が一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、日本ジオトラスト株式会社、
  RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワーク以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo.

はじめてFOMA端末をお使いになる方へ

本FOMA端末が「はじめてのFOMA端末」という方は、まず、本書を以下の順序でお読みください。
FOMA端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひととおりご理解いただけます。

1. 電池パックをセットし、充電しましょう（☞P.40、P.42）
2. 電源を入れ初期設定を行い、自分の電話番号を確認しましょう（☞P.46、P.47、P.49）
3. 本体のボタンなどの役割を確認しましょう（☞P.24）
4. 画面に表示されるアイコンなどの意味を確認しましょう（☞P.28）
5. メニューの操作方法を確認しましょう（☞P.32）
6. 電話のかけかた／受けかたを確認しましょう（☞P.51）

本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
- 「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
  http://www.nttdocomo.co.jp/support/manual/download/index.html

※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかたについて

本書では、FOMA端末を正しくお使いいただくために、操作のしかたをイラストやマークを交えて説明しています。

本書の引きかたについて

本書では、次のような検索方法で、お客様の用途に応じて、機能やサービスの説明ページを探すことができます。

取扱説明書の構成について

FOMA SH902iSLの取扱説明書は『USER GUIDE』、『かんたん操作ガイド』の２冊で構成されています。

『USER GUIDE』（本書）

● FOMA SH902iSLのすべての機能について、詳細メニュー（☞P.34）から機能番号を入力して呼び出す方法を基準に、詳しく説明しています。

『かんたん操作ガイド』

● FOMA SH902iSLの基本的な操作や基本メニュー（☞P.33）からの操作方法をわかりやすく説明しています。

次ページで詳しく説明しています。

索引から ☞P.452

FOMA SH902iSLのディスプレイに表示されている機能の名称や、あらかじめ機能名・サービス名がわかっている場合はここから探します。

かんたん検索から ☞P.4

よく使う機能や知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。

表紙インデックスから ☞表紙

表紙のインデックスを使用して、本書をめくりながら探します。

目次から ☞P.6

機能ごとに分類された目次から探します。

特徴から ☞P.8

新機能や便利な機能など、FOMA SH902iSLの特徴的な機能をご利用になりたい場合はここから探します。

詳細メニュー一覧から ☞P.404

FOMA SH902iSLの詳細メニューに表示されるメニューを一覧表でまとめています。

クイックマニュアルから ☞P.460

基本的な機能について簡潔に説明しています。切り離して外出の際にお持ちいただけます。

● この『FOMA SH902iSL USER GUIDE』の本文中においては、「FOMA SH902iSL」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
● 本書の中ではminiSDメモリーカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードについて☞P.323

● 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

索引、かんたん検索、表紙インデックスからの引きかたは、タイマー機能を例に説明します。
（本文中のページとは内容が異なります。）

索引から

☞P.452

FOMA SH902iSLのディスプレイに表示されている機能の名称や、あらかじめ機能の名称やサービスの名称がわかっている場合はここから探します。

かんたん検索から

☞P.4

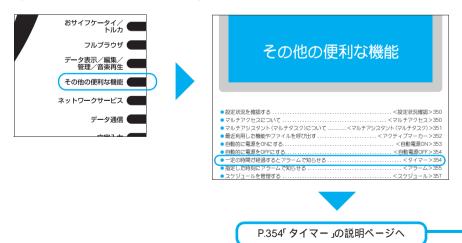
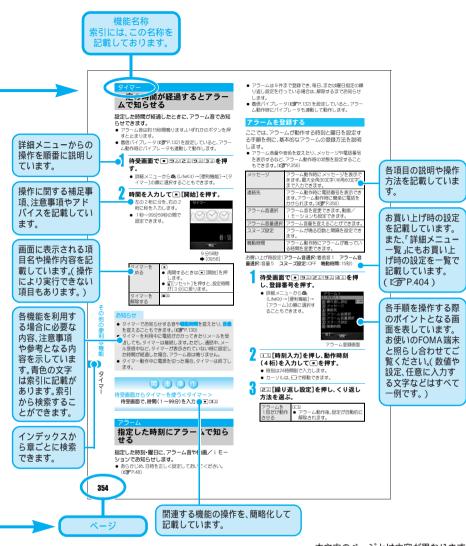
よく使う機能や知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。

表紙インデックスから

☞表紙

「表紙」→「章扉（章の最初のページ）」→「説明ページ」の順に設定したい機能の説明ページを探します。章扉には詳しい目次を記載しています。

P.354「タイマー」の説明ページへ

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.323）

※本文中のページとは内容が異なります。

お知らせ

- お買い上げ時の設定については、P.404の「詳細メニュー一覧」を参照してください。
- 本書ではminiSDメモリーカードを、「miniSDメモリーカード」または「miniSD」と記載しています。
- 本書では「ＩＣカード機能に対応したおサイフケータイ対応ｉアプリ」を、「おサイフケータイ対応ｉアプリ」と記載しています。

ディスプレイの表示について

- 本書では、お買い上げ時の状態(基本メニュー)から詳細メニューに切り替えた状態(☞P.34)で説明しています。基本メニューからの操作については、『かんたん操作ガイド』をご覧ください。お買い上げ後の設定変更などによっては、実際に表示される内容が本書と異なる場合があります。
- Flash画像やアニメーション効果を持つアイコンなどが表示されている場合には、ディスプレイの表示が本書の表記とは異なる場合があります。

かんたん検索

知りたい機能から操作方法を調べたいときにご活用ください。

画面表示を変えたい／知りたい

通話に便利な機能を知りたい

出られない電話にこうしたい

着信メロディや音量を変えたい

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.323）

安心して電話を使いたい

※ お申し込みが必要な有料サービスです。

カメラを使いこなしたい

メールを使いこなしたい

こんなこともできます

よく使う機能などの操作手順をクイックマニュアルとしてまとめています。（☞P.460）

目次

DOLCE SL（FOMA SH902iSL）の特徴

FOMAとは、第３世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格のひとつとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

ｉモードだからスゴイ！

ｉモードはｉモード端末のディスプレイを利用して、ｉモードメニューサイト（番組）やｉモード対応ホームページから便利な情報をご利用いただける他、手軽にメールのやりとりができるオンラインサービスです。

ｉモード（月額使用料：有料）

１画面最大100Kバイトの表示に対応。コンテンツの持つ豊富な情報をより正確に再現できるようになりました。☞P.194

ｉショット対応☞P.226

ｉモーションメール

内蔵カメラで撮影した動画や、サイトやインターネットから取得したｉモーションをｉモードメールに添付して送れます。☞P.227、P.235

大容量Flash対応

大容量Flashに対応。よりリッチな表現が楽しめるようになりました。Flash画像を待受画面に設定することもできます。☞P.200

ｉモードメール

最大500Kバイトの静止画／動画を添付できます。☞P.224

ｉモーション対応

サイトやインターネットから映像や音楽を取得して楽しむことができます。保存したｉモーションを「着モーション」として着信音や着信画像に設定することもできます。☞P.220

チャットメール対応☞P.256

大容量ｉアプリ、ｉアプリDX対応

ｉアプリをサイトから取り込むことにより、より豊かな表現でゲームを楽しんだり自動的に株価や天気情報などを更新させたりすることができます。さらにｉアプリDXでは、電話帳やメールなどｉモード端末内の情報と連動することで、よりｉアプリの楽しみ方が広がります。☞P.195

フェイスtoフェイスコミュニケーション

テレビ電話

離れている相手と顔を見ながら会話をすることができます。メインカメラに切り替えて周囲の風景を相手に見せることができたり、自分の画像の代わりにキャラクタを表示させることが可能なキャラ電にも対応しています。また、通常の音声通話中でも電話を切ることなくテレビ電話へ切り替えることができます。初期設定では相手の声がスピーカから聞こえるようになっているのですぐに会話を始めることができます。☞P.80

あんしん設定

各種ロック機能やセキュリティの設定で、FOMA端末を安心してお使いいただけます。

- 各種ロック機能☞P.160
- シークレットモード☞P.166
- まとめて簡単ロック☞P.164
- 発着信履歴表示☞P.165
- おまかせロック☞P.161
  FOMA端末を紛失した際に、お申し出によりそのFOMA端末へロックをかけられ、解除もできます。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面をご覧ください。
- 電話帳お預かりサービス☞P.125、P.172
  携帯電話の電話帳、静止画、メールを、お預かりセンターに保存し、紛失時などにお預かりセンターに保存したデータを携帯電話に復元できるサービスです。さらに、お預かりセンターに保存したデータをパソコンを利用して編集・管理することができ、編集したデータを携帯電話に反映することも可能です。
  電話帳お預かりサービスご利用にあたっての注意事項およびご利用方法について詳しくは、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』、お問い合わせ先については取扱説明書裏面をご覧ください。なお、本サービスはお申し込みが必要な有料サービスです。

デコメール

メール本文の文字の色、大きさや背景色を変えたり、デコメールピクチャや内蔵カメラで撮影した写真を本文中に挿入できるなど、表現力豊かなメールを作成し、送信できます。また、テンプレートに対応しているので、送られてきたデコメールやサイトからダウンロードしたデコメールの様式を利用し、簡単にデコメールを作成できます。☞P.231

着もじ

電話をかけて相手を呼び出している間、着信画面にメッセージを表示させることができます。用件や緊急度をあらかじめ相手に伝えることができ、着信側はメッセージを見て相手の用件や気持ちを事前に知ることができます。☞P.54

豊富なネットワークサービス

- デュアルネットワークサービス（月額使用料：有料）☞P.384
- 留守番電話サービス（月額使用料：有料）☞P.378
- キャッチホン（月額使用料：有料）☞P.380
- SMS（ショートメッセージ）☞P.259
- 転送でんわサービス☞P.381

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.323）

有効画素数130万画素カメラと高精細ディスプレイ

有効画素数130万画素CMOSのカメラ搭載

（記録画素数：120万画素（メインカメラ）、10万画素（サブカメラ））デジタルカメラで静止画や動画の撮影・再生を行うことができます。連写やフレーム付撮影も可能です。また、有効画素数130万画素のCMOS、11万画素のCMOSサブカメラにより、自分撮りやテレビ電話を利用することもできます。☞P.174

VeilView（視野切替）機能

画面が見える範囲（視野）を狭くして、隣の人から見えにくくします。☞P.149

2.4型QVGA高精細大画面液晶

豊かな表現力で、撮影した静止画、動画や文字を表示します。

サブディスプレイ

FOMA端末を閉じているときでも、電話やプッシュトーク、メールの着信を確認したり、時計や着もじ、ｉチャネルテロップを表示することができます。モバイルオーディオ起動中は、タイトルやアーティスト名などの情報が表示されます。

多彩な機能

大きく見やすい基本メニュー

大きい文字表示で電話やメール、ｉモード、カメラ、その他の便利な機能の基本的な操作や設定を行うことができます。☞『かんたん操作ガイド』

おサイフケータイ　ｉモード FeliCa対応

おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードすることで、サイトからFOMA端末内のＩＣカードに電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認したりできるようになります。その他にも飛行機のチケットやポイントカードとして利用できるなど、携帯電話が「おサイフケータイ」として実生活の中でますます便利な道具になります。☞P.284

フルブラウザ対応

ｉモードに対応していないインターネットホームページをパソコンと同じようにFOMA端末で表示することができます。☞P.292

モバイルオーディオ

FOMA端末を閉じたままでも、サイドボタンですぐに再生できます。スキップ操作や音量調節などの操作も可能です。☞P.345

マルチアクセス

音声電話とパケット通信（ｉモードメールの受信およびパソコンをつないだデータ通信）の複数の通信を同時にご利用いただけます。また、複数のメニューを同時に使用できる「マルチアシスタント」にも対応しています。
☞P.350、P.422

自動時刻補正

FOMA端末の電源を入れたときなどに、ドコモネットワークの時刻情報をもとに、自動的に時刻を補正します。☞P.48

光るワンタッチキー

よく使う電話番号やメールアドレス、ブックマーク、各種機能（ボイスレコーダー、スケジュール、電卓、ブックリーダー、アラーム、テキストメモ）、まとめて簡単ロックを登録しておくと、待受中に簡単に呼び出して操作できます。
☞P.150

プッシュトーク

電話帳から相手を選んでプッシュトークボタンを押すだけの簡単操作で、複数の人（自分を含めて最大５人まで）と通信することができます。
グループ内での連絡や、短い用件を伝えるときなどに便利にご利用いただけます。☞P.98

トルカ

トルカとはおサイフケータイで取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などとして便利にご利用いただけます。トルカは読み取り装置やサイトなどから取得が可能で、メールや赤外線、外部メモリを使って簡単に交換できます。☞P.285

ｉチャネル

※ お申し込みが必要な有料サービスです。
ニュースや天気などのグラフィカルな情報を受信できます。定期的に情報を受信し、最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、ｉチャネル対応ボタンを押すことで、見ることができるチャネル一覧を表示できます。さらにチャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、Flash（☞P.200）で作られたリッチな詳細情報を取得できます。また、ｉチャネルをお申し込みでない場合でも、一定期間サービス利用料無料でおためしサービスを利用できます。☞P.280

アクティブマーカー

最近利用した機能やファイルを簡単な操作で呼び出すことができます。☞P.352

パソコンとの連携

miniSDメモリーカード対応

コンパクトなminiSDメモリーカードに対応。FOMA端末とminiSDメモリーカードとの間で、データのやりとりをしたり、パソコンとの連携が可能です。miniSDメモリーカードへの直接保存による長時間の動画撮影&再生にも対応しています。外部機器で作成した動画や音楽データをminiSDメモリーカードに保存することで、FOMA端末で再生することができます。（一部条件下では再生できない場合があります。）☞P.180、P.323、P.348

データ通信に関する詳細は添付のCD-ROM内に記載されています。

DOLCE SL（FOMA SH902iSL）を使いこなす！

ここでは、FOMA SH902iSLの機能を紹介します。

テレビ電話 ☞P.80

サブカメラ使用でフェイスtoフェイスコミュニケーション

お互いの顔を見ながら会話できます。

メインカメラ使用でライブ中継

メインカメラとマイクを使うと、周囲の映像＋音声をリアルタイムで相手の方にお届けできます。

着もじ ☞P.54

電話の着信画面にメッセージが表示されます。用件や緊急度などをあらかじめ伝えることができます。
また、着信履歴詳細画面でもメッセージの内容を確認できます。

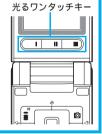
プッシュトーク ☞P.98

電話帳から相手を選んでプッシュトークボタンを押すだけの簡単操作で、複数の人（自分を含めて最大５人まで）と通信することができます。
グループ内での連絡や、短い用件を伝えるときなどに便利にご利用いただけます。

コンテンツ移行対応 ☞P.277、P.316

サイトから取得したFOMA端末外への出力が禁止されているｉモーションを、miniSDメモリーカードに移動できます。（ｉモーションによっては移動できない場合もあります。）また、ｉアプリ使用データをminiSDメモリーカードに保存することもできます。
（ソフトによっては保存できない場合もあります。）

光るワンタッチキー ☞P.150、P.244

ワンタッチキーを押すだけで、登録した相手に簡単に電話をかけたりメールを作成することができます。また、登録した相手から電話がかかってきたときや未読メールがあるときに、ワンタッチキーが光ってお知らせします。
電話番号やメールアドレスを登録できるだけでなく、ブックマークやボイスレコーダー・スケジュール・電卓・ブックリーダー・アラーム・テキストメモの機能、まとめて簡単ロックを登録しておくこともでき、待受画面表示中にワンタッチで簡単に機能を呼び出したりFOMA端末をロックすることができます。
また、メール表示中に光るワンタッチキーを押すだけで文字サイズを切り替えることができます。

Gガイド番組表リモコン ☞P.271

テレビ番組表とAVリモコン機能が１つになった便利アプリです。いつでもどこでも知りたい時間のテレビ番組情報を簡単に取得できます。テレビ番組のタイトル・番組内容・開始／終了時間などを知ることができます。
気になる番組があったら、インターネットを通じて番組をDVDレコーダーに録画予約することもできます。（リモート録画予約機能に対応しているDVDハードディスクレコーダーが必要になります。ご利用の際には本アプリの初期設定が必要です。）さらにテレビ番組のジャンルや好きなタレントなどのキーワードで番組情報を検索することが可能です。また、テレビ・ビデオ・DVDプレーヤのリモコン操作ができます。（一部対応していない機種もあります。）

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.323）

デコメール　☞P.231

ｉモードメール本文の文字の大きさや背景の色を変えたり、画像を貼り付けたりして装飾したデコメールを簡単に作成できます。

トルカ　☞P.285

トルカは読み取り装置やサイトなどから取得が可能で、メールや赤外線、外部メモリを使って簡単に交換できます。取得したトルカは「LifeKit」メニューの「トルカ」内に保存されます。

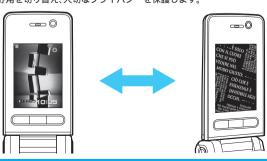
おサイフケータイを読み取り装置にかざしてトルカを取得。

トルカ一覧から取得したトルカを選択。「詳細」ボタンでより詳しい情報を見ることができます。

ｉチャネル　☞P.280

自分で操作することなく、いろいろな情報を定期的に受信することができます。
また、ｉチャネル対応ボタンを押すことでチャネル一覧を表示することができ、さらにリッチな詳細情報を取得することができます。

視野切替（VeilView）　☞P.149

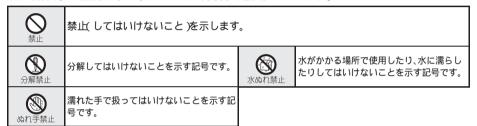
利用シーンに応じて視野角を切り替え、大切なプライバシーを保護します。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  また、お読みになったあとは、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

次の表示内容の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	内容
⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	内容	絵表示	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。		
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。		

絵表示	内容
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

「安全上のご注意」は、下記の６項目に分けて説明しています。

FOMA端末・電池パック・アダプタ（充電器含む）・FOMAカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。

指示

指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

- 電池パック SH09
- 卓上ホルダ SH09
- FOMA ACアダプタ01
- FOMA DCアダプタ01
- FOMA乾電池アダプタ 01
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01

※ その他、互換性のある商品については、ドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

⚠危険

濡らさないでください。

水ぬれ禁止

水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

分解、改造をしないでください。
また、ハンダ付けしないでください。

分解禁止

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

火のそばや、ストーブのそば、直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。

禁止

機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

⚠警告

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。
また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。

指示

ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご利用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。（ＩＣカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください。）

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

指示

1. 電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜く。
2. FOMA端末の電源を切る。
3. 電池パックをFOMA端末から取り外す。

そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器含む）、FOMAカードを入れないでください。

禁止

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

禁止

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。

禁止

ショートによる火災や故障の原因となります。

⚠注意

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

指示

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

禁止

故障の原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

指示

けがなどの原因となります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

禁止

落下して、けがや故障の原因となります。

充電、または動画撮影や再生、テレビ電話、ｉモード、ｉアプリの繰り返しや長時間連続使用などの場合においてFOMA端末や電池パック・アダプタ（充電器含む）の温度が高くなることがあります。

指示

温度の高い部分に直接長時間触れると、お客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じるおそれがあります。
FOMA端末をアダプタ（充電器含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

FOMA端末の取り扱いについて

警告

自動車などを運転中に使用しないでください。

禁止

2004年11月1日から、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となっております。ハンズフリーキットをご利用の場合でも車を安全な場所に停車してからご利用ください。運転中は、公共モードまたは留守番電話サービスをご利用ください。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

指示

電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能（自動電源ON）が設定されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については、各医療機関の指示に従ってください。また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

指示

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。

禁止

FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となるおそれがあります。

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

禁止

目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると、誤動作するなどの影響を与えることがあります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

指示

心臓に影響を与える可能性があります。

屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

指示

落雷、感電の原因となります。

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。

禁止

エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

ハンズフリーに設定して通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。

指示

難聴になる可能性があります。

注意

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。

指示

安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。

禁止

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

⚠注意

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

禁止

本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

FOMA端末内のFOMAカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

禁止

火災、感電、故障の原因となります。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

指示

下記の箇所に金属（クロムメッキ）を使用しています。
決定ボタン、イヤホンマイク端子、外部接続端子、充電端子、miniSDメモリーカードスロットカバーを開けると金属があります。

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。

指示

けがなどの事故や破損の原因となることがあります。

電池パックの取り扱いについて

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

⚠危険

火の中に投下しないでください。

禁止

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

禁止

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パック内部の液が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の診療を受けてください。

指示

失明などの原因となります。

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。

禁止

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

禁止

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

⚠警告

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。

指示

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で洗い流してください。

指示

皮膚に傷害を起こす原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

指示

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

⚠注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

禁止

発火、環境破壊の原因となることがあります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

アダプタ(充電器含む)の取り扱いについて

⚠警告

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

禁止

火災、故障、感電、傷害の原因となります。

充電中は、充電器および卓上ホルダを安定した場所に置いてください。また、充電器および卓上ホルダを布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。

禁止

FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

ACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では、使用しないでください。

禁止

感電の原因となります。

濡れた手でアダプタ(充電器含む)のコード、コンセントに触れないでください。

ぬれ手禁止

感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタ(充電器含む)には触れないでください。

禁止

落雷、感電の原因となります。

アダプタ(充電器含む)のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。

禁止

感電、発熱、火災の原因となります。

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

指示

誤ったヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指定の電源、電圧で使用してください。

指示

誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。
海外で使用する場合は、FOMA海外兼用ACアダプタ01を使用してください。
ACアダプタ:AC100V(国内の家庭用交流100Vコンセントのみに接続すること)
DCアダプタ:DC12V・24V(マイナスアース車専用)

プラグについたほこりは、拭き取ってください。

指示

火災の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く

感電、火災、故障の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットからプラグを抜いてください。

電源プラグを抜く

感電、発煙、火災の原因となります。

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

禁止

火災の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。

指示

感電、ショート、火災の原因となります。

⚠注意

お手入れの際は、プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜いて、行ってください。 電源プラグを抜く 感電の原因となります。	アダプタ(充電器含む)をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ(充電器含む)コードや電源コードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。 指示 コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。
アダプタ(充電器含む)のコードや電源コードの上に重いものを載せたりしないでください。 禁止 感電、火災の原因となります。	

医用電気機器近くでの取り扱いについて

本記載の内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末などの使用に関する指針」(電波環境協議会)に準ずる。

⚠警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。 指示 電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。	医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。 指示 ● 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には、FOMA端末を持ち込まないでください。 ● 病棟内ではFOMA端末の電源を切ってください。 ● ロビーなどであっても、付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。 ● 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。 ● 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。 指示 電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。	自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。 指示 電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

FOMAカードの取り扱いについて

⚠注意

FOMAカード(ＩＣ部分)を取り外す際にご注意ください。

 指示

手や指を傷付ける可能性があります。

取り扱い上の注意について

共通のお願い

- 水をかけないでください。FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また、身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますのであらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。
- お手入れは、乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
  FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷が付く場合があります。お取り扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。
  アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 充電端子はときどき乾いた綿棒で清掃してください。
  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。
- エアコンの吹出し口の近くに置かないでください。急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- FOMA端末に無理な力がかかるような場所に置かないでください。
  多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。
- 電池パックやアダプタ（充電器含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

FOMA端末についてのお願い

- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ズボンやスカートのうしろポケットにFOMA端末を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、鞄の底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。故障の原因となります。
- ストラップなどを挟んだままFOMA端末を折りたたまないでください。故障、破損の原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。FOMA端末は周囲温度5℃～35℃、湿度45%～85%の範囲でご使用ください。
- 使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光に向けて放置しないでください。素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- このFOMA端末はおまかせロック（☞P.161）に対応しております。おまかせロックは、ご契約者の方からのお申し出により、ロックがかかるサービスです。ご契約者の方とFOMA端末をご利用されているお客様が異なる場合、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかることがありますのでご了承ください。

電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。十分に充電しても使用状態などによっても異なりますが、使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- はじめてお使いのときや長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 直射日光が当たらず、風通しの良い涼しい場所に保管してください。長時間使用しないときは、使い切った状態でFOMA端末から外し、電池パックを包装しているビニール袋などに入れて保管してください。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。

アダプタ（充電器含む）についてのお願い

- 充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃〜35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  - ■ 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
  - ■ 湿気、ほこり、振動の多い場所
- DCアダプタを使用して充電する場合は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントを使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子、端子ガイドを変形させないでください。故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

- 極端な高温・低温は避けてください。
- ＩＣ部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- 使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- 他のＩＣカードリーダーライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- 環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- お客様ご自身で、FOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- ＩＣを傷付けたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失、故障の原因となります。
- FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。
- FOMAカードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。故障の原因となります。
- FOMAカードの取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。
- ご使用になる端末への挿入には必要以上の負荷をかけないようにしてください。

人工皮革についてのお願い

■ 取り扱い上の注意事項

- 表面が柔らかいため、鋭利な金属や木片などで傷を付けますと傷が残ります。ナイフなどの傷を付けやすいものや、キリや目打ちなどの先の鋭いもので傷を付けないでください。
- 爪や金属の断面で擦るようなことはしないでください。表面が破れてしまう場合があります。
- アルコール、シンナー、ベンジンなど揮発性の高いものや洗剤、接着剤など表面を侵すものの塗布はおやめください。
- 温度の高いものを押し当てますと痕が残りますので、ご注意ください。
- 口紅やペンキなどの色の濃いものを付着させると着色してしまいますので、付着させないようにご注意ください。
- ミカン果汁など柑橘類の果汁により表面が侵食されることがありますので、付着させないようにご注意ください。
- 人工皮革の取り扱いにつきましては、優しくお取り扱いいただくようお願いいたします。

■ 保管方法

- 高温多湿での保管は避けてください。
- 直射日光の当たる場所での保管は避けてください。
- 長期保存の場合は、箱に入れるなど光が当たることを避けてください。また温度が20℃前後の場所に保管してください。

■ 手入れ方法

- 汚れた場合は、柔らかい布で拭いてください。
- 皮革用のクリームなどを使用すると、変色する恐れがありますので、使用しないでください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードやテレビ、ビデオなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
  実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。
  また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。
- お客様がFOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

商標について

- 「FOMA」、「mova」、「おサイフケータイ」、「トルカ」、「プッシュトーク」、「プッシュトークプラス」、「ｉメロディ」、「mopera」、「mopera U」、「ｉエリア」、「FirstPass」、「キャラ電」、「デコメール」、「着モーション」、「ｉショット」、「ｉモーションメール」、「ｉアプリ」、「ｉアプリDX」、「ｉモーション」、「ｉモード」、「ｉチャネル」、「ｉアニメ」、「iD」、「パケ・ホーダイ」、「ショートメール」、「WORLD WING」、「公共モード」、「DoPa」、「WORLD CALL」、「デュアルネットワーク」、「ビジュアルネット」、「V ライブ」、「クイックキャスト」、「セキュリティスキャン」、「musea」、「sigmarion」、「メッセージF」、「トクだねニュース便」、「My DoCoMo」、「マルチナンバー」、「おまかせロック」、「電話帳お預かりサービス」、「着もじ」、「ＤＣＭＸ」、「i-mode」ロゴ、「FOMA」ロゴ、「i αppli」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称およびフリーダイヤルロゴマークはＮＴＴコミュニケーションズ株式会社の商標です。
- symbian 本機には、Symbian Software Ltd よりライセンス供与されたソフトウェアが含まれています。Symbian、Symbian OS、およびすべてのSymbian 関連の商標およびロゴはSymbian Software Ltdの商標または登録商標です。© 1998-2006 Symbian Software Ltd. All rights reserved.
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- NetFrontおよびNetFrontは、株式会社ACCESSの日本ならびにその他の国における登録商標です。
- 本製品はインターネット機能として、株式会社ACCESSのNetFrontを搭載しています。
  NetFrontは日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
  Copyright © 1996-2006 ACCESS CO., LTD.
- Javaおよびすべての Java関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
- QuickTimeは、米国Apple Computer, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Macromedia、Flash、Macromedia FlashはMacromedia, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- miniSD™ miniSD™は、SDアソシエーションの商標です。
- Powered by JBlend™ © 2002-2006 Aplix Corporation. All rights reserved.
  JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。

- この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント／LCFONTおよびLC FONT®は、シャープ株式会社の登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc. またはその関係会社の登録商標です。
- ＦｅｌｉＣａは、ソニー株式会社が開発した非接触ＩＣカードの技術方式です。
- ＦｅｌｉＣａは、ソニー株式会社の登録商標です。
- はフェリカネットワークスの登録商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc. およびその関係会社の日本国内における登録商標です。

- マルチタスク／Multitaskは、日本電気株式会社の登録商標です。
- IrSS™またはIrSimpleShot™は、Infrared Data Association®の商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品はMPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づき、下記に該当するお客様による個人的で且つ非営利目的に基づく使用がライセンス許諾されております。これ以外の使用については、ライセンス許諾されておりません。
  - MPEG-4ビデオ規格準拠のビデオ(以下「MPEG-4ビデオ」と記載します)を符号化すること。
  - 個人的で且つ営利活動に従事していないお客様が符号化したMPEG-4ビデオを複号すること。
  - ライセンス許諾を受けているプロバイダから取得したMPEG-4ビデオを復号すること。

  その他の用途で使用する場合など詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品はMPEG-4 Systems Patent Portfolio Licenseに基づき、MPEG-4システム規格準拠の符号化についてライセンス許諾されています。ただし、下記に該当する場合は追加のライセンスの取得およびロイヤリティの支払いが必要となります。
  - タイトルベースで課金する物理媒体に符号化データを記録または複製すること。
  - 永久記録および／または使用のために、符号化データにタイトルベースで課金してエンドユーザに配信すること。

  追加のライセンスについては、米国法人MPEG LA, LLCより許諾を受けることができます。詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(ｉ)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および／または(ｉｉ)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。更に詳しい情報については、MPEG LA,L.L.C.から入手できる可能性があります。HTTP://WWW.MPEGLA.COMをご参照ください。
- 下記の１件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。

  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations ;

4,901,307	5,490,165	5,056,109	5,504,773	5,101,501	5,506,865
5,109,390	5,511,073	5,228,054	5,535,239	5,267,261	5,544,196
5,267,262	5,568,483	5,337,338	5,600,754	5,414,796	5,657,420
5,416,797	5,659,569	5,710,784	5,778,338		

- 本製品はMacromedia, Inc.のMacromedia® Flash®テクノロジーを搭載しています。

- Adobe、および、Adobe Readerは米国およびその他の国におけるAdobe Systems Incorporatedの商標または登録商標です。
- 「CP8 PATENT」
- Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。
- Windows® 98SEは、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating systemの略です。
- Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
- Windows® 2000 Professionalは、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
- Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating system、またはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- 本書では、Windows® 98とWindows® 98SEをWindows 98と記載しています。
- 本書では、Windows® Millennium EditionをWindows Meと記載しています。
- 本書では、Windows® 2000 ProfessionalをWindows 2000と記載しています。
- 本書では、Windows® XP ProfessionalおよびWindows® XP Home EditionをWindows XPと記載しています。

本体付属品および主なオプション品について

本体付属品

FOMA SH902iSL本体
（保証書・リアカバーSH10含む）

FOMA SH902iSL USER GUIDE（本書）
※P.460にクイックマニュアルを
記載しております。

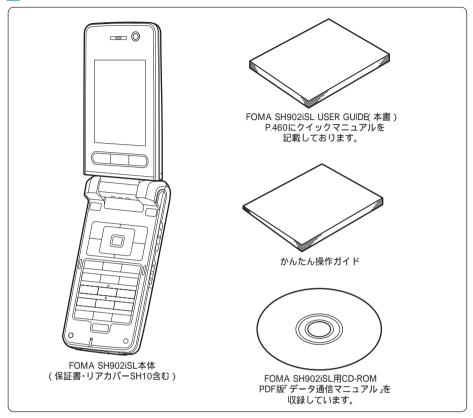
かんたん操作ガイド

FOMA SH902iSL用CD-ROM
※PDF版「データ通信マニュアル」を
収録しています。

主なオプション品

FOMA ACアダプタ01
（保証書・取扱説明書付き）

卓上ホルダ SH09
（取扱説明書付き）

電池パック SH09
（取扱説明書付き）

● その他のオプション品については、P.425を参照してください。

ご使用前の確認

各部の名称と機能

※ 表面のデザインが異なる場合があります。

内蔵アンテナ部分について

FOMA端末のアンテナは本体に内蔵されています。内蔵アンテナ部分は、手で触れたり覆わないようにしてお使いください。また、内蔵アンテナ部分にシールなどを貼らないでください。通話品質が悪くなります。

市販のストラップを取り付けるとき

FOMA端末を閉じた状態で、ストラップをストラップ取付口に通し、反対側を輪になっているところへ通します。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.323）

1 受話口
- 相手の声がここから聞こえます。
- 待受中に伝言メモ／音声メモの録音内容がここから聞こえます。

2 メインディスプレイ(☞P.28)

3 マルチガイドボタン(4方向ボタン＆決定ボタン)(☞P.27)
メニュー、リダイヤル、着信履歴、iチャネル、アクティブマーカー(☞P.352)を表示・選択するときや操作を実行・決定するときに押します。

4 iモード／操作ガイダンス用ボタン
- テレビ電話をかけたり受けたりするときに押します。(☞P.81、P.85)
- iモードを利用するときに押します。(☞P.194)
- 画面左下の操作ガイダンスに表示される機能を実行するときに押します。(☞P.27)
- 1秒以上押すと、iアプリ画面が表示されます。(☞P.268)

5 miniSDメモリーカードスロット
miniSDメモリーカードを挿入します。(☞P.323)

6 メール／A／a／操作ガイダンス用ボタン
- メール機能を利用するときに押します。(☞P.228)
- 画面左下の操作ガイダンスに表示される機能を実行するときに押します。(☞P.27)
- 文字を入力中に大文字／小文字を切り替えます。(☞P.397)
- 文字入力画面で1秒以上押すと、定型文挿入画面が表示されます。(☞P.398)
- 2回押すとiモード問い合わせをします。(☞P.240)

7 開始／ハンズフリーボタン
- 音声電話をかけるときや受けるときに押します。
- 音声電話の通話中に1秒以上押すとハンズフリーに切り替わります。(☞P.52)
- テレビ電話の通話中に押すとハンズフリーを切り替えます。(☞P.92)
- プッシュトーク通信中に押すとハンズフリーを切り替えます。(☞P.99)

8 イヤホンマイク端子
平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)などを接続します。(☞P.373)
イヤホンジャック変換アダプタ(別売)を使用すると、従来のスイッチ付イヤホンマイクなども利用できます。

9 ダイヤル／文字入力ボタン
- 電話番号を入力するときに押します。(☞P.52)
- 文字を入力するときに押します。(☞P.394)

10 ＊／改行／公共モード(ドライブモード)ボタン
- [＊]や、[゛](濁点)、[゜](半濁点)を入力したり改行するときに押します。(☞P.394)
- 1秒以上押すと、公共モード(ドライブモード)を設定／解除します。(☞P.70)

11 MULTIボタン
- マルチアシスタント起動：アプリ実行中に押すと、電話帳やメールなど他の機能を利用することができます。(☞P.351)
- サポートブック表示：待受画面で押すとサポートブック(内蔵)が表示されます。(☞P.37)
- ショートカットメニュー登録：画面に[ ]が表示されているときに1秒以上押すと、ショートカットメニューに登録できます。(☞P.366)

12 サブカメラ
自分を撮影(☞P.174)したり、テレビ電話時(☞P.80)に自分側の映像を相手に送信するときに使用します。

13 光るワンタッチキー
- ワンタッチキーに機能を登録したり、登録した機能を実行するときに押します。(☞P.150)
- 登録している相手から着信があった場合や未読メールがあると点滅します。
- メール表示中に文字サイズを切り替えることができます。(☞P.244)

14 カメラ／操作ガイダンス用ボタン
- カメラモードを利用するときに押します。(☞P.177)
- 画面右下の操作ガイダンスに表示される機能を実行するときに押します。(☞P.27)
- 1秒以上押すと、データBOX画面を表示します。(☞P.300)

次ページへ続く

15 電話帳／操作ガイダンス用ボタン

- 電話帳を利用するときに押します。（☞P.118）
- 画面右下の操作ガイダンスに表示される機能を実行するときに押します。（☞P.27）
- 入力する文字の種類を変更するときに押します。（☞P.396）
- 文字入力画面で１秒以上押すとインターネットに関連した定型文を利用できます。（☞P.398）

16 クリア／ｉアプリ待受画面ボタン

- 入力した電話番号や文字などを削除するときに使います。（☞P.396）
- 前のメニューやページに戻るときに押します。
- ｉアプリ待受画面起動：ｉアプリ待受画面を設定しているときに押すと、ｉアプリが起動します。（☞P.275）
- 待受画面にGIFアニメーション、Flash画像を設定しているときに押すと、再生／一時停止できます。ｉモーションを設定しているときに押すと、再生／停止できます。

17 電源／終了／応答保留ボタン

- 電源を入れる／切るときに２秒以上押します。（☞P.46）
- 通話やｉモードを終了するとき、および着信時の応答を保留するときに押します。（☞P.68）

18 #／マナーモード／カメラ切替ボタン

- ［#］や［ー］（長音）、［、］（読点）、［。］（句点）、［!］（感嘆符）、［?］（疑問符）、［･］（中点）を入力するときに押します。
- １秒以上押すと、マナーモードを設定／解除します。（☞P.135）
- 撮影時はメインカメラとサブカメラを切り替えます。（☞P.179、P.182）

19 送話口

自分の声をここから伝えます。

20 サイド上ボタン／サイド下ボタン

- 待受中や通話中に押すと、音量を調節できます。（☞P.68、P.84、P.131）
- FOMA端末を閉じてモバイルオーディオを再生中に押すと、音量を調節できます。前の曲に戻す／頭出しをする･曲を送るときは１秒以上押します。（☞P.347）

21 プッシュトークボタン

- プッシュトーク電話帳を起動します。（☞P.101）
- プッシュトークをかけるときに使用します。プッシュトーク通信中に、話をしたいときに押したまま使用します。
- １秒以上押すと、サイドボタン操作がロック／解除されます。

22 音楽／視野切替ボタン

- 視野切替ON（狭視野角）／OFF（広視野角）を切り替えます。
- FOMA端末を閉じているときに押すと、サブディスプレイの表示を切り替えます。（☞P.31）
- FOMA端末を閉じているときに１秒以上押すと、モバイルオーディオを起動／終了できます。（☞P.346）

23 サブディスプレイ（☞P.28）

24 着信ランプ／充電ランプ／撮影ランプ

- 電話がかかってくると緑色で点滅します。充電中は赤色で点灯します。
- カメラ起動時や撮影中は緑色で点灯します。

25 赤外線ポート

赤外線通信や、赤外線リモコンを利用するときに使います。（☞P.336）

26 スピーカ

- 着信音などが鳴ります。
- 音声電話／テレビ電話／プッシュトークのハンズフリー通信時に相手の声を聞くことができます。

27 メインカメラ（☞P.174）

周囲を撮影したり、テレビ電話時に周囲の映像を相手に送信するときに使います。

28 接写レバー

カメラ撮影の接写モードと通常モードを切り替えます。（☞P.181）

29 FeliCaマーク

ＩＣカードが搭載されています。（取り外すことはできません。）FeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）（☞P.285）にかざしておサイフケータイとして使います。

30 リアカバー（☞P.40）

31 外部接続端子

ACアダプタ／DCアダプタ（☞P.43）、FOMA USB接続ケーブル（別売）など外部機器を接続するための端子です。

32 充電端子

卓上ホルダで充電するための端子です。（☞P.44）

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.323）

FOMA端末の開き方

FOMA端末を利用するときは、下図のようにFOMA端末を開きます。

1

両手で持って軽く開く。

2

3

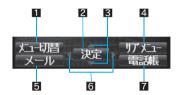
ディスプレイを最後まで開く。

お知らせ

- イヤホンマイク端子、miniSDメモリーカードスロットおよび外部接続端子のゴムカバーは、無理に引っ張らないでください。破損する場合があります。

マルチガイドボタンの操作方法と操作ガイダンスの選択方法

マルチガイドボタンの操作方法

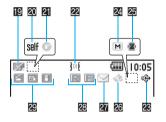
画面に表示されているメニューの選択や決定には、マルチガイドボタン（4方向ボタン＆決定ボタン）を使います。4方向ボタンでカーソルを移動させ、決定ボタンで決定します。

操作ガイダンスの選択方法

画面下部に表示される操作ガイダンスのメニューはそれぞれに割り当てられたボタンを使って実行することができます。（場面によって割り当てられる機能が異なります。）

	ボタン操作
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	

ディスプレイの見かた

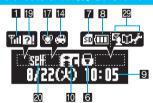
電源を入れたときや機能の設定中などに、現在の状態を確認できます。(メインディスプレイ表示／サブディスプレイ表示の順で記載しています。)
何かのボタンを押すと、一定時間ディスプレイの照明が点灯します。お買い上げ時は、[10秒]に設定されています。(☞P.142)

メインディスプレイ上部に表示されるマーク

メインディスプレイ下部に表示されるマーク

サブディスプレイに表示されるマーク

1 電波状態表示

電波の強さの目安を表示します。

強 ←→ 弱

[圏外]が表示されているときは、サービスエリア外、または電波の届かない場所にいます。
電波マークは変更することもできます。
(☞P.145)

2 ｉモード／フルブラウザ表示 (☞P.198、P.293)

ｉモードまたはフルブラウザの状態を表示します。

3 SSL表示 (☞P.199)

SSLに対応しているサイトやインターネットホームページを表示中に表示します。
マルチタスク動作時にが表示されている場合は、マルチタスクを利用してｉモード／フルブラウザ／ｉアプリ／ソフトウェア更新を実行中です。

4 ｉアプリ表示(☞P.268)

ｉアプリの状態を表示します。

- ：ｉアプリ実行中
  ｉアプリ待受画面実行中
- ：ｉアプリ待受画面設定中※
- ：ｉアプリDX起動中
  ｉアプリDX待受画面起動中
- ：ｉアプリDX待受画面設定中※

※ ｉアプリが待受画面として表示されますが操作できない状態です。

5 ショートカットメニュー表示(☞P.366)

ショートカットメニューに登録できるときに表示します。

6 制限表示(☞P.160、P.166)

各種制限の設定状態を表示します。

- ／：シークレットモード
- ：シークレットデータ編集中
- ：ダイヤル発信制限中
- ／：オールロック中
- ／：PIMロック中
- ／：ダイヤル発信制限とPIMロックを設定中
- ／：シークレットモードとPIMロックまたはダイヤル発信制限を設定中
- ／：ボタン操作無効設定中

7 miniSDメモリーカード表示(☞P.323)

miniSDメモリーカードを装着しているときに表示します。

- (グレー)／：miniSDメモリーカードを挿入中
- (ピンク)／：miniSDメモリーカード内のデータを参照中

8 電池残量／充電中表示(☞P.45)

- ／：電池残量の表示
- ／：充電時の表示

電池パックの状態を表示します。
電池マークは変更することもできます。
(☞P.145)

9 時計表示(☞P.48)

設定されている時刻を表示します。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

10 ＩＣカードロック表示／
(☞P.290)
ＩＣカードロック中に表示します。

11 アラーム／スケジュールアラーム／ToDoアラーム表示(☞P.355、P.360、P.365)
その日にスケジュールアラーム、ToDoアラームまたはアラームが設定されているときに表示します。

12 伝言メモ表示(☞P.73)
音声電話伝言メモまたはテレビ電話伝言メモを設定しているときに表示します。伝言メモが録音されているときは、両方の件数を合わせ、[ ]～[ ]と表示されます。

13 イヤホンマイク接続表示(☞P.374)
音声電話・テレビ電話のオート着信設定中に、平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を接続しているときに表示します。プッシュトークのオート着信設定中はスイッチ付イヤホンマイクを接続していなくても表示されます。

14 公共モード(ドライブモード)表示／
(☞P.70)
公共モード(ドライブモード)を設定しているときに表示します。

15 サイレント表示(☞P.130)
音声電話着信音量を[サイレント]に設定しているときに表示します。

16 バイブレータ表示(☞P.132)
バイブレータを設定しているときに表示します。

17 マナーモード表示／(☞P.135)
マナーモード設定中に表示します。
- 同時に公共モード(ドライブモード)を設定している場合、サブディスプレイにはマナーモード表示は表示されません。

18 USBモード表示(☞P.330)
FOMA USB接続ケーブル(別売)を接続中に表示します。

19 FOMAカードエラー表示
FOMAカードのエラーを表示します。
／：FOMAカードが挿入されていないとき、またはFOMAカードに異常があるときに表示されます。
／：FOMAカード以外のカードを挿入したときに表示されます。

20 セルフモード表示self／(☞P.162)
セルフモードを設定し、電話やプッシュトークの発信、着信、ｉモードメール／SMSの送受信、ｉモード、赤外線通信の機能を使えないようにしたときに表示します。

21 プッシュトーク表示(☞P.98)
プッシュトーク起動中に表示します。

22 赤外線通信／外部機器通信中表示
赤外線通信中や外部機器を接続して通信中に表示します。
：赤外線通信機能で他の機器とデータ通信を行っているときに表示します。
(☞P.335)
赤外線リモコンの送信中に点灯します。
(☞P.338)
(緑色)：外部機器を接続し、パケット通信中
(赤色)：外部機器を接続し、パケットデータ送受信中
：外部機器を接続し、64Kデータ通信中

23 ハンズフリー表示(☞P.52、P.62、P.92)
(赤色)：ハンズフリー通話中
(緑色)：ハンズフリー対応機器接続中

24 メモリ警告表示(☞P.335)
メモリの状態を表示します。
(黄色)：メモリの空き容量が1.2Mバイト未満になったときに表示されます。
(赤色)：メモリの空き容量が100Kバイト未満になったときに表示されます。
- メモリ警告表示が表示されているときは、視野切替が[ON]のときでも、視野切替表示は表示されません。

25 視野切替表示(☞P.149)
視野切替が[ON]のときに表示します。

26 トルカ表示(☞P.287)
(黄色)：未読のトルカがあるときに表示します。

27 ｉモードメール／SMS受信表示
SMS(☞P.238)
ｉモードメール／SMSの受信状態、センターのｉモードメールの保管状態を表示します。ただし、センター保管中でも表示されないことがあります。また、受信メールを保存するメモリの状態を表示します。

28 メッセージR／Fアイコン表示
RFRFRFRF(☞P.215)
メッセージR／F受信状態、センターのメッセージR／F保管状態を表示します。ただし、センター保管中でも表示されないことがあります。

29 マルチタスク表示(☞P.351)
起動中の機能を表示します。
- ２つ以上の機能が起動中の場合サブディスプレイにも表示されます。

：４つ以上のアプリが起動中
：テレビ電話(64K)
：テレビ電話(32K)
：音声通話
：ソフトウェア更新中
：赤外線受信
：プッシュトーク／プッシュトーク電話帳
：ｉアプリ
：ｉモード

次ページへ続く

：フルブラウザ
：ｉチャネル
：メール／SMS／ｉモード問い合わせ
：メール／SMS作成中
：メッセージ
：モバイルオーディオ
：電話帳
：データBOX
：カメラ（静止画）
：カメラ（動画）
：カメラ（OCR）
：バーコードリーダー
：ボイスレコーダー
：スケジュール
：ToDo
：テキストメモ
：電卓
：ブックリーダー
：トルカ
：アラーム
：タイマー
：miniSD管理
：各種設定
：伝言メモ･音声メモ起動中
：リダイヤル表示中
：着信履歴表示中
：電話番号表示中
：モデム通信中（データ通信中に表示されます。）

30 操作ガイダンス
、、、、、などのボタン操作で利用できる機能を表示します。

その他のマークについて

次の機能をご利用時に表示されるマークについては、各機能のページを参照してください。

- 着信履歴（☞P.66）
- カメラモード（☞P.176～P.177）
- メール（☞P.245～P.247）
- SMS（☞P.245～P.247）
- 電話帳（☞P.109）
- メッセージR／F（☞P.215～P.217）
- データBOXのマイピクチャ（☞P.301～P.302）

お知らせ

- FOMA端末上では、miniSDメモリーカードは［miniSD］または［SD］と表示されます。（☞P.323）
- メインディスプレイに待受画面以外を表示させたままFOMA端末を閉じると、サブディスプレイに［操作中］と表示される場合があります。
- 本書内で記載しているディスプレイの表示は、一部変形･省略しているものもあります。
- 本FOMA端末のディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、ごくまれに点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 照明時間設定に従ってサブディスプレイのバックライトが消えます。**サブ画面常時表示設定**で［OFF］を選んだときは、バックライトとサブディスプレイの表示とも消えます。FOMA端末を開閉するかサイドボタンを押すと、再度バックライトが点灯し、表示が消えている場合は表示されます。

ストックアイコンからお知らせの内容を確認する

かかってきた電話に出られなかったときや新着メールがあるときなどに、［着信あり］や［新着メールあり］などのメッセージとストックアイコンを表示してお知らせします。待受画面でストックアイコンを選び、お知らせの内容を確認することができます。

メッセージ※
件数
ストックアイコン

※詳細メニュー選択時

ストックアイコン

アイコン	メッセージ	内　容
	着信あり	かかってきた電話に出られなかったときに表示されます。着信履歴の一覧が表示され、着信日時を確認できます。発信者番号が通知されている場合は、相手の電話番号が表示され、電話をかけられます。（☞P.72）
	新着メールあり	新着のｉモードメールやSMSがあるときに表示されます。受信BOX のフォルダ一覧画面が表示され、未読メールを表示できます。（☞P.238）
	新着トルカあり	新着のトルカがあるときに表示されます。 トルカフォルダ一覧画面が表示されます。（☞P.287）
	留守録音あり	留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが録音されたときに表示されます。 留守番電話サービスメッセージ確認画面が表示され、メッセージを再生できます。（☞P.379）
	伝言メモあり テレビ伝言メモあり	伝言メモが録音されたときに表示されます。 伝言メモ一覧画面が表示され、伝言メモを再生できます。（☞P.76）
	詳細メニュー	詳細メニューを表示します。（☞P.34）

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.323）

1 待受画面にストックアイコンが表示されているときに、[■]を押す。

2 [:]でストックアイコンを選んで[■]を押す。

- お知らせの内容を確認できます。
- 内容を確認するとストックアイコンとメッセージは消えます。

お知らせ

- 基本メニューにしているときは、表示されるストックアイコンのメッセージが一部異なります。
- 待受画面に設定しているｉモーションの再生中や、ｉアプリ待受画面実行中は、ストックアイコンが表示されません。

ディスプレイの表示を切り替える

カレンダー表示を設定しているときに待受画面で[HLD PWR]を押すと、待受画面表示とカレンダー表示が切り替わります。（カレンダー表示設定☞P.138）

待受画面表示

カレンダー表示の例
（２ヶ月表示）

- ［１ヶ月(大)］を設定しているときは、スケジュールが設定されている日付の右側にアイコンが表示されます。

サブディスプレイの表示を切り替える

サブディスプレイに［着信あり　○件］などのメッセージが表示されているときに[サイドキー]を押すと時計表示に切り替わります。約２秒後に元の表示に戻ります。

（着信あり表示）

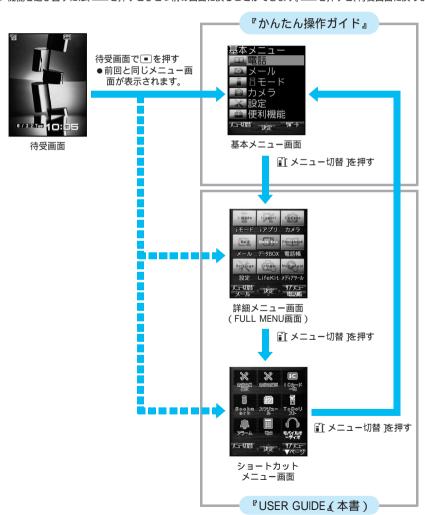
（時計表示）

- サブディスプレイにｉチャネルテロップを表示するように設定している場合、時計表示されているときに[サイドキー]を押すとｉチャネルテロップが再生されます。１回再生が終了するか、再生中に[サイドキー]を押すと時計表示に戻ります。

メニューの選択方法

機能の設定、変更、登録は、メニュー画面から行うことができます。
メニュー画面は、待受画面で■を押すと表示されます。FOMA SH902iSLには、３種類のメニューが用意されています。（お買い上げ時は、基本メニューに設定されています。）
メニューを切り替えるには、それぞれのメニュー画面で、▯［メニュー切替］を押して切り替えます。

基本メニュー	わかりやすい大きな文字表示で、普段よく使う機能を利用できます。（☞P.33）
詳細メニュー（FULL MENU）	本FOMA端末のすべての機能を利用できます。また、機能番号を入力して、すばやく機能を呼び出すこともできます。（☞P.34）
ショートカットメニュー	登録された機能を、すばやく呼び出すことができます。ご希望の機能を登録することもできます。（☞P.366）

- FOMA端末を操作中に操作ガイダンスに［サブメニュー］が表示されているときは、その画面で使用できる機能（サブメニュー）が表示されます。（☞P.36）
- 機能を選び直すには、CLRを押すとひとつ前の画面に戻ることができます。HLD PWRを押すと、待受画面に戻ります。

基本メニューから機能を選択する<基本メニュー>

よく使う基本的な６つの機能を見やすく大きな文字表示で操作を行うことができます。

メニュー	機　能	表示される画面
電話	電話帳の表示	電話帳検索画面
	リダイヤル	１件表示画面
	着信履歴	１件表示画面
	伝言メモ	録音／再生／PIMロックの選択画面
	電話帳の登録	電話帳入力画面
	自分の電話番号	電話番号表示画面
メール	メールの作成	メール作成画面
	メールの受信	ｉモード問い合わせ
	全受信メール	受信BOX
	全送信メール	送信BOX
	全未送信メール	未送信BOX
ｉモード	ｉMenu	ｉMenu
	全Bookmark表示	Bookmark一覧画面
	画面メモの表示	画面メモ一覧画面
	ラストURL	ラストURL表示画面
カメラ	写真を撮る	静止画撮影画面
	写真を見る	データBOXのマイピクチャのフォルダ一覧（本体）
	映像を撮る	動画撮影画面
	映像を見る	データBOXのｉモーションのフォルダ一覧（本体）
	バーコードリーダー	バーコードリーダーモード
設定	着信音の設定	着信音量／着信音／メール着信音量／メール着信音の選択画面
	待受画面の設定	待受画面設定画面
	通話時間／料金	通話明細表示画面
	留守番電話	留守番電話設定画面
	ワンタッチキーの設定	ワンタッチキー設定画面
便利機能	ボイスレコーダー	ボイスレコーダー
	スケジュール	カレンダー画面
	電卓	電卓
	ブックリーダー	ブックリーダーフォルダ一覧画面
	アラーム	アラーム登録画面
	テキストメモ	テキストメモ一覧画面

お買い上げ時は、待受画面で[■]を押すと基本メニューが表示されます。[◆]で機能を選んで[■]を押します。

※基本メニューでは、本書で説明している機能番号を入力して機能を呼び出すことはできません。

- 基本メニューにしているときは、待受画面で[ｉ]、[✉]、[□]を押すと基本メニューのｉモードメニュー、メールメニュー、電話帳検索画面が表示されます。

待受画面　　基本メニュー画面　　［メール］を選んだ場合

- 操作ガイダンスに[ｉ][FULL MENU]が表示されているときに、[ｉ]を押すと詳細メニューが表示されます。
- 基本メニュー画面で[📷][サポート]を押すと、サポートブックが表示されます。

詳細メニューから機能を選択する<詳細メニュー>

詳細メニューから機能を呼び出すには、2種類の方法があります。

■ 詳細メニューに分類された9つのアイコンから選択して機能を呼び出す
■ 詳細メニューであらかじめ登録されている機能番号を入力して呼び出す(設定メニューのボタン操作については、P.404を参照してください。)

9つのアイコンから機能を呼び出す

アイコン	メニュー	機　能
iモード	iモード	1 iMenu
		2 メッセージ
		3 Bookmark
		4 iモード問い合わせ
		5 画面メモ
		6 Internet
		7 iモード設定
		8 ｉチャネルメニュー
		9 Internet(フルブラウザ)
iアプリ	iアプリ	1 ソフト一覧
		2 iアプリ音量設定
		3 ソフト情報表示設定
		4 自動起動設定
		5 iアプリ使用データ
		6 エラー表示
		7 トレース表示
		8 PIMロック
カメラ	カメラ	1 静止画撮影
		2 動画撮影
		3 文字読み取り
		4 バーコードリーダー
メール	メール(1ページ目)	1 受信BOX
		2 送信BOX
		3 未送信BOX
		4 新規メール作成
		5 新規SMS作成
		6 チャットメール
		7 iモード問い合わせ
		8 SMS問い合わせ
		9 テンプレート
	メール(2ページ目)	1 メール選択受信
		2 メール設定
データBOX	データBOX	1 マイピクチャ
		2 iモーション
		3 メロディ
		4 キャラ電
		5 プリント指定(DPOF)

アイコン	メニュー	機　能
電話帳	電話帳	電話帳検索
設定	設定	1 音
		2 表示
		3 一般設定
		4 NWサービス
		5 その他のNWサービス
		6 通話・通信機能設定
		7 セキュリティ
		8 初期設定
LifeKit	LifeKit	1 バーコードリーダー
		2 赤外線受信
		3 トルカ
		4 ＩＣカード一覧
		5 miniSD管理
		6 文字読み取り
		7 電話帳お預かりサービス
		8 スケジュール(スケジュール、ToDoリスト)
		9 便利機能(電卓、テキストメモ、タイマー、アラーム、音声／伝言メモ)
メディアツール	メディアツール	1 モバイルオーディオ
		2 ボイスレコーダー
		3 ブックリーダー

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

お買い上げ時は待受画面で■を押し、i[メニュー切替]を押すと詳細メニューが表示されます。✥で目的のメニューやアイコンを選んで■を押します。さらに✥で機能を選んで■を押します。

待受画面　詳細メニュー　[データBOX]を選んだ場合

[マイピクチャ(本体)]を選んだ場合　[カメラ撮影]を選んだ場合

- 本書では、詳細メニューから上記の機能を呼び出す操作方法を、「詳細メニューから(データBOX)→[マイピクチャ]→[カメラ撮影]の順に選択することもできます。」と説明しています。
- 待受画面に[i](MENU)と、[ ]、[ ]、[ ]、[ ]、[ ]のいずれかが表示されている場合は、■を押してから✥で[i](MENU)を選んで■を押してください。

お知らせ

- アイコンは変更できます。(アイコン画像設定☞P.146)

機能番号を入力して機能を呼び出す

機能番号を入力すると、すばやく目的の機能を呼び出すことができます。
本書では、メニューを選択する操作は機能番号を入力する方法を基準に説明しています。
機能番号の最初の番号は、各種設定が１～８、データBOXが91、LifeKitが92、メディアツールが93となっています。
各機能の機能番号(ボタン操作)については、P.404～P.409を参照してください。ここでは機能番号[1211]の[音声電話着信音]を例に説明します。

例:機能番号[1211]の[音声電話着信音]の場合

1 待受画面で■1211を押す。

- 指定した機能(音声電話着信音)の画面が表示されます。

お知らせ

- ショートカットメニュー、基本メニューのとき、機能番号を入力して機能を呼び出すことはできません。

サブメニューから機能を選択する

操作ガイダンスに[サブメニュー]が表示されているときは、📷を押すと、その画面で使用できる機能(サブメニュー)が表示されます。
サブメニューに複数のページがある場合は、◀▶でページを切り替えます。
本書では、サブメニューを選択する操作は機能番号で入力する方法で説明しています。
ただし、機能番号のないサブメニューもあります。そのときは、▲▼で機能を選んで■を押してください。

例：画像一覧画面の見かたを[16分割]に切り替えた場合

サブメニュー画面
(利用できない項目は
選択できません。)

[マイピクチャ設定]
を選んだ場合

[表示切替]
を選んだ場合

[16分割]
を選んだ場合

- 機能を選び直すときは、CLRを押してサブメニュー画面に戻ります。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

便利に使うためのサポート情報を表示する

ブックリーダー機能を利用した、FOMA端末上の簡単な操作ガイドです。FOMA端末の操作方法がわからないときに利用してください。(☞P.340)
マルチアシスタント機能を使ってメールの作成中などの操作中にMULTIを押して、サポートブック(内蔵)を呼び出すこともできます。(☞P.351)

- すばやく使いこなすためのコツや、知っておくと便利な機能の説明が表示されます。
- サポートブックで調べた機能を直接起動することもできます。

例:自分のアドレスを確認するには

1 待受画面でMULTIを押す。

- 詳細メニューから(メディアツール)→[ブックリーダー]→[プリインストール]→[サポートブック(内蔵)]の順に選択することもできます。(miniSDメモリーカードを挿入していないときは、[プリインストール]の選択は不要です。)

2 文字[▼ページ]を押し、[メール]を選んで■を押す。

3 [自分のアドレスを確認するには?]を選んで■を押す。

自分のメールアドレスを忘れてしまった・・・
自分のアドレスを確認するには?
<使用シーン>
他人に自分のアドレスを教えるとき、自分のメールアドレスを確認したいときなど、カンタンに確認できます。
iモードに接続し、iMenuからアドレスを確認します。
詳細は、取扱説明書を参照してください。
メールアドレスを長くしておくと、迷惑メールが届きにくくなります。
先頭へ ▲ページ サブメニュー ▼ページ

内容表示画面

- タイトルの下に説明文が表示されます。

関連操作

サポートブックから機能を起動する
サポートブックの内容表示画面で起動項目を選ぶ▶■▶[はい]▶■

お知らせ

- サポートブック以外の機能を同時に使用している場合、サポートブックから機能を起動することはできません。

FOMAカードを使う

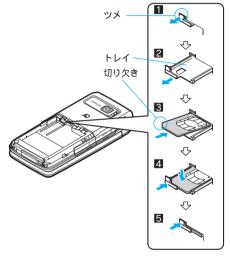
FOMAカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているＩＣカードです。FOMAカードには、電話帳のデータやSMSを保存することもできます。FOMAカードを差し替えることにより、用途に合わせて複数のFOMA端末を使い分けることができます。

● FOMAカードを取り付けないと、FOMA端末で音声電話やテレビ電話、プッシュトーク通信、ｉモード、ｉチャネル、ｉモードメールやSMSの送受信、メッセージＲ／Ｆ受信、データ通信などの通信機能を利用できません。

FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

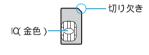
※ P.46「電源を切る」の操作１を参照して電源を切ってから背面を上向きにして電池パックを取り外し、FOMAカードの取り付けや取り外しを行ってください。

取り付けかた

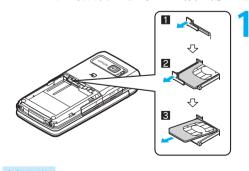
FOMAカードを取り付けるときは、FOMA端末を閉じてから手で持って、行ってください。

1 ツメ（1）に指などをかけて、トレイを引き出す（2）。

● トレイを「カチッ」と音がするまでまっすぐ引き出します。

2 FOMAカードのＩＣ面を上に向けて、トレイに載せ（3）、セットする（4）。

● FOMAカードとトレイの切り欠き方向を合わせてください。

3 トレイを奥まで押し込む（5）。

取り外しかた

FOMAカードを取り外すときは、FOMA端末を閉じてから手で持って、行ってください。

1 ツメ（1）に指などをかけて、トレイを引き出し（2）、FOMAカードを取り外す（3）。

● 取り外す際は、FOMAカードが落ちないようにご注意ください。

お知らせ

● 無理に取り付けようとしたり、取り外そうとするとFOMAカードが破損するおそれがありますので、ご注意ください。
● トレイが斜めになった状態で無理に押し込まないでください。トレイが変形したり破損することがあります。
● トレイが外れたときは、トレイをガイドレールに合わせてまっすぐに押し込んでください。
● FOMAカードの詳しい取り扱いについては、FOMAカードの取扱説明書を参照してください。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.323）

お知らせ

- FOMAカードの取り付け、取り外しをする際には、ICに不用意に触れたり、傷を付けたりしないようにご注意ください。
- FOMAカードを他のｉチャネル対応端末に差し替えた場合、**ｉチャネルテロップ**は表示されません。最新の情報を受信するか、チャネル一覧を表示すると、ｉチャネルテロップが自動的に表示されます。
- 取り外したFOMAカードは、なくさないようにご注意ください。
- FOMAカードのIC部分が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがありますので、ご注意ください。汚れたときは、乾いた布などで拭いてください。

FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードには「PIN1コード」「PIN2コード」という２つの暗証番号があります。
ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、４～８桁の任意の数字に変更できます。(☞P.158)

FOMAカード動作制限機能について＜FOMAカード動作制限機能＞

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護するためのセキュリティ機能として、FOMAカード動作制限機能が搭載されています。

- FOMA端末にFOMAカードを挿入した状態で、次のいずれかの方法でデータやファイルを取得したり、ｉアプリを実行したりすると、取得したデータやファイルにはFOMAカード動作制限機能が自動的に設定されます。
  - ■ サイトやインターネットホームページから画像やメロディなどのファイルをダウンロードしたとき
  - ■ サイトやインターネットホームページを画面メモとして保存したとき（ただし、画像の含まれない画面メモは除く）
  - ■ ファイルが添付されているｉモードメールを受信したとき
  - ■ ｉアプリを実行したとき
- FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイル、ソフトは、取得時に挿入していたFOMAカードが挿入されているときのみ、表示／再生／ｉモードメールへの添付／ソフトの起動／赤外線通信機能によるデータの送信、miniSDメモリーカードへのコピーなどを実行できます。
- FOMAカード動作制限が設定されるデータは次のとおりです。
  - ■ デコメール本文中の画像
  - ■ ｉモードメールに添付されているファイル
  - ■ 画像やメロディ
  - ■ メッセージR／F本文中の画像
  - ■ キャラ電
  - ■ テレビ電話静止画メモ
  - ■ 画面メモ
  - ■ ｉモーション
  - ■ ｉアプリ
  - ■ ダウンロード辞書
- FOMAカードに保存される設定は次のとおりです。
  - ■ 電話番号表示
  - ■ SMSセンター設定
  - ■ PIN設定
  - ■ バイリンガル
  - ■ SMS有効期間設定
  - ■ SSL証明書
- データ、ファイルの取得時やｉアプリの実行時に挿入していたFOMAカードを、別のFOMAカードに差し替えると、これらの操作が実行できなくなります。

※ 以降、データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを「お客様のFOMAカード」、それ以外のFOMAカードを「他の人のFOMAカード」として説明しています。

次ページへ続く

お知らせ

- 他の人のFOMAカードに差し替えたときに、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルを待受画面や着信音選択などに設定できません。
- FOMAカードを他の人のFOMAカードに差し替えると、FOMAカード動作制限機能がはたらき、サイトなどからダウンロードしたデータやファイルを待受画面や着信音選択などに設定してあった場合、お買い上げ時の設定で動作します。お客様のFOMAカードを挿入し直すと、設定した状態に戻ります。

＜例：**FOMA**カード動作制限機能が設定された［メロディ**A**］を着信音に設定したとき＞
お客様のFOMAカードを抜いたり、他の人のFOMAカードに差し替えたときに着信音選択で表示される設定内容はお買い上げ時に設定されていた着信音になります。お客様のFOMAカードを挿入し直すと、［メロディA］の着信音に戻ります。

- 赤外線通信機能やデータの送受信機能を使って受信したデータ、FOMA端末で撮影した静止画／連続画像／動画には、FOMAカード動作制限機能が設定されません。
- 他の人のFOMAカードを挿入した状態でも、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルを移動したり削除することはできます。
- ｉモードメールのメール表示画面で反転表示されている文字などを選択して、ｉアプリを起動する場合、FOMAカード動作制限機能が設定されていると、起動や取得ができません。
- ｉアプリ待受画面を設定後、他の人のFOMAカードに差し替えると、設定したｉアプリを待受で起動できないため、待受画面設定で設定した画像が表示されます。

FOMAカードの機能差分について

FOMA端末で「FOMAカード（青色）」をご使用になる場合、「FOMAカード（緑色／白色）」とは次のような違いがありますので、ご注意ください。

機　能	FOMAカード（青色）	FOMAカード（緑色／白色）	ページ
FOMAカードの電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁	P.114
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用不可	利用可	P.218
WORLD WINGの利用	利用不可	利用可	P.40
サービスダイヤル	利用不可	利用可	P.385

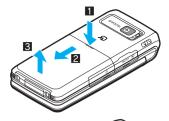
WORLD WINGについて

WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色／白色）をサービス対応のFOMA端末や海外用携帯電話（W-CDMAまたはGSM方式）に差し替えることにより、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。

- 2005年９月１日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年８月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。
- 万が一、FOMAカード（緑色／白色）を海外で紛失・盗難された場合には、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをとってください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

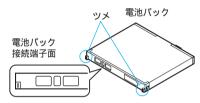
電池パックの取り付けかた／取り外しかた

電池パックは、FOMA端末専用の電池パック SH09をご利用ください。
また、取り付け／取り外しは、必ず電源を切って、FOMA端末を閉じてから手で持って、行ってください。

■ 電池パックの取り付けかた

1 リアカバーを矢印の方向（1）に軽く押しながら約2 **mm**スライド（2）させる。

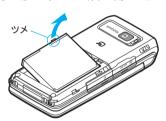
2 矢印の方向（3）にリアカバーを持ち上げ、取り外す。

3 電池パックを取り付ける。（4）

- 電池パックには取り付け用のツメがついています。電池パックの商品名（SH09）を上に向けて取り付けてください。

4 リアカバーを取り付ける。（5）

- 本体とリアカバーを図の位置に合わせて、リアカバーを押しながらスライドさせます。

■ 電池パックの取り外しかた

必ず電源を切って、FOMA端末を閉じてから手で持って、行ってください。

1 **P.41**「■ 電池パックの取り付けかた」の操作1～2の手順でリアカバーを取り外す。

2 電池パックを取り外す。

- 電池パックには取り外し用のツメがついています。ツメの部分に無理な力を加えないよう指などをかけて上方向に取り外してください。

お知らせ

- 無理に取り付けたり、取り外したりすると、FOMA端末の電池パックとの接続端子（充電端子）が破損することがあります。
- 詳しくは、電池パック SH09の取扱説明書をご覧ください。
- リアカバーはしっかりと閉めてください。不十分だと、リアカバーが外れ、振動で電池パックが外に飛び出すおそれがあります。
- 電池パック接続端子面やFOMA端末の電池パックとの接続端子（充電端子）が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因ともなりますので、汚れたときは乾いた布、綿棒などで拭いてください。
- 電池パックを取り外すと編集中のデータは、削除されます。また、取り外したままにして置いたり、電池残量のないままで放置すると日時設定は、お買い上げの状態に戻ります。
- はじめてお使いになるときや電池パックを交換したときは、必ず充電してください。お買い上げの際には、電池パックは完全に充電された状態ではありません。

携帯電話を充電する

充電時のご注意

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず専用のACアダプタ(別売)、DCアダプタ(別売)で充電してからご使用ください。

充電時間の目安とランプ表示について

FOMA端末の電源を切り、電池パックを電池残量のない状態から充電したときの充電時間の目安は次のとおりです。

充電器名	充電時間
FOMA ACアダプタ01	約110分
FOMA DCアダプタ01	約110分

- 充電中は充電ランプが赤色で点灯し、充電が完了すると消えます。
- 充電ランプが赤色で点滅したときは、電池パックが正しく取り付けられているか確認してください。また、電池パックが寿命のときも赤色で点滅します。
- FOMA端末の電源を入れておいても充電できます。(充電中は、ディスプレイの[➡▢]が点滅します。)充電が完了すると、充電ランプが消灯し、ディスプレイの[➡▢]が[▮▮▮]に変わります。
- 電池温度が高くなった場合、充電完了前でも自動的に充電を停止する場合があります。充電ができる温度になると自動的に充電を再開します。充電停止中は、充電ランプは消灯し、ディスプレイの電池マークは点灯に変わります。

十分に充電したときの利用可能時間(目安)

条　件	電池パック SH09
連続待受時間	約500時間(静止時)／約400時間(移動時)
連続通話(通信)時間	約140分(音声電話)／約90分(テレビ電話)

- 連続通話時間は、電波を正常に送受信できる状態で使用できる時間の目安であり、連続待受時間は、FOMA端末を折りたたんで、電波を正常に受信できる状態で移動した場合の目安です。なお、電池の充電状態、待受画面や省電力モードなどの機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態(電波が届かないまたは弱い場所)などにより、通話・待受時間は半分程度になる場合があります。iモード通信を行うと、通話(通信)・待受時間は短くなります。iチャネルをご契約の場合は、情報を自動的に受信して更新しますので、通話(通信)・待受時間は短くなります。また、通話やiモード通信を行わなくても画像を撮影したり、編集したり、iモードメールを作成したり、ダウンロードしたiアプリを作動させたり待受画面設定を行うと、通話(通信)・待受時間は、短くなります。iアプリのソフトによって、ダウンロードしたあとも通信を行う場合があります。あらかじめ設定することによって、接続を行わないようにすることもできます。
- 実際のご利用時間は、待受と通話の組み合わせとなり、通話時間が長くなると待受時間が短くなります。

電池パックの寿命は

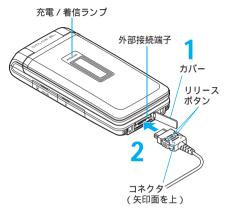
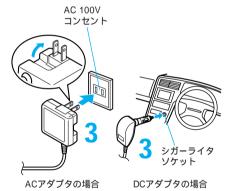
- 電池パックは消耗品です。充電をくり返すごとに１回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- １回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件によって、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
  電池パックの寿命の目安は約１年です。ただし、短時間の充電／放電をくり返したり高温になる環境で充電を行ったり、長時間充電状態を継続したりすると電池パックの寿命が短くなることがあります。
- 環境保全のため、不要になった電池パックはNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

充電時のご注意

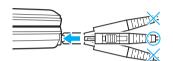
- 電源を入れたまま長時間充電しないでください。充電完了後、FOMA端末の電源が入っていると電池パックの充電量が減少します。
  このような場合、ACアダプタやDCアダプタは再び充電を行います。ただし、ACアダプタやDCアダプタからFOMA端末を取り外す時期により、電池パックの充電量が少ない、電池警告音が鳴る、短時間しか使えない、などの現象が起こることがあります。
- 電池が切れた状態で充電開始時に、充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。
- 警告音が鳴ったあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 電池切れの表示がされ、警告音が鳴ってから60秒以内に充電を始めると、通常の状態に復帰します。
- 充電中に充電ランプが赤色で点灯していても、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。
- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電をくり返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから(電池残量が減ってからなど)充電することをおすすめいたします。
- 電池パック単体での充電はできません。
- 充電しながらiアプリなどを操作し長時間充電状態を継続すると、電池パックの寿命が短くなることがありますのでお控えください。

ACアダプタ／DCアダプタを使って充電する

[必ずFOMA ACアダプタ01(別売)／FOMA DCアダプタ01(別売)の取扱説明書を参照してください]

● FOMA端末を開いた状態でも充電できます。

1 外部接続端子のカバーを開く。

2 **AC**アダプタまたは**DC**アダプタの向き(裏表)をよく確かめ、外部接続端子に水平に差し込む。

● コネクタの向きを確かめ、FOMA端末に水平になるようにして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

3 **AC**アダプタの場合、プラグを起こし、**AC100V**コンセントに差し込む。
DCアダプタの場合は、プラグを車のシガーライタソケットに差し込む。

● 充電開始音が鳴り、充電ランプが赤色で点灯します。充電中に着信した場合は、着信ランプが緑色で点滅します。

4 充電完了音が鳴り、充電ランプが消灯すると、充電が完了する。

● コネクタを取り外す場合は、必ずコネクタの両側にあるリリースボタンを押した状態(①)で、コネクタを水平に抜いてください(②)。無理に引っ張ると故障の原因になります。
外部接続端子のカバーを閉じてください。

● 長時間使用しないときは、アダプタをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。

お知らせ

● ACアダプタなどのコネクタは、正しい向き(裏表)や角度で、無理な力がかからないように、ゆっくり確実に接続してください。無理に差し込んだり抜いたりすると、外部接続端子が破損する場合がありますので、ご注意ください。
● イヤホンマイク端子および外部接続端子のゴムカバーは、無理に引っ張らないでください。破損する場合があります。
● 充電時FOMA端末の周りに物などを置かないでください。FOMA端末に傷を付けるおそれがあります。

次ページへ続く

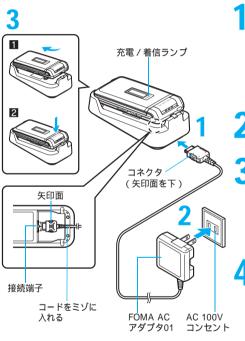
お知らせ

DCアダプタのとき

- 車のエンジンを切ったままで使用しないでください。車のバッテリーを消耗させる場合があります。
- DCアダプタはマイナスアース車専用です。（DC12V・24V両用）
- DCアダプタの電源は、自動車のキースイッチに連動しますが、自動車の種類によっては連動しない場合もあります。自動車から離れるときは、電源が切れていることを確認してください。
- FOMA端末の電源を入れても、イグニッションをOFFにしたり、DCアダプタをシガーライタソケットから抜いたりすると、電源が切れますので注意してください。通話および待受状態を継続したい場合は、FOMA端末に差しているコネクタを先に抜いてください。
- DCアダプタのヒューズ（2 A）は消耗品ですので、交換の際はお近くのカー用品店などでお買い求めください。

卓上ホルダを使って充電する

［必ず卓上ホルダ SH09（別売）の取扱説明書を参照してください］

- FOMA端末を開いた状態でも充電できます。

1 ACアダプタのコネクタの矢印面を下に向け、卓上ホルダの接続端子に差し込む。

- コネクタが卓上ホルダに水平になるようにして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。
- 卓上ホルダの接続端子は裏側にあります。

2 ACアダプタのプラグを起こし、AC100Vコンセントに差し込む。

3 FOMA端末を卓上ホルダに置く。

- 左図1のようにFOMA端末を置いたあと、2の矢印の方向に「カチッ」と音がするまで押し下げてください。
- 充電開始音が鳴り、充電ランプが赤色で点灯します。充電中に着信した場合は、着信ランプが緑色で点滅します。

4 充電完了音が鳴り、充電ランプが消灯すると、充電が完了する。

- 卓上ホルダを押さえながら、FOMA端末を持ち上げます。
- 長時間使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜いてください。

お知らせ

- **充電開始音**が鳴らないとき（充電開始音量を［サイレント］に設定、またはマナーモードに設定している場合や、電源を切っている場合を除く）や、**充電ランプ**が赤色で点灯しないときは、FOMA端末が卓上ホルダに正しく置かれていない場合がありますので、正しく置き直してください。
- FOMA端末を卓上ホルダに置くとき、ストラップを挟まないようにご注意ください。

電池残量の確認のしかた

電池残量の目安は、ディスプレイで確認できます。

- ：電池残量が十分残っています。
- ：電池残量が少なくなっています。
- ：電池残量がほとんどありません。充電してください。
- ：電池残量がありません。（しばらくすると電源が切れます。）
- ：電池パック充電中です。

お知らせ

- マークのデザインを変更した場合（☞P.145）、上記の表示と異なる場合があります。

電池残量を音と表示で確認する

1 待受画面で■3 1 3を押す。

- 詳細メニューから（設定）→[一般設定]→[確認]→[電池残量確認]の順に選択することもできます。
- 電池残量のグラフィックが表示されます。（残量に応じた音も鳴ります。）
- 電池残量確認音は、ボタン確認音で設定した音量で鳴ります。（☞P.132）
- 約２秒間経過するかCLRを押すと、１つ前の画面に戻ります。

グラフィック			
音	ピーピーピー	ピーピー	ピー
状　態	十分残っています。	少なくなっています。	電池残量が ほとんどありません。 充電してください。

電池が切れたら

電源が切れそうになると、約80秒前に[電池がありません　保存していないデータは失われます　動作中の機能は終了します]と表示されます。（■を押すと表示は消えます。）約20秒経過すると、警告音が「ピピピ…」と鳴ります。右の画面が表示され、端末の操作ができなくなり、約60秒後に電源が切れます。

- 音声電話やテレビ電話の通話中は、警告音が「ピピピ…」と鳴り、約20秒後に通話が切れると同時に上の画面が表示され、約60秒後に電源が切れます。
- HLD PWRを押すと、通話中の場合は電話が切れます。電源を切って充電してください。

お知らせ

- マナーモードや公共モード（ドライブモード）を設定しているときは、警告音は鳴りません。（通話中を除く）

電源を入れる／切る

電源を入れる

電源を入れるとディスプレイのバックライトが点灯し、電話をかけたり、受けたりできる状態(待受状態)になります。

● 電源を入れる前にFOMAカードが正しく取り付けられていることを確認してください。(☞P.38)

1 (電源)を２秒以上押す。

● ウェイクアップ画面が表示され、初期設定の画面が表示されます。続けて、初期設定(☞P.47)の操作を行ってください。
● 初期設定が完了していないときは、電源を入れるたびに設定画面が表示されます。
● 初期設定が完了しているときは、電源を入れると、右のような画面が表示されます。この画面を「待受画面」といいます。
● [PIN1コードを入力してください]と表示されたときは、PIN1コード(☞P.158)を入力します。
● [圏外]が表示されているときは、サービスエリア外、または電波の届かない場所にいます。表示が消えるところまで移動してください。
● [self]が表示されているときは、セルフモード中(☞P.162)です。

待受画面

お知らせ

● FOMAカードが挿入されていない場合[FOMAカード(UIM)を挿入してください]と表示され、FOMAカードエラーが表示されます。(☞P.29)
● 電波が強く[Yıl]が表示されていて移動せずに通話をしているときでも、通話が切れることがあります。
● FOMAカードを差し替えたときは、電源を入れたあと４～８桁の端末暗証番号を入力する必要があります。正しく入力されると待受画面が表示されます。５回誤った端末暗証番号を入力した場合は、電源が切れます。(ただし再度電源を入れることは可能です。)

電源を切る

1 (電源)を２秒以上押す。

● 電源が切れるまで時間がかかることがあります。(電源が切れるまでディスプレイに終了画面が表示されます。)

お知らせ

● 外部機器との接続は、通信が終了していることを確認したうえで、FOMA端末の電源を切ってから行ってください。

初期設定を行う

はじめてFOMA端末の電源を入れると自動的に初期設定画面が表示され、次の項目を設定できます。
(初期設定が完了しているときは、待受画面が表示されます。)

設定項目	内　容	ページ
日時設定	FOMA端末の日付と時刻を合わせます。自動的に日時を補正するように設定できます。	P.48
端末暗証番号変更	FOMA端末の各機能を利用するときに必要な端末暗証番号を登録します。	P.157
ボタン確認音設定	ボタンを押したときに音を鳴らすかどうかを設定します。	P.132
プッシュトーク番号通知設定	プッシュトーク通信時に自分とメンバーの番号を通知するかどうかを設定します。	P.106
ソフトウェア更新確認	ソフトウェア更新が必要かどうかを選択します。	P.439

● 設定されていない項目があるときは、FOMA端末の電源を入れるたびに、設定画面が表示されます。

1 日付・時刻を設定する。

● 詳細メニューから✕(設定)→[初期設定]の順に選択することもできます。

自動的に日時を補正するとき	[自動時刻補正]→■→[ON]→■→📱
日時を入力するとき	[自動時刻補正]→■→[OFF]→■→[日付]→■→日付を入力→■→[時刻]→■→時刻を入力→■→📱 ● 24時間制で入力します。また、月日・時刻が１桁(１～９)のときは、01～09のように前に「０」を付けます。 ● ⋮で数字を選ぶこともできます。また、入力を間違えたときは、⋯でカーソルを移動して、入力し直してください。

2 端末暗証番号(４～８桁の数字)を登録する。(☞P.157)

● お買い上げ時は、[0000]に設定されています。

3 ボタン確認音を設定する。

ボタン確認音を鳴らす	1
ボタン確認音を鳴らさない	2

4 プッシュトーク番号通知を設定する。

● プッシュトーク番号の[通知]／[非通知]を選んで■を押します。

5 ソフトウェア更新確認を設定する。

● [はい]を選んで■を押します。
● ソフトウェア更新が起動し、ソフトウェア更新が必要かどうかをチェックします。(☞P.438)

お知らせ

● 待受画面で■8を押すと、初期設定することができます。
● 日時は、2001年１月１日 00:00から2050年12月31日 23:59まで設定できます。

初期設定を中止するとき

● 設定中に☎を押します。日時設定は中止しても必ず設定されます。

日付・時刻を合わせる

お買い上げ時
自動時刻補正：ON

FOMA端末の日付と時刻を設定します。自動的に日時を補正するように設定することもできます。

1 待受画面で■34を押す。

● 詳細メニューから✕（設定）→[一般設定]→[日時設定]の順に選択することもできます。

2 [自動時刻補正]を選んで■を押し、[ON]／[OFF]を選ぶ。

自動的に日時を補正するとき	[ON]→■→
日時を入力するとき	[OFF]→■→[日付]→■→日付を入力→■→[時刻]→■→時刻を入力→■→ ● 24時間制で入力します。また、月日・時刻が1桁（1～9）のときは、01～09のように前に「0」を付けます。 ● で数字を選ぶこともできます。また、入力を間違えたときは、でカーソルを移動して、入力し直してください。

● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 時刻は24時間制で表示されます。
● 設定した日付・時刻は、電池パックを交換する場合にも保持されますが、約2週間以上電池パックを外すか、電池残量のない状態で放置するとリセットされることがあります。そのときは、充電してから再び設定し直してください。
● 日付・時刻を正しく設定しないと、リダイヤル、着信履歴、音声電話伝言メモ、テレビ電話伝言メモ、カメラ画像のタイトル・撮影日時などで日時が正しく記録されません。また、自動電源ON／OFF、アラーム、スケジュール、SSL通信（認証）、ｉアプリ自動起動、ｉアプリDX起動など時計を利用する機能が正しくご利用になれません。
● 料金上限通知設定が[有効]に設定されている場合は、日時設定の際に端末暗証番号（4～8桁の数字）の入力が必要です。
● 料金上限通知設定のリセット通知を設定中に日時設定を翌月以降に変更した場合、待受画面に[リセット時刻経過]と表示されます。

自動時刻補正について

● ドコモネットワークの時刻情報をもとに、自動的に時刻を補正します。
● 自動時刻補正を[ON]にしたとき、しばらく時刻が補正されない場合があります。自動時刻補正を有効にするには、電源を入れ直してください。
● 電波状況によっては時刻を補正できない場合があります。
● 数秒程度の誤差が生じる場合があります。

発信者番号通知

相手に自分の電話番号を通知する

お買い上げ時
通知しない

音声電話やテレビ電話をかけるときに、相手の電話機(ディスプレイ)に自分の電話番号(発信者番号)を表示させることができます。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。通知するかしないかの設定については、十分にご注意ください。

お客様の電話番号を通知するかどうかを設定する方法は、次のとおりです。

	設定方法	番号を通知する	番号を通知しない
あらかじめ設定しておく方法	待受画面で■452を押し、ネットワーク暗証番号(4桁の数字)を入力する(☞P.156)	[はい]に設定する	[いいえ]に設定する
電話をかけるときに指定する方法	電話番号の前に「186」/「184」を付ける	「186」を付ける	「184」を付ける
	電話番号を入力して、サブメニューから選ぶ(☞P.57)	📷21を押す	📷22を押す

- 発信者番号通知は、[〓]で設定することはできません。
- 発信者番号通知の設定を確認するときは、詳細メニューから✕(設定)→[NWサービス]→[発信者番号通知]→[設定確認]の順で選択します。
- 発信者番号通知の設定内容より、電話をかけるときの指定が優先されます。電話をかけるときに何も指定しないと、発信者番号通知の設定内容に従います。
- 電話をかけるとき指定する方法は、プッシュトークをかけるときにも有効です。ただし、電話番号の前に「186」や「184」を付ける方法では設定できません。プッシュトークの番号通知設定はP.106を参照してください。

お知らせ

- 発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえたときは、発信者番号通知を設定してから、おかけ直しください。(☞P.384)
- 発信者番号通知機能は、相手の電話機が発信者番号表示が可能な場合のみ、利用できます。

電話番号表示

自分の電話番号を確認する

自分の電話番号を確認できます。

1 待受画面で■0を押す。

電話番号表示画面

- 詳細メニューから✕(設定)→[一般設定]→[確認]→[所有者情報]の順に選択することもできます。
- 音声電話中は📷4、テレビ電話中は📷8を押します。
- 電話帳のPIMロック中は、端末暗証番号(4~8桁の数字)を入力して■を押します。
- 電話番号以外の所有者情報を確認するには、■[詳細]を押し、端末暗証番号(4~8桁の数字)を入力して■を押します。
- 所有者情報の登録・変更については、P.368を参照してください。

電話のかけかた／受けかた

■電話のかけかた

■電話の受けかた

■電話に出られないとき／出られなかったとき

電話をかける

電池残量および受信レベルが十分であることを確認してください。

- [圏外]が表示されているときは、サービスエリア外または電波の届かない場所にいます。表示が消えるところまで移動してください。
- 電波が強く[Yıll]が表示されていて移動せずに通話をしているときでも、通話が切れることがあります。
- [self]が表示されているときは、セルフモード中(☞P.162)です。

1 待受画面で電話番号を市外局番からダイヤルする。

- 同一市内でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
- 電話番号は80桁まで入力できます。13桁を超えると2行で表示されます。26桁を超えた場合、最後から26桁が2行表示されます。

携帯電話にかける	電話番号11桁(090-XXXX-XXXX、080-XXXX-XXXX)を入力
PHSにかける	電話番号11桁(070-XXXX-XXXX)を入力
国際電話をかける([+]入力)	[0](1秒以上)→電話番号の入力 ● 先頭に[+]が入力された場合、[+]以降の電話番号への発信・通話動作を行います。
ダイヤルを間違えたとき	[CLR](最後の1桁が消えます。) ● すべての桁を消すときは[CLR]を1秒以上押します。(待受画面に戻ります。)

2 [発信]を押す。

電話帳に名前と静止画を登録している場合

- 携帯電話は一般の電話と違い、「ルルル……」という呼出音の前に「プッププッ」という発信音が入ります。
- 音声電話中は[通話中]が表示されます。
- 電話帳に登録しているときは、電話番号と名前が表示されます。また、画像を設定しているときは、画像も併せて表示されます。
- 相手が話し中のときは、「ツーツー」という話中音が聞こえます。[HLD PWR]を押していったん電話を切り、しばらくしてからかけ直してください。
- 発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえたときは、通話先の方が番号通知をお願いする旨のサービスを[開始]に設定しています。発信者番号を通知してかけ直してください。(☞P.49、P.57)

3 通話が終わったら[HLD PWR]を押す。

お知らせ

- 操作1と2の手順を逆にしても電話をかけることができます。この場合、ダイヤルしてから約5秒間何も操作しないと発信します。
- 通話中は通話時間が表示されますが、通話時間の表示は目安です。
  通話時間は最長9時間59分59秒まで表示され、これを超えると0分00秒に戻ります。
- 連続通話するとFOMA端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 電話をかけるときは、内蔵アンテナ部分を覆わないようにしてご利用ください。

関連操作

光るワンタッチキーで電話をかける

待受画面で、電話番号が登録されている[I]～[III]▶[■]または[発信]

- または待受画面で、電話番号が登録されている[I]～[III]を2回

ハンズフリーで話す<ハンズフリー>

音声電話通話中に[発信](1秒以上)

- 受話音量を調節するとき:[▲]／[▼]
- 解除するとき:[発信](1秒以上)

通話中に保留する<通話保留>

1 音声電話通話中に[カメラ][1]

2 保留中の電話に出るときは[カメラ]

発信番号を選択して電話をかける<マルチナンバー選択>

● 電話番号設定でマルチナンバー登録を行っていない場合は番号を選択できません。マルチナンバー登録を行ってください。(☞P.387)

1 待受画面で相手先電話番号を入力▶[カメラ][4]

2 発信番号を選ぶ▶[■]▶[ハンズフリー]

お知らせ

光るワンタッチキーについて

● [I]〜[III]に電話番号を登録する方法については、P.150を参照してください。

ハンズフリーについて

● ハンズフリー中は[ ]が表示されます。

● 送話口から20〜40cm程度が最も通話しやすい距離です。なお、周囲の騒音が大きい場所では、音声が途切れるなど良好な通話ができないことがあります。

● 屋外や騒音が大きい場所でハンズフリー通話を行う場合は、別売りの平型スイッチ付イヤホンマイクをご利用ください。

● 着信中は操作できません。

● 受話音量を大きくすると会話しづらくなることがあります。その場合は、[↓]を押して音量を下げてください。

● 通話を終了すると、ハンズフリーは解除されます。

通話保留について

● 保留中は保留音がスピーカから流れます。

● マナーモード設定中はFOMA端末から保留音は聞こえません。

● 相手には保留音が流れ、電話はつながった状態のまま保留されます。

● 保留中にFOMA端末を閉じても、保留状態は続きます。クローズ動作設定とは連動していません。

マルチナンバー選択について

● マルチナンバーをご契約の場合、登録しているマルチナンバーを選択してから電話をかけることができます。(☞P.387)

音声電話からテレビ電話へ切り替える

自分から電話をかけたときに、音声電話⇔テレビ電話を切り替えできます。

● 相手のFOMA端末のテレビ電話切替機能通知(☞P.95)を[開始]に設定している必要があります。

● 電話を受けたときは切り替えることができません。相手から切り替えてもらってください。

● 相手側が切り替え可能な端末の場合、画面右下の操作ガイダンスに[テレビ電話]が表示され、音声電話中にテレビ電話へ切り替えることができます。(音声電話⇔テレビ電話切り替え対応機種にてご利用いただけます。)

1 音声電話の通話中に[文字][テレビ電話]を押し、[はい]を選んで[■]を押す。

● 通話中に[カメラ][5]を押しても操作できます。

● [いいえ]を選ぶと、音声通話中の画面に戻ります。

● 切り替え中は、[しばらくお待ち下さい]と表示され、音声ガイダンスが流れます。

● テレビ電話に切り替わり、自分側のカメラ映像が送信されます。

● 音声電話⇔テレビ電話の切り替えは、通話中何度でも可能です。切り替えるたびに、通話時間表示が0秒から開始されます。

次ページへ続く

お知らせ

- 相手が映像を表示しないように選択した場合、相手側のカメラ映像は表示されません。
- 通話中でも、サブメニューやマルチアシスタントから他の画面を表示したときや保留中などには、テレビ電話に切り替えできません。
- 切り替えには、約５秒かかります。電波状況によっては、切り替えに時間がかかる場合があります。
- 切り替え中は、通話時間としてカウントされますが、料金は加算されません。
- パケット通信中の場合は、パケット通信を切断してテレビ電話に切り替えます。
- 相手がパケット通信中の場合は、[切替できません]と表示され、音声電話からテレビ電話に切り替わらず、音声通話を継続します。
- 電波状況によっては、音声電話からテレビ電話に切り替わらず、接続が切れる場合があります。
- お買い上げ時のテレビ電話ハンズフリー設定は[ON]に設定されています。(☞P.92)切り替え前の通話状態にかかわらず、テレビ電話に切り替えるとハンズフリー通話になります。
- テレビ電話の通話中に[📞]を押すと、ハンズフリーへの切替・解除ができます。
- [しばらくお待ちください]と表示されている間は、ハンズフリーへの切替・解除ができません。
- テレビ電話から音声電話への切り替え方法については、P.84を参照してください。
- キャッチホンでの通話中に、音声電話からテレビ電話に切り替えることはできません。

着もじ

着もじを設定する

着もじとは

音声電話やテレビ電話をかけるときに同時にメッセージ(着もじ)を送信して、呼び出し中の相手の電話機に表示し、あらかじめ用件を伝えることができます。
あらかじめ着もじメッセージを登録しておくことができます。また、着もじを受信したときに表示するかどうかを設定することもできます。

- 全角・半角・絵文字・記号問わず10文字まで送信できます。
- 送信側は料金がかかります。受信側は料金がかかりません。
- 送信画面および受信画面の着もじメッセージの前には、[✎]が表示されます。
- 着もじが表示されるのは着信中(呼出中)のみです。通話を開始したら着もじは消えます。
- 対応機種：902iSシリーズ、N902iX HIGH-SPEED、P702iD、SH702iS

着もじを受信したときの着信画面

メインディスプレイ　サブディスプレイ
音声電話の場合

メインディスプレイ　サブディスプレイ
テレビ電話の場合

- 受信した着もじは、着信履歴詳細画面でもメッセージの内容を確認できます。(☞P.66)

着もじメッセージの編集や設定をする

着もじメッセージを登録する<メッセージ作成>

着もじメッセージは最大10件まで登録できます。

1 待受画面で[■][5][7][1]を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[その他のNWサービス]→[着もじ]→[メッセージ作成]の順に選択することもできます。

2 番号を選んで[ⓘ][編集]を押し、メッセージを入力して[■]を押す。

● 登録している着もじメッセージを確認するときは、番号を選んで[■]を押します。

■ 着もじを表示するかどうかを設定する<メッセージ表示設定>

お買い上げ時設定（番号通知ありのみ）

1 待受画面で[■][5][7][2]を押す。

● 詳細メニューから✕（設定）→［その他のNWサービス］→［着もじ］→［メッセージ表示設定］の順に選択することもできます。

2 表示方法を選ぶ。

すべての着もじを表示する	[1]
電話帳に登録されている相手からの着もじのみを表示する	[2]
発信者番号通知ありの相手からの着もじのみを表示する	[3]
着もじを表示しない	[4]

着もじメッセージをつけてダイヤルする<着もじ>

1 待受画面で相手先電話番号を入力し、[📷][6][着もじ]を押す。

2 着もじメッセージを選ぶ。

着もじメッセージを新規作成する	[1]→着もじメッセージを入力する→[■]
登録している着もじメッセージから選ぶ	[2]→着もじメッセージを選ぶ→[■]
送信メッセージ履歴から選ぶ	[3]→着もじメッセージを選ぶ→[■] ● 送信メッセージ履歴を1件削除するときは、着もじメッセージを選んで[📷][1]を押します。すべての送信メッセージ履歴を削除するときは[📷][2]を押します。

3 [☎][音声電話]／[ⓘ][テレビ電話]を押す。

お知らせ

- 電話帳から着もじをつけて発信するときは、P.121を参照してください。
- 送信メッセージ履歴は、最後に送信したものから最大10件まで記憶されます。
- 着もじが相手に届いた場合［送信しました］と表示され、送信料金がかかります。
- 呼出動作開始時間設定で設定した時間より呼出時間が短い着信でも、着もじは表示され、送信料金がかかります。
- 着もじが相手に届かなかった場合は［送信できませんでした］と表示されます。このとき送信料金はかかりません。
  - ■ 相手が対応端末でないとき
  - ■ メッセージ表示設定で許容している着信以外の着信のときなど
- 電波状態によって、相手側の端末に着もじが届いていても発信側に送信結果が表示されない場合があります。この場合も、送信料金はかかります。
- 着もじは、海外に送信することはできません。
- 音声自動再発信時には、テレビ電話発信時の着もじが自動で送信されます。

次ページへ続く

お知らせ

- 着もじはプッシュトークに対応していません。
- 着もじメッセージの入力/選択中や発信前に着信やアラームが動作すると、着もじの操作はクリアされます。
- 着信側が以下の設定・状態の場合には、着もじをつけて発信しても着もじは表示されず、送信料金がかかりません。（着信履歴にも保存されません。）また、送信側の画面には送信結果が表示されません。
  - ■ 圏外のときや電源が入っていないとき
  - ■ 公共モード（ドライブモード）を設定しているとき
  - ■ 伝言メモの応答時間を０秒に設定しているときなど

リダイヤル

前にかけた相手にかけ直す

以前にかけた電話番号（リダイヤル）は、最後にかけた電話番号から最大30件（プッシュトークを含む）までFOMA端末に記憶されます。

- 記憶できる件数を超えたときは、古い電話番号から順に削除されます。
- 同じ電話番号に複数回かけたときは、最新の１件だけが記憶されます。ただし、複数の相手にプッシュトーク発信した場合や、プッシュトークプラスを利用して発信した場合は、毎回記憶されます。

1 待受画面で□(□)を押す。

リダイヤル一覧画面

- 電話番号と日時が、新しい順に一覧表示されます。
- 電話帳に登録しているときは、名前が表示されます。電話帳に同じ電話番号が重複して登録されているときは、メモリ番号の若い方の名前が表示されます。
- プッシュトークの場合、相手の名前か、プッシュトークグループのグループ名が表示されます。

リダイヤルの種類

□:テレビ電話　□:国際電話　表示なし:音声電話
□□:プッシュトーク（１対１の通信）　□□:プッシュトーク（１対多の通信）
□NW:プッシュトーク（プッシュトークプラス利用）
M0～M2:マルチナンバー発信（マルチナンバー設定時のみ）

リダイヤル詳細画面を表示する	電話番号を選ぶ→□
着信履歴一覧画面に切り替える	□

2 電話番号を選んで電話をかける。

音声電話をかける	□
テレビ電話をかける	□→□
プッシュトークをかける	□(□)

- 表示されている電話番号に発信します。
- 「184」や「186」を付けて電話をかけたときは、別のリダイヤルとして記憶されます。

お知らせ

- リダイヤルの種類は、通話中に音声電話⇔テレビ電話を切り替えても、発信時の種類が表示されます。
- 発着信履歴表示のリダイヤル表示が[OFF]に設定されているときも履歴は記憶されていますが、リダイヤルは表示されません。
- 複数の相手に発信したプッシュトークのリダイヤルを選んだ場合、□(□)または□を押すと全員に発信します。音声電話やテレビ電話をかけることはできません。

お知らせ

サブメニューでできること

● リダイヤル一覧画面や詳細画面でⓂを押すと、サブメニュー画面が表示され、次の操作を選択できます。

リダイヤルのサブメニュー

リダイヤル一覧画面でのメニュー項目	リダイヤル詳細画面でのメニュー項目	内　容
1電話帳登録	1電話帳登録	電話番号を電話帳に登録する。
2削除	2 1件削除	記憶している電話番号を削除する。(☞P.57)
—	3番号通知設定	発信する際の番号の通知／非通知を設定する。
—	4番号付加設定	プレフィックス選択、国際電話発信、付加番号削除を行う。
—	5マルチナンバー選択	マルチナンバーに登録している発信番号を選択する。(☞P.387)
—	6テレビ電話設定	テレビ電話画像設定、通信速度設定を行う。
—	7着もじ	メッセージ作成、メッセージ選択、送信メッセージ履歴表示を行う。
8メール作成	8メール作成	メールを作成する。電話帳にメールアドレスが登録されていない場合は、発信した電話番号が宛先に入力される。
1スケジュール作成	1スケジュール作成	電話番号とリダイヤル日時をスケジュールに登録する。

関連操作

リダイヤルを削除する<削除>

1 待受画面で(□)▶電話番号を選ぶ▶Ⓜ21[1件削除]

● すべてのリダイヤルを削除するとき：Ⓜ22

2 [はい]▶●

お知らせ

リダイヤルの削除について

● 電源を切ってもリダイヤルは削除されません。他の人に見られたくないときは、リダイヤルを削除してください。
● リダイヤルを全件削除すると、着もじの送信メッセージ履歴も削除されます。
● 次の操作を行うと、リダイヤルはすべて削除されます。
  ■ ダイヤル発信制限　■ 電話帳のPIMロック　■ ユーザデータ削除

番号通知／非通知

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

自分の電話番号を相手に「通知する」または「通知しない」を、そのつど選んで発信できます。

■ 発信者番号を通知しないとき

相手先電話番号を入力してⓂ22[番号非通知]を押し、[音声電話]または[テレビ電話]を押す。

■ 発信者番号を通知するとき

相手先電話番号を入力してⓂ21[番号通知]を押し、[音声電話]または[テレビ電話]を押す。

お知らせ

● 電話帳やリダイヤル、着信履歴の詳細画面で、サブメニューを表示して、番号通知／番号非通知を選び電話をかけることもできます。
● 「186」を入力してから相手先番号を入力してⓂ22[番号非通知]を押した場合、発信者番号は通知されます。
● 相手番号を入力し、プレフィックス選択から[186]を付けた場合は発信者番号は通知されます。
● 「184」を入力してから相手先番号を入力してⓂ21[番号通知]を押した場合、発信者番号は通知されません。

次ページへ続く

お知らせ

- 相手番号を入力し、プレフィックス選択から[184]を付けた場合は発信者番号は通知されません。
- 「184」や「186」を付けて電話をかけたときは、別のリダイヤルとして記憶されます。

関連操作

「186」を付けてダイヤルする（発信者番号を通知する）
1 8 6 ▶電話番号▶ [音声電話]／[テレビ電話]

「184」を付けてダイヤルする（発信者番号を通知しない）
1 8 4 ▶電話番号▶ [音声電話]／[テレビ電話]

お知らせ

通話ごとの発信者番号通知について
- ネットワークサービスの発信者番号通知設定にかかわらず有効です。

ポーズダイヤル

プッシュホン信号を手早く送り出す

ポケットベル※の電話番号と送信するメッセージ（番号）や、チケットの予約や銀行の残高照会サービスの電話番号と送信するメッセージ（番号）などの組み合わせを電話帳に登録しておくと、簡単な操作で送信できます。

電話帳にプッシュホン信号を登録する

1 電話帳に電話番号を入力（☞P.110）し、を押して送信する番号を入力する。

- を押すとポーズ[P]が入力されます。
- 番号を入力してから、を押し、さらに番号を追加できます。

2 を押し、電話帳の他の項目を入力する。

- 詳しくは、P.110「基本的な登録のしかた」を参照してください。

プッシュホン信号を利用してメッセージを送る

1 プッシュホン信号を登録した電話帳から電話をかける。

- 詳しくは、P.118～P.120を参照してください。
- 電話がつながると、登録した[P]以降の番号が表示されます。

2 タイミングを合わせて[PB送信]を押す。

- [P]以降の番号がプッシュホン信号で送信されます。
- [P]で区切った複数の番号を登録しているときは、[PB送信]を押すたびに送信されます。
- 受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。

通話中にダイヤルボタンで送信する

通話中にダイヤルボタンを押すと、プッシュホン信号を１つずつ送信できます。

1 電話をかけ、つながったら送信する番号のダイヤルボタンを押す。

- 押したボタンの番号が、プッシュホン信号として送信されます。
- プッシュホン信号でメッセージを送るときは、80桁以上入力できます。（最初に入力した順に消去されます。）

国際電話を利用する

ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」

WORLD CALLは、ドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時に併せて「WORLD CALL」もご契約いただいています。
（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます。）

［通話方法］　009130 ➡ 010 ➡ 国番号 ➡ 地域番号（市外局番）➡ 相手先電話番号 ➡ [発信]

※ 上記の操作方法を、FOMA端末の電話帳に登録できます。
※ 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。
（ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は、「0」が必要です。）

- 通話先は世界約240の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月の携帯電話の通話料金と合わせてご請求いたします。
- 申込手数料・月額使用料は無料です。
- WORLD CALLをご利用された場合は、直前の通話時間の概算がFOMA端末の画面で確認できます。（☞P.370）
- 電話帳、着信履歴、リダイヤルを利用するときは、「009130010」を自動的に付加して電話をかけることができます。
- 国際電話ダイヤル手順の変更について
携帯電話などの移動体通信は、「マイライン」サービスの対象外であるため、WORLD CALLについても「マイライン」サービスをご利用いただけませんが、「マイライン」サービスの導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順（上記ダイヤル手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんので、ご注意ください。
- WORLD CALLについては、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になる場合は、各国際電話サービス会社に直接、お問い合わせください。
- 一部ご利用できない料金プランがあります。

海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様に対し、上記ダイヤル方法のあとにテレビ電話モードで発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモのホームページをご覧ください。
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合がございます。

簡単な方法で国際電話をかける<プレフィックス選択>

お買い上げ時
［009130-010］

国番号、地域番号（市外局番）、相手先電話番号のみを入力して、国際電話をかけることができます。

1 待受画面で国番号、地域番号（市外局番）、相手先電話番号を入力し、[カメラ][3][1]［プレフィックス選択］を押す。

2 [1]［**009130-010**］を押し、[発信]を押す。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になる場合は、あらかじめプレフィックス設定で登録したうえで選択します。
- 入力した電話番号に発信します。

※2001年１月から、ドコモのポケットベルは、「クイックキャスト」に名称が変わりました。

プレフィックス設定をする<プレフィックス設定>

国際電話用の付加番号を最大５件まで登録できます。電話帳、着信履歴、リダイヤル、光るワンタッチキーからの発信時に付加されます。

1 待受画面で■691を押し、新規に登録する[-------------------]を選んで■を押す。

● 詳細メニューから✕（設定）→[通話・通信機能設定]→[その他の設定]→[プレフィックス設定]の順に選択することもできます。

すでに登録されている番号を変更する	番号を選ぶ→■→1
すでに登録されている番号を削除する	番号を選ぶ→■→2→[はい]→■

2 付加番号を入力して■を押す。

● 0を１秒以上押すと[+]を入力できます。
● 最大16桁まで入力できます。
● ダイヤル発信制限中（☞P.164）には、番号の登録や変更、削除はできません。

お知らせ

● **設定リセット**を行うと、付加番号は[009130-010]のみになります。

関連操作

電話帳から発信する
電話帳の詳細画面で📷421▶付加番号を選ぶ▶■▶発信

着信履歴やリダイヤルから発信する
着信履歴、リダイヤルの詳細画面で📷41▶付加番号を選ぶ▶■▶発信

光るワンタッチキーから発信する
光るワンタッチキーからの発信画面で📷31▶付加番号を選ぶ▶■▶発信

WORLD CALL以外の番号を設定する<国際電話設定>

お買い上げ時
WORLD CALL [009130-010]

国際電話番号の名称と番号を最大10件登録できます。

1 待受画面で■6932を押し、新規に登録する[-------------------]を選んで■を押す。

● 詳細メニューから✕（設定）→[通話・通信機能設定]→[その他の設定]→[国際ダイヤル設定]→[国際電話設定]の順に選択することもできます。

すでに登録されている番号を変更する	番号を選ぶ→■→1
すでに登録されている番号を削除する	番号を選ぶ→■→2→[はい]→■
登録した番号を自動付加対象に設定する	番号を選ぶ→■→3 ● 名称の右に[Ⓐ]が表示されます。 ● 自動付加を解除するときは、再び同様の操作を行います。

2 名称を入力して■を押す。

● 最大半角14文字まで入力できます。

3 付加番号を入力して■を押す。

● 0を１秒以上押すと[+]を入力できます。
● 最大16桁まで入力できます。
● ダイヤル発信制限中（☞P.164）には、番号の登録や変更、削除はできません。

お知らせ

- 設定リセットを行うと、付加番号は[009130-010]のみになります。

■ 国際電話番号を付けて国際電話をかける<国際電話発信>

1 待受画面で国番号、地域番号（市外局番）、相手先電話番号を入力し、[カメラ][3][2][国際電話発信]を押す。

2 付加番号を選んで[■]を押し、[発信]を押す。
- 付加した番号を削除するときは、[カメラ][3][3]を押します。

国際電話番号を自動的に付加する<自動付加設定>

お買い上げ時
自動付加

国際電話設定で自動付加対象に設定した番号を、国際電話発信時に自動的に付加するかどうかを設定します。

1 待受画面で[■][6][9][3][1]を押し、[1][自動付加]を押す。
- 詳細メニューから✕（設定）→[通話・通信機能設定]→[その他の設定]→[国際ダイヤル設定]→[自動付加設定]の順に選択することもできます。

■ 自動付加を設定すると

先頭に[+]を入力してダイヤルすると、国際電話番号を自動付加して発信します。
- [0]を1秒以上押すと[+]を入力できます。

1 待受画面で[+]、国番号、地域番号（市外局番）、相手先電話番号を入力し、[発信]を押す。

2 [はい]を選んで[■]を押す。
- 国際電話を発信します。

サブアドレス設定

サブアドレスを指定して電話をかける

お買い上げ時
ON

サブアドレスを指定して電話をかけられるように設定します。サブアドレスを使用すると、ISDN端末に電話をかけるときに、特定の端末を呼び出すことができます。
- サブアドレスとは、1つのISDN回線に接続された複数のISDN端末を呼び分けるために付けられた番号です。Vライブでコンテンツを選択するときにも利用します。

1 待受画面で[■][6][9][2]を押し、[1][ON]を押す。
- 詳細メニューから✕（設定）→[通話・通信機能設定]→[その他の設定]→[サブアドレス設定]の順に選択することもできます。
- サブアドレスが指定可能になります。

■ サブアドレスを指定して電話をかける

- 電話番号とサブアドレスは相手にお問い合わせください。

1 待受画面で電話番号、[＊]、サブアドレスの順にダイヤルし、[発信]を押す。

お知らせ

- 電話番号の先頭に「¥」を入力したり、「184」、「186」、プレフィックス設定で付加された番号のあとに「¥」を入力すると、「¥」以降は電話番号とみなされます。

再接続機能

途切れた通話を自動的に再接続する

お買い上げ時
アラームあり(高音)

トンネルやビルの陰などでは一時的に電波の状態が悪くなり、通話が途切れることがあります。すぐに電波状態がよくなった場合に自動的に再接続して、通話を継続できるようにします。再接続時はアラーム音でお知らせします。

- アラーム音は、[アラームあり(高音)]、[アラームあり(低音)]、[アラームなし]から選ぶことができます。
- 再接続機能はテレビ電話中・プッシュトーク通信中も有効です。

1 待受画面で■ 6 1 2を押し、アラーム音を選ぶ。

- 詳細メニューから✕(設定)→[通話・通信機能設定]→[通話中設定]→[再接続機能]の順に選択することもできます。

アラーム音(高音)を鳴らす	1
アラーム音(低音)を鳴らす	2
アラーム音を鳴らさない	3

お知らせ

- 電波の状態により再接続可能な時間は異なります。目安は約10秒間です。
- 再接続されるまでの間(最長10秒間)、相手は無音状態になります。また、この間も通話料金がかかります。

ノイズキャンセラ

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする

お買い上げ時
ON

1 待受画面で■ 6 1 1を押し、1 [ON]を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[通話・通信機能設定]→[通話中設定]→[ノイズキャンセラ]の順に選択することもできます。

お知らせ

- 通常は、[ON]でのご使用をおすすめします。
- ノイズキャンセラでは、通話を明瞭にするために音声の加工処理をしています。周囲のノイズ状態や、話しかたにより、音声の聞こえかたが変わることがあります。
- ノイズキャンセラはテレビ電話中も有効です。

車載ハンズフリー

車の中で手を使わずに話す

FOMA端末を車載ハンズフリーキット01(別売)やカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。
ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。なお、車載ハンズフリーキット01(別売)をご利用時には、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル01(別売)が必要です。

お知らせ

- 着信時の画面表示や着信音などの動作、公共モード(ドライブモード)設定中の着信動作は、FOMA端末の設定に従います。
- ハンズフリー対応機器から音を鳴らすように設定している場合、FOMA端末でマナーモード中や着信音量を[サイレント]に設定していても、電話の着信時にハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
- ハンズフリー対応機器から電話帳やリダイヤルを利用してテレビ電話をかけた場合、ハンズフリー対応機器からの通信速度設定に従います。設定していない場合は、64Kでテレビ電話を発信します。
- ハンズフリー対応機器からテレビ電話をかけたり受けたりする場合、相手には代替画像が送信されます。

お知らせ

- FOMA端末から音を鳴らすように設定している場合、通話中にFOMA端末を閉じたときは**クローズ動作設定**に従います。ハンズフリー対応機器から音を鳴らすように設定している場合は、クローズ動作設定にかかわらずFOMA端末を閉じても通話は継続されます。
- **伝言メモ**設定中は、ハンズフリー対応機器と接続中でも伝言メモの設定に従います。
- ハンズフリー対応機器の特性や仕様によっては、FOMA端末の一部の通話操作ができないことがあります。

電話を受ける

音声電話の着信は、着信音、着信ランプ、バイブレータなどで確認できます。

1 音声電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する。

メインディスプレイ

ドコモ太郎

サブディスプレイ

電話帳に名前と静止画を登録している場合

- 発信者番号が通知されたときは、電話番号が表示されます。電話帳に相手の名前と電話番号が登録されているときは、名前も併せて表示されます。
- 電話帳にピクチャーコール（静止画または動画／ｉモーション）が設定されているときは（☞P.112）、名前や電話番号に加えて、設定された画像が表示されます。（音声電話着信音にｉモーションを設定した場合は、音声電話着信音の画像が優先されます。）発信者番号が通知されないときは、表示されません。
- 光るワンタッチキーに登録した相手から電話がかかってきた場合、対応するボタンが点滅します。点滅しているボタンを押して電話に出ることができます。

メインディスプレイ

ドコモ太郎
緊急です

サブディスプレイ

着もじを受信した場合

- 着もじを受信したときは、メッセージが表示されます。（☞P.54）
- 発信者番号が通知されないときは、非通知理由のメッセージが表示されます。
  [非通知設定]、[公衆電話]、[通知不可能]（☞P.170）
- 着信中に着信音やバイブレータを止めたいときは、[#]を押します。（クイックサイレント）

2 [☎]を押す。

- 相手と通話できます。
- エニーキーアンサーが[ON]に設定されている場合、[☎HLD/PWR][📷][#]以外のボタンで、電話を受けることができます。（☞P.65）

3 通話が終わったら[☎HLD/PWR]を押す。

お知らせ

- ビル電話などダイヤル市外通話のできない電話機から、FOMA端末へ電話をかけることはできません。
- 電話帳に登録されていない相手や電話番号を通知してこない相手から着信があったときに、設定した秒数後に着信音が鳴るようにできる**呼出動作開始時間設定**や、電話帳に登録されていない相手からの電話をつながらないように設定できる**電話帳登録外着信拒否**を設定することもできます。
- 特定の電話帳をリストに登録して、**着信拒否**／**着信許可**を設定することもできます。
- **留守番電話サービス**の**着信通知**を利用すると、FOMA端末の電源が入っていないときや圏外のときに着信があった場合、再び電源を入れたときや圏内になったときに着信があったことを知らせるSMSを受信します。その場合は電話帳に登録されている相手からの着信のときは、本文に名前が表示されます。

次ページへ続く

お知らせ

- プッシュトーク通信中に音声電話がかかってきたとき、PT通信中着信設定を[通常着信]に設定している場合は、[キー]を押して音声電話に出ることができます。

通話中に「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえたとき

- 留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンのいずれかをご契約いただき、留守番電話サービスと転送でんわサービスは通話中着信設定を[開始]に設定し、着信動作選択を[通常着信]に設定すると、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえ、以下の動作が可能です。
  - ■ 留守番電話サービス ....着信中に[キー][3][留守転送]を押して留守番電話サービスセンターへ転送できます。(☞P.378)
  - ■ 転送でんわサービス ....着信中に[キー][2][着信転送]を押して登録転送先へ転送できます。(☞P.381)
  - ■ キャッチホン ....通話中の電話を保留にし、かかってきた電話に応答できます。(☞P.380)

着信中のボタン操作

スタイル	応答保留(☞P.68)	クイックサイレント(☞P.136)	伝言メモ応答(☞P.76)	伝言メモ録音／着信転送／留守転送／着信拒否	マナーモード設定(☞P.135)
開いているとき	[キー]	[#]	[キー](1秒以上)	[キー]	[#](1秒以上)
閉じているとき	−	[キー]([キー])	−	−	[キー]([キー])(1秒以上)

編集中に電話がかかってきたとき

- 電話帳や送信メッセージ(ｉモードメール／SMS)などの編集中に、電話の着信があると、編集はいったん中断されます。このとき、編集中のデータは自動保存され、通話が終わったあと、着信前の画面に戻り編集を続けることができます。ただし、変換途中で確定前の文字については、正しく保存されていない場合がありますので、ご注意ください。
- 編集画面に戻ったときに[キー]を押すと、[編集中の内容が失われます　終了しますか？]と表示されます。[はい]を選んで[■]を押すと、待受画面に戻り、編集中のデータは削除されます。
- 着もじメッセージの入力/選択中や発信前に着信やアラームが動作すると、着もじの操作はクリアされます。

登録しているマルチナンバーに着信があると

- 着信した番号に応じて[着信中]の文字の右にマルチナンバーの名称が表示されます。

音声電話からテレビ電話に切り替えて電話を受ける

相手(発信側)の操作で音声電話⇔テレビ電話を切り替えます。

- 自分(着信側)から切り替えることはできません。(音声電話⇔テレビ電話切り替え対応機種にてご利用いただけます。)
- 自分のFOMA端末のテレビ電話切替機能通知(☞P.95)を[開始]に設定しておく必要があります。

1 音声電話の通話中に相手がテレビ電話に切り替える。

- 音声ガイダンスが流れたあと、左の画面が表示されます。
- テレビ電話中に相手が音声電話に切り替えたときは、音声ガイダンスが流れたあと音声電話に切り替わります。

2 [はい]を選んで[■]を押す。

- 自分側のカメラ映像が送信されます。
- [いいえ]を選ぶと、自分側のカメラ映像は送信されません。相手側の画面には、[カメラオフ]と表示されます。

お知らせ

- 切り替えには、約５秒かかります。切り替え中は、右の画面が表示されます。電波状況によっては、切り替えに時間がかかる場合があります。
- パケット通信中の場合は、切り替えできません。
- 電波状況によっては、音声電話からテレビ電話に切り替わらず、接続が切れる場合があります。
- テレビ電話から音声電話へ切り替えて電話を受ける方法については、P.87を参照してください。

エニーキーアンサー

ダイヤルボタンを押して電話に出られるようにする

お買い上げ時
ON

[0]、[*]、[1]～[9]のボタンを押しても、音声電話やプッシュトークを受けることができるように設定します。

- 音声電話は、[■][○][ ][ ][ ][CLR][MULTI]でも電話を受けることができます。
- プッシュトークは、[ ][ ][ ][ ][CLR][MULTI]でも電話を受けることができます。
- テレビ電話を[ ]や[ ]以外のボタンで受けることはできません。
- 光るワンタッチキー(☞P.150)に登録した相手からの電話またはテレビ電話は、エニーキーアンサーが[OFF]でも、点滅しているワンタッチキーを押して受けることができます。

1 待受画面で[■][6][3][1]を押し、[1][ON]を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[通話・通信機能設定]→[着信時設定]→[エニーキーアンサー]の順に選択することもできます。

クローズ動作設定

FOMA端末を閉じて通話を終了／保留する

お買い上げ時
音声電話、テレビ電話:終話
プッシュトーク:スピーカ通話

通話中にFOMA端末を閉じたときの動作を設定できます。

- 音声電話、テレビ電話の場合は、[保留](保留音を流す)、[終話](通話を終了する)、[ミュート](保留音を流さずに通話を保留する)のいずれかを選択できます。
- プッシュトークの場合は、[終話]、[スピーカ通話](相手の声をスピーカから聞こえるようにする)のいずれかを選択できます。ただし、発信中の場合は、設定によらず[終話]となります。

1 待受画面で[■][6][7]を押し、クローズ動作を選ぶ。

- 詳細メニューから✕(設定)→[通話・通信機能設定]→[クローズ動作設定]の順に選択することもできます。

音声電話、テレビ電話	[1]→[1]	閉じたときに保留する
	[1]→[2]	閉じたときに通話を終了する
	[1]→[3]	閉じたときにミュートする
プッシュトーク	[2]→[1]	閉じたときに通信を終了する
	[2]→[2]	閉じたときに相手の声がスピーカから聞こえるようにする

お知らせ

- [保留]に設定しているときは、保留音が流れます。保留音は変更(☞P.69)できます。テレビ電話の場合、相手には保留画像設定で設定した画像が送信されます。
- [ミュート]に設定しているときは、保留音は鳴りません。テレビ電話の場合、代替画像設定で静止画を設定したときは、相手には設定した静止画が送信されます。キャラ電を設定したときは、相手には現在設定中のキャラ電が送信されます。
- [保留]または[ミュート]に設定している場合、再び通話するときは、FOMA端末を開きます。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)などを接続しているときは、[保留]、[ミュート]、[終話]の設定にかかわらず、FOMA端末を閉じても通話が継続されます。
  ※ テレビ電話の場合、代替画像設定で設定した代替画像が相手に送信されます。そのあと、FOMA端末を開くとカメラ画像が相手側に送信されます。(☞P.90)
- 音声電話／テレビ電話の場合、FOMA端末を閉じた状態でイヤホンマイクを抜くと、[ミュート]、[終話]に設定中はミュート状態になり、[保留]に設定中は保留状態になります。再びイヤホンマイクを接続するか、FOMA端末を開くと、通話できます。プッシュトークの場合、FOMA端末を閉じた状態でイヤホンマイクを抜くと[終話]に設定しているときは終話、[スピーカ通話]に設定しているときはスピーカ通話となります。
- プッシュトークの場合、[スピーカ通話]に設定しているときは、FOMA端末を開くと閉じる前の通信状態に戻ります。

着信履歴を利用する

かかってきた電話の履歴(着信履歴)は、最後にかかってきた電話番号から最大30件(プッシュトークを含む)までFOMA端末に記憶されます。
● 記憶できる件数を超えたときは、古い電話番号から順に削除されます。

着信履歴で電話をかける

1 待受画面で[ ]( )を押す。

着信履歴一覧画面

● 電話番号と日時が、新しい順に一覧表示されます。
● 電話帳に登録しているときは、名前が表示されます。電話帳に同じ電話番号が重複して登録されているときは、メモリ番号の若い方の名前が表示されます。

履歴の種類
:電話に出たものや、応答保留したもの
:伝言メモで用件録音されたもの
:電話に応答しなかったもの、転送先や留守番電話サービスセンターに転送したもの、電話帳指定着信拒否(☞P.168)、電話帳指定着信許可(☞P.167)、電話帳登録外着信拒否(☞P.171)、非通知理由別着信拒否(☞P.170)、公共モード(ドライブモード)(☞P.70)の設定により着信が拒否されたもの

電話の種類
:テレビ電話　:64Kデータ通信　:国際電話　表示なし:音声電話
:着もじ
:プッシュトーク(1対1の通信)　:プッシュトーク(1対多の通信)
NW:プッシュトーク(プッシュトークプラス利用)
M0〜M2:マルチナンバー着信(マルチナンバー設定時のみ)

待受画面に[着信あり]と表示されているとき(不在着信)	待受画面で[●]→[着信あり]を選ぶ→[●] ● 最新の着信履歴が表示されます。(☞P.72)
着信履歴詳細画面を表示する	電話番号を選ぶ→[●]
リダイヤル一覧画面に切り替える	[ ]

2 電話番号を選んで電話をかける。

音声電話をかける	[ ]
テレビ電話をかける	[●]→[ ]
プッシュトークをかける	[ ]( )

● 表示されている電話番号に発信します。

お知らせ

● 着信履歴の電話の種類は、通話中に音声電話⇔テレビ電話を切り替えても、応答時の種類が表示されます。
● ダイヤル発信制限中は、着信履歴から電話をかけることができません。
● 複数の相手に発信されたプッシュトークの着信履歴を選んだ場合、音声電話やテレビ電話をかけることはできません。
● 電話帳のPIMロック中は、電話番号のみ表示されます。PIMロックを解除すると、電話帳に登録されている名前が表示されます。
● 呼出動作開始時間設定が[ON]で、不在着信履歴表示が[OFF]に設定されているときに電話がかかってきた場合、呼出動作開始時間内に電話が切断されたり、電波の状況が悪いために切断されると、着信履歴には表示されません。ただし、着信履歴一覧画面で[ ][ ][2][1][全表示]を押して全表示を行うと、このような場合の着信履歴も表示されます。
● 電話に出られなかった場合は、着信履歴詳細画面で[ ][ ][2][2][呼出時間表示]を押すと、かかってきた電話の呼出時間を表示できます。呼出時間は電話帳指定着信拒否、電話帳指定着信許可、電話帳登録外着信拒否、非通知理由別着信拒否、公共モード(ドライブモード)の設定により着信が拒否された場合は[0:00]と表示されます。
なお、[ ]が表示されているもの(かかってきた電話に出たものや、応答保留中に切断されたり切断したもの)については呼出時間が表示されません。

お知らせ

- ダイヤルインをご利用の相手からの着信の場合、相手のダイヤルイン番号とは異なる番号が表示される場合があります。
- 発着信履歴表示の着信履歴表示が[OFF]に設定されているときも履歴は記憶されていますが、着信履歴は表示されません。
- 着信履歴一覧画面で[i]を押すと、メール受信履歴一覧画面が表示されます。
  画面の見かた、メール受信履歴の利用のしかたについては、P.251を参照してください。
- 着もじの着信履歴から発信しても、受信した着もじは送信されません。
- 着もじを受信した着信履歴の場合、着信履歴詳細画面にメッセージの内容が表示されます。

サブメニューでできること

- 着信履歴の一覧画面や詳細画面で[◎]を押すと、サブメニュー画面が表示され、次の操作を選択できます。

着信履歴のサブメニュー

着信履歴一覧画面でのメニュー項目	着信履歴詳細画面でのメニュー項目	内容
1電話帳登録	1電話帳登録	電話番号を電話帳に登録する。
2削除	2 1件削除	記憶している電話番号を削除する。
—	3番号通知設定	発信する際の番号の通知/非通知を設定する。
—	4番号付加設定	プレフィックス選択、国際電話発信、付加番号削除を行う。
—	5マルチナンバー選択	マルチナンバーに登録している発信番号を選択する。(☞P.387)
—	6テレビ電話設定	テレビ電話画像設定、通信速度設定を行う。
—	7着もじ	メッセージ作成、メッセージ選択、送信メッセージ履歴表示を行う。
8メール作成	8メール作成	メールを作成する。電話帳にメールアドレスが登録されていない場合は、着信した電話番号が宛先に入力される。
[□]1スケジュール作成	[□]1スケジュール作成	電話番号と着信日時をスケジュールに登録する。
[□]2表示設定	[□]2表示設定	全表示/限定表示、呼出時間表示を行う。 ※ 着信履歴一覧画面の場合、呼出動作開始時間設定が[ON]で、不在着信履歴表示が[OFF]に設定されているときに電話帳に登録されていない番号からかかってきた電話が呼出動作開始時間内に切れたり、転送などされたときに表示されます。 ※ 着信履歴詳細画面の場合、電話に出た場合は表示されません。

関 連 操 作

着信履歴を削除する<削除>

1 待受画面で[□]([→□])▶電話番号を選ぶ▶[◎][2][1][1件削除]

- すべての着信履歴を削除するとき:[◎][2][2]

2 [はい]▶[■]

お知らせ

着信履歴の削除について

- 電源を切っても着信履歴は削除されません。他の人に見られたくないときは、着信履歴を削除してください。
- 次の操作を行うと、着信履歴はすべて削除されます。
  - ■ ダイヤル発信制限
  - ■ 電話帳のPIMロック
  - ■ ユーザデータ削除

受話音量

通話中に相手の声の音量を調節する

お買い上げ時
音量5

通話中に相手の声の大きさを10段階で調節できます。

● 待受中の受話音量調節については、P.131を参照してください。

1 通話中に［上］または［下］を押す。

受話音量調節画面

● ［▲］／［▼］を押しても、受話音量を調節することができます。

2 ［上］（上げる）／［下］（下げる）を押して音量を調節する。

● 音量調整後、［■］／［CLR］を押す、または、約2秒経過すると元の画面に戻ります。

お知らせ

● 通話中や待受中に調節した音量は、電源を切ったり、電池パックを取り外しても保持されます。

応答保留

すぐに電話に出られないときに保留にする

かかってきた電話にすぐに出られないときは、保留にできます。

● 応答保留中も、相手に通話料金がかかります。

1 着信音が鳴っている間に［HLD PWR］を押す。

● かけてきた相手には、応答保留音が流れ、電話はつながった状態のまま保留されます。
● 応答保留中に電話を切るときは、［HLD PWR］を押します。（着信履歴に記憶されます。）
● 応答保留中に相手が電話を切ったときも着信履歴に記憶されます。

2 電話に出られるようになったら、［通話］を押す。

お知らせ

● **転送でんわサービス**や**留守番電話サービス**をご契約されている場合は、着信中に［カメラ］［2ABC］［着信転送］または［カメラ］［3DEF］［留守転送］で、転送先への転送や留守番電話サービスセンターへの接続ができます。

応答保留音を設定する

お買い上げ時
応答保留音１

応答保留中に相手へ流れるガイダンスを設定します。

- ［応答保留音１］（日本語）と［応答保留音２］（英語）、または録音した音声メモを選択できます。
  応答保留音１…ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。
  応答保留音２…I can't take your call now. Please hold the line for a moment or call me back later, thank you.

1 待受画面で■ 1 8 1を押し、応答保留音を選ぶ。

- 詳細メニューから✕（設定）→［音］→［保留・応答保留音］→［応答保留音］の順に選択することもできます。

日本語のガイダンスを設定する	1
英語のガイダンスを設定する	2
音声メモを録音してから設定する	3 1→録音する→ ■→2［再生］→メモを選ぶ→▯
録音した待受中音声メモを設定する	3 2→メモを選ぶ→▯
音声メモにPIMロックを設定する	3 3→端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力→■→1 ● PIMロックを解除するとき：2

- ［応答保留音１］または［応答保留音２］を選んで▯を押すと、応答保留音が再生されます。もう一度▯を押すと再生が停止され、元の画面に戻ります。

お知らせ

- 録音した音声メモを応答保留音に設定している場合、設定した音声メモを削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。

通話保留音を設定する

お買い上げ時
保留メロディ１

通話を保留中に相手へ流れる保留音を設定します。

- ［保留メロディ１］、［保留メロディ２］、または録音した音声メモを選択できます。
- 通話中の保留音は受話音量と同じ音量で流れます。

1 待受画面で■ 1 8 2を押し、保留音を選ぶ。

- 詳細メニューから✕（設定）→［音］→［保留・応答保留音］→［保留音］の順に選択することもできます。

保留メロディ１にする	1
保留メロディ２にする	2
音声メモを録音してから設定する	3 1→録音する→■→2［再生］→メモを選ぶ→▯
録音した待受中音声メモを設定する	3 2→メモを選ぶ→▯
音声メモにPIMロックを設定する	3 3→端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力→■→1 ● PIMロックを解除するとき：2

- ［保留メロディ１］または［保留メロディ２］を選んで▯を押すと、保留音が再生されます。もう一度▯を押すと再生が停止され、元の画面に戻ります。

お知らせ

- 録音した音声メモを保留音に設定している場合、設定した音声メモを削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。

公共モード(ドライブモード)を利用する

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードを設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所(電車、バス、映画館など)にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

- 公共モードの設定/解除は、待受中のみできます。(画面に[圏外]が表示されているときでも可能です。)
- 公共モード設定中でも、通常どおり電話をかけることができます。
- 本機能は、データ通信時はご利用できません。
- 番号通知お願いサービスを[開始]に設定中に[非通知設定]の着信をした場合、番号通知お願いガイダンスが流れます。(公共モードのガイダンスは流れません。)

1 待受画面で[＊]を1秒以上押す。
- 公共モードが設定され、[🚗]が表示されます。
- 着信時に、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れます。
- マナーモードを同時設定しているときは、公共モードの設定が優先されます。

公共モード(ドライブモード)を解除する

1 待受画面で[＊]を1秒以上押す。
- 公共モードが解除され、[🚗]が消えます。

■ 公共モード(ドライブモード)を設定すると

お客様のFOMA端末に音声電話やテレビ電話、プッシュトークがかかってきても、着信音は鳴りません。ディスプレイには[着信あり]と表示され、着信履歴に記憶されます。(☞P.66)

- 音声電話をかけてきた相手の方には、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。テレビ電話をかけてきた相手の方には、公共モードの映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。ただし、電源が入っていない場合や電波が届かないところにいる場合は、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスは流れず、圏外時と同じガイダンスが流れます。
- iモードメール、SMSやメッセージR/Fは、着信バイブレータを設定しても振動しません。また、着信音も鳴りませんが自動的に受信し着信のマークが表示されます。
- データ通信を着信したときも着信バイブレータ・着信音・着信ランプは動作しません。
- プッシュトークを着信した場合は応答を行なわず、発信者のディスプレイには[接続できませんでした]と表示されます。3人以上の会話では、参加メンバーに対して、運転中であることが伝わります。

■ 公共モード(ドライブモード)設定中の着信と各サービスとの関係

サービス名	音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
留守番電話サービス(☞P.378)	着信音は鳴らず、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため留守番電話サービスに接続する旨のガイダンスが流れ、自動的に留守番電話サービスセンターに接続されます。着信履歴には記憶されます。※1	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されず、留守番電話サービスセンターに接続されます。
転送でんわサービス(☞P.381)	接続されず、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため転送する旨のガイダンスが流れ、指定した転送先に転送されます。着信履歴には記憶されます。※2	接続されず、すぐに転送されます。ただし、転送先が3G-324M(☞P.80)に準拠したテレビ電話以外の場合は切断されます。着信履歴には記憶されます。
キャッチホン(☞P.380)	着信音は鳴らず、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。着信履歴には記憶されます。	着信音は鳴らず、公共モードの映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。着信履歴には記憶されます。
迷惑電話ストップサービス(拒否登録した電話番号から着信した場合)(☞P.383)	接続されず、相手に接続できなかった旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。着信履歴にも記憶されません。	相手に接続できなかった旨の映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。着信履歴にも記憶されません。

サービス名		音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
番号通知お願いサービス（☞P.384）	電話番号を通知していない場合	接続されず、番号通知お願いのガイダンスが流れ、通話を終了します。着信履歴にも記憶されません。	番号通知お願いの映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。着信履歴にも記憶されません。
	電話番号を通知している場合	着信音は鳴らず、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。着信履歴には記憶されます。	公共モードの映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。着信履歴には記憶されます。

※１ 留守番電話サービスの呼出時間を［０秒］に設定している場合は、ガイダンスは流れず、すぐに留守番電話サービスセンターに接続されます。着信履歴にも記憶されません。
※２ 転送でんわサービスの呼出時間を［０秒］に設定している場合は、ガイダンスは流れず、すぐに転送されます。着信履歴にも記憶されません。

お知らせ

● 公共モード設定中にアラーム時刻になっても、アラーム音は鳴りません。着信ランプ、バイブレータ、サブディスプレイも動作しません。

公共モード（電源OFF）

公共モード（電源OFF）を利用する

公共モード（電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（電源OFF）を設定すると、電源をOFFにしている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

1 待受画面で［＊］［2］［5］［2］［5］［1］［発信］を押す。

● 公共モード（電源OFF）が設定されます。（待受画面上の変化はありません。）
● 公共モード（電源OFF）設定後、電源を切った際の着信時に、携帯電話の電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れます。

公共モード（電源OFF）を解除する

1 待受画面で［＊］［2］［5］［2］［5］［0］［発信］を押す。

● 公共モード（電源OFF）が解除されます。

公共モード（電源OFF）の設定を確認する

1 待受画面で［＊］［2］［5］［2］［5］［9］［発信］を押す。

● 現在の設定状況を確認できます。

公共モード（電源OFF）を設定すると

公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源をONにするだけでは設定は解除されません。サービスエリア外または電波が届かないところにいる場合も、公共モード（電源OFF）ガイダンスが流れます。電話をかけてきた相手には電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。プッシュトークを着信した場合は応答を行なわず、発信者のディスプレイには［接続できませんでした］と表示されます。３人以上の会話では、参加メンバーに対して、不参加であることが伝わります。

■ 公共モード（電源OFF）に設定中の着信と各サービスとの関係

<table>
<tr><th colspan="2">サービス名</th><th>音声電話を着信した場合</th><th>テレビ電話を着信した場合</th></tr>
<tr><td colspan="2">留守番電話サービス
（☞P.378）</td><td>携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため留守番電話サービスセンターに接続する旨のガイダンスが流れ、自動的に留守番電話サービスセンターに接続されます。</td><td>相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されず、留守番電話サービスセンターに接続されます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">転送でんわサービス
（☞P.381）</td><td>携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため転送する旨のガイダンスが流れ、指定した転送先に転送されます。公共モード（電源OFF）のガイダンスは、転送でんわサービスのガイダンス有無設定に従います。（☞P.382）</td><td>公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスは流れず、すぐに転送されます。転送先がテレビ電話に対応していない電話機の場合は、転送されずに切断されます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">迷惑電話ストップサービス
（拒否登録した電話番号から着信した場合）（☞P.383）</td><td>相手に接続できなかった旨のガイダンスが流れたあと、切断されます。</td><td>相手に接続できなかった旨の映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">番号通知お願いサービス
（☞P.384）</td><td>電話番号を通知していない場合</td><td>番号通知お願いのガイダンスが流れたあと、切断されます。</td><td>番号通知お願いの映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。</td></tr>
<tr><td>電話番号を通知している場合</td><td>公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れたあと、切断されます。</td><td>公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。</td></tr>
</table>

不在着信

不在着信を確認する

かかってきた電話に出られなかったとき、待受画面には［着信あり］と着信件数が表示されます。（不在着信表示）

● 不在着信を確認するか、[CLR]を１秒以上押すと、［着信あり］の表示が消えます。

メインディスプレイ

サブディスプレイ

1 待受画面に［着信あり］が表示されているときに、[■]を押す。

● [ ]（✚[ ]）を押しても、着信履歴を確認できます。（☞P.66）

2 ［☎着信あり］を選んで[■]を押す。

● 不在着信には［☎］が表示されます。

3 電話番号を選んで[■]を押す。

● 不在着信の内容が表示されます。

● 着信履歴と同様の操作で、電話をかけたり、他の着信履歴を確認できます。

不在着信をランプで確認する<着信お知らせ設定>

お買い上げ時
ON

FOMA端末を閉じているときやディスプレイの表示が消えているとき（省電力モード中）に不在着信や新着メールがあると、ランプを点滅してお知らせします。

1 待受画面で■27を押し、1[ON]を押す。

● 詳細メニューから✕（設定）→[表示]→[着信お知らせ設定]の順に選択することもできます。

お知らせ

● オールロック中は、確認できません。

伝言メモ

電話に出られないときに用件を録音する

伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときにFOMA端末が応答して伝言を預かることができます。音声電話がかかってきた場合は、音声ガイダンスを流して相手の用件を録音します。テレビ電話がかかってきた場合は、応答画像で応対して相手の画像と音声を録画します。

● 伝言メモはFOMA端末の電源が切れていたり、電波の届かない場所にいるときには使用できません。ネットワークサービスの留守番電話サービスを併せてご利用になると便利です。
● 音声伝言メモは３件（１件あたり約15秒）まで録音できます。通話中音声メモや待受中音声メモを録音したときは、それらの件数も含めて３件です。
● テレビ電話伝言メモは２件（１件あたり約15秒）まで録画できます。
● 待受画面に表示される伝言メモの件数は、音声伝言メモとテレビ電話伝言メモの合計です。
● 伝言メモ／音声メモをPIMロックしている場合は、伝言メモを設定していても録音されません。

伝言メモを設定する<伝言メモ設定>

1 待受画面で■651を押し、1[ON]を押す。

伝言メモ表示

● 詳細メニューから✕（設定）→[通話・通信機能設定]→[伝言メモ設定]→[伝言メモ設定]の順に選択することもできます。
● 伝言メモが設定されます。☎を押すと待受画面に戻り[■]が表示されます。
● 伝言があると、[■]（１件の場合）[■]（２件の場合）…のように件数を表すマークが表示されます。５件目が録音されると、[■]は自動的に消えます。
● [音声伝言メモがすでに３件録音されています]と表示されたときは、音声伝言メモ３件、テレビ電話伝言メモ２件未満、録音済みです。
● [テレビ電話伝言メモがすでに２件録画されています]と表示されたときは、音声伝言メモ３件未満、テレビ電話伝言メモ２件録音済みです。
● [これ以上録音できません]と表示されたときは、音声伝言メモ３件、テレビ電話伝言メモ２件録音済みです。不要な伝言メモを削除してからやり直してください。（☞P.77）

お知らせ

● 留守番電話サービスを利用すると、１件あたり３分間、20件まで録音できます。設定しているときは、音声伝言メモが３件録音されていても留守番電話サービスセンターで用件をお預かりします。
● 通話中音声メモ、待受中音声メモについては、P.369を参照してください。

伝言メモを解除する

1 待受画面で■651を押し、2[OFF]を押す。

● 伝言メモが解除されます。☎を押すと待受画面に戻り[■]が消えます。
● マナーモード設定時の伝言メモの設定／解除は、マナーモード設定（☞P.135）で行ってください。

伝言メモを設定したときは

1 電話がかかってくると、伝言応答時間（☞P.75）のあとに伝言メモが応答する。

伝言メモ応答中

メインディスプレイ　サブディスプレイ

音声電話伝言メモ応答中

テレビ電話伝言メ

メインディスプレイ　サブディスプレイ

テレビ電話伝言メモ応答中

- 音声電話をかけてきた相手には、音声ガイダンスが流れます。
- テレビ電話がかかってきたときは、[伝言メモ準備中お待ち下さい]と表示されたあと、テレビ電話伝言メモ用の応答画像が表示されます。
- テレビ電話をかけてきた相手には、伝言メモメッセージが流れ、応答画像が送信されます。
- 伝言メモ応答中、録音中、録画中に次の操作で電話に出ることができます。

音声電話に出る		
テレビ電話に出る	自分側のカメラ映像を送信する	
	代替画像を送信する	● 代替画像設定（☞P.91）で設定した画像が送信されます。

- 光るワンタッチキーに登録した相手の場合、対応する I～III が点滅します。

2 相手の用件を録音または録画する。

インジケータ

メインディスプレイ　サブディスプレイ

音声電話伝言メモ録音中

メインディスプレイ　サブディスプレイ

テレビ電話伝言メモ録画中

- インジケータは目安です。
- 用件の録音が終わると、待受状態になります。
- 音声伝言メモのときは、録音中は相手の声が受話口から聞こえます。（マナーモード設定時は、受話口から相手の声は聞こえません。）録音を開始するときに、相手に「ピー」と発信音が流れます。
- テレビ電話伝言メモのときは、録画中は画面に相手の画像は表示されませんが、実際は相手の画像も録画しています。
- 電話に出るまでの間に録音または録画された内容は記憶されます。

お知らせ

- 音声伝言メモが３件、テレビ電話伝言メモが２件になると[📼]が消え、それ以降、音声電話やテレビ電話がかかってきても伝言メモで応答しません。
  伝言メモが設定されている場合は、不要な用件を削除すると、伝言メモが再び有効になります。
- 伝言メモ・テレビ電話伝言メモが３秒以下の場合、録音・録画されないことがあります。
- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって録音・録画内容が消失する場合があります。当社としては、責任を負いかねますので、万が一に備え、音声伝言メモ、テレビ電話伝言メモの内容は、メモなどに控えをお取りくださるようお願いします。
- 電波の状態により録音・録画内容が途切れたりすることがあります。
- テレビ電話伝言メモの応答画像を設定できます。（☞P.87）
- テレビ電話伝言メモの応答中、相手には、本FOMA端末で設定した応答画像に[伝言メモ]という文字が重なって表示されます。
- 伝言メモ録音・録画中は第三者から電話がかかってきても受けることができません。第三者には話中音が流れます。
- 伝言メモを設定していなくても、着信中のボタン操作で伝言メモを設定し、用件を録音・録画できます。（☞P.76、P.86）
- 圏外通知や番号変更案内、留守番電話開始などのガイダンスは録音・録画できません。
- 公共モード（ドライブモード）を設定しているときは、伝言メモは動作しません。

関連操作

応答メッセージが始まるまでの時間を設定する<伝言応答時間>

待受画面で[■][6][5][2]▶応答時間（３桁：000〜120秒）を入力▶[■]

- 着信音を鳴らさずに、伝言メモが応答するようにするとき：応答時間に[000秒]を入力

応答メッセージを設定する<応答メッセージ>

1 待受画面で[■][6][5][3]

2 メッセージの種類を選ぶ▶[■]

- オリジナルの応答メッセージを設定するとき：[3][2]▶メモを選ぶ▶[i]
- オリジナルの応答メッセージを録音するとき：[3][1]▶録音する▶[■]▶[2]▶メモを選ぶ▶[i]
- 応答メッセージを再生／停止するとき：[i]

お知らせ

伝言応答時間について

- 伝言応答時間は、音声伝言メモとテレビ電話伝言メモに共通の設定です。
- お買い上げ時は、[８秒]に設定されています。
- オート着信の設定と同じ時間には設定できません。
- 留守番電話サービスや転送でんわサービスを伝言メモと同時に設定しているときは、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間の設定により、優先順位が異なります。
  伝言メモを優先させるためには、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間よりも伝言メモの応答時間を短く設定してください。

応答メッセージについて

- お買い上げ時は、応答メッセージは[応答メッセージ１]、テレビ電話時応答画像は[テレビ電話代替]に設定されています。
- お買い上げ時には、[応答メッセージ１]と[応答メッセージ２（英文）]が登録されています。
  応答メッセージ１ .... ただいま電話に出ることができません。ピーッと言う発信音のあとに、お名前とご用件をお話しください。
  応答メッセージ２（英文）... I can't take your call now. Please leave your message, thank you.
- オリジナルの応答メッセージは「伝言メモ・音声メモを削除する」（☞P.77）で削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。

クイック伝言メモ

着信中の電話に出られないときに用件を録音する

音声電話がかかってきたときに、伝言メモを設定していない場合も、その着信に限り用件を録音できます。

1 音声電話着信中に[I]を１秒以上押す。

- 音声電話着信中に[📷][I][伝言メモ録音]を押しても操作できます。
- 音声ガイダンスが流れたあと、録音が始まります。
- テレビ電話着信中に伝言メモを録画する方法については、P.86を参照してください。
- [音声伝言メモがすでに３件録音されています]と表示されたときは、音声伝言メモ３件、テレビ電話伝言メモ２件未満録音済みです。不要な伝言メモを削除してからやり直してください。(☞P.77)
- [これ以上録音できません]と表示されたときは、音声伝言メモ３件、テレビ電話伝言メモ２件録音済みです。不要な伝言メモを削除してからやり直してください。(☞P.77)

お知らせ

- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって録音内容が消失する場合があります。当社としては、責任を負いかねますので、万が一に備え、伝言メモの内容は、メモなどに控えをお取りくださるようお願いします。

伝言メモ・音声メモ再生／削除

伝言メモ・音声メモを再生／削除する

伝言メモの用件、通話中音声メモや待受中音声メモの内容を再生したり、削除できます。

伝言メモ・音声メモを再生する

再生時の音量は、受話音量調節(☞P.68)の設定に従います。

1 待受画面で[■][9][2][9][5]を押し、[2][再生]を押す。

メモ
1 録音
2 再生
3 PIMロック

- 待受画面で[I]を１秒以上押し、[2]を押しても操作できます。

[伝言メモあり　○件　テレビ伝言メモあり　○件]と表示されているとき

- 待受画面で[■]を押し、[📼]を選んで[■]を押します。
- 未再生のメモには、[📼]が表示されます。

メモ再生 1/1
1 08/22 10:10
携帯花子
再生　サブメニュー

伝言メモ未再生の
メモリスト画面

メモ種別

📞：通話中音声メモ
📼：伝言メモ
🎤：待受中音声メモ

電話種別

📹：テレビ電話
表示なし：音声電話

2 メモを選んで[■][再生]を押す。

インジケータ

メモ再生
(1)08/22 10:10
携帯花子
090XXXXXXXX
停止

音声電話
伝言メモの場合

- インジケータは目安です。
- 非通知着信および待受中音声メモの場合、電話番号や名前は表示されません。

再生を途中で止める	[■]
再生中のメモを最初から聞く	[■]→[■]
再生中に他のメモを聞く	[■]→メモを選ぶ→[■]

お知らせ

- 音声メモの録音については、P.369を参照してください。

伝言メモ･音声メモの再生／削除について

- 伝言メモ･音声メモの再生中に電話がかかってくると、再生は自動的に止まります。
- 伝言メモ･音声メモの再生中にアラームの指定時刻になると、再生は自動的に止まり、アラームが動作します。
- 着信履歴表示を[OFF]に設定しているときは、メモリスト画面は表示されず、伝言メモ･音声メモは再生／削除できません。

伝言メモ･音声メモのPIMロック中の場合(☞**P.162**)

- 端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力すると、PIMロックは一時解除され、音声／伝言メモが起動します。
- 操作を終了して待受画面に戻ると再びロックされます。

伝言メモ･音声メモを削除する

1 メモリスト画面(☞**P.76**)でメモを選び、削除方法を選ぶ。

メモを1件削除する	[📷][1]→[はい]→[■]
すべてのメモを削除する	[📷][2]→[はい]→[■]

関連操作

伝言メモ･音声メモをPIMロックする<PIMロック>

待受画面で[■][9][2][9][5]▶[3]▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶[■]▶[1]

テレビ電話のかけかた／受けかた

テレビ電話について

画面に映ったお互いの映像を見ながら通話できます。

- テレビ電話は64K（kbps）または32K（kbps）で通信できます。
- 64Kまたは32Kのどちらの通信速度でも、接続したときのデジタル通信料は同じです。
- 自画像の代わりに代替画像やキャラ電を送受信して通話する場合も、デジタル通信料がかかりますので、ご注意ください。
- ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」を利用して国際テレビ電話を利用できます。（☞P.59）
- テレビ電話通信機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしで利用できます。
- ドコモのテレビ電話は、「国際基準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

※1 3GPP（3rd Generation Partnership Project）：第３世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。

※2 3G-324M：第３世代携帯テレビ電話の国際規格です。

テレビ電話中の画面の見かた

- 画面はイメージで、実際に同じ画面は表示されません。

1 親画面：相手側のカメラ映像（お買い上げ時）
2 子画面：自分側のカメラ映像（お買い上げ時）
3 テレビ電話中表示
テレビ電話の通信速度の状態を表示します。
：テレビ電話通信中（64K）
：テレビ電話通信中（32K）
4 カメラの明るさ：－2 －1 ±0 ＋1 ＋2
5 送信画像マーク
送信している画像の種類や状態を表示します。
：カメラ映像送信中
：代替画像送信中
：データBOXのマイピクチャの画像を送信中
：カメラ映像の一時停止中
：キャラ電（全体アクションモード）を送信中
：キャラ電（パーツアクションモード）を送信中
6 ハンズフリー表示
ハンズフリー中に表示します。
（赤色）：ハンズフリー中
7 受信画像マーク
：相手側の画像を撮影、保存するときに表示します。
8 通話時間：通話時間を最長９時間59分59秒まで表示します。９時間59分59秒を超えると、０秒に戻ってカウントします。

キャラ電

テレビ電話中、自分の映像の代わりにキャラクタを表示して相手に送信できます。キャラクタが音に反応して口を動かしたり、ボタン操作によって手足などを動かしたりできます。(☞P.88)

テレビ電話をかける

電池残量および受信レベルが十分であることを確認してください。

- 自分側のカメラ映像の代わりに、代替画像やキャラ電を相手に送信することもできます。
- テレビ電話をかけるときは、お互いの映像を見ながら通話できるように、別売りの平型スイッチ付イヤホンマイク(☞P.373)を利用するか、ハンズフリー(☞P.92)を利用してください。

1 待受画面で電話番号を市外局番からダイヤルする。

- 同一市内でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
- 電話番号は80桁まで入力できます。13桁を超えると２行で表示されます。26桁を超えた場合、最後から26桁が２行表示されます。

携帯電話にかける	電話番号11桁(090-XXXX-XXXX、080-XXXX-XXXX)を入力
PHSにかける	電話番号11桁(070-XXXX-XXXX)を入力
国際電話をかける([+]入力)	0(１秒以上)→電話番号の入力 ● 先頭に[+]が入力された場合、[+]以降の電話番号への発信・通話動作を行います。
ダイヤルを間違えたとき	CLR(最後の１桁が消えます。) ● すべての桁を消すときはCLRを１秒以上押します。(待受画面に戻ります。)

2 [テレビ電話]を押す。

電話帳に名前と静止画を登録している場合

- 電話帳に登録しているときは、電話番号と名前が表示されます。また、画像を設定しているときは、画像も併せて表示されます。
- 代替画像を送信してテレビ電話をかけるときは、5 1 2を押して、キャラ電からお好みのキャラ電を選んでを押し、を押します。
- 着もじを送信する方法については、P.55を参照してください。

次ページへ続く

3 相手が電話に出たら通話する。

- 相手が電話に出ると、[テレビ電話接続 を押すとハンズフリーへの切替・解除ができます]と表示されます。この時点からデジタル通信料がかかります。
- 相手側の映像が親画面に表示され、自分側のカメラ映像は子画面に表示されます。
- お買い上げ時は、テレビ電話ハンズフリー設定が[ON]に設定されていますので、通話開始時からハンズフリーでお話できます。

ハンズフリーのON／OFFを切り替える（☞P.92）		
通話中に代替画像を送信する		● 代替画像設定（☞P.91）で設定した画像やキャラ電が表示されます。
プッシュホン信号を送信する＜DTMF送信モード＞	カメラ映像を送信中	送信する番号を入力
	キャラ電を送信中	7→1→送信する番号を入力
自分の電話番号を表示する		8

4 通話が終わったら を押す。

お知らせ

- FOMA端末から緊急通報番号（110番、119番、118番）へテレビ電話をかけることはできません。
- テレビ電話に対応していない端末にテレビ電話をかけた場合は接続できません。音声自動再発信が[ON]に設定されている場合は、自動的に音声電話で発信し直します。その場合、通話料金は音声通話料となります。なお、ISDNの同期64KやPIAFSのアクセスポイント、3G-324M（☞P.80）に対応していないISDNのテレビ電話など（2006年12月現在）や間違い電話をかけたときなどは、このような動作にならないことがあります。また、通信料金が発生する場合もありますので、ご注意ください。
- 相手がテレビ電話に対応したFOMA端末の場合は、64Kでかけることをおすすめします。ネットワーク状況によって64Kが利用できないPHSなどの機器と接続する場合は、32Kに設定してください。（☞P.95）64Kでテレビ電話をかけても、相手が32Kエリアなどの通信環境の場合、自動的に32Kに切り替えて再発信します。

ダイヤル入力時の設定速度	音声自動再発信	発信順序
64K	ON	64K発信→32K発信→音声発信
	OFF	64K発信→32K発信
32K	ON	32K発信→音声発信
	OFF	32K発信

- 自分側のカメラ映像を送信する場合、光量が少ない場所では映像に白い線などのノイズが増えます。また、太陽やランプなどの強い光源がじかに入る場所では、映像が暗くなったり、乱れることがあります。適切な場所でテレビ電話をご利用ください。
- キャッチホンをご契約いただいている場合、テレビ電話中に音声電話やテレビ電話がかかってくると、着信履歴に記憶され、待受画面に[着信あり]と表示されます。
- テレビ電話中は、iモードメールやメッセージR／Fは受信されず、iモードセンターに保管されます。iモードセンターに保管されたiモードメールやメッセージR／Fは、テレビ電話終了後、iモード問い合わせを行うと受信できます。
- テレビ電話中でも、SMSは自動的に受信します。
- 音声や映像の送受信に失敗した場合、自動的に復旧しません。もう一度テレビ電話をかけ直してください。
- テレビ電話の通信が開始されると、音声自動再発信は行いません。
- テレビ電話は[テレビ電話通話時間]としてカウントされます。（☞P.370）
- テレビ電話中に音声電話をかけたり、iモードを利用することはできません。
- イヤホンマイク接続中は、テレビ電話ハンズフリー設定にかかわらず、イヤホンマイクによる通話となります。

お知らせ

テレビ電話がつながらなかったとき

● テレビ電話がつながらなかったときは、接続できなかった理由をメッセージで表示します。なお、相手の電話機の種類やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の状況とは異なることがあります。

メッセージ	理　由
番号をご確認の上、おかけ直しください	使われていない電話番号にかけた場合に表示されます。
お話中です	相手が通話中に表示されます。※
転送致しますのでお待ち下さい	相手が転送設定している場合に表示されます。
電波の届かない所にいるか、電源が切れています	相手が圏外にいるか、または電源を入れていません。
発信者番号通知をONにしてください	発信者番号非通知で接続した場合に表示されます。（Vライブやビジュアルネットなどへの発信時）
音声電話でおかけ直しください	転送でんわサービスを設定していて転送先がテレビ電話非対応端末の場合に表示されます。
パケット通信中です	相手がパケット通信中に表示されます。
接続できませんでした	上記以外の場合に表示されます。

※ 相手の端末によっては、パケット通信中の場合にも表示されることがあります。

マルチナンバー選択について

● マルチナンバーをご契約の場合、登録しているマルチナンバーを選択してからテレビ電話をかけることができます。（☞P.387）

光るワンタッチキーでテレビ電話をかける

待受画面で、電話番号が登録されているⅠ～Ⅲ▶

お知らせ

光るワンタッチキーについて

● Ⅰ～Ⅲに電話番号を登録する方法については、P.150を参照してください。

テレビ電話の通話中に保留にする<通話保留>

1 テレビ電話の通話中に■［保留］または［通話保留］を押す。

● 保留状態になり、保留用の代替画像が表示されます。（☞P.92）

● 代替画像を送信して通話するときは、を押します。

● かけてきた相手には保留音（☞P.69）が流れ、保留の代替画像が送信されます。

● マナーモード設定中はFOMA端末から保留音は聞こえません。

2 電話に出られるようになったら、を押す。

お知らせ

● 保留中、相手には、本FOMA端末で設定した代替画像に［保留］という文字が重なって表示されます。

テレビ電話の通話中に相手の声の音量を調節する<受話音量>

お買い上げ時
音量5

テレビ電話の通話中に相手の声の大きさを10段階で調節できます。

1 テレビ電話の通話中に[上]または[下]を押す。

- [▲]／[▼]を押しても、受話音量を調節することができます。
- テレビ電話の通話中に[カメラ][2]を押しても操作できます。

2 [上]（上げる）／[下]（下げる）を押して音量を調節する。

- 音量調整後、[■]／[CLR]を押す、または、約2秒経過すると元の画面に戻ります。

お知らせ

- 受話音量を上げて通話すると、周囲の状況により雑音が発生することがあります。適切な音量でご使用ください。
- 通話中に調節した音量は、電源を切ったり、電池パックを取り外しても保持されます。

テレビ電話から音声電話に切り替える

自分から電話をかけたときに、テレビ電話⇔音声電話を切り替えできます。

- 相手のFOMA端末のテレビ電話切替機能通知（☞P.95）を[開始]に設定している必要があります。
- 電話を受けたときは切り替えることができません。相手から切り替えてもらってください。
- 相手側が切り替え可能な端末の場合、画面右下の操作ガイダンスに[音声電話]が表示され、テレビ電話中に音声電話へ切り替えることができます。（音声電話⇔テレビ電話切り替え対応機種にてご利用いただけます。）

1 テレビ電話の通話中に[文字][音声電話]を押す。

- 通話中に[カメラ][6]を押しても操作できます。

2 [はい]を選んで[■]を押す。

- 切り替え中は、[しばらくお待ちください]と表示され、音声ガイダンスが流れます。
- [いいえ]を選ぶと、テレビ電話の画面に戻ります。
- テレビ電話⇔音声電話の切り替えは、通話中何度でも可能です。切り替えるたびに、通話時間表示が0秒から開始されます。

お知らせ

- 音声電話切替を行っても、相手のFOMA端末の状況によっては[切替できません]と表示され、切り替えできない場合があります。（☞P.87）
- 切り替えには、約5秒かかります。電波状況によっては、切り替えに時間がかかる場合があります。
- 電波状況によっては、テレビ電話から音声電話に切り替わらず、接続が切れる場合があります。
- 切り替え中は、料金は加算されません。
- ハンズフリー通話中に音声電話に切り替えた場合、ハンズフリーは解除されます。
- 32Kでのテレビ電話中は、音声電話に切り替えることはできません。
- 音声電話からテレビ電話への切り替え方法については、P.53を参照してください。

テレビ電話を受ける

- テレビ電話に出ると、ディスプレイに相手側のカメラ映像と自分側のカメラ映像が表示されます。
- 自分側のカメラ映像の代わりに代替画像やキャラ電を相手に送信して、電話を受けることもできます。
- テレビ電話を受けるときは、お互いの映像を見ながら通話できるように、別売りの平型スイッチ付イヤホンマイク（☞P.373）を利用するか、ハンズフリー（☞P.92）を利用してください。

1 テレビ電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する。

メインディスプレイ

ドコモ太郎

サブディスプレイ

電話帳に名前と静止画を登録している場合

メインディスプレイ

サブディスプレイ

着もじを受信した場合

- 発信者番号が通知されたときは、電話番号が表示されます。電話帳に相手の名前と電話番号が登録されているときは、名前も併せて表示されます。
- 光るワンタッチキーに登録した相手から電話がかかってきた場合、対応するボタンが点滅します。点滅しているボタンを押して電話に出ることができます。
- 着もじを受信したときは、メッセージが表示されます。（☞P.54）

2 [通話キー]を押す。

- 相手側のカメラ映像が親画面に表示され、自分側のカメラ映像は子画面に表示されます。
- 代替画像を送信して電話を受けるときは、着信中に[i]を押します。
- 代替画像にキャラ電を設定（☞P.91）しておくと、キャラ電で電話を受けることができます。
- お買い上げ時は、テレビ電話ハンズフリー設定が［ON］に設定されていますので、通話開始時からハンズフリーでお話できます。

3 通話が終わったら[終話キー]を押す。

お知らせ

- 送信する代替画像の種類は、代替画像設定で設定できます。
- 音声通話中にテレビ電話がかかってきた場合、キャッチホンなど（ネットワークサービス）のお申し込み状況により、テレビ電話を受けることができます。テレビ電話を選択した場合は、通話中の音声電話は切断されます。
- 留守番電話サービスを［開始］に設定しているときにテレビ電話対応機種からテレビ電話がかかってきた場合、設定した呼出時間が経過すると、留守番電話サービスに接続し、メッセージ録音／録画が開始されます。また、設定した呼出時間内に応答すると、留守番電話サービスに接続せずに、そのまま通話できます。
- 着信側で転送でんわサービスを［開始］に設定しても、転送先が3G-324M（☞P.80）に準拠したテレビ電話対応機種でないと、テレビ電話は転送されません。転送先をあらかじめご確認のうえ、転送設定してください。
- 公共モード（ドライブモード）設定中にテレビ電話がかかってきたときは、着信音が鳴らず、着信ランプも点滅しません。着信履歴には記憶されます。
- 相手側から映像が送信されてこないときには、黒い画面が表示されます。

次ページへ続く

お知らせ

着信中のボタン操作

スタイル	自画像で応答	代替画像で応答	応答保留(☞P.68)	クイックサイレント(☞P.136)	テレビ電話伝言メモ応答(☞P.86)	着信拒否／テレビ電話伝言メモ／着信転送／留守転送	マナーモード設定(☞P.135)
開いているとき					(1秒以上)		(1秒以上)
閉じているとき	−	−	−	()	−	−	()(1秒以上)

- テレビ電話の場合、**エニーキーアンサー**を[ON]に設定していても、上記以外のボタン操作は無効です。光るワンタッチキーに登録した相手からの着信の場合は、点滅しているボタンを押して電話に出ることができます。

平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を利用するとき

- 平型スイッチ付イヤホンマイク接続中にテレビ電話がかかってきた場合、イヤホンのスイッチを２秒以上押すと、FOMA端末を開いているときは自画像で、FOMA端末を閉じているときは代替画像でテレビ電話を受けることができます。テレビ電話中に代替画像とカメラ映像を切り替えることもできます。(☞P.90)
- **オート着信設定**を[ON]に設定すると、平型スイッチ付イヤホンマイク接続中にテレビ電話がかかってきた場合、指定した着信時間後に代替画像を送信して応答します。テレビ電話中に代替画像とカメラ映像を切り替えることもできます。(☞P.90)

登録しているマルチナンバーに着信があると

- 着信した番号に応じて[テレビ電話着信中]の文字の右にマルチナンバーの名称が表示されます。

すぐに電話に出られないときに保留にする<応答保留>

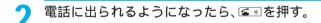
かかってきたテレビ電話にすぐに出られないときは、保留にできます。

- 応答保留中でも、相手にデジタル通信料がかかります。

1 着信音が鳴っている間にを押す。

応答保留中 TIME 0:18 VIDEO PHONE
応答保留中
代替画像

- [テレビ電話接続]と表示され、応答保留用の代替画像が表示されます。(☞P.92)
- 代替画像を送信して通話するときは、を押します。
- かけてきた相手には、電話はつながった状態のまま、応答保留音(☞P.69)が流れ、代替画像が送信されます。
- 応答保留中に電話を切るときは、を押します。(着信履歴に記憶されます。)
- 応答保留中に相手が電話を切ったときは、電話が切れます。(着信履歴に記憶されます。)

2 電話に出られるようになったら、を押す。

お知らせ

- 応答保留中、相手には、本FOMA端末で設定した応答保留画像に[応答保留]という文字が重なって表示されます。
- 転送でんわサービスや留守番電話サービスをご契約されている場合は、着信中に[着信転送]またはに[留守転送]で、転送先への転送や留守番電話サービスセンターへの接続ができます。

着信中のテレビ電話に出られないときに用件を録画する<テレビ電話伝言メモ>

テレビ電話がかかってきたときに、伝言メモを設定していない場合も、その着信に限り用件を録画できます。

- FOMA端末の電源が切れていたり、電波の届かない場所にいるときは使用できません。
- ２件(１件あたり約15秒)まで録画できます。
- 伝言メモの設定については、P.73を参照してください。

1 テレビ電話の着信中に[I]を1秒以上押す。

- テレビ電話の着信中に[カメラ][2][テレビ電話伝言メモ]を押しても操作できます。
- [伝言メモ準備中　お待ち下さい]と表示されたあと、テレビ電話伝言メモ用の応答画像が表示されます。
- 送信する代替画像は、テレビ電話時応答画像で設定できます。
- テレビ電話伝言メモがすでに2件録画されているときは、[テレビ電話伝言メモがすでに2件録画されています]または[これ以上録画できません](音声伝言メモも3件登録されているとき)と表示され、動作しません。
- かけてきた相手には伝言メモメッセージ(☞P.75)が流れ、テレビ電話伝言メモ用の応答画像が送信されます。

2 用件を録画する。

- 録画中、相手の画像は表示されませんが、実際は相手の画像も録画されます。
- 用件の録画が終わると、待受画面に戻ります。
- テレビ電話伝言メモ録画中に電話に出る場合、自分側のカメラ映像を送信して通話するときは[通話]、代替画像を送信して通話するときは[i]を押します。光るワンタッチキーに登録した相手の場合、対応する[I]～[III]が点滅します。点滅しているボタンを押すと自画像を送信して通話できます。

お知らせ

- テレビ電話伝言メモの再生と削除については、P.76を参照してください。
- 伝言メモ設定またはマナーモード設定により伝言メモを設定しているときは、伝言メモが自動的に応答します。
- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって録画内容が消失する場合があります。当社としては、責任を負いかねますので、万が一に備え、テレビ電話伝言メモの内容は、メモなどに控えをお取りくださるようお願いします。
- テレビ電話伝言メモの応答画像は、テレビ電話時応答画像で設定できます。
- テレビ電話伝言メモの応答中、相手には、本FOMA端末で設定した応答画像に[伝言メモ]という文字が重なって表示されます。

関連操作

テレビ電話伝言メモの静止画を設定する<テレビ電話時応答画像>

待受画面で[■][6][5][4]▶フォルダを選ぶ▶[■]▶静止画を選ぶ▶[i]

- 静止画を確認するとき:静止画を選ぶ▶[■]

お知らせ

テレビ電話時応答画像について

- データBOXのマイピクチャに保存されているJPEG画像またはGIF画像で、「QCIF:176×144」(横×縦)サイズの静止画を利用できます。(GIFアニメーションは利用できません。)
- FOMA端末以外への出力が禁止されている静止画は利用できません。
- お買い上げ時は、[テレビ電話代替]に設定されています。

テレビ電話から音声電話に切り替えて電話を受ける

相手(発信側)の操作でテレビ電話⇔音声電話を切り替えます。

- 自分(着信側)から切り替えることはできません。(音声電話⇔テレビ電話切り替え対応機種にてご利用いただけます。)
- 自分のFOMA端末のテレビ電話切替機能通知(☞P.95)を[開始]に設定しておく必要があります。

1 テレビ電話の通話中に相手が音声電話に切り替える。

- 切り替え中は、左の画面が表示され、音声ガイダンスが流れます。

次ページへ続く

お知らせ

- 切り替えには、約５秒かかります。電波状況によっては、切り替えに時間がかかる場合があります。
- 電波状況によっては、テレビ電話から音声電話に切り替わらず、接続が切れる場合があります。
- 通話中でも、サブメニューから他の画面を表示しているときや、保留中などの場合は音声電話に切り替えできません。また、FOMA端末を閉じているときも切り替えできません。
- 音声電話からテレビ電話へ切り替えて電話を受ける方法については、P.64を参照してください。

キャラ電を利用する

- キャラ電については、P.317も併せて参照してください。

キャラ電を代替画像として送信する<送信画像切替>

お買い上げ時
キャラ(男性)

テレビ電話中の操作で、自分のカメラ映像の代わりにキャラ電を相手に送信できます。

1 テレビ電話中に[カメラ][3][3][キャラ電]を押し、フォルダを選んで[●]を押し、キャラ電を選んで[i][決定]を押す。

- キャラ電が代替画像として送信されます。

お知らせ

- あらかじめ代替画像としてキャラ電を設定(☞P.91)しておくと、テレビ電話中に[i][代替画像]を押すだけでキャラ電を送信できます。テレビ電話がかかってきたときは、[i][代替画像]を押すだけでキャラ電で電話を受けることができます。
- DTMF送信モードを[ON]に設定した場合は、ダイヤルボタンでプッシュホン信号が送出されるため、キャラ電のボタン操作ができません。
- [キャラ(男性)]を削除したあとで、設定リセットを行うと[テレビ電話代替]になります。

お買い上げ時に登録されているキャラ電

お買い上げ時には、次のキャラ電が登録されています。

キャラ(男性)

ビジネスマン風のキャラクタです。うなずいたり、笑うなどの感情を表したり、手を上げるなどのアクションで対応します。

全体アクションモードでのアクション一覧

番号(ボタン操作)	アクション
1	うなずく
2	笑う
3	怒る
4	驚く
5	悩む
6	携帯電話
7	決めポーズ

パーツアクションモードでのアクション一覧

番号(ボタン操作)	アクション
1 1	右手を上げる
4 4	右手を下げる
3 3	左手を上げる
6 6	左手を下げる
8 8	通常ズーム
9 9	ズームアップ

キャラ(女性)

OL風のキャラクタです。喜びや哀しみの感情を表したり、手を振ったり、頭を傾けるなどのさまざまなアクションで対応します。

全体アクションモードでのアクション一覧

番号(ボタン操作)	アクション
1	喜ぶ
2	怒る
3	哀しむ
4	投げキッス
5	驚く
6	ゴメン
7	恥ずかしー
8	ずっこけ
9	バーン!

パーツアクションモードでのアクション一覧

番号(ボタン操作)	アクション
1 1	(右腕)手を振る(ループ)
1 2	(左腕)手を振る(ループ)
1 3	(顔)うなずく
1 4	(右腕)おいでおいで(ループ)
1 5	(左腕)おいでおいで(ループ)
1 6	(顔)左右ブルブル
1 7	(顔)右に傾ける
1 8	(顔)左に傾ける

テレビ電話中にキャラ電を切り替える<キャラ電切替>

テレビ電話中にキャラ電を送信しているとき、別のキャラ電に切り替えることができます。

1 代替画像でキャラ電を送信中に、 2 1[キャラ電切替]を押し、フォルダを選んでを押し、キャラ電を選んで[決定]を押す。

全体アクションとパーツアクションを切り替える<アクション切替>

表示中のキャラ電の動作を、全体アクションかパーツアクションに切り替えることができます。

1 代替画像でキャラ電を送信中に、を1秒以上または 2 2[アクション切替]を押す。

- 全体アクションモードとパーツアクションモードが交互に切り替わります。

キャラ電にアクションをさせる

キャラ電にアクションをさせることができます。

- 全体アクションモードにすると、[喜ぶ]や[怒る]などの感情を選ぶことができます。
- パーツアクションモードにすると、体の一部を動かしたり、ジャンプやダンスなどをさせることができます。
- パーツアクションの中には、別のアクションと組み合わせて実行できるものもあります。
- キャラ電によっては、マイクからの音に合わせて口を動かすものもあります。
- キャラ電によりアクションの種類は異なります。
- キャラ電によっては、アクションしないものがあります。

1 代替画像でキャラ電を送信中に、[アクションリスト]を押すか、を1秒以上または 2 3[アクション一覧]を押す。

アクションをさせる	アクションを選ぶ→ ● アクション一覧を表示せずに、アクションの番号(1～9)を押してアクションをさせることもできます。 ● あらかじめ登録されているキャラ電のアクションについては、P.88を参照してください。
アクションを中止する	0
アクションの詳細を表示する	

次ページへ続く

お知らせ

- キャラ電によっては、操作しなくてもアクションを行うものがあります。

相手側に送信する映像について設定する

送信する画像を通話中に切り替える<送信画像切替>

自分側のカメラ映像の代わりに、あらかじめ設定した代替画像を送信できます。

1 テレビ電話中に[代替画像]を押す。または[代替画像]を押し、フォルダを選んでを押し、代替画像を選んで[決定]を押す。

- 設定されている代替画像が送信されます。

自画像に戻す	または
キャラ電を選択する	→フォルダを選ぶ→→キャラ電を選ぶ→ ● ここで選択したキャラ電は、テレビ電話を終了すると解除されます。

関連操作

自画像のズームアップ／ズームダウンを行う<ズームアップ／ズームダウン>

1 テレビ電話の通話中にまたは
2 (ズームアップ)または(ズームダウン)
- 最大ズーム：
- 最小ズーム：

メインカメラとサブカメラを切り替える<カメラ切替>

テレビ電話の通話中にまたは
- サブカメラに切り替えるとき：もう一度 または

データBOXの静止画を送信する<ファイル再生>

テレビ電話の通話中に▶フォルダを選ぶ▶▶静止画を選ぶ▶
- 自画像に戻すとき：または

明るさを調整する<明るさ調整>

テレビ電話の通話中に（1秒以上）（明るくする）または（1秒以上）（暗くする）

お知らせ

ズームアップ／ズームダウンについて
- 最大18段階（メインカメラ）、2段階（サブカメラ）のズームを設定できます。
- キャラ電や代替画像を送信しているときは、画像をズームできません。
- 相手の映像はズームできません。
- カメラを切り替えたり、テレビ電話を終了するとズームは解除されます。

カメラ切替について
- テレビ電話を終了すると、サブカメラに戻ります。
- メインカメラを使用中にメインカメラの周辺の温度が高くなる、または電池残量が[]以下になった場合、[ただいまメインカメラを利用できません]と表示され、代替画像に切り替わります。メインカメラに切り替えできません。
- メインカメラの周辺の温度が高い、または電池残量が[]の状態で、サブカメラからメインカメラに切り替えようとした場合、[ただいまメインカメラを利用できません]と表示され、メインカメラに切り替えできません。
- DTMF送信モードを[OFF]に設定しているときは、を押しても切り替えできます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.323）

お知らせ

ファイル再生について
- データBOXのマイピクチャに保存されているJPEG画像またはGIF画像で、「QCIF：176×144」（横×縦）のサイズの静止画を利用できます。（GIFアニメーションは利用できません。）
- FOMA端末以外への出力が禁止されている静止画は利用できません。ただし、FOMA端末で撮影した画像はファイル制限設定に関係なく利用できます。（静止画メモで撮影した画像は利用できません。）
- miniSDメモリーカード内の静止画は直接利用できません。あらかじめFOMA端末（本体）マイピクチャの[外部取得データ]フォルダにコピーしてご利用ください。
- マルチメディアのPIMロック中は、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力すると、PIMロックが一時解除され、ファイルが表示されます。

明るさ調整について
- ディスプレイ上部に[-2]、[-1]、[±0]、[+1]、[+2]が表示されます。
- テレビ電話を終了すると、明るさは元に戻ります。
- 代替画像を送信しているときは、明るさを調整できません。

相手に送信する代替画像を発信時に変更する<テレビ電話画像設定>

1 電話番号を入力して[カメラ][5][1][テレビ電話画像設定]を押し、送信する画像を選ぶ。

- 電話帳内容表示画面やリダイヤル詳細画面、着信履歴詳細画面から発信するときは、[カメラ][6][1]を押します。

自画像を送信する	[1]
キャラ電を送信する	[2]→フォルダを選ぶ→[●]→キャラ電を選ぶ→[テレビ電話] ● キャラ電を確認するときは、キャラ電を選んで[●]を押します。戻るときは、[CLR]を押します。

代替画像を設定する<代替画像設定>

お買い上げ時
キャラ（男性）

テレビ電話中の代替画像に、静止画やキャラ電（☞P.317）を設定できます。
- データBOXのマイピクチャに保存されているJPEG画像またはGIF画像で、「QCIF：176×144」（横×縦）サイズの静止画を利用できます。（GIFアニメーションは利用できません。）
- FOMA端末以外への出力が禁止されている静止画は利用できません。

1 待受画面で[●][6][4][2][1]を押し、代替画像を選ぶ。

- 詳細メニューから✕（設定）→[通話・通信機能設定]→[テレビ電話設定]→[送信画像設定]→[代替画像設定]の順に選択することもできます。

代替画像を設定する	[1]→フォルダを選ぶ→[●]→静止画を選ぶ→[テレビ電話]
キャラ電を設定する	[2]→フォルダを選ぶ→[●]→キャラ電を選ぶ→[テレビ電話]

- 画像を確認するときは、画像を選んで[●]を押します。戻るときは、[CLR]を押します。

お知らせ

- テレビ電話中に[テレビ電話]を押すと、設定した代替画像が送信されます。
- 代替画像を送信中、相手には、本FOMA端末で設定した静止画に[カメラオフ]という文字が重なって表示されます。キャラ電を設定している場合、[カメラオフ]は表示されません。
- 代替画像は次の優先順位で送信されます。

	優先順位（高→低）
画像	電話帳のキャラ電設定→テレビ電話設定の代替画像設定

次ページへ続く

関連操作

応答保留や通話保留の画像を変更する<応答保留画像設定／保留画像設定>

1 待受画面で[■][6][4][2]
2 応答保留画像設定するときは[2]
- 保留時の代替画像を設定するとき：[3]

3 フォルダを選ぶ▶[■]▶画像を選ぶ▶[i]

お知らせ

- お買い上げ時は、どちらも［テレビ電話代替］に設定されています。
- データBOXのマイピクチャに保存されているJPEG画像またはGIF画像で、「QCIF：176×144」（横×縦）サイズの静止画を利用できます。（GIFアニメーションは利用できません。）
- FOMA端末以外への出力が禁止されている静止画は利用できません。

送信画質を設定する<送信画質設定>

お買い上げ時
標準

テレビ電話中に送信する自画像の画質を設定できます。

1 待受画面で[■][6][4][5]を押し、画質を選ぶ。

- 詳細メニューから✕（設定）→［通話・通信機能設定］→［テレビ電話設定］→［送信画質設定］の順に選択することもできます。
- テレビ電話の通話中に設定するときは、[📷][5][3]を押します。

画質優先	[1]	撮影対象の形や色などを中心に伝えたいとき
標準	[2]	画質の美しさと動きのバランスをとるとき
動き優先	[3]	撮影対象の動きを中心に伝えたいとき

お知らせ

- テレビ電話中の送信画質設定は一時的なものです。テレビ電話を終了すると、待受画面から[■][6][4][5]で設定した画質に戻ります。
- テレビ電話中の送信側と受信側の画質設定は異なります。

テレビ電話ハンズフリー設定

テレビ電話のハンズフリーについて設定する

お買い上げ時
ON

テレビ電話の通話開始時に自動的にハンズフリーに切り替えるかどうかを設定できます。ハンズフリーにすると、相手の声をスピーカから流して、映像を見ながら通話できます。
- 他の人の迷惑にならないような場所でご利用ください。

1 待受画面で[■][6][4][7]を押し、[1][ON]を押す。

- 詳細メニューから✕（設定）→［通話・通信機能設定］→［テレビ電話設定］→［テレビ電話ハンズフリー設定］の順に選択することもできます。

通話中にハンズフリーのON／OFFを切り替える

1 テレビ電話の通話中に[ハンズフリーキー]を押す。

- [ハンズフリーキー]を押すたびにハンズフリーのON／OFFが切り替わります。
- ハンズフリー中は[ ]が表示されます。

お知らせ

- 送話口から20～40cm程度が最も通話しやすい距離です。なお、周囲の騒音が大きい場所では、音声が途切れるなど良好な通話ができないことがあります。
- 屋外や騒音が大きい場所でハンズフリー通話を行う場合は、別売りの平型スイッチ付イヤホンマイクをご利用ください。
- ハンズフリー通話中、音が割れて聞きとりにくいときは、受話音量を下げてください。

テレビ電話設定

テレビ電話中の映像を設定する

テレビ電話の通話中にディスプレイの画像表示を変更できます。

- 設定できる項目は次のとおりです。操作方法については、P.90、P.93を参照してください。

項　目	設定内容	お買い上げ時の設定
明るさ調整	カメラ映像の明るさを５段階で調整できます。	±0
テレビ電話画面設定	相手側の映像と自分側の映像の表示方法を変更できます。	相手大／自分小
子画面表示設定	子画面の表示位置を設定できます。	左上
テレビ電話中照明	テレビ電話中のディスプレイの照明時間を設定できます。	常にON
自画像設定	自分側の映像を、正像、鏡像、または一時停止に設定できます。	鏡像

テレビ電話の画面を設定する<テレビ電話画面設定>

- 次の４種類から選ぶことができます。

項　目	設定内容
相手大／自分小	相手側の映像を大きく、自分側の映像を小さく表示します。
相手のみ	相手側の映像のみを表示します。
自分大／相手小	自分側の映像を大きく、相手側の映像を小さく表示します。
自分のみ	自分側の映像のみを表示します。

相手大／自分小

相手のみ

自分大／相手小

自分のみ

1 テレビ電話の通話中に[カメラ][5][1][テレビ電話画面設定]を押す。

- 待受画面で[■][6][4][3]を押しても操作できます。

次ページへ続く

2 表示方法を選んで■を押す。

お知らせ

- テレビ電話画面設定は、テレビ電話を終了しても保持されます。

■ テレビ電話の子画面を設定する<子画面表示設定>

左上

右下

1 テレビ電話の通話中に📷 5 2［子画面表示設定］を押す。

- 待受画面で■ 6 4 4を押しても操作できます。

2 表示位置を選んで■を押す。

お知らせ

- 子画面を［右下］に設定すると、通話時間や明るさ調整、送信、受信画像マークは左下に表示されます。
- 子画面表示設定は、テレビ電話を終了しても保持されます。

関連操作

照明を設定する<テレビ電話中照明>

1 テレビ電話の通話中に📷 5 4
- 待受画面から：■ 2 8 3 1 3

2 2［常にON］
- 通常時と同じにするとき：1

自分側の画像を静止画にして送信する<一時停止>

テレビ電話の通話中に📷 3 5 1
- 元に戻すとき：📷 またはCLR

自分側の画像を正像にする<正像／鏡像切替>

テレビ電話の通話中に📷 3 5 2

お知らせ

テレビ電話中照明について
- ［通常時と同じ］に設定すると、照明時間設定の通常時で設定した点灯時間になります。
- 点灯時間を長くすると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。
- テレビ電話中照明は、テレビ電話を終了しても保持されます。

自画像設定（一時停止、正像・鏡像切替）について
- 設定にかかわらず相手側には常に正像が表示されます。
- カメラ映像が停止した状態の静止画を送信することもできます。
- ［正像］は見たとおりの向きに、［鏡像］は左右逆向きに表示されます。
- キャラ電や代替画像を送信しているときは、自画像設定できません。
- 一時停止中、相手には、本FOMA端末の映像に［停止中］という文字が重なって表示されます。
- テレビ電話を終了すると、自画像設定は元に戻ります。

テレビ電話の設定を変更する

通信速度を32Kに切り替える<通信速度設定>

お買い上げ時 64K

ネットワーク状況によって64Kが利用できないPHSなどの機器と接続する場合、32Kに切り替えて発信することができます。

1 電話番号を入力して[カメラ][5][2][通信速度設定]を押す。

● 電話帳内容表示画面やリダイヤル詳細画面、着信履歴詳細画面から発信するときは、[カメラ][6][2]を押します。

2 [2][32K]を押し、[テレビ電話][テレビ電話]を押す。

● [32K]が表示されます。
● 64Kにするときは、[1]を押します。

お知らせ

● 64K／32Kの通信速度変更は、その発信に限り有効です。

音声電話で自動的にかけ直す<音声自動再発信>

お買い上げ時 OFF

64Kでテレビ電話をかけても、相手が32Kエリアなどの通信環境の場合、自動的に32Kに切り替えて再発信します。

1 待受画面で[■][6][4][1]を押し、[1][ON]を押す。

● 詳細メニューから(設定)→[通話・通信機能設定]→[テレビ電話設定]→[音声自動再発信]の順に選択することもできます。

お知らせ

● 音声電話で再発信した場合の通話料金は、テレビ電話通話料ではなく、音声通話料になります。
● テレビ電話通信が開始された場合、音声自動再発信は行いません。
● ISDNの同期64KやPIAFSのアクセスポイント、3G-324M(☞P.80)に対応していないISDNのテレビ電話など(2006年12月現在)や間違い電話をかけたときなどは、音声自動再発信を行わないことがあります。また、通信料金が発生することもありますので、ご注意ください。

テレビ電話切替機能通知

音声電話とテレビ電話の切り替えについて設定する

お買い上げ時 開始

相手に自分のFOMA端末が音声電話とテレビ電話の切り替えが可能かどうかを通知する設定です。

● テレビ電話切替機能通知を[停止]に設定すると、相手から切り替えることはできません。
● 音声通話中、テレビ電話中、および圏外時にテレビ電話切替機能通知を変更することはできません。

1 待受画面で[■][6][4][6]を押し、切替機能通知を選ぶ。

● 詳細メニューから(設定)→[通話・通信機能設定]→[テレビ電話設定]→[テレビ電話切替機能通知]の順に選択することもできます。

切替機能通知を開始する	[1]→[はい]→[■]
切替機能通知を停止する	[2]→[はい]→[■]
切替機能通知設定を確認する	[3]

パケット通信中着信設定

ｉモード中にテレビ電話がかかってきたときの応答方法を設定する

お買い上げ時
テレビ電話優先

パケット通信中にテレビ電話がかかってきたときの動作を設定します。

● プッシュトーク通信中、ソフトウェア更新中、パターンデータ更新中、パケット通信を利用したデータ通信中にテレビ電話がかかってきた場合は、着信拒否されます。

1 待受画面で■6448を押し、着信動作を選ぶ。

● 詳細メニューから✕(設定)→[通話・通信機能設定]→[テレビ電話設定]→[パケット通信中着信設定]の順に選択することもできます。

テレビ電話優先	1	かかってきたテレビ電話に出ることができます。
パケット通信優先	2	テレビ電話着信を拒否します。
留守番電話	3	自動的に留守番電話サービスに接続します。
転送でんわ	4	自動的に転送でんわサービスに接続します。

● [留守番電話]や[転送でんわ]に設定するには、留守番電話サービスや転送でんわサービスのお申し込みが必要です。

お知らせ

● [テレビ電話優先]に設定していても、テレビ電話に出ないとパケット通信は継続されます。(テレビ電話に出ると、パケット通信は切断されます。)

静止画メモ

相手の画像を静止画として保存する

テレビ電話中に、相手の画像を静止画撮影できます。

● 撮影できるサイズは「QCIF：176×144」(横×縦)です。

1 テレビ電話中に📷4[静止画メモ]を押し、■[📷]を押す。

● 静止画撮影中、相手には、本FOMA端末の映像に[撮影中]という文字が重なって表示されます。
● シャッター音は鳴りません。
● 静止画が撮影され、[保存中]が表示されます。
● 撮影した静止画はデータBOXのマイピクチャの[カメラ撮影]フォルダに保存されます。
● 撮影した静止画はFOMA端末以外へ出力できません。

お知らせ

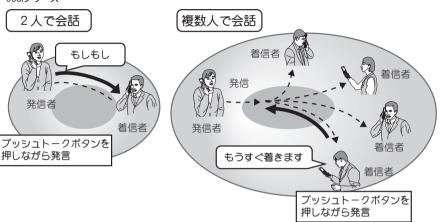
● テレビ電話画面設定を[自分のみ]に設定している場合、静止画メモを選択できません。

プッシュトーク

プッシュトークとは

プッシュトークボタンを押してプッシュトーク用電話帳を呼び出し、相手を選んでプッシュトークボタンを押すだけの簡単操作で複数の人(自分を含めて最大5人まで)と通信することができます。ボタンを押し発言するたびにプッシュトーク通信料が課金されます。
ボタンを押し続けている間だけ発言することができ、発言者以外のメンバーはその間は聞くだけになります。また、画面では誰が発言しているかなどメンバーの状態が確認できます。グループ内での連絡や、短い用件を伝えるときなどに便利にご利用いただけます。

● 対応機種:902iシリーズ、902iSシリーズ、903iシリーズ、SO902iWP+、N902iX HIGH-SPEED、P702i、P702iD、SH702iS

なお、下記機種※では通信中にメンバーを追加したり、不参加だったメンバーを再度呼び出すことができます。
※ 903iシリーズ

プッシュトークプラスについて

プッシュトークプラスとは、あらかじめ登録されたネットワーク上の電話帳を利用し、自分も含め最大20人まで通信できるサービスです。さらに、メンバーの状態を確認できるなど、プッシュトークをより便利にご利用いただけます。プッシュトークプラスをご利用いただくには別途ご契約が必要です。

● プッシュトークプラスの操作方法などの詳細については、お申し込み時にお渡しするご案内をご覧ください。

プッシュトーク通信中の画面の見かた

1 ●:プッシュトーク通信中
2 発言者名欄:現在発言しているメンバーの名前(電話帳に登録されていない場合は電話番号)
自分:自分が話す人のとき(発言可能)
表示なし:話す人がいないとき
?:発言者が特定できなかったとき
FOMA端末(本体)電話帳に登録されている場合は名前が表示されます。電話帳のピクチャーコールを設定しているときは、画像も表示されます。プッシュトークプラスから発信された場合は、ネットワーク上の電話帳の名前で表示され、ピクチャーコールを設定していても画像は表示されません。
3 グループ名:プッシュトーク電話帳のグループ名またはネットワーク上の電話帳に登録されているグループ名が表示されます。
4 参加メンバー:FOMA端末(本体)電話帳に登録されている場合は名前が表示されます。プッシュトークプラスから発信された場合は、ネットワーク上の電話帳の名前で表示されます。電話帳に登録されていない場合は、電話番号が表示されます。
5 ●(赤色):ハンズフリー通信中
6 メンバー状態表示:各メンバーの通信状態が表示されます。通信中に通信状態が変わった場合、参加音や終了音(プッシュトークから抜けるとき)が鳴り、表示が変わります。
● メンバーが複数で画面内にすべてを表示できない場合にスクロールバーが表示されます。●でスクロールしてメンバーを確認できます。
7 参加:プッシュトークに参加しています。
8 不参加※:応答がない、相手がプッシュトークを終了している、相手が圏外にいる、または相手が電源を切っています。
9 運転中※:相手が公共モード(ドライブモード)を設定しています。
10 呼出中※:相手を呼び出し中です。
※ 3人以上のプッシュトーク通信の場合のみ表示されます。

プッシュトーク発信する

パケット通信を利用し、プッシュトークボタンを押すだけの簡単操作で通信することができます。1対1または1対多の会話が可能です。

- 話せるのは常に1人です。話すときは(P)を押して発言権を取得する必要があります。
- 発言権を取得している間だけ話すことができます。なお、自分が(P)を押している間、相手の声は聞こえません。
- (P)を押し発言権を取得すると同時に、発言者に対してプッシュトーク通信料が課金されます。
- プッシュトーク電話帳に登録すると、簡単な操作で登録したメンバーと通信できます。

1 待受画面で電話番号をダイヤルする。

- プッシュトーク電話帳からプッシュトーク発信することもできます。(☞P.103)

2 (P)を押す。

プッシュトーク
発信中画面

- 発信中は画面左上の[P]が点滅します。
- 相手が応答すると参加音が鳴って画面左上の[P]が点灯に変わり、プッシュトーク通信中画面が表示されます。
- ハンズフリーに切り替えるときはまたはを押します。なお、(P)を押しているときは切り替えできません。

3 発言者名欄に何も表示されていないときに(P)を押し、[自分]と表示されたら(P)を押したまま話す。

- 発言権を取得すると発言権取得音が鳴り、発言者名欄に[自分]と表示されます。
- 他の人が話している最中に(P)を押すと、エラー音が鳴ります。
- 自分が話し終わったら(P)を離してください。発言権開放音が鳴ります。

4 通信を終わるときはを押す。

- FOMA端末を閉じているときは、()を1秒以上押すと通信を終了します。
- 発言権取得回数が表示され、待受画面に戻ります。

お知らせ

- プッシュトークを使用して緊急通報番号(110番、119番、118番)へ電話をかけることはできません。
- 光るワンタッチキーからプッシュトーク発信することはできません。
- 1回の発言でお話しできる時間には限りがあります。制限時間に達すると発言時間満了予告音が鳴り、発言権が解除されます。
- 音声電話中・テレビ電話中・データ通信中にプッシュトーク発信することはできません。
- ｉモード中にプッシュトーク発信すると、ｉモード通信は切断されます。
- プッシュトーク通信中に音声電話がかかってきたとき、PT通信中着信設定を[通常着信]に設定している場合は、を押して音声電話に出ることができます。PT通信中着信設定に関しては、「通信中に電話がかかってきたときの対応方法を選ぶ」(☞P.106)を参照してください。
- ハンズフリー通信中に音声電話着信があり音声電話にでた場合、ハンズフリーは解除されます。
- プッシュトーク通信中にｉモードはご利用できません。
- 一定時間発言権の取得者がいない場合には、プッシュトーク通信が自動的に終了します。
- プッシュトークの発信者が番号通知設定を[通知]に設定して発信した場合(☞P.104)、着信したメンバー全員に発信者や全メンバーの電話番号が通知されます。電話番号はお客様の大切な情報です。通知する場合は十分ご注意ください。
- プッシュトーク通信終了時に発言権取得回数が表示されますが、発言権取得回数の表示は目安です。発言権取得回数は最大999回まで表示され、これを超えると[***]と表示されます。

次ページへ続く

関連操作

FOMA端末（本体）電話帳を使ってプッシュトーク発信する
待受画面で[電話帳]▶名前を選ぶ▶[P]（[プッシュトーク]）

着信履歴を利用してプッシュトーク発信する
待受画面で[左]▶着信履歴を選ぶ▶[P]（[プッシュトーク]）

複数メンバーとのプッシュトーク切断後に再参加する
複数メンバー宛のプッシュトークに応答後、自分だけがプッシュトークを切断した場合や、かかってきたプッシュトークに出られなかったときなどは、そのプッシュトーク通信が続いている場合のみ、該当する着信履歴から発信するとそのメンバーとの通信に途中参加できます。
- プッシュトーク通信が終了している場合は、そのメンバーへの新たな発信となります。
- 発信者側で通信を切断した場合は、参加者全員が切断されます。

待受画面で[左]▶着信履歴を選ぶ▶[P]（[プッシュトーク]）

リダイヤルを利用してプッシュトーク発信する
待受画面で[右]▶リダイヤルを選ぶ▶[P]（[プッシュトーク]）

プッシュトーク着信する

1 プッシュトークを受信すると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する。

2 [P]（[プッシュトーク]）または[ハンズフリー]を押す。
- 画面左上の[[プッシュトーク]]が点灯に変わり、プッシュトーク通信中画面が表示されます。
- 通信方法は、「プッシュトーク発信する」（☞P.99）と同様です。

3 通信を終わるときは[HLD PWR]を押す。
- FOMA端末を閉じているときは、[サイド]（[終話]）を１秒以上押すと通信を終了します。

お知らせ

- **オート着信設定**を[ON]に設定すると、プッシュトーク着信した場合、自動的にハンズフリーで応答できます。ただし、**マナーモード**中は、オート着信設定を[ON]に設定していても自動的に応答できません。
- プッシュトークは応答保留できません。
- **エニーキーアンサー**が[ON]に設定されている場合、[P]（[プッシュトーク]）[ハンズフリー]以外のボタンで、プッシュトークの着信に応答することができます。（☞P.65）
- **電話帳指定着信許可**、**電話帳指定着信拒否**、**電話帳登録外着信拒否**の設定はプッシュトークにも有効です。ただし、プッシュトークプラスからの発信には無効です。
- 音声電話中・テレビ電話中・データ通信中にプッシュトーク着信した場合は接続されません。音声電話中の場合は着信履歴に記憶され、待受画面に[着信あり]と表示されます。テレビ電話中、データ通信中の場合は着信履歴に記憶されません。
- プッシュトーク通信中に、音声電話やテレビ電話、64Kデータ通信、別のプッシュトークの着信があった場合は着信履歴に記憶され、プッシュトーク通信が継続されます。
- ｉモード中にプッシュトーク着信した場合、**ｉモード通信中着信設定**を[プッシュトーク着信優先]に設定しているときはｉモード通信が切断され、プッシュトークに応答することができます。[ｉモード優先]に設定しているときはプッシュトーク着信しても接続されず、着信履歴にも記憶されません。お買い上げ時は、[プッシュトーク着信優先]に設定されています。

お知らせ

- 公共モード(ドライブモード)設定中で、電源が入っているときにプッシュトーク着信した場合は接続されず、着信履歴に記憶され、待受画面に[着信あり]と表示されます。相手の通信中画面のメンバー状態表示には[運転中]と表示されます。1対1の場合は、運転中であることは表示されません。

着信中のボタン操作

スタイル	不参加	クイックサイレント(☞P.136)	マナーモード設定(☞P.135)
開いているとき			(1秒以上)
閉じているとき	()(1秒以上)	()	－

プッシュトーク電話帳登録

プッシュトーク電話帳を登録する

プッシュトーク電話帳に登録すると、FOMA端末(本体)電話帳にも登録されます。
FOMA端末(本体)電話帳への登録を行い、そのうち、名前・フリガナ・電話番号1件のみをプッシュトーク電話帳に登録します。FOMA端末(本体)電話帳へ登録済みの電話帳を、プッシュトーク電話帳に登録することもできます。プッシュトーク電話帳には最大750件まで登録できます。(☞P.108)

登録できる内容

アイコン	項　目	内　容
	名前	名前を入力します。最大全角16文字(半角32文字)まで入力できます。
ｶﾅ	フリガナ	フリガナが自動的に入力されます。修正することもできます。最大半角カタカナ32 文字まで入力できます。
	プッシュトークグループ	所属するプッシュトークグループを登録できます。1～9のグループがあり、グループ名を変更することもできます。
	プッシュトーク電話番号	プッシュトークに使う電話番号を登録できます。それぞれの電話番号を7つのアイコンで分類することもできます。

1 待受画面で()を押す。

- FOMA端末(本体)電話帳が表示されます。

2 メンバーリスト画面(☞**P.103**)で[新規作成]を押す。

- グループリスト画面が表示されたときは、[メンバー]を押します。

3 登録方法を選び、電話帳を登録する。

電話帳から選ぶ	→名前を選ぶ→ ● 電話番号が複数登録されている場合は、プッシュトークで使用する電話番号を1つ選んでを押します。
直接入力する	→名前を入力→→電話番号を入力→→電話種別アイコンを選ぶ→→→ ● FOMA端末(本体)電話帳の名前入力画面が表示されます。 ● 登録方法の詳細については、P.109「FOMA端末(本体)電話帳に登録する」を参照してください。 ● 電話番号を複数登録した場合は、FOMA端末(本体)電話帳への登録後、プッシュトークで使用する電話番号を1つ選んでを押します。

プッシュトークグループに登録する<プッシュトークグループ>

プッシュトーク電話帳にプッシュトークグループを設定すると、簡単な操作で同じプッシュトークグループのメンバーと通信することができます。（1グループ19人までメンバーの登録が可能です。同時に発信できるのは、4人までとなります。）
設定したグループには、グループごとの名前を設定し、最大9つのグループが登録できます。グループ名は、お買い上げ時に登録されている[グループ1]～[グループ9]のグループ名を編集したりできます。グループを新規に作成するには、[グループ1]～[グループ9]の中から事前にグループを削除してください。（☞P.105）

■ プッシュトークグループを新規作成する<グループ新規作成>

1 メンバーリスト画面（☞P.103）で[MENU][6][1][グループ新規作成]を押す。
- グループリスト画面のときは、[MENU][1][1]を押します。

2 プッシュトークグループ名を入力して[●]を押す。
- プッシュトークグループ名は最大全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

関連操作

プッシュトークグループ名を編集する<グループ名編集>
1 メンバーリスト画面で[MENU][6][2]▶グループを選ぶ▶[●]
- グループリスト画面のとき：[MENU][1][2]
2 グループ名を編集する▶[●]

■ プッシュトークグループに登録する<プッシュトークグループ登録>

登録済みのプッシュトーク電話帳を、プッシュトークグループのメンバーとして登録します。

1 メンバーリスト画面（☞P.103）で、名前を選んで[i][チェック]を押す。
- チェックを1つも入れないときは、カーソル位置の電話帳を1件だけ選んだことになります。

2 [MENU][5][プッシュトークグループ登録]を押す。

3 プッシュトークグループを選んで[●]を押し、登録位置を選んで[●]を押す。
- 登録済みのメンバーを選ぶと、上書き登録されます。また、グループ内に同じ電話番号が登録されている場合、重複して登録することはできません。
- 操作1で複数のメンバーを選んだ場合は、登録位置を選ぶ必要はありません。

■ プッシュトーク電話帳を修正する<データ編集>

プッシュトーク電話帳に登録されている電話番号やグループを変更できます。

1 メンバーリスト画面（☞P.103）で、名前を選んで[MENU][3][データ編集]を押す。

2 項目を選んで[●]を押し、編集する。
- FOMA端末（本体）電話帳に登録されている別の電話番号を選択できます。
- グループ変更のときは変更後のグループを選んで[●]を押し、登録先を確認して[●]を押します。

3 [i][完了]を押し、[はい]を選んで[●]を押す。

プッシュトーク電話帳を利用してプッシュトーク発信する

プッシュトーク電話帳から電話をかけます。あらかじめプッシュトーク電話帳にメンバーを登録しておいてください。

プッシュトーク電話帳について

プッシュトーク電話帳に登録した相手に発信する場合は、グループリストからグループを選択する方法と、メンバーリストからメンバーを選択する方法があります。✉を押すとグループリスト画面とメンバーリスト画面を切り替えることができます。

- メンバーリストからメンバーを選択するには、フリガナ検索、グループ検索とメモリ番号検索に登録されたメンバーから選択することができます。検索方法を変更するときは、検索画面で📷[検索方法選択]を押し、検索方法を選択します。

プッシュトークグループから発信する

- 最大4人の相手と通信できます。

1 待受画面でP（P）を押し、相手を選ぶ。

- メンバーリスト画面が表示されたときは、✉[グループ]を押します。

グループを選ぶ（グループのメンバー全員に電話をかける場合）	⊙
グループの一部のメンバーを選ぶ	⊙→■→名前を選ぶ📷[チェック]（くり返し可）(□→☑) ● チェックを1つも入れないと、カーソル位置の相手を1人だけ選んだことになります。

2 P（P）を押す。

- 通信方法は、「プッシュトーク発信する」(☞P.99)と同様です。
- 5人以上のメンバーがグループに登録されている状態で発信した場合、[同時に通話できる人数4人を超えています]と表示されます。登録メンバーが5人以上設定されていた場合、4人まで選択して発信してください。

相手を選んで発信する

プッシュトーク電話帳のメンバーリスト画面から相手を選んで通信します。

1 待受画面でP（P）を押す。

- グループリスト画面が表示されたときは、✉[メンバー]を押します。

次ページへ続く

2 相手を選ぶ。

● 検索方法は、「電話帳から電話をかける」(☞P.118)と同様です。

フリガナ検索、メモリ番号検索のとき	名前を選ぶ(くり返し可)
グループ検索のとき	グループを選ぶ→■→名前を選ぶ(くり返し可)

3 (P)を押して発信する。

関連操作

自動で着信する<オート着信設定>
メンバーリスト画面で 7 1 ▶ 1

PT通信中着信設定を変更する<PT通信中着信設定>
メンバーリスト画面で 7 2
● 留守番電話サービスに接続するとき：1
● 転送でんわサービスに接続するとき：2
● 着信拒否するとき：3
● 通常着信するとき：4

着信音の鳴動時間を設定する<着信鳴動時間設定>
1 メンバーリスト画面で 7 3
2 1[ON]▶着信音を鳴らす時間(2桁：01〜60秒)を入力▶■

プッシュトーク通信中に折りたたんだときの動作を設定する<クローズ動作設定>
メンバーリスト画面で 7 4
● 通信を終了するとき：1
● 相手の声がスピーカから聞こえるようにするとき：2

メンバーの番号を通知する<番号通知設定>
メンバーリスト画面で 7 5 ▶ 1

お知らせ

オート着信設定について
● お買い上げ時は、[OFF]に設定されています。
● オート着信すると自動的にハンズフリーに切り替わります。また、マナーモード設定時はオート着信できません。
● プッシュトーク電話帳のオート着信設定とオート着信設定のプッシュトーク設定(☞P.374)は連動しており、どちらかを[ON]にすると同時に設定されます。

PT通信中着信設定について
● お買い上げ時は、[着信拒否]に設定されています。

着信鳴動時間設定について
● お買い上げ時は、[ON]に設定されています。
● 1対多の通信の場合、設定した時間内に応答しなかったときは、参加メンバーの通信中画面のメンバー状態表示に[不参加]と表示されます。ただし、発信中の場合は、設定によらず[終話]となります。
● オート着信設定を[ON]に設定した場合、着信鳴動時間設定は選択できません。

クローズ動作設定について
● お買い上げ時は、[スピーカ通話]に設定されています。
● FOMA端末を閉じたときに通信を終了するか、相手の声がスピーカから聞こえるようにするか選択できます。(☞P.65)
● プッシュトーク発信中にFOMA端末を閉じた場合は、クローズ動作設定にかかわらず発信を終了します。

番号通知設定ついて
● お買い上げ時は、[非通知]に設定されています。

ネットワーク接続について
● ネットワーク接続をご利用の場合は、プッシュトークプラスのご契約が必要です。

プッシュトーク電話帳を削除する

1 メンバーリスト画面(☞P.103)で、名前を選んで[削除]を押す。

- グループリスト画面が表示されたときは、[メンバー]を押します。
- グループ内全件削除、全件削除をするときは、メンバーを選ぶ必要はありません。

2 削除方法を選ぶ。

データを1件削除する	1
複数のデータをまとめて削除する	2→メンバーを選ぶ●(くり返し可)→ ● すべてを選択/解除する場合は、[全選択]/[全解除]を押します。
選んだFOMA端末(本体)電話帳グループ内のすべてのデータを削除する	3→グループを選ぶ→●→端末暗証番号(4~8桁の数字)を入力→●
プッシュトーク電話帳のすべてのデータを削除する	4→端末暗証番号(4~8桁の数字)を入力→●

3 FOMA端末(本体)電話帳の削除方法を選び、[はい]を選んで●を押す。

プッシュトーク電話帳のみ削除する	1
FOMA端末(本体)電話帳からも削除する	2 ● FOMA端末(本体)電話帳とプッシュトーク電話帳からデータを削除します。

プッシュトークグループを削除する<削除>

1 グループリスト画面(☞P.103)で、グループを選んで2[削除]を押す。

- メンバーリスト画面が表示されたときは、[グループ]を押します。

2 削除方法を選び、[はい]を選んで●を押す。

グループを1件削除する	1
すべてのグループを削除する	2

プッシュトークグループからメンバーを削除する<グループから削除>

1 グループリスト画面(☞P.103)で、グループを選んで●を押す。

- メンバーリスト画面が表示されたときは、[グループ]を押します。

2 メンバーを選んで1[グループから削除]を押し、削除方法を選ぶ。

メンバーを1件削除する	1→[はい]→●
複数のメンバーをまとめて削除する	2→メンバーを選ぶ●(くり返し可)→→[はい]→● ● すべてを選択/解除する場合は、[全選択]/[全解除]を押します。
グループ内のすべてのメンバーを削除する	3→[はい]→●

プッシュトークの発着信について設定する

設定できる項目は次のとおりです。

項　目	設定内容	ページ
番号通知設定	プッシュトーク発信時、自分やグループのメンバーの電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。	P.106
着信鳴動時間設定	プッシュトークの着信音を鳴らす時間を設定します。	P.134
オート着信設定	プッシュトーク着信時、自動応答するかどうかを設定します。	P.374
PT通信中着信設定	プッシュトーク通信中に音声電話がかかってきたときの動作を設定します。	P.106
ｉモード通信中着信設定	ｉモード通信中にプッシュトーク着信を受けるかどうかを設定します。	P.214
クローズ動作設定	プッシュトーク通信中にFOMA端末を閉じたときの動作を［終話］、［スピーカ通話］（相手の声をスピーカから聞こえるようにする）に設定します。	P.65
呼出動作開始時間設定	電話帳に登録されていない相手や電話番号を通知してこない相手からの着信時、設定した秒数後に着信音が鳴るように設定します。音声電話・テレビ電話と共通の設定です。	P.170
再接続機能	電波の状態などで通信が途切れたときに自動的に再接続して通信を継続できるようにします。音声電話・テレビ電話と共通の設定です。	P.62

自分やメンバーの電話番号を通知する<番号通知設定>

お買い上げ時
非通知

1 待受画面で■６６１を押し、１［通知］を押す。

● 詳細メニューから（設定）→［通話・通信機能設定］→［プッシュトーク設定］→［番号通知設定］の順に選択することもできます。

お知らせ

● 発信者番号通知の設定に関わらず、プッシュトークの発信者が番号通知設定を［通知］に設定して発信した場合、着信したメンバー全員に発信者や全メンバーの電話番号が通知されます。［非通知］に設定して発信した場合、着信側には発信者やメンバーの欄にすべて［非通知］と表示されます。
● プッシュトークを発信する際に、複数の番号通知方法を同時に設定・操作した場合、次の優先順位で番号通知動作が行われます。

	優先順位（高→低）
番号通知設定	発信時に発信条件で番号通知方法を設定した場合→プッシュトーク番号通知設定を設定した場合

通信中に電話がかかってきたときの対応方法を選ぶ<PT通信中着信設定>

お買い上げ時
着信拒否

プッシュトーク通信中に音声電話がかかってきたときの動作を設定します。

1 待受画面で■６６２を押し、着信動作を選ぶ。

● 詳細メニューから（設定）→［通話・通信機能設定］→［プッシュトーク設定］→［PT通信中着信設定］の順に選択することもできます。

留守番電話	１	自動的に留守番電話サービスに接続します。
転送でんわ	２	自動的に転送でんわサービスに接続します。
着信拒否	３	着信を拒否します。
通常着信	４	プッシュトーク通信を続けるか、終了してかかってきた音声電話に出るか選択できます。 ● 話している最中に音声電話がかかってきた場合、発言は中断されます。

● 留守番電話や転送でんわに設定するには、留守番電話サービスや転送でんわサービスのお申し込みが必要です。なお、未契約の場合設定しても音声電話が通常着信となります。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳について

FOMA端末(本体)電話帳とFOMAカード電話帳の両方を使用できます。FOMA端末(本体)電話帳とFOMAカード電話帳では登録できる項目や件数などが異なります。

プッシュトーク用にプッシュトーク電話帳も利用できます。

FOMA端末(本体)電話帳とFOMAカード電話帳とプッシュトーク電話帳の違い

FOMA端末(本体)電話帳とFOMAカード電話帳のそれぞれに、名前、電話番号、メールアドレスなどを登録できます。

- FOMA端末(本体)電話帳への新規登録時、続けてプッシュトーク電話帳にも登録できます。
- お客様のFOMAカードを他のFOMA端末にセットしても、FOMAカード電話帳のデータを利用できます。複数のFOMA端末で電話帳を共用したい場合は、FOMAカード電話帳に登録しておくと便利です。

	FOMA端末(本体)電話帳	FOMAカード電話帳
件数	750件	ドコモのFOMAカード:50件
名前の登録文字数	最大全角16文字(半角32文字)	半角英数のみ:最大21文字 全角のみ、全角/半角混在、半角カタカナのみ:最大10文字
フリガナ	最大半角32文字	半角英数のみ:最大25文字 全角のみ、全角/半角混在:最大12文字
グループの設定	20グループ	11グループ
アイコン	電話番号:7種類 メールアドレス:4種類	−
メモリ番号の設定	000~749	−
電話番号	1つの電話帳に3件(電話帳全体で登録可能な電話番号は2250件まで)	1つの電話帳に1件
メールアドレス	1つの電話帳に3件(電話帳全体で登録可能なメールアドレスは2250件まで)	1つの電話帳に1件
郵便番号	1つの電話帳に1件	−
住所	1つの電話帳に1件	−
誕生日	1つの電話帳に1件	−
メモ	1つの電話帳に1件	−
指定着信音選択	1つの電話帳に1件	−
指定メール着信音選択	1つの電話帳に1件	−
画像(ピクチャーコール設定)	1つの電話帳に1件	−
キャラ電設定	1つの電話帳に1件	−

−:登録不可

プッシュトーク電話帳	
件数	750件
名前の登録文字数	最大全角16文字(半角32文字)
フリガナ	最大半角32文字
電話番号	1つの電話帳に1件
プッシュトークグループ	9グループ(☞P.102)

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

FOMA端末（本体）電話帳に登録する

よくおかけになる電話番号を、名前やメールアドレスなどと併せて電話帳に登録すると、簡単な操作で電話をかけたり、i モードメールやSMSを送信したりできます。

- カメラで撮影した静止画や動画／i モーションなどを、電話帳に登録できます。画像を登録した相手から電話がかかってきたときは、名前や電話番号と登録した画像が表示されます。
- FOMA端末（本体）電話帳への新規登録時、続けてプッシュトーク電話帳にも登録できます。

登録できる内容

（未登録）
（未登録）
（指定なし）
（未登録）
（未登録）
（未登録）
（未登録）
（未登録）
（未登録）
（未登録）
（未登録）
（未登録）
（未登録）
ＯＦＦ
（設定なし）
指定着信音選択
（設定なし）
指定メール着信音選択
（設定なし）
ピクチャーコール設定
（設定なし）
キャラ電設定
（設定なし）
▲ページ　決定　▼ページ

FOMA端末（本体）電話帳入力画面

アイコン	項　目	内　容	ページ
	名前	名前を入力します。最大全角16文字（半角32文字）まで入力できます。	P.110
ｶﾅ	フリガナ	フリガナが自動的に入力されます。修正することもできます。最大半角32文字まで入力できます。	P.110
	グループ	グループに分けて登録できます。20のグループがあり、グループ名を変更することもできます。	P.112
	電話番号	３件の電話番号を登録できます。それぞれの電話番号を７つのアイコンで分類することもできます。 １件の電話番号はプッシュトーク電話帳にも登録できます。	P.110
	メールアドレス	３件のメールアドレスを登録できます。それぞれのメールアドレスを４つのアイコンで分類することもできます。	P.110
〒	郵便番号	郵便番号を登録できます。	P.112
	住所	住所を登録できます。最大全角50文字（半角100文字）まで入力できます。	P.112
	誕生日	誕生日を登録できます。1900年１月１日～2099年12月31日まで入力できます。	P.112
	メモ	メモを登録できます。最大全角100文字（半角200文字）まで入力できます。	P.112
	シークレット登録	電話帳を表示しないようにできます。電話帳を他人に見られたくない場合に設定します。	P.124
	シークレットコード	相手から指定されたシークレットコードを入力します。メールを送信するときに使います。	P.112
♪	指定着信音選択	電話がかかってきたときに、専用の着信音や着モーションで相手を識別できます。	P.112
	指定メール着信音選択	メールを受信したときに、専用のメール着信音や着モーションで相手を識別できます。	P.112
	ピクチャーコール設定	電話をかけたり、電話がかかってきたときに、画像で相手を識別できます。また、電話帳リストに専用の画像が表示されます。カメラで撮影した静止画や動画／i モーションなどを１件登録できます。	P.112
	キャラ電設定	テレビ電話中に代替画像を送信する場合のキャラ電を設定できます。	P.112

お知らせ

- ドコモショップなど窓口にて機種変更時など新機種へコピーする際は、仕様によっては、FOMA端末に登録したデータをコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ピクチャーコール設定で i モーションを設定している場合、発信時には発着信画面設定で設定した画像が表示されます。

電話帳に登録した内容は、別にメモを取るか、パソコンをお持ちの場合は**miniSD**メモリーカード（**P.323**）やデータリンクソフト（**P.426**）をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。また、電話帳お預かりサービス（**P.124、P.125**）をご契約いただくことで、**FOMA**端末の電話帳をお預かりセンターに保存することもできます。

- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、電話帳に登録してある内容が消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

基本的な登録のしかた

電話帳に相手の名前、電話番号、メールアドレスを登録します。

1 待受画面で[文字]を１秒以上押し、[1][本体新規]を押す。

- 待受画面で[文字][メニュー][2][1]を押しても表示できます。
- 音声電話中は[メニュー][3][1]を押します。

2 名前を入力して[●]を押す。

FOMA端末（本体）
電話帳入力画面

- [ｶﾅ]の行に、入力した名前のフリガナが自動的に入力されます。名前の入力後に修正した場合、フリガナには自動で反映されません。
- 名前に記号や絵文字を入力したときや、ワンタッチ変換で入力したとき、フリガナは自動的に入力されません。
- フリガナが違っているときは、[ｶﾅ]を選んで[●]を押し、正しいフリガナに修正します。

3 [☎]を選んで[●]を押し、電話番号を入力して[●]を押す。

アイコン選択
1 一般電話
2 携帯電話
3 テレビ電話
4 自宅
5 会社
6 自宅FAX
7 会社FAX
決定

- 登録先が一般電話の場合は、同一市内でも必ず市外局番から入力してください。
- 電話番号は26桁まで入力できます。
- 電話番号には、[¥]や[#]も入力できますが、正しく発信できない場合があります。
- [186]を付けて電話帳に登録すると、電話番号をｉモードメールやSMS送信時の宛先に選択した場合、送信できません。

国際電話をかける（[+]入力）	[0]（１秒以上）→電話番号の入力
ポーズ[P]を入力する	[・]
入力をやり直す	[CLR]（最後の１桁またはカーソル位置の文字が消えます。） ● [CLR]を１秒以上押すと、カーソルが最後の位置にあるときは番号がすべて消えます。カーソルがそれ以外の位置にあるときはカーソル以降の番号がすべて消えます。正しい番号を入力してください。

4 電話種別アイコンを選ぶ。

アイコン	種別	キー	アイコン	種別	キー
☎	一般の電話	[1]		会社の電話	[5]
	携帯電話	[2]		自宅のFAX	[6]
	テレビ電話	[3]		会社のFAX	[7]
	自宅の電話	[4]			

- 電話番号を複数登録するときは、操作３～４をくり返します。

5 [✉]を選んで[●]を押し、メールアドレスを入力して[●]を押す。

- 半角の英字、数字、一部の記号を最大で半角50文字まで入力できます。
- メールアドレスに、絵文字は入力できません。

[@]や[.]（ピリオド）を入力する	[1]（数回）
インターネットに関連した定型文を入力する	[文字]（１秒以上） ● メールアドレスの一部を簡単に入力できます。（☞P.398） ● [A/a]（１秒以上）[5][インターネット]を押しても操作できます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.323）

6 メールアドレス種別アイコンを選ぶ。

ドコモ太郎
ﾄﾞｺﾓﾀﾛｳ
(指定なし)
090XXXXXXXX
(未登録)
(未登録)
docomo.taro.△△@doc‥
(未登録)
(未登録)
(未登録)
完了 決定
▲ページ ▼ページ

	携帯電話のメールアドレス	1		会社のメールアドレス	3
	自宅のメールアドレス	2		メールアドレス	4

● メールアドレスを複数登録するときは、操作5～6をくり返します。

7 [完了]を押し、メモリ番号（3桁：000～749）を入力する。

● メモリ番号を入力せずに■を押すと、[010]～[749]の空いているメモリ番号の中で、最も小さい番号に登録されます。空いていないときは、[000]～[009]の中で最も小さい番号に登録されます。
● メモリ番号に登録後、[プッシュトーク電話帳に登録しますか？]と表示されます。

8 プッシュトーク電話帳に登録するかどうかを選ぶ。

登録する	[はい]→■ ● 電話番号が2件以上登録されている場合は、プッシュトークで使用する電話番号を1つ選んで■を押します。
登録しない	[いいえ]→■

お知らせ

● シークレット登録を[ON]に設定しているときは、シークレットモードを[ON]に設定しないと電話帳を上書き登録できません。
● すでにFOMA端末（本体）電話帳に750件登録されているときに、電話番号またはメールアドレスを登録しようとした場合、メモリ番号を指定すると、すでに登録されている電話帳に上書き登録されます。（FOMAカード電話帳の場合には上書き登録されません。）
● 電話帳の登録および残り件数を確認するには、P.334「メモリの使用状況を確認する」を参照してください。

操作ガイダンスに[完了]が表示されないとき

● 名前を入力してください。

メモリ番号について

● メモリ番号[000]～[099]に登録した相手には、ツータッチダイヤルで電話をかけることができます。（☞P.125）

メモリ番号にはこんな指定方法もあります

● 百の位の数字を1桁入力して■を押します。
空いているメモリ番号（1の場合、[100]～[199]）の中で、最も小さい番号に登録されます。
● 百の位と十の位の2桁を入力して■を押します。
空いているメモリ番号（1 2の場合、[120]～[129]）の中で、最も小さい番号に登録されます。

編集中にiモードメールやSMS、メッセージR／Fを受信すると

● メール受信表示設定を[操作優先]に設定した場合は、受信結果は表示されず、編集を続けることができます。

FOMAカードへのコピーについて

● FOMA端末（本体）に登録した電話帳をFOMAカードにコピーしたり（☞P.115）、FOMAカードに登録した電話帳をFOMA端末（本体）にコピー（☞P.115）できます。

miniSDメモリーカードについて

● FOMA端末（本体）に登録した電話帳をminiSDメモリーカードにコピーしたり（☞P.326）、miniSDメモリーカード内の電話帳を表示（☞P.327）できます。
● miniSDメモリーカード内の電話帳をFOMA端末（本体）にコピー（☞P.328）できます。

赤外線通信について

● FOMA端末（本体）電話帳を赤外線通信で送受信できます。（☞P.337）

記号や絵文字の使用について

● FOMA端末（本体）電話帳の[名前]、[メモ]、[住所]には、記号や絵文字も入力できますが、赤外線通信などでiモード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。

次ページへ続く

関連操作

グループを設定する＜グループ設定＞
電話帳入力画面（☞P.110）で[👥]▶●▶グループを選ぶ▶●

郵便番号を登録する
電話帳入力画面（☞P.110）で[〒]▶●▶郵便番号を入力▶●

住所を登録する
電話帳入力画面（☞P.110）で[住所]▶●▶住所を入力▶●

誕生日を登録する
電話帳入力画面（☞P.110）で[🎂]▶●▶誕生日を入力▶●

メモを登録する
電話帳入力画面（☞P.110）で[メモ]▶●▶メモを入力▶●

シークレット登録する＜シークレット登録＞
電話帳入力画面（☞P.110）で[🔑]▶●▶1

メールアドレスにシークレットコードを設定する＜シークレットコード＞
1 電話帳入力画面（☞P.110）で[✉]▶●▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶●
2 1[コード設定]
- 設定済みのシークレットコードを確認するとき：2
- シークレットコードを解除するとき：3

3 ｉモードメールアドレスを選ぶ▶●▶シークレットコード（4桁）を入力▶[はい]▶●

着信音や着モーションを設定する＜指定着信音選択／指定メール着信音選択＞
1 電話帳入力画面（☞P.110）で[♪ 指定着信音選択]▶●
- 指定メール着信音を設定するとき：[♪ 指定メール着信音選択]▶●

2 1[通常着信音]
- 着モーションを設定するとき：2
- 設定を解除するとき：3

3 フォルダを選ぶ▶●▶着信音を選ぶ▶📱

画像を設定する＜ピクチャーコール設定＞
1 電話帳入力画面（☞P.110）で[🖼 ピクチャーコール設定]▶●
2 1[マイピクチャ]
- 動画／ｉモーションを設定するとき：2
- カメラで静止画を撮影するとき：3▶撮影
- カメラで動画を撮影するとき：4▶撮影
- 画像の設定を解除するとき：5

3 フォルダを選ぶ▶●▶画像を選ぶ▶📱

キャラ電を設定する＜キャラ電設定＞
1 電話帳入力画面（☞P.110）で[☺ キャラ電設定]▶●
2 1[キャラ電]
- キャラ電の設定を解除するとき：2

3 フォルダを選ぶ▶●▶キャラ電を選ぶ▶📱
- キャラ電を確認するとき：キャラ電を選ぶ▶●（CLRで戻る）

お知らせ
指定着信音選択／指定メール着信音選択について
- データBOXのメロディから着信音、ｉモーションから着モーションを選択できます。
- 映像のみ、またはテロップを付けた動画／ｉモーション、再生制限のある動画／ｉモーションは、着モーションに設定できません。
- 映像と音声を含んだ動画／ｉモーションを着モーションに設定した場合、自動的にピクチャーコールに設定されます。
- 着信音設定が[不可]の動画／ｉモーションは着モーションに設定できません。（☞P.333）
- miniSDメモリーカードからFOMA端末（本体）にコピーした動画／ｉモーションは着モーションに設定できません。撮影した動画を着モーションに設定する場合は、FOMA端末（本体）に録画してください。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.323）

お知らせ

- 発信者番号を通知しない電話がかかってきたときは、着信音選択の非通知設定着信音で設定した着信音が鳴ります。設定していないときは、通常の着信音が鳴ります。
- シークレット登録した相手から電話がかかってきたりメールを受信すると、通常の着信音が鳴ります。指定着信音選択／指定メール着信音選択の設定を有効にするには、シークレットモードを[ON]に設定してください。
- 電話帳のPIMロック中に、電話がかかってきたりメールを受信すると、通常の着信音が鳴ります。
- 指定メール着信音を利用するときは、相手のメールアドレスをドメイン名まで登録する必要があります。ただし、相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話番号のみをメールアドレスとして登録してください。
- メール着信音に映像と音声を含んだ動画／ｉモーションを着モーションとして設定した場合、待受画面以外でメールを受信したときに音声のみしか再生されない場合があります。

シークレット登録について

- シークレット登録については、P.124を参照してください。

シークレットコードについて

- シークレットコードは、メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合のみ有効です。シークレットコードについては、P.225を参照してください。
- シークレットコードに[0000]は設定できません。
- シークレットコードは、電話帳データ１件につき、メールアドレス１～３のうち１つのメールアドレスに対してのみ設定できます。
- メールアドレスにシークレットコードを設定しても、メール作成画面（☞P.229）の宛先欄にシークレットコードは表示されません。
- 自分のシークレットコードの登録については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- メールアドレスにシークレットコードを含めて、「携帯電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」の形式で電話帳に登録している場合は、メール送信できないことがあります。メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」に変更してから、シークレットコードを登録してください。

ピクチャーコール設定について

- 音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）、またはテロップを付けた動画／ｉモーション、再生制限のある動画／ｉモーションは、ピクチャーコールに設定できません。
- ピクチャーコールに設定した静止画のデータサイズによっては、画像展開に時間がかかることがあります。
- ピクチャーコールに動画／ｉモーションを設定したときは、電話帳リスト画面に画像を表示した場合、最初の１コマ目が表示されます。
- ピクチャーコールを設定した相手から、キャッチホンで着信した場合、設定した画像は表示されます。
- miniSDメモリーカードからFOMA端末（本体）にコピーしたり、赤外線通信やデータリンクソフトなどを使用して転送した動画／ｉモーションは、ピクチャーコールに設定できません。撮影した動画をピクチャーコールに設定する場合は、FOMA端末（本体）に録画してください。
- ピクチャーコールに設定した画像をデータBOXから削除するときは、[１件削除]を選択します。削除の確認画面で[はい]を選択すると削除されます。
- カメラ撮影後のプレビュー画面で、📷３２[電話帳]を押すと、撮影した静止画をピクチャーコールに設定できます。
- 指定着信音に映像と音声を含んだ動画／ｉモーションを設定している場合、ピクチャーコールに静止画を設定すると、指定着信音の設定は解除されます。また、ピクチャーコールに映像と音声を含んだ動画／ｉモーション設定すると、指定着信音の設定にも反映されます。

FOMAカード電話帳に登録する

FOMAカード内の電話帳にも登録できます。FOMA端末(本体)電話帳と登録できる項目が一部異なります。

- FOMAカード電話帳には、最大50件まで登録できます。
- 1件の電話帳に1件の電話番号と1件のメールアドレスを登録できます。

登録できる内容

アイコン	項　目	内　容
👤	名前	名前を入力します。半角英数のみの場合は最大21文字まで、全角のみや全角/半角が混在している場合、半角カタカナのみの場合は最大10文字まで入力できます。 半角英数のみで10文字以上入力してから全角/半角カタカナを入力した場合、全角/半角カタカナ以降に入力した文字は登録されません。また、全角/半角混在で10文字以上入力した場合、11文字目以降の文字は登録されません。
ｶﾅ	フリガナ	フリガナが自動的に入力されます。修正することもできます。全角カタカナのみで最大12文字、半角英数のみで最大25文字まで入力できます。全角/半角が混在している場合は最大12文字まで入力できます。半角で12文字以上入力してから全角カタカナを入力した場合、全角カタカナ以降に入力した文字は登録されません。
👥	グループ	グループに分けて登録できます。11のグループがあり、グループ名を変更することもできます。
📞	電話番号	電話番号を1件登録できます。
✉	メールアドレス	メールアドレスを1件登録できます。

基本的な登録のしかた

1 待受画面で[文字]を1秒以上押し、[2]［FOMAカード(UIM)新規］を押す。

- 待受画面で[文字][📷][2][2]を押しても表示できます。

2 名前を入力して[●]を押す。

- [ｶﾅ]の行に、入力した名前のフリガナが自動的に入力されます。名前の入力後に修正した場合、フリガナには自動で反映されません。
- 名前に記号や絵文字を入力したときや、ワンタッチ変換で入力したとき、フリガナは自動的に入力されません。
- フリガナが違っているときは、[ｶﾅ]を選んで[●]を押し、正しいフリガナに修正します。

3 [👥]を選んで[●]を押し、設定するグループを選んで[●]を押す。

4 [📞]を選んで[●]を押し、電話番号を入力して[●]を押す。

- FOMAカード(緑色/白色)をご使用のときは26桁、FOMAカード(青色)をご使用のときは20桁まで入力できます。
- 電話番号を間違えたときは、[CLR]を押すと、最後の1桁またはカーソル位置の文字が消えます。また、[CLR]を1秒以上押すと、カーソルが最後の位置にあるときは番号がすべて消えます。カーソルがそれ以外の位置にあるときはカーソル以降の番号がすべて消えます。正しい番号を入力してください。

5 [✉]を選んで[●]を押し、メールアドレスを入力して[●]を押す。

- 半角の英字、数字、一部の記号を最大で半角50文字まで入力できます。
- メールアドレスに、絵文字は入力できません。

[@]や[.](ピリオド)を入力する	[1](数回)
インターネットに関連した定型文を入力する	[文字](1秒以上) ● メールアドレスの一部を簡単に入力できます。(☞P.398) ● [✉](1秒以上)[5]を押しても操作できます。

6 [完了]を押す。

FOMA端末(本体)電話帳をFOMAカード内の電話帳にコピーする

FOMA端末(本体)とFOMAカードの間で、電話帳のデータをコピーできます。

1 待受画面でを押し、名前を選んで[FOMAカードへコピー]を押す。

2 コピー方法を選ぶ。

1件コピーする	→[はい]→
選択コピーする	→名前を選ぶ(くり返し可)→→[はい]→ ● すべてを選択/解除する場合は、[全選択]/[全解除]を押します。
電話帳の内容を確認してコピーする	操作1で名前を選んで→→[はい]→

お知らせ

- FOMAカードが挿入されていない場合は、この機能を利用できません。
- FOMA端末(本体)とFOMAカードでは、1つの電話帳に登録できる電話番号/メールアドレスの件数が異なるため、FOMA端末(本体)に登録された2件目以降の電話番号/メールアドレスはFOMAカードにコピーできません。また、使える文字や文字数も異なるため、コピーできないことがあります。コピーできないデータがあるときは、[一部コピーできない項目がありますが、コピーしますか?]と表示されます。[はい]を選択すると、1件目の電話番号/メールアドレスがコピーされます。
- シークレット登録した電話帳は、シークレットモードを[ON]に設定しないとコピーできません。
- FOMA端末(本体)に登録した電話帳をFOMAカードにコピーすると、各項目は次のように登録されます。
  - ■ 名前は全角10文字(半角21文字)を超えた文字は破棄されます。
  - ■ フリガナは全角カタカナで登録され、12文字を超えた文字は破棄されます。さらに、FOMAカードにコピーした電話帳をFOMA端末(本体)にコピーすると、フリガナは半角カタカナで登録されます。
  - ■ 名前が英数字の場合、フリガナは半角で登録され、25文字を超えた文字は破棄されます。
  - ■ FOMA端末(本体)電話帳のグループ名と同じグループ名がFOMAカード電話帳にあるときは、そのまま登録されます。同じグループ名がないときは[(指定なし)]となります。なお、全角と半角は別の文字として扱われます。
- FOMA端末(本体)とFOMAカードでは、利用できる文字の種類が異なるため、一部の利用できない文字がスペースに変換される場合があります。
- 電話帳データをコピーしてもコピー元のデータは残ります。
- データのコピー中にコピー先の最大登録(保存)件数を超えたときは、[メモリがいっぱいです　これ以上登録できません]と表示されます。すでに登録(保存)されているデータの中で、不要なものを削除したあと、コピーされなかったデータのコピーをやり直してください。

FOMAカード内の電話帳をFOMA端末(本体)電話帳にコピーする

1 待受画面でを押し、名前を選んで[本体へコピー]を押す。

2 コピー方法を選ぶ。

1件コピーする	→[はい]→
選択コピーする	→名前を選ぶ(くり返し可)→→[はい]→ ● すべてを選択/解除する場合は、[全選択]/[全解除]を押します。
電話帳の内容を確認してコピーする	操作1で名前を選んで→→[はい]→

次ページへ続く

お知らせ

- FOMAカードに登録した電話帳をFOMA端末(本体)にコピーすると、各項目は次のように登録されます。
  - フリガナは半角で登録されます。
  - FOMAカード電話帳の電話番号、メールアドレスは、FOMA端末(本体)電話帳のそれぞれ1件目に保存されます。
  - FOMAカード電話帳のグループ名と同じグループ名がFOMA端末(本体)電話帳にあるときは、そのまま登録されます。同じグループ名がないときは、[(指定なし)]となります。なお、全角と半角は別の文字として扱われます。
  - メモリ番号は[010]〜[749]→[000]〜[009]の順で、使用していないメモリ番号が割り当てられます。
- 他のFOMA端末で登録したFOMAカードのデータを本FOMA端末にコピーする場合、半角英数記号以外のラテン文字、ギリシャ文字、一部の記号または区点コード一覧にない全角文字はスペースで表示されます。
- コピーできないデータがあるときは、[一部コピーできない項目がありますが、コピーしますか?]と表示されます。[はい]を選択すると、電話番号／メールアドレスがコピーされます。

リダイヤルや着信履歴などから電話帳に登録する

リダイヤルや着信履歴、カメラのバーコードリーダーや文字読み取り、メールなどからも電話帳に登録できます。

例:着信履歴から登録する場合

1 待受画面で□(→□)を押し、電話番号を選んで□□[電話帳登録]を押す。

2 登録方法を選ぶ。

FOMA端末(本体)電話帳に登録する	1
FOMAカード電話帳に登録する	2
追加／上書き登録する	3
プッシュトーク電話帳に登録する	4
プッシュトークグループに登録する	5

- 電話帳入力画面に、選択した電話番号が入力されています。電話帳登録の操作を続けます。(☞P.110、P.114)
- [プッシュトークグループ登録]は、プッシュトーク発着信履歴のみ選択可能です。(1対多でプッシュトーク発信を行った履歴が対象になります。また、多側の電話番号がプッシュトーク電話帳に登録されているときにプッシュトークグループに登録できます。)

グループ設定

グループを設定する

電話帳にグループを設定して、グループごとの名前、着信音、電話がかかってきたときの画像を設定することができます。

- FOMAカード電話帳の場合、グループ名編集のみできます。

グループ名を変更する<グループ名編集>

お買い上げ時
下記参照

グループ名を変更できます。

- [1(指定なし)]は変更できません。

お買い上げ時設定(FOMA端末(本体)電話帳:[(指定なし)]、[グループ1]〜[グループ19]
FOMAカード電話帳:[(指定なし)]、[グループ1]〜[グループ10])

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

1 待受画面で[文字]を押し、設定するグループを選ぶ。

グループ設定画面

電話帳リスト画面のとき	[カメラ][8]→グループを選ぶ→[■]
グループリスト画面のとき	グループを選ぶ→[カメラ][3]

2 [1][グループ名編集]を押し、グループ名を入力／修正して[■]を押す。

- グループ名の入力文字数は次のとおりです。
  - ■ FOMA端末(本体)電話帳：最大全角10文字(半角20文字)
  - ■ FOMAカード電話帳：半角英数のみの場合は最大21文字
全角のみや全角／半角が混在している場合、半角カタカナのみの場合は最大10文字
- お買い上げ時のグループ名に戻すときは、[CLR]を1秒以上押して[■]を押します。

3 [i][完了]を押す。

関連操作

グループごとの着信音や着モーションを設定する<指定着信音選択／指定メール着信音選択>

1 グループ設定画面(☞P.117)で[2]
- グループ指定メール着信音を設定するとき：[3]

2 [1][通常着信音]
- 着モーションを設定するとき：[2]
- 設定を解除するとき：[3]

3 フォルダを選ぶ▶[■]▶着信音を選ぶ▶[i]▶[i]

グループごとの画像を設定する<ピクチャーコール設定>

1 グループ設定画面(☞P.117)で[4]

2 [1][マイピクチャ]
- 動画／iモーションを設定するとき：[2]
- カメラで静止画を撮影するとき：[3]▶撮影
- カメラで動画を撮影するとき：[4]▶撮影
- 画像の設定を解除するとき：[5]

3 フォルダを選ぶ▶[■]▶画像を選ぶ▶[i]▶[i]

お知らせ

指定着信音選択／指定メール着信音選択について

- 映像のみ、またはテロップを付けた動画／iモーション、再生制限のある動画／iモーションは、着モーションに設定できません。
- 着信音設定が[不可]の動画／iモーションは着モーションに設定できません。(☞P.333)
- miniSDメモリーカードからFOMA端末(本体)にコピーした動画／iモーションは、着モーションに設定できません。撮影した動画を着モーションに設定する場合は、FOMA端末(本体)に録画してください。
- 発信者番号を通知しないで電話がかかってきたときは、通常の着信音が鳴ります。
- グループ内のシークレット登録した相手から電話がかかってきたりメールを受信すると、通常の着信音が鳴ります。グループ指定着信音選択／グループ指定メール着信音選択の設定を有効にするには、シークレットモードを[ON]に設定してください。
- グループメール着信音を設定するときは、相手のメールアドレスをドメイン名まで登録する必要があります。ただし、相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話番号のみをメールアドレスとして登録してください。
- 映像と音声を含む動画／iモーションを着モーションとして設定した場合は、グループのピクチャーコール設定もそのiモーションが自動的に設定されます。

次ページへ続く

お知らせ

- 複数の着信音が設定されているときの優先順位については、P.128を参照してください。

ピクチャーコール設定について

- グループピクチャーコールを設定すると、グループ選択画面に[]が表示されます。
- ピクチャーコールを設定した相手から、キャッチホンで着信した場合、設定した画像は表示されます。
- 音声のみのｉモーション(歌手の歌声など映像のないｉモーション)、またはテロップを付けた動画／ｉモーション、再生制限のある動画／ｉモーションは、ピクチャーコールに設定できません。
- miniSDメモリーカードからFOMA端末(本体)にコピーした動画／ｉモーションは、ピクチャーコールに設定できません。撮影した動画をピクチャーコールに設定する場合は、FOMA端末(本体)に録画してください。
- 発信者番号を通知しないで電話がかかってきたときは、通常の電話着信画面が表示されます。
- グループ内のシークレット登録した相手から電話がかかってくると、通常の電話着信画面が表示されます。グループピクチャーコールの設定を有効にするには、シークレットモードを[ON]に設定してください。
- 複数のピクチャーコールが設定されているときの優先順位については、P.141を参照してください。

電話帳検索

電話帳から電話をかける

登録した電話帳を呼び出して電話をかけたり、メールを送信できます。また、シークレット登録した電話帳は、シークレットモード(☞P.166)を[ON]に設定すると検索することができます。

- 電話帳のPIMロック中は、端末暗証番号(４～８桁の数字)を入力すると電話帳から電話をかけることができます。

電話帳の検索方法を選択する<検索方法選択>

電話帳の検索のしかたには、フリガナ検索、グループ検索、メモリ番号検索があります。

- FOMAカード電話帳にはメモリ番号がないため、メモリ番号では検索できません。
- 待受画面で[文字]を押すと、前回選択した検索方法で表示されます。

1 待受画面で[文字]を押し、[カメラ][1][検索方法選択]を押して検索方法を選ぶ。

フリガナ検索	[1]	FOMA端末(本体)電話帳とFOMAカード電話帳の両方がフリガナ順に表示されます。
グループ検索	[2]	FOMA端末(本体)電話帳のあとにFOMAカード電話帳が表示されます。
メモリ番号検索	[3]	FOMA端末(本体)電話帳のみが表示されます。FOMAカード電話帳にはメモリ番号がないため、表示されません。

- 選んだ検索方法で、電話帳が表示されます。

関連操作

音声電話中に電話帳を表示する

音声電話中に[MULTI]▶[電話帳](電話帳)▶[●]

miniSDメモリーカード内の電話帳を表示する<miniSDデータ参照>

待受画面で[文字]▶[カメラ][ ][3]

- グループ検索のとき：待受画面で[文字]▶グループを選ぶ▶[●]▶[カメラ][ ][3]

電話帳をPIMロックする<PIMロック>

1 待受画面で[文字]▶[カメラ][ ][5]

- グループ検索のとき：待受画面で[文字]▶グループを選ぶ▶[●]▶[カメラ][ ][5]

2 端末暗証番号(４～８桁の数字)を入力▶[●]▶[1]

お知らせ

miniSDデータ参照について

- miniSDメモリーカード内の電話帳データの検索方法は、選択できません。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

名前で検索する<フリガナ検索>

1 待受画面で[文字]を押す。

電話帳リスト画面（カ～コ行）

- 詳細メニューから(電話帳)を選択しても電話帳を表示できます。
- フリガナ検索の電話帳リスト画面が表示されないときは、[カメラ][1][1]を押します。

2 名前を選ぶ。

五十音順の前の行／次の行を表示する	[左右]
1件ずつ選択する	[上下]
フリガナを入力（スピーディーサーチ）する	フリガナを1文字ずつ入力するたびに、入力した文字以降で最も近いフリガナの電話帳が順次表示されます。

3 [●]を押す。

電話帳
内容表示画面

- [左右]で各アイコンを選んで[●]を押すと、次の動作を行います。

(電話番号アイコン)	登録している電話番号に発信します。
(メールアドレスアイコン)	登録しているメールアドレス宛のメール作成画面が表示されます。
(住所アイコン)	登録している住所を確認できます。
(メモアイコン)	登録しているメモの内容を確認できます。
♪ (着モーションアイコン)	設定している着信音または着モーションを再生します。
(画像アイコン)	設定している静止画、動画／iモーションを表示します。
(キャラ電アイコン)	設定しているキャラ電を再生します。

4 電話をかける。

音声電話をかける	[発信]または[●]
テレビ電話をかける	[テレビ電話]
プッシュトークをかける	[P]([P])または[メール]

- 表示されている電話番号に発信します。

お知らせ

- 電話帳リスト画面で、[メール][▲ページ]を押すとページ単位で上にスクロールし、[文字][▼ページ]を押すとページ単位で下にスクロールします。
- フリガナ検索は次の順番で表示されます。
  カタカナ(50音→濁点・半濁点)→英字→数字→スペース→記号→フリガナなし
  (フリガナの1文字目にスペースが入力されている場合は、数字のあと、記号より前に表示されます。)

グループで検索する<グループ検索>

1 待受画面で[文字]を押す。

グループ選択画面

- 詳細メニューから(電話帳)を選択しても電話帳を表示できます。
- グループ選択画面が表示されないときは、[カメラ][1][2]を押します。

次ページへ続く

2 グループを選んで[■]を押す。

電話帳リスト画面
（グループ１）

- フリガナ順（カタカナ（50音→濁点・半濁点）→英字→数字→スペース→記号→フリガナなし）に表示されます。
- グループ設定していない電話帳は［指定なし］にグループ分けされています。

3 名前を選ぶ。

前のグループ／次のグループを表示する	[左右]
１件ずつ選択する	[上下]
フリガナを入力（スピーディーサーチ）する	フリガナを１文字ずつ入力するたびに、現在のグループ内で最も近いフリガナの電話帳が順次表示されます。

- 引き続き、P.119「名前で検索する」の操作３以降を参照してください。

メモリ番号で検索する<メモリ番号検索>

- メモリ番号［000］～［099］に登録した相手には、ツータッチダイヤルで電話をかけることができます。（☞P.125）

1 待受画面で[文字]を押す。

FOMA端末（本体）
電話帳リスト画面
（メモリ番号010～019）

- 詳細メニューから[電話帳アイコン]（電話帳）を選択しても電話帳を表示できます。
- メモリ番号検索の電話帳リスト画面が表示されないときは、[MENU][1][3]を押します。

2 メモリ番号を選ぶ。

前の10番台／次の10番台を表示する	[左右] ● 表示されている電話帳の前後10番台の先頭から表示されます。
１件ずつ選択する	[上下]
メモリ番号を入力（スピーディーサーチ）する	● メモリ番号を１桁ずつ入力するたびに、該当する電話帳が順次表示されます。たとえば、「085」を入力すると次のようになります。 ■ １桁目「０」を入力：メモリ番号［000］～［009］の電話帳が表示されます。 ■ ２桁目「８」を入力：メモリ番号［080］～［089］の電話帳が表示されます。 ■ ３桁目「５」を入力：メモリ番号［085］の電話帳が選択されます。 ● 入力したメモリ番号が登録されていない場合は、入力したメモリ番号より大きくて一番近いメモリ番号の電話帳が表示されます。ただし、入力したメモリ番号より大きいメモリ番号の電話帳が登録されていない場合は、メモリ番号「000」から順次検索し、最も小さいメモリ番号の電話帳を表示します。

- 引き続き、P.119「名前で検索する」の操作３以降を参照してください。

関連操作

発信方法を選択して電話をかける

1 待受画面で[文字]▶名前を選ぶ▶[■]
- グループ検索のとき：待受画面で[文字]▶グループを選ぶ▶[■]▶名前を選ぶ▶[■]

2 テレビ電話をかけるときは[テレビ電話]
- 音声電話をかけるとき：[発信]または[■]
- プッシュトークをかけるとき：[P]（[P]）または[メール]
- 国際電話をかけるとき：[MENU][4][2][2]▶国際電話番号を選ぶ▶[■]▶[発信]または[■]
- プレフィックス番号を付けるとき：[MENU][4][2][1]▶プレフィックス番号を選ぶ▶[■]▶[発信]または[■]
- 発信者番号非通知でかけるとき：[MENU][4][1][2]▶[発信]または[■]
- 発信者番号通知でかけるとき：[MENU][4][1][1]▶[発信]または[■]
- マルチナンバーを選択するとき：[MENU][5]▶マルチナンバーを選ぶ▶[■]▶[発信]または[■]

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.323）

関連操作

画像を指定してテレビ電話をかける<テレビ電話画像設定>

1 待受画面で▶名前を選ぶ▶

- グループ検索のとき:待受画面で▶グループを選ぶ▶▶名前を選ぶ▶

2 612▶フォルダを選ぶ▶▶キャラ電を選ぶ▶▶

- 自分側のカメラ映像を送信するとき:611▶

通信速度を指定してテレビ電話をかける<通信速度設定>

1 待受画面で▶名前を選ぶ▶

- グループ検索のとき:待受画面で▶グループを選ぶ▶▶名前を選ぶ▶

2 62

3 1[64K]または2[32K]▶

着もじメッセージをつけて電話をかける<着もじ>

1 待受画面で▶名前を選ぶ▶▶8

- グループ検索のとき:待受画面で▶グループを選ぶ▶▶名前を選ぶ▶▶8

2 1[メッセージ作成]▶着もじメッセージを入力▶

- 登録している着もじメッセージから選ぶとき:2▶着もじメッセージを選ぶ▶
- 送信メッセージ履歴から選ぶとき:3▶着もじメッセージを選ぶ▶

3 音声電話をかけるときは／

- テレビ電話をかけるとき:

お知らせ

テレビ電話画像設定について

- 静止画は設定できません。
- テレビ電話を終了すると、テレビ電話画像設定は元に戻ります。

通信速度設定について

- お買い上げ時は、[64K]に設定されています。
- テレビ電話を終了すると、通信速度設定は元に戻ります。
- 相手がテレビ電話に対応したFOMA端末の場合は、64Kでかけることをおすすめします。ネットワーク状況によって64Kが利用できないPHSなどの機器と接続する場合は、32Kに設定してください。
  64Kでテレビ電話をかけても、相手が32Kエリアなどの通信環境の場合、自動的に32Kに切り替えて再発信します。

着もじについて

- 着もじについて詳しくは、P.54を参照してください。

電話帳リスト画面の表示を変更する<画像表示切替>

電話帳のピクチャーコールに設定した画像を、電話帳リスト画面に表示できます。

1 待受画面でを押し、1[画像表示切替]を押す。

- miniSDメモリーカード内のデータを表示している場合は、表示切り替えできません。

グループ検索のとき	→グループを選ぶ→→1
電話帳内容表示画面の表示を切り替えるとき	→名前を選ぶ→→1

お知らせ

- 電話帳リスト画面に静止画を表示している場合、1件目の電話番号とメールアドレスが表示され、電話をかけることはできますがメールアドレスは選択できません。登録されている他の電話番号やメールアドレスを選択するときは、電話帳内容表示画面から選択してください。
- グループ設定のピクチャーコールを設定した場合、設定した画像が、グループ内のメンバー全員の画像として表示されます。ただし、個人ごとに設定した画像があるときは、その画像が表示されます。

画像を転送しないように設定する＜画像転送設定＞

お買い上げ時
転送する

電話帳をminiSDメモリーカードにコピーしたり、赤外線通信で送信するときに、ピクチャーコールに設定した画像を転送しないように設定できます。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。（☞P.323）

● 画像転送設定を［する］に設定している場合、電話帳をminiSDメモリーカードにコピーしたり、赤外線通信で送信するときに時間がかかることがあります。
● 画像転送設定を［する］に設定しても、取得元がカメラ以外の画像は転送できません。

1 待受画面で文字を押し、📷・2［画像転送設定］を押す。
● グループ検索のときは、グループを選んで■を押し、📷・2を押します。

2 2［しない］を押す。
● 画像を転送するときは、1を押し、［はい］を選んで■を押します。

電話帳編集

電話帳を修正する

電話帳に登録・設定した内容を、項目ごとに編集できます。
● オールロック、ダイヤル発信制限を設定しているときは、編集できません。
● 指定着信許可／指定着信拒否に設定されている電話帳は編集できません。

1 待受画面で文字を押し、名前を選んで📷31［修正］を押す。

ドコモ太郎
ﾄﾞｺﾓﾀﾛｳ
グループ1
090XXXXXXXX
（未登録）
（未登録）
docomo.taro.△△@doc‥
（未登録）
（未登録）
（未登録）
完了　決定　▼ページ

FOMA端末（本体）
電話帳入力画面

● 電話帳内容表示画面から編集するときは、📷11を押します。

2 項目を選んで■を押し、編集する。
● 編集方法は、新規登録時と同様です。
● 名前を修正してもフリガナは自動で反映されません。
● 複数の電話番号を登録している場合、1件目の電話番号を削除したときは［（未登録）］となりますが、他の電話番号は変更されません。

3 📱［完了］を押し、登録する。

FOMA端末（本体）電話帳のとき	上書き登録する	■→［はい］→■
	別のメモリ番号に登録する	メモリ番号を入力 ● CLRを1秒以上押し、メモリ番号を消去して■を押すと、空いているメモリ番号に登録できます。（☞P.111）
FOMAカード電話帳のとき		［はい］→■

● プッシュトーク電話帳に電話番号が登録されている電話帳を編集して上書き登録するときは、プッシュトーク電話帳の内容も変更される旨のメッセージが表示されます。［はい］を選んで■を押すと、上書き登録されます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.323）

登録内容をコピーする<項目コピー>

待受画面で[文字]▶名前を選ぶ▶[■]▶項目を選ぶ▶[カメラ][3][1]

プッシュトーク電話帳に登録する<プッシュトーク電話帳登録>

待受画面で[文字]▶名前を選ぶ▶[カメラ][3][2]

● 電話帳内容表示画面から登録するとき:[カメラ][1][2]

お知らせ

登録内容のコピーについて

● コピーできる項目は、FOMA端末(本体)電話帳内の、[名前]、[電話番号1～3]、[メールアドレス1～3]、[メモ]、[住所]とFOMAカード電話帳内の、[名前]、[電話番号]、[メールアドレス]です。

● 電話帳からコピーした内容の貼り付け方法については、P.400「文字を貼り付ける」を参照してください。

電話帳削除

電話帳を削除する

電話帳に登録されているデータを削除します。

● オールロック、ダイヤル発信制限を設定しているときは、削除できません。

● 指定着信許可/指定着信拒否に設定されている電話帳は削除できません。(グループ内全件削除、全件削除では削除できます。)

● FOMA端末(本体)電話帳に登録されている電話帳データを削除すると、プッシュトーク電話帳からも削除されます。

1 待受画面で[文字]を押し、名前を選んで[カメラ][4][削除]を押す。

2 削除方法を選ぶ。

電話帳データを1件削除する	[1]→[はい]→[■]
複数の電話帳データをまとめて削除する	[2]→名前を選ぶ[■](くり返し可)→[カメラ]→[はい]→[■] ● すべてを選択/解除する場合は、[i][全選択]/[i][全解除]を押します。
選んだグループ内のすべての電話帳データを削除する	[3]→グループを選ぶ→[■]→端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力→[■]→[はい]→[■]
FOMA端末(本体)電話帳のすべての電話帳データを削除する	[4][1]→端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力→[■]→[はい]→[■]
FOMAカード電話帳のすべての電話帳データを削除する	[4][2]→端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力→[■]→[はい]→[■]

● プッシュトーク電話帳に登録されている電話番号があるときは、プッシュトーク電話帳の削除確認画面で[はい]を選んで[■]を押すと、プッシュトーク電話帳とFOMA端末(本体)電話帳のデータが削除されます。

電話帳の内容表示画面から削除する<1件削除>

電話帳の内容表示画面で[カメラ][2]▶[はい]▶[■]

電話帳をお預かりセンターに保存する

1 待受画面で[文字]を押し、電話帳リスト画面(☞P.119)で[MENU][・][4][お預かりセンターに接続]を押す。

2 [はい]を選んで[■]を押し、端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力して[■]を押す。

● 保存が完了すると、完了お知らせ画面が表示され、待受画面に戻ります。

お知らせ

● FOMAカード電話帳やminiSDメモリーカード内の電話帳は保存できません。

知られたくない電話帳を守る

電話帳をシークレット登録すると、そのデータはFOMA端末のシークレットモードを[ON]に設定しない限り呼び出せなくなり、他の人に見られるのを防げます。

● FOMAカード電話帳には、シークレット登録することができません。

電話帳にシークレット登録する<シークレット登録>

1 電話帳入力画面(☞P.110)で、[🔑]を選んで[■]を押し、[1][ON]を押す。

2 [i][完了]を押し、登録する。

新規に登録する(☞P.111)	メモリ番号を入力
上書き登録する	[■]→[はい]→[■]

● [プッシュトーク電話帳に登録しますか?]と表示されます。登録するときは[はい]を選んで[■]を押します。

お知らせ

● メモリ番号[000]～[099]に登録した電話帳をシークレット登録した場合、シークレットモードを[ON]に設定しないとツータッチダイヤルで電話をかけることはできません。

● シークレット登録した電話帳のメールアドレスも、シークレットモードを[ON]に設定しないと呼び出せません。

シークレットデータを呼び出すとき

● シークレットモードを[ON]に設定した状態で、通常の電話帳と同様の操作で呼び出します。(電話帳リスト画面でシークレットデータを選ぶと、[🔑]が点滅します。)

● 呼び出したあとは、発信や編集など、通常の電話帳と同様の操作ができます。

リダイヤル、着信履歴、送信メッセージ履歴、メール送信履歴、メール受信履歴、スケジュールでの表示について

● シークレット登録した電話帳の電話番号やメールアドレスの場合、名前は表示されず、電話番号やメールアドレスが表示されます。名前を表示させるには、シークレットモードを[ON]に設定してください。

● シークレット登録した相手から電話がかかってきたりメールを受信すると、通常の着信音でお知らせします。電話帳で設定した着信音を有効にするには、シークレットモードを[ON]に設定してください。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

少ないボタン操作で電話発信やメール送信をする

FOMA端末（本体）電話帳のメモリ番号[000]～[099]に登録した相手には、簡単な操作で電話をかけたり、ｉモードメールを作成して送信することができます。

- 電話帳に複数の電話番号／メールアドレスが登録されている場合は、1件目に登録されている電話番号／メールアドレスに発信／送信します。

1 待受画面で、メモリ番号の下1桁または下2桁の数字を押す。

- メモリ番号000～009：下1桁の数字に対応する0～9を押します。
- メモリ番号010～099：下2桁の数字に対応する10～99を押します。

2 機能を選ぶ。

音声電話をかける	
テレビ電話をかける	
メールを作成する	

- 指定したメモリ番号に登録されている相手に発信、またはメール作成画面が表示されます。
- メールの作成および送信方法は、P.229の操作2～4を参照してください。

お知らせ

- 電話帳のPIMロック中は、ツータッチダイヤルやツータッチメールを利用することはできません。

電話帳お預かりサービスを利用する

FOMA端末（本体）電話帳をお預かりセンターに保存する<お預かりセンターに接続>

FOMA端末（本体）電話帳をお預かりセンターに保存します。

- すでに電話帳を保存している場合は、最新の内容に更新されます。
- 本サービスはお申し込みが必要な有料サービスです。（お申し込みにはｉモード契約が必要です。）

1 待受画面で■9271[お預かりセンターに接続]を押す。

- 詳細メニューから(LifeKit)→[電話帳お預かりサービス]→[お預かりセンターに接続]の順に選択することもできます。

2 [はい]を選んで■を押し、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力して■を押す。

- 保存が完了すると、完了お知らせ画面が表示され、待受画面に戻ります。

お知らせ

- 電話帳お預かりサービスのご利用方法の詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

お預かりセンターへ保存できる電話帳のピクチャーコール設定画像の制限について

- 画像種別はGIF、JPEGのみです。
- 1枚あたり最大300Kバイトの画像まで保存可能です。(300Kバイト以上の画像はセンターへ保存されません。)
- 再配布不可の画像はセンターへ保存されません。

所有者情報について

- 所有者情報もお預かりセンターへ保存されます。

電話帳の更新履歴を表示する<電話帳通信履歴表示>

電話帳やメール、静止画を保存／更新した通信履歴を、最新のものから最大30件まで確認できます。
通信履歴が30件を超えた場合は、最も古い履歴から順に削除されます。
- ユーザデータ削除を行うと通信履歴はすべて削除されます。

1 待受画面で■ 9 2 7 2を押す。

2 履歴を選んで■を押す。
- 元の画面に戻るときは、CLRを押します。

電話帳の画像を送信するかどうかを設定する<電話帳内画像送信>

お買い上げ時
OFF

電話帳をお預かりセンターに保存するときに、ピクチャーコールに設定した画像も送信するかどうかを設定できます。
- 電話帳内画像送信を［ON］に設定している場合、送信に時間がかかることがあります。

1 待受画面で■ 9 2 7 3を押し、［ON］／［OFF］を選ぶ。

画像を送信する	1→［はい］→■
画像を送信しない	2

電話帳

電話帳お預かりサービスを利用する

音／画面／照明設定

携帯電話から鳴る音を変える

電話やプッシュトークの着信を知らせる着信音や着モーションを変更することができます。内蔵メロディ、miniSDメモリーカードから読み込んだメロディ、ｉモードメールで受信したメロディやｉモードでダウンロードしたメロディから選択できます。ｉモードメールやSMS、チャットメール、メッセージR／Fの受信を知らせる着信音を変更することもできます。また、着信ランプが動作するように設定されているメロディを着信音に設定しているときは、メロディと連動して着信ランプを点灯させる(メロディ連動)ことができます。

- ｉモードで取得したｉモーション、FOMA端末で記録した映像や音声を設定することもできます。

着信音や着モーションを変更する<着信音選択>

お買い上げ時
下記参照

お買い上げ時設定(音声電話着信音：着信音１　テレビ電話着信音、公衆電話着信音、非通知設定着信音、通知不可能着信音：音声電話着信音に従う　メール着信音：着信音２　チャットメール着信音：着信音２　プッシュトーク着信音：着信音１　メッセージR／F着信音、SMS着信音：メール着信音に従う)

1 待受画面で[■][1][2][1]を押し、項目を選ぶ。

テレビ電話着信音を変更する場合

- 詳細メニューから(設定)→[音]→[音選択]→[着信音選択]の順に選択することもできます。

音声電話着信音を変更する	[1]
テレビ電話着信音を変更する	[2]
公衆電話着信音を変更する	[3]
非通知設定着信音を変更する	[4]
通知不可能着信音を変更する	[5]

2 着信音を選ぶ。

メロディを設定する	[1]→フォルダを選ぶ→[■]→着信音を選ぶ→[i] ● 着信音を確認するときは、着信音を選んで[■]を押します。停止するときは[i]を押します。
ｉモーションを設定する	[2]→フォルダを選ぶ→[■]→着モーションを選ぶ→[i] ● 動画／ｉモーションを確認するときは、動画／ｉモーションを選んで[■]を押します。戻るときは、[CLR]を押します。 ● 映像のみ、またはテロップを付けた動画／ｉモーションや再生制限のある動画／ｉモーションは、設定できません。 ● 着信音設定が[不可]のｉモーションは設定できません。(☞P.333) ● miniSDメモリーカードからFOMA端末(本体)にコピーしたｉモーションは設定できません。撮影した動画を着モーションに使用する場合は、FOMA端末(本体)に保存してください。 ● 着信音・着信画面の組み合わせについては、P.220を参照してください。
テレビ電話着信音、公衆電話着信音、非通知設定着信音、通知不可能着信音を音声電話着信音と同じ音にする	[3]

お知らせ

- 着信音を変更した場合、着信画面も変更されることがあります。(☞P.220)
- 複数の着信音が設定されているとき、着信音やメール着信音は次の優先順位で鳴ります。

	優先順位(高→低)
着信音	マルチナンバー着信音→電話帳指定着信音→グループ指定着信音→通常の着信音
メール着信音	電話帳指定メール着信音→グループ指定メール着信音→通常のメール着信音

- **発信者番号**が通知されないテレビ電話着信は、[テレビ電話着信音]が優先されます。
- 音声のみの動画／ｉモーション(歌手の歌声など映像のないｉモーション)を着モーションとして設定した場合、着信画面は電話帳のピクチャーコール設定→グループのピクチャーコール設定→発着信画面設定の優先順位で表示されます。
- データ通信時の着信音は、音声電話着信音で設定した音と同じです。着信画面は、音声電話着信音で設定した画面のアニメーションと同じです。動画／ｉモーションが設定されているときは動画／ｉモーション画面となります。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

関連操作

ｉモードメール、チャットメール、プッシュトークの着信音を変更する
<メール着信音選択／チャットメール着信音選択／プッシュトーク着信音選択>

1 待受画面で■1221［メール着信音］
- チャットメールのとき：待受画面で■123
- プッシュトークのとき：待受画面で■124

2 1［メロディ］
- 動画／ｉモーションを設定するとき：2

3 フォルダを選ぶ▶■▶着信音を選ぶ▶

SMS、メッセージR／Fの着信音を変更する<メール着信音選択>

1 待受画面で■1224［SMS着信音］
- メッセージRのとき：待受画面で■1222
- メッセージFのとき：待受画面で■1223

2 1［メロディ］
- 動画／ｉモーションを設定するとき：2
- メール着信音と同じ音にするとき：3

3 フォルダを選ぶ▶■▶着信音を選ぶ▶

着信ランプをメロディに連動させる<着信ランプ動作設定>

1 着信ランプのときは待受画面で■261
- メール着信ランプのとき：待受画面で■262

2 1［メロディ連動］

お知らせ

プッシュトーク着信音について
- プッシュトーク着信音に設定できる動画／ｉモーションは、音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）です。

着信ランプ動作設定、メール着信ランプ動作設定について
- お買い上げ時は、どちらも［メロディ非連動］に設定されています。

お買い上げ時に内蔵されているメロディ

曲　名	作曲者名	曲　名	作曲者名
着信音１	―	Simple Life	―
着信音２	―	ラヴァーズコンツェルト	J.S.BACH
Sunrise	―	王家の末裔	―
Coffee Break	―	OP（標準音）	―
Twilight	―	OP（ロボット）	―
水槽	―	OP（HipHop）	―
マウス＆キーボード	―	OP（電子音）	―
Noon	―	OP（OPEN）	―
Sunset	―	CL（標準音）	―
Smily Tap	―	CL（ロボット）	―
Feelin' Groovy	―	CL（HipHop）	―
Beat On Motion	―	CL（電子音）	―
The Valley	―	CL（CLOSE）	―
風の吹く島	―	サイレント	―
Skyscraper	―	TI（標準音）	―
Ave Maria	―	TI（時間です）	―
My journey	―	TI（It's time）	―

お知らせ

- 指定着信音を設定すると、電話帳に登録した電話番号から電話がかかってきたときに、設定した指定着信音が鳴ります。また、指定メール着信音を設定すると、電話帳に登録したメールアドレスからのメールを受信したときに、設定した指定着信音が鳴ります。
- 発信者番号を通知しない電話がかかってきたときは、非通知設定着信音が鳴ります。

次ページへ続く

お知らせ

登録したｉメロディは、パソコンをお持ちの場合は、**miniSD**メモリーカード（☞**P.323**）をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。（ファイル制限ありのメロディは転送できません。）
- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、登録してある内容が消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- メロディごとのアイコンについては、P.322「■メロディマークの見かた」を参照してください。

FOMA端末の開閉音、タイマーの音を変更する <オープン音／クローズ音／タイマー音>

お買い上げ時
下記参照

FOMA端末を開閉したときの音（オープン音、クローズ音）やタイマー音の音色を変更できます。
- ｉモーションを待受画面に設定しているとき、オープン音、クローズ音は鳴りません。
- オープン音、クローズ音はデータBOXのメロディから選択することもできます。

お買い上げ時設定（オープン音：OP（標準音）　クローズ音：CL（標準音）　鳴動時間（オープン音／クローズ音のとき）：３秒　タイマー音：TI（標準音）　鳴動時間（タイマー音のとき）：15秒）

1 待受画面で■125を押し、項目を選ぶ。
- 詳細メニューから✕（設定）→［音］→［音選択］→［各種設定音選択］の順に選択することもできます。

オープン音を変更する	1
クローズ音を変更する	2
タイマー音を変更する	4

2 音色を選ぶ。

標準音にする	1 ● 標準音を確認するときは、i［再生］を押します。停止するときはiを押します。
メロディを設定する	2→フォルダを選ぶ→■→メロディを選ぶ→i ● メロディを確認するときは、メロディを選んで■を押します。停止するときはiを押します。

- 鳴動時間の設定画面が表示されたときは、音を鳴らす時間（00～99秒）を入力します。

お知らせ

- 動画／ｉモーションは、オープン音、クローズ音、タイマー音に設定できません。
- シャッター音の設定については、P.186を参照してください。
- 操作２で標準音またはメロディを再生すると、各音量選択で設定した音量で再生されます。なお、標準音では音量設定が［サイレント］のときは［音量１］で再生されます。メロディは再生中に⁝を押して調整できます。
- オープン音、クローズ音の音色に、標準音または［プリインストール］フォルダ内の効果音のメロディを選んだ場合、鳴動時間は設定できません。

音量調節

携帯電話から鳴る音の音量を変える

音声電話やテレビ電話の着信、ｉモードメール、SMS、メッセージR／Fの受信を知らせる着信音量を変更できます。また、ボタン確認音、FOMA端末開閉音、タイマー音や充電開始／完了の音量も変更できます。

着信音の音量を調節する<着信音量>

お買い上げ時
すべて音量５

音声電話やテレビ電話の着信音の音量を変更できます。また、ｉモードメールやSMS、チャットメール、プッシュトーク、メッセージR／Fの着信音の音量を変更することもできます。
- 音を消したり（サイレント）、だんだん大きな音になるように（ステップトーン）設定することもできます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.323）

1 待受画面で[■][1][1][1]を押し、項目を選ぶ。

- 詳細メニューから✕(設定)→[音]→[音量選択]→[着信音量選択]の順に選択することもできます。

音声電話着信音量を調節する	[1]
テレビ電話着信音量を調節する	[2]
公衆電話着信音量を調節する	[3]
非通知設定着信音量を調節する	[4]
通知不可能着信音量を調節する	[5]

2 [▲](上げる)／[▼](下げる)を押して音量を調節し、[■]を押す。

- [音量１]が最小で、[音量10]が最大の音量です。
- [ステップトーン]に設定するときは、[音量10]のときに[▲]を押します。設定すると、[音量１]～[音量９]の順で３秒ごとに音量が上がり、以降は[音量10]で鳴ります。
  着モーションを設定しているときもステップトーンで再生されます。
- [サイレント]に設定するときは、[音量１]のときに[▼]を押します。設定すると、着信音が鳴りません。(音声電話着信音を[サイレント]に設定したときは、待受画面に[サイレント]が表示されます。)

お知らせ

- 調節した音量は、電源を切ったり、電池パックを取り外しても保持されます。
- データ通信時の着信音量は、音声電話着信音で設定した音量と同じです。

ｉモードメール、メッセージR／F、SMSの着信音量を調節する<メール着信音量選択>

1 待受画面で[■][1][1][2][1][メール着信音]
- メッセージRのとき：待受画面で[■][1][1][2][2]
- メッセージFのとき：待受画面で[■][1][1][2][3]
- SMSのとき：待受画面で[■][1][1][2][4]

2 [▲](上げる)／[▼](下げる)▶[■]

チャットメール、プッシュトークの着信音量を調節する
<チャットメール着信音量選択／プッシュトーク着信音量選択>

1 待受画面で[■][1][1][3][チャットメール着信音量選択]
- プッシュトークのとき：待受画面で[■][1][1][4]

2 [▲](上げる)／[▼](下げる)▶[■]

受話音量を調節する<受話音量>

お買い上げ時　音量５

受話音量を10段階で調節できます。

1 待受画面で[▲]または[▼]を１秒以上押す。

- [▲]／[▼](サイドキー)を押しても、受話音量を調節することができます。
- カレンダーが表示されているときは、[HLD PWR]を押しカレンダー表示を解除してから操作してください。

2 [▲](上げる)／[▼](下げる)を押して音量を調節する。

- 音量調整後、[■]／[CLR]を押す、または、約２秒経過すると待受画面に戻ります。

ボタン確認音の音量を調節する<ボタン確認音>

お買い上げ時
音量5

FOMA端末のボタンを押したときの音（ボタン確認音）の音量を調節します。また、FOMA端末を開閉したときの音（オープン音、クローズ音）、タイマー音、充電開始／完了音の音量を調節することもできます。

- [サイレント]に設定すると、ボタン確認音、オープン音、クローズ音、充電開始／完了音、タイマー音は鳴りません。ボタン確認音を[サイレント]に設定すると、電池残量確認音も鳴りません。
- マナーモード設定中は、この機能の設定にかかわらず、音は鳴りません。
- オリジナルマナーモードでは、ボタン確認音の[ON]／[OFF]を設定できます。

1 待受画面で■1151を押す。

- 詳細メニューから✕（設定）→[音]→[音量選択]→[各種設定音量選択]→[ボタン確認音]の順に選択することもできます。

2 ▲（上げる）／▼（下げる）を押して音量を調節し、■を押す。

お知らせ

- キャラ電発信中、キャラ電再生中、キャラ電撮影中のキャラクタ操作では、ボタン確認音が鳴りません。

関連操作

開閉音の音量を調節する<オープン音／クローズ音>

1 待受画面で■1152[オープン音]
- クローズ音の音量を調節するとき：待受画面で■1153

2 ▲（上げる）／▼（下げる）▶■

充電開始音／完了音の音量を調節する<充電開始音／充電完了音>

1 待受画面で■1154[充電開始音]
- 充電完了時の音量を調節するとき：待受画面で■1155

2 ▲（上げる）／▼（下げる）▶■

タイマー音の音量を調節する<タイマー音>

待受画面で■1156▶▲（上げる）／▼（下げる）▶■

バイブレータ設定

着信やアラームを振動で知らせる

お買い上げ時
着信バイブレータ：OFF メール着信バイブレータ：OFF

バイブレータを設定すると、電話やプッシュトーク着信、メール受信、アラームを、振動やメロディとの連動でお知らせできます。

- アラーム動作時のバイブレータは、ここで設定した着信バイブレータの設定に従います。
- バイブレータと音量の設定は連動していません。着信音やアラーム音を鳴らしたくないときは、音量を[サイレント]に設定してください。バイブレータ設定中でも音量は別途設定できます。（☞P.130、P.356）
- メロディに設定されているバイブレータを利用することもできます。（メロディ連動）

1 待受画面で■13を押し、項目を選ぶ。

- 詳細メニューから✕（設定）→[音]→[バイブレータ設定]の順に選択することもできます。

着信バイブレータを設定する	1
メールの着信バイブレータを設定する	2

2 バイブレータの種類を選ぶ。

OFF	1	バイブレータは動作しません。
パターン1	2	約0.8秒振動→約0.8秒停止のくり返し
パターン2	3	約0.3秒振動→約0.3秒停止→約0.3秒振動→約1秒停止のくり返し
パターン3	4	連続振動
メロディ連動	5	● バイブレータが動作するように作成されているメロディを着信音に設定しているとき、メロディと連動させる（メロディ連動）こともできます。 ● バイブレータが動作するように作成されていないメロディを着信音に設定すると、［パターン1］で振動します。

- バイブレータが設定され、待受画面に［ ］が表示されます。ただし、メールのバイブレータのみを設定したときは表示されません。
- でパターン1～3を選ぶと、バイブレータの振動を確認することができます。

お知らせ

- バイブレータを設定した場合、机の上などにFOMA端末を置いておくと、着信があったとき落下するおそれがありますので、ご注意ください。
- バイブレータを設定しても、Flash画像からのバイブレータ動作には反映されません。
- マナーモード中（通常マナーモードや、オリジナルマナーモードでバイブレータを［ON］にしている場合）は、バイブレータ設定を［OFF］に設定していても、バイブレータは［パターン1］で振動します。
- メロディ連動に設定しても、主旋律と連動していません。

通話品質アラーム

通話が途切れそうなときにアラームで知らせる

お買い上げ時
アラームあり（高音）

電波状態が悪いなど通話が途中で切れそうなとき、直前にアラーム音でお知らせします。

- 通話品質アラームは音声電話のみに対応しています。

1 待受画面で 6 1 3 を押し、アラーム音を選ぶ。

- 詳細メニューから（設定）→［通話・通信機能設定］→［通話中設定］→［通話品質アラーム］の順に選択することもできます。

アラーム音（高音）を鳴らす	1
アラーム音（低音）を鳴らす	2
アラーム音を鳴らさない	3

お知らせ

- 電波が強く［ ］が表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも、通話品質アラームが鳴ることがあります。
- 急に通話品質が悪くなったときは、アラーム音が鳴らずに通話が切れてしまうこともあります。

着信鳴動時間設定

メールやプッシュトークの着信音を鳴らす時間を設定する

お買い上げ時
下記参照

メール着信音やプッシュトーク着信音を鳴らす時間を設定できます。
お買い上げ時設定(メール着信鳴動時間:ON、3秒　プッシュトーク着信鳴動時間:ON、30秒)

1 待受画面で[■][1][6]を押し、項目を選ぶ。

● 詳細メニューから✕(設定)→[音]→[着信鳴動時間設定]の順に選択することもできます。

メール着信鳴動時間を設定する	[1]→[1]
プッシュトーク着信鳴動時間を設定する	[2]→[1]

● メールの場合、[OFF]に設定するとメール着信音は鳴りません。プッシュトークの場合、[OFF]に設定するとプッシュトーク着信鳴動時間が30秒に設定されます。

2 着信音を鳴らす時間を入力して[■]を押す。

● メール着信音は(01～30秒)、プッシュトーク着信音は(01～60秒)の間で入力できます。

お知らせ

● 通話中、iアプリ実行中、カメラ起動中にメールを受信した場合、メール着信音は鳴りません。
● プッシュトークのオート着信設定を[ON]にした場合、プッシュトーク着信鳴動時間は選択できません。

着信音出力切替

イヤホンだけから着信音を鳴らす

お買い上げ時
イヤホン+スピーカ

平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)などを接続したとき、FOMA端末のスピーカから着信音を出さず、イヤホンだけから聞こえるように設定できます。
● 平型スイッチ付イヤホンマイクなどが接続されていないときは、[イヤホンのみ]に設定していても、スピーカから着信音が鳴ります。

1 待受画面で[■][1][5]を押し、着信音の出力方法を選ぶ。

● 詳細メニューから✕(設定)→[音]→[着信音出力切替]の順に選択することもできます。

イヤホンだけから着信音を鳴らす	[1]
イヤホンとスピーカから着信音を鳴らす	[2]

お知らせ

● イヤホンマイクからの着信音量は着信音量選択で設定されている音量で聞こえます。着信音量を[サイレント]に設定している場合、着信音はイヤホンから聞こえません。
● イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。内蔵アンテナが正しく働かないことがあります。
● イヤホンマイクのプラグは確実に差し込んでください。差し込みが不完全で途中で止まっていると、音が途切れたり、雑音や大きな音がすることがあります。
● 次の場合は故障ではありません。
  ■ 通話中にイヤホンマイクのプラグの差し込みが不完全で、音が途切れたり雑音がすることがある。
  ■ 電源を入れた瞬間に、「パチッ」という音がする。

電話から鳴る音を消す

お買い上げ時
通常マナーモード

公共の場所などで電話の音を周囲に出したくないときは、マナーモードを利用しましょう。FOMA端末から音を出さないように、簡単に切り替えることができます。
マナーモードの種類によって、各機能の設定内容が以下の表のように異なります。

機　能	通常マナーモード	サイレントマナーモード	オリジナルマナーモード※
伝言メモ	ON	OFF	ON
着信音	サイレント	サイレント	サイレント
メール着信音	サイレント	サイレント	サイレント
アラーム音	OFF	OFF	OFF
バイブレータ	ON	OFF	ON
ボタン確認音	OFF	OFF	OFF
マイク感度アップ	ON	ON	ON
電池残量警告音	OFF	OFF	OFF
マナー再生	OFF	OFF	OFF

※ オリジナルマナーモードの設定は変更できます。(☞P.136)
● マナーモード設定中も、カメラのシャッター音、動画の撮影開始音／停止音は鳴ります。ただし、キャラ電撮影(☞P.319)のときは鳴りません。

マナーモードを設定する

1 待受中に[#]を1秒以上押す。

● 着信中にマナーモードを設定するときは、着信中に[#]を1秒以上押します。前回と同じマナーモードが設定されます。(FOMA端末を閉じているときは、着信中に[サイドキー]([マナー])を1秒以上押します。)
● 着信中に操作したときは、着信音が止まり、マナーモードが設定されます。通話が終了してもこの設定は有効です。電話に出られなかったときは、相手の用件が録音されます。ただし、すでに3件の伝言メモ／音声メモ、2件のテレビ電話伝言メモが録音されている場合、伝言メモは設定されません。[通話]を押すと電話に出ることができます。
● 待受画面で[●][1][4]を押して[1]を押し、マナーモードの種類を変更することもできます。マナーモード中に操作した場合は、設定中のマナーモードの種類が変更されます。マナーモード解除中に操作した場合は、マナーモードが設定されます。

2 マナーモードの種類を選んで[●]を押す。

● [通常マナーモード設定しました]、[サイレントマナーモード設定しました]、または[オリジナルマナーモード設定しました]と表示され、マナーモードが設定されます。([マナー]表示)
● 操作1のあと、約2秒間何も操作しないでそのままにしておくと、選択中のマナーモードで設定されます。

マナーモード設定時の待受中や着信中は(通常マナーモード)

● ボタン確認音、警告音、メロディ再生音(確認画面を表示)、iアプリのメロディ／効果音、オープン音、クローズ音、充電開始／完了音、電池残量確認音、通話保留音、バーコード認識音、料金上限通知アラーム音などの音は鳴りません。
● 各種着信音、アラーム音、タイマー音などはバイブレータによるお知らせに変わります。
● 伝言メモが自動的に設定されます。また、メニュー操作による伝言メモの設定／解除(☞P.73)はできません。

マナーモードを解除する

1 待受中、着信中に[#]を1秒以上押す。

● マナーモードが解除されます。

次ページへ続く

お知らせ

マイク感度アップについて

● マイク感度アップを[ON]に設定している場合は、通話中にマイクの感度が高くなり、小さな声で通話できます。ただし、ハンズフリーでの通話中は、マイク感度は変わりません。

関連操作

指定した時刻にマナーモードを自動的に解除する＜マナーモード自動解除＞

待受画面で解除時刻（4桁：24時間制）を入力▶ [#]（1秒以上）または[■][5]

マナーモードを設定していないときに着信音を止める＜クイックサイレント＞

着信中に[#]

お知らせ

マナーモード自動解除について

● 解除時刻は、設定した時刻から24時間以内です。解除時刻に待受画面以外の画面を表示していたり、電源が入っていない場合は、待受画面に戻ったときにマナーモードが解除されます。

クイックサイレントについて

● クイックサイレントは、その着信に限り、着信音を止めることができます。

オリジナルマナーモード

マナーモードを変更する

お買い上げ時
下記参照

オリジナルマナーモード選択時に設定される各機能の設定内容を変更できます。
お買い上げ時設定（伝言メモ：ON　着信音：サイレント　メール着信音：サイレント　アラーム音：OFF
バイブレータ：ON　ボタン確認音：OFF　マイク感度アップ：ON　電池残量警告音：OFF　マナー再生：OFF）

1 待受画面で[■][1][4]を押し、[1][ON]を押す。

● 詳細メニューから✕（設定）→［音］→［マナーモード設定］の順に選択することもできます。

2 [3][オリジナルマナーモード]を押す。

3 機能と設定内容を選ぶ。

機能	操作
伝言メモを設定する	[1]→[1][ON]／[2][OFF]
着信音量を設定する	[2]→[▲]（上げる）／[▼]（下げる）→[■]
メール着信音量を設定する	[3]→[▲]（上げる）／[▼]（下げる）→[■]
アラーム音を設定する	[4]→[1][ON]／[2][OFF]
バイブレータを設定する	[5]→[1][ON]／[2][OFF]
ボタン確認音を設定する	[6]→[1][ON]／[2][OFF]
マイク感度アップを設定する	[7]→[1][ON]／[2][OFF]
電池残量警告音を設定する	[8]→[1][ON]／[2][OFF]
マナー再生を設定する	[9]→[1][ON]／[2][OFF]

お知らせ

● オリジナルマナーモードの伝言メモを[OFF]に設定していても、伝言メモを[ON]に設定していると、伝言メモが動作します。
● オリジナルマナーモード設定中は、モバイルオーディオ起動時のマナー再生はオリジナルマナーモードの設定に従います。
● 電池残量警告音を[ON]に設定したあと、電池残量が少なくなると、警告音が「ピピピ…」と鳴ります。
● マナーモード設定中でも、オリジナルマナーモードの設定内容を変更できます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.323）

お知らせ

- 外部機器接続中に外部機器から音を鳴らすように設定したときは、マナーモードを設定していても外部機器から音が鳴ります。

メイン画面設定

メインディスプレイの待受画面の表示を変える

画像を表示する<待受画面設定>

お買い上げ時
待受画面1

あらかじめ登録されている静止画やカメラで撮影した静止画、動画、サイトでダウンロードした静止画やFlash画像、iモーション、iモードメールで受信した画像など、データBOXに保存されている画像を、待受画面に表示できます。

- FOMA端末（本体）にはあらかじめ待受画面が登録されています。（☞P.410）
- データBOXのマイピクチャのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーション、Flash画像、iモーション内の動画／iモーションを利用できます。
- 音声のみの動画／iモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）、再生制限のある動画／iモーションは待受画面に設定できません。ASFファイルも設定できません。

1 待受画面で[■][2][1][1]を押す。

- 詳細メニューから(設定)→[表示]→[メイン画面設定]→[待受画面設定]の順に選択することもできます。

2 画像を選ぶ。

静止画を設定する	[1]→フォルダを選ぶ→[■]→静止画を選ぶ→[メニュー]→[はい]→[■] ● 静止画を確認するときは、静止画を選んで[■]を押します。戻るときは、[CLR]を押します。「待受：240×320」より小さいサイズの静止画（JPEG画像、GIF画像、GIFアニメーション）の場合、[等倍]または[拡大]を選択し、待受画面に表示されるサイズを設定できます。
動画／iモーションを設定する	[2]→フォルダを選ぶ→[■]→動画／iモーションを選ぶ→[メニュー]→[はい]→[■] ● 動画／iモーションを確認するときは、動画／iモーションを選んで[■]を押します。戻るときは、[停止]を押します。 ● 再生を一時停止するときは[■][ポーズ]を押します。続きを再生するときは、[■]を押します。 ● 「sQCIF：128×96」、「QCIF：176×144」（横×縦）サイズの動画／iモーションの場合は、[等倍]または[拡大]を選択し、待受画面に表示されるサイズを選択します。（sQCIFサイズ、QCIFサイズ以外は[等倍]または[拡大]を選択できません。） ● 動画／iモーションの音量は、オープン音の音量に従います。（1回再生すると停止します。）待受画面でiモーションを再生中に[MULTI]を1秒以上押すと、音声の有無を切り替えることができます。
iアプリを設定する	[3] ● iアプリの設定方法については、P.275を参照してください。

お知らせ

- 音声のあるFlash画像を待受画面設定しても、音は鳴りません。
- miniSDメモリーカード内の静止画や動画／iモーションは直接、待受画面に設定できません。FOMA端末（本体）にコピーしてから設定してください。
- 設定したFlash画像は、サイトやインターネットホームページでの見えかたと異なる場合があります。
- 設定したGIFアニメーションは、コマ落ちなど、サイトやインターネットホームページでの見えかたと異なる場合があります。
- iモーション待受画面から、Phone To(AV Phone To)機能、Mail To機能、Web To機能はご利用になれません。
- 待受画面に設定している画像を削除した場合、お買い上げ時の画像に戻ります。

次ページへ続く

お知らせ

- Flash画像やGIFアニメーション、動画／ｉモーションを待受画面に設定した場合は下記のように動作します。

Flash画像やGIFアニメーション	最初の１コマ目から再生され、再生終了後は停止したコマが待受画面として表示されます。再生中にCLRを押すと、一時停止し、再度CLRを押すと再生が再開されます。
動画／ｉモーション（H.264以外※）	最初の１コマ目から再生され、再生終了後は１コマ目が待受画面として表示されます。再生中にCLRを押すと、１コマ目に戻り停止し、再度CLRを押すと再生が再開されます。
動画／ｉモーション（H.264※）	待受画面としては何も表示されません。

※ 符号化方式について詳しくは、P.309を参照ください。

カレンダーを表示する<カレンダー表示設定>

お買い上げ時 OFF

ディスプレイの待受画像に重ねて、今月または、今月と次月の２ヶ月分、４ヶ月分のカレンダーを表示できます。休日設定日、祝日（☞P.361）は赤色で表示されます。

- お買い上げ時は、カレンダーには「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成17年法律第43号）」に基づいた祝日が登録されています（2006年12月現在）。（春分の日、秋分の日の日付は前年の２月１日の官報で発表されるため異なる場合があります。）
- 待受画面にGIFアニメーションやFlash画像およびｉモーションを設定しているとき、カレンダーに切り替えると、待受画面の画像が停止します。
- 英語表示に設定したときは、カレンダー表示も英語表示になります。

1 待受画面で■２１３を押し、表示方法を選ぶ。

- 詳細メニューから✕（設定）→［表示］→［メイン画面設定］→［カレンダー表示設定］の順に選択することもできます。

１ヶ月（大）表示	１ ● スケジュールが設定されている日付にアイコンが表示されます。 ● スケジュールが設定されている日付にアンダーラインが表示されます。
１ヶ月表示	２→１［左上］／２［右上］／３［左下］／４［右下］ ● スケジュールが設定されている日付にアンダーラインが表示されます。
２ヶ月表示	３→１［上］／２［下］ ● 今月と次月のカレンダーが表示されます。 ● スケジュールが設定されている日付にアンダーラインが表示されます。
４ヶ月表示	４ ● 今月を先頭に、４ヶ月分のカレンダーが表示されます。 ● スケジュールが設定されている日付にアンダーラインが表示されます。
OFF	５ ● カレンダーを表示しません。

１ヶ月（大）表示

１ヶ月表示

２ヶ月表示

４ヶ月表示

- ◯を押すと、前後の月のカレンダーが表示されます。［４ヶ月］の場合は、前後２ヶ月分のカレンダーが表示されます。
- カレンダー表示を設定しているときに、待受画面で☎を押すと、待受画面表示とカレンダー表示が切り替わります。
- カレンダー表示と、ｉチャネルテロップ設定を［ON］に設定している場合、待受画面で☎を押すと、カレンダー表示とｉチャネルテロップ表示が切り替わります。

時計を表示する＜待受時計表示設定＞

お買い上げ時
下記参照

待受画面に重ねて、日時を表示できます。

- 時計表示を[ON(大)]や[OFF]に設定すると、待受画面上部の時刻は表示されません。(待受画面以外では表示されます。)[ON(小)]に設定すると、待受画面上部の時計が表示されます。
- 英語表示に設定したときは、日時も英語表示になります。

お買い上げ時設定(時計表示:ON(大)　画像:待受時計１　表示位置:下)

1 待受画面で[■][2][1][2]を押す。

- 詳細メニューから[設定]→[表示]→[メイン画面設定]→[待受時計表示設定]の順に選択することもできます。

2 [時計表示]を選んで[■]を押し、時計の種類を選ぶ。

時計(大)を表示する	[1]
時計(小)を表示する	[2] ● 操作５に進みます。
時計を表示しない	[3] ● 操作５に進みます。

3 [時計グラフィック設定]を選んで[■]を押し、フォルダを選んで[■]を押し、画像を選んで[i][決定]を押す。

- 画面下部に時計の見本が表示されます。
- マイピクチャから画像を選択するときは、横160×縦160ドットのGIF画像を利用できます。(Flash画像、GIFアニメーション、JPEG画像は利用できません。)

4 [表示位置設定]を選んで[■]を押し、表示位置を選ぶ。

上	[1]
下	[2]

5 [i][完了]を押す。

お知らせ

- 時計(小)の画像はマーク表示設定で変更できます。
- 画像によっては、Bilingualで日本語表示／英語表示を切り替えたときに正しく表示されない場合があります。

発着信画面設定

発着信時の画像を変更する

お買い上げ時
下記参照

電話をかけるときや、電話がかかってきたときに表示される画像を変更できます。

- データBOXのマイピクチャのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーション、Flash画像を利用できます。着信画面にはｉモーションも表示できます。(音声のみのｉモーション(歌手の歌声など映像のないｉモーション)を除く。)
- 横240×縦144ドットより大きいサイズの画像は、縮小して表示されます。

お買い上げ時設定(発信画面:電話発信１　音声電話着信画面、公衆電話着信画面、非通知設定着信画面、通知不可能着信画面:電話着信１　テレビ電話着信画面:電話着信２)

1 待受画面で[■][2][5][1]を押す。

- 詳細メニューから[設定]→[表示]→[画面カスタマイズ設定]→[発着信画面設定]の順に選択することもできます。

次ページへ続く

2 項目を選び、画像を選ぶ。

電話発信画面を設定する	2→i→フォルダを選ぶ→■→画像を選ぶ→i
音声電話着信画面を設定する	3→i→1［マイピクチャ］／2［ｉモーション］→フォルダを選ぶ→■→画像を選ぶ→i
テレビ電話着信画面を設定する	4→i→1［マイピクチャ］／2［ｉモーション］→フォルダを選ぶ→■→画像を選ぶ→i
公衆電話着信画面を設定する	5→i→1［マイピクチャ］／2［ｉモーション］→フォルダを選ぶ→■→画像を選ぶ→i
非通知設定着信画面を設定する	6→i→1［マイピクチャ］／2［ｉモーション］→フォルダを選ぶ→■→画像を選ぶ→i
通知不可能着信画面を設定する	7→i→1［マイピクチャ］／2［ｉモーション］→フォルダを選ぶ→■→画像を選ぶ→i

- 項目を選択すると、設定されている画像のプレビュー画面が表示されますが、動画／ｉモーションを設定している場合は表示されません。
- 画像を確認するときは、画像を選んで■を押します。CLRを押すと元の画面に戻ります。あらかじめ登録されているGIFアニメーションの場合、■を押すと再生され、約15〜30秒経過すると、自動的に停止します。
- 動画／ｉモーションの場合、再生を一時停止するときは■［ポーズ］を押します。続きを再生するときは■を押します。元の画面に戻るときは、□を押します。
- 着信画面にｉモーションを設定する場合については、P.220を参照してください。

お知らせ

- 着信画面を変更した場合、着信音も変更されることがあります。（☞P.220）
- 発信画面・着信画面に設定した元の画像を削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。
- 発信画面・着信画面に設定できない画像は表示されません。
- 発信者番号が通知されないテレビ電話着信は、［テレビ電話着信画面］が優先されます。
- miniSDメモリーカード内の画像は、発信画面・着信画面には設定できません。FOMA端末（本体）にコピーしてから設定してください。
- ピクチャーコール設定を［ON］に設定している場合は、ピクチャーコール設定が優先されます。

メール送受信画面設定

メール送受信時の画像を変更する

お買い上げ時
メール送信画面：メール送信１
メール受信画面：メール受信１

メール送信時、メール受信時の画像を変更できます。
- データBOXのマイピクチャのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーション、Flash画像を表示できます。（動画／ｉモーションは表示できません。）

1 待受画面で■252を押す。

- 詳細メニューから✕（設定）→［表示］→［画面カスタマイズ設定］→［メール送受信画面設定］の順に選択することもできます。

2 項目を選び、画像を選ぶ。

メール送信画面を設定する	1→i→フォルダを選ぶ→■→画像を選ぶ→i
メール受信画面を設定する	2→i→フォルダを選ぶ→■→画像を選ぶ→i

- 画像を確認するときは、画像を選んで■を押します。CLRを押すと元の画面に戻ります。あらかじめ登録されているGIFアニメーションの場合、■を押すと再生され、約15〜30秒経過すると、自動的に停止します。

お知らせ

- メール送信画面・メール受信画面に設定した元の画像を削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。
- メール送信画面・メール受信画面に設定できない画像は表示されません。
- miniSDメモリーカード内の画像は、メール送信画面・メール受信画面には設定できません。FOMA端末（本体）にコピーしてから設定してください。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.323）

ピクチャーコール設定

電話帳に登録した画像を着信時に表示するかどうかを設定する

お買い上げ時
ON

ピクチャーコール設定(☞P.112)されている電話番号からの着信があったとき、ピクチャーコールの画像を表示するかどうかを設定できます。

● 相手の発信者番号が通知されない場合や、電話帳にピクチャーコール(画像)を設定していないときは、ピクチャーコール設定を[ON]に設定してもピクチャーコールの画像は表示されません。(☞P.112)

1 待受画面で[■][2][5][1][1]を押し、[1][ON]を押す。

● 詳細メニューから✕(設定)→[表示]→[画面カスタマイズ設定]→[発着信画面設定]→[ピクチャーコール設定]の順に選択することもできます。

お知らせ

● 画像は次の優先順位で表示されます。

	優先順位(高→低)
画像	電話帳のピクチャーコール設定→グループのピクチャーコール設定→発着信画面設定

サブ画面設定

サブディスプレイを設定する

着信時に相手の名前などを表示する<相手表示設定>

お買い上げ時
ON

電話がかかってきたとき、相手の電話番号や名前をサブディスプレイに表示できます。

● 電話帳のPIMロック中、相手の名前は表示されません。ただし、プッシュトークプラスから番号通知で着信した場合はネットワーク上の電話帳の名前が表示されます。

1 待受画面で[■][2][2][1]を押し、[1][ON]を押す。

● 詳細メニューから✕(設定)→[表示]→[サブ画面設定]→[相手表示設定]の順に選択することもできます。

サブディスプレイの時計のデザインを変更する<時計表示設定>

お買い上げ時
待受時計(大)

サブディスプレイに表示する時計のデザインを変更できます。

1 待受画面で[■][2][2][2]を押し、時計の種類を選ぶ。

● 詳細メニューから✕(設定)→[表示]→[サブ画面設定]→[時計表示設定]の順に選択することもできます。

待受時計(大)	[1]
待受時計(小)	[2]

省電力設定

バッテリーを節約する

お買い上げ時
通常モード

ディスプレイの表示時間などを調整してバッテリーの消耗を抑えることができます。また、省電力モード中のサブディスプレイの表示を設定することもできます。
省電力設定の種類によって、表示時間などが以下の表のように異なります。

	通常モード	節約モード	ユーザ設定
照明時間設定	約10秒	約5秒	約10秒
画面表示時間設定	約2分	約30秒	約2分
明るさ調整	12	1	12
ボタン照明設定	点灯	消灯	点灯

次ページへ続く

1 待受画面で■28を押し、省電力設定の種類を選ぶ。

● 詳細メニューから✕（設定）→［表示］→［省電力設定］の順に選択することもできます。

通常モードにする	1
節約モードにする	2
ユーザ設定にする	3 ● ユーザ設定の設定は変更できます。

省電力モード中のサブディスプレイの表示を設定する ＜サブ画面常時表示設定＞

お買い上げ時
OFF

サブディスプレイの照明が消灯したときにサブディスプレイの表示を消すかどうかを設定できます。

● サブディスプレイの照明の点灯時間は、照明時間設定に従います。

1 待受画面で■284を押し、［ON］／［OFF］を選ぶ。

常に表示する	1
表示を消す	2

ユーザ設定

オリジナルの省電力モードを設定する

省電力設定の［ユーザ設定］には、照明時間設定、画面表示時間設定、明るさ調整、ボタン照明設定をそれぞれ設定できます。

ディスプレイとボタンの照明時間を設定する＜照明時間設定＞

お買い上げ時
下記参照

ディスプレイとボタンのバックライトの照明が点灯している時間を、以下の場合についてそれぞれ設定できます。設定した時間を過ぎると、微灯になります。

● ユーザ設定で設定した照明時間設定、画面表示時間設定、明るさ調整、ボタン照明設定は、［省電力設定］の種類を［通常モード］、［節約モード］に設定すると無効になります。

通常時	電源を入れたとき、ボタンを押したとき、FOMA端末を開閉したとき、電話がかかってきたときなどに照明が点灯する時間を、1〜99秒の間で設定できます。
充電時	ACアダプタ（別売）、DCアダプタ（別売）を接続しているときに照明が点灯する時間を［通常時と同じ］または［常にON］に設定できます。
テレビ電話時	テレビ電話の通話中に照明が点灯する時間を［通常時と同じ］または［常にON］に設定できます。
ｉモード時	ｉモード中に照明が点灯する時間を［通常時と同じ］または［常にON］に設定できます。

お買い上げ時設定（通常時：10秒　充電時、ｉモード時：通常時と同じ　テレビ電話時：常にON）

1 待受画面で■2831を押す。

● 詳細メニューから✕（設定）→［表示］→［省電力設定］→［ユーザ設定］→［照明時間設定］の順に選択することもできます。

2 項目を選び、照明時間を設定する。

通常時の照明を設定する	1→点灯時間（01〜99秒）を入力→■
充電時の照明を設定する	2→1［通常時と同じ］／2［常にON］
テレビ電話時の照明を設定する	3→1［通常時と同じ］／2［常にON］
ｉモード時の照明を設定する	4→1［通常時と同じ］／2［常にON］

お知らせ

- 点灯時間(秒数)は[通常時]のみに設定できます。
- 点灯時間を長くすると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。
- 通常時の照明時間設定と画面表示時間設定を同時に設定している場合は、画面表示時間設定が優先されます。
- 充電時、ｉモード時の照明時間設定を[常にON]に設定しても、画面表示時間設定で設定した時間が経過すると、ディスプレイの表示はOFFになります。
- Flash画像、動画の再生時の照明時間は、バックライト点灯時間に従います。
- Flash画像やGIFアニメーションを待受画面に設定している場合、省電力モードから復帰したときは先頭から再生されます。
- イメージビューア、ビデオプレーヤ、キャラ電プレーヤでバックライト点灯時間を[照明設定に従う]に設定した場合、照明時間設定の[通常時]の設定が反映されます。
- スライドショー、静止画撮影、文字読み取り、バーコードリーダーでは、ここでの設定にかかわらず、常に点灯します。
- 複数の照明時間が設定されているとき、次の優先順位で点灯します。ただし、テレビ電話時またはｉモード時の照明時間設定を[常にON]に設定すると、充電しながらテレビ電話やｉモードを利用する場合、充電時の設定にかかわらず、[常にON]になります。

	優先順位(高→低)
照明時間	充電時→テレビ電話時／ｉモード時→通常時

ボタンの照明を点灯させる<ボタン照明設定>

お買い上げ時
点灯

ボタンのバックライトの照明を点灯させるかどうかの設定をすることができます。

1 待受画面で■2834を押し、1[点灯]を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[表示]→[省電力設定]→[ユーザ設定]→[ボタン照明設定]の順に選択することもできます。
- ボタンのバックライトの照明が点灯します。

お知らせ

- [点灯]に設定したときの点灯時間は、照明時間設定に従います。
- 点灯にすると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

画面表示時間を設定する<画面表示時間設定>

お買い上げ時
表示時間：2分

一定時間FOMA端末を使用しなかったときに、ディスプレイの表示を消してバッテリーの消費を抑えます。

1 待受画面で■2832を押し、省電力モードになるまでの時間を選ぶ。

- 詳細メニューから✕(設定)→[表示]→[省電力設定]→[ユーザ設定]→[画面表示時間設定]の順に選択することもできます。

30秒	1	2分	3	5分	5	15分	7
1分	2	3分	4	10分	6	20分	8

お知らせ

- 省電力モードになっているときに、いずれかのボタンを押すとディスプレイ表示が点灯します。
- 音声電話中は、画面表示時間設定の設定時間にかかわらず、照明時間設定(通常時)に従ってディスプレイのバックライトが消灯します。
- ｉチャネルテロップ再生中は画面表示時間設定に従って省電力モードになりますが、画面表示時間設定が30秒に設定されている場合は、ｉチャネルテロップ再生開始から60秒間は省電力モードになりません。
- テレビ電話中、プッシュトーク通信中、ｉモード通信中、メール通信中、カメラの起動中、ｉモーション再生中、スライドショー再生中、外部機器とのデータ転送中は、画面表示時間設定した時間が経過しても省電力モードになりません。

ディスプレイの明るさを調整する<明るさ調整>

お買い上げ時
明るさ12

ディスプレイの照明の明るさを16段階に調整できます。

1 待受画面で■2ABC 8TUV 3DEF 3DEFを押す。

● 詳細メニューから(設定)→[表示]→[省電力設定]→[ユーザ設定]→[明るさ調整]の順に選択することもできます。

2 (明るくする)／(暗くする)を押して調節し、■を押す。

お知らせ

● 明るくすると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

画面カスタマイズ設定

ディスプレイをアレンジする

サブメニュー枠のデザインを変更する <サブメニュー画像設定>

お買い上げ時
上画像：メニュー枠1（上）
下画像：メニュー枠1（下）

サブメニューの上下の枠のデザインを変更できます。

● 横218×縦10ドットのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーションを利用できます。(Flash画像は利用できません。)

1 待受画面で■2ABC 5JKL 3DEFを押し、[画像選択]を押す。

● 詳細メニューから(設定)→[表示]→[画面カスタマイズ設定]→[サブメニュー画像設定]の順に選択することもできます。

● 上枠用の画像を設定すると、下枠用の画像設定画面が表示されます。また、を押すと、上枠と下枠の画像設定画面を切り替えできます。

2 フォルダを選んで■を押し、画像を選んで[決定]を押す。

● 画像を確認するときは、画像を選んで■を押します。CLRを押すと元の画面に戻ります。

お知らせウィンドウのアニメーションを設定する <お知らせウィンドウアニメ>

お買い上げ時
お知らせアニメ1

確認メッセージやエラーメッセージを表示するお知らせウィンドウの画像を設定できます。

● 横212×縦42ドットのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーションを利用できます。(Flash画像は利用できません。)

1 待受画面で■2ABC 5JKL 4GHIを押し、[画像選択]を押す。

● 詳細メニューから(設定)→[表示]→[画面カスタマイズ設定]→[お知らせウィンドウアニメ]の順に選択することもできます。

2 フォルダを選んで■を押し、画像を選んで[決定]を押す。

● 画像を確認するときは、画像を選んで■を押します。CLRを押すと元の画面に戻ります。

マークのデザインを変更する<マーク表示設定>

お買い上げ時
下記参照

ディスプレイに表示される電波状態表示マーク、電池残量表示マーク、時計表示マークを変更できます。
お買い上げ時設定(電波マーク:電界強度1　電池マーク:電池残量1　小時計マーク:時計表示1)

登録されているマーク

電界強度1	電界強度2	電界強度3	電池残量1	電池残量2	電池残量3	時計表示1	時計表示2	時計表示3
圏外	圏外	圏外				01234 56789:	01234 56789:	01234 56789:

● マイピクチャから画像を選択するときは、電波状態表示マークが横48×縦60ドット、電池残量表示マークが横72×縦40ドット、時計表示マークが横49×縦40ドットのGIF画像を利用できます。(Flash画像、GIFアニメーション、JPEG画像は利用できません。)

1 待受画面で■ 2 5 5 を押し、マークの種類を選ぶ。

● 詳細メニューから(設定)→[表示]→[画面カスタマイズ設定]→[マーク表示設定]の順に選択することもできます。

電波状態表示マークを変更する	1
電池残量表示マークを変更する	2
時計表示マークを変更する	3

2 [画像選択]を押し、フォルダを選んで■を押し、画像を選んで[決定]を押す。

● 画像を確認するときは、画像を選んで■を押します。CLRを押すと元の画面に戻ります。

画面の配色を変更する<テーマカラー設定>

お買い上げ時
Luxury

画面の配色パターンを設定できます。

1 待受画面で■ 2 4 を押し、テーマカラーを選ぶ。

● 詳細メニューから(設定)→[表示]→[テーマカラー設定]の順に選択することもできます。

Luxury	1	JapaneseModern	4
Chic	2	SilverSky	5
Sunnyday	3		

● テーマカラーを選ぶと、画面が選択中の配色パターンで表示されます。

2 [はい]を選んで■を押す。

テーマ設定

詳細メニューのデザインを変更する

詳細メニューのアイコンや順番、背景画像、アイコン名の有無を設定できます。

詳細メニューのデザインを変える<テーマ設定>

お買い上げ時
テーマ:Luxury

詳細メニューに設定されているアイコンの位置や画像を、統一されたイメージに変更できます。

● お買い上げ時、4件のテーマが登録されています。iアプリからダウンロードしたアイコン一括画像(☞P.210)を設定することもできます。また、自分でアイコンと背景に設定した画像の組み合わせを、テーマとして[ユーザ設定1]～[ユーザ設定3]に登録することもできます。
● お買い上げ時に登録されているテーマを利用すると、次の設定が変更されます。
アイコン設定、背景設定、アイコン位置、ショートカットメニューの背景画像の設定、アクションフォーカス、テーマカラー設定、サブメニュー画像設定、お知らせウィンドウアニメ
● iアプリからダウンロードしたアイコン一括画像や、[ユーザ設定1]～[ユーザ設定3]を利用すると、アイコン設定と背景設定が変更されます。

次ページへ続く

1 詳細メニュー（☞P.34）で[カメラ][1][テーマ設定]を押す。

2 テーマを選んで[■]を押し、[はい]を選んで[■]を押す。

- テーマの画像を確認するときは、テーマを選んで[メニュー]を押します。[■]を押すと元の画面に戻ります。
- [設定中]と表示されます。画像展開に時間がかかることがあります。

テーマ設定用の画像を一括保存する

アイコン画像設定や背景設定で詳細メニューに表示した画像や、ｉアプリからダウンロードしてテーマに設定したアイコン一括画像を、テーマとして最大３件まで登録できます。

1 アイコン画像設定や背景設定を行い、詳細メニュー（☞P.34）で[カメラ][1][テーマ設定]を押す。

2 テーマの番号を選んで[メール][一括保存]を押し、[はい]を選んで[■]を押す。

- [ユーザ設定１]〜[ユーザ設定３]に保存できます。
- 登録したテーマを削除するときは、テーマを選んで[i]を押し、[はい]を選んで[■]を押します。

お知らせ

- マルチメディアのPIMロック中にテーマを設定したり削除するときは、端末暗証番号（４〜８桁の数字）の入力が必要です。
- お買い上げ時に登録されているテーマは削除できません。
- 電源を切るなどしてテーマの設定を途中で終了させると、変更が途中まで反映された状態で設定されます。この場合は再び設定をやり直してください。お買い上げ時の状態に戻したいときは[テーマ：Luxury]を選択します。

詳細メニューのアイコンを設定する<アイコン画像設定>

詳細メニューのアイコンを変更できます。

- 横76×縦76ドットのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーションを利用できます。サイトでダウンロードした画像も利用できます。
- １つのアイコンに対して非選択時用、選択時用の２枚の画像を設定できます。
- GIFアニメーションの場合は最大３シーンが切り替わります。選択時用の画像は設定できません。

1 詳細メニュー（☞P.34）でアイコンを選んで[カメラ][2][1][アイコン画像設定]を押す。

2 フォルダを選んで[■]を押し、非選択時用の画像を選んで[i][決定]を押す。

- メニューアイコンに設定できない画像は表示されません。
- GIFアニメーションを選択したときは、詳細メニュー画面に戻ります。
- 画像を確認するときは、画像を選んで[■]を押します。[CLR]を押すと元の画面に戻ります。

3 選択時用の画像を選ぶ。

選択時用の画像を別に設定する	[はい]→[■]→フォルダを選ぶ→[■]→画像を選ぶ→[i]
非選択時用と同じ画像を設定する	[いいえ]→[■]

お知らせ

- データBOXのマイピクチャの画像をメニューアイコンに設定した場合、元の画像を削除しても、メニューアイコンの設定を変更するまで画面は保持されます。

関連操作

アイコン名を表示するかどうかを設定する<アイコン名表示>
詳細メニュー（☞P.34）で[カメラ][2][3]▶[1]

関連操作

詳細メニューのアイコンを移動する<アイコン移動>

詳細メニュー(☞P.34)でアイコンを選ぶ▶ [カメラ] [2] [2] ▶移動先の位置を選ぶ▶ [■]

お知らせ

アイコン表示名について
- お買い上げ時は、[OFF]に設定されています。
- お買い上げ時に登録されているアイコン画像の場合、画像の中にアイコン名が入っているため、アイコン名表示を[ON]に設定すると、文字が二重に表示されます。

詳細メニューのアイコンにアクションフォーカスを設定する <アクションフォーカス>

お買い上げ時
OFF

詳細メニューのアイコンにアクションフォーカスを設定できます。
- アクションフォーカスを設定すると、詳細メニューで選択したアイコンのみアクションが実行されます。
- GIFアニメーションが設定されている場合は、最後に表示される画像にアクションフォーカスを設定します。

1 詳細メニュー(☞**P.34**)で [カメラ] [3] [アクションフォーカス]を押し、アクションフォーカスの種類を選ぶ。

グローブ	[1]	円が速度を変えながら回転します。
ターゲット	[2]	大きい四角形から小さい四角形になります。
ミスト	[3]	霧のような光の幕がかかります。
スターダスト	[4]	光がきらきら輝きます。
ウインドミル	[5]	3本の棒が次々に現れ、アイコンの下で回転します。
リップル	[6]	丸い枠が広がっていきます。
OFF	[7]	設定しません。

詳細メニューの背景を設定する<背景設定>

お買い上げ時
メニュー背景1

- JPEG画像、GIF画像を利用できます。(Flash画像、GIFアニメーションは利用できません。)サイトでダウンロードした画像も利用できます。

1 詳細メニュー(☞**P.34**)で [カメラ] [4] [背景設定]を押す。

2 フォルダを選んで [■] を押し、静止画を選んで [i] [決定]を押す。
- 背景画像に設定できない静止画は表示されません。
- 静止画を確認するときは、静止画を選んで [■] を押します。[CLR] を押すと元の画面に戻ります。

お知らせ

- データBOXのマイピクチャの静止画を背景画像に設定した場合、元の静止画を削除しても、背景画像の設定を変更するまで画面は保持されます。

詳細メニューをお買い上げ時の状態に戻す<メニューリセット>

詳細メニューのアイコン設定、アイコン位置、アクションフォーカス、アイコン名表示、および背景画像設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

1 詳細メニュー(☞**P.34**)で [カメラ] [5] [メニューリセット]を押し、[はい]を選んで [■] を押す。

操作ガイドを表示する<操作ガイド>

操作ガイドブックを呼び出して、詳細メニューのアイコンや、待受画面でのボタンの操作方法を調べることができます。

1 詳細メニュー(☞P.34)で[カメラ][6][操作ガイド]を押し、確認したい機能を選ぶ。

アイコンの操作方法を調べる	[1]
待受画面でのボタンの操作方法を調べる	[2]

● 選択した機能の操作ガイドブックが表示されます。

文字表示設定

文字の表示(太さ)を変更する

お買い上げ時
太字

メインディスプレイに表示される文字の太さを変更できます。

● 設定できる文字の種類は３種類です。

1 待受画面で[■][2][3]を押し、文字の太さを選ぶ。

● 詳細メニューから✕(設定)→[表示]→[文字表示設定]の順に選択することもできます。

細字	[1]
太字	[2]
極太字	[3]

● 文字を選ぶと、見本が表示されます。

Bilingual

画面を英語表示に切り替える

お買い上げ時
日本語

ディスプレイに表示される各機能名やメッセージ、およびメニュー項目名などを日本語表示／英語表示に切り替えます。

1 待受画面で[■][3][5]を押し、表示方法を選ぶ。

日本語表示

英語表示

● 詳細メニューから✕(設定)→[一般設定]→[Bilingual]の順に選択することもできます。

日本語表示	[1]
英語表示	[2]

お知らせ

● FOMAカードを挿入している場合、FOMAカードに保存されます。Bilingual設定は、FOMA端末と挿入されたFOMAカードに保存されますが、それぞれの設定が異なる場合は、FOMAカードの設定が優先されます。

画面表示を認識できる範囲を変更する

ディスプレイを隣の人から見えにくくする(VeilView)<視野切替>

1 待受中や操作中に( )を押す。

- 視野切替が[ON]に設定され、待受画面に[ ]が表示されます。
- [OFF]に設定するときは、もう一度( )を押します。

お知らせ

- オールロック中およびユーザデータ削除中は視野切替できません。
- マナーモード連動設定が[OFF]の場合、電源を切っても設定は保持されます。
- マナーモード連動設定が[ON]のとき、マナーモード中に電源を切った場合は、電源を入れたときに視野切替が[ON]になります。マナーモード解除中に電源を切った場合は、電源を入れたときに視野切替が[OFF]になります。
- 画面表示時間設定により、ディスプレイ表示が消えている間は視野切替は[OFF]になります。
- 視野切替を[ON]にすると、正面から見たときでも両目の視差により、視野切替画面が見えることがあります。

マナーモードに連動して視野切替をする<マナーモード連動設定>

お買い上げ時
OFF

マナーモードを設定したときに、自動的に視野切替が[ON]に切り替わるように設定します。

1 待受画面で[■][2][9][1]を押し、[1][ON]を押す。

- 詳細メニューから(設定)→[表示]→[視野切替設定]→[マナーモード連動設定]の順に選択することもできます。

お知らせ

- マナーモード中でも、視野切替の[ON]/[OFF]を設定できます。

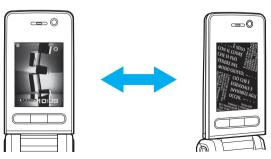
視野切替画面を変更する<視野切替画面設定>

お買い上げ時
文字パターン(濃)

1 待受画面で[■][2][9][2]を押し、パターンを選ぶ。

- 詳細メニューから(設定)→[表示]→[視野切替設定]→[視野切替画面設定]の順に選択することもできます。

文字パターン(濃)	1	濃い文字パターンが表示されます。
文字パターン(薄)	2	薄い文字パターンが表示されます。
幾何学パターン(濃)	3	濃い幾何学模様のパターンが表示されます。
幾何学パターン(薄)	4	薄い幾何学模様のパターンが表示されます。
連続パターン切替	5	幾何学模様のパターンが一定時間で切り替わって表示されます。

- 視野切替を[ON]にすると、選択したパターンが画面に表示されます。
- 隣の人から見えにくくする効果は、選択したパターンによってそれぞれ異なります。

- 視野切替画面を表示させることにより、画面が見える範囲(視野角)を狭くして隣の人(左右)から見えにくくします。

光るワンタッチキーを利用する

光るワンタッチキーに、よく使う電話番号やメールアドレス、ブックマーク、便利機能（ボイスレコーダー、スケジュール、電卓、ブックリーダー、アラーム、テキストメモ）、まとめて簡単ロックを登録しておくと、ワンタッチで簡単に操作することができます。

光るワンタッチキーを設定する<ワンタッチキー登録>

1 待受画面で光るワンタッチキーⅠ～Ⅲのいずれかを押す。

- ［ワンタッチキー（1～2）に登録がありません　新規登録します］と表示され、ワンタッチキー登録画面が表示されます。光るワンタッチキーⅢには、お買い上げ時、「まとめて簡単ロック」（☞P.164）が登録されています。

2 ワンタッチキー登録の種類を選び、登録する。

電話番号を登録する	電話帳から選ぶ	1→1→名前を選ぶ→■
	電話番号を入力する	1→2→電話番号を入力→■
メールアドレスを登録する	電話帳から選ぶ	2→1→名前を選ぶ→■
	メールアドレスを入力する	2→2→メールアドレスを入力→■
ブックマークを登録する		3→ブックマークを選ぶ→■
便利機能を登録する		4→機能を選ぶ→■
まとめて簡単ロックを登録する		5

- 入力した電話番号やメールアドレスが電話帳に登録されていないときは、電話帳登録の確認画面が表示されます。登録するときは［はい］を選んで■を押し、登録方法を選んで■を押して、電話帳登録の操作を続けます。（☞P.110）ただし、電話帳のPIMロック中は登録確認画面が表示されません。

お知らせ

- 光るワンタッチキーには、別の光るワンタッチキーに登録済みの電話番号、メールアドレス、ブックマークと同じ内容を登録することはできません。
- 光るワンタッチキーに、フルブラウザのブックマークを登録することはできません。
- 待受画面で光るワンタッチキーに登録した相手から音声電話やテレビ電話がかかってきたり、メールが届くと点滅してお知らせします。点滅しているボタンを押して電話に出たり、メールを見ることができます。
- 光るワンタッチキーに登録した相手からプッシュトーク着信しても、ボタンは点滅しません。
- メール受信の場合、差出人のメールアドレスと光るワンタッチキーに登録されたメールアドレスが完全に一致する場合のみ点滅します。ドメイン名まで正確に登録してください。ただし、相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話番号のみをメールアドレスとして登録してください。

光るワンタッチキーに登録した内容を変更・削除する<ワンタッチキー設定>

1 待受画面で■3611を押す。

- 待受画面で光るワンタッチキーⅠ～Ⅲのいずれかを1秒以上押し、［ワンタッチキー設定］を選んでも操作できます。
- 詳細メニューから✕（設定）→［一般設定］→［その他の設定］→［ワンタッチキー設定］→［ワンタッチキー設定］の順に選択することもできます。

2 変更・削除するワンタッチキーを選んで■を押す。

- ［既に登録済みです　ワンタッチキー（1～3）の登録を削除しますか？］と表示されます。光るワンタッチキーⅢには、お買い上げ時、「まとめて簡単ロック」（☞P.164）が登録されています。

3 ［はい］を選んで■を押す。

- 登録した内容が削除され、ワンタッチキー設定画面が表示されます。
- 変更するときは、操作4に進みます。終了するときは☎を押します。

4 登録を削除したワンタッチキーを選んで■を押す。

- ワンタッチキー登録画面が表示されます。

5 ワンタッチキー登録の種類を選んで、登録する。

- 登録方法は、「光るワンタッチキーを設定する」(☞P.150)と同様です。

登録した相手からの着信時に光るワンタッチキーが点滅してお知らせする<お知らせランプ設定>

お買い上げ時
ON

登録されている相手から電話がかかってきたときや未読メールがあるときに、光るワンタッチキーが点滅してお知らせするように設定できます。また、エニーキーアンサーが[OFF]の場合でも登録した相手から着信があった場合、光るワンタッチキーを押して電話を受けることができます。

1 待受画面で■ 3 6 1 2 を押し、1［ON］を押す。

- 待受画面で光るワンタッチキーⅠ〜Ⅲのいずれかを1秒以上押し、[お知らせランプ設定]を選んでも操作できます。
- 詳細メニューから✕(設定)→[一般設定]→[その他の設定]→[ワンタッチキー設定]→[お知らせランプ設定]の順に選択することもできます。

お知らせ

- 光るワンタッチキーに電話番号やメールアドレスを登録しているときだけ、登録したボタンが点滅します。
- 不在着信の場合、点滅している光るワンタッチキーを押して内容を確認するとランプが消えます。[着信あり]の不在着信表示は、光るワンタッチキーを押しても消えません。不在着信を確認するか、CLRを1秒以上押すと、[着信あり]の表示が消えます。

光るワンタッチキーから電話をかける

1 待受画面で、電話番号が登録されている光るワンタッチキーⅠ〜Ⅲのいずれかを押す。

- 電話帳に登録しているときは、電話番号と名前が表示されます。また、画像を設定しているときは、画像も併せて表示されます。電話帳に登録していないときは、電話番号のみ表示されます。

2 電話をかける。

音声電話をかける	☎、■または操作1で押したⅠ〜Ⅲ
テレビ電話をかける	📱

- 表示されている電話番号に発信します。
- プッシュトーク発信することはできません。

お知らせ

- 電話帳のPIMロック中や、電話帳がシークレット登録されている場合、名前は表示されません。シークレット登録した電話帳の名前を表示させるには、シークレットモードを[ON]に設定してください。

光るワンタッチキーからメールを送る

1 待受画面で、メールアドレスが登録されている光るワンタッチキー I ～ III のいずれかを押す。

- 宛先欄には、登録したメールアドレスが入力されています。

2 ｉモードメールを作成し、送信する。

- 詳しくは、P.229の操作２～４を参照してください。

お知らせ

- メールのPIMロック中は、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力するとｉモードメールを作成できます。

光るワンタッチキーからサイトを表示する

1 待受画面で、ブックマークが登録されている光るワンタッチキー I ～ III のいずれかを押し、■［接続］を押す。

- 待受画面で押した I ～ III をもう一度押しても、接続することができます。
- 接続が開始され、指定したサイトやインターネットホームページが表示されます。
- 以降は、ｉモードのインターネット接続と同様です。（☞P.197）

お知らせ

- ｉモードのPIMロック中は、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力するとサイトやインターネットホームページに接続できます。

光るワンタッチキーから様々な機能を利用する

光るワンタッチキーに登録できる便利機能は、ボイスレコーダー、スケジュール、電卓、ブックリーダー、アラーム、テキストメモです。まとめて簡単ロックも登録できます。

1 待受画面で、便利機能／まとめて簡単ロックが登録されている光るワンタッチキー I ～ III のいずれかを押す。

- 登録した機能が起動します。
- まとめて簡単ロックを登録しているときは、ダイヤル発信制限・PIMロック・ＩＣカードロックが設定されます。

お知らせ

- 登録した機能がPIMロック中は、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力すると起動できます。

光るワンタッチキーに入った電話、メールに返信する

メールアドレスや電話番号を登録している相手から電話がかかってきたり、メール着信（SMSを除く）があると、該当する光るワンタッチキーが点滅します。かかってきた電話に出られなかった場合や未読メールがある場合、点滅中の光るワンタッチキーを押して電話をかけたり、メールを返信できます。

1 待受画面で、点滅中の光るワンタッチキーを押す。

- 電話着信の場合は、着信の履歴情報が表示されます。
- メール受信の場合は、最新の未読メールの内容が表示されます。メール表示中に、ワンタッチで文字サイズを切り替えることができます。（光るワンタッチキー I を押すと小さくなり、III を押すと大きくなります。）

2 電話をかけるまたはｉモードメールを作成し、送信する。

音声電話をかける	、または操作１で押した～
テレビ電話をかける	
メールを返信する	→ｉモードメール作成 ● 詳しくは、P.229の操作２～４を参照してください。

お知らせ

- FOMA端末を閉じているときや、ドライブモード設定中、オールロック中、電源OFF中、お知らせランプ設定OFF中は、光るワンタッチキーは点滅しません。
- メールのPIMロック中や、フォルダセキュリティ設定中のフォルダの場合、端末暗証番号（４～８桁の数字）の入力が必要です。
- メール受信の場合、差出人のメールアドレスと光るワンタッチキーに登録されたメールアドレスが完全に一致する場合のみ点滅します。ドメイン名まで正確に登録してください。ただし、相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話番号のみをメールアドレスとして登録してください。
- 不在着信の場合、点滅している光るワンタッチキーを押して内容を確認するとランプが消えます。［着信あり］の不在着信表示は、光るワンタッチキーを押しても消えません。不在着信を確認するか、を１秒以上押すと、［着信あり］の表示が消えます。

あんしん設定

■暗証番号について

■携帯電話の操作や機能を制限する

■発着信や送受信を制限する

■電話帳お預かりサービスを利用する

■その他の「あんしん設定」について

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号の他に、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、iモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一、暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ドコモからお客様の暗証番号をうかがうことは一切ございません。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
- 詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

端末暗証番号（各種機能用の暗証番号）

端末暗証番号は、お買い上げ時は[0000]に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。（☞P.157）
端末暗証番号入力の画面が表示された場合は、4～8桁の端末暗証番号を入力し、■を押します。

- 間違った端末暗証番号を入力した場合は、[端末暗証番号が違います]が表示されたあと、端末暗証番号入力の前の画面に戻ります。正しい端末暗証番号を確認してから、もう一度操作してください。
- 端末暗証番号入力時は、[✱]で表示されます。

ネットワーク暗証番号

ドコモeサイトでの各種手続き時や、各種ネットワークサービスご利用時にお使いいただく数字4桁の番号で、ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My DoCoMo」の「DoCoMo ID/パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。
なお、iモードからは、ドコモeサイト内の「各種手続き」からお客様ご自身で変更ができます。
※「My DoCoMo」、「ドコモeサイト」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

iモードパスワード

マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、iモードの有料サービスのお申し込み・解約などを行う際には4桁の「iモードパスワード」が必要になります。
（この他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります。）

- iモードパスワードは、ご契約時は[0000]に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
- iモードから変更される場合は、[iMenu]⇒[料金&お申込・設定]⇒[オプション設定]⇒[iモードパスワード変更]から変更ができます。
- iモードパスワード入力時は、[✱]で表示されます。

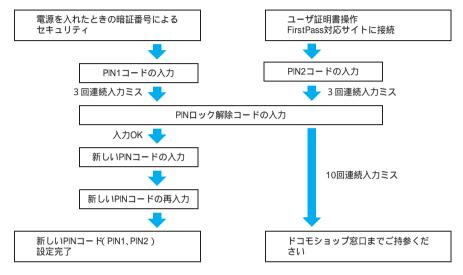
PIN1コード・PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。これらの暗証番号は、ご契約時は[0000]に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。（☞P.158）
PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の暗証番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。PIN2コードは、積算料金リセット、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する4～8桁の暗証番号（コード）です。

- 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。
- PIN1コード／PIN2コード入力時は、[✱]で表示されます。

PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための８桁の番号です。PINロック解除コードを入力することによりロック状態を解除できます。なお、お客様ご自身では変更することはできません。PINコードやPINロック解除コードは、控えを取るなどしてお忘れにならないよう、ご注意ください。

● PIN1コード、PIN2コードの入力を、３回連続して間違えると自動的にロックされます。
● PINロック解除コードの入力を、10回連続して間違えるとFOMAカードが完全にロックされます。

端末暗証番号変更

端末暗証番号を変更する

お買い上げ時
0000

お客様自身の端末暗証番号（４～８桁の数字）に変更してください。

1 待受画面で■ 7 7 を押し、現在の端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して■を押す。

● 詳細メニューから✕（設定）→［セキュリティ］→［端末暗証番号変更］の順に選択することもできます。

2 新しい端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して■を押す。

3 もう一度、新しい端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して■を押す。

● 端末暗証番号が変更されます。

PINコードを設定する

お買い上げ時
PIN1コード:0000
PIN2コード:0000

FOMAカードのPIN1コード、PIN2コードを変更できます。

- PIN1コードは、FOMAカードを不正に使用されないための、4～8桁の暗証番号です。
- PIN2コードは、サイトやインターネット接続などのオンラインサービスなどで個人認証が必要なときに入力する4～8桁の暗証番号です。ユーザ証明書操作時(FirstPassを利用するためのユーザ証明書の発行)や、FirstPass対応サイトに接続するとき(☞P.218)に入力します。
- PIN1コード、PIN2コードは、FOMAカードに保存されます。

電源を入れたときにPINコードを入力するように設定する <PIN1コード入力設定>

お買い上げ時
OFF

FOMA端末を不正に使用されないために、電源を入れたときにPIN1コードを入力しないと使えないように設定します。

1 待受画面で■7 2を押し、端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力して■を押す。

FOMAカード設定画面

- 詳細メニューから✕(設定)→[セキュリティ]→[FOMAカード(UIM)設定]の順に選択することもできます。

2 1[PIN1コード入力設定]を押し、[ON]/[OFF]を選ぶ。

設定する	1→PIN1コード(4～8桁の数字)を入力→■
解除する	2→PIN1コード(4～8桁の数字)を入力→■

- PIN1コードは3回まで入力できます。PIN1コード入力画面には[残存入力回数]が表示されます。

お知らせ

- PIN1コード入力画面で入力を3回間違えると、PIN1コードがロックされます。PINロックを解除してください。PINロック解除時に、新しいPIN1コードを入力する必要があります。(☞P.159)

電源を入れたときにPIN1コードを入力する

PIN1コード入力設定を[ON]に設定すると、電源を入れたときに、PIN1コードの入力画面が表示されます。

- PIN1コードを入力しないとFOMA端末を操作できません。FOMA端末が無断で使用されるのを防ぐことができます。

1 HLD PWR(電源)を2秒以上押して電源を入れ、PIN1コード(4～8桁の数字)を入力して■を押す。

- PIN1コードは3回まで入力できます。PIN1コード入力画面には[残存入力回数]が表示されます。
- PIN1コードを正しく入力すると、待受画面が表示されます。

PIN1コード/PIN2コードを変更する <PIN1コード変更/PIN2コード変更>

お買い上げ時
PIN1コード:0000
PIN2コード:0000

PIN1コード/PIN2コードを変更できます。

1 待受画面で■7 2を押し、端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力して■を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[セキュリティ]→[FOMAカード(UIM)設定]の順に選択することもできます。
- PIN1コード入力設定が[OFF]に設定されている場合、PIN1コードは変更できません。

2 変更するPINコードを選び、現在のPINコード（４～８桁の数字）を入力して[■]を押す。

PIN1コードを変更する	[2]
PIN2コードを変更する	[3]

- PINコードは３回まで入力できます。PINコード入力画面には[残存入力回数]が表示されます。

3 新しいPINコード（４～８桁の数字）を入力して[■]を押す。

4 もう一度、新しいPINコード（４～８桁の数字）を入力して[■]を押す。

- [変更しました]と表示されます。
- 間違ったPIN1コード／PIN2コードを入力すると、[PIN1／PIN2コードが認識できませんでした]と表示され、操作２の画面に戻ります。

お知らせ

- PIN1コード／PIN2コード入力画面で、PIN1コード／PIN2コードの入力を３回間違えると、PIN1コード／PIN2コードがロックされます。PINロックを解除してください。PINロック解除時に、新しいPIN1コード／PIN2コードを入力する必要があります。

PINロックを解除する

PIN1／PIN2がロックされた画面

- [残存入力回数10回]と表示されます。
- PINロック解除コードは10回まで入力できます。

PIN1ロックを解除するとき

1 PINロック中にPINロック解除コード入力画面で、PINロック解除コード（８桁の数字）を入力して[■]を押す。

2 新しいPIN1コード（４～８桁の数字）を入力して[■]を押す。

3 もう一度、新しいPIN1コード（４～８桁の数字）を入力して[■]を押す。

- [変更しました]と表示されます。

お知らせ

- PIN2コードのロックを解除するときも、同様の操作で解除します。
- PIN2コードの３回連続入力ミスによってFOMA端末がロックされた場合でも、電話の発着信、メールの送受信などの通信は可能ですが、PIN1コードの３回連続入力ミスによってFOMA端末がロックされた場合には、通信が必要な機能の操作はできなくなります。

各種ロック機能について

電話帳の呼び出し、登録、削除やダイヤルボタンでの発信などの機能を制限できます。
- ロックの設定／解除には、端末暗証番号が必要です。
- 設定できる項目は次のとおりです。

ロック機能	動作・制限内容	ページ
オールロック	電源のON／OFF以外の操作ができないようにして、FOMA端末の無断使用を防ぎます。	P.160
おまかせロック	FOMA端末内のすべてのデータにアクセスできないように、遠隔操作でロックします。自動的にＩＣカードロックも設定されます。	P.161
セルフモード※	音声電話やテレビ電話の発着信、ｉモードメールやSMSの送受信、メッセージＲ／Ｆの受信、ｉモードの機能を使えないように設定します。電話がかかってきた場合、相手には、電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。	P.162
PIMロック	ｉモード／ｉチャネル、ｉアプリ、マルチメディア、メール、電話帳（プッシュトーク電話帳含む）、音声・テレビ電話伝言メモ／音声メモ、テキストメモ／スケジュール／ToDoリスト、トルカの表示や編集・操作ができないようにして、個人情報の閲覧や書換えを防止します。項目ごとに設定が可能です。マルチメディアをロックするとカメラ機能もロックされます。	P.162
ダイヤル発信制限	ダイヤル入力による発信や電話帳の編集ができないようにします。電話帳かリダイヤル、光るワンタッチキーを使った発信だけが可能です。	P.164
ＩＣカードロック	FeliCaのＩＣカード機能を使えないように設定します。	P.290
まとめて簡単ロック	ダイヤル発信制限・PIMロック・ＩＣカードロックをワンタッチ操作で設定します。	P.164
まとめて簡単ロック設定	ディスプレイの表示がOFFになったときに、ダイヤル発信制限・PIMロック・ＩＣカードロックが自動で設定されるようにします。	P.165
ボタン操作無効※	音楽／視野切替ボタンなどのサイドボタンを操作できないようにして、誤作動を防ぎます。	P.165

※ セルフモード、ボタン操作無効のとき、端末暗証番号の入力は不要です。

オールロック

他の人が使用できないようにする

お買い上げ時
解除

電源ON／OFF以外の操作ができないようにします。
- オールロックを解除するときは、端末暗証番号の入力が必要です。

オールロックを設定する

1 待受画面で［■］［7］［6］を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して［■］を押す。

ロック設定画面

- 詳細メニューから（設定）→［セキュリティ］→［ロック設定］の順に選択することもできます。

2 ［1］［オールロック］を押し、［はい］を選んで［■］を押す。

- オールロックが設定されます。待受画面に［オールロック］と表示されます。（［ALL］表示）

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.323）

オールロックを解除する

1 オールロック中に、待受画面で端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して[■]を押す。

● 待受画面の［オールロック］の文字と［▣］が消え、オールロックが解除されます。

お知らせ

● オールロック中は待受画面設定にかかわらず、［待受画面１］の画像が表示されます。
● オールロックを設定しても、FeliCaのＩＣカード機能はロックされません。
● オールロック中に着信した場合、相手には話中音が流れます。オールロックを解除すると［着信あり］が表示されます。
● オールロック中は音声電話やテレビ電話をかけることも受けることもできません。ただし、緊急通報番号（110番、119番、118番）には発信できます。発信する場合は、端末暗証番号入力画面で電話番号を入力して[発信]を押します。電話番号は＊＊＊で表示されます。
● オールロック中は、設定した時刻になってもアラームは動作しません。
● オールロック中も、ｉモードメール／SMSやメッセージR／Fの自動受信ができますが、画面には表示されません。オールロック解除後に、ｉモードメールやSMS、メッセージR／Fのアイコンが表示されます。
● オールロックの解除に５回続けて失敗すると、FOMA端末の電源が切れます。再び電源を入れて、正しい端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力してください。

おまかせロック

おまかせロックを利用する

お買い上げ時
解除

おまかせロックとは

FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにご連絡いただくか、またはMy DoCoMoからの操作により、遠隔操作でFOMA端末にロックをかけることができるサービスです。お客様の大切なプライバシーとおサイフケータイを守ります。
お客様からのお電話などによりロックを解除することができます。

おまかせロックの設定／解除
0120-524-360　受付時間　24時間
※ パソコンなどでMy DoCoMoのサイトからも設定／解除ができます。

※ おまかせロックのご利用方法の詳細については『ご利用ガイドブック（手続き・アフターサービス編）』をご覧いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

おまかせロックを設定すると

● ［おまかせロック中です］と表示され、おまかせロックが設定されます。
● おまかせロックはお客様がご契約中のFOMAカードが挿入されているFOMA端末に対してロックをかけるサービスです。
● おまかせロック中は、音声／テレビ電話の着信に対する応答と電源ON／OFFの操作を除いて、すべてのボタン操作がロックされ、各機能（ＩＣカード機能を含む）を使用することができなくなります。
● 音声／テレビ電話の着信は可能ですが、この場合、電話帳に登録されている氏名、画像などは画面に表示されず、電話番号だけが表示されます。
● おまかせロック中に受信したメールは、メールセンターに保存されます。
● 電源ON／OFFは可能ですが、電源OFFを行ってもロックは解除されません。
● FOMAカードや外部メモリ（miniSDメモリーカードなど）にはロックがかかりませんので、予めご了承ください。

次ページへ続く

お知らせ

- 他の機能が起動中の場合でも、当該機能を終了してロックをかけます。
- 他のロック機能の設定中でも、おまかせロックを使用することができます。
- 圏外、セルフモード中や電源OFF中の場合はロックがかかりません。
- 公共モード(ドライブモード)を設定した状態でおまかせロックをかけると、公共モード(ドライブモード)のガイダンスが流れ、通話を終了します。
- デュアルネットワークサービスをご契約のお客様が、movaサービスをご利用中の場合は、ロックはかかりません。
- おまかせロックはFOMA端末に挿入されているFOMAカードのご契約者の方からのお申し出によりロックをかけるサービスです。
- ご契約者の方とFOMA端末を使用している方が異なる場合でも、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかります。
- おまかせロックの解除は、おまかせロックをかけた時と同じFOMAカードをFOMA端末に挿入している場合のみ行うことができます。解除できない場合は、取扱説明書裏面に記載の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

セルフモード
発信や着信ができないようにする

お買い上げ時 OFF

音声電話やテレビ電話、プッシュトークの発着信、i モードメールやSMSの送受信、メッセージR/Fの受信、i モードなど、通信が必要なすべての機能を使えないように設定できます。

- セルフモード中に電話がかかってきた場合、相手には電波が届かないか電源が入っていないことを通知するガイダンスが流れます。なお、ドコモの留守番電話サービス(☞P.378)、転送でんわサービス(☞P.381)をご利用の場合、FOMA端末の電源を切っているときと同様にサービスをご利用になれます。
- セルフモード中でも、110番、119番、118番へはダイヤルできます。発信後にセルフモードの設定は解除されます。
- 赤外線通信、赤外線リモコン操作もできません。

1 待受画面で[■][6][8]を押し、セルフモードの[**ON**]/[**OFF**]を選ぶ。

- 詳細メニューから(設定)→[通話・通信機能設定]→[セルフモード]の順に選択することもできます。

設定する	[1]→[はい]→[■]
解除する	[2]

- セルフモードを設定すると、ディスプレイ上部の[Yıll]が消え[self]が表示されます。

お知らせ

- i モード待機中([ ]点滅)は、セルフモードを設定できません。

セルフモード中は

- セルフモード設定前に送受信したi モードメールやSMS、メッセージR/Fを読んだり、新規作成や編集して保存することはできますが、送信はできません。
- 送信されてきたi モードメールやメッセージR/Fはi モードセンターで、SMSはSMSセンターで、お預かりします。受信する場合はセルフモードを解除して、i モード問い合わせ、SMS問い合わせを行ってください。

PIMロック
電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする

お買い上げ時 OFF

個人情報を他の人が見たり、無断で書換えられたりするのを防ぐため、メール、電話帳などへのアクセスを制限します。

- ロックできる項目
  i モード/i チャネル、i アプリ、マルチメディア、メール、電話帳、伝言メモ/音声メモ、メモ/スケジュール/ToDo、トルカ
- 項目ごとにロックを設定できます。
- メモ/スケジュール/ToDoをロックするとアラーム機能もロックされます。
- マルチメディアをロックするとカメラ機能、モバイルオーディオ機能、ボイスレコーダー機能もロックされます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

1 待受画面で■ 7 6 を押し、端末暗証番号（4〜8桁の数字）を入力して■を押す。

- 詳細メニューから✕（設定）→［セキュリティ］→［ロック設定］の順に選択することもできます。

2 3［PIMロック］を押す。

3 ロックまたは解除する項目を選んで■を押し、📷［完了］を押す。

- ☑はロック、□は解除の状態です。
- ■を押すと、ロックと解除を交互に切り替えることができます。
- PIMロックが設定されると、ディスプレイ上部に［PIM］が表示されます。
- ［全選択］を押すとすべての項目をロックできます。また、チェックがすべての項目に入っている場合は、［全解除］を押すとすべての項目を解除できます。
- 各機能のメニューからPIMロックを設定してもチェックボックスに反映されます。

お知らせ

- PIMとは「個人情報管理プログラム」を意味します。
- PIMロック中は、ロックがかかっている項目の赤外線受信はできません。
- 電話帳登録外着信拒否を設定しているときは、電話帳をPIMロックできません。
- 電話帳のPIMロック、ユーザデータ削除を行うと、それまでのリダイヤルと着信履歴、送信メッセージ履歴、メール送信履歴、メール受信履歴は削除されます。ただし、操作後の発信や着信でリダイヤルや着信履歴が新たに記憶され、それを利用して電話をかけることができます。また、電話帳に登録されていても名前や画像は表示されません。
- 電話帳のPIMロックを設定すると、次の機能も禁止されます。
  - ■ ツータッチダイヤル、ツータッチメール、イヤホン発信
  - ■ 指定着信音、指定メール着信音
  - ■ ｉモードメールやSMS送信時の電話帳を利用した宛先入力※
  - ■ 電話帳指定着信許可・拒否の［OFF］以外の設定
  - ■ アラーム、スケジュール、ToDoリストの電話帳を利用した連絡先設定※
  - ■ スケジュールの連絡先別表示※
  - ■ 電話帳登録外着信拒否

※ 端末暗証番号（4〜8桁の数字）を入力すると、PIMロックは一時的に解除されます。
- メールのPIMロックを設定すると、設定前のメール送信履歴、メール受信履歴は削除されます。設定後のメール送信履歴、メール受信履歴は、PIMロックを解除しても保持されます。
- メモ／スケジュール／ToDoのPIMロック中は、設定時刻になってもアラームやスケジュールアラーム、ToDoアラームは動作しません。
- メールのPIMロック中、ｉモードメール／SMS／メッセージR／Fを自動受信したときに画面には表示されませんがアイコンは点滅します。また、待受画面に［新着メールあり　○件］と表示されます。
- テレビ電話時にキャラ電などの代替画像を送信する場合は、マルチメディアがPIMロック中でも、設定したテレビ電話代替画像を送信できます。
- PIMロック中の機能を利用しようとすると、端末暗証番号入力画面が表示されます。正しい端末暗証番号を入力すると、PIMロックは一時解除され、機能操作を終了すると再びロックされます。miniSDメモリーカードのPIMデータ（電話帳、テキストメモ、スケジュール、ToDoリスト、ブックマーク、メール）は各機能の［miniSDデータ参照］から参照できます。
- マルチメディアのPIMロックを設定すると電話帳の指定着信音、指定メール着信音は鳴らず、音選択で設定している着信音が鳴ります。また、ピクチャーコール設定した画像や、10001バイト以上の画像が添付されているメールの画像は表示されません。カメラを起動するには、端末暗証番号（4〜8桁の数字）の入力が必要です。アラームやスケジュールアラーム、ToDoアラームは、デフォルト画像を表示し、［着信音1］が鳴ります。

ダイヤル発信制限

ダイヤルボタンでの発信を禁止する

お買い上げ時
OFF

電話帳(miniSDメモリーカード内の電話帳を除く)、リダイヤル、光るワンタッチキー以外で電話をかけられないように制限します。

- ダイヤル発信制限を設定中に、ダイヤルボタンを使って電話をかけようとすると、[ダイヤル発信制限設定中です]と表示され、待受画面に戻ります。
- ダイヤル発信制限を設定していても、110番、119番、118番へはダイヤルできます。
- ダイヤル発信制限を設定すると、設定前のリダイヤルと着信履歴、着もじの送信メッセージ履歴(☞P.55)、メール送信履歴、メール受信履歴が削除されます。ただし、設定後に発信するとリダイヤルに新たに記憶され、リダイヤルで電話をかけることができます。

1 待受画面で■ 7 6 を押し、端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力して■を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[セキュリティ]→[ロック設定]の順に選択することもできます。

2 2 [ダイヤル発信制限]を押し、[ON]／[OFF]を選ぶ。

設定する	1
解除する	2

- ダイヤル発信制限を設定すると、ディスプレイ上部に[Dial]が表示されます。

お知らせ

- ダイヤル発信制限を設定すると、次の機能も禁止されます。
  - ■ 直接アドレス入力によるSMSおよびｉモードメールの送信(電話帳からのアドレス入力の場合は可能)
  - ■ 電話帳の登録／修正／削除
  - ■ アラームからの発信(電話帳に登録されている場合は可能)
  - ■ 電話帳データの赤外線送受信
  - ■ プレフィックス設定(国際電話設定)
  - ■ 光るワンタッチキーへの電話番号入力／削除・メールアドレス入力／削除
  - ■ 電話帳データの本体⇔FOMAカード間データ転送(もしくは、コピー)
  - ■ Phone To(AV Phone To)機能
  - ■ Mail To機能
  - ■ バーコードリーダー、文字読み取りでの発信
  - ■ 電話帳データの本体⇔miniSD間データ転送
  - ■ 電話帳(プッシュトーク電話帳、ネットワーク上の電話帳を含む)とリダイヤル以外からのプッシュトーク発信

まとめて簡単ロック

ダイヤル発信制限・PIMロック・ＩＣカードロックをワンタッチで設定する

お買い上げ時、光るワンタッチキーⅢ(☞P.150)には、「まとめて簡単ロック」が登録されています。ダイヤル発信制限・PIMロック・ＩＣカードロックの３つのロックをワンタッチで設定できます。

1 待受画面で、光るワンタッチキーⅢを押し、[はい]を選んで■を押す。

- ダイヤル発信制限・PIMロック・ＩＣカードロックが設定され、[PIM]と[IC]が表示されます。

お知らせ

- 電話帳登録外着信拒否が設定中の場合、まとめて簡単ロックを設定しても電話帳のPIMロックは設定されません。
- まとめて簡単ロックを設定すると、設定前のリダイヤルと着信履歴、着もじの送信メッセージ履歴、メール送信履歴、メール受信履歴が削除されます。それぞれのロックについて詳しくは、ダイヤル発信制限、PIMロック、ＩＣカードロックを参照してください。

まとめて簡単ロックを解除する

1 待受画面で、光るワンタッチキーⅢを押し、端末暗証番号(４～８桁の数字)を入力して■を押す。

- ダイヤル発信制限・PIMロック・ＩＣカードロックが解除されます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

お知らせ

● ロック設定画面（☞P.160）から各ロック機能を選択して、個別にロックを解除することもできます。

まとめて簡単ロック設定

自動的にまとめて簡単ロックを設定する

お買い上げ時 OFF

待受中に省電力モードでディスプレイの表示がOFFになったとき、またはFOMA端末を閉じたときに、ダイヤル発信制限・PIMロック・ＩＣカードロックの３つのロックが自動的に設定されるようにします。
● まとめて簡単ロックについては、P.164「ダイヤル発信制限・PIMロック・ＩＣカードロックをワンタッチで設定する」を参照してください。

1 待受画面で[■][7][6]を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して[■]を押す。
● 詳細メニューから（設定）→[セキュリティ]→[ロック設定]の順に選択することもできます。

2 [5][まとめて簡単ロック設定]を押し、[**ON**]／[**OFF**]を選んで[■]を押す。

ボタン操作無効

サイドボタンの誤動作を防止する

FOMA端末を閉じているときにはサイドボタンを操作できないようにして、誤作動を防ぎます。

1 [P]（P）を１秒以上押す。
● ボタン操作無効が設定され、[ ]が表示されます。
● 解除するときは、もう一度[P]（P）を１秒以上押します。
● 電源を切ると、ボタン操作無効は解除されます。

発着信履歴表示

リダイヤルや着信履歴の表示を設定する

お買い上げ時 ON（表示する）

着信履歴とリダイヤルを表示しないように設定できます。

1 待受画面で[■][7][4]を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して[■]を押す。
● 詳細メニューから（設定）→[セキュリティ]→[発着信履歴表示]の順に選択することもできます。

2 発着信履歴表示の[**ON**]／[**OFF**]を選ぶ。

着信履歴を表示する	[1]→[1]
着信履歴を表示しない	[1]→[2]
リダイヤルを表示する	[2]→[1]
リダイヤルを表示しない	[2]→[2]

お知らせ

● 着信履歴表示を[OFF]に設定しているときは、伝言メモを再生できません。
● 発着信履歴表示を[OFF]に設定している間も、着信履歴、リダイヤルは記録されます。
[ON]に設定したときに、[OFF]に設定していた間の履歴も確認できます。
● リダイヤル表示を[OFF]に設定しているときは、着もじの送信メッセージ履歴（☞P.55）も表示されません。

メール履歴の表示を設定する<メール履歴表示>

お買い上げ時 ON(表示する)

メール送信履歴、メール受信履歴(☞P.250)を表示しないように設定できます。

1 待受画面で■75を押し、端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力して■を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[セキュリティ]→[メール履歴表示]の順に選択することもできます。

2 メール履歴表示の[ON]/[OFF]を選ぶ。

メール送信履歴を表示する	1→1
メール送信履歴を表示しない	1→2
メール受信履歴を表示する	2→1
メール受信履歴を表示しない	2→2

お知らせ

- メール履歴表示を[OFF]に設定している間も、**メール送信履歴**、**メール受信履歴**は記録されます。[ON]に設定したときに、[OFF]に設定していた間の履歴も確認できます。

シークレットモード

シークレット登録されている情報を表示する

お買い上げ時 OFF(解除)

シークレットモードを設定すると、電話帳、スケジュール、ToDoリストを表示したときに、通常のデータとシークレットデータとして登録したデータの両方が表示されます。

- シークレットモードを解除すると、通常の電話帳、スケジュール、ToDoリストだけが表示されます。
- 待受中に省電力モードでディスプレイの表示がOFFになったとき、または待受中にFOMA端末を閉じたとき、自動的にシークレットモードが解除されるように設定できます。
- 電源を切ると、シークレットモードは解除されます。
- シークレットデータの登録方法については、電話帳はP.124、スケジュールはP.360、ToDoリストはP.364を参照してください。

1 待受画面で■71を押し、端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力して■を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[セキュリティ]→[シークレットモード]の順に選択することもできます。

2 シークレットモードの[ON]/[OFF]を選ぶ。

設定する	自動解除しない	1→1
	自動解除する	1→2→■
解除する		2

- シークレットモードに設定すると、ディスプレイ上部に[🔑]が表示されます。

指定した電話番号からの電話だけを受ける

指定した相手からの電話だけをつながるようにできます。それ以外の電話番号からの電話(相手が電話番号を通知してこない場合も含む)はつながらなくなります。
電話帳指定着信許可を設定するには、登録されている電話帳から着信許可するすべての相手先電話番号をリストに登録し、そのあとで一括して設定します。

- 電話帳指定着信許可に設定している相手が発信者番号を通知してこなかった場合、電話はつながりませんので、番号通知お願いサービス(☞P.384)も併せて設定することをおすすめします。
- 電話帳指定着信拒否、電話帳登録外着信拒否、非通知設定着信拒否、公衆電話着信拒否、通知不可能着信拒否を設定しているときは、電話帳指定着信許可は設定できません。
- 着信許可以外の相手へは、話中音が流れます。このとき、ディスプレイに[着信あり]と表示され、着信履歴に名前または電話番号が記憶されます。
- 電話帳のPIMロック中は電話帳指定着信許可の設定は無効となるため、許可していない相手からの電話もつながります。
- SMSやｉモードメールは、この機能に関係なく受信されます。
- FOMAカード電話帳の電話番号は設定できません。FOMA端末(本体)電話帳に登録された電話番号のみ設定できます。

着信を許可する電話番号を登録する

電話帳指定着信許可の相手先電話番号は、最大20件まで登録できます。

1 待受画面で[■][7][3]を押し、端末暗証番号(４～８桁の数字)を入力して[■]を押す。

着信拒否／許可設定画面

- 詳細メニューから✕(設定)→[セキュリティ]→[着信拒否／許可設定]の順に選択することもできます。

2 [1][電話帳指定着信許可]を押す。

- [電話帳指定拒否を解除してください]と表示されたときは、電話帳指定着信拒否が設定されています。解除してからやり直してください。(☞P.169)
- [着信拒否設定を解除してください]と表示されたときは、電話帳登録外着信拒否、非通知設定着信拒否、公衆電話着信拒否、通知不可能着信拒否のいずれかの着信拒否が設定されています。解除してからやり直してください。

3 [3][リスト登録]を押す。

- すでに他の方を登録しているときは、名前が表示されます。
- [PIMロック中です]と表示されたときは、電話帳のPIMロックが設定されています。解除してからやり直してください。(☞P.162)

4 リストの番号を選んで[■]を押し、名前を選んで[■]を押す。

リスト登録画面

- 電話帳指定着信許可の相手先電話番号として、電話帳の電話番号と名前が登録されます。(☞P.118)
- 続けて、他の相手先電話番号を登録するときは、操作４をくり返します。
- 電話帳指定着信許可を利用するには、このあと、電話帳指定着信許可を設定します。(☞P.168)

次ページへ続く

お知らせ

● 電話帳指定着信許可のリストに登録した電話帳を修正・削除すると、登録した内容も修正・削除されます。ただし、電話帳指定着信許可に設定している場合は、電話帳を修正・削除（グループ内全件削除・全件削除は可能）できません。

関連操作

電話帳から登録する<着信許可リスト登録>
待受画面で[文字]▶名前を選ぶ▶[カメラ][3][3][1]▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶[■]▶リスト番号を選ぶ▶[■]

リストの電話番号を削除する<削除>
リスト登録画面で名前を選ぶ▶[■]▶[2]▶[はい]▶[■]
● 電話帳指定着信許可を設定したあと、リスト登録した電話帳をすべて削除すると設定は解除されます。

リストの電話番号を変更する<変更>
リスト登録画面で名前を選ぶ▶[■]▶[1]▶名前を選ぶ▶[■]

指定した番号からの着信を許可する

お買い上げ時
OFF

1 待受画面で[■][7][3]を押し、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力して[■]を押す。

● 詳細メニューから✕（設定）→[セキュリティ]→[着信拒否／許可設定]の順に選択することもできます。

2 [1][電話帳指定着信許可]を押し、[ON]／[OFF]を選ぶ。

設定する	[1] ● リスト登録をしていないときはリスト登録画面が表示されます。リスト登録が終わると電話帳指定着信許可が設定されます。
解除する	[2]

● [PIMロック中です]と表示されたときは、電話帳のPIMロックが設定されています。解除してからやり直してください。（☞P.162）

電話帳指定着信拒否

指定した電話番号からの電話を受けない

指定した相手からの電話をつながらないようにできます。それ以外の電話番号からの電話（相手が電話番号を通知してこない場合も含む）はつながります。
電話帳指定着信拒否を設定するには、登録されている電話帳から着信拒否するすべての相手先電話番号をリストに登録し、そのあとで一括して設定します。

● 電話帳指定着信拒否に設定している相手が発信者番号を通知してこなかった場合、電話はつながります。番号通知お願いサービス（☞P.384）や非通知理由別着信拒否も併せて設定することをおすすめします。
● 電話帳指定着信許可を設定しているとき、電話帳指定着信拒否は設定できません。
● 拒否した相手へは、話中音が流れます。このとき、ディスプレイに[着信あり]と表示され、着信履歴に名前が記憶されます。
● 電話帳のPIMロック中は電話帳指定着信拒否の設定は無効となるため、拒否している相手からの電話もつながります。
● SMSやｉモードメールは、この機能に関係なく受信されます。
● FOMAカード電話帳の電話番号は設定できません。FOMA端末（本体）電話帳に登録された電話番号のみを設定できます。

着信を拒否する電話番号を登録する

電話帳指定着信拒否の相手先電話番号は、最大20件まで登録できます。

1 待受画面で[■][7][3]を押し、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力して[■]を押す。

● 詳細メニューから✕（設定）→[セキュリティ]→[着信拒否／許可設定]の順に選択することもできます。

2 [2][電話帳指定着信拒否]を押す。

● [電話帳指定許可を解除してください]と表示されたときは、電話帳指定着信許可が設定されています。解除してからやり直してください。(☞P.168)

3 [3][リスト登録]を押す。

● すでに他の方を登録しているときは、名前が表示されます。
● [PIMロック中です]と表示されたときは、電話帳のPIMロックが設定されています。解除してからやり直してください。(☞P.162)

4 リストの番号を選んで[■]を押し、名前を選んで[■]を押す。

リスト登録画面

● 電話帳指定着信拒否の相手先電話番号として、電話帳の電話番号と名前が登録されます。(☞P.118)
● 続けて、他の相手先電話番号を登録するときは、操作4をくり返します。
● 電話帳指定着信拒否を利用するには、このあと、電話帳指定着信拒否を設定します。(☞P.169)

お知らせ

● 電話帳指定着信拒否のリストに登録した電話帳を修正・削除すると、登録した内容も修正・削除されます。ただし、電話帳指定着信拒否に設定している場合は、電話帳を修正・削除(グループ内全件削除・全件削除は可能)できません。
● 非通知理由別着信拒否については、P.170を参照してください。

電話帳から登録する<着信拒否リスト登録>
待受画面で[電話帳]▶名前を選ぶ▶[カメラ][3][3][2]▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶[■]▶リスト番号を選ぶ▶[■]

リストの電話番号を削除する<削除>
リスト登録画面で名前を選ぶ▶[■]▶[2]▶[はい]▶[■]
● 電話帳指定着信拒否を設定したあと、リスト登録した電話帳をすべて削除すると設定は解除されます。

リストの電話番号を変更する<変更>
リスト登録画面で名前を選ぶ▶[■]▶[1]▶名前を選ぶ▶[■]

指定した番号からの着信を拒否する

お買い上げ時
OFF

1 待受画面で[■][7][3]を押し、端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力して[■]を押す。

● 詳細メニューから[設定](設定)→[セキュリティ]→[着信拒否／許可設定]の順に選択することもできます。

2 [2][電話帳指定着信拒否]を押し、[ON]／[OFF]を選ぶ。

設定する	[1] ● リスト登録をしていないときはリスト登録画面が表示されます。リスト登録が終わると電話帳指定着信拒否が設定されます。
解除する	[2]

● [PIMロック中です]と表示されたときは、電話帳のPIMロックが設定されています。解除してからやり直してください。(☞P.162)

非通知理由別着信拒否

発信者番号のわからない電話を受けない

お買い上げ時
すべて許可

発信者番号が通知されない着信があった場合、電話番号が通知されない理由(非通知理由)が通知されます。非通知理由によって、電話を受けないように設定できます。

- 着信拒否として指定した非通知理由に該当する相手から電話がかかってきた場合、電話はつながらなくなります。それ以外の非通知理由の場合はつながります。着信拒否の相手へは、話中音が流れます。このとき、[着信あり]と表示され、着信履歴に非通知理由が記憶されます。
- 番号通知お願いサービス(☞P.384)も併せて設定することをおすすめします。
- 電話帳指定着信許可を設定しているときは、非通知理由別着信拒否は設定できません。
- SMSやｉモードメールは、この機能に関係なく受信されます。
- プッシュトークは、この機能の設定に従います。ただし、プッシュトークプラスからの発信はこの機能に関係なく受信します。
- 電話帳登録外着信を拒否に設定している場合は、この機能に関係なく発信者番号のわからない電話は拒否されます。

■ 非通知理由別の種類

非通知設定	発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合。
公衆電話	公衆電話などから発信した場合。
通知不可能	海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信した場合。(ただし、経由する電話会社などにより発信者番号が通知される場合もあります。)

1 待受画面で■ 7 3を押し、端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力して■を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[セキュリティ]→[着信拒否／許可設定]の順に選択することもできます。

2 非通知理由の種類を選び、[許可]／[拒否]を選ぶ。

非通知設定を設定する	4→1[許可]／2[拒否]
公衆電話を設定する	5→1[許可]／2[拒否]
通知不可能を設定する	6→1[許可]／2[拒否]

- [電話帳指定許可を解除してください]と表示されたときは、電話帳指定着信許可が設定されています。解除してからやり直してください。(☞P.168)

お知らせ

- 非通知理由別着信拒否と公共モード(ドライブモード)を同時に設定した場合、非通知理由別着信拒否が優先されます。

呼出動作開始時間設定

電話帳未登録の相手の着信音を無音にする

お買い上げ時
OFF

電話帳に登録されていない相手(相手が電話番号を通知してこない場合も含む)から電話がかかってきたとき、設定した秒数後に着信音が鳴るように設定できます。

- 迷惑電話を防ぐ対策の1つです。
- 呼出動作開始時間を設定した場合、呼出開始前に切れた電話を着信履歴に表示するかどうかも設定できます。

1 待受画面で■ 1 7を押し、1[ON]を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[音]→[呼出動作開始時間設定]の順に選択することもできます。

2 呼出動作開始時間（2桁：**01～99**秒）を入力して■を押す。

3 不在着信履歴表示を設定する。

着信履歴に表示する	1
着信履歴に表示しない	2 ● 着信履歴で📷▢2 1を押すとすべての履歴を確認できます。もう一度同じ操作をすると元の表示に戻ります。

お知らせ

- 伝言メモや留守番電話サービスを設定しているとき、呼出動作開始時間設定を優先させるためには、伝言メモや留守番電話サービスの呼出時間より短く設定してください。
- 電話帳のPIMロック中は、電話帳登録している相手からの電話でも呼出動作開始時間設定に従って動作します。
- 呼出動作開始時間設定と電話帳登録外着信拒否を同時に設定することはできません。
- 呼出動作開始時間設定と公共モード（ドライブモード）を同時に設定した場合は、公共モード（ドライブモード）が優先されます。
- 呼出動作開始時間設定とマナーモードを同時に設定した場合は、設定した時間が経過したあとにマナーモードの設定に従って動作します。
- 光るワンタッチキーに登録されている相手から着信（プッシュトークを除く）があった場合、電話帳登録していなくてもワンタッチキーが点滅します。
- 呼出動作開始時間設定は、プッシュトーク着信のときも呼出動作開始時間設定に従って動作します。ただし、プッシュトークプラスご利用時、ネットワーク上の電話帳からのプッシュトーク着信は呼出動作開始時間設定には従いません。

電話帳登録外着信拒否

電話帳未登録の相手からの電話を受けない

お買い上げ時
許可

電話帳に登録されていない相手からの電話がつながらないように設定します。

- 相手には、話中音が流れます。このとき、[着信あり]と表示され、着信履歴に記憶されます。
- 番号通知お願いサービス（☞P.384）も併せて設定することをおすすめします。
- 電話帳登録外着信を拒否に設定している場合は、公衆電話や非通知の相手からの着信はつながらなくなります。
- SMSやｉモードメールは、この機能に関係なく受信されます。
- プッシュトークは、この機能の設定に従います。ただし、プッシュトークプラスからの発信はこの機能に関係なく受信します。

1 待受画面で■7 3を押し、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力して■を押す。

- 詳細メニューから✕（設定）→[セキュリティ]→[着信拒否／許可設定]の順に選択することもできます。

2 3[電話帳登録外]を押し、[許可]／[拒否]を選ぶ。

許可する	1
拒否する	2

- [電話帳指定許可を解除してください]と表示されたときは、電話帳指定着信許可が設定されています。解除してからやり直してください。（☞P.168）
- [PIMロック中です]と表示されたときは、電話帳のPIMロックが設定されています。解除してからやり直してください。（☞P.162）
- [呼出動作開始時間設定を解除してください]と表示されたときは、呼出動作開始時間が設定されています。呼出動作開始時間を[OFF]に設定してからやり直してください。（☞P.170）

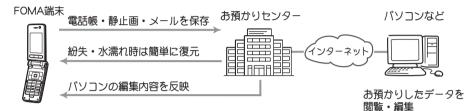
お知らせ

- 電話帳登録外着信拒否と公共モード（ドライブモード）を同時に設定した場合、電話帳登録外着信拒否が優先されます。

電話帳お預かりサービスを利用する

FOMA端末(本体)に保存されている電話帳やメール、静止画はお預かりセンターに保存できます。

電話帳お預かりサービスとは

電話帳お預かりサービスとは、お客様のFOMA端末に保存されている電話帳・静止画・メール(以下「保存データ」といいます。)を、ドコモのお預かりセンターに預けることができるサービスです。
万が一の紛失や水濡れなどで保存データが消失しても、ｉモードで操作することにより、お預かりセンターに預けている電話帳などのデータを新しいFOMA端末に復元させることができます。さらに、お預かりセンターに預けている保存データを簡単にパソコンからMy DoCoMoのページで編集したり、編集した保存データをFOMA端末内に保存させることができます。
※ 電話帳お預かりサービスのご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック(ｉモード＜FOMA＞編)』をご覧ください。

※ 電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです。(お申し込みにはｉモード契約が必要です。)
- FOMAカードの電話帳は保存できません。
- 圏外の場合はお預かりセンターと接続できません。
- 電話帳の保存方法についてはP.124、P.125、メールの保存方法についてはP.247、静止画の保存方法についてはP.308を参照してください。
- 電話帳お預かりサービスをご契約いただいていない場合は、その旨をお知らせする画面が表示されます。

お知らせ

- 電話帳の自動更新時に他機能を起動していた場合は自動更新されません。
- お預りセンターからFOMA端末に電話帳を保存中、FOMA端末の容量がいっぱいになり保存できなかった場合は、保存を終了し、メッセージが表示されます。

その他の「あんしん設定」について

FOMA端末を安心してお使いいただくため、次の設定や機能を利用することもできます。

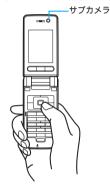
目　的	機能／サービス名称	参照先
大量に届くメールの中から、必要なメールのみを受信したい 。	メール選択受信	P.239
メールアドレスを変更したい。	アドレス変更	『ご利用ガイドブック(ｉモード＜FOMA＞編)』をご覧ください。
指定したドメインからのメールを受信／拒否したい。	迷惑メール対策(受信/拒否設定)	
ｉモードどうしのメールだけを受信／拒否したい。		
指定したアドレスからのメールを受信／拒否したい。		
SMSを受信したくない。	迷惑メール対策(SMS拒否設定)	
災害時にｉモードを利用して安否情報を登録／確認したい。	「ｉモード災害用伝言板」サービス	
FeliCaのＩＣカード機能を利用できないようにしたい。	ＩＣカードロック	P.290
特定の相手からの電話を着信しないように、電話番号を登録したい。	迷惑電話ストップサービス(ドコモのネットワークサービス)	P.383
FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかをチェックし、必要な場合はダウンロードしてソフトウェアを更新したい。	ソフトウェア更新	P.438
外部からFOMA端末にデータやプログラムを取り込む際に、問題を引き起こす可能性がないかどうかを調べたい。	スキャン機能	P.444
ユーザ証明書を利用して、SSLに対応したサイトに接続したい。(FirstPass対応のサイトに限ります。)	FirstPass(ドコモの電子認証サービス)	P.218

カメラ

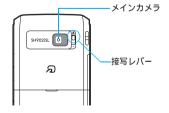
カメラをご利用になる前に

カメラのはたらき

FOMA端末はメインカメラ(外部)とサブカメラ(内部)の2つのカメラを搭載しています。カメラを利用すると、静止画や動画を撮影できます。また、テレビ電話時に、サブカメラを利用して自分側の映像を送信したり、メインカメラに切り替えてFOMA端末の外側の状況などを送信できます。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。(☞P.323)

- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 自分側を撮影するときはサブカメラを、他の人や風景を撮影するときは、メインカメラを利用すると便利です。

多彩な撮影方法について

- 画像の利用方法に応じた、画質・サイズの設定(☞P.182)
- 多彩な連続撮影(☞P.179)
- フレーム付き(☞P.183)や色合いやタッチを変えた撮影(☞P.184)
- 撮影した画像をメールに添付して送信(☞P.187)
- セルフタイマーで静止画撮影(☞P.183)

カメラのご使用について

- レンズ部に指紋や油脂などが付くとピントが合わなくなります。また、画像がぼやけたり、強い光源からすじを引くことなどがあります。撮影前に、柔らかい布で拭いてください。
- 充電中でも、電池残量が少ないと画像が暗くなったり、画像が乱れることがあります。充電中は撮影しないでください。
- FOMA端末を閉じるときなど、取り扱い時にはレンズ部に力がかからないように注意してください。故障の原因となります。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や線、暗く見える画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- FOMA端末を暖かい場所に長時間置いていたあとで撮影したり、保存したときは、画質が劣化することがあります。
- カメラのレンズに直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源をじかに撮影しようとすると、画像が暗くなったり画像が乱れることがありますので、ご注意ください。
- 太陽を直接撮影すると、CMOS(撮影素子)の性能を損なう場合がありますので、ご注意ください。
- 画質を最優先して撮影したいときには、[SUPER FINE]に設定して撮影してください。データ量は多くなりますが画質がよくなります。
  画質を優先すると保存枚数は減り、i モードメールに添付して送信する場合の送信時間が長くなったり、送信時に縮小されることがあります。用途に合わせて設定してください。(☞P.182)
- 静止画を連続撮影したり、動画を長時間撮影することによりFOMA端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- メインカメラを使用中に、メインカメラの周辺の温度が高くなると[ただいまカメラを利用できません]と表示され、カメラが終了します。
- 電池残量が少ないと、画像が暗くなったり、画像が乱れることがあります。
- 近距離(10cm前後)での撮影時には、接写レバーを🌷に合わせてください。近距離でも鮮明に撮影できます。

撮影時の留意事項

- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 撮影時は、カメラのレンズに指や髪、ストラップなどがかからないようにしてください。
- カメラ撮影中は電池の消費が早いため、撮影が終わったら☎を押してカメラモードを終了させることをおすすめします。
- 静止画撮影のプレビュー画面や動画の撮影中画面で、着信やアラームが動作すると、撮影が中止されてそれらの画面に切り替わります。そのあと、切り替わった画面を終了させるとカメラの画面に戻り、着信前に撮影したデータを保存できます。
- 静止画モード、動画モード起動時はボタン確認音は鳴りません。
- シャッター音の音量は変更できません。また、マナーモードや公共モード(ドライブモード)設定中や平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)接続中でも鳴ります。
- 撮影時にFOMA端末が動くと、画像がぶれる原因となります。なるべく動かないようにしっかりと固定して撮影してください。動画撮影時は手ぶれ補正撮影機能を使ってください。
- 撮影サイズを大きくすると情報量が多くなるため、FOMA端末に表示される画像の動きが遅くなることがあります。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

- 室内で撮影する場合、蛍光灯などの影響で画面がちらついたり、すじ状の濃淡が発生する場合があります。このときは、カメラ設定の「ちらつき防止」をお住まいの地域の電源周波数に設定してください。また、室内の照明条件や明るさを変更したり、カメラの明るさを調整することにより、画面のちらつきや濃淡を軽減できる場合があります。
- メインカメラからサブカメラに切り替えた直後は、明るさや色あいなどが最適に表示されるまでに時間がかかることがあります。
- セルフタイマー動作中に、着信やアラームが動作すると、セルフタイマーは中止されます。

著作権・肖像権について

- お客様がFOMA端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。
  なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。
- 著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用になれませんので、ご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

撮影サイズについて

FOMA SH902iSLで撮影（保存）できる静止画と動画の撮影サイズ（画像サイズ）は次のとおりです。

※ 本書でのサイズ名：サイズ表記はすべて横×縦です。

サイズ	静止画	動画	説明
アイコン：76×76	○	−	FOMA SH902iSLのアイコンと同じサイズです。メニューアイコンに設定する静止画を撮影するときなどに便利です。
sQCIF：128×96	○	○	QCIFよりひと回り小さいサイズで、メール添付などに適したサイズです。
QCIF：176×144	○	○	テレビ電話の親画面のサイズです。代替画像用の静止画を撮影するときなどに便利です。お買い上げ時、動画撮影サイズとサブカメラ静止画撮影サイズは「QCIF：176×144」に設定されています。
hQVGA：240×176	−	○	パソコンでの再生に適したサイズです。
待受：240×320	○	−	FOMA SH902iSLのディスプレイと同じサイズです。待受画面に設定する静止画を撮影するときなどに便利です。iモード端末に送信するのに適したサイズです。お買い上げ時、メインカメラ静止画撮影サイズは「待受：240×320」に設定されています。
QVGA：320×240	−	○	FOMA SH902iSLで動画撮影できる最も大きなサイズです。パソコンでの再生に適したサイズです。
CIF：352×288	○	−	パソコンでの表示に適したサイズです。
VGA：480×640※	○	−	パソコンでの表示に適したサイズです。
1.2M：960×1280※	○	−	パソコンでの表示やプリントに適したサイズです。

※ サブカメラ撮影時は、設定できません。

撮影／保存できる目安

静止画モード

- 撮影枚数は、同じ撮影サイズ、画質で撮影して、FOMA SH902iSLに保存したときの目安です。FOMA SH902iSLに他の画像やｉアプリのソフトなどが保存されている場合、撮影できる静止画枚数は少なくなります。また、撮影環境や被写体などの条件により、撮影できる静止画枚数が少なくなることがあります。
  FOMA SH902iSLへの各画質別の撮影枚数の目安は、次のとおりです。32MバイトのminiSDメモリーカードへの各画質別の撮影枚数の目安については、P.448を参照してください。

	ECONOMY	NORMAL	SUPER FINE
アイコン：76×76	−	約590枚	−
sQCIF：128×96	約1000枚	約520枚	約360枚
QCIF：176×144	約670枚	約360枚	約230枚
待受：240×320	約470枚	約250枚	約90枚
CIF：352×288	約380枚	約210枚	約90枚
VGA：480×640	約210枚	約120枚	約90枚
1.2M：960×1280	約60枚	約30枚	約20枚

お知らせ

- 静止画の撮影サイズの設定方法については、P.182を参照してください。
- パソコンをお持ちの場合、FOMA端末（本体）に保存した静止画はminiSDメモリーカードを利用してパソコンに転送し、保存できます。

タイトルについて

- 撮影（保存）した静止画には、自動的に撮影日時をもとにしたタイトル名が付けられます。
  例：2006年8月22日午後１時５分７秒に撮影した場合→［060822_130507］
- 連続撮影を行った場合、末尾に連番（［_01］、［_02］…）が付きます。データBOXに保存されると、画像一覧画面でのタイトル表示で、半角14文字を超える場合12文字目以降が「…」の表示となり末尾の連番は表示されません。タイトルは、［情報表示］のファイル名で確認することができます。（☞P.333）
- タイトルの編集については、P.332を参照してください。

動画モード

- 撮影時間は、FOMA SH902iSLに保存するときに１回に撮影できる目安です。FOMA SH902iSLに他の画像やｉアプリのソフトなどが保存されている場合、撮影できる時間や件数は少なくなります。また、撮影環境や被写体などの条件により、撮影できる時間が少なくなることがあります。
  FOMA SH902iSLへの各画質別の撮影時間の目安は、次のとおりです（映像＋音声の場合）。32MバイトのminiSDメモリーカードへの各画質別の撮影時間の目安については、P.448を参照してください。

次ページへ続く

		ECONOMY	NORMAL	FINE	SUPER FINE
sQCIF:128×96	メール用(短)	約90秒	約61秒	約30秒	−
	メール用(長)	約152秒	約103秒	約51秒	−
	制限なし	約249秒	約169秒	約83秒	−
QCIF:176×144	メール用(短)	約77秒	約45秒	約16秒	約11秒
	メール用(長)	約131秒	約77秒	約28秒	約19秒
	制限なし	約215秒	約126秒	約45秒	約31秒

※ 制限を[制限なし]に設定してFOMA SH902iSLに保存する場合は、800Kバイトにファイルサイズが制限されます。

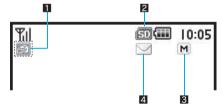
お知らせ

- 動画の撮影サイズの設定方法については、P.182を参照してください。
- パソコンをお持ちの場合、FOMA端末(本体)に保存した動画はminiSDメモリーカードを利用してパソコンに転送し、保存できます。

撮影画面の見かた

カメラモードでは、ディスプレイに次のマークが表示されます。

- 撮影サイズが待受:240×320、VGA:480×640、1.2M:960×1280の場合、全画面表示にするとマークは表示されません。

ディスプレイ上部に表示されるマーク(全モード共通)

1 モード表示(☞P.181)

カメラモードを表示します。

：静止画モード

：動画モード

：文字読み取りモード

：バーコードリーダーモード

2 miniSDメモリーカード表示

miniSDメモリーカードが挿入されているときに表示されます。

(グレー)：FOMA端末(本体)へ保存

(ピンク)：miniSDメモリーカードへ保存

3 メモリ警告表示

メモリの空きがないときに表示します。

表示は目安です。マークが表示されていても保存できることがあります。

(黄色)：メモリの空き容量が1.2Mバイト未満になったときに表示

(赤色)：メモリの空き容量が100Kバイト未満になったときに表示

4 メール着信表示

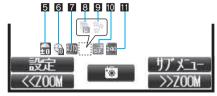
メール着信を表示します。

：ｉモードメールが着信

：SMSが着信

：ｉモードメールおよびSMSが着信

ディスプレイ下部に表示されるマーク

静止画モード

動画モード

文字読み取りモード

バーコードリーダーモード

5 画像の明るさ表示(☞P.181)

画像の明るさを表示します。

暗い←　標準　→明るい

6 セルフタイマー表示(☞P.183)

セルフタイマーの設定状態を表示します。

：2秒　：5秒　：10秒

7 シーン別撮影表示(☞P.185)

シーン別撮影の設定状態を表示します。

：オート　：スポーツ

：文字　：夜景

8 連続撮影表示(☞P.179)

連続撮影の設定状態を表示します。

：標準(25枚用)

：標準(9枚用)

：オーバーラップ

～：連写枚数共通(2～25枚)

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

9 静止画エフェクト撮影表示（☞P.184）
エフェクトの設定状態を表示します。

- ：モノクロ
- ：セピア
- ：きらきら
- ：色えんぴつ
- ：円ソフトフレーム
- ：波紋
- ：万華鏡（大）
- ：万華鏡（小）
- ：魚眼

10 画質表示（☞P.182）
画質の設定状態を表示します。

- ：ECONOMY
- ：NORMAL
- ：FINE（動画モードのみ）
- ：SUPER FINE

11 静止画撮影サイズ表示（☞P.182）
撮影サイズの設定状態を表示します。

- 76：アイコン：76×76
- 128：sQCIF：128×96
- 176：QCIF：176×144
- 240：待受：240×320
- 352：CIF：352×288
- 480：VGA：480×640
- 960：1.2M：960×1280

12 動画エフェクト撮影表示（☞P.184）
エフェクトの設定状態を表示します。

- ：モノクロ
- ：セピア
- ：きらきら
- ：色えんぴつ
- ：残像
- ：波紋
- ：万華鏡（大）
- ：万華鏡（小）
- ：魚眼

13 動画撮影サイズ表示（☞P.182）
撮影サイズの設定状態を表示します。

- 128：sQCIF：128×96
- 176：QCIF：176×144
- 240：hQVGA：240×176
- 320：QVGA：320×240

14 動画ファイルサイズ制限表示（☞P.183）
ファイルサイズ制限の設定状態を表示します。

- ：290Kバイト[メール用(短)]
- ：490Kバイト[メール用(長)]

15 手ぶれ補正撮影表示（☞P.184）
手ぶれ補正の設定状態を表示します。

- ：手ぶれ補正[ON]

16 映像・音声切替表示（☞P.183）
動画の種類別を表示します。

- ：映像のみ
- ：音声のみ
- ：映像＋音声

17 反転モード表示（☞P.190）
反転モードの状態を表示します。

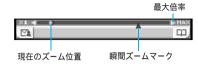
- AUTO：[自動]のときに表示
- ：[通常文字]のときに表示
- ：[反転文字]のときに表示

18 QRコード連結番号表示（☞P.189）
1～16：分割されたデータを読み取るときに、何枚目を読み取っているかを表示

■ ズーム利用時（静止画モード、動画モード）
静止画モードでを押すと下の画面が表示され、ズームを調整できます。動画モードの場合はすでに表示されています。（☞P.181）

静止画モード

動画モード

■ 一括設定変更時
撮影画面で[設定]を押すと下の画面が表示され、現在の設定内容を確認しながら変更することができます。（☞P.185）

カメラを起動する／終了する

1 待受画面でを押す。

- 撮影ランプが1回点滅して、静止画撮影画面が表示されます。カメラからの画像がディスプレイに表示されます。
- 終了するときはまたはを押します。

■ 動画モードを起動するとき

1 静止画撮影画面で[動画]を押す。

- 撮影ランプが1回点滅して、動画撮影画面が表示されます。カメラからの画像がディスプレイに表示されます。
- 終了するときはまたはを押します。

次ページへ続く

お知らせ

お好みのカメラモードで起動するには

- 詳細メニューから📷(カメラ)→カメラモードを選択します。

静止画撮影

動画撮影

文字読み取り

バーコードリーダー

- カメラを起動したあと、カメラモードを切り替えるとき：☞P.181

■ ショートカットキーについて

各モードでよく使う操作は以下のボタンに割り当てられ、ワンタッチで操作可能です。

- 静止画や動画の撮影、文字読み取り、バーコードリーダーは、カメラモードを切り替えて操作します。

ボタン	静止画モード	動画モード	文字読み取りモード	バーコードリーダーモード
→	ズームアップ		—	—
←	ズームダウン		—	—
文字	瞬間ズームアップ		—	—
メール	瞬間ズームダウン		—	—
i	一括設定変更		—	—
↑	明るさアップ			
↓	明るさダウン			
#	カメラ切替		—	—
*	本体⇔miniSD切替		—	—
1	カメラモード切替			
2	データBOX表示		読み取り対象選択	保存データ
3	セルフタイマー	サイズ選択	反転モード切替	—
4	サイズ選択	画質	—	—
5	画質	手ぶれ補正	—	—
6	シーン別撮影	—	—	—
0	操作ガイド		—	—

■ 操作ガイドについて

撮影時に操作ガイドブックを呼び出して、操作方法を調べることができます。

1 静止画撮影画面または動画撮影画面で📷を押し、[操作ガイド]を選んで■を押す。

静止画撮影

静止画を撮影する

FOMA端末で静止画を撮影します。

- 撮影した静止画はデータBOXのマイピクチャの[カメラ撮影]フォルダか、miniSDメモリーカード(☞P.186)に保存されます。(静止画の保存には時間がかかる場合があります。)

1 カメラを起動する。(☞**P.177**)

- ズームを利用したり、メニュー画面を表示できます。(☞P.181)

2 ■[📷]を押す。

- シャッター音が鳴り、撮影ランプが1回点滅し、撮影した静止画を確認するためのプレビュー画面が表示されます。
- シャッター音は、マナーモードや公共モード(ドライブモード)設定中、平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)接続中でも鳴ります。
- シャッター音は、変更できます。(☞P.186)
- シャッター音の音量は変更できません。
- 自動保存モードが[ON]に設定されているときは、撮影した静止画が自動的に保存されます。(プレビュー画面は表示されません。)(☞P.186)

3 保存する。

保存する		■
サブカメラで撮影したとき	正像(見たとおりの向き)で保存する	■ ● ディスプレイには鏡像(左右逆向き)で表示されますが、正像(見たとおりの向き)で保存されます。
	正像を確認してから保存する	📷 4 →■
	鏡像(左右逆向き)で保存する	📷 5 ● フレームを設定して撮影した場合は(☞P.183)、鏡像のまま保存することはできません。
保存先を変更する		i ● 保存先をFOMA端末(本体)またはminiSDメモリーカードに切り替えます。
撮影した静止画を削除して撮影し直す		CLR
iモードメールで送信する(☞P.187)		メール

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

撮影した画像を編集／利用する	[カメラキー] ● 撮影した静止画を利用して、画像編集（☞P.304～P.308）、プチエステ（☞P.308）、画面設定（☞P.303）や全画面表示切替（☞P.186）ができます。
カメラモードを終了する	[終話キー]

● FOMA端末（本体）のメモリの空き容量がない場合は、不要なファイルを選択削除し、メモリの空き容量を増やして保存できます。（☞P.335）
● miniSDメモリーカードのメモリの空き容量がない場合は、保存先をminiSDメモリーカードに設定しても、自動的に保存先がFOMA端末（本体）内の、データBOXのマイピクチャの［カメラ撮影］フォルダに切り替わります。

自分を撮影するとき

サブカメラで自分を撮影することができます。

1 静止画撮影画面（☞P.178）で[#]を押す。
● サブカメラに切り替わります。
● 静止画撮影画面で[カメラ][6][1]を押しても切り替えできます。

2 カメラを自分に向け、[■]［📷］を押す。
● 撮影については、P.178「静止画を撮影する」の操作2を参照してください。

3 [■]［保存］を押す。
● 保存については、P.178「静止画を撮影する」の操作3を参照してください。

お知らせ

● 撮影前のファインダーが表示されている状態でFOMA端末を閉じると、カメラモードが終了します。
静止画保存中に着信があると
● 着信画面が表示され、電話に出ることができます。撮影した静止画は保持されます。
自動終了について
● カメラモードで、撮影前のファインダーが表示されている状態で約2分間何も操作しないと、カメラモードが自動的に終了し待受画面に戻ります。未保存の静止画がある場合、または、サブメニューや一括設定変更画面を表示している場合、カメラモードは終了しません。

連続撮影する<連続撮影>

複数の静止画を連続して撮影できます。連続撮影の方法は2種類あります。
連続撮影できる撮影サイズは次のとおりです。

	標準連続撮影	オーバーラップ	フレーム撮影との組み合わせ
アイコン：76×76	○	×	×
sQCIF：128×96	○	○	○
QCIF：176×144	○	○	○
待受：240×320	○	○	○

● サブカメラでのオーバーラップ連続撮影はできません。
● 「CIF：352×288」、「VGA：480×640」、「1.2M：960×1280」は連続撮影できません。

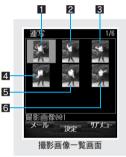
標準連続撮影

約0.1秒間隔で、静止画を連続して自動的に撮影します。
● 最大連続撮影枚数は撮影サイズにより異なります。

	アイコン：76×76	sQCIF：128×96	QCIF：176×144	待受：240×320
最大連続撮影枚数	25枚	25枚	25枚	9枚

オーバーラップ連続撮影

5枚の静止画を約0.1秒間隔で撮影し、5枚を合成した6枚目画像を自動的に作成します。
● オーバーラップ連続撮影中にカメラを動かすと正しく撮影できません。両手でFOMA端末をしっかり持って手ぶれがおきないように撮影してください。
● 撮影後は、5枚を重ね合わせた画像が1枚目に、重ねる前の画像が2～6枚目に表示されます。

撮影画像一覧画面

1 合成画像

1 合成画像（1枚目から5枚目の合成）
2 1枚目の静止画
3 2枚目の静止画
4 3枚目の静止画
5 4枚目の静止画
6 5枚目の静止画

連続撮影をする

● 撮影サイズによっては、［連続撮影］や［オーバーラップ］が選択できなかったり、連続撮影最大枚数が限られるものもあります。

1 静止画撮影画面（☞P.178）で[カメラ][4][3]［連続撮影］を押し、連続撮影の種類を選ぶ。

標準	[1]
オーバーラップ	[2]
OFF（連続撮影を解除する）	[3]

2 [■]［📷］を押す。
● 1枚目が撮影され、以降自動的に撮影されます。最後の撮影時に撮影ランプが1回点滅します。
● 全枚数撮影すると、撮影画像一覧画面が表示されます。
● 撮影中に中断するときは、[カメラ]を押します。それまで撮影した画像が表示されます。[カメラ][1]［全件保存］または[カメラ][3]［1件保存］を押すと画像が保存できます。（オーバーラップ撮影時は、中断される前に撮影した画像は保存できません。ファインダーが表示されている状態に戻ります。）

次ページへ続く

3 保存する。

撮影した静止画をすべて保存する	[カメラ][1]
撮影した静止画の中から1件選んで保存する	静止画を選ぶ→[カメラ][3] ● 他の静止画を追加保存するときは、静止画を選んで[■]を押し、[■]を押します。
連続撮影した画像を連結保存して1枚の画像として保存する	[カメラ][5] ● 画像連結保存すると、1枚ずつ保存できません。
撮影した静止画をすべて削除する	[カメラ][2]
選択している静止画を一覧から削除する	静止画を選ぶ→[カメラ][4] ● 静止画を確認してから削除するときは、静止画を選んで[■]を押し、[カメラ]を押します。
iモードメールで送信する（☞P.187）	静止画を選ぶ→[i] ● 静止画を確認してからiモードメールで送信するときは、静止画を選んで[■]を押し、[メール]を押します。

- 自動保存モード（☞P.186）が[ON]のときは、自動的に一括保存されます。
- 連続撮影した静止画の保存と削除が終わると、静止画撮影画面に戻ります。

お知らせ

- 連続撮影を設定しているときに、**撮影サイズ**を変更したり、**エフェクト撮影**を設定したり、サブカメラに切り替えると、連続撮影は解除されます。
- **カメラ設定保持**が[ON]に設定されているときでも、カメラモードを終了すると、連続撮影は解除されます。

連続撮影時のご注意
- 連続撮影中は、[左右]による**ズーム**の利用や、[上下]による**明るさを調整**できません。
- 連続撮影中に着信やアラームが動作すると、撮影中の静止画は保持され、連続撮影は中止されます。オーバーラップ連続撮影時は、撮影中の静止画が保持されません。
- 画像連結保存は「QCIF：176×144」サイズの場合のみ保存できます。また、画像連結保存したあとは静止画撮影画面に戻り、個々の撮影画像の保存はできません。画像連結保存中に着信やアラームが動作すると、連結保存画像が保存されない場合があります。
- 連続撮影中あるいは**セルフタイマー**カウントダウン中にFOMA端末を閉じたり、[電源]を押すと、撮影を中止してカメラモードを終了します。

動画撮影

動画を撮影する

FOMA端末で動画を撮影（録画）します。
- 撮影した動画はデータBOXのｉモーションの[カメラ撮影]フォルダか、miniSDメモリーカード（☞P.186）に保存されます。
- 電池残量が少ない場合は撮影できません。電池残量を確かめてから操作してください。
- FOMA端末で撮影した「sQCIF：128×96」、「QCIF：176×144」サイズの動画（Mobile MP4）は、メール送信できます。（☞P.176、P.183）
- 撮影した動画を着モーション（☞P.195）に使用する場合は、FOMA端末（本体）に保存してください。

1 動画モードを起動（☞**P.177**）する。

- メインカメラとサブカメラを切り替えるときは、[#]または[カメラ][5][1]を押します。

2 [■][録画]を押す。

- カメラ撮影開始音が鳴り、撮影が開始されます。（ただし、撮影されるまでに時間がかかることがあります。）
- カメラ撮影開始音は、マナーモードや公共モード（ドライブモード）設定中、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続中でも鳴ります。
- カメラ撮影開始音の音量は変更できません。
- 撮影を開始すると、撮影ランプが自動的に点灯します。撮影を終了すると、自動的に消灯します。（撮影中は消灯できません。）

3 撮影を止めるときは、[■]を押す。

- カメラ撮影終了音が鳴ります。
- 動画撮影確認メニュー画面が表示されます。
- 残時間表示が[00:00:00]になったとき（撮影中にファイルサイズが制限に達したときや、miniSDメモリーカードの空き容量がなくなったとき）は、自動的に撮影が停止し、操作4に進みます。

4 保存する。

保存する	[1]
撮影した動画を再生する	[3]
撮影した動画を取り消す	[4]→[はい]→[■]
ｉモーションメールで送信する（☞P.187）	[2] ● 対応していないファイルサイズの動画／ｉモーションは送信できません。（☞P.183）
カメラモードを終了する	[電源]

- miniSDメモリーカードに空き容量がない場合、保存先をminiSDメモリーカードに設定して撮影を開始すると[録画処理に失敗しました]と表示され、カメラモードは終了し待受画面に戻ります。
- FOMA端末（本体）に保存するときに、メモリの空き容量がない場合は、不要なファイルを選択削除し、メモリの空き容量を増やして保存できます。（☞P.335）

お知らせ

- 撮影残時間表示は目安であり、撮影対象により、00:00:00より以前に撮影が自動的に停止する場合もあります。
- 撮影中にFOMA端末を閉じると撮影が自動的に停止し、動画撮影確認メニュー画面が表示されます。撮影開始から1秒未満の場合は、撮影を停止し、カメラモードを終了します。ただし、映像・音声切替が[音声のみ]の場合は録音を継続し、サブディスプレイに[ボイス録音中]と表示されます。
- 動画撮影中にボタン操作を行うと、操作音が録音される場合がありますので、ご注意ください。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.323）

お知らせ

撮影中や動画撮影確認メニュー画面表示中に着信があると

- 着信画面が表示され、電話に出ることができます。通話終了後、動画撮影確認メニュー画面が表示されます。1[保存]を押すと動画が保存され、動画撮影画面に戻ります。4[取消]を押すと動画が削除され、動画撮影画面に戻ります。
- 撮影中に着信を受けたくないときは、セルフモードに設定することをおすすめします。

自動終了について

- 動画撮影画面で、約２分間何も操作しないと、カメラモードが自動的に終了し、待受画面に戻ります。

撮影時の設定を変える

接写モードにする

近距離（10cm前後）の撮影や、文字読み取り（☞P.190）やバーコードリーダー（☞P.188）を利用するときは、接写モードにしてください。

接写レバーを🌷に合わせる。

- 通常モード撮影にするときは、接写レバーを元の位置に戻します。

カメラを切り替える<カメラモード切替>

静止画、動画、文字読み取り、バーコードリーダーの各モードを切り替えます。

- ［電池がありません　保存していないデータは失われます　動作中の機能は終了します］と表示されたときに充電を開始してすぐカメラモードを切り替えようとすると［電池残量が足りません］と表示され、カメラモードを起動できません。

1 撮影画面で📷1［カメラモード切替］を押し、カメラモードを選ぶ。

静止画モード	1
動画モード	2
文字読み取りモード	3
バーコードリーダーモード	4

明るさを設定する<明るさ調整>

明るさを５段階で調整できます。

お買い上げ時設定（明るさ０）

1 静止画撮影画面（☞P.178）または動画撮影画面（☞P.178）で□（明るくなる）／□（暗くなる）を押して調整する。

- バーコードリーダー（☞P.188）、文字読み取り（☞P.190）でも□で明るさを調整できます。
- ディスプレイのマークで確認できます。（☞P.176）
- カメラモードを終了すると、［□］（標準）に戻ります。
- サブカメラも同様の方法で調整できます。

デジタルズームを利用する<ズーム切替>

1 静止画撮影画面（☞P.178）で□または□を押し、ズームを切り替える。

- ズームバーが表示されます。
- 動画撮影画面（☞P.178）の場合は、すでにズームバーが表示されています。

ズームアップ（被写体が大きくなる）する	□
ズームダウン（被写体が小さくなる）する	□
徐々にズームアップする	□（押し続ける）
徐々にズームダウンする	□（押し続ける）
瞬間ズームアップする	□ ● 瞬間ズームマーク位置になります。静止画の場合は、さらに□や□を押すと２倍に拡大されますが、画像は少し粗くなります。
等倍（元の大きさ）に戻す	□

- ズームできる範囲（倍率）は撮影サイズによって異なります。

カメラモード	撮影サイズ		ズームの段階（最大倍率）	
	メインカメラ	サブカメラ	メインカメラ	サブカメラ
静止画	アイコン：76×76		27段階（約25倍）	３段階（約４倍）
	sQCIF：128×96		22段階（約15倍）	
	QCIF：176×144		19段階（約11倍）	
	待受：240×320		16段階（約８倍）	－
	CIF：352×288		12段階（約５倍）	－
	VGA：480×640	－	９段階（約４倍）	－
	1.2M：960×1280	－	２段階（約２倍）	－
動画	sQCIF：128×96		21段階（約７倍）※	２段階（約２倍）
	QCIF：176×144		18段階（約５倍）※	
	hQVGA：240×176		15段階（約４倍）※	－
	QVGA：320×240		12段階（約３倍）※	－

※ 手ぶれ補正が［OFF］の場合

- 撮影サイズ変更、メイン／サブカメラ切替、手ぶれ補正の設定変更、映像・音声切替を行ったり、カメラモードを終了すると、等倍に戻ります。

次ページへ続く

お知らせ

撮影時のご注意
- 手ぶれに注意してください。撮影サイズが大きくなったり、撮影画質が高画質になるほど、手ぶれしやすくなります。撮影するときにFOMA端末が動くと、画像がぶれる原因となります。FOMA端末が動かないようしっかり持って撮影してください。動画撮影時は手ぶれ補正撮影機能を使ってください。(☞P.184)

メインカメラとサブカメラを切り替える＜カメラ切替＞

1 静止画撮影画面(☞**P.178**)で📷61[カメラ切替]を押す。
- 動画撮影画面(☞P.178)のときは、📷51を押します。
- #を押して、切り替えることもできます。

お知らせ

- **ボイスレコーダー**として起動、または**映像・音声切替**が[音声のみ]の場合は切り替えできません。

メインカメラ
- 他の人や動物、風景などを撮影するときに使うと便利です。また、**文字読み取り**(OCR)や**バーコードリーダー**を利用するときに使います。ディスプレイには、正像(見たとおりの向き)で表示されます。(表示どおり撮影されます。)

サブカメラ
- 自分を撮影するときに使うと便利です。ディスプレイには鏡像(左右逆向き)で表示されます。(ディスプレイ表示とは左右が逆に撮影されます。)

撮影サイズを設定する＜サイズ選択＞

静止画や動画の撮影サイズを設定できます。
- 静止画の場合は、メインカメラとサブカメラについてそれぞれ設定できます。
- 各サイズについては、P.175を参照してください。

お買い上げ時設定(静止画:メインカメラ「待受:240×320」、サブカメラ「QCIF:176×144」、動画:「QCIF:176×144」)

1 静止画撮影画面(☞**P.178**)で📷5[サイズ選択]を押し、サイズを選ぶ。
- 動画撮影画面(☞P.178)のときは、📷4を押します。

静止画撮影	
アイコン(76×76)	1
sQCIF(128×96)	2
QCIF(176×144)	3
待受(240×320)	4
CIF(352×288)	5
VGA(480×640)	6
1.2M(960×1280)	7
動画撮影	
sQCIF(128×96)	1
QCIF(176×144)	2
hQVGA(240×176)	3
QVGA(320×240)	4

- 設定したサイズに応じたマークが表示されます。(☞P.177)

お知らせ

- 静止画撮影の場合、撮影サイズを変更すると、**フレーム撮影**、**エフェクト撮影**、**連続撮影**の設定は[OFF]になります。
- **カメラ設定保持**が[OFF]の場合、カメラモードを終了すると、サイズ選択の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。カメラ設定保持が[ON]の場合、ここで設定した内容が保持されます。
- 画像をｉモードメールに添付して送信する場合、サイズ選択や**画質**により通信料金は異なります。
- ボイスレコーダーとして起動(☞P.339)、または**映像・音声切替**が[音声のみ]の場合、撮影サイズを選択できません。
- サブカメラ撮影時は、サイズ選択を「VGA:480×640」、「1.2M:960×1280」に設定できません。
- サイズ選択を「アイコン:76×76」にすると、画質は[NORMAL]に設定されます。
- 動画撮影時、保存先がFOMA端末(本体)に設定されている場合、「hQVGA:240×176」「QVGA:320×240」に設定できません。

画質を設定する＜画質＞

静止画や動画の画質を設定できます。
静止画には、[ECONOMY]、[NORMAL]、[SUPER FINE]を設定できます。動画には、[ECONOMY]、[NORMAL]、[FINE]、[SUPER FINE]を設定できます。
[ECONOMY]→[NORMAL]→[FINE]…の順に画質がきれいになりますが、データ量が多くなり登録できる枚数、撮影できる時間は少なくなります。
- 各画質の撮影枚数、撮影時間の目安については、P.175、P.448を参照してください。

お買い上げ時設定(静止画:NORMAL　動画:NORMAL)

1 静止画撮影画面(☞**P.178**)で📷41[画質]を押し、画質を選ぶ。
- 動画撮影画面(☞P.178)のときは、📷31を押します。

静止画撮影		動画撮影	
ECONOMY	1	ECONOMY	1
NORMAL	2	NORMAL	2
SUPER FINE	3	FINE	3
		SUPER FINE	4

- 設定した画質に応じてマークが表示されます。(☞P.177)

お知らせ

- 画質を優先して撮影したいときは、[FINE]または[SUPER FINE]に設定してください。
- 「待受:240×320」より大きいサイズの画像をｉモードメール送信する場合、「待受:240×320」以下に縮小できます。また、撮影した静止画のファイルサイズが500Kバイトを超える場合、500Kバイト以下になるように圧縮されます。
- 撮影サイズが「アイコン:76×76」の場合、画質を選択できません。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

お知らせ

- ボイスレコーダーとして起動、または映像・音声切替が[音声のみ]の場合、画質を選択できません。
- 動画モードの場合、エフェクト撮影を設定しているときは画質を選択できません。

ファイルサイズ制限を設定する
<ファイルサイズ制限>

動画を撮影する前に、保存するファイルサイズを制限しておくことができます。
- iモーションメールで送信する場合は、[メール用(短)]、[メール用(長)]を選択してください。メール添付可能なサイズで撮影できます。
- 保存先がFOMA端末(本体)に設定されている場合、[制限なし]に設定するとファイルサイズは800Kバイトに制限されます。

お買い上げ時設定(メール用(短))

1 動画撮影画面(☞P.178)で[カメラ][3][3][ファイルサイズ制限]を押し、ファイルサイズを選ぶ。

290Kバイトに制限する	[1][メール用(短)]
490Kバイトに制限する	[2][メール用(長)]
制限しない	[3]

お知らせ

- 撮影サイズが「hQVGA:240×176」または「QVGA:320×240」の場合、[メール用(短)]、[メール用(長)]に設定できません。また、保存先をFOMA端末(本体)に設定できません。
- 撮影サイズが「sQCIF:128×96」または「QCIF:176×144」で、ファイルサイズ制限が[制限なし]に設定されている場合、撮影直後にメール送信を実行すると、先頭から約500Kバイト以内のデータを切り出して送信します。
- 保存先をminiSDメモリーカードに設定し、ファイルサイズ制限を[制限なし]に設定した場合、撮影時間は最長約1時間になります。(映像・音声切替が[音声のみ]の場合を除く)

セルフタイマーを使って撮影する
<セルフタイマー>

セルフタイマーを使って撮影できます。自分も入った画像を撮影するときなどに便利です。

お買い上げ時設定(OFF)

1 静止画撮影画面(☞P.178)で[カメラ][4][7][セルフタイマー]を押し、セルフタイマーを設定する。

2秒に設定する	[1]
5秒に設定する	[2]
10秒に設定する	[3]
解除する	[4]

- [2]、[5]または[10]が表示されます。

2 [●]を押す。

- タイマー音が鳴り、セルフタイマーが動作します。設定した時間(約2秒/約5秒/約10秒)が経過すると、撮影開始音が鳴り、自動的に撮影されます。([2]、[5]または[10]と撮影ランプが点滅)
- 撮影を中止するときは、[CLR]を押します。このとき、セルフタイマーは設定されたままです。
- 撮影後もセルフタイマーは解除されません。

お知らせ

- カメラモードを終了すると、セルフタイマーが解除されます。カメラ設定保持が[ON]に設定されていても、同様です。

セルフタイマー動作中のご注意
- [●]を押すと、その時点で撮影されます。
- 着信やアラームが動作すると、撮影は中止されます。
- セルフタイマー動作中は、[◀▶]によるズームの利用や、[▲▼]による明るさの調整はできません。
- メインカメラとサブカメラを切り替えると、セルフタイマーは解除されます。
- [CLR]を押すと、セルフタイマーは中断されますが、設定は保持されます。
- FOMA端末を閉じたり、[終話]を押すと、撮影を中断してカメラモードを終了します。

映像と音声の組み合わせを設定する
<映像・音声切替>

動画撮影の種類を[映像+音声]、[映像のみ]、[音声のみ]に設定できます。

お買い上げ時設定(映像+音声)

1 動画撮影画面(☞P.178)で[カメラ][3][4][映像・音声切替]を押し、映像と音声の組み合わせを選ぶ。

映像+音声を撮影する	[1]
映像のみを撮影する	[2]
音声のみを録音する	[3]

フレームを重ねて撮影する
<フレーム撮影>

撮影する静止画にフレームを設定し、フレーム付きで撮影できます。
- FOMA端末にはあらかじめフレームが登録されています。(☞P.410)
- 連続撮影ではそれぞれの静止画にフレームが付きます。(☞P.179)
- カメラ撮影時にフレームを付けられる撮影サイズは、「sQCIF:128×96」、「QCIF:176×144」、「待受:240×320」、「CIF:352×288」、「VGA:480×640」です。
- 撮影サイズとフレームの縦横が異なるときは、フレームが左に90度回転します。
- サイトやインターネットホームページなどからダウンロードしたフレームを利用してフレーム撮影できます。

お買い上げ時設定(OFF)

次ページへ続く

1 静止画撮影画面(☞P.178)で[カメラ][4][6][フレーム撮影]を押し、フレームを選ぶ。

あらかじめ登録されているフレームの場合

フレームを利用する	[1]→フォルダを選ぶ→[■]→フレームを選ぶ→[i] ● フレームを確認するときは、フレームを選んで[■]を押します。戻るときは、[CLR]を押します。
フレームを解除する	[2]

● 選択したフレームと被写体の合成された画面が表示されます。

2 [■]を押す。

● フレーム付きの静止画が撮影されます。

お知らせ

● 撮影サイズを変更すると、フレーム撮影が解除されます。

いろいろな効果を付けて撮影する<エフェクト撮影>

撮影する静止画や動画にエフェクトを設定し、色あいやタッチを変えて撮影できます。

● 静止画撮影時にエフェクト効果を付けられるサイズは、「アイコン:76×76」、「sQCIF:128×96」、「QCIF:176×144」、「待受:240×320」、「CIF:352×288」です。
● サブカメラ使用時、エフェクト撮影はできません。

お買い上げ時設定(OFF)

静止画にいろいろな効果を付けて撮影する

1 静止画撮影画面(☞P.178)で[カメラ][4][5][エフェクト撮影]を押し、エフェクトの種類を選ぶ。

● [□]を押すと前後の画面を表示できます。

エフェクトの種類

モノクロ	[□][1]	モノトーンで濃淡を表現
セピア	[□][2]	セピア色で濃淡を表現
きらきら	[□][3]	光輝部をさらに輝かせる効果を表現
色えんぴつ	[□][4]	色つきの線画で表現
円ソフトフレーム	[□][5]	画面の周りにぼかしの効果を付ける
波紋	[□][6]	波紋効果を付ける
万華鏡(大)	[□][7]	万華鏡の効果を表現(模様が大きい)
万華鏡(小)	[□][8]	万華鏡の効果を表現(模様が小さい)
魚眼	[1]	魚眼レンズでの効果を表現
OFF	[2]	エフェクトを解除します。

2 [■]を押す。

お知らせ

● エフェクト撮影を設定しているときに、撮影サイズを変更したり、連続撮影を設定すると、エフェクト撮影は解除されます。

動画にいろいろな効果を付けて撮影する

1 動画撮影画面(☞P.178)で[カメラ][3][5][エフェクト撮影]を押し、エフェクトの種類を選ぶ。

● [□]を押すと前後の画面を表示できます。

エフェクトの種類

モノクロ	[□][1]	モノトーンで濃淡を表現
セピア	[□][2]	セピア色で濃淡を表現
きらきら	[□][3]	光輝部をさらに輝かせる効果を表現
色えんぴつ	[□][4]	色つきの線画で表現
残像	[□][5]	動きの残像を表現
波紋	[□][6]	波紋効果を付ける
万華鏡(大)	[□][7]	万華鏡の効果を表現(模様が大きい)
万華鏡(小)	[□][8]	万華鏡の効果を表現(模様が小さい)
魚眼	[1]	魚眼レンズでの効果を表現
OFF	[2]	エフェクトを解除します。

2 [■]を押す。

お知らせ

● エフェクト撮影を設定しているときに、撮影サイズを変更すると、エフェクト撮影は解除されます。また、画質を変更することはできません。撮影サイズが「QVGA:320×240」の場合は[SUPER FINE]、それ以外のサイズの場合は[FINE]に自動的に設定されます。
● エフェクト撮影を設定すると、手ぶれ補正が自動的に[OFF]になります。

手ぶれを補正して動画を撮影する<手ぶれ補正>

手ぶれ補正を設定すると、動画撮影時に手ぶれを補正できます。

● サブカメラ使用時、エフェクト撮影時は、手ぶれ補正撮影できません。

お買い上げ時設定(ON)

1 動画撮影画面(☞P.178)で[カメラ][5][2][手ぶれ補正]を押し、[1][ON]を押す。

お知らせ

● カメラ設定保持が[OFF]の場合、カメラモードを終了すると、手ぶれ補正の設定は[ON]に戻ります。カメラ設定保持が[ON]の場合、ここで設定した内容が保持されます。
● 手ぶれ補正の効果は、被写体や撮影時の条件によって異なります。

撮影環境や被写体に応じた設定を行う＜シーン別撮影＞

自然な色合いやピントで撮影できるよう、撮影環境や被写体に応じた撮影モードを設定できます。
● サブカメラ使用時、シーン別撮影はできません。
お買い上げ時設定(オート)

1 静止画撮影画面(☞P.178)で 📷 4 4 [シーン別撮影]を押し、シーンを選ぶ。

オート	1	通常の撮影に適しています。
夜景	2	夜景など光の少ない場所を撮影する場合に適した設定です。
スポーツ	3	屋外でのスポーツなど動きの多い被写体を撮影する場合に適した設定です。
文字	4	白と黒などコントラストのはっきりした被写体を撮影する場合に適した設定です。

● 設定したシーンに応じてマークが表示されます。(☞P.176)

お知らせ

● カメラモードを終了すると、[オート]に戻ります。
● 静止画撮影時に夜景など光の少ない場所を撮影する場合は、手ぶれに注意して撮影してください。
● 連続撮影を[標準]または[オーバーラップ]に設定している場合、シーン別撮影を[夜景]に設定できません。

撮影時のバックライトの点灯時間を設定する＜バックライト点灯時間＞

動画撮影時、バックライトの点灯時間を設定できます。
お買い上げ時設定(照明設定に従う)

1 動画撮影画面(☞P.178)で 📷 5 4 [バックライト点灯時間]を押し、点灯時間を選ぶ。

照明設定に従う	1 ● 照明時間設定に従ってバックライトが点灯します。(☞P.142)
常にON	2 ● 常時点灯します。(ただし、ファインダー以外の画面ではバックライトの点灯時間は照明時間設定に従います。)

音声のノイズを少なくする＜ノイズキャンセラ＞

動画撮影画面で、音声用のノイズキャンセラを設定できます。
お買い上げ時設定(ON)

1 動画撮影画面(☞P.178)で 📷 5 3 [ノイズキャンセラ]を押し、1 [ON]を押す。

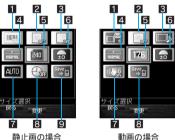
お知らせ

● 映像・音声切替が[映像のみ]の場合、ノイズキャンセラを設定できません。
● ノイズキャンセラでは、音声を明瞭にするために音声の加工処理をしています。周囲のノイズ状態や、話しかたにより、音声の聞こえかたが変わることがあります。

撮影時の設定を一括変更する＜一括設定変更＞

撮影時によく使う機能の設定内容を一覧表示したり、一括して変更することができます。

1 静止画撮影画面(☞P.178)または動画撮影画面(☞P.178)で 📋 [設定]を押す。

静止画の場合　　動画の場合

● 設定を変更するときは ◎ で項目を選び、● [変更]を押します。

静止画撮影		動画撮影	
1	連続撮影	1	ファイルサイズ制限
2	エフェクト撮影	2	エフェクト撮影
3	フレーム撮影	3	映像・音声切替
4	画質	4	画質
5	サイズ選択	5	サイズ選択
6	明るさ調整	6	明るさ調整
7	シーン別撮影	7	手ぶれ補正
8	セルフタイマー	8	本体⇔miniSD切替
9	本体⇔miniSD切替		

カメラの設定を変える

カメラのシャッター音を変える <シャッター音>

シャッター音を、あらかじめ登録されている5種類のパターンから選択できます。
お買い上げ時設定(標準音)

1 待受画面で■1 2 5 3を押し、シャッター音を選ぶ。

- 詳細メニューから✕(設定)→[音]→[音選択]→[各種設定音選択]→[シャッター音]の順に選択することもできます。

標準音	1
デジタルカメラ	2
ピンポーン	3
トゥインクル	4
人の声	5

- シャッター音を確認するときは、シャッター音を選んで[再生]を押します。止めるときは[停止]を押します。

お知らせ

- シャッター音の音量は変更できません。(マナーモード設定中も鳴ります。)

画像をディスプレイいっぱいに表示する <全画面表示>

カメラモードで表示されるマークを消し、静止画をディスプレイいっぱいに表示できます。
「待受:240×320」、「VGA:480×640」、「1.2M:960×1280」サイズで撮影するときに全画面表示できます。

1 静止画撮影画面(☞P.178)で 3[全画面表示]を押す。

- もう一度操作すると、全画面表示を解除できます。

お知らせ

- カメラモードを終了すると、全画面表示は解除されます。

miniSDメモリーカードに保存する <本体⇔miniSD切替>

撮影した静止画や動画をminiSDメモリーカードに保存できます。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。(☞P.323)
お買い上げ時設定(FOMA端末(本体))

1 静止画撮影画面(☞P.178)で 7[本体⇔miniSD切替]を押す。

- 動画撮影画面(☞P.178)のときは、 6を押します。
- 保存先が変更され、静止画撮影画面に戻ります。
- 静止画撮影のときは、撮影後に[保存先]を押して切り替えることもできます。
- 設定内容に応じてminiSDメモリーカードマークの色が変わります。
  - ■ SD(グレー): 保存先がFOMA端末(本体)のとき
  - ■ SD(ピンク): 保存先がminiSDメモリーカードのとき
- miniSDメモリーカードに保存できる動画の撮影時間はminiSDメモリーカードのメモリにより異なります。映像が含まれる動画の場合、最長約1時間です。

お知らせ

- 静止画モードでは、保存先がminiSDメモリーカードに設定されていても、miniSDメモリーカードの空き容量が不足した場合、保存先がFOMA端末(本体)に切り替わります。動画モードでは、miniSDメモリーカードに空き容量がない場合、保存先をminiSDメモリーカードに設定して撮影を開始すると[録画処理に失敗しました]と表示され、カメラモードは終了し待受画面に戻ります。
- miniSDメモリーカードに保存した静止画の確認については、P.327を参照してください。
- 保存先フォルダの静止画が400枚より多くなると新しいフォルダが自動的に作成され、新しいフォルダに静止画が保存されます。
- 保存先がminiSDメモリーカードに設定されている場合、撮影画像は[カメラフォルダxxx](フォルダが複数ある場合は「xxx」の数字が最も大きなフォルダ)に保存されます。
- 撮影画像をminiSDメモリーカードに保存するときは、DCF1.0準拠(Exif Ver.2.2、JPEG準拠)の形式で保存されます。
- 「DCF」とは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)で主として、デジタルカメラなどの画像ファイルなどを、関連機器間で便宜に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。ただし、「DCF規格」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。
- 「Exif」とは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加できる静止画用のファイルフォーマットです。

自動保存モードを設定する <自動保存モード>

撮影した静止画を自動的に保存するように設定できます。

- 撮影した静止画はminiSDメモリーカードか、FOMA端末(本体)に自動的に保存されます。
- miniSDメモリーカードに保存するときは、撮影前に保存先を切り替えておきます。(☞P.186)

お買い上げ時設定(OFF)

1 静止画撮影画面(☞P.178)で 6 2[自動保存モード]を押し、1[ON]を押す。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

お知らせ

- カメラ設定保持が[OFF]の場合、カメラモードを終了すると、自動保存モードの設定は[OFF]に戻ります。カメラ設定保持が[ON]の場合、ここで設定した内容が保持されます。
- 自動保存モードを[ON]に設定すると、撮影直後の画像編集や画面設定などの操作はできなくなります。

蛍光灯のちらつきを防止する <ちらつき防止>

お住まいの地域の電源周波数を設定すると、蛍光灯の下で撮影するときに、画面のちらつきやすじ状の濃淡の発生を抑えることができます。

- 静止画と動画に共通の設定です。

お買い上げ時設定(50Hz)

1 静止画撮影画面(☞P.178)で[カメラ][6][4][ちらつき防止]を押し、電源周波数を選ぶ。

- 動画撮影画面(☞P.178)のときは[カメラ][5][6]を押します。

50Hz	[1]
60Hz	[2]

お知らせ

- 映像・音声切替が[音声のみ]の場合やサブカメラ使用時は、ちらつき防止は設定できません。
- ちらつき防止の設定は、カメラモードを終了しても保持されます。

静止画撮影／動画撮影の設定をお買い上げ時の状態に戻さないようにする <カメラ設定保持>

カメラモードを終了したときに各設定を記憶しておくことができ、次回静止画や動画のカメラモードにしたときも同じ状態で利用できます。

- 設定を保持できる項目は、次のとおりです。

静止画	サイズ選択、画質、本体⇔miniSD切替、自動保存モード、ちらつき防止
動画	サイズ選択、画質、ファイルサイズ制限、バックライト点灯時間、ノイズキャンセラ設定、本体⇔miniSD切替、手ぶれ補正、ちらつき防止

- 静止画の場合、[サイズ選択][画質]はメインカメラとサブカメラについてそれぞれの設定を保持します。

お買い上げ時設定(ON)

1 静止画撮影画面(☞P.178)で[カメラ][6][3][カメラ設定保持]を押す。

- 動画撮影画面(☞P.178)のときは[カメラ][5][5]を押します。

2 [1][ON]を押す。

メール送信

撮影後すぐに静止画または動画を送る

静止画または動画撮影後、保存前のプレビュー画面から、撮影した静止画や動画を添付したｉモードメールを送信できます。

- 撮影した動画はｉモーションメールとして送信します。
- 保存先をminiSDメモリーカードに設定していた場合、撮影した画像はminiSDメモリーカードに保存されたあと、データBOXのマイピクチャの[カメラ撮影]フォルダ(静止画)またはｉモーションの[カメラ撮影]フォルダ(動画)に保存され、メール作成画面が表示されます。また、FOMA端末(本体)のメモリ容量が少ないと、上書き確認画面が表示されることがあります。データを削除してから保存してください。
- 動画の撮影サイズが「hQVGA:240×176」「QVGA:320×240」のときは、ｉモードメールに添付できません。

1 静止画プレビュー画面(☞P.178の操作2)で[メール][メール]を押す。

- 動画のときは、撮影終了後の画面で[2][メール作成]を押します。

静止画の場合

[待受サイズ(240×320)以下に縮小しますか？]と表示されたとき	縮小する	[はい]→[●] ● 静止画の縦横比を保ったまま「待受:240×320」サイズ以下に縮小して添付します。
	縮小しない	[いいえ]→[●] ● 静止画のファイルサイズを500Kバイト以下に調整して(画像サイズは変わりません。)添付します。

- 撮影した動画のファイルサイズがメール添付可能なサイズを超えている場合、[動画データをメール添付用に切り出しますか？]と表示されます。[はい]を選んで[●]を押すと、先頭からメール送信可能なサイズに切り出して添付します。

2 ｉモードメールを作成し、送信する。

- 詳しくは、P.229の操作2～4を参照してください。

お知らせ

- メール添付時に切り出された動画は、FOMA端末(本体)に保存されます。元の動画は、本体⇔miniSD切替で設定した保存先に保存されます。

バーコードリーダー

バーコードリーダーを利用する

カメラを使ってバーコード(JANコード、QRコード)を読み取ると、Phone To(AV Phone To)、Mail To、Web To、ブックマーク登録、電話帳登録、文字表示、iアプリToを利用できます。読み取った文字のコピーや貼り付け、メロディの再生や保存、画像の表示や保存を行うこともできます。

- 読み取り結果をminiSDメモリーカードに保存することはできません。
- JANコードとQRコード以外のバーコード・二次元コードは読み取りできません。
- 分割されたQRコードも読み取りできます。

バーコード(JANコード、QRコード)から文字を読み取って利用する

バーコード(JANコード、QRコード)から読み取った文字を利用して、iモード接続、iモードメール作成、音声電話やテレビ電話、プッシュトークの発信、iアプリの起動などを行うことができます。

- 接写モードにしてから撮影してください。(☞P.181)接写撮影の焦点距離は約8cmです。
- サイトを表示中に、バーコードリーダーを利用してJANコード、QRコードの情報をテキストボックスに入力できます。(☞P.201)
- バーコードの種類やサイズによっては、読み取れないことがあります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては読み取れない場合があります。

1 待受画面で[■][9][2][1]を押す。

- 詳細メニューから[カメラ](カメラ)または[LifeKit](LifeKit)→[バーコードリーダー]の順に選択することもできます。
- 静止画撮影画面(☞P.178)で[カメラ][1][4]を押しても切り替えることができます。

- バーコード(JAN コード、QR コード)の真正面からカメラまでを約8cm離して、バーコードやFOMA端末をできるだけ固定すると認識されやすくなります。

2 ディスプレイの中央に読み取るバーコード(**JAN**コード、**QR**コード)を表示する。

- 被写体がJANコードかQRコードかは、FOMA端末が自動的に判断します。
- 光沢のある用紙の場合は、読み取りにくいことがあります。照明が直接反射しないように角度を調節してください。
- 保存データを見るときは、[カメラ][2]を押します。

3 [■][読取]を押す。

- バーコード(JANコード、QRコード)の読み取りが開始されます。読み取りが完了すると、完了音が鳴り、読み取り結果画面が表示されます。
- 読み取りを開始してから1分経過しても読み取れなかったときは、[読み取りできませんでした]と表示され、操作2の画面に戻ります。
- 読み取りを中止するときは、[メニュー][中断]または[CLR]を押します。読み取りを中断して操作2の画面に戻ります。

4 読み取った文字を選んで[■]を押す。

- 読み取った文字や数字に下線が付いている場合は、その部分を選択できます。
- 読み取った文字の内容に応じて、iモード接続確認画面(URLのとき)、メール作成確認画面(メールアドレスのとき)、電話(テレビ電話)発信確認画面(電話番号のとき)が表示されます。
- 電話帳データやメールデータ、ブックマークデータ、iアプリデータの場合は、電話帳登録確認画面やメール作成確認画面、Bookmark登録確認画面、iアプリ起動確認画面が表示されます。
- 読み取った文字や数字に下線が付いていない場合は、[■]を押しても表示が変わりません。

読み取った文字をすべてコピーする	[メニュー]
読み取った文字の一部をコピーする	[カメラ][3]→始点を選ぶ→[■][開始]→終点を選ぶ→[■]
読み取ったデータを保存する	[カメラ][4]→保存先を選ぶ→[■] ● 5件まで保存できます。

お知らせ

- URL入力画面や、サイトを表示中(☞P.198の操作1～3)の文字入力画面で、[カメラ][6][3][バーコードリーダー]を押してもバーコードリーダーを起動できます。
- 電話帳のPIMロック中、端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力するとPIMロックは一時的に解除され、読み取った結果から電話帳登録できます。電話帳登録が終了すると、再びロックされます。
- 読み取り完了音は、マナーモードや公共モード(ドライブモード)設定中は鳴りません。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

お知らせ

JANコードとは

- 幅の異なる縦の線(バー)で数字を表現しているバーコードです。
- 左図を読み取ると[4942857119022]と表示されます。

QRコードとは

- 縦・横方向でデータを表現している二次元コードの1つです。データとは、文字列(英数字・漢字・カナ・絵文字)や画像データ、メロディデータなどを含みます。
- 左図を読み取ると[株式会社NTTドコモ]と表示されます。

分割されたデータについて

- QRコードには、分割されたデータ(最大16個)を読み取って1つのデータとなるものがあります。分割されたデータを読み取った場合、操作3のあとで左の画面が表示されます。

( )には残り個数/全連結数が表示されています。[はい]を選択すると次のQRコードの読み取り画面に進みます。次のQRコードをディスプレイの中央に表示させると、自動的に次のQRコードを読み取ります。操作をくり返し、すべての分割されたデータを読み取ると読み取り結果が表示されます。

QRコードから画像やメロディを読み取って再生する

1 **QR**コードを読み取る。(☞**P.188**の操作1～3)

- 読み取り結果が画像データの場合は結果画面に[画像]、メロディの場合は結果画面に[メロディ]と表示されます。

2 ■を押し、表示・再生する。

画像を表示する	1 ● ファイル形式によっては表示できないものもあります。
メロディを再生する	1 ● ファイル形式によっては再生できないものもあります。 ● 再生を中止するときは■またはCLRを押します。
メロディや画像を保存する	2 ● 画像はデータBOXのマイピクチャの[外部取得データ]フォルダに保存されます。 ● メロディはデータBOXのメロディの[外部取得データ]フォルダに保存されます。
メロディや画像を保存しない	3

読み取った文字を電話帳やブックマークに登録する

- 読み取ったメールアドレスや電話番号、URLを電話帳に登録できます。
- URLをブックマークに登録することもできます。

1 バーコードを読み取り(☞**P.188**の操作1～3)、読み取り結果画面で📷を押す。

2 読み取り結果を利用する。

電話帳登録	FOMA端末(本体)電話帳に新規登録する	1 1→[はい]→■ ● 読み取った文字が各項目に入力されています。このあと、電話帳登録の操作を続けます。(☞P.110) ● あらかじめテレビ電話用電話番号としてバーコードに設定されているときは、テレビ電話用電話番号として登録されます。
	FOMAカード電話帳に新規登録する	1 2→[はい]→■ ● 読み取った文字が各項目に入力されています。このあと、電話帳登録の操作を続けます。(☞P.114)
	電話帳に追加/上書き登録する	1 3→[はい]→■→名前を選ぶ→■ ● 読み取った文字は対応した項目に上書き登録されます。このあと、電話帳登録の操作を続けます。(☞P.110) ただし、URLの場合は、メモの項目(☞P.109)に上書き登録されます。
ブックマークに登録する(URLのみ)(☞P.205)		2→[はい]→■→フォルダを選ぶ→■→[OK]→■

保存データを利用するとき

読み取り開始画面(☞P.188の操作2)で📷2[保存データ]を押し、保存データを選んで■を押す。

- このあと、上記の操作1～2に進みます。

お知らせ

- 保存データは再保存できません。

文字読み取り（OCR）

文字を読み取る

紙などに印刷されたURL、メールアドレス、電話番号、英単語をFOMA端末で撮影し、FOMA端末で扱える文字に変換します。
読み取った文字を利用して、サイトやインターネットホームページに接続したり、iモードメールを送信したりできます。音声電話やテレビ電話、プッシュトーク発信や、辞書検索することもできます。また、電話帳やブックマークに登録することもできます。

- 読み取れる文字は、次のものです。URL、メールアドレス、電話番号、英単語などのカテゴリは、読み取った文字によって自動的に識別されます。漢字やひらがななど、全角の文字は認識できません。

URL	半角英字、半角数字、半角記号[. -（ハイフン）_ : / ~]
メールアドレス	半角英字、半角数字、半角記号[. @ -（ハイフン）_ :]
電話番号	半角数字、半角記号[-（ハイフン）+ P # ＊]
英単語	半角英字、半角数字、半角記号[-（ハイフン）/ ? ! @ + * ' ( ) , . &]

- 読み取り結果をminiSDメモリーカードに保存することはできません。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、文字サイズによっては、正しく読み取れない場合があります。

文字を読み取って利用する

カテゴリ（URL、メールアドレス、電話番号、英単語）を自動的に識別して、文字を読み取り、iモード接続、iモードメール作成、音声電話やテレビ電話、プッシュトークの発信、辞書検索、電話帳の登録、ブックマーク登録などを行うことができます。

- 接写モードにしてから撮影してください。（☞P.181）

1 待受画面で■9 2 6を押す。

- 詳細メニューから📷（カメラ）または📷（LifeKit）→[文字読み取り]の順に選択することもできます。
- 静止画撮影画面（☞P.178）で📷 1 3を押しても切り替えることができます。

2 読み取る文字をディスプレイの中央に表示する。

- 光沢のある用紙の場合は、読み取りにくいことがあります。照明が直接反射しないように角度を調節してください。
- ディスプレイの〔 〕枠内の中央に入るように調整してください。〔 〕の端の文字は読み取りにくい場合があります。

- 読み取り文字の真正面からカメラまでの焦点距離を約8cmにして、文字やFOMA端末をできるだけ固定すると認識されやすくなります。表示される文字は小さくて見づらくなりますが、被写体表示の下にあるバーが最も青い色になるように、撮影する印刷物などとの距離を調整してください。
- 一度の操作で読み取る文字数は、60文字以内を目安にしてください。

読み取り対象のカテゴリを選ぶ	📷 2→カテゴリを選ぶ→■ ● 文字読み取り起動時は、[オート]に設定されています。
反転文字（黒地に白の文字）を読み取る	📷 3→反転モードの種類を選ぶ→■ ● 文字読み取り起動時は、[自動]に設定されています。うまく読み取れないときは、[通常文字]または[反転文字]に設定してください。

3 ■を押す。

- 静止画として撮影され、読み取る内容が表示されます。
- 複数の行を撮影したときは、◎で読み取る行を指定します。（文字の読み取りは、1行単位で行います。）

4 ■[読取]を押す。

- 文字の読み取りが開始されます。
- 読み取りが完了すると、文字読み取りの候補選択画面になり、読み取った文字の内容が表示されます。

読み取り結果を修正する	◎で修正する文字を選ぶ→◎で候補を選ぶ ● 1文字ずつの修正候補が、画面下部に表示されます。修正候補がない場合はダイヤルボタンで入力します。 ● 1文字ずつ削除するときは、CLRを押します。
読み取った文字を削除して読み取りをやり直す	▯→[はい]→■

5 ■を押す。

- 文字読み取り結果が表示されます。

読み取った文字を削除して読み取りをやり直す	▯→[はい]→■
続けて文字を読み取る	📷 1 ● 文字読み取り画面が表示されます。 ● 先に読み取った文字につなげて、1つの文として利用できます。数行に分かれているURLやメールアドレスを読み取るときなどに便利です。最大256文字まで読み取りできます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.323）

読み取りを追加する	[カメラ][2] ● 文字読み取り画面が表示されます。 ● 最大3回に分けて読み取った文字を、1つのグループとして関連づけます。電話帳の項目を続けて読み取り、まとめて電話帳に登録するときなどに便利です。
読み取った文字を編集する	[カメラ][6]
読み取った文字をすべてコピーする	[カメラ][7] ● 他の画面に貼り付けて使用できます。
読み取った文字を削除する	[カメラ][8]→[はい]→[■]
読み取り結果のカテゴリを変更する	[•] ● 読み取り結果が電話番号のときは、カテゴリを変更できません。

6 [■]を押し、[はい]を選んで[■]を押す。

● 読み取った文字のカテゴリに応じて、i モード接続確認画面(URLのとき)、メール作成確認画面(メールアドレスのとき)、電話(テレビ電話)発信確認画面(電話番号のとき)、辞書検索確認画面(英単語のとき)が表示されます。

お知らせ

● 電話帳のPIMロック中、端末暗証番号(4~8桁の数字)を入力するとPIMロックが一時的に解除され、電話番号、URL、メールアドレス、英単語を電話帳登録できるようになります。電話帳登録が終了すると、再びロックされます。
● 読み取る文字のカテゴリが、電話番号の場合、( )は -(ハイフン)となります。
また、電話帳に登録するときや電話をかけるときには、-(ハイフン)は削除されます。
● 読み取る文字のカテゴリがURLの場合、対象のURLの「http://」が一部省略されていても、読み取り結果に追加されます。

読み取った文字を電話帳やブックマークに登録する

読み取った文字は、認識したカテゴリに応じて、電話帳の各項目やブックマークに登録できます。
● 認識したカテゴリに応じて、電話帳の項目に登録されます。

URL	[URL]
電話番号	[Tel]
メールアドレス	[Mail]
英単語	[Word]

1 文字の読み取り後の画面(☞**P.190**の操作5)で[カメラ]を押す。

2 読み取り結果を利用する。

電話帳登録	FOMA端末(本体)電話帳に新規登録する	[3][1]→[はい]→[■] ● 電話帳入力画面に読み取った文字が各項目に入力されています。このあと、電話帳登録の操作を続けます。(☞P.110)
	FOMAカード電話帳に新規登録する	[3][2]→[はい]→[■] ● 電話帳入力画面に読み取った文字が各項目に入力されています。このあと、電話帳登録の操作を続けます。(☞P.114)
	電話帳に追加/上書き登録する	[3][3]→[はい]→[■]→名前を選ぶ→[■] ● 読み取った文字は対応した項目に上書き登録されます。このあと、電話帳登録の操作を続けます。(☞P.110) ただし、URLの場合は、メモの項目(☞P.109)に上書き登録されます。
URLをブックマークに登録する(☞P.205)		[4]→[はい]→[■]→フォルダを選ぶ→[■]→[OK]→[■]

● 電話帳に登録する場合、登録できないデータがあるときは[一部登録できないデータがあります 登録しますか?]と表示されます。[はい]を選択すると、登録されます。

読み取った文字を辞書で検索する

読み取った文字を辞書で検索できます。
● 操作の前に、電子辞書が入っているminiSDメモリーカードを挿入してください。

1 文字の読み取り後の画面(☞**P.190**の操作5)で[カメラ][5][辞書検索]を押し、[はい]を選んで[■]を押す。

● 辞書の検索方法については、P.343を参照してください。
● 検索終了後、[終話]を押すか、[CLR]を数回押すと、文字読み取り後の画面に戻ります。

ｉモード／ｉモーション

※ 掲載している画面はイメージのため、実際の画面とは異なる場合があります。

iモード

iモードとは

iモードでは、iモード対応FOMA端末（以下iモード端末）のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、iモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

■ サイト（番組）接続

iモードメニューからメニュー／検索を選択して、天気、ニュースなどIP（情報サービス提供者）が提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。さらにゲームや待受画像をダウンロードして楽しめます。

■ インターネット接続

iモード端末にホームページアドレス（URL）を直接入力することで、iモード対応のさまざまなホームページを見ることができます。

■ iモードメール

iモード端末どうしをはじめ、インターネットのメールアドレスを持っている人となら誰とでもe-mailのやりとりが最大全角5000文字までできます。さらにデコメールや静止画像、動画を送受信して楽しいメールのやりとりができます。

サービスのしくみ

FOMAサービスエリア
iモードのサービスエリアは、FOMAサービスエリア（通話のできるエリア）と同じです。

iモード端末

iモードセンター
IPとiモード端末をつなぎます。また、メールやメッセージをお預かりします。

インターネット

IP（情報サービス提供者）
サイト（番組）を提供します。

パソコンなど

iモードは、お申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みに関するお問い合わせは、取扱説明書裏面をご覧ください。

お知らせ

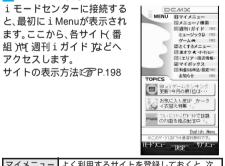
- 新規でFOMAサービスのご契約をいただいた場合は、当日よりすべてのサービスがご利用になれます。
- movaサービス（iモードをご契約）からFOMAサービスへ契約を変更された場合、movaサービスでご利用いただいていた「マイメニュー」の内容は引継がれます。サイトによって、FOMAに「マイメニュー」が引継がれないサイトもございますので、その場合は再登録をお願いします。なお、「マイメニュー」引継対応サイトについては、iMenu内の［お知らせ］でご確認できます。
- iモードは送受信した情報量（パケット数）に応じて課金されるサービスです。本取扱説明書においては、料金に関する情報は記載しておりません。ご利用料金などにつきましては、iモードご契約時にお渡しする『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- iモードのサービス内容は変更することがありますので、詳しくは最新の『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

サイト（番組）接続

簡単なボタン操作でサイトに接続して、IPが提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。たとえば銀行の残高照会・振込、チケット予約、ニュース、辞書検索、着信メロディのダウンロードなどさまざまなオンラインサービスがあります。

■ サイトを表示するには

iモードセンターに接続すると、最初にiMenuが表示されます。ここから、各サイト（番組）や［週刊iガイド］などへアクセスします。

サイトの表示方法☞P.198

マイメニュー	よく利用するサイトを登録しておくと、次回から簡単にサイトに接続できます。（☞P.202）iMenu内の有料サイトなどは自動的に登録されます。登録可能な件数は45件です。
メニュー／検索	「メニュー／検索」内の検索BOXにキーワードを入力することで、目的のサイトを検索することができます。さらに、さまざまな検索サイトと連携し、一般サイト検索を行うことができます。
週刊iガイド	新着サイトやおすすめサイトなど最新のサイト情報を毎週月曜日から金曜日までの毎日更新して掲載します。また、ミュージックとゲームの特集コーナーも用意されています。
とくするメニュー	楽しいキャンペーン情報、プレゼントやお得な割引クーポン情報などが掲載されています。毎週情報が更新されます。（提供：D2コミュニケーションズ）

楽オク🔨 -オークション-	簡単に入札したり、出品ができるオークションサイトです。 また、オークションに出品している商品から、おすすめ商品などの情報も提供しています。（提供：楽天オークション）
ｉエリア -周辺情報-	今いる場所やその周辺に関する天気・地図・タウン情報などを簡単にご利用になれます。
マイボックス	サービスを提供するお店やサイトにあらかじめ登録することにより簡単にアクセスできる会員向けのサービスです。
料金＆ お申込・設定	料金の確認やお支払い、また、ご契約内容の変更・各種サービスのお申し込みができるほか、ｉモードメールの設定やｉモードパスワードの変更などを行います。
お知らせ	ドコモからのお知らせや、ｉモードの利用方法やご利用規則を掲載しています。
TOPICS	最新のトピックスを紹介しています。
English iMenu	ｉMenuを英語表記に変更できます。

※ 画面はイメージです。設定によっては、表示が異なる場合があります。

お知らせ

- サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。
- IPが提供するサービスには、ご利用の際に別途お申し込みが必要なものがあります。
- ｉモードアイコンが点滅していても、ｉモードセンターとの通信中以外は、パケット通信料はかかりません。
- デュアルネットワークサービスご契約の場合、ｉMenu画面などが一部異なります。

こんなこともできます

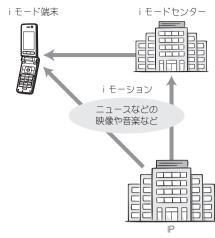
ｉチャネル

ニュースや天気などのグラフィカルな情報をドコモまたはIPがｉモード端末に配信するサービスです。定期的に情報を受信し、最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、ｉチャネル対応ボタンを押すことで見られるチャネル一覧に表示されます。更にチャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。

※ 対応機種･･･ｉチャネル対応機種でご利用いただけます。詳しくは、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

ｉモーション

ｉモードのサイトから映像や音をｉモード端末に取得し、再生したり、待受画面として楽しむことができます。☞P.220

- ｉモーションを取得するには☞P.221
- ｉモーションを再生するには☞P.221
- ｉモーションを自動再生設定するには☞P.222

着モーション／着うた®

ｉモードのサイトからｉモーションをｉモード端末に取得し、着信音や着信画像に設定できます。メロディだけではなくお好きな歌手などの歌声なども着信音としてご利用いただけます。
（一部の対応していないｉモーションは着モーションに設定できません。）

- 着モーションを設定するには☞P.112、P.128
- 「着うた®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

ｉアプリ

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ｉモード端末をより便利に活用いただけます。たとえばｉモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のｉアプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックするなどが可能です。さらに、地図のｉアプリでは必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。

- ｉアプリをダウンロードするには☞P.267
- ｉアプリを実行するには☞P.268
- ｉアプリを自動実行するには☞P.273

ｉアプリ待受画面

ｉアプリ待受画面ではｉアプリを待受画面として利用することができ、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。

- ｉアプリ待受画面を設定するには☞P.275

ｉアプリDX

ｉアプリDXでは、ｉモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信か知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がリアルタイムに更新されるなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。

- ｉアプリDXとは☞P.266

次ページへ続く

キャラ電

テレビ電話利用時に相手のテレビ電話端末に自分の映像を映す代わりにキャラクタを表示させ、キャラクタが音に反応して口を動かしたり、ボタン操作でキャラクタを動作させたりできます。お好きなキャラクタをダウンロードし、そのキャラ電を撮影した静止画・動画ファイルを待受画像に設定したり、メールに添付して送ることもできます。(メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像ファイル・動画ファイルは送信できません。)

- キャラ電をダウンロードするには☞P.210
- キャラ電の確認☞P.321
- キャラ電を設定するには☞P.318
- キャラクタの操作方法☞P.318
- キャラ電の撮影☞P.319

テレビ電話端末
テレビ電話端末
テレビ電話
キャラ電映像
カメラ映像
キャラ電コンテンツ
ボタン操作
ダウンロード
IP

赤外線通信機能

赤外線通信機能が搭載された携帯電話、パソコンなどと電話帳やメール、ブックマークなどを送受信することができます※。
また、iアプリで赤外線通信を利用することにより、赤外線通信機能が搭載された機器と連動して、より広がった使いかたができます。たとえば携帯電話をテレビのリモコンや会員証などとして利用することが可能です。

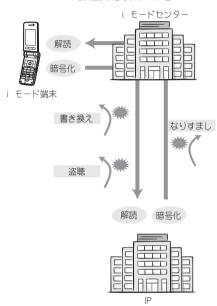
※ 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

- 赤外線通信モードにするには☞P.336

SSL通信

SSLとは、認証/暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式のことです。SSLページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴、なりすましや書き換えを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやりとりできるようにしています。

SSL通信には、iモード端末から特別な操作なしに、端末内のCA証明書を利用し、SSLに対応したサイト(SSLページ)を表示するものと、FirstPassセンターからダウンロードしたユーザ証明書を利用し、SSLに対応したサイト(SSLページ)を表示するものと2つあります。なお、サイトによって、使用する証明書は異なります。☞P.218

- iモード端末に保存されているCA証明書を利用するには☞P.218
- FirstPassのユーザ証明書を利用するには☞P.218

※なりすまし:第三者がサイトになりすまして、不正にお客様の情報を入手したりすることです。

FOMAカード動作制限機能

お客様情報〔電話番号・電話帳(一部)など〕を格納しているFOMAカードを、iモード端末に挿入して、サイトからダウンロードしたり、メールにて取得したメロディ・静止画・動画などのファイルを動作制限します。また、別のFOMAカードを差し替えたり、または未挿入の状態で電源ONした場合、取得したファイルの再生・表示を不可にする機能です。

※ カメラ機能によりお客様が撮影した静止画・動画、外部メモリからiモード端末内に保存したファイルについては、本機能の対象外となります。
※ 着信音や待受画面設定など、iモード端末に設定していた場合、本機能により設定がリセットされます。

iメロディ

サイトから最新の曲やお好みの曲をiモード端末にダウンロードし、着信音として利用できます。
☞P.209

iアニメ

サイトからお好みのアニメーション画像をiモード端末にダウンロードし、待受画面や着信画面に表示できます。☞P.137、P.139

Flash®

Flashとは、絵や音を利用したアニメーション技術です。多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトを利用できます。また、Flash画像を利用した画像をｉモード端末にダウンロードし、待受画面に設定することもできます。☞P.137
Flash画像によっては、お客様のｉモード端末の端末情報データを参照できるものがあります。☞P.214
利用する登録データには次のものがあります。

- 電池残量
- 受信レベル
- 時刻情報
- 効果音設定
- バイリンガル設定
- 機種情報

メッセージサービス

メッセージサービスは、欲しい情報（メッセージ）が自動的にお客様のｉモード端末に届くサービスです。メッセージサービスにはメッセージR（リクエスト）とメッセージF（フリー）があります。

メッセージR（リクエスト）	メッセージサービスを提供するサイトでお申し込みいただくと欲しい情報が自動的に届けられるメッセージです。
メッセージF（フリー）	パケット通信料無料で届けられるメッセージです。

- メッセージサービスの受信方法は☞P.215
- メッセージF（フリー）の設定について、2004年10月１日以降にFOMAの新規ご契約と同時にｉモードをお申し込みの場合は、メッセージF設定のお買い上げ時の設定が「受信する」となっております。お客様が受信を希望されない場合は、メッセージF設定をお客様ご自身で「受信しない」設定にご変更いただく必要がございますので、ご了承ください。
  ※上記の場合以外のお客様がメッセージFをご利用になるには、あらかじめオプション設定からの受信設定が必要です。お買い上げ時には、「受信しない」設定になっております。
- 電源が入っていないとき、圏外などで受信できないときは、メッセージR／Fはｉモードセンターに保管されます。
- ｉモードセンターでのメッセージの保管件数、保管期間は次のとおりです。最大保管件数、最大保管期間を超えた場合は、最も古いメッセージから順に削除されます。

	最大保管件数	最大保管期間
メッセージR	300件	72時間
メッセージF	300件	72時間

- ｉモードセンターに保管されたメッセージR／Fは、ｉモード問い合わせにより受信できます。（☞P.216）

トクだねニュース便

メッセージR（リクエスト）機能を利用し、ニュースや天気などの情報をｉモード端末にドコモが配信するサービスです。
トクだねニュース便はお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込み完了後、自動的にマイメニュー登録され、マイメニューからアクセスしても同じ情報を見ることができます。

- メッセージRの画面の見かたは☞P.216

ｉモードパスワード

マイメニューの登録･削除、ｉモードメールの設定などを行うときには「ｉモードパスワード」が必要です。ご契約時は[0000]に設定されていますので、お客様独自の４桁の数字に変更してください。
☞P.203
ｉモードパスワードは他人に知られないよう十分にご注意ください。

インターネット接続

インターネットホームページのアドレス（URL）を入力することにより、インターネットに接続し、ｉモード対応のインターネットホームページを表示することができます。

- 表示方法は☞P.203

お知らせ

- ｉモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。
  ｉモード対応のホームページとは、ｉモード対応のタグなどで作成されたホームページのことです。
  詳しくは☞P.203
- パソコン上での表示とは異なる場合があります。
- URLが512文字を超えるインターネットホームページは表示できない場合があります。

ｉモードのご使用にあたって

- サイト（番組）やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイト（番組）やインターネットホームページからｉモード端末にダウンロードした文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- ｉモード端末に保存されている内容（メール、メッセージ、画面メモ、ｉアプリ、ｉモーション）やブックマークなどの登録内容は、ｉモード端末の故障、修理やその他の取り扱いによっても消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えを取っておくことをおすすめします。万が一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ｉモード端末の修理などを行った場合、ｉモード･ｉアプリ･ｉモーションにて取得した情報は、一部を除き著作権法により新しい携帯電話への移行を行っておりません。また、別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにした場合、機種によってサイトからダウンロードした静止画･動画･メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画･動画･メロディ）、「画面メモ」および「メッセージR／F」などを表示･再生できません。
- FOMAカードにより表示･再生が制限されているファイルを待受画面･指定着信音などに設定されている場合、別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにすると、設定内容はお買い上げ時の状態にリセットされます。

サイトを表示する

IP(情報サービス提供者)が提供する各種サービスをご利用いただけます。
FOMA端末のディスプレイ上で、銀行の残高照会や各種チケットの予約などができます。
(サイトによりサービス内容が異なります。また、別途申し込みが必要なことがあります。)

1 待受画面でiを押す。

● 詳細メニューからi(iモード)で選択することもできます。

2 [i Menu]を押す。

● 接続を中止するときは、接続中([ ]点滅)に、i[中止]を押します。

iモード中に表示されるマーク

- ： iモード待機中です。(点滅)
- ： iモード接続中です。(点滅)
- SSL： SSLページ表示中です。
- ： 画像読み込み中と、画像表示設定が[OFF]の場合に表示されます。
- ： 画像読み込みに失敗した場合、表示できない形式の画像の場合に表示されます。
- ： URLが正しくないため画像が読み込めない場合に表示されます。
- ： iアプリダウンロード中です。

3 項目を選んで●を押す。

● この操作をくり返し、目的のサイトを表示します。

画面を上下にスクロールする	下: 上:
1画面単位でスクロールする	下:[▼ページ] 上:[▲ページ]

4 終了するときはを押し、[はい]を選んで●を押す。

お知らせ

- サイト表示時に、画像を読み込まないように設定することもできます。(☞P.214)
- サイトによっては、文字が正しく表示されなかったり、実際のサイトの画面と同じ表示ができない場合があります。文字が正しく表示されない場合は、文字コード変換を行うと正しい文字に変換して表示できることがあります。(☞P.204)
- サイトなどからダウンロードしたファイル形式により、FOMA端末の持っている最大表示色数で発色できない場合があります。
- サイト表示中にi[iモードメニュー]を押すと、iモード終了確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、iモードメニュー画面が表示されます。

お知らせ

- **電話帳指定着信許可/拒否、非通知理由別着信拒否、電話帳登録外着信拒否**を設定している場合、着信を許可しない相手からiモード中やiモード待機中に電話がかかってきたときも、着信音が鳴りません。相手の電話番号や電話帳に登録した名前が着信履歴に残ります。相手には話中音が聞こえます。

関連操作

文字コードを変換する<文字コード変換>
サイト表示中に 7 3

サイトのサーバー証明書を参照する<証明書参照>
サイト表示中に 7 2

Flash画像やGIFアニメーションを再び再生する<リトライ>
サイト表示中に 7 4

フルブラウザ表示に切り替える<フルブラウザ切替>
サイト表示中に 8 ▶[はい]▶●

iモードをPIMロックする<PIMロック>
待受画面でi 7 6 ▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶●▶

携帯電話/FOMAカード(UIM)の製造番号送信について

サイトやインターネットホームページを表示するときに、携帯電話情報通知画面が表示されることがあります。[携帯電話/FOMAカード(UIM)の製造番号を送信します]と表示された場合、携帯電話情報を送信するときは[はい]を選んで●を押します。送信しないときは[いいえ]を選んで●を押します。送信せずに元の画面に戻るには、CLRを押すか、[戻る]を選んで●を押します。

お知らせ

- 携帯電話/FOMAカード(UIM)の製造番号が送信される前に必ず、送信確認画面が表示されます。自動的に送信されることはありません。
- 送信される「携帯電話/FOMAカード(UIM)の製造番号」は、IP(情報サービス提供者)がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP(情報サービス提供者)の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。
- 送信するお客様の「携帯電話/FOMAカード(UIM)の製造番号」は、インターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP(情報サービス提供者)などに通知されることはありません。

サイトなどでの画像表示について

サイトやインターネットホームページ、画像メールやメッセージR／Fの画面には、画像が表示されることがあります。

- FOMA端末では、GIF形式やJPEG形式の画像、Flash画像を表示できます。（ただし、一部表示できないJPEG形式の画像もあります。）
- 画像を受信中は、[🔍]が表示され、受信が終わると画像を表示します。
- 画像を表示するかしないかを画像表示設定（☞P.214）で設定できます。[OFF]に設定すると、画像の代わりに[🔍]が表示されます。

お知らせ

- 保存したFlash画像は、サイトやインターネットホームページでの見えかたと異なる場合があります。
- インターネット接続でGIF形式、JPEG形式の画像データやFlash画像も表示できます。ただし、受信したｉモードメールにGIF形式、JPEG形式の画像データやFlash画像のURLが記載されていても、画像メールとしては表示できません。この場合は、対象のURLを選択すると「Web To機能」を利用してGIF形式、JPEG形式の画像データやFlash画像が表示されます。
- 画像を取得できなかったときは、[▣]が表示されます。再読み込みを行うと、取得可能な場合があります。
- GIF形式、JPEG形式、Flash画像以外の画像を受信したときは、画像の代わりに[▣]が表示され、画像は表示できません。

SSL対応のページを表示するとき

FOMA端末では、SSL通信に対応したサイトや「https://」から始まるインターネットホームページ（SSLページ）を表示できます。SSL対応のページを表示しようとしているときは、右のような画面が表示されます。
SSL通信を中止するときは[中止]を押します。

SSL対応のページを表示するときは、以下のいずれかの証明書を使用します。（☞P.218）

■ CA証明書　■ ドコモ証明書　■ ユーザ証明書

- SSL対応のページを表示しているときは、[SSL]が表示されます。

SSL対応のページから通常のページへ移動するときは、SSLを終了するかどうかを確認する旨のメッセージが表示されます。

お知らせ

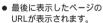
- [このサイトは安全でない可能性があります。接続しますか？]、[このサイトの安全性が確認できません。接続しますか？]、[この接続先の安全性が確認できません。接続しますか？]と表示されたときは、ページのSSL証明書が期限切れになっているか、FOMA端末が使用しているSSL証明書と異なる証明書を使用しているページを表示しようとしています。
この場合、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報を安全に送信できませんので、ご注意ください。
続けてページを表示させるときは[はい]を選択します。
ページを表示させないときは[いいえ]を選択します。

最後に表示したページに再接続する ＜ラストURL＞

ｉモードを終了すると、最後に表示していたページのURLがラストURLとして記憶されます。ラストURLを利用すると、最後に表示したページに簡単に接続できます。

- URLが半角2000文字を超えるページは表示できない場合があります。メロディのダウンロード完了の画面など、ページによってはラストURLに記憶されない場合があります。

1 待受画面でを押す。

- 詳細メニューから（ｉモード）→[Internet]→[ラストURL]の順に選択することもできます。
- 最後に表示したページのURLが表示されます。

2 [接続]を押す。

関連操作

ラストURLを削除する＜削除＞
「最後に表示したページに再接続する ＜ラストURL＞」の操作１の画面で 1 ▶ [はい] ▶

ラストURLをブックマークに登録する＜Bookmark登録＞
「最後に表示したページに再接続する ＜ラストURL＞」の操作１の画面で 2 ▶ フォルダを選ぶ ▶ [OK] ▶

ラストURLをコピーする＜コピー＞
「最後に表示したページに再接続する ＜ラストURL＞」の操作１の画面で 3

関連操作のお知らせ

ブックマーク登録について
- ブックマークの登録方法については、P.205の操作１～２を参照してください。

コピーについて
- コピーは最大半角2000文字まで可能です。

文字サイズを変更する<文字サイズ設定>

サイトやインターネットホームページ、画面メモの文字サイズを設定できます。
お買い上げ時設定(標準)

1 待受画面で[i][7][3][2]を押し、文字サイズを選ぶ。

- 詳細メニューから[i](iモード)→[iモード設定]→[Internet設定]→[文字サイズ設定]の順に選択することもできます。

大きい文字	[1]
標準	[2]
小さい文字	[3]

文字サイズの種類

[大きい文字]に設定した場合

[標準]に設定した場合

[小さい文字]に設定した場合

お知らせ

- サイトによっては、[文字サイズ設定]を変更すると正しく表示されない場合があります。

メロディの再生音量を設定する<効果音設定>

サイトやインターネットホームページ、画面メモのメロディの再生音量を設定できます。
お買い上げ時設定(音量5)

1 待受画面で[i][7][3][7]を押す。

- 詳細メニューから[i](iモード)→[iモード設定]→[Internet設定]→[効果音設定]の順に選択することもできます。

2 [▲](上げる)/[▼](下げる)を押して音量を調節し、[■]を押す。

お知らせ

- サイトやインターネットホームページを表示中に[カメラ][7][5]で音量変更することができます。

サイトの見かたと操作

サイトやインターネットホームページでは、表示されている画面から他の画面に移動したり、情報をもう一度読み込むことができます。表示中のURLを確認したり、電話番号などを電話帳に登録することもできます。

Flash画像を表示する<Flash画像表示>

FOMA端末ではFlash画像を表示できます。Flashとは絵や音を利用したアニメーション技術です。Flash画像によりサイトの表現力がより豊かになります。また、Flash画像をデータBOXのマイピクチャに保存し、待受画面に設定することもできます。
(☞P.137、P.303)

1 **Flash画像のあるサイト(☞P.198の操作1～3)、インターネットホームページ(☞P.203)や保存している画面メモ(☞P.207)を表示する。**

- Flash画像が自動的に再生されます。

Flash画像内にリンクなどが設定されているとき	[▲][▼][■][0]～[9][＊][#]で、Flash画像内のリンクなどを選ぶことができます。 ● [⇕]が表示されていない場合でも、操作できることがあります。
Flash画像の効果音の音量を設定する(☞P.212)	Flash画像を表示中に[カメラ]→[表示/設定]→[■]→[効果音設定]→[■]→[▲](上げる)/[▼](下げる)
Flash画像を再び再生する	Flash画像を表示中に[カメラ]→[表示/設定]→[■]→[リトライ]→[■]

お知らせ

- 画像表示設定を[OFF]に設定しているときは、Flash画像は表示されません。
- 着信バイブレータを設定しても、Flash画像の効果音に合わせて振動することはありません。
- Flash画像を再生中に30秒以上操作しなかった場合は、一時停止します。再生を再開するには[■]を押します。(他のボタンでも再開できます。)
- 待受画面や発着信画面に設定されたFlash画像のメロディは再生されません。
- Flash画像によっては、画面メモとして保存しても、画像の一部が保存されないなど、サイトでの見えかたと異なる場合があります。
- 再生中にエラーが発生したFlash画像は保存できません。
- Flash画像によっては、再生中にFOMA端末を振動させるものがあります。バイブレータを[OFF]に設定していても振動しますので、ご注意ください。
- Flash画像によっては、端末情報データを利用するものがあります。お買い上げ時は、[利用する]に設定されています。(☞P.214)
- Flash画像が表示されていても、通常のサイト表示とは異なる動作をする場合があります。

お知らせ

- Flash画像の保存については、P.208の操作１～３を参照してください。

リンク先や項目を選択する

サイトやインターネットホームページでは、表示されている画面から、他の画面に移動できる場合があります。これを「リンク」といいます。リンク設定されている文字列は通常、青色で表示されます。選択されているリンクは、反転表示されます。

- リンクは画像に設定されていることもあります。選択すると、画像が実線で囲まれます。

リンクを選んで画面を移動する

リンク先へ

- を押すと、次のリンクが反転され、を押すと、前のリンクが反転表示されます。

番号をダイヤルボタンで指定して画面を移動する

選択できるリンクの先頭に[1]、[2]、[3]などの番号が付いていることがあります。先頭に付いている番号と同じダイヤルボタン（0～9、*、#）を押すと、移動できます。

リンク先へ

※ 一部ご利用になれないサイトやインターネットホームページもあります。

サイトやインターネットホームページ内の項目選択や文字入力

サイトやインターネットホームページ内で、次の方法で項目を選択したり、文字入力を行う場合があります。

名　称	表示例	内　容
ラジオボタン	○：非選択状態 ◉：選択状態	項目などの選択に使用します。１つの項目のみ選択できます。
チェックボックス	□：未選択状態 ☑：選択状態	項目などの選択に使用します。複数の項目を選択できます。
プルダウンメニュー	東　京 足立区 北　区	項目などの選択に使用します。プルダウンメニューを選ぶと、選択できる項目の一覧が表示されます。
テキストボックス	ID パスワード	文字を入力できます。文字入力画面で、サブメニューから「バーコードリーダー」を利用してJANコード／QRコードの文字情報を読み取ってテキストボックスに入力できます。（メロディと画像は入力できません。文字情報として表示されます。また、テキストボックスに入力できない文字を読み取っても表示されません。）

前のページに戻る／進む（キャッシュ、履歴について）

FOMA端末はサイトやインターネットホームページの画面と表示してきた経路を、最大10件記憶しています。これを「キャッシュ」といいます。通信を行わずにキャッシュとして記憶されたページをを押して、前のページ／次のページの表示ができます。Flash画像が表示されている場合は、表示動作が異なることがあります。

2つ前のページ　　現在表示しているページ

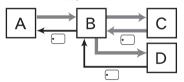
前のページに戻れることを示します。

次のページに進めることを示します。

１つ前のページ

次ページへ続く

● ⬚を押して前のページを表示したあとは、⬚を押して次のページを表示できます。
● キャッシュに記憶されたページを表示するときは、以前入力した文字や設定などの情報は表示されません。
● 履歴に10件記憶されている状態で、新たなページを表示すると、古い履歴から順に削除されます。
● ⬚を押して前、または次のページを表示するときに、キャッシュ内にそのページが残っていない場合や、FOMA端末のキャッシュサイズをオーバーしている場合、必ず最新情報を読み込むように設定(作成)されたサイトのページを表示する場合は、サイトからダウンロードして表示します。
● キャッシュに保存した画面を切り替えているとき、画面の表示に時間がかかることがあります。
● 履歴とキャッシュの情報は、iモードを終了するとリセットされます。
● ⬚を続けて押すと、これまで表示してきたページをさかのぼって表示できます。ただし、途中で⬚を押して前のページを表示させ(「C」から「B」に戻る)、そのページから他のページ(「D」)を表示させたときは、「D」から⬚を2回押しても「C」は表示されません。「B」→「A」の順で前のページを表示します。

〈画面「A」→「B」→「C」→「B」→「D」の順番でページを表示させたとき〉

… ページの表示の順
… 前のページを表示させたときの順番

情報を再読み込みする<再読み込み>

サイトやインターネットホームページの情報が正常に受信できなかったとき([⬚]が表示されたとき)などに、もう一度そのサイトやインターネットホームページに接続して、情報をもう一度読み込むことができます。
● この操作はサイトやインターネットホームページの情報のダウンロードが完全に終わってから行ってください。

1 サイト(☞**P.198**の操作1～3)やインターネットホームページ(☞**P.203**)を表示中に、⬚⬚[再読み込み]を押す。
● 再読み込みを開始します。
● 再読み込みを中止するときは、接続中([⬚]点滅)に、⬚[中止]を押します。

お知らせ
● 再読み込みを行っても、サイトやインターネットホームページの情報が正常に受信できない場合もあります。
● 画面メモは、再読み込みできません。

URLを参照する<URL表示>

表示中のサイトやインターネットホームページのURLを確認できます。
URLとは、「http://www.xxx.△△.jp」などで表示されるアドレスです。URLは最大半角2048文字(http://などを含む)まで表示できます。
● 表示したURLを編集することはできません。

1 サイト(☞**P.198**の操作1～3)やインターネットホームページ(☞**P.203**)を表示中に、⬚⬚⬚[**URL**表示]を押す。
● 画面メモ(☞P.207)のURLを表示するときは、画面メモ一覧画面で⬚⬚を押します。
● ブックマーク(☞P.204)のURLを表示するときは、ブックマーク一覧画面で⬚⬚を押します。

URLをコピーする	⬚
画面を上下にスクロールする	下:⬚　上:⬚

電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する<電話帳登録>

サイトやインターネットホームページで反転表示された電話番号やメールアドレスを、電話帳に登録できます。

1 サイト(☞**P.198**の操作1～3)やインターネットホームページ(☞**P.203**)を表示中に、電話番号やメールアドレスを選んで⬚⬚⬚[電話帳登録]を押し、登録方法を選ぶ。

FOMA端末(本体)電話帳に新規登録する	⬚1
FOMAカード電話帳に新規登録する	⬚2
電話帳に追加／上書き登録する	⬚3

● 電話帳入力画面に、選択した電話番号やメールアドレスが入力されています。電話帳登録の操作を続けます。(☞P.110)

お知らせ
● 画面メモで反転表示される電話番号やメールアドレスも、電話帳に登録できます。(☞P.208)
● 反転表示される電話番号やメールアドレスでも、電話帳に登録できないことがあります。

マイメニュー
マイメニューに登録する

i Menu、メニューリストの中のよく利用するサイトをマイメニューに登録すると、次回からそのサイトに簡単に接続できます。
● マイメニューは最大45件まで登録できます。マイメニューに登録できないサイトもあります。
● インターネットホームページは登録できません。簡単に接続するにはブックマークをご利用ください。(☞P.204)

マイメニューに登録する

1 登録したいサイトを表示(☞P.198の操作1～3)し、マイメニュー登録用のメニュー(例:[1マイメニュー登録])を選んで■を押す。

2 [iモードパスワード入力]の入力欄を選んで■を押し、iモードパスワード(4桁の数字)を入力して■を押す。

- 入力したパスワードは、[*]で表示されます。

3 [決定]を選んで■を押す。

お知らせ

- 各サイトによってページ構成が異なります。
- 有料サイトに申し込むと、自動的にマイメニューに登録されます。
- 詳しくは最新の『ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)』をご覧ください。

マイメニューに登録したサイトを表示する

1 待受画面でi 1[i Menu]を押し、[マイメニュー]を選んで■を押す。

2 サイトを選んで■を押す。

お知らせ

- デュアルネットワークサービスをご利用の方は、mova端末で登録したマイメニューをFOMA端末で、FOMA端末で登録したマイメニューをmova端末でご利用になれない場合があります。

iモードパスワード変更

iモードパスワードを変更する

マイメニューの登録／削除、メッセージR／Fやiモード有料サイトの申し込み／解約、メール設定を行うときには、4桁のiモードパスワード(☞P.156)が必要です。

- iモードパスワードの変更は、iモードをご契約後に可能となります。なお、iモードパスワードは他人に知られないよう十分にご注意ください。
- iモードパスワードをお忘れのときは、ご契約いただいたご本人であるかどうか確認できるもの(運転免許証など)をドコモショップ窓口にご持参いただき、iモードパスワードを[0000]にリセットさせていただきます。

お買い上げ時設定(0000)

1 待受画面でi 1を押し、[料金&お申込・設定]を選んで■を押し、[オプション設定]を選んで■を押す。

2 [iモードパスワード変更]を選んで■を押す。

3 [現在のパスワード]の入力欄を選んで■を押し、現在のiモードパスワード(4桁の数字)を入力して■を押す。

4 [新パスワード]の入力欄を選んで■を押し、新しいiモードパスワード(4桁の数字)を入力して■を押す。

5 [新パスワード確認]の入力欄を選んで■を押し、もう一度新しいiモードパスワード(4桁の数字)を入力して■を押す。

6 [決定]を選んで■を押す。

インターネット接続

インターネットホームページを表示する

インターネットホームページのアドレス(URL:http://などで始まるアドレス)を入力して、接続できます。

- iモードに対応していないインターネットホームページや、情報量の多いインターネットホームページは正しく表示されないことがあります。

1 待受画面でi 6 3を押す。

- 詳細メニューからi(iモード)→[Internet]→[URL入力]の順に選択することもできます。
- URLの入力画面が表示されます。(「http://」が入力されています。)
- 以前にURLを入力したことがある場合には、そのURLが表示されます。
- サイトやインターネットホームページ表示中に他のホームページに接続するときは、サイト表示中に📷 5 2を押します。

iモード／iモーション

iモードパスワード変更

次ページへ続く

2 URLを入力して■を押す。

- 最大半角512文字まで入力できます。(「http://」などを含む。)
- 表示中の操作はサイトの場合と同様です。

バーコードリーダーでURLを読み取るとき(☞P.188)	URLの入力画面で 📷 6 3
URLを間違えたとき	URLの入力画面で CLR ● 最後の一文字またはカーソルのあたっている文字が消えます。 ● すべての文字を消すときは、カーソルが最初の1文字、または最後の1文字の後にあるときに CLR を1秒以上押します。
接続を中止する	接続中([⟳]点滅)に i
接続を終了する	PWR→[はい]→■

お知らせ

- 文字が何も入力されていない状態で CLR を2回押すと、iモードメニューに戻ります。
- 受信したデータが、1ページの最大サイズを超えた場合、[最大サイズを超えたので中断しました]と表示され、受信を中断し取得したところまでのデータを表示します。

インターネットホームページを正しい文字で表示し直す<文字コード変換>

インターネットホームページの文字が正しく表示されないときは、正しい文字に変換して再表示します。

1 サイト(☞P.198の操作1〜3)やインターネットホームページ(☞P.203)を表示中に、📷 7 3 [文字コード変換]を押す。

- インターネットホームページを正しい文字に変換して再表示します。
- 正しく表示されないときは、同じ操作をくり返します。

お知らせ

- 正しく表示されているときに文字コードを変換すると、正しく表示できない場合があります。
- 文字コード変換をくり返しても、正しく表示できない場合があります。
- 文字コード変換を4回くり返すと、元の表示に戻ります。
- 正しい文字で表示し直したあと、ページの更新、進む、戻るなどの操作を行った場合、文字表示は元に戻ります。

URL履歴を使ってページを表示する<URL履歴>

FOMA端末には、iモードメニューの[Internet]から接続したインターネットホームページの履歴を最大9件まで記憶しています。
この履歴を利用して、インターネットホームページへ再接続できます。

1 待受画面で i 6 2 を押す。

- 詳細メニューから i(iモード)→[Internet]→[URL履歴]の順に選択することもできます。

2 URLを選んで■を押す。

お知らせ

- URL履歴が9件を超えたときは、古いものから順に自動的に上書きされます。

サイトやインターネットホームページ表示中に他のホームページに接続するとき

- 📷 5 1 を押すと、URL履歴一覧画面が表示されます。以降は操作2と同様です。

関連操作

URL履歴を削除する<1件削除>

1 「URL履歴を使ってページを表示する <URL履歴>」の操作1のURL履歴一覧画面で 📷 1
- すべてのURL履歴を削除するとき: 📷 2 ▶ 端末暗証番号(4〜8桁の数字)を入力 ▶ ■

2 [はい] ▶ ■

URL履歴のURLをすべて表示する<URL表示>

「URL履歴を使ってページを表示する <URL履歴>」の操作1のURL履歴一覧画面で 📷 3
- URLをコピーするとき: 📷

ブックマーク

サイトやホームページを登録してすばやく表示する

よく見るサイトやインターネットホームページのURLをブックマークに登録しておくと、すぐに見たいページを表示できます。

- フォルダを追加して、ブックマークを種類ごとに分けて管理できます。(☞P.206)
- 画像やメロディが保存されているサイトやインターネットホームページのURLをブックマークに登録したとき、サイトやインターネットホームページによってはブックマークから表示できない場合もあります。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

ブックマークに登録する

ブックマークはフォルダ全体で最大100件まで登録できます。

- 1件あたりのURLの文字数は、最大半角256文字までです。URLの文字数が256文字を超えるときは登録できません。

1 サイト（☞P.198の操作1～3）やインターネットホームページ（☞P.203）を表示中に、[📷][2][1]［Bookmark登録］を押す。

- タイトルまたはURLの先頭から全角12文字分（半角24文字分）までが登録されます。タイトルの文字数が全角12文字（半角24文字）を超えるときは、超えた部分が削除されて登録されます。タイトルがないときは、先頭から24文字のURLが登録されます。

すでにブックマークが100件登録されているとき	［Bookmarkがいっぱいです。他のBookmarkを上書きしますか？］→［はい］→[■]→フォルダを選ぶ→[■]→上書きするブックマークを選ぶ→[■]
すでに同じURLが登録されているとき	［同じURLが登録されています。上書きしますか？］→［はい］→[■] ● ［いいえ］を選択すると、サイトやインターネットホームページの表示画面に戻ります。
URLが長すぎるとき	［URLが長すぎて登録できません］と表示され、登録できません。

2 フォルダを選んで[■]を押し、登録する。

登録する	［OK］→[■]
タイトルを変えて登録する	［タイトル編集］→[■]→タイトルを編集→[■] ● 全角12文字（半角24文字）まで入力できます。
保存するフォルダを変更して登録する	［フォルダ変更］→[■]→フォルダを選ぶ→[■]→［OK］→[■]

お知らせ

- サイトやインターネットホームページ上で、ラジオボタン、チェックボックス、プルダウンメニューで選択したり、テキストボックスに入力した状態でブックマークに登録しても、選択した項目や入力した文字はブックマークに登録されません。
- サイトやインターネットホームページによっては、ブックマークに登録できない場合があります。

miniSDメモリーカードについて

- FOMA端末（本体）に登録したブックマークをminiSDメモリーカードにコピーしたり（☞P.326）、miniSDメモリーカード内のブックマークを表示（☞P.327）できます。
- miniSDメモリーカードに保存されているブックマークをFOMA端末（本体）にコピー（☞P.328）できます。
- miniSDメモリーカード内のブックマーク一覧画面では、iモードのブックマークとフルブラウザのブックマークが混在して表示されます。iモードのブックマークには［🔗］が、フルブラウザのブックマークには［🔗］が表示されます。

お知らせ

赤外線通信について

- FOMA端末（本体）のブックマークを赤外線通信で送受信できます。（☞P.337）

ブックマークに登録した内容は、別にメモを取るか、パソコンをお持ちの場合は**miniSD**メモリーカード（☞**P.323**）やデータリンクソフト（☞**P.426**）をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。

- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、登録してある内容が消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ブックマークからサイトやインターネットホームページを表示する

1 待受画面で[i][3]を押す。

- 詳細メニューから[i]（iモード）→［Bookmark］の順に選択することもできます。
- サイトやインターネットホームページ表示中にブックマークを利用するときは、サイト表示中に[📷][2][2]を押します。

Bookmarkフォルダ一覧画面

登録しているすべてのブックマーク一覧を表示する	[📷][3]［全Bookmark表示］
miniSDメモリーカード内のブックマークを利用する	[📷][6]［miniSDデータ参照］ ● 再びFOMA端末（本体）のブックマークを利用するときは、[CLR]を2回押します。

2 フォルダを選んで[■]を押し、ブックマークを選んで[■]を押す。

- ブックマークのURLを確認するときは、ブックマークを選んで[📷][3]を押します。
- ブックマークのURLをコピーするときは、ブックマークを選んで[📷][4]を押します。
- 接続を中止するときは、接続中（［⚡］点滅）に[i]［中止］を押します。

お知らせ

- Bookmark一覧は利用した順に表示されます。
- FOMA端末のBookmark一覧では、フルブラウザのブックマークは表示されません。
- コピーしたURLはメールやテキストメモの本文などに貼り付けることができます。

関連操作

光るワンタッチキーに登録したブックマークからサイトやインターネットホームページを表示する

待受画面で、ブックマークが登録されている

フォルダを管理する

ブックマークを最大20個([Bookmark]フォルダ含む)のフォルダに分けて管理できます。
作成したフォルダはフォルダ名を編集したり、削除できます。(ただし、あらかじめ登録されている[Bookmark]フォルダは、フォルダ名を編集したり、削除することはできません。)

フォルダを作成する＜フォルダ新規作成＞

1 Bookmarkフォルダ一覧画面(☞P.205)で📷 1 1［フォルダ新規作成］を押す。

2 フォルダ名を入力して■を押す。
- 「新しいフォルダ」名を削除するときは、CLR(1秒以上)を押します。

フォルダ名を編集する＜フォルダ名編集＞

1 Bookmarkフォルダ一覧画面(☞P.205)で、フォルダを選んで📷 1 2［フォルダ名編集］を押す。

2 フォルダ名を編集し、■を押す。
- フォルダ名を削除するときは、CLR(1秒以上)を押します。

お知らせ
- 最大全角9文字(半角18文字)まで入力できます。
- [Bookmark]フォルダ名は変更できません。

フォルダを削除する＜削除＞

1 Bookmarkフォルダ一覧画面(☞P.205)で、フォルダを選んで📷 2［削除］を押す。

2 削除方法を選ぶ。

フォルダを1件削除する	1→端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力→■→[はい]→■
複数のフォルダをまとめて削除する	2→端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力→■→フォルダを選ぶ■(くり返し可)→📷→[はい]→■ ● すべてを選択／解除する場合は、i[全選択]／i[全解除]を押します。
フォルダは残してフォルダ内に限らず、すべてのブックマークを削除する	3→端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力→■→[はい]→■

お知らせ
- [Bookmark]フォルダは削除できません。

ブックマークを管理する

ブックマークのタイトルを変更する＜タイトル編集＞

1 Bookmarkフォルダ一覧画面(☞P.205)で、フォルダを選んで■を押す。

2 ブックマークを選んで📷 1［タイトル編集］を押す。

3 タイトルを編集し、■を押す。
- タイトルを削除するときは、CLR(1秒以上)を押します。

お知らせ
- 最大全角12文字(半角24文字)まで入力できます。

ブックマークを別のフォルダに移動する＜移動＞

1 Bookmarkフォルダ一覧画面(☞P.205)で、フォルダを選んで■を押す。

2 ブックマークを選んで📷 5［移動］を押す。

3 移動方法を選ぶ。

ブックマークを1件移動する	1→フォルダを選ぶ→■
フォルダ内のすべてのブックマークを移動する	2→フォルダを選ぶ→■
複数のブックマークをまとめて移動する	3→ブックマークを選ぶ■(くり返し可)→📷→フォルダを選ぶ→■ ● すべてを選択／解除する場合は、i[全選択]／i[全解除]を押します。

ブックマークを削除する＜削除＞

1 Bookmarkフォルダ一覧画面(☞P.205)で、フォルダを選んで■を押す。

2 ブックマークを選んで📷 2［削除］を押す。

3 削除方法を選ぶ。

ブックマークを１件削除する	[1]→[はい]→[■]
フォルダ内のすべてのブックマークを削除する	[2]→端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力→[■]→[はい]→[■]
複数のブックマークをまとめて削除する	[3]→ブックマークを選ぶ[■]（くり返し可）→[📷]→[はい]→[■] ● すべてを選択／解除する場合は、[i][全選択]／[i][全解除]を押します。

画面メモ
サイトの内容を保存する

お好きなサイトやインターネットホームページの画面を、画面メモとして保存しておくことができます。

- 画面メモ内の画像を、データBOXのマイピクチャに保存し直すと待受画面に設定することもできます。（☞P.208）
- 画面メモは最大400件まで保存できます。保存できる最大件数はデータ量によって変わります。保存した画面メモのデータ量が大きいときは、保存できる最大件数は少なくなります。
- 保存できる容量分の保護設定ができます。保護した画面メモは、全削除時に削除されません。

画面メモを保存する

1 サイト（☞**P.198**の操作１～３）やインターネットホームページ（☞**P.203**）を表示中に、[📷][3][1][画面メモ保存]を押す。

- タイトルの全角12文字分（半角24文字分）までが登録されます。タイトルが設定されていないときは、[無題]と表示されます。
- 画面メモを保存するメモリの空き容量がない場合は、[画面メモがいっぱいです。上書きしますか？]と表示されます。
  [はい]を選択して上書きする画面メモを選択すると、保存確認の画面に進みます。また、保存する画面メモの容量が指定した画面メモよりも大きい場合、[容量が不十分です。他の画面メモを上書きしますか？]と表示されます。[はい]を選択して上書きする画面メモを選択します。選択した時点で、その画面メモは削除されます。
  [いいえ]を選択すると、サイトやインターネットホームページの表示画面に戻ります。

2 保存する。

保存する	[OK]→[■]
タイトルを変えて保存する	[タイトル編集]→[■]→タイトルを編集→[■] ● 全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

お知らせ

- **画像表示設定**を[OFF]に設定しているときは、画面メモに画像は保存されません。

お知らせ

- サイトやインターネットホームページ上で、ラジオボタン、チェックボックス、プルダウンメニューで選択したり、テキストボックスに入力した状態で画面メモを保存しても、選択した項目や入力した文字は画面メモに保存されません。
- 画面メモ保存時に、１件あたりの最大サイズ分(160Kバイト)の空き容量がない場合、[容量が不十分です。他の画面メモを上書きしますか？]が表示されます。

画面メモを表示する

1 待受画面で[i][5]を押す。

- 詳細メニューから[i]（ｉモード）→[画面メモ]の順に選択することもできます。

画面メモ一覧画面

▤（画面メモ）	通常の状態です。
▤（画面メモ）	保護されています。
▤（画面メモ）	FOMAカード動作制限（☞P.39）が設定されています。

2 画面メモを選んで[■]を押す。

画面を上下にスクロールする	下：[▽]　上：[△]
１画面単位でスクロールする	下：[▼][▼ページ] 上：[▲][▲ページ]
前後の画面メモを表示する	次：[▷]　前：[◁]
画面メモ一覧画面に戻るとき	[i][リスト]

お知らせ

- 画面メモに表示される情報は保存した時点の情報です。最新のサイトやインターネットホームページの情報と異なる場合があります。

関連操作

画面メモのURLを確認する<URL表示>
画面メモ表示画面で[📷][6][1]
- 画面メモ一覧画面から：画面メモを選ぶ▶[📷][4]
- URLをコピーするとき：URLが表示されている状態で[📷]

画面メモの詳細な情報を確認する<情報表示>
画面メモ表示画面で[📷][6][2]
- 画面メモ一覧画面から：画面メモを選ぶ▶[📷][5]
- 確認を終わるとき：[■]または[CLR]

画面メモ内の画像をデータBOXのマイピクチャに保存する<画像保存>
画面メモ表示画面で[📷][4][1]

画面メモのURLを記載したｉモードメールを作成する<メール作成>
画面メモ表示画面で[📷][5][1]

次ページへ続く▶▶

関連操作

画面メモ内の画像を添付したｉモードメールを作成する＜画像メール作成＞
　画面メモ表示画面で[メニュー][5][2]▶[●]▶[1][URL貼り付け]／[2][画像添付]

画面メモ内の電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する＜電話帳登録＞
　画面メモ表示画面で[メニュー][4][3]

画面メモ内のFlash画像の効果音量を調節するとき＜効果音設定＞
　画面メモ表示画面で[メニュー][6][6]▶[上](上げる)／[下](下げる)▶[●]

画面メモ内のFlash画像を再び再生する＜リトライ＞
　画面メモ表示画面で[メニュー][6][5]

関連操作のお知らせ

画像の取得について
- P.208を参照してください。

画像メール作成について
- ｉモードメール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは送信できません。
- P.211を参照してください。

電話帳登録について
- P.202の「電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する」を参照してください。

画面メモを管理する

画面メモを保護／削除したり、タイトルを変更できます。画面メモの情報を表示することもできます。

画面メモのタイトルを変更する＜タイトル編集＞

1 画面メモ一覧画面（☞P.207）で、画面メモを選んで[メニュー][2][タイトル編集]を押す。
- 画面メモ表示画面のときは、[メニュー][2]を押します。

2 タイトルを編集し、[●]を押す。
- タイトルを削除するときは、[CLR]（1秒以上）を押します。

お知らせ

- 最大全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

画面メモを保護する＜保護設定＞

1 画面メモ一覧画面（☞P.207）で、画面メモを選んで[メニュー][3][保護設定]を押す。
- 画面メモ表示画面のときは、[メニュー][3]を押します。

2 [ON]／[OFF]を選ぶ。

保護する	[1]
解除する	[2]

お知らせ

- 保護された画面メモには、[保護アイコン]が表示されます。

画面メモを削除する＜削除＞

1 画面メモ一覧画面（☞P.207）で、画面メモを選んで[メニュー][1][削除]を押す。
- 画面メモ表示画面のときは、[メニュー][1]を押します。

2 削除方法を選ぶ。

画面メモを1件削除する	[1]→[はい]→[●]
すべての画面メモを削除する	[2]→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→[●]→[はい]→[●]
複数の画面メモをまとめて削除する	[3]→画面メモを選ぶ[●]（くり返し可）→[メニュー]→[はい]→[●] ● すべてを選択／解除する場合は、[i][全選択]／[i][全解除]を押します。

お知らせ

- 全件削除では、保護されていない画面メモだけを削除します。

画像保存

サイトやメッセージから画像を取得する

サイト、インターネットホームページやメッセージR／Fのお好みの画像やFlash画像、フレームやスタンプを取得して保存できます。保存した画像は待受画面などに設定できます。（☞P.137）また、デコメールのテンプレートを提供しているサイトからデコメールテンプレートをダウンロードし、メール作成に利用することもできます。
- 保存した画像はデータBOXのマイピクチャの[ｉモード]、[アイテム]または作成したフォルダに保存できます。画像の種別やサイズによって、保存先として選択できるフォルダが変わります。デコメールテンプレートはメールメニューの[テンプレート]に保存されます。（☞P.234）
- 画像の保存件数は、FOMA端末（本体）に保存する場合は最大1000件です。メモリの使用状況によっては、少なくなることがあります。
- 保存できる画像のファイルサイズや種類は、GIF画像（100Kバイト）、JPEG画像（100Kバイト）、SWF画像（Flash）（100Kバイト）です。

例：サイトやインターネットホームページの場合

1 サイト（☞P.198の操作1～3）やインターネットホームページ（☞P.203）を表示中に、[メニュー][3][2][画像保存]を押す。

2 画像を選んで[●]を押し、フォルダを選んで[●]を押す。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.323）

3 ［はい］を選んで■を押し、設定先の画面を選んで■を押す。

- 画像のファイル形式によって、設定できる項目が異なります。設定できない項目は選択できません。
- 待受画面に設定するときは、［待受画面に設定しますか？］と表示されます。
  ［はい］を選んで■を押します。

お知らせ

- 保存したFlash画像は、サイトやインターネットホームページでの見えかたと異なる場合があります。
- ダウンロードした画像のサイズによっては、待受画面などに設定した場合、すべて表示できない場合があります。
- サイトやインターネットホームページ、メッセージR／Fやｉモードメールから画像を取得する場合は、メモリマークにご注意ください。メモリマークが表示されているときに、画像を取得すると上書き保存される場合があります。
  あらかじめ、データBOXの不要な画像を削除して、メモリマークの表示を消すことをおすすめします。（画面メモ保存はできます。）

M（黄色）	メモリの空き容量が1.2Mバイト未満になったときに表示されます。
M（赤色）	メモリの空き容量が100Kバイト未満になったときに表示されます。

関連操作

デコメールのテンプレートをダウンロードしてデコメールを作成する

1. サイトやインターネットホームページを表示中に、デコメールテンプレートを選ぶ▶■
2. 2［保存］を押す
   - プレビューするとき：1
   - 保存しないとき：4
3. 3［メール作成］▶メール作成

サイトや画面メモの背景画像を保存する

＜背景画像保存＞

1. サイトやインターネットホームページを表示中に、📷33
   - 画面メモのとき：画面メモ表示画面で📷42
2. フォルダを選ぶ▶■

関連操作のお知らせ

デコメールテンプレートについて

- テンプレートを保存しないと、メール作成を選択できません。
- メモリの空き容量がない場合は、テンプレートを保存できません。不要なファイルを選択削除し、メモリの空き容量を増やしてから保存してください。（☞P.334）

iメロディ

サイトからｉメロディをダウンロードする

サイトやインターネットホームページからメロディをダウンロードして保存できます。ｉメロディは最大500件まで保存できます。（メロディのサイズによって、保存できる件数が変わります。）
保存したメロディは着信音に設定したり、ｉモードメールに添付したりできます。

- 保存できるメロディのファイルサイズや種類は、SMF（100Kバイト）、MFi（100Kバイト）です。

1 サイト（☞**P.198**の操作１～３）やインターネットホームページ（☞**P.203**）を表示中に、メロディを選んで■を押す。

- ダウンロードが終了すると、［完了しました］と表示されます。
- ダウンロードを中止するときは、ダウンロード中に■またはCLRを押します。

2 保存する。

メロディを保存する	2
メロディを再生する	1 ● 再生を中止するときは、■またはCLRを押します。 ● 音声電話着信音（☞P.130）の音量で再生されます。音声電話着信音が［サイレント］、［ステップトーン］のときは、［音量１］で再生されます。
保存しない	3
すでにメロディが500件保存されているとき	上書きするメロディのメロディマークを選ぶ→■→［はい］→■

お知らせ

登録したｉメロディは、パソコンをお持ちの場合は、**miniSD**メモリーカード（☞**P.323**）を利用してパソコンに転送・保管することをおすすめします。

- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、登録してある内容が消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
  （ｉモードメール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されているメロディは転送できません。）

アイコン一括ダウンロード
サイトからアイコンを一括でダウンロードする

iアプリのソフト実行中に、詳細メニュー用のアイコン画像9個と背景画像1枚を一括してサイトからダウンロードし、保存できます。保存した画像はテーマ設定(☞P.145)で利用できます。

- アイコン・背景画像の一括ダウンロードに対応したソフトは、i Menu内のサイト[SH-MODE]からダウンロードできます。
  [i Menu]→[メニュー／検索]→[ケータイ電話メーカー]→[SH-MODE]

サイト接続用QRコード

1 アイコン一括ダウンロードに対応したiアプリのソフト実行中にアイコン一括画像を選んで■を押す。

- ダウンロードが終了すると、保存画面が表示されます。

2 保存する。

保存する	[はい]→フォルダを選ぶ→■
保存しない	[いいえ]→■
画像を確認する	[画像確認]→■ ● 元の画面に戻るときは■を押します。

ダウンロード辞書
サイトから辞書をダウンロードする

サイトやインターネットホームページからダウンロード辞書をダウンロードし、FOMA端末に登録して利用できます。

- ダウンロード辞書ファイルは最大10件まで登録できます。(ただし、使用できる辞書は最大5件です。)
- 保存できるダウンロード辞書のファイルサイズは、最大6Kバイトです。
- FOMA端末で利用できるダウンロード辞書はi Menu内のサイト[SH-MODE]からダウンロードできます。
  [i Menu]→[メニュー／検索]→[ケータイ電話メーカー]→[SH-MODE]

サイト接続用QRコード

1 サイト(☞**P.198**の操作1～3)やインターネットホームページ(☞**P.203**)を表示中に、ダウンロード辞書を選んで■を押す。

- ダウンロードが終了すると、[完了しました]と表示されます。

2 保存する。

ダウンロード辞書を表示する	1
ダウンロード辞書を保存する	2→登録先番号を選ぶ→■ ● すでに登録されている番号を選んだときは、上書きするかどうかを確認する旨のメッセージが表示されます。[はい]を選んで■を押します。
ダウンロード辞書を保存しない	3

3 辞書の使用を設定する。

ダウンロード辞書を使用する	[はい]→■
ダウンロード辞書を使用しない	[いいえ]→■

- すでに使用辞書設定に5件登録されているときは、使用辞書登録の確認画面は表示されません。現在設定されている辞書を解除してから、やり直してください。解除方法については、P.401「使用辞書を設定／解除する」の操作1～2を参照してください。

キャラ電ダウンロード
サイトからキャラ電をダウンロードする

サイトやインターネットホームページからキャラ電をダウンロードし、FOMA端末に保存できます。

- ダウンロードできるキャラ電は最大100Kバイトです。
- キャラ電は最大50件まで保存できます。(メモリの使用状況によっては、少なくなることがあります。)
- ダウンロードしたキャラ電は、データBOXのキャラ電の[iモード]フォルダに保存されます。
- お買い上げ時に登録されているキャラ電は、i Menu内のサイト[SH-MODE]からダウンロードできます。
  [i Menu]→[メニュー／検索]→[ケータイ電話メーカー]→[SH-MODE]

サイト接続用QRコード

1 サイト(☞**P.198**の操作1～3)やインターネットホームページ(☞**P.203**)を表示中に、キャラ電を選んで■を押す。

- ダウンロードが終了すると、[完了しました]と表示されます。

2 保存する。

データを表示する	1 ● キャラ電プレーヤが表示されます。
データを保存する	2
データを保存しない	3

トルカダウンロード

サイトからトルカをダウンロードする

1 サイト(☞P.198の操作1～3)やインターネットホームページ(☞P.203)を表示中に、トルカを選んで■を押す。
- ダウンロードが終了すると、[完了しました]と表示されます。
- ダウンロードを中止するときは、ダウンロード中に■または[CLR]を押します。
- サイトからダウンロードできるトルカは最大1Kバイト、トルカ(詳細)は最大100Kバイトです。

2 保存する。

トルカを保存する	[はい]→■
トルカを保存しない	[いいえ]→■
プレビュー画面を表示する	[プレビュー]→■

Phone To(AV Phone To)・Mail To・Web To機能

Phone To(AV Phone To)・Mail To・Web To機能を使う

サイト、インターネットホームページ、メッセージR/F、メールやトルカ内で反転表示された情報(電話番号、メールアドレス、URLなど)を利用して、簡単な操作で電話をかけたり、メールを送信したり、インターネットホームページを表示できます。
- パソコンなどから装飾されたメールを受信すると、Phone To(AV Phone To)、Mail To、Web To機能が使用できない場合があります。

Phone To(AV Phone To)機能を使う

サイト、インターネットホームページ、メッセージR/F、メールやトルカの中に表示されている電話番号に、音声電話やテレビ電話をかけることができます。
- 一部ご利用になれないサイトやインターネットホームページがあります。
- ダイヤル発信制限中は、Phone To(AV Phone To)機能を使って電話をかけることはできません。

1 サイト(☞P.198の操作1～3)、インターネットホームページ(☞P.203)、メッセージR/F(☞P.216)、メール(☞P.244)やトルカ(☞P.287)を表示中に、電話番号を選んで■を押し、[はい]を選んで■を押す。

2 電話をかける。

音声電話をかける	[発信]/■
テレビ電話をかける	[テレビ電話]
プッシュトークをかける	[メール]/[PTT]([PTT])

- 電話帳に登録されている電話番号の場合、電話番号と登録されている名前が表示されます。

お知らせ
- サイトやインターネットホームページの場合、電話番号自体は表示されず、[電話番号はこちら]などの文字が反転表示されることがあります。
- メールの本文中に次の条件を満たす数字列が表示されている場合は、電話番号として認識されてPhone To(AV Phone To)機能を利用できます。
  - ■[0]または[+]で始まる[0]と[+]を含めて10～26桁の数字列
  - ■[#]または[¥]で始まる[#]と[¥]を含めて5～26桁の数字列
  - ■「tel:」または「TEL:」で始まる3～26桁の数字列
  - ■「tel-av:」または「TEL-AV:」で始まる3～26桁の数字列(テレビ電話)
  - ※上記の数字列内に「-」(ハイフン)、「(」、「)」が含まれているときも、電話番号として認識されます。(ただし、これらの記号が連続した場合は、連続した記号の前までが、電話番号として認識されます。)

Mail To機能を使う

サイト、インターネットホームページ、メッセージR/F、メールやトルカ内に表示されているメールアドレスに、iモードメールを送ることができます。
- 一部ご利用になれないサイトやインターネットホームページがあります。
- メールアドレスが2つ以上続けて表示されているときは、Mail To機能をご利用できない場合があります。
- メールアドレスとして使える文字数は半角50文字までです。51文字以上のアドレスを選択した場合は、50文字で削除されます。
- ダイヤル発信制限中は、Mail To機能を使ってiモードメールを送ることはできません。

1 サイト(☞P.198の操作1～3)、インターネットホームページ(☞P.203)、メッセージR/F(☞P.216)、メール(☞P.244)やトルカ(☞P.287)を表示中に、メールアドレスを選んで■を押す。
- メール作成画面が表示されます。選択したメールアドレスが入力されています。
- サイトやインターネットホームページから操作したときは、題名や本文が入力されていることもあります。

2 iモードメールを作成し、送信する。
- 詳しくは、P.229の操作2～4を参照してください。

お知らせ
- サイトやインターネットホームページの場合、メールアドレス自体は表示されず、[メールはこちら]などの文字が反転表示されることがあります。

画像メールを作成する

サイトやインターネットホームページで表示されている画像のURLを貼り付けた、iモードメールを作成します。
- 画像を添付したiモードメールを作成することもできます。

次ページへ続く

1 サイト(☞P.198の操作1～3)やインターネットホームページ(☞P.203)を表示中に、[📷][4][2][画像メール作成]を押す。

2 画像を選んで[■]を押し、メールの作成方法を選ぶ。

メール作成
1 URL貼り付け
2 画像添付

URLを貼り付けたｉモードメールを作成する	[1]
画像を添付したｉモードメールを作成する	[2]→[■]

3 ｉモードメールを作成し、送信する。
- 詳しくは、P.229の操作2～4を参照してください。

お知らせ
- 送信できるのは、GIF形式またはJPEG形式の画像ファイルです。Flash画像は送信できません。
- ｉモードメール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは送信できません。

ｉアプリTo機能を使う

サイト、インターネットホームページ、メールや画面メモの中に表示されているURLから、ｉアプリを起動します。
- ｉアプリTo設定が[許可する]に設定されているときに、ｉアプリを起動できます。
- URLが半角512文字を超える場合は、ｉアプリを起動できません。

1 サイト(☞P.198の操作1～3)、インターネットホームページ(☞P.203)、メール(☞P.244)や画面メモ(☞P.207)を表示中に、ｉアプリのアドレス(URL)を選んで[■]を押し、[はい]を選んで[■]を押す。
- ｉアプリを起動します。

Web To機能を使う

サイト、インターネットホームページ、メッセージR／F、メール、トルカ内に表示されているURLからｉモード接続でインターネットホームページを表示できます。ｉモードメールの場合は、フルブラウザ接続することもできます。
- メール本文に静止画のURLが記載されているときは、静止画を保存することもできます。
- メール本文にｉモーションのURLが記載されているときは、ｉモーションを取得することができます。
- 一部ご利用になれないサイトやインターネットホームページがあります。
- URLが半角2048文字を超える場合は、インターネットホームページを表示できません。

1 サイト(☞P.198の操作1～3)、インターネットホームページ(☞P.203)、メッセージR／F(☞P.216)、メール(☞P.244)やトルカ(☞P.287)を表示中に、アドレス(URL)を選んで[■]を押す。
- 以降は、ｉモードのインターネット接続と同様です。(☞P.198)
- トルカ表示中は上記の手順に加えて、[はい]を選んで[■]を押します。

ｉモードメール表示中にWebTo機能を使う

メール本文のURLを選択したときは、ｉモード接続とフルブラウザ接続を選択できます。

1 ｉモードメール本文のアドレス(URL)を選んで[■]を押し、接続方法を選ぶ。

ｉモード接続する	[ｉ]
フルブラウザ接続する	[文字]

お知らせ
- サイトやインターネットホームページの場合、URL自体は表示されず、インターネットホームページの名称などの文字が反転表示されることがあります。

関連操作

メール本文のURLから静止画を保存する
＜画像保存＞
URL▶[■]▶[ｉ]▶[📷][3][2]▶[■]▶フォルダを選ぶ▶[■]

関連操作のお知らせ
- 保存した静止画は、データBOXのマイピクチャの[ｉモード]フォルダに保存できます。

ｉモードの設定を行う

ｉモード接続に関する各種の機能を設定します。

Flash画像の効果音量を調節する ＜効果音設定＞

Flash画像の効果音量を設定できます。
お買い上げ時設定(音量5)

1 サイト(☞P.198の操作1～3)やインターネットホームページ(☞P.203)を表示中に、[📷][7][5][効果音設定]を押す。
- 待受画面で[ｉ][7][3][7]を押しても操作できます。

2 (上げる)／(下げる)を押して音量を調節し、■を押す。

- 効果音を鳴らさないときは、[サイレント]を選んで■を押します。

お知らせ

- マナーモード設定中は、効果音を設定しても効果音は鳴りません。
- Flashによっては効果音の鳴らないものもあります。

接続待ち時間を設定する ＜接続待ち時間設定＞

サイトやインターネットホームページが混み合っていてデータの送受信ができなかったときに、自動的にデータの送受信を中止するまでの時間を[60秒間]、[90秒間]、[無制限(設定なし)]のいずれかに設定できます。

お買い上げ時設定(60秒間)

1 待受画面で i 7 1 1 を押し、接続待ち時間を選ぶ。

- 詳細メニューからi(iモード)→[iモード設定]→[共通設定]→[接続待ち時間設定]の順に選択することもできます。

60秒間	1
90秒間	2
無制限(設定なし)	3 ● iモードセンターとの切断時間を設定しません。(ただし、電波状況などにより切断される場合があります。)

お知らせ

- 設定されている接続待ち時間が経過した場合、[設定時間内に接続できませんでした]と表示され、元の画面に戻ります。

iモードから接続先を変更する(ISP接続通信)＜iモード接続先選択＞

※ ドコモのiモードサービスをご利用の場合、設定を変更する必要はありません。

ISP接続通信とは

ドコモのFOMA端末の接続先を切り替えることで、各種プロバイダ(ISP)への接続が可能になります。ISP接続通信のご利用に際しては、パケット通信サービスのお申し込みが必要です。なお、ISP接続通信にはパケット通信料がかかります。

※iモードをご契約しているお客様はお申し込み不要です。

- ドコモ以外の接続先を選択した際のパケット通信はパケ・ホーダイの対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。

プロバイダ契約について

- ISP接続通信をご利用いただくには、別途プロバイダへのお申し込みが必要です。各プロバイダのサービス内容(サイト接続、インターネット接続、メール機能など)、お申し込み方法については、各プロバイダにお問い合わせください。
- プロバイダが提供するサービス内容によっては、別途情報料などがかかる場合があります。
- お客様が閲覧されるサイトによっては、お客様が実際に閲覧されるサイトを提供するプロバイダにお客様の電話番号や位置情報が通知される場合があります。
- 本FOMA端末に登録できる接続先は、最大10件です。(「iモード(FOMAカード)」を含まず)
- 「iモード(FOMAカード)」以外の接続先にすると、iモードをご利用できなくなります。

接続先を登録する

最大10件(「iモード(FOMAカード)」を含まず)まで登録できます。

1 待受画面で i 7 1 2 を押す。

- 詳細メニューからi(iモード)→[iモード設定]→[共通設定]→[接続先選択]の順に選択することもできます。

2 登録する番号を選んで■を押し、2[編集]を押す。

3 端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力して■を押す。

4 接続先名称を入力して■を押す。

- 新規登録のときは[接続先○]と表示されます。(○には操作2で選択した接続先の番号が表示されます。)
- 表示されている接続先名称を消すときは、CLRを1秒以上押します。
- 最大全角8文字(半角16文字)まで入力できます。

5 接続先番号を入力して■を押す。

- 半角英数字と記号を、最大半角99文字まで入力できます。

6 接続先アドレスを入力して■を押す。

- 半角英数字と記号を、最大半角30文字まで入力できます。

7 iチャネルの接続先アドレスを入力して■を押す。

- 半角英数字と記号を、最大半角30文字まで入力できます。

接続先を変更する

あらかじめ、接続先を登録しておく必要があります。

1 待受画面で i 7 1 2 を押す。

2 接続先の番号を選んで■を押し、1[設定]を押す。

- [iモード(FOMAカード)]を選んで■を押した場合は、[iモード(FOMAカード)を選択しました]と表示され、接続先が変更されます。

お知らせ

- ドコモのiモードサービスをご利用の場合、設定を変更する必要はありません。
- お買い上げ時の接続の情報を変更することはできません。

次ページへ続く

関連操作

登録内容をリセットする<リセット>

「接続先を登録する」の操作1の画面で、接続先の番号を選ぶ▶[■]▶[3]▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶[■]

関連操作のお知らせ

- 現在設定されている接続先をリセットすると、接続先は「iモード（FOMAカード）」になります。

Flash再生時に端末情報を利用するかどうかを設定する<端末情報データ利用設定>

お買い上げ時設定（利用する）

1 待受画面で[i][7][3][6]を押し、[1][利用する]を押す。

- 詳細メニューから[i]（iモード）→[iモード設定]→[Internet設定]→[端末情報データ利用設定]の順に選択することもできます。

画像を表示しないようにする<画像表示設定>

サイトやインターネットホームページ、メッセージR／F本文内の画像や画面メモの画像を表示しないように設定できます。

お買い上げ時設定（ON（表示する））

1 待受画面で[i][7][3][1]を押し、[2][OFF]を押す。

- 詳細メニューから[i]（iモード）→[iモード設定]→[Internet設定]→[画像表示設定]の順に選択することもできます。
- サイト表示中に[◎][7][6]を押しても操作できます。

お知らせ

- 画像表示設定を、[OFF]に設定すると、画像の表示位置に[🔍]が表示されます。
  この場合、表示されている[🔍]を画面メモに登録しても、画像は保存されません。（☞P.207）
- 画像表示設定を、[OFF]に設定すると、Flash画像も表示されません。
- iモードメールやメッセージR／Fの添付画像は、画像表示設定を[OFF]に設定していても表示されます。

iモード通信中にプッシュトーク着信を受けるかどうかを設定する<iモード通信中着信設定>

iモード中にプッシュトーク着信を受けないように設定できます。

お買い上げ時設定（プッシュトーク着信優先）

1 待受画面で[i][7][4]を押し、[2][iモード 優先]を押す。

- 詳細メニューから[i]（iモード）→[iモード設定]→[iモード通信中着信設定]の順に選択することもできます。

iモード機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す<iモード設定リセット>

iモードに関する設定をお買い上げ時の状態に戻します。リセットされる項目と、お買い上げ時の状態は次のとおりです。

設定項目			お買い上げ時の設定
共通設定	接続待ち時間設定		60秒間
	接続先選択		iモード（FOMAカード）
Internet設定	画像表示設定		ON
	文字サイズ設定		標準
	証明書設定		ドコモ証明書1～2、ユーザ証明書、CA証明書すべて有効
	iモーション設定	自動再生設定	する
		iモーションタイプ設定	標準タイプ
	セキュア通信サービス設定	センター接続先設定	ドコモ
	端末情報データ利用設定		利用する
	効果音設定		音量5
iモード通信中着信設定			プッシュトーク着信優先

1 待受画面で[i][7][5]を押し、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力して[■]を押す。

- 詳細メニューから[i]（iモード）→[iモード設定]→[iモード設定リセット]の順に選択することもできます。

2 [はい]を選んで[■]を押す。

メッセージR／F

メッセージR／Fとは

メッセージサービスを提供するサイトに申し込みいただくことにより、欲しい情報（メッセージ）が自動的にお客様のFOMA端末に届くサービスです。メッセージにはメッセージR（リクエスト）とメッセージF（フリー）があります。

メッセージR（リクエスト）	メッセージサービスを提供するサイトでお申し込みいただくと欲しい情報が自動的に届けられるメッセージです。
メッセージF（フリー）	パケット通信料無料で届けられるメッセージです。

- メッセージR／Fの受信方法は「メッセージR／Fを受信したときは」（☞P.215）を参照してください。
- 圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどで受信できないときは、メッセージR／FはiモードセンターIに保管されます。

メッセージF（フリー）の設定方法

［iMenu］→［料金＆お申込・設定］→［オプション設定］→［メッセージF設定］→［受信する］を選択後、iモードパスワード（4桁の数字）を入力し［決定］

メッセージR／F受信

メッセージR／Fを受信したときは

FOMA端末がiモード圏内にあるときは、iモードセンターからメッセージR／Fを自動的に受信します。

- メッセージR／Fは、それぞれ最大50件までFOMA端末に保存できます。（メッセージのサイズによって、保存できる件数が変わります。）
- FOMA端末が以下のようなときに送られてきたメッセージR／Fは、iモードセンターに保管されます。
  - ■ 電源が入っていないとき
  - ■ セルフモード中
  - ■ おまかせロック中
  - ■ 圏外
  - ■ テレビ電話の通話中
  - ■ プッシュトーク通信中
  - ■ 赤外線通信中
  - ■ FirstPassセンター接続中
  - ■ 保護や未読のメッセージR／Fがいっぱいで空き容量がないとき

お知らせ

マークの意味

マーク	意　味
R／F	未読メッセージR／Fがあります。 メッセージR／Fの確認については、P.216を参照してください。
R／F	FOMA端末の受信メッセージR／Fがいっぱいです。 未読メッセージの確認（☞P.216）、メッセージR／Fの保護解除（☞P.217）、不要なメッセージR／Fの削除（☞P.218）を行ってください。
R／F	センターでメッセージR／Fをお預かりしています。 メッセージR／Fを受信したいときは、iモード問い合わせ（☞P.216）を行ってください。
R／F	センターでお預かりしているメッセージR／Fがいっぱいです。 iモード問い合わせ（☞P.216）を行ってください。

RRRR：リクエスト、FFFF：フリーの意味です。

- メッセージR／Fを受信したときに、メモリの空き容量がない場合、保護されていない一番古い既読のメッセージR／Fから順に自動的に上書きされます。上書きされたくないメッセージR／Fを保護できます。（☞P.217）
- iモードセンターでメッセージR／Fが保存されていても、［R］／［F］、［R］／［F］が表示されない場合があります。
- ［R］／［F］が表示された場合、iモードセンターのメッセージR／Fが上書きされることがあります。
- 通話中、iアプリ実行中、カメラ起動中にメッセージを受信した場合、メッセージ着信音は鳴りません。

新着メッセージR／Fを表示する

メッセージR／Fが届くと、最新の1件が自動的に表示されます。
ただし、メッセージ自動表示設定を［自動表示なし］に設定している場合、受信したメッセージR／Fは表示されません。

- 自動表示を行うメッセージの種類や、別の種類のメッセージR／Fを同時に受信したときの優先順位を設定できます。

1 メッセージR／Fが届くと自動的に受信する。

- メッセージR受信中は［R］が、メッセージF受信中は［F］が点滅します。
- 受信終了後、メッセージR／Fの受信結果が表示され、メッセージ着信音が鳴ります。（［R］／［F］表示）

すぐにメッセージR／Fの内容を確認する	受信結果画面で［メッセージR］／［メッセージF］を選ぶ→●→メッセージR／Fを選ぶ→●
着信音を止める	CLRまたは ● 着信音が止まり、受信結果画面が消えます。□を押すと、受信結果画面のまま着信音が止まります。

2 受信したメッセージR／Fを約15秒間表示し、自動的に待受画面に戻る。（自動表示するように設定している場合）

- メッセージR／Fの表示を続けるときは、メッセージR／Fを表示中に□を押して、スクロールなどの操作を行います。

メッセージR／Fを自動的に表示する <メッセージ自動表示設定>

自動表示を行うメッセージの種類と、優先順位を設定できます。
お買い上げ時設定（メッセージR優先）

1 待受画面で□□2 7を押し、表示方法を選ぶ。

- 詳細メニューから（メール）→［メール設定］→［メッセージ自動表示設定］の順に選択することもできます。

メッセージR優先	1	未読のメッセージR、メッセージFを同時に受信したときに、メッセージRを自動表示します。
メッセージF優先	2	未読のメッセージR、メッセージFを同時に受信したときに、メッセージFを自動表示します。
メッセージRのみ	3	未読のメッセージRのみ自動表示します。
メッセージFのみ	4	未読のメッセージFのみ自動表示します。
自動表示なし	5	自動表示しません。

次ページへ続く

お知らせ

- 自動表示を行うように設定しているときは、次の場合に最新の未読メッセージR／Fを約15秒間表示します。
  - ■ 受信結果画面から待受画面に戻るとき
- 次の場合は、メッセージ自動表示の設定にかかわらず、自動表示されません。
  - ■ オールロック中
  - ■ メールのPIMロック中
  - ■ おまかせロック中

iモード問い合わせ

メッセージR／Fがあるかどうかを問い合わせる

圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなど(☞P.215)に送られてきたメッセージR／Fは
iモードセンターに保管されています。
iモードセンターに問い合わせて受信できます。

- iモード問い合わせを行う種類(iモードメール、メッセージR／F)を設定できます。(☞P.254)
- メール選択受信設定を[ON]に設定しているときも、iモード問い合わせをすると、iモードメールやメッセージR／Fを受信します。
- お買い上げ時は、すべての種類の問い合わせをするように設定されています。
- SMSの問い合わせについては、P.261を参照してください。

1 待受画面で[i][4]または[✉][7]を押す。

- 詳細メニューから[i](iモード)または[✉](メール)→[iモード問い合わせ]の順に選択することもできます。
- 待受画面で[✉]を2回押しても問い合わせできます。
- iモード問い合わせ設定(☞P.254)の設定に従い、[iモードメール]→[メッセージR]→[メッセージF]の順でiモード問い合わせを行います。(問い合わせをしているマーク([✉]、[R]、[F])が順次表示されます。)
- 受信を中止するときは、受信中に[●]を押します。
- 受信を中止したメッセージR／Fは、iモードセンターに保管されます。([R]／[F]表示)
- 受信を中止するタイミングにより、メッセージR／Fを受信してしまう場合もあります。

2 新しく届いたメッセージR／Fがある場合は、メッセージR／F着信音が鳴る。

- センターにメッセージR／Fが保管されていないときは、件数が[0]と表示されます。
- iモードメールとメッセージR／Fを同時に受信した場合は、最後に受信したメールまたはメッセージR／Fに設定されている着信音が鳴ります。
- 着信音を途中で止めるときは、[CLR]を押します。他のボタンでも止めることができます。(☞P.239)

3 受信結果画面で[メッセージR]または[メッセージF]を選んで[●]を押す。

- すぐに表示しないときは、受信結果画面で、何も操作せずにそのままにしておくと、約30秒後に待受画面に戻ります。
- iモード問い合わせで受信したメッセージR／Fは、自動表示されません。

4 表示したいメッセージR／Fを選んで[●]を押す。

メッセージR／F表示

メッセージBOXのメッセージR／Fを表示する

1 待受画面で[i][2]を押し、メッセージR／Fを選ぶ。

- 詳細メニューから[i](iモード)→[メッセージ]の順に選択することもできます。

メッセージRを表示する	[1]→メッセージRを選ぶ→[●]
メッセージFを表示する	[2]→メッセージFを選ぶ→[●]

メッセージ一覧画面／表示画面の見かた

■ メッセージ一覧画面の見かた

1 未読／保護マーク
[R]／[F]：未読メッセージR／F
[R]／[F]：保護されていない既読メッセージR／F
[R]／[F]：保護されている既読メッセージR／F
2 メッセージR／F一覧画面のページ番号／総ページ数
3 メロディ／画像／トルカの有無
メロディ／画像／トルカが添付されているメッセージには、[♪]／[画像(青色)]または[JPG(青色)]／[トルカ]が表示されます。
4 題名
メッセージR／Fの題名が表示されます。
5 受信日時
当日の場合は時間、当日以外の場合は日付が表示されます。

iモード／iモーション　iモード問い合わせ

メッセージ表示画面の見かた

1 メッセージの種別
2 保護マーク
保護されているときに表示されます。
（メッセージFでは[ ]が表示されます。）
3 メッセージ番号
4 受信日時
5 題名
6 本文
文末には[-END-]が表示されます。
7 画面操作

画面を上下にスクロールする	下: 上:
1画面単位でスクロールする	下: 上:
前後のメッセージ内容を表示する	次: 前:

- メッセージR／Fにメロディが添付されているときは、本文の上の行に[ ]とメロディのタイトルが表示されます。
- メロディ自動再生を[自動再生する]に設定しているときは、メロディが自動演奏されます。
- メッセージR／Fに画像が添付されているときは、本文の上に画像と種別マーク、ファイル名が表示されます。

関連操作

メッセージR／F内の電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する＜電話帳登録＞

メッセージ表示画面で 5

関連操作のお知らせ

- 以降の操作については、P.202「電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する＜電話帳登録＞」を参照してください。

添付ファイルを確認・保存する ＜添付ファイル確認＞

メッセージR／Fに添付されている画像やメロディファイルを、確認・保存することができます。画像はデータBOXのマイピクチャの[ｉモード]、メロディはデータBOXのメロディの[ｉモード]フォルダに保存されます。

1 メッセージ一覧画面（☞P.216）で、メッセージR／Fを選んで を押し、 2 [添付ファイル確認]を押す。

2 添付ファイルを選んで確認する。

添付ファイルを確認する	
添付ファイルを保存する	→[はい]→

挿入された画像を確認・保存する ＜本文中画像確認＞

メッセージR／Fの本文に挿入されているGIF画像・JPEG画像や、背景画像を確認・保存することができます。

- 画像は、データBOXのマイピクチャの[ｉモード]フォルダに保存されます。

1 メッセージ一覧画面（☞P.216）で、メッセージR／Fを選んで を押し、 3 [本文中画像確認]を押す。

2 画像を選んで確認する。

画像を確認する	
画像を保存する	→[はい]→

お知らせ

- 添付された画像については、添付ファイル確認で確認・保存を行ってください。

メッセージR／Fを管理する

メッセージR／Fを上書きできないように保護したり、削除できます。

メッセージR／Fを保護する＜保護設定＞

受信したメッセージR／Fを保護したり、保護されているメッセージR／Fの保護を解除できます。保護すると上書きできません。

- 保存するメモリの空き容量がない場合、すでに読んだ同じ種類のメッセージのうち、古いものから順に自動的に削除されます。
- メッセージR／Fはそれぞれ25件まで保護できます。（ただし、メッセージのサイズによって、保護できる件数が少なくなります。）

1 メッセージ一覧画面（☞P.216）またはメッセージ表示画面（☞P.217）で、メッセージR／Fを選んで 1 [保護設定]を押す。

2 [ON]／[OFF]を選ぶ。

保護する	1
解除する	2

■ メッセージR／Fを削除する<削除>

1 メッセージ一覧画面（☞P.216）で、メッセージR／Fを選んで[MENU][2][削除]を押す。

- メッセージ表示画面から削除するときは、メッセージ表示画面で[MENU][4]を押し、[はい]を選んで[●]を押します。

2 削除方法を選ぶ。

メッセージR／Fを1件削除する	[1]→[はい]→[●]
複数のメッセージR／Fをまとめて削除する	[2]→メッセージR／Fを選ぶ[●]（くり返し可）→[MENU]→[はい]→[●] ● すべてを選択／解除する場合は、[i][全選択]／[i][全解除]を押します。
すべてのメッセージR／Fを削除する	[3]→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→[●]→[はい]→[●]

SSL証明書を操作する

CA証明書の有効／無効を設定する <CA証明書設定>

SSLページを表示する際は以下の証明書が必要です。

- CA証明書…認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時は、FOMA端末内に保存されています。
- ドコモ証明書…FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、FOMAカード（緑色／白色）内に保存されています。
- ユーザ証明書…FOMA端末内のFirstPassセンターのメニュー（☞P.219）を選択してFirstPassセンターからダウンロードした証明書です。FOMAカード（緑色／白色）内に保存されます。

各証明書の内容は、表示できます。また、万が一、CA証明書自体の安全性に問題が生じた場合は、CA証明書を無効にできます。

- CA証明書を無効にすると、そのCA証明書を使用するSSLページは表示できません。

お買い上げ時設定（すべて有効）

1 待受画面で[i][7][3][3]を押し、証明書を選んで[MENU][有効／無効]を押す。

- 詳細メニューから[i]（iモード）→[iモード設定]→[Internet設定]→[証明書設定]の順に選択することもできます。
- 有効な証明書には[☑]が、無効な証明書には[□]が表示されます。
- 有効／無効が切り替わります。
- 証明書の内容を表示するときは、証明書を選んで[●][表示]を押します。

FirstPassの設定を行う <ユーザ証明書操作>

FirstPass対応のサイトやインターネットホームページに接続する際は、ユーザ証明書が必要です。ユーザ証明書は、お客様がFOMAと契約されていることを証明するもので、FirstPassセンターからユーザ証明書の発行を要求したり、ダウンロードしたりできます。ダウンロードしたユーザ証明書はFOMAカード（緑色／白色）に保存され、クライアント認証に対応しているサイトやインターネットホームページで利用できます。

- FOMAカード（青色）ではご利用になれません。
- FOMAデータプランではご利用になれません。（ISP接続通信でご利用の場合は料金プランにかかわらずご利用いただけます。）
- FirstPassセンターに接続するには、日付・時刻を正しく設定してください。（☞P.48）
- FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。
- FirstPassセンター接続中は、メールの送受信やメッセージR／Fの受信はできません。

お知らせ

FirstPassのご使用にあたって

- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証が可能となります。
- ユーザ証明書の発行要求をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、ご同意のうえ、要求してください。
- ユーザ証明書のご利用にはPIN2コードの入力が必要です。（☞P.158）
  PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分にご注意ください。
- FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行うことができます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。
- iモード通信によるFirstPass対応サイトへのアクセスに発生するパケット通信料は、パケ・ホーダイに含まれます。

クライアント認証について

- FOMA端末では、より安全にデータをやりとりするために、サーバー認証とクライアント認証を行います。サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手側の証明書を検証して、確実にお互いの認証を行います。クライアント認証をうけることで、より安全に通信サービスを受けられます。

■ FirstPassセンターに接続する

ユーザ証明書の操作はFirstPassセンターから行います。FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は変更されることがあります。

1 待受画面でi 7 3 5 1を押す。

- 詳細メニューからi（iモード）→[iモード設定]→[Internet設定]→[セキュア通信サービス設定]→[ユーザ証明書操作]の順に選択することもできます。

FirstPass
・FirstPassをご利用いただくためには、ﾕｰｻﾞ証明書の発行申請、ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞが必要です。
・「次へ」を選択して、ﾕｰｻﾞ証明書の発行申請、ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞを行ってください。
・当ｻｲﾄの閲覧/ご利用にあたってのﾊﾟｹｯﾄ通信料は無料です。
ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ ▼ページ

2 [次へ]を選んで●を押す。

お知らせ

- FirstPassを利用する前には、操作２の画面で、[ご利用規則]を選択し、記載内容をよくお読みください。
- FirstPassセンターに接続した際のパケット通信料は無料です。
- FirstPassセンターへ接続中は、次の機能を利用できません。
  - ■ iモードメールの送受信（SMSの受信／返信は利用可）
  - ■ iモード問い合わせ（SMS問い合わせ）
  - ■ メッセージR／Fの受信
  - ■ iモーションの取得
  - ■ Web To機能

■ ユーザ証明書の発行を申請して、ダウンロードする

ユーザ証明書のダウンロードを行う前に必ずユーザ証明書の発行を申請し、ユーザ証明書をダウンロードします。

1 **FirstPass**センターに接続（☞**P.219**「■ **FirstPass**センターに接続する」の操作１～２）し、[証明書発行]を選んで●を押す。

2 [実行]を選んで●を押す。

3 **PIN2**コード（４～８桁の数字）を入力して●を押す。

- PIN2コードについては、P.158を参照してください。

4 [ダウンロード]を選んで●を押す。

5 [実行]を選んで●を押す。

- 終了するときは、終了キーを押し[はい]を選んで●を押します。

お知らせ

- ユーザ証明書を新規でダウンロードする場合と更新でダウンロードする場合、どちらの場合も必ずユーザ証明書の発行申請を行ってください。発行の申請をしていないユーザ証明書はダウンロードできません。

■ ユーザ認証でサイトに接続する

ユーザ証明書を用いてFirstPass対応のサイトやインターネットホームページに接続します。

1 サイト（☞**P.198**の操作１～３）やインターネットホームページ（☞**P.203**）に接続し、**SSL**対応のサイトを表示する。

- サイト表示中にサーバー証明書を参照するときは、カメラ 7 2を押します。

2 [はい]を選んで●を押し、**PIN2**コード（４～８桁の数字）を入力して●を押す。

- PIN2コードについては、P.158を参照してください。

お知らせ

- ユーザ証明書がない状態でFirstPass対応のサイトやインターネットホームページに接続した場合、[ユーザ証明書がありません　継続しますか？]と表示されます。[いいえ]を選ぶとSSL通信が切断されます。FirstPassセンターからユーザ証明書をダウンロードしてから再び接続してください。
- ユーザ証明書の有効期限が切れている場合、[ユーザ証明書の有効期限が切れています　継続しますか？]と表示されます。[NO]を選択すると元のページに戻ります。FirstPassセンターでユーザ証明書を更新してから再び接続してください。

■ユーザ証明書の失効を申請する

一度ダウンロードしたユーザ証明書を無効にします。

1 FirstPassセンターに接続(☞P.219「■ FirstPassセンターに接続する」の操作1～2)し、[その他]を選んで■を押し、[証明書失効]を選んで■を押す。

2 [はい]を選んで■を押し、PIN2コード(4～8桁の数字)を入力して■を押す。

- PIN2コードについては、P.158を参照してください。

3 [実行]を選んで■を押し、[次へ]を選んで■を押す。

4 [実行]を選んで■を押す。

- [証明書の失効申請が完了しました。]の画面が表示されます。
- 終了するときは、☎を押し[はい]を選んで■を押します。

お知らせ

- 失効申請が完了すると、FirstPass対応サイトは表示できなくなります。
- 失効が完了したユーザ証明書を有効にする場合には、再びユーザ証明書の発行申請とダウンロードを行ってください。
- ダウンロードしたユーザ証明書を見る方法については、P.218を参照してください。

証明書発行接続先を変更する

ユーザ証明書をダウンロードするときの接続先を設定します。

※ 通常は設定を変更する必要はありません。

お買い上げ時設定(ドコモ)

1 待受画面で▤ 7 3 5 2 を押す。

- 詳細メニューから▤(iモード)→[iモード設定]→[Internet設定]→[セキュア通信サービス設定]→[センター接続先設定]の順に選択することもできます。

2 2 [接続先]を押す。

- 接続先をドコモにするとき:1

3 2 [編集]を押し、端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力して■を押す。

- リセットするときは、3を押し、端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力して■を押します。お買い上げ時の設定に戻ります。

4 接続先情報を入力して■を押す。

- 半角英数字と記号を、最大半角99文字まで入力できます。

5 接続先アドレスを入力して■を押す。

- 半角英数字と記号を、最大半角100文字まで入力できます。

iモーション

iモーションとは

iモーションとは、映像や音声、音楽のデータです。iモーション対応サイトやインターネットホームページから、FOMA端末に取得することができます。取得したiモーションは、その場で再生したり、FOMA端末に保存して楽しむことができます。

iモーション対応サイトは、i Menuのメニュー/検索から探すこともできます。

- iモーションには、標準タイプとストリーミングタイプがあります。
  - ■ 標準タイプ(最大500Kバイト)
    FOMA端末に保存できます。次の2つのタイプがあります。
    - 取得したあとで再生するタイプ
    - 取得しながら再生可能なタイプ
    iモーションによっては、標準タイプでも保存できないものがあります。
  - ■ ストリーミングタイプ(最大2Mバイト)
    ストリーミングタイプとは、データを取得しながら同時に再生する方式で、再生し終わったデータは破棄され、くり返し再生したり、FOMA端末に保存することはできません。なお、自動再生設定(☞P.222)を[しない]に設定しても、ストリーミングタイプのiモーションは自動再生されます。
- 取得したiモーションがどちらのタイプであるかは、サイトやインターネットホームページによって異なります。
- iモーションは最大100件まで保存できます。(iモーションのサイズによって、保存できる件数が変わります。)
- サイトから取得したFOMA端末外への出力が禁止されているiモーションを、miniSDメモリーカードに移動できます。ただし、取得元のサイトによっては移動できない場合もあります。

■着信音・着信画面の組み合わせ

着信音・着信画面にiモーションを設定した場合の組み合わせと動作は次のとおりです。

設定した着信音の種類	設定した着信画面の種類	着信したときに動作する着信音と着信画面の種類
メロディ	JPEG画像、GIF画像、音声のないiモーション、Flash画像	着信音:メロディ 着信画像:設定した着信画像※
映像と音声を含むiモーション	JPEG画像、GIF画像、iモーション(音+映像)、音声のないiモーション、Flash画像	着信音:映像と音声を含むiモーション 着信画像:映像と音声を含むiモーション

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

設定した着信音の種類	設定した着信画面の種類	着信したときに動作する着信音と着信画面の種類
音声のみのｉモーション(歌手の歌声など映像のないｉモーション)	JPEG画像、GIF画像	着信音:音声のみのｉモーション(歌手の歌声など映像のないｉモーション) 着信画像:設定した着信画像
	音声のないｉモーション、Flash画像	着信音:音声のみのｉモーション(歌手の歌声など映像のないｉモーション) 着信画像:お買い上げ時に設定されている画像
着信音量サイレント	JPEG画像、GIF画像、音声のないｉモーション、Flash画像	着信音:サイレント 着信画像:設定した着信画像※

※ Flash画像の効果音は再生されません。

お知らせ

- 音声のみのｉモーション(歌手の歌声など映像のないｉモーション)は着信画像に設定できません。
- 音声のないｉモーションは着信音に設定できません。
- 着信音に映像と音声を含むｉモーションを設定した場合は、着信画像もそのｉモーションに自動的に変更されます。ただし、音声のみのｉモーション(歌手の歌声など映像のないｉモーション)の場合は、着信画像は変更されず、設定した画像が表示されます。
- 着信画像に映像と音声を含むｉモーションを設定した場合は、着信音もそのｉモーションに自動的に変更されます。ただし、映像のみのｉモーションの場合は、次の優先順位に設定した着信音が再生されます。
- 着信音は、電話帳指定着信音→グループ指定着信音→通常の着信音の優先順位で鳴ります。
- 設定した画像は、電話帳のピクチャーコール設定→グループのピクチャーコール設定→発着信画面設定の優先順位で表示されます。いずれも設定していない場合は、お買い上げ時に設定されている画像が表示されます。
- テレビ電話着信音、公衆電話着信音、非通知設定着信音、通知不可能着信音を[音声電話着信音に従う]に設定していた場合の動作は次のとおりです。
  - ■ 着信音にメロディ、音声のみのｉモーション(歌手の歌声など映像のないｉモーション)を設定すると着信画面はお買い上げ時の設定に戻ります。
  - ■ 着信画面にJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーション、Flash画像、映像のみのｉモーションを設定すると着信音は[着信音1]に戻ります。
  - ■ 着信画面も音声電話着信画面に従って表示されます。
- ｉモーションによっては設定できないものがあります。

ｉモーション取得

サイトからｉモーションを取得する

サイトからｉモーションを取得し再生する

サイトやインターネットホームページからｉモーションを取得して再生します。

1 サイト(☞P.198の操作1～3)やインターネットホームページ(☞P.203)を表示中に、ｉモーションを選んで●を押す。

ストリーミングタイプのとき		[はい]→● ● 取得しながら再生されます。
標準タイプのとき	自動再生設定[する]	ｉモーションを取得し、準備ができたら再生します。
	自動再生設定[しない]	再生・保存などの選択画面が表示されます。1を押すと再生し、2を押すと保存し、3を押すと情報が表示されます。 ● ｉモーションが保存されていない場合に4[戻る]を押すと[このｉモーションを保存しますか？]と表示されます。[はい]を選んで●を押すと保存されます。

- 取得を中止するときは、取得中にCLRまたは●を押します。
- 再生を中止するときは、文を押します。
- 再生中に一時停止するときは、●[ポーズ]を押します。

お知らせ

- ｉモーションによっては、データ取得中の再生ができないものもあります。
- ｉモーションタイプ設定が[標準タイプ]に設定されているとき、ストリーミングタイプのｉモーションを取得しようとすると、[このｉモーションを再生するためには、ｉモーションタイプ設定を変更してください。変更しますか？]と表示されます。[はい]を選択すると、ｉモーションタイプ設定が変更され、取得することができます。
- データを取得しながら再生できるｉモーションの場合、電波状況などにより再生できなくなったときでも、ｉモーションの取得完了後に再生できます。
- ｉモーションのデータ取得中に、電波状況により再生が停止したり、画像が乱れたりすることもあります。
- 長い期間電池パックを外していると、FOMA端末の日付・時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期限／再生期間が決められているｉモーションは、再生できません。
- ｉモーションによっては、データを取得しても正しく再生できないことがあります。
- ｉモーションは着モーション(☞P.128)、待受画面(☞P.137)に設定できます。(設定できないｉモーションもあります。)

再生期間が設定されたｉモーション

再生期間が設定されているｉモーションを取得して再生しようとすると、右の画面が表示されます。

- 再生期間前には再生できません。
- 再生期間が過ぎているｉモーションを取得しようとしたときは、[再生制限データに誤りがあるため、取得できません]と表示されます。

2006/08/22 12:50～
2006/08/23 12:50
まで再生可能です

再生期限が設定されたｉモーション

再生期限が設定されているｉモーションを取得して再生しようとすると、右の画面が表示されます。

- 再生期限が過ぎているｉモーションを取得しようとしたときは、[再生制限データに誤りがあるため、取得できません]と表示されます。

2006/08/22 12:50
まで再生可能です

次ページへ続く

再生回数が設定されたｉモーション

再生回数が設定されているｉモーションを取得し、FOMA端末(本体)に保存してから再生しようとすると、右の画面が表示されます。

- 再生回数が0回のｉモーションを取得しようとしたときは、[このデータは保存できません。取得しますか？]と表示されます。取得するときは[はい]を選んで■を押します。

ｉモーションを保存する

取得したｉモーションを保存しておくことができます。

- ｉモーションはデータBOXのｉモーションの[ｉモード]フォルダに保存できます。miniSDメモリーカードに保存できるｉモーションは、[移行可能コンテンツ]フォルダ内の[ｉモーション]フォルダに保存できます。

1 取得したｉモーションの再生または停止(一時停止)中に、📷1[保存]を押す。

お知らせ

- 保存したｉモーションは、ビデオプレーヤで再生できます。
- ｉモーションによっては、取得したデータをFOMA端末に保存できない場合があります。

テロップ中にリンクが設定されていたとき

ｉモーション再生中のテロップにリンクが設定されていた場合、Phone To(AV Phone To)機能、Mail To機能、Web To機能を利用できることがあります。また、表示される電話番号、メールアドレスは電話帳に登録できます。

1 取得したｉモーションを再生後、ダイヤル発信画面(**Phone To**(**AV Phone To**)の場合)、メール作成画面(**Mail To**の場合)、サイト接続画面(**Web To**の場合)が表示される。

2 操作を選んで■を押す。

- 以降の操作については、P.211〜P.212を参照してください。
- 元の画面に戻るときは、CLRを押します。

ｉモーションの詳細情報を表示する

ｉモーションの詳細情報を表示できます。

1 取得したｉモーションの再生または停止(一時停止)中に、📷3[情報表示]を押す。

- データBOXからｉモーションを再生したときは、📷4を押します。
- ストリーミングタイプのｉモーションのときは、取得中または一時停止中に、📷2を押します。
- 確認を終わるときは、■またはCLRを押します。

自動再生設定

ｉモーションを自動再生するかどうかを設定する

ｉモーションを取得した際に、自動再生するかどうかを設定できます。

お買い上げ時設定(する)

1 待受画面でｉ7341を押し、1[する]を押す。

- 詳細メニューからｉ(ｉモード)→[ｉモード設定]→[Internet設定]→[ｉモーション設定]→[自動再生設定]で選択することもできます。

お知らせ

- ストリーミングタイプのｉモーションは自動再生の設定にかかわらず、常に自動再生されます。
- 自動再生を[する]に設定しても、ｉモーションによっては自動再生されない場合があります。
- 自動再生を[しない]に設定すると、ｉモーションの取得完了後、再生や保存操作を選択する画面が表示されます。

ｉモーションタイプ設定

取得するｉモーションのタイプを設定する

ｉモーションを取得するときに、標準タイプのｉモーションのみを取得するか、標準タイプとストリーミングタイプ両方のｉモーションを取得するかを設定できます。

お買い上げ時設定(標準タイプ)

1 待受画面でｉ7342を押し、ｉモーションのタイプを選ぶ。

- 詳細メニューからｉ(ｉモード)→[ｉモード設定]→[Internet設定]→[ｉモーション設定]→[ｉモーションタイプ設定]で選択することもできます。

設定	キー
標準タイプのみを取得する	1
標準タイプとストリーミングタイプを取得する	2

お知らせ

- ストリーミングタイプのｉモーションを取得する場合は、ｉモーションタイプ設定を[標準／ストリーミングタイプ]に設定する必要があります。
- [標準タイプ]に設定したまま、ストリーミングタイプのｉモーションを取得しようとすると、[このｉモーションを再生するためには、ｉモーションタイプ設定を変更してください。変更しますか？]と表示されます。[はい]を選択すると、ｉモーションタイプ設定が変更され、取得することができます。

ｉモード／ｉモーション　自動再生設定

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

メール

FOMA端末のメール機能について

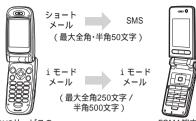
- FOMA端末はｉモードメールとSMS（ショートメッセージ）を送受信できるメール機能を持っています。ｉモードメールをご利用いただくには、ｉモードのご契約が必要です。
  ｉモードメールの送信、受信方法については、P.229、P.237を参照してください。
- ｉモードを契約しなくても、FOMA端末との間でSMSの送受信（文字メッセージのやりとり）ができます。SMSの送信、受信方法については、P.259、P.261を参照してください。

メール機能の送受信について

３種類のメール機能で送受信できる相手は次のとおりです。

- FOMA端末→FOMA端末へ

- FOMA端末→movaサービスのｉモード端末へ
  FOMA端末から送信したSMSは、movaサービスのｉモード端末ではｉモードメールとして受信されます。
  SMS送達通知設定（☞P.262）が［要求する］に設定されている場合には、mova端末へ送ることはできません。

- movaサービスのｉモード端末→FOMA端末へ
  movaサービスのｉモード端末から送信したショートメール※は、FOMA端末ではSMSとして受信できます。

※ ショートメールとは、ドコモの携帯電話で文字メッセージをやりとりできるサービスです。

お知らせ

- ｉモードメールやSMSの内容は、別にメモを取るか、パソコンをお持ちの場合はminiSDメモリーカードやデータリンクソフトをご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。

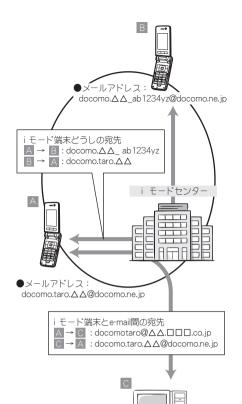
ｉモードメール

ｉモードメールとは

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末（mova含む）間はもちろん、インターネットを経由してe-mailとのメールのやりとりができます。
ｉモードご契約時のメールアドレスは次のようになります。

新規にｉモードをご契約の場合 @マークの前がランダムな英数字の組み合わせになっていますので、ｉモードご契約後にお客様のメールアドレスをご確認ください。 例）abc1234～789xyz@docomo.ne.jp 〈お客様のメールアドレスの確認方法〉 ［ｉMenu］➡［料金＆お申込・設定］➡［メール設定］➡［アドレス確認］

- ｉモード端末（mova含む）間でメールをやりとりする場合は、@マークより前の部分のみのアドレスで送信可能です。
- パソコンなどのe-mailからメールを受信する場合は、@docomo.ne.jpも含めたアドレス全体を使用します。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.323）

- メールの送信方法は☞P.229
- メールの受信方法は☞P.237

メール選択受信

ｉモードセンターに保管されているメールの題名などを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除することができます。☞P.239

■ メール設定を行う

下記の各種設定を行うことができます。

〈設定方法〉
［ｉMenu］➡［料金＆お申込・設定］➡［メール設定］➡各設定

- 詳細はｉモードご契約時にお渡しする『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

メールアドレス変更（メールアドレス設定<アドレス変更>）

たとえば「docomo.△△_ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、メールアドレスの「@」より前の部分を、お好みのアドレスに変更することができます。

メールアドレス確認（メールアドレス設定<アドレス確認>）

現在設定されているメールアドレスを確認することができます。

シークレットコード登録（メールアドレス設定<その他設定>➡ シークレットコード登録）

電話番号のアドレス利用時に、メールアドレスに加えて４桁のシークレットコードを登録できます。シークレットコードを指定していないメールは受信されなくなるため、不要なメールの受信を避けられます。

メールアドレスリセット（メールアドレス設定<その他設定>➡ アドレスリセット）

メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にすることができます。

迷惑メール対策

以下のいずれかの方法でメールの受信／拒否設定を行うと、メールの受信を制限することができます。

① 受信／拒否設定（メール受信設定<迷惑メール対策>➡受信／拒否設定）

- ドコモ・au・ソフトバンク・ツーカー・ウィルコムのうち、指定する会社からのメールの受信ができます。
  また、上記の会社以外から送信されたメールのうち、指定するドメインまたはアドレスから受信できます。そして、インターネットからの携帯・ＰＨＳドメインになりすましたメールを拒否することもできます。

② SMS拒否設定（メール受信設定<迷惑メール対策>➡SMS拒否設定）

- 受信するSMSを制限することができ、「SMS一括拒否」「非通知SMS拒否」「国際SMS拒否」「非通知SMS及び国際SMS拒否」の４つの中からいずれか１つを選択いただけます。また設定の状況を確認することができます。

③ ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限（メール受信設定<その他設定>➡ ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限）

- １日に１台のｉモード端末（mova含む）から送信される200通目以降のｉモードメールを受信拒否します。
  お買い上げ時には［拒否する］に設定されていますので、大量送信者からのメールを拒否したい場合は設定する必要はありません。

④ 未承諾広告※メール拒否（メール受信設定<その他設定>➡ 未承諾広告※メール拒否）

- 受信者の同意なしに一方的に広告・宣伝を行うために送信される、メール件名欄の最前部に「未承諾広告※」と記載されているメールを受信拒否します。お買い上げ時には［拒否する］に設定されていますので、未承諾広告※メールを拒否したい場合は設定する必要はありません。（送信者はメール件名欄の最前部に「未承諾広告※」（全角６文字）と記載することが法律で義務づけられています。）

次ページへ続く ▶▶

メールサイズ制限（メール受信設定＜メールサイズ制限＞）
あらかじめ指定したサイズによって、受信するｉモードメールを制限することができます。

設定状況確認（メール受信設定＜設定状況確認＞）
現在設定されているメール受信／拒否などの設定状況を確認できます。

メール機能停止（メール機能停止）
メール機能を利用されない場合、ｉモードセンターでのメール機能停止を行うことができます。

送受信できる文字数
ｉモードメールで送受信できる文字数は次のとおりです。

項　目	全角文字（漢字、ひらがな、絵文字など）	半角文字（英字、数字、カタカナなど）
題名	15文字	30文字
メールアドレス	―	50文字
本文	5000文字	10000文字

お知らせ

- ｉモードメールの本文は全角5000文字（10000バイト）まで送受信できますが、添付ファイルのデータ量により送受信できる文字数が少なくなります。
- 本文が受信可能な文字数を超えた場合、本文の最後に[/]または[//]が挿入され、超えた分が自動的に削除されます。
- mova端末へｉモードメールを送信する場合、本文として送信できるのは最大全角2000文字までです。また、ｉショット・ｉモーションメールはURLの記載されたメールとして送信され、それ以外の添付ファイルは削除されます。
- 題名が受信可能な文字数を超えた場合、超えた文字は削除されます。
- 他の携帯電話会社（au／ソフトバンク／ツーカー）に絵文字入りのｉモードメールを送ると、自動的に送信先の類似絵文字に変換されます。

※ 送信先の携帯電話の機種、機能により、正しく表示されない場合があります。
※ 送信先に該当する絵文字がない場合は、文字または「＝」に変換されます。

メールを受信できないとき
ｉモードセンターに届いたメールは、すぐにお客様のｉモード端末に送信されます。ただし、お客様のｉモード端末の電源が入っていない場合やｉモード圏外などで受信できないときは、メールはｉモードセンターに保管されます。ｉモードセンターで保管しているときは、一定の時間をおいて最大３回まで再送します。また、メール選択受信設定により、ｉモードセンターでｉモードメールを選んで受信することができます。

お知らせ

- ｉモードセンターでのメールの最大保管件数、保管期間は次のとおりです。

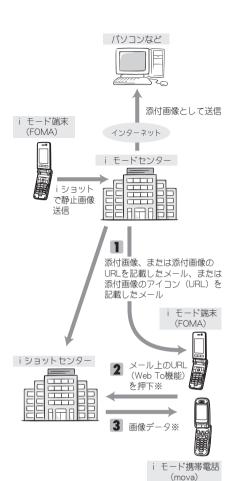
	最大保管件数	最大保管期間
ｉモードメール	207〜1000件（約２メガバイトまで）	720時間

- 保管期間が超過したメールは自動的に削除されます。
- 最大保管件数は、メールのデータサイズにより異なります。保管件数を超えた場合は、ｉモードセンターではメールを受信せず送信者にエラーメッセージとともに返信します。このときｉモード端末には、[✉]が表示されます。（☞P.238）
  なお、**メール選択受信設定**を[ON]に設定しているときは、保管件数を超えても[✉]は表示されません。
- ｉモードセンターに保管されているメールは、**ｉモード問い合わせ**や**メール選択受信**により受信できます。また、新しいメールが届いたときは、保管されている他のメール、メッセージも合わせて受信できます。
- ｉモード端末でメールを受信するとｉモードセンターに保管されていたメールは削除されます。受信したメールはｉモード端末に保存されます。（☞P.237）
- 極端に容量の大きいメールはｉモードセンターで受け付けないことがあります。

こんなこともできます

ファイル添付メール
■メロディ添付メール
サイトやインターネットホームページからダウンロードしたメロディファイルを、ｉモードメールに添付して送受信できます。（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているメロディファイルは送信できません。）
- 送信するには☞P.235
- 受信したときは☞P.243

■画像添付メール
サイト、インターネットホームページ、または外部メモリから取得した静止画ファイルをｉモードメールに添付して送受信できます。（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画ファイルは送信できません。）
- 送信するには☞P.235
- 受信したときは☞P.243

ｉショット
カメラ機能付き端末で撮影した静止画ファイルを添付ファイルとしてｉモード端末（mova含む）およびパソコンや他社携帯電話の間で送受信できます。受信側には添付ファイル形式または、画像閲覧用URL（またはアイコン）および画像の保存期限が記載されたメールとして送信され、そのURLを押下することで画像を取得できます。
mova端末へ送れるメール本文は最大全角184文字（369バイト）で、複数ファイルを添付した場合、添付ファイルは削除され、メール本文のみ通知されます。
- 送信するには☞P.235
- 受信したときは☞P.243

※ 添付画像のURLを記載したメールを受信した場合

- ｉショットセンターでは最大10日間画像が保存され、保存期間経過後、自動的に削除されます。
- ｉモード端末が送信できるのは、最大500Kバイトまでの静止画となります。また、20Kバイトより大きい画像を添付してｉモード端末に送信した場合は、受信側では自動的にサイズの圧縮された画像を取得します。

ｉモーションメール

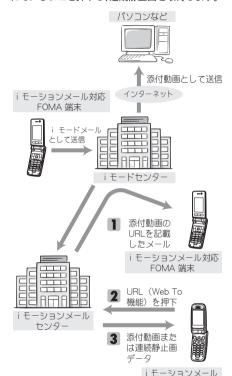
ｉモーションメール対応端末で撮影した動画やサイトから取得した動画をｉモーションメール対応端末およびパソコンや他社携帯電話の間で送受信できます。（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている動画ファイルは送信できません。）

- ｉモーションメールを送信するには☞P.235
- ｉモーションメールを受信したときは☞P.242

■ サービスのしくみ

ｉモーションメールに添付された動画ファイルはｉモーションメールセンターに送信され、そこで保存されます。（送信先がパソコンなどの場合は、直接添付ファイルとして送信されます。）

ｉモーションメール対応端末で受信した場合、メール本文中に表示されているURLを押下して動画を取得することができます。

ｉモーションメール非対応端末へ送信した場合は、ｉモーションが連続静止画に変換され、URLの記載されたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを押下し、連続静止画を取得します。

- ｉモーションメールセンターでは最大10日間まで画像が保管され、保管期間経過後、自動的に削除されます。
- ｉモーションメール対応端末が受信できるのは、最大500Kバイトまでの動画となります。また、取得した動画はｉモーションメール対応端末の画面に合わせて画像サイズを自動的に変換します。

次ページへ続く

デコメール

ｉモードメール編集時に文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を本文中に貼り付けることによって、自分のオリジナルメールを作成して送信したり、装飾された楽しいメールを受信することが可能になります。(パソコンから装飾したメールを受信する場合、ｉモード端末では非対応の装飾があるため、パソコン上と同じ動作にならない場合もあります。)

デコメールを非対応端末へ送信した場合は、URLが記載されたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを押下し、デコメールを閲覧できます。

● デコメール編集方法☞P.231
● デコメール送信方法☞P.231
● 対応機種…デコメール対応機種でご利用いただけます。詳しくは、『ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)』をご覧ください。

メール同報送信

同じｉモードメールを、一度に複数の宛先(最大5件)に送信できます。☞P.230

● 通信料は、1通のみ送信した場合と同じです。(ただし、追加した宛先の情報量については、通信料が増えます。)

Cc、Bcc送受信

パソコンと同じように、ｉモードメール編集時に宛先をTo、Cc、Bccから選択できます。ただし、Toが1件もない場合は、メールを送信できません。
☞P.229

チャットメール

複数の相手と会話をするような感覚でメールの交換ができます。☞P.256

● 通信料は、相手が複数の場合メール同報送信したときと同じです。

SMS(ショートメッセージ)

ｉモードを契約しなくても、FOMA端末どうしでSMSの送受信(文字メッセージのやりとり)ができます。

● SMSセンターでのSMSの最大保管期間は72時間です。
● 保管期間を過ぎたSMSは自動的に削除されます。
● SMSセンターに保管されているSMSは、SMS問い合わせ(☞P.261)により受信できます。
● FOMA端末でSMSを受信するとSMSセンターに保管されていたSMSは削除されます。受信したSMSはFOMA端末に保存されます。(☞P.261)FOMA端末が受信したSMSは、FOMAカードにコピーすることもできます。(☞P.263)
● SMS一括拒否、非通知SMS拒否、国際SMS拒否、非通知SMS拒否+国際SMS拒否を設定できます。(☞P.225)

SMSの宛先

SMSの宛先は「ご契約の携帯電話番号」です。

メールメニュー

メールメニューを表示する

ｉモードメールの作成、受信メールや送信メールの表示などは、メールメニューから行います。

1 待受画面で✉を押す。

● 詳細メニューから✉(メール)で選択することもできます。

メニュー	機　能	ページ
1 受信BOX	受信したメールの表示や返信、転送などを行います。	P.237、P.244
2 送信BOX	送信したメールの表示や再送信などを行います。	P.237、P.244
3 未送信BOX	未送信メールの編集や送信を行います。	P.237、P.244
4 新規メール作成	新規にメールを作成して送信や保存を行います。	P.229
5 新規SMS作成	新規にSMSを作成して送信や保存を行います。	P.259、P.260
6 チャットメール	チャットメールの設定や送信などを行います。	P.256
7 ｉモード問い合わせ	ｉモードセンターにメールやメッセージR／Fが保管されていないか問い合わせます。	P.240
8 SMS問い合わせ	SMSセンターにSMSが保管されていないか問い合わせます。	P.261
9 テンプレート	デコメールテンプレートの表示や編集などを行います。	P.234
✉1 メール選択受信	ｉモードセンターで保管されているメールのうち、受信したいメールのみを選んで受信します。	P.239
✉2 メール設定	ｉモードメールやSMSに関係する各種機能を設定します。	P.252

ｉモードメールを作成して送信する

ｉモードメールを作成して、送信します。

- ｉモード端末以外の相手にｉモードメールを送信する場合は、題名や本文に半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。受信側で正しく表示されないことがあります。
- movaサービスのｉモード端末へｉモードメールを送信する場合、本文は最大全角2000文字（半角4000文字）まで送信できます。
- ｉモードメールの送信先を[To]、[Cc]、[Bcc]に分けて送信できます。[宛先]に入力したアドレスへは[To]で送信されます。
- 表示される文字サイズは、文字サイズ設定（☞P.252）で変更できます。

1 待受画面で[メール][4]を押す。

メール作成画面

- 詳細メニューから[メール]（メール）→[新規メール作成]の順に選択することもできます。
- 待受画面で[メール]を１秒以上上押しても表示できます。
- [未送信BOXがいっぱいのため起動できません]が表示されたときは、ｉモードメールを作成できません。未送信メールを削除してください。（☞P.250）

2 [宛先]を選んで[●]を押し、入力方法を選ぶ。

電話帳から選ぶ	[1]→相手を選ぶ→[●] ● 登録されている他のメールアドレスを選ぶときは、相手を選んで[i]を押し、メールアドレスを選んで[●]を押します。 ● [✉]、[✉]、[✉]、[✉]のいずれも表示されない場合、メールアドレスは登録されていません。FOMAカード電話帳の場合は、メールアドレスが登録されていなくても[✉]が表示されます。
直接入力する	[2]→宛先を入力→[●] ● 半角の英字、数字、一部の記号を最大50文字まで入力できます。 ● ｉモード端末にｉモードメールを送信する場合は、「@docomo.ne.jp」を省略できます。 ● 記号入力（☞P.398）、インターネットに関連した定型文（☞P.398）を利用できます。
メール送信履歴から選ぶ	[3]→相手を選ぶ→[●]→[●] ● ｉモードメールのメール送信履歴がある場合に選択できます。
メール受信履歴から選ぶ	[4]→相手を選ぶ→[●]→[●] ● ｉモードメールのメール受信履歴がある場合に選択できます。
メールメンバーから選ぶ	[5]→メールメンバーを選ぶ→[●] ● あらかじめメールメンバーを登録しておいてください。（☞P.254）
複数の宛先に送信する（☞P.230）	● [宛先]を入力すると「同報」の入力欄が追加されます。「同報」の入力欄を選ぶ→[●]→送信種別を選ぶ→[●]→入力方法を選ぶ→[●] ● メールメンバーを設定した場合はメンバー全員が必ず[To]で入力されます。 ● 最大４件まで宛先を追加できます。
宛先を変更する	宛先を選ぶ→[●]→入力方法を選ぶ→[●] ● [電話帳検索]、[メール送信履歴]、[メール受信履歴]を選んだときは、[アドレスを上書きしますか？]と表示されます。[はい]を選んで[●]を押すと、メールアドレスを選択できます。 ● [メールメンバー]を選んだときは、[アドレスを全件上書しますよろしいですか？]と表示されます。[はい]を選んで[●]を押すと、メールメンバーを選択できます。 ● [直接入力]を選んだときは、アドレス入力画面が表示されます。
宛先を削除する	宛先を選ぶ→[📷][5][アドレス削除]→[はい]→[●]

3 [題名]や[本文]を選んで[●]を押し、入力して[●]を押す。

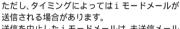
- メール本文入力画面では、画面中央の文字入力エリアで文字を決定したあと、[●]を押して本文のカーソル位置に入力します。
- 題名は最大全角15文字（半角30文字）まで、本文は最大全角5000文字（半角10000文字）まで入力できます。
- 以下の場合は、本文入力画面において全角5000文字（半角10000文字）以上のサイズとなり、入力可能な残バイト数はマイナス表示になります。マイナス表示となった場合は、10000バイト以下（残バイト数が０以上）になるように編集してください。
  - ■ 貼り付けした文字数と、すでに入力されているメール本文の合計サイズが10001バイト以上になる場合
  - ■ 本文入力済みのｉモードメールを、装飾操作によりデコメールに変更した場合
- 改行[↲]は全角１文字としてカウントします。全角、半角のスペース（空白）もそれぞれ全角１文字、半角１文字としてカウントします。（題名に改行[↲]は入力できません。）
- 本文入力画面の文末で[.]を押すと[↲]（改行）されます。また、[CLR]を押すと[↲]は削除されます。
- 本文に何も入力されていない状態で[CLR]を押すと、メール作成画面に戻ります。

次ページへ続く ▶▶

定型文を利用する	本文入力画面で[メニュー][7]→分類を選ぶ→[■]→定型文を選ぶ→[■]→[■] ● 定型文については、P.416を参照してください。
署名を貼り付ける	メール作成画面で[メニュー][8]または本文入力画面で[メニュー][ ][2] ● あらかじめ署名を登録しておきます。（☞P.253） ● 自動署名貼付が[ON]に設定されている場合、署名は自動的に貼り付けられます。 ● 署名の文字数は、本文の文字数に含まれます。本文と署名の合計文字数が送信できる文字数を超える場合、入力可能な残バイト数はマイナス表示になります。残バイト数が0以上になるように編集してください。
デコメールを作成する（☞P.231）	本文入力画面で[メニュー][1]

4 [i][送信]を押す。

● 送信が完了すると、[iモードメール送信しました]と表示され、メール作成前の画面に戻ります。

● 送信を中止するときは、送信中の画面で[■][中止]を押します。
[電源]または[CLR]を押しても中止できます。
ただし、タイミングによってはｉモードメールが送信される場合があります。
送信を中止したｉモードメールは、未送信メールとして保存されます。

お知らせ

● 画像やメロディなどを添付すると、本文に入力できる文字数が少なくなります。
● 宛先や同報が入力されている状態でメールメンバーから宛先を指定すると上書きされます。上書きする場合は[はい]を選択してください。
● 宛先にメールメンバーを設定すると、1人目のアドレスは[宛先]に入力され、2人目以降は同報の入力欄に[To]で入力されます。（[Cc]、[Bcc]への変更も可能です。）
● 宛先を削除した場合、同報欄の一番上に表示されているアドレスの送信種別が[To]の場合は、[宛先]に入力されます。
● 電波状況などにより、送信できない場合があります。送信できなかったｉモードメールは、未送信メールとして保存されます。
● 送信できていても、電波状況などによっては、[送信できませんでした]と表示される場合があります。
● 電波状況などにより、受信側で文字が正しく表示されない場合があります。
● 送信メールは送信SMSと合わせて最大200件まで保存できます。送信メールが200件保存されている状態で新しいｉモードメールを送信すると、保護されていない一番古い送信メールから順に自動的に上書きされます。（上書き確認のメッセージは表示されません。）必要なｉモードメールは保護することをおすすめします。

お知らせ

● メール履歴表示を[OFF]に設定しているときは（☞P.166）、宛先入力で[メール送信履歴]、[メール受信履歴]を選択できません。
● ダイヤル発信制限中は、電話帳またはワンタッチキーに登録していない宛先へはｉモードメールを送信できません。
● オールロック中、セルフモード中はｉモードメールを送信できません。
● メールのPIMロック中は、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力するとｉモードメールを作成し、送信できます。
● [宛先]、[To]、[Cc]に入力したメールアドレスは、受信側に表示されます。ただし、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、表示されない場合があります。

編集中に電話がかかってくると
● 通話後、着信前の画面に戻り編集を続けることができます。

相手がシークレットコードを登録しているとき
● 「@」の前に、相手のシークレットコード（4桁の数字）を入力します。電話帳に相手のシークレットコードを登録しているときは、入力する必要はありません。（☞P.112）
● 宛先が「携帯電話番号」または「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話帳にシークレットコードが設定されているかどうかを自動的に調べ、シークレットコードが設定されているときは、シークレットコードを付けて送信します。（☞P.112）
● メールアドレスを「携帯電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合は、ｉモードメール送信や返信ができないことがあります。「携帯電話番号@docomo.ne.jp」に変更してから、シークレットコードを登録してください。
● ドコモ以外のアドレスにメール送信を行った場合に宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。

関連操作

光るワンタッチキーでメールを作成する
待受画面で、メールアドレスが登録されている[I]～[III]▶ｉモードメール作成・送信

関連操作のお知らせ

● [宛先]にメールアドレスが入力されたメール作成画面が表示されます。
● ｉモードメール作成・送信については、P.229の操作3～4を参照してください。

同報送信について

FOMA端末では同じ内容のｉモードメールを複数の宛先に同時に送信できます。最大5人の相手に送信できます。

● 「同報」の入力欄では送信種別（To／Cc／Bcc）を選択できます。
■ Cc ： [To]宛に送信したメールを第三者に知らせるときに使います。
■ Bcc ： [Cc]と同じように第三者に知らせるときに使いますが、[Bcc]で指定したアドレスは、[To]や[Cc]の相手には表示されません。

- 最大５人までのアドレスをメールメンバーに登録しておくと、複数のアドレスを簡単に指定することができます。(☞P.254)
- 宛先に入力したアドレスは[Bcc]にしたものを除き、受信した相手に表示されます。ただし、相手の機種によっては表示されない場合もあります。
- 複数の宛先に送信しても、１件の送信メールとして保存されます。送信メール表示画面では、送信に成功した宛先がすべて表示されます。
- 送信に失敗した宛先があったときは、送信メール１件と未送信メール１件が保存されます。未送信メールには、送信されていない宛先がすべて表示されます。
- 同じメールアドレスを宛先や同報として複数設定すると［重複するアドレスがあります］と表示され、送信できません。重複するアドレスを削除して送信してください。

送信種別を変更する

入力した宛先や同報の送信種別を変更できます。

1 ｉモードメールの作成中(☞**P.229**の操作１～３)に、２件目以降の宛先の入力欄を選んで[■][6][送信種別変更]を押し、送信種別を選ぶ。

[To]にする	[1]
[Cc]にする	[2]
[Bcc]にする	[3]

デコメール

デコメールを作成して送信する

ｉモードメール作成時、本文の色や文字サイズを変更したり、画像を挿入する、背景に色を付けるなどの装飾を行うことができます。

装飾の種類と効果

- 作成できるデコメールのサイズは、本文中に挿入する画像も含めて最大10000バイトです。残バイト数が０またはマイナス表示されている場合、本文に装飾できません。
- パソコンなどから送信された装飾付きのメールを受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。

現在有効な装飾の種類

本文入力画面

プレビュー画面

パレットについて

- 本文入力画面で、[◎][1][デコレーション]を押すとパレットが表示されます。[✣]で装飾の種類を選んで[■]を押すか、[◎]を押してサブメニューから装飾の種類を選択できます。(☞P.233)

サブメニューの番号	装飾の種類
[1]	文字色 ボウリング大会！ ボウリング大会！ ボウリング大会！ 装飾内容： 文字に色を付けます。なお、絵文字に対して文字の色を設定すると、設定した色で表示されます。通常の絵文字色にしたいときは、[指定なし]に設定してください。 装飾指定： 色→[■]
[2]	文字サイズ ボウリング大会！ 大 ボウリング大会！ 標準 ボウリング大会！ 小 装飾内容： 文字の大きさを、大、標準、小のいずれかに変更します。 装飾指定： [1](大)／[2](標準)／[3](小)

次ページへ続く

サブメニューの番号	装飾の種類
3	画像挿入 画像 装飾内容： 本文中に画像を表示します。GIFアニメーションなど動きがある画像は、一定時間たつと止まります。（文字位置が画像の位置に反映されます。（画像や文字の位置は変更できます。））なお、デコレーション変更時は、画像挿入できません。 装飾指定： 挿入する位置で■→フォルダを選ぶ→■→画像を選ぶ→▯
4	点滅 点滅 装飾内容： 文字を点滅させます。一定時間がたつと、点滅が自動的に止まります。 装飾指定： 1（設定）／2（解除）
5	テロップ テロップ 装飾内容： 文字を流して表示（テロップ表示）します。一定時間がたつと、文字の流れが止まります。 装飾指定： 1（設定）／2（解除）
6	スウィング スイング 装飾内容： 文字を左右に揺らして表示（スウィング表示）します。一定時間がたつと、文字の揺れが止まります。 装飾指定： 1（設定）／2（解除）
7	文字位置 位置 左寄せ センタリング 右寄せ 装飾内容： 文字の配置を、左寄せ、センタリング、右寄せのいずれかに変更します。 装飾指定： 1（左寄せ）／2（センタリング）／3（右寄せ）
8	ライン挿入 ライン 装飾内容： 本文中にライン（罫線）を挿入して表示します。（1行分のラインが挿入されます。挿入した位置の文字色がラインの色に反映されます。ラインの色（文字色）は変更できます。）なお、デコレーション変更時は、ライン挿入できません。 装飾指定： 挿入する位置で■
□1	背景色 背景 装飾内容： メール本文の背景に色を付けます。なお、デコレーション変更時は、背景色を変更できません。 装飾指定： 背景の色→■
□2	デコレーション変更 変更 装飾内容： 範囲を指定して装飾を行ったり、指定済みの装飾を変更します。 装飾指定： 開始位置で■→終了位置で■→装飾を指定 ● ［画像挿入］、［ライン挿入］、［背景色］は選択できません。
□3	元に戻す 戻す 装飾内容： 直前に行った編集を取り消します。
□4	デコレーションなし デコなし 装飾内容： 装飾されていない通常の文字を入力します。既に挿入している全ての装飾は解除されません。
□5	全解除 装飾内容： すべての装飾を解除します。挿入した画像も削除され、テキストメールに戻ります。

ボタン操作	装飾の種類	装飾の内容
▯	文字入力	文字入力するときに押します。
📖	カーソル切替／装飾選択	本文中のカーソル移動とパレット選択中のカーソル移動を切り替えます。
✉	範囲選択	装飾する範囲を選択するときに押します。

お知らせ

画像挿入について

● FOMA端末にはあらかじめ画像（デコメールピクチャ）が登録されています。（☞P.411）

お知らせ

- 本文入力画面中に挿入できる画像は10000バイトまでです。異なる画像の場合は最大10個、同一画像を続けて挿入した場合は10個以上の入力も可能です。ただし、いったんメール作成画面に戻って再び本文入力画面に移行した場合、すでに入力済みの画像に関しては、コピーして貼り付けした場合のみ同一画像として取り扱われます。
- デコメールの背景色によっては、画像やｉモーション取得先URLの文字色と重なり、URLが見えない場合があります。
- デコメール対応機種からデコメール非対応機種（movaおよび900iシリーズより前のFOMA）にデコメールを送信した場合に、メール本文にデコメール参照用URLを付けて送信し、受信者はURLを選択することによってWeb上でデコメールを閲覧することができます。
  対応機種…デコメール対応機種でご利用いただけます。詳しくは、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- 他のアプリケーションがすでに起動している場合（例えば、音声通話中）のメール作成においては、画像選択時の画像プレビューができない場合があります。[決定]による画像選択確定のみとなります。
- 挿入した画像の情報を表示させるには、カーソルを画像の直前に移動して、サブメニューから[情報表示]を選択すると、挿入画像の情報が表示できます。

装飾しながら本文を作成する

装飾方法を指定してから文字を入力したり、指定した装飾方法で入力済みの文字を装飾できます。

1 ｉモードメールを作成し、宛先、題名を入力する。（☞P.229の操作1～3）

2 [本文]を選んで■を押す。

- 装飾方法を指定してから文字を入力する場合は操作3に進みます。文字を入力してから装飾する場合は、本文を入力します。

3 [📷][Ｉ]［デコレーション］を押し、[◎]でパレットを選んで■を押し、装飾を指定する。

- パレットを表示しているときに本文中のカーソルを移動する場合は、[☐][カーソル切替]を押します。もう一度[☐][装飾選択]を押すと、パレットの選択に戻ります。
- 各装飾の詳しい操作方法については、P.231～P.232の表「パレットについて」を参照してください。

パレット表示画面

- 続けて別の装飾を指定できます。パレットが表示されているときは[📷][Ｉ]［デコレーション］を押す操作は不要です。
- パレット設定が[OFF]のときは、[📷][Ｉ]［デコレーション］を押し、サブメニューから装飾の種類を選んで■を押し、装飾を指定します。

点滅を指定するとき	[点滅]→■→[Ｉ]→[☐]→文字を入力
テロップを指定するとき	[テロップ]→■→[Ｉ]→[☐]→文字を入力
スウィングを指定するとき	[スウィング]→■→[Ｉ]→[☐]→文字を入力
プレビュー画面を表示する	[📷][☐][７] ● ■を押すと元の画面に戻ります。

4 装飾の指定が終わったら、本文を入力する。

- すでに入力している文字を装飾するときは、装飾の指定が終わったら[☐][範囲選択]を押し、始点を選んで■[始点]を押し、終点を選んで■[終点]を押します。[☐][全選択]を押すと、すべての範囲が装飾されます。選択を取り消すときは[📷][取消]を押します。
- パレット設定が[OFF]の場合は、装飾の指定が終わったら[☐]を押し、本文を入力します。
- 本文を入力すると、装飾が反映されます。
- メールサイズが10000バイトを超えると、バイト数がマイナス表示されます。
  10000バイト以内になるように編集してください。
- 装飾した文字を削除しても、装飾データのみが残り、入力文字数が少なくなる場合があります。装飾した文字を削除するときは、装飾の解除を行ってから文字を削除してください。なお、[CLR]を1秒以上押して文字を削除した場合は、文字と文字にかかっている装飾データが削除されます。
- 本文の変更を1つ前の状態に戻すときは、[📷][☐][Ｉ]を押します。連続して複数の装飾を指定したあとで、装飾範囲を指定した場合、元に戻すことはできません。

5 [📷][☐][７][プレビュー]を押す。

- [◎]で画面をスクロールできます。
- プレビュー画面では、受信した相手に表示されるメールと同じものを確認できます。
- 続けて装飾をするときは、■を押してプレビュー画面を閉じたあと、操作3～4をくり返します。

6 ■[確認]を押す。

次ページへ続く

- 装飾を全解除するときは、📷1[デコレーション]📷○5を押します。パレット設定が[OFF]のときは、📷1○5を押します。挿入した画像も削除されます。
- 挿入した画像の詳細情報を表示するときは、画像の前にカーソルを移動して📷○3を押します。

7 ■を押し、[送信]を押す。

- 本文のみのサイズが10000バイトを超えているときは、[最大サイズを超えているため一部のデータが失われる可能性があります　編集終了しますか？]と表示されます。[はい]を選んで■を押すと、メール作成画面が表示されますが、超過しているデータは削除され、[⊠]が表示されます。メールの内容（文字、画像など）によっては、削除されない場合もあります。編集し直すときは、[いいえ]を選んで■を押すと本文入力画面に戻ります。10000バイト以内になるように編集してください。

お知らせ

- 受信したデコメールを引用返信、または転送した場合、装飾や挿入した画像も引用されます。
- デコメール対応FOMA端末以外から送信された装飾メールは装飾が正しく表示されないことがあります。
- 装飾決定すると、状態アイコンが[DE✉]に変わります。
- デコメール非対応機種からデコメール閲覧用のURL付きメールを転送された場合、そのURLを直接入力しても、該当するデコメールは閲覧できません。

関連操作

パレットを表示しないように設定する
<パレット設定>

1 P.233の操作２のあと📷○4
2 2[OFF]
- パレットを表示させるとき：1

■範囲を指定して装飾する

本文の一部を指定して装飾を行ったり、指定済みの装飾を変更できます。

1 パレット表示画面（☞P.233）で✉[範囲選択]を押す。

- パレット表示画面で📷○2を押しても操作できます。

2 装飾開始位置にカーソルを移動して■[開始]を押す。

- すべての文章を選択するときは、✉を押します。
- 選択を取り消すときは、iを押します。

3 装飾終了位置にカーソルを移動して■[終了]を押す。

4 ✥でパレットを選んで■を押し、装飾を指定する。

- 指定した範囲が装飾されます。
- １つ前の状態に戻すときは📷○3[元に戻す]を押します。
- [画像挿入]、[ライン挿入]、[背景色]、[デコレーション変更]、[デコレーションなし]は選ぶことができません。
- パレット設定が[OFF]のときは、サブメニューから装飾の種類を選んで■を押し、装飾を指定します。
- 同じ範囲を続けて装飾するときは、操作４をくり返します。

5 装飾の指定が終わったらi[文字入力]を押す。

- 以降の操作については、P.233の操作５～７を参照してください。

お知らせ

- 装飾を指定したあとで、範囲を指定したときは、元に戻すことはできません。

テンプレートを利用して送信する

テンプレートを利用してデコメールを作成できます。テンプレートとは、レイアウトや装飾がすでに決められているデコメール用の雛形です。テンプレートを利用することにより、簡単にデコメールを作成／送信できます。
また、作成したデコメールをテンプレートとして保存したり、テンプレートをサイトからダウンロード（☞P.208）することもできます。

- テンプレートは最大30～100件まで保存できます。
- お買い上げ時、14件のテンプレートが登録されています。

テンプレートを利用してデコメールを作成する<テンプレート呼出>

1 待受画面で✉9を押す。

- 詳細メニューから✉（メール）→[テンプレート]の順に選択することもできます。
- メール作成中にテンプレートを呼び出すときは、メール作成画面で📷3または、本文入力画面で📷2を押します。本文が入力されているときは、編集中の内容が失われる旨のメッセージが表示されます。[はい]を選んで■を押すと、本文の内容が削除されます。

2 テンプレートを選んで■[確認]を押し、i[メール]を押す。

- テンプレートが本文入力画面に反映されます。
- デコメール作成と同様に編集できます。詳しくは、P.231を参照してください。

お知らせ

- サイズが10000バイトを超えているテンプレートは呼び出しできません。

作成したメールをテンプレートとして保存する＜テンプレート保存＞

1 デコメールの作成が終わったら（☞P.233の操作1～6）■を押し、メール作成画面で📷4［テンプレート保存］を押す。

2 ［はい］を選んで■を押す。

- テンプレートを呼び出して作成したデコメールの場合は、［新規保存］または［上書き保存］を選んで■を押します。

お知らせ

- 保存したテンプレートには、自動的に保存日時をもとにしたタイトル名が付けられます。
  例：2006年8月22日午後1時5分7秒に保存した場合→［060822_130507］
- 作成したデコメールに添付ファイルがあっても、添付ファイルなしで保存されます。
- メモリが不足している場合、テンプレートを保存できません。不要なファイルを選択削除し、メモリの空き容量を増やしてから保存してください。（☞P.334）

テンプレートを編集する＜編集＞

1 待受画面で✉9を押し、テンプレートを選んで📷1［編集］を押す。

2 デコメールを編集して（☞P.233の操作3～6）■を押し、［新規保存］または［上書き保存］を選んで■を押す。

関連操作

テンプレートのタイトルを編集する＜タイトル編集＞

1 待受画面で✉9を押し、テンプレートを選ぶ▶📷2

2 タイトルを編集▶■

テンプレートを削除する＜削除＞

1 待受画面で✉9を押し、テンプレートを選ぶ▶📷3

2 1［1件削除］

- 複数のテンプレートをまとめて削除するとき：2▶テンプレートを選ぶ■（くり返し可）▶📷
- すべてのテンプレートを削除するとき：3▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶■

3 ［はい］▶■

テンプレートの詳細情報を表示する＜情報表示＞

待受画面で✉9を押し、テンプレートを選ぶ▶📷4

- 確認を終わるとき：■またはCLR

関連操作のお知らせ

テンプレートの削除について

- 選択削除の場合、📱［全選択］／📱［全解除］を押してすべてを選択／解除できます。

関連操作

関連操作のお知らせ

テンプレートの情報表示について

- タイトル名、ファイル名、ファイル形式、ファイル制限が表示されます。

添付ファイル

ファイルを添付する

FOMA端末で撮影した静止画や動画、サイトやインターネットホームページからダウンロードした画像、iモーション、メロディやトルカをiモードメールに添付して送信できます。

- 1つのメールに通常添付ファイルと大容量添付ファイルを同時に添付できます。

1つのメールに添付できるファイルのサイズや個数

通常添付ファイルの場合

データの種類		メロディ	静止画	トルカ
ファイル形式		SMF	GIF画像、JPEG画像	—
ファイルサイズ		1～10000バイト※1		1～1024バイト※2
添付可能件数		合計最大10個※3		
送付先ごとの送付可否	FOMA端末	○	○	○
	movaサービスのiモード端末	×	○※4,5	×
	e-mail	○	○	×

大容量添付ファイルの場合

データの種類		静止画	動画／iモーション
ファイル形式		JPEG画像※6	Mobile MP4
ファイルサイズ		10001～500K（512000）バイト※7	1～500K（512000）バイト※7
添付可能件数		どちらか1個	
送付先ごとの送付可否	FOMA端末	○※8	○※9
	movaサービスのiモード端末	○※5、8	○※9
	e-mail	○	○

※1 添付ファイルサイズと本文サイズの合計です。添付ファイルのサイズの分だけ、本文に入力できる文字数が少なくなります。ただし、大容量添付ファイルを添付すると、通常添付ファイルサイズと本文サイズの合計は最大9800バイト（デコメールの場合は最大9600バイト）になります。

※2 添付するトルカデータによっては、このサイズ内でも送信できないことがあります。

※3 添付ファイルサイズが大きいと、添付できる件数が少なくなります。

※4 GIF画像は添付できません。

※5 movaサービスのiモード端末へ送信する場合、自動的にiショット送信（画像閲覧用URLと画像保存期限が自動的に付与される）となります。なお、添付できるデータは1個、本文は最大全角184文字までです。もし、この条件にあてはまらないファイルや、複数のファイルを添付した場合は、添付ファイルが削除され、本文のみが送信されます。

次ページへ続く

※6　10000バイトを超えるGIF画像はメールに添付できません。
※7　大容量添付ファイルのみを添付した場合のサイズです。
※8　ｉモード端末へ送信する場合、ｉショットセンターでｉモード端末に送るのに適したサイズに変換されます。
※9　動画／ｉモーションをｉモード端末へ送信する場合、ｉモーションメール(動画閲覧用URLと動画保存期限が自動的に付与される)となります。送信先のｉモード端末の種類によっては画像が粗くなったり、連続静止画に変換されることがあります。

1 ｉモードメールを作成し(☞P.229の操作1～3)、で添付の入力欄を選んでを押す。

2 添付するファイルを選ぶ。

静止画を添付する	1→フォルダを選ぶ→→静止画を選ぶ→ ● 静止画を確認するときは、静止画を選んでを押します。
メロディを添付する	2→フォルダを選ぶ→→メロディを選ぶ→ ● メロディを再生するときは、メロディを選んでを押します。再生を止めるときは、を押します。
動画／ｉモーションを添付する	3→フォルダを選ぶ→→動画／ｉモーションを選ぶ→ ● 動画／ｉモーションを再生するときは、動画／ｉモーションを選んでを押します。再生を止めるときは、を押します。
トルカを添付する	4→フォルダを選ぶ→→トルカを選ぶ→ ● トルカを確認するときは、トルカを選んでを押します。
撮影した静止画を添付する	5→[📷]→ ● 撮影した静止画は、[カメラ撮影]フォルダに圧縮して保存されます。
撮影した動画を添付する	6→[録画]→→1 ● 撮影した動画は、[カメラ撮影]フォルダに保存されます。

- メール作成画面に戻ります。添付欄に選択したファイル名とファイルサイズが表示されます。
- 本文入力欄の上に表示される残バイト数表示は、添付ファイルのサイズを引いた値です。
- 「待受:240×320」より大きいサイズのJPEG画像を選んだときは、[待受サイズ(240×320)に縮小しますか？]と表示されます。[はい]を選んでを押すと縮小して添付されます。[いいえ]を選んでを押すと、500Kバイト以下になるように圧縮して添付されます。
- 「待受:240×320」サイズはｉモード端末に送信するのに適したサイズです。

3 [送信]を押す。

お知らせ

- ファイルサイズが500Kバイトを超える静止画を選択した場合は、自動的に圧縮して添付されます。圧縮されたファイルは、マイピクチャの取得元のフォルダに元のファイル名+「_M」の名前で保存されます。
- データBOXのマイピクチャやｉモーションの取得元のフォルダに保存されている圧縮された画像を削除した場合、未送信BOXに保存されている未送信メールに添付されている画像が削除されることがあります。
- Flash画像、フレーム、スタンプ、FOMA端末にあらかじめ内蔵されているメロディは添付できません。
- 相手の機種がFOMA SH900iより前に発売された機種の場合、送ったメロディを正しく再生できないことがあります。
- ｉモードメール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは送信できません。
- FOMA端末で撮影した画像にファイル制限を設定している場合、添付して送信できますが、受け取った方はそのファイルを外部へ送信できません。
- ｉモーションによっては、添付できないものもあります。また、送信相手側機種によって、画像が粗くなったり、連続静止画に変換されて表示される場合があります。
- メール添付可能なメロディ一覧には、メール本文と合わせるとデータ量がオーバーしてしまうメロディも表示されます。
- トルカ(詳細)をメールに添付して送信した場合、トルカ(詳細)取得前の状態で送信されます。ただし、送信された先で再度詳細を取得することが可能です。

次の場合はメロディや静止画を添付できません
- メロディまたは静止画を添付すると、本文(添付したメロディ、画像を含む)のデータ量が10000バイトを超える場合。
- すでにメロディまたは画像が、合計で10個添付されている場合。

次の場合は**10000**バイトを超える静止画またはｉモーションを添付できません
- ｉモーションのデータ量が500Kバイト(512000バイト)を超える場合。
- 本文(添付したメロディ、画像を含む)の残りのデータ量が200バイト未満の場合。ただし、デコメールは400バイト未満の場合。
- すでに10000バイトを超える静止画、またはｉモーションが添付されている場合。

撮影した静止画の添付について
- 自動保存モードを[ON]に設定している場合、撮影後のプレビュー画面は表示されません。
- すでに添付できる最大件数分のファイルが添付されている場合、または残バイト数が0バイトの場合は、カメラ起動は選択できません。

添付ファイルを確認する場合
- メール作成画面で確認したいファイルが添付されている添付欄を選んで6を押します。

貼り付けられたデータについて
- メールに貼り付けられたメロディ(MFi)は、メールの返信や転送をする際に引用できません。

ｉモードやｉアプリから取得したトルカについて
- トルカのデータサイズによっては、メールに添付して送信することができない場合があります。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

お知らせ

- トルカが添付されたメールを赤外線やminiSDメモリーカードで転送した場合、トルカデータは削除されます。

関連操作

添付ファイルを解除する<添付解除>
操作2のメール作成画面で、添付欄のファイルを選ぶ▶[■]▶[7]

iモードメール保存

iモードメールを保存しておき、あとで送信する

iモードメールの作成中に操作を中断しなければならないときや、作成したiモードメールを保存しておきたいときは、FOMA端末(本体)に一時保存しておくことができます。また、保存したiモードメールを編集して送信することもできます。

- iモードメールの作成については、P.229〜P.230を参照してください。

iモードメールを保存する

1 iモードメールの作成中(☞**P.229**の操作1〜3)に、[📷][2][保存]を押す。

- 作成中のiモードメールが、未送信メールとして保存されます。
- 通常のiモードメールでは、本文サイズと添付ファイルを合わせて10000バイトまで保存できます。
- 大容量添付ファイル(静止画およびiモーション)を添付する場合は、メール本文と合わせて521800バイトまで保存できます。ただし、デコメールに大容量添付ファイルを添付する際の最大保存サイズは、521600バイトとなります。

お知らせ

- メール作成中で宛先、題名、本文、添付ファイルのいずれかが入力されている場合、[終話]を押すと、終了確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、メールの作成を中止できます。ただし、作成を中止したメールは保存されません。

送信/保存したiモードメールを編集・送信する

送信したiモードメールを編集・再送する

1 待受画面で[✉][2]を押す。

- 詳細メニューから✉(メール)→[送信BOX]の順に選択することもできます。

2 フォルダを選んで[■]を押し、iモードメールを選んで[■]を押す。

- [◁▷]を押すと、前または次のメール表示画面が表示されます。
- [CLR]を押すと、送信メール一覧画面に戻ります。メール一覧画面で、メールを選んで[i]を押しても編集できます。[✉]を押すと、再送できます。
- メロディが添付されているときは、メロディが再生されます。メロディ自動再生(☞P.255)を[自動再生しない]に設定しているときは、再生されません。メロディを止めるときは、[■]を押します。他の画面に移動してもメロディは止まります。
- 画像が添付されているときは、本文の下に画像と添付種別マーク、ファイル名が表示されます。(☞P.246)

3 編集・再送する。

編集する	[i]または[📷][1]→メールを編集→[i] ● 新規作成時と同様に編集できます。P.229の操作2〜3を参照してください。
再送する	[📷][2]

保存したiモードメールを編集・送信する

1 待受画面で[✉][3]を押す。

- 詳細メニューから✉(メール)→[未送信BOX]の順に選択することもできます。

2 フォルダを選んで[■]を押し、iモードメールを選んで[■]を押す。

3 項目を選んで[■]を押し、編集して[i][送信]を押す。

- 新規作成時と同様に編集できます。詳しくは、P.229の操作2〜3を参照してください。
- iモードメールが送信されます。
- 未送信メールは1件ずつ選択して、送信します。
- 送信したiモードメールは[送信トレイ]に保存されます。ただし、振分け条件設定(☞P.253)の条件に合致していた場合は、設定したフォルダに保存されます。

メール自動受信

iモードメールを受信したときは

メール選択受信設定(☞P.239)が[OFF]に設定されている場合、iモードメールを自動的に受信します。

- 受信メールはiモードメールとSMSを合わせて最大100〜1000件まで保存できます。(受信メールのサイズによって、保存できる件数が異なります。)
- 保存するメモリの空き容量がない場合、保護されていない保存日時の一番古い既読メールに上書きされます。必要なiモードメールは保護することをおすすめします。(上書き確認のメッセージは表示されません。)

次ページへ続く▶▶

● FOMA端末が次のいずれかの状態のとき、送信されてきたｉモードメールは、ｉモードセンターに保管されます。
■ 電源が入っていないとき
■ おまかせロック中
■ セルフモード中
■ 圏外
■ テレビ電話の通話中
■ 赤外線通信中
■ メール選択受信設定が[ON]のとき
■ 保護や未読のｉモードメールがいっぱいで空き容量がないとき
■ FirstPassセンター接続中
■ プッシュトーク通信中(☞P.422)

お知らせ

● 本文が全角5000文字(半角10000文字)を超えるｉモードメールを受信した場合、文末に[/]または[//]が表示され、超えた部分が自動的に削除されます。削除された部分は確認できません。
● 通話中、ｉアプリ実行中、カメラ起動中、アラーム鳴動中にメールを受信した場合、メール着信音は鳴りません。
● FOMA端末(本体)のメールをminiSDメモリーカードにコピーしたり、miniSDメモリーカード内のメールをFOMA端末(本体)にコピーできます。
● 文字サイズの設定によって、画面に表示される文字数が変わります。

マークの意味

マーク	状　態
(青色)	未読ｉモードメールがあります。(☞P.238)
	未読ｉモードメールと未読SMSの両方があります。(☞P.238、P.261)
	FOMA端末内の受信ｉモードメールやSMSがいっぱいです。未読メールの確認(☞P.238、P.261)、保護解除(☞P.250)、不要なメールの削除(☞P.250、P.264)を行ってください。
(赤色)	FOMA端末内の受信ｉモードメールやSMS、FOMAカード内のSMSがいっぱいです。未読メールの確認(☞P.238、P.261)、保護解除(☞P.250)、不要なメールの削除(☞P.250、P.264)を行ってください。
SMS(赤文字)	未読SMSがあります。(☞P.261)
SMS(青文字)	FOMAカード内のSMSがいっぱいです。不要なメールの削除(☞P.264)を行ってください。
(青色)	センターでメールをお預かりしています。(メール選択受信設定が[OFF]のとき) ｉモードメールを受信したいときは、ｉモード問い合わせ(☞P.240)を行ってください。
	センターでお預かりしているｉモードメールがいっぱいです。 ｉモード問い合わせ(☞P.240)を行ってください。
PIM	PIMロックが設定されています。メールのPIMロック中にｉモードメールを確認したいときは、端末暗証番号の入力が必要です。(☞P.162)

お知らせ

● ｉモードセンターにｉモードメールが保管されていても、[ ](青色)が表示されない場合があります。
● メール選択受信設定を[ON]に設定しているときは、[ ](青色)や[ ]は表示されません。

新着ｉモードメールを表示する

1 ｉモードメールが届くと、自動的に受信する。([ ]点滅)

● 受信を中止するときは、受信中に[●]を押します。
● 受信を中止したｉモードメールは、ｉモードセンターに保管されます。([ ](青色)表示)
● 受信を中止するタイミングにより、ｉモードメールを受信してしまう場合もあります。

2 受信終了後、ｉモードメールの受信結果が表示され、ｉモードメール着信音が鳴る。([ ]表示)

メインディスプレイ受信完了画面　サブディスプレイ受信完了画面

● FOMA端末を閉じているときは、サブディスプレイに[受信完了]と表示されたあと、ｉモードメールとSMSの合計の件数が表示されます。
● メール着信音にｉモーションを設定しているときは、受信結果が画面下側に表示されます。
● 受信したｉモードメールは、[受信トレイ]に保存されます。ただし、振分け条件設定(☞P.253)の条件に合致していた場合は、設定したフォルダに保存されます。
● 複数のｉモードメール、メッセージR/Fを同時に受信したときは、最後に受信したｉモードメール、または設定されているメッセージR/Fの着信音がなります。

3 受信結果画面で[メール]を選んで[●]を押す。

● 未読のメールが保存されているフォルダは、ピンク色で表示されています。
● SMSを受信したときも、受信BOXに保存されます。
● 受信結果画面で、何も操作せずにそのままにしておくと、約30秒後、自動的に受信前の画面に戻ります。待受画面に戻ると[新着メールあり　○件]と表示されます。
● メッセージR/Fを受信したときは、メッセージ自動表示設定(☞P.215)に従い、メッセージR/Fが自動表示されます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

4 フォルダを選んで[■]を押し、ｉモードメールを選んで[■]を押す。

- 受信メールの見かたについては、P.246を参照してください。

お知らせ

- ｉモードメールでは、メロディや動画、静止画を添付ファイルとして送受信できます。対応していない添付ファイルは、ｉモードセンターで削除されます。添付ファイルを削除した場合は、本文に[添付ファイル削除]の文字が追加されます。
- メロディ自動再生が[自動再生する]に設定されているときは、メロディが再生されます。[■]を押したり、他の画面に移動すると、メロディが止まります。
- 画像が添付されているときは、本文の下に画像と添付種別マーク、ファイル名が表示されます。
- ｉモードメールに大容量の画像ファイルが添付されていて、自動的に取得できなかったときは、本文に表示されている[画像あり]を選択すると画像が取得され、データBOXのマイピクチャの[ｉモード]フォルダに保存されます。メモリの空き容量がない場合は、不要なファイルを選択削除して、メモリの空き容量を増やしてから保存します。
- メロディとｉアプリToの両方が貼り付けられている場合は、両方のデータが無効となります。
- あらかじめ受信するｉモードメールのサイズ（本文+添付ファイルまたは貼付データ）を制限できます。（ｉモードメニューから[ｉMenu]→[料金＆お申込・設定]→[メール設定]→[メールサイズ制限]）設定した文字数（データ量）を超えた場合、添付ファイル、貼付データはｉモードセンターで削除されます。削除された添付ファイルや貼付データを再度受信することはできません。
- 画像が貼り付けられているデコメールの場合、添付ファイル受信で画像を受信しないように設定しているときは、[ ]（画像取得失敗）が表示されます。
- To、Cc、Bccを設定できるFOMA端末やパソコンなどから送信されたｉモードメールは、自分がTo、Cc、Bccのどれに当てはまるかを、FOMA端末で確認できます。（☞P.246）
- メールのPIMロック中、ｉモードメールやメッセージR／Fを受信しても、受信結果の表示とメッセージR／Fの自動表示は行われません。また、メール着信音も鳴りません。
- 保存先メモリの空き容量がなく、保護されていない既読メールが1件もないときにｉモードメールを受信した場合、[メッセージがいっぱいです]と表示されます。受信結果画面には件数[0]と表示されます。
- 正しく表示できない文字はスペースなどで表示されます。

着信音を止めるとき

- 次のボタンを押します。
  - ■ [■]..........着信音が止まり、受信BOX一覧画面が表示されます。
  - ■ [CLR]、[PWR]....着信音が止まり、待受画面または受信前の画面に戻ります。
  - ■ [◯]..........受信結果画面のまま着信音が止まります。

待受中以外の状態で受信したとき

- メール受信表示設定を[通知優先]に設定している場合、メール着信音が鳴り、ディスプレイに[✉]と受信完了画面が表示されます。

メール選択受信

ｉモードメールを選択して受信する

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除できます。メール選択受信をご利用になるためには、あらかじめ[メール選択受信設定]を[ON]に設定します。なお、[ON]に設定した場合は、自動的にｉモードメールを受信できません。

ｉモードメールが届いたときは

メール選択受信設定を[ON]に設定しているときにｉモードセンターにｉモードメールが届くと、待受画面には右の画面が表示されます。（メール選択受信通知）

メインディスプレイ

サブディスプレイ

[■]、[PWR]または[CLR]を押すと、表示が消えます。ｉモードメールを選択受信するときは、表示を消してから行ってください。

- 右上の画面が表示されているときに、電話がかかってきて[☎]や[PWR]を押しても、通話終了後、再び右上の画面に戻ります。
- 右上の画面が表示されるときは、メール着信音は鳴らず、バイブレータも振動しません。

ｉモードメールを選択受信する <メール選択受信>

1 待受画面で[✉][◯][ｉ]を押す。

- 詳細メニューから✉（メール）→[メール選択受信]の順に選択することもできます。
- ｉモードセンターに接続され、ｉモードセンターに保管されているｉモードメールが表示されます。

- メール選択受信設定を[OFF]に設定しているときは、[メール選択受信をご利用になる場合は「メール設定」から「メール選択受信設定」をONにしてください]と表示されます。[■]を押すと、メール選択受信設定画面が表示されます。[ｉ][ON]を押し、[はい]を選んで[■]を押してから、操作1を行ってください。

2 ｉモードメールごとに[受信]、[削除]または[保留]を選んで[■]を押す。

- 表示されていない部分を確認するときは、[◯]を押します。

次ページへ続く

- ファイルが添付されているときはサイズの右側に次のアイコンが表示されます。
  - ：画像ファイルが添付されています。
  - ♪：メロディファイルが添付されています。
  - ：iモーションが添付されています。
  - ：トルカが添付されています。
- iモードセンターのiモードメールをすべて削除するときは、メール選択受信画面の最下部にある[削除]を選んでを押します。確認画面で[決定]を選んでを押すと、iモードセンターのiモードメールがすべて削除されます。

3 [受信／削除]を選んでを押し、[決定]を選んでを押す。

- 受信／削除したいiモードメールを選び直すときは、[ｷｬﾝｾﾙ]を選んでを押します。

4 受信したiモードメールを表示する。(☞P.238の操作3～4)

関連操作

iモードから選択受信する<メール選択受信>
待受画面で▶[iMenu]▶[メニュー／検索]▶▶[メール選択受信]▶

iモード問い合わせ

iモードメールがあるかどうかを問い合わせる

圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどに送られてきたiモードメールはiモードセンターに保管されています。(☞P.238) iモードセンターに問い合わせて受信できます。

- iモード問い合わせをする種類(iモードメール、メッセージR／F)を設定できます。(☞P.254)
- お買い上げ時は、すべての種類の問い合わせをするように設定されています。(☞P.254)
- メール選択受信設定を[ON]に設定していても、iモード問い合わせをすると、すべてのiモードメールを受信します。
- iモード問い合わせをしたあと、[]が点滅している間に再びiモード問い合わせの操作をしても、実際には問い合わせを行いません。すべての種類について[0件]と表示されます。
- SMSの問い合わせについては、P.261を参照してください。

1 待受画面でまたはを押す。

- 詳細メニューから(メール)または(iモード)→[iモード問い合わせ]の順に選択することもできます。
- 待受画面でを2回押しても、iモード問い合わせを行います。
- iモード問い合わせ設定(☞P.254)の設定に従い[iモードメール]→[メッセージR]→[メッセージF]の順でiモード問い合わせを行います。(問い合わせをしているマーク([✉]、[R]、[F])が順次表示されます。)
- 受信を中止するときは、受信中にを押します。
- 受信を中止したiモードメールは、iモードセンターに保管されます。([✉](青色)表示)
- 受信を中止するタイミングにより、iモードメールを受信してしまう場合もあります。

2 問い合わせ結果が表示され、iモードメールがある場合は、iモードメール着信音が鳴る。

- センターにiモードメールが保管されていないときは、件数が[0]と表示されます。
- 複数のiモードメール、メッセージR／Fを受信したときは、最後に受信したiモードメール、メッセージR／Fに設定されている着信音が鳴ります。
- 着信音を途中で止めるときは、CLRを押します。他のボタンでも止めることができます。(☞P.239)

3 受信結果画面で、[メール]を選んでを押す。

- 未読のメールが保存されているフォルダは、ピンク色で表示されます。
- 受信結果画面で、何も操作せずにそのままにしておくと、約30秒後に元の画面に戻ります。
- iモード待機中の状態([]が点滅)のままです。
- iモード問い合わせで受信したメッセージR／Fは、自動表示されません。

4 フォルダを選んでを押し、iモードメールを選んでを押す。

- 受信メールの見かたについては、P.246を参照してください。

お知らせ

- 問い合わせの結果、表示される画面上側のマークの意味については、P.238を参照してください。
- 電波状況などにより、エラーメッセージが表示され、問い合わせできない場合や中断される場合があります。
- 保存先メモリの空き容量がなく、保護されていない既読メールが1件もないときにiモード問い合わせをしてiモードメールを受信した場合、[メッセージがいっぱいです]と表示されます。受信結果画面には件数[0]と表示されます。

iモードメール返信

iモードメールに返信する

iモードメールの返信方法には、受信メールの本文を引用して返信する方法と、本文を引用しないで返信する方法があります。

- 未送信BOXのメモリの空き容量がない場合は、iモードメールを返信できません。
- SMSの返信については、P.262を参照してください。

1 iモードメールを表示し(☞P.238の操作1～4)、[返信／転送]を押して返信方法を選ぶ。

返信する	[1] ● 受信メールの題名の先頭に[Re:]が付いた題名が入力されています。
受信メールの本文を引用して返信する	[3] ● 本文の先頭に[>]が挿入され、受信メールの内容が引用されます。 ● デコメールのときは、装飾と挿入した画像が引用されます。

- メール一覧画面で[i]または、メール表示画面で[i]を押してもメールを返信できます。
- 返信できないｉモードメールを選んだときは、[返信先が無効です]と表示されます。
- 引用返信で9983バイト以上のデコメールを選んだときは、入力可能な残バイト数はマイナス表示になり、[残]が表示されます。10000バイト以内になるように編集してください。
- 同報があるｉモードメールを選んだときは、返信先の選択画面が表示されます。
[1][差出人に返信]または[2][全員に返信]を押します。

2 ｉモードメールを作成し、送信する。

- 題名や本文を編集できます。詳しくは、P.229の操作2～3を参照してください。

お知らせ

- ｉモードメール作成中に[終話]を押すと、終了確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、ｉモードメールの作成を中止できます。ただし、作成を中止したｉモードメールは保存されません。
- ｉモードメールの返信画面で未編集のまま[終話]を押すと、終了確認画面は表示されません。
- 返信するｉモードメールの題名は、[Re:]を含めて全角15文字（半角30文字）を超えると、超えた部分が削除されます。
- [>]と本文と合わせて全角5000文字（半角10000文字）を超えると、超えた部分が削除されます。
- 送信元のメールアドレスが50文字を超えているときは返信できません。返信できないｉモードメールには受信メール表示画面で[✕]が表示されます。
- 相手がシークレットコードを登録している場合、ｉモードメール送信時にメールアドレスにシークレットコードを付加する必要があります。（☞P.230）
- 本文にｉアプリToが貼り付けられている場合、引用返信してもｉアプリToは引用できません。また、データリンクソフトや赤外線通信を利用しても、ｉアプリToの情報は送信できません。
- ダイヤル発信制限中は、電話帳またはワンタッチキーに登録していない宛先へは返信できません。相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話番号のみをメールアドレスとして登録してください。

手早く返信する<クイック返信>

受信メール表示画面から簡単に返信メールを送信できます。

- あらかじめクイック返信メール設定（☞P.255）で本文を登録しておきます。10件まで登録できます。

1 ｉモードメールを表示し（☞**P.238**の操作1～4）、[📷][1][2][クイック返信]を押す。

2 本文を選んで[●]を押す。

- 本文を確認するときは、本文を選んで[i][確認]を押します。
- 宛先、題名、本文を確認します。

3 [i][送信]を押す。

ｉモードメール転送

ｉモードメールを他の宛先に転送する

FOMA端末で受信したｉモードメールを他の相手に転送できます。

- 送信メールを保存するメモリの空き容量がない場合は、ｉモードメールを転送できません。

1 ｉモードメールを表示し（☞**P.238**の操作1～4）、[📷][1][4][転送]を押す。

- 受信メールの題名の先頭に[Fw:]が付いた題名が入力されています。
- 受信した本文がそのまま入力されています。
- デコメールのときは、装飾と挿入した画像が転送されます。

2 ｉモードメールを作成し、送信する。

- 題名や本文を編集できます。詳しくは、P.229の操作2～3を参照してください。

お知らせ

- ｉモードメール作成中に[終話]を押すと、終了確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、ｉモードメールの作成を中止できます。ただし、作成を中止したｉモードメールは保存されません。
- ｉモードメールの転送画面で未編集のまま[終話]を押すと、終了確認画面は表示されません。
- 転送するｉモードメールの題名は、[Fw:]を含めて全角15文字（半角30文字）を超えると、超えた部分が削除されます。
- 本文の編集後、全角5000文字（半角10000文字）を超えると、超えた部分が削除されます。

転送するｉモードメールにメロディや画像が添付されていたとき

- メロディや画像も転送されます。ただし、メロディ添付のｉモードメールを転送した機種がFOMA SH900iより前に発売された機種の場合、送ったメロディを正しく再生できないことがあります。

次ページへ続く

お知らせ

- 転送するｉモードメールに、ｉアプリToやｉモードメール添付、FOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付されているとき、それらのファイルは削除されます。
- メロディは最大10件添付できますが、添付するファイルサイズによっては、添付できる件数が少なくなります。

メールアドレスや電話番号を電話帳に登録する

受信メールの送信元や宛先、本文に書かれたメールアドレス、送信メールの宛先のメールアドレスまたは電話番号を電話帳に登録できます。

- 電話帳に登録するには新しく電話帳を作成して登録する[新規]と、既存の電話帳にメールアドレスを追加する[追加／上書]があります。
- SMSの場合、送信元／宛先の電話番号が電話帳の電話番号欄に登録されます。
- 次の場合は、電話帳に登録できません。
  - ■ メールアドレスが半角50文字を超える受信メール
  - ■ ダイヤル発信制限中
  - ■ FOMA端末（本体）電話帳の場合は750件、FOMAカード電話帳の場合は50件がすでに登録されているとき

送信元／宛先のメールアドレスを電話帳に登録する＜アドレス登録＞

1 受信メール表示画面で[メニュー][6][1][アドレス登録]を押し、登録方法を選ぶ。

- 送信メールのときは、送信メール表示画面で[メニュー][7][1]を押します。

FOMA端末（本体）電話帳に新規登録する	[1]
FOMAカード電話帳に新規登録する	[2]
電話帳に追加／上書き登録する	[3]→名前を選ぶ→[●]

- 電話帳入力画面に、送信元または宛先のメールアドレスが入力されています。電話帳登録の操作を続けます。（☞P.110、P.114）
- 電話帳のPIMロック中は、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力すると電話帳に登録できます。

お知らせ

- 宛先が複数存在する場合は、操作1のあとアドレス選択画面が表示されます。宛先を選んで[●]を押します。

メール本文の電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する＜電話帳登録＞

1 受信メール表示画面で電話番号やメールアドレスを選んで[メニュー][6][2][電話帳登録]を押し、登録方法を選ぶ。

- 送信メールのときは、送信メール表示画面で[メニュー][7][2]を押します。

FOMA端末（本体）電話帳に新規登録する	[1]
FOMAカード電話帳に新規登録する	[2]
電話帳に追加／上書き登録する	[3]→名前を選ぶ→[●]

- 電話帳入力画面に、選択した電話番号やメールアドレスが入力されています。電話帳登録の操作を続けます。（☞P.110、P.114）

画像メール受信

画像メールの画像を表示する

大容量添付ファイル（静止画）を自動的に取得できなかったときや、URLが記載されたメールを受信したときは画像を取得します。

- 大容量添付ファイル（静止画）はメール受信時に自動的に取得されますが、取得に失敗した場合は[画像あり]が表示されます。

例：大容量添付ファイル（静止画）の場合

1 受信した大容量添付ファイルのあるメールを表示し（☞P.238の操作1～4）、本文中の[画像あり]を選んで[●]を押す。

- 画像が取得されデータBOXのマイピクチャの[ｉモード]フォルダに保存されます。
- メモリの空き容量がない場合は、不要なファイルを選択削除して、メモリの空き容量を増やしてから保存します。
- 大容量添付ファイル（静止画）が取得できなかった場合、静止画は添付されません。
- 画像のURLが記載されているときは、画像のURLを選んで[●]を押します。ｉモード接続確認画面が表示されます。[はい]を押すとｉモード接続が開始され、画像が表示されます。
- 表示した画像の保存方法は、サイトやインターネットホームページから画像をダウンロードする場合と同様です。詳しくは、P.208を参照してください。

ｉモーションメール受信

ｉモーションメールからｉモーションを再生・保存する

受信したｉモーションメールには、ｉモーション閲覧のためのURLが記載されています。[あり]が表示され、URLを選択すると、ｉモーションメールセンターからｉモーションのファイルを取得して、再生することができます。

1 ｉモーションが添付されている受信メールを表示し（☞P.238の操作1～4）、本文中のURLを選んで[●]を押す。

- ｉモード接続確認画面に[サイトに接続しますか？]と表示されます。[はい]を押すと取得が開始されます。
- ｉモーションが取得され、完了後、再生を行います。ｉモーションによっては、取得しながら自動的に再生を行い、再生が終ったときに、データ取得完了画面が表示されるものがあります。

- 再生回数が決められているｉモーションは、再生するときに残り回数が表示されます。再生するときは、[はい]を選んで■を押します。
- 再生期限が決められているｉモーションは、再生するときに再生期限が表示されます。
- 再生期間が決められているｉモーションは、再生するときに再生期間が表示されます。
- ｉモーションを保存するときは、取得したｉモーションを再生中または停止(一時停止)中に📷1を押します。

お知らせ

- ｉモーション取得開始直後に音声電話着信があった場合は、ｉモーション取得が中止されます。
- ｉモード端末へｉモーションメールを送信した場合、ｉモーションメールセンターに保存されたｉモーション閲覧用URL１件につき50回まで取得できます。50回を超えた場合は、ｉモーションを取得できません。
- ｉモーションメールに添付されているｉモーションをパソコンなどで再生する場合は、対応のソフトが必要です。(☞P.425「動画再生ソフトのご紹介」)詳しくは、ドコモのホームページを参照してください。
- ｉモーションによっては、データを取得しても正しく再生できないことがあります。
- データを取得しながら再生できるｉモーションの場合、電波状況などにより再生ができなくなった場合でも、ｉモーションの取得完了後に再生できます。

添付ファイル確認

添付ファイルを確認・保存・削除する

ｉモードメールに添付されている、画像・メロディ・トルカを確認・保存・削除できます。

- 添付ファイルはデータBOXのマイピクチャの[ｉモード]フォルダ、メロディの[ｉモード]フォルダ、LifeKitのトルカの[トルカフォルダ]にそれぞれ保存されます。

1 ファイルが添付されている受信メールを表示し(☞**P.238**の操作１～４)、📷41[添付ファイル確認]を押す。

- 送信メールのときは、📷51を押します。
- 添付ファイルのURLを確認するときは、📷42を押します。

2 ◎でファイルを選び、確認する。

添付ファイルを確認する		■ ● 添付ファイルが表示または再生されます。
添付ファイルを保存する		▯→[はい]→■
添付ファイルを削除する	1件削除	📷→1→[はい]→■ ● 添付ファイルが１件のみの場合は、📷[削除]を押し、[はい]を選んで■を押します。
	全件削除	📷→2→[はい]→■

お知らせ

- ｉモードメールに添付された画像は、正しく表示されないことがあります。また、縦横ともに2048ドット以下、画像面積が1536×2048ドット以下のサイズの画像は表示されますが、そのサイズを超えた場合、受信しても表示されない場合があります。
- メモリが不足している場合、保存することができません。不要なファイルを削除し、メモリの空き容量を増やしてから保存してください。(☞P.335)

本文中画像確認

デコメールに挿入された画像を確認・保存する

デコメールの本文に挿入されている画像を確認・保存できます。

- 画像は、データBOXのマイピクチャの[ｉモード]フォルダに保存されます。

1 画像が挿入されている受信メールを表示し(☞**P.238**の操作１～４)、📷43[本文中画像確認]を押す。

- 送信メールのときは、📷52を押します。

2 ◎で画像を選び、確認する。

画像を確認する	■
画像を保存する	▯→[はい]→■

お知らせ

- 添付された画像は、添付ファイル確認で確認・保存を行ってください。
- 動画、または10001バイト以上のJPEG画像は、本文中画像確認からは保存できません。

テンプレート保存

デコメールをテンプレートとして保存する

デコメールをテンプレートとして保存できます。

- 保存したテンプレートは、メールメニューの[テンプレート]に保存されます。

1 受信したデコメールを表示し(☞**P.238**の操作１～４)、📷63[テンプレート保存]を押し、[はい]を選んで■を押す。

- 送信メールのときは、📷73を押します。

メール
添付ファイル確認

次ページへ続く

お知らせ

- 保存したテンプレートには、自動的に保存日時をもとにしたタイトル名が付けられます。
  例：2006年8月22日午後1時5分7秒に保存した場合→[060822_130507]
- 受信したデコメールに添付ファイルがあっても、添付ファイルなしで保存されます。
- 挿入画像がファイル制限されている場合、画像は削除して保存されます。
- メモリが不足している場合、テンプレートを保存できません。不要なファイルを選択削除し、メモリの空き容量を増やしてから保存してください。（☞P.334）

受信BOX／送信BOX／未送信BOX

受信／送信メールBOXのメールを表示する

受信、送信、未送信のｉモードメールやSMSを確認できます。

- ｉモードメールとSMSの両方が、受信BOXや送信BOXに保存されます。
- ｉモードメールでは最大全角5000文字の本文を送受信できます。
- 本文が全角5000文字（半角10000文字）を超えるｉモードメールを受信した場合、文末に[/]または[//]が表示され、超えた部分が自動的に削除されます。削除された部分は確認できません。
- 送信メールと未送信メールはｉモードメールとSMSを合わせて、それぞれ最大50〜200件まで保存できます。（メールのサイズによって、保存できる件数が異なります。）
- 受信メールはｉモードメールとSMSを合わせて最大100〜1000件まで保存できます。（受信メールのサイズによって、保存できる件数が異なります。）
- 受信／送信／未送信のｉモードメールとSMSは、フォルダで管理できます。FOMA端末（本体）には、自分でフォルダを作成することもできます。
- FOMA端末（本体）とFOMAカードのそれぞれに[送信トレイ]、[受信トレイ]フォルダがあります。[送信トレイ]フォルダには、FOMA端末（本体）とFOMAカードの[送信トレイ]の送信メールが混在して表示されます。[受信トレイ]フォルダも同様です。

1 待受画面で[メール][1][受信BOX]を押す。

- 未読のｉモードメールまたはSMSがある場合、そのフォルダはピンク色で表示されます。
- 送信メールを確認するときは、待受画面で[メール][2]を押します。
- 未送信メールを確認するときは、待受画面で[メール][3]を押します。

2 フォルダを選んで[●]を押し、ｉモードメールやSMSを選んで[●]を押す。

- メール連動型ｉアプリフォルダのメールを表示するときは、フォルダを選んで[ｉαppli]を押し、[ｉモードメール閲覧]を選んで[●]を押してから、ｉモードメールを選んで[●]を押します。

メール表示画面

表示を終わる	
他のメールを確認する	[CLR]→メール一覧画面でメールを選び直す
表示中の受信／送信メールのアドレスや題名、本文をコピーする	[ｉαppli][5][2]（送信メールのときは[ｉαppli][6][2]）→項目を選ぶ→[●]

関連操作

メール表示画面での画面操作

操　作	ボタン
下スクロール	[下]
上スクロール	[上]
画面単位下スクロール	[文字]
画面単位上スクロール	[メール]
次メール表示	[右]
前メール表示	[左]

メール表示画面でワンタッチで文字サイズを切り替える

文字サイズを大きくするときは[Ⅲ]
文字サイズを小さくするときは[Ⅰ]

マルチアシスタントを使う

メール作成中などに[MULTI]

メール表示画面から電話をかける<電話発信>

1 受信メール表示画面で[ｉαppli][7]
- 送信メール表示画面のとき：[ｉαppli][8]

2 [はい]▶[●]

3 音声電話をかけるときは[●]
- テレビ電話をかけるとき：[テレビ電話]
- プッシュトークをかけるとき：[メール]

関連操作のお知らせ

マルチアシスタントについて
- チャットメール中は、マルチアシスタントを利用して受信BOX、送信BOX、未送信BOXを表示することはできません。

電話発信について
- あらかじめ電話帳にメールを送信された相手のメールアドレスと電話番号が登録されている場合、発信することができます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.323）

BOX一覧画面の見かた

■ 受信BOX一覧

■ 送信BOX一覧

■ 未送信BOX一覧

1 フォルダマーク
受信BOX一覧の場合、未読メールが保存されると、ピンク色で表示されます。
：作成されたフォルダ
〜のフォルダの場合、〜を押すと、対応するフォルダのメール一覧画面が表示されます。
：メール連動型ｉアプリのフォルダ

2 フォルダ名
先頭から全角９文字（半角18文字）まで表示されます。

3 ｉモードメール、SMSの総件数

4 を押すと、フォルダの作成や削除などができます。

5 を押すと、選択されたフォルダに保存されているｉモードメールとSMSの一覧が表示されます。

6 を押すと、保存されているすべてのｉモードメール、SMSの一覧が表示されます。

お知らせ

- メール連動型ｉアプリを削除する場合、自動的に作成されたメールフォルダを同時に削除するかしないかを選択できます。なお、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合はフォルダの削除はできません。

miniSDメモリーカードについて

- FOMA端末（本体）に保存されているｉモードメールやSMSのデータをminiSDメモリーカードにコピーしたり（☞P.326）、miniSDメモリーカード内のｉモードメールやSMSを表示（☞P.327）できます。
- miniSDメモリーカードに保存されているｉモードメールやSMSのデータを、FOMA端末（本体）にコピー（☞P.328）できます。

赤外線通信について

- FOMA端末（本体）のｉモードメールやSMSのデータを赤外線通信で送受信できます。（☞P.337）

お知らせ

FOMAカードについて

- FOMA端末（本体）に保存されているSMSのデータを、FOMAカードにコピーしたり（☞P.263）、FOMAカード内のSMSを表示（☞P.261）できます。
- FOMAカードに保存されているSMSのデータを、FOMA端末（本体）にコピーできます。

メール一覧画面／表示画面の見かた

■ 受信メール一覧

■ 送信メール一覧

■ 未送信メール一覧

1 受信メールの種類
：未読ｉモードメール
：未読ｉモードメール（保護有）
：既読ｉモードメール
：既読ｉモードメール（保護有）
：未読SMS
：未読SMS（保護有）
：既読SMS
：既読SMS（保護有）
：FOMAカード未読SMS
：FOMAカード既読SMS
：メール連動型ｉアプリでの未読ｉモードメール
：メール連動型ｉアプリでの未読ｉモードメール（保護有）
：メール連動型ｉアプリでの既読ｉモードメール
：メール連動型ｉアプリでの既読ｉモードメール（保護有）
：返信済み
：返信済み（保護有）
：転送済み
：転送済み（保護有）
［受信トレイ］フォルダの場合、FOMA端末（本体）とFOMAカード両方の［受信トレイ］内のｉモードメールとSMSが混在表示されます。

次ページへ続く

2 送信メールの種類
：送信済みｉモードメール
：送信済みｉモードメール（保護有）
：送信済みSMS
：送信済みSMS（保護有）
：FOMAカード送信済みSMS
：メール連動型ｉアプリでの送信済みｉモードメール
：メール連動型ｉアプリでの送信済みｉモードメール（保護有）
［送信トレイ］フォルダの場合、FOMA端末（本体）とFOMAカード両方の［送信トレイ］内のｉモードメールとSMSが混在表示されます。

3 未送信メールの種類
：未送信ｉモードメール
：未送信ｉモードメール（保護有）
：未送信SMS
：未送信SMS（保護有）

4 フォルダ名
先頭から全角９文字（半角18文字）まで表示されます。

5 題名（題名のないメールは［無題］と表示されます。）
先頭から全角７文字（半角14文字）まで表示されます。

6 データが付いているとき
：メロディが添付または貼り付けられています。
（青文字）：GIF画像が添付されています。
（青文字）：10000バイト以下のJPEG画像が添付されています。
（赤文字）：10001バイト以上のJPEG画像が添付されています。
：トルカが添付されています。
：動画／ｉモーションが添付されています。（送信メール／未送信メールのみ）
：大容量の画像ファイルがサーバーに保存されています。（受信メールのみ）
：ｉアプリToの情報が付いています。（受信メールのみ）

7 を押すと、ｉモードメールの移動や削除などができます。

8 を押すと、選択されたｉモードメール表示画面やSMS表示画面が表示されます。

9 を押すと、選択されたｉモードメールやSMSの返信／編集画面が表示されます。

10 受信日時（受信メール）※／送信日時（送信メール）／保存日時（未送信メール）
当日の場合は時間、当日以外の場合は日付が表示されます。

11 を押すと、選択されたｉモードメールやSMSが再送されます。

12 を押すと、選択されたｉモードメールやSMSの編集画面が表示されます。

13 を押すと、選択されたｉモードメールやSMSが送信されます。

※ お買い上げ時は、ｉモードセンターで受信した日時の新しい順に表示されます。（表示方法を変更することもできます。☞P.249）

- 受信SMSの場合は、相手によって、次のように表示されます。
  - ■相手の電話番号が通知され、かつ電話帳に登録されている場合..............電話帳に登録されている名前
  - ■相手の電話番号が通知され、電話帳に登録されていない場合.........［090（または080など）XXXXXXXX］
  - ■相手の電話番号が非通知の場合 ....［非通知設定］
  - ■相手が公衆電話を利用して送信した場合....................................［公衆電話］

お知らせ

- 大容量の画像ファイルまたは動画／ｉモーションが添付されているメールについては、その添付ファイルをデータBOXから削除した場合でも、受信／送信／未送信メール一覧画面では添付を示すアイコンが表示されます。

■ 受信メール表示　■ 送信メール表示

1 フォルダ名
文字サイズ設定により表示文字数が異なります。
大きい文字　：全角５文字（半角11文字）
標準　　　　：全角７文字（半角14文字）
小さい文字　：全角９文字（半角18文字）

2 保護マーク
保護されているときに表示されます。

3 受信種別（To／Cc／Bcc）が表示されます。

4 受信日時（ｉモードセンターまたはSMSセンターで受信した日時が表示されます。）

5 送信日時

6 送信元
送信種別（To／Cc：同報が設定されている場合に表示されます。）
：Toに指定されていたアドレスが返信不可の場合（50文字を超える場合など）に表示されます。
：Ccに指定されていたアドレスが返信不可の場合（50文字を超える場合など）に表示されます。

7 宛先（送信先）
送信種別（To／Cc／Bcc）

8 題名

9 本文
文末には［- END -］が表示されます。また、受信可能文字数を超えた場合、［/］または［//］が表示され、超えた部分が自動的に削除されます。

10 添付種別マーク／ファイル名
添付ファイルがあるときに表示されます。
：メロディが添付または貼り付けられています。
（青文字）：GIF画像が添付されています。
（青文字）：10000バイト以下のJPEG画像が添付されています。
（赤文字）：10001バイト以上のJPEG画像が添付されています。
：ｉモーションのURLが記載されています。（受信メールのみ）
：動画／ｉモーションが添付されています。（送信メールのみ）
：トルカが添付されています。
：再生できない（壊れている）メロディが添付されています。
：再生できない（壊れている）GIF画像が添付されています。
（青文字）：再生できない（壊れている）JPEG画像が添付されています。
（赤文字）：再生できない（壊れている）大容量JPEG画像が添付されています。（送信メールのみ）
：無効なデータが貼り付けられています。

11 を押すと前ページ、を押すと次ページを表示します。

⓬ 🄸を押すと、返信／編集画面が表示されます。
⓭ 📷を押すと、移動や削除などができます。（受信メールは転送もできます。）

画面操作については、P.244「関連操作」内の「メール表示画面での画面操作」を参照してください。

- 宛先または送信元のメールアドレスが電話帳に登録されているときは、相手の名前が宛先または送信元の欄に表示されます。電話帳に登録されていない場合、電話番号またはメールアドレスが表示されます。ただし、電話帳のPIMロック中や、電話帳がシークレット登録（☞P.124）されている場合、名前は表示されません。シークレット登録した電話帳の名前を表示させるには、シークレットモード（☞P.166）を［ON］に設定してください。
- 受信メールの場合、画像が添付されているときは、画像が表示されます。

メールをお預かりセンターに保存する ＜電話帳お預かりサービス＞

- FOMA端末（本体）に保存されているｉモードメールやSMSを保存できます。
- １件あたりのファイルサイズが10000バイトを超えるメールは、保存／更新できません。
- 選択保存するときは、最大10件まで選択できます。
- 本サービスはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 保存したメールの復元などの利用方法について詳しくは、『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。

1 受信／送信／未送信メール一覧画面（☞**P.245**）でメールを選んで📷５［お預かりセンターに保存］を押す。

- 受信メール表示画面のときは、📷◯１を押し、送信メール表示画面のときは、📷◯２を押したあと、［はい］を選んで●を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して●を押します。

2 メールを保存する。

１件保存する	１→［はい］→●→端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力→●
複数のメールをまとめて保存する	２→メールを選ぶ ●（くり返し可）→📷→［はい］→●→端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力→● ● すべてを選択／解除する場合は、🄸［全選択］／🄸［全解除］を押します。

お知らせ

- 添付ファイルも保存できますが、大容量添付ファイル、トルカ、FOMA端末外への出力が禁止されているデータ、ｉアプリToの情報は保存できません。
- SMS送達通知は保存できません。
- お預かりセンターへ保存したときの通信履歴は、電話帳通信履歴表示で確認できます。（☞P.126）

フォルダを管理する

受信／送信／未送信のｉモードメールやSMSは、フォルダに分けて管理したり、削除や表示順番を並べ替えることができます。

- フォルダは、それぞれ最大20個（［受信トレイ］、［送信トレイ］、［未送信トレイ］、メール連動型ｉアプリフォルダを含まず）作成することができ、フォルダ名を編集したり、削除できます。（ただし、［受信トレイ］、［送信トレイ］、［未送信トレイ］は名前を編集したり、削除したりできません。）
- 保護設定したメールは全件削除では削除できません。

フォルダを作成する＜フォルダ新規作成＞

フォルダを作成し、メールを整理することができます。

1 受信／送信／未送信BOX一覧画面（☞**P.245**）で📷１１［フォルダ新規作成］を押す。

2 フォルダ名を入力して●を押す。

- 「新しいフォルダ」名を削除するときは、CLR（１秒以上）を押します。

お知らせ

- FOMAカードにはフォルダを作成できません。
- フォルダ名は最大全角９文字（半角18文字）まで入力できます。

フォルダ名を編集する＜フォルダ名編集＞

1 受信／送信／未送信BOX一覧画面（☞**P.245**）でフォルダを選んで📷１２［フォルダ名編集］を押す。

2 フォルダ名を編集し、●を押す。

- フォルダ名を削除するときは、CLR（１秒以上）を押します。

お知らせ

- ［受信トレイ］、［送信トレイ］、［未送信トレイ］、メール連動型ｉアプリのフォルダ名は変更できません。

フォルダの表示順を１つ上に移動する ＜フォルダ移動（↑）＞

1 受信／送信／未送信BOX一覧画面（☞**P.245**）でフォルダを選んで📷１３［フォルダ移動（↑）］を押す。

お知らせ

- ［受信トレイ］、［送信トレイ］、［未送信トレイ］、メール連動型ｉアプリフォルダの位置は変更できません。

フォルダのセキュリティを設定する ＜フォルダセキュリティ＞

1 受信／送信／未送信BOX一覧画面（☞**P.245**）でフォルダを選んで📷１４［フォルダセキュリティ］を押す。

2 端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して●を押す。

3 ［ON］／［OFF］を選ぶ。

設定する	１
解除する	２

次ページへ続く

お知らせ

- フォルダセキュリティを[ON]に設定すると、フォルダのマークが[📁]に変わります。
  また、メール一覧を表示するときに端末暗証番号(4～8桁の数字)の入力が必要になります。
- 受信/送信/未送信BOX内のフォルダにフォルダセキュリティを設定すると、チャットメールを開いた場合、端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力しないとチャットメールを閲覧することができません。

フォルダを削除する

- フォルダを削除した場合、フォルダに保存されているメールも削除されます。保護されているメールがある場合はフォルダを削除できません。

削除方法	説 明	操作できる画面
フォルダ1件削除	フォルダを1件ずつ削除します。保護されているｉモードメール/SMSがある場合はフォルダ削除できません。	受信/送信/未送信BOX一覧画面
フォルダ選択削除	複数のフォルダをまとめて削除します。保護されているｉモードメール/SMSがある場合はフォルダ削除できません。	
既読全件削除(受信メール)	[受信トレイ]を含む全フォルダ内の保護されていないすべての既読ｉモードメール/SMSを削除します。	受信BOX一覧画面
未読全件削除(受信メール)	[受信トレイ]を含む全フォルダ内の保護されていないすべての未読ｉモードメール/SMSを削除します。	
全削除(フォルダ残)	フォルダは残して、すべてのフォルダ内の保護されていないｉモードメール/SMSを削除します。	受信/送信/未送信BOX一覧画面
全削除(フォルダ消)	すべてのフォルダと、保護されていないすべてのｉモードメール/SMSを削除します。保護されているメールが残ったフォルダは削除されません。	

作成したフォルダを削除する<削除>

1 受信/送信/未送信BOX一覧画面(☞P.245)でフォルダを選ぶ▶ 📷 2

2 1

- フォルダを選んで削除するとき：2▶フォルダを選ぶ ●(くり返し可)▶ 📷

3 端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶●▶[はい]▶●

すべてのメールを削除する<全件削除>

1 受信/送信/未送信BOX一覧画面(☞P.245)で📷 2

2 5[全削除(フォルダ残)]

- 既読メールを全件削除するとき：3
- 未読メールを全件削除するとき：4
- フォルダごと全件削除するとき：6
- 送信BOX一覧画面/未送信BOX一覧画面のとき：3
- 送信BOX一覧画面/未送信BOX一覧画面でフォルダごと全件削除するとき：4

3 端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶●▶[はい]▶●

お知らせ

- [受信トレイ]、[送信トレイ]、[未送信トレイ]は削除できません。
- メールが保存されているフォルダも削除できます。
- [全削除(フォルダ消)]を選択した場合、保護されていないｉモードメールやSMSは削除されますが、保護されているｉモードメールやSMSは削除されません。保護されているｉモードメールやSMSが保存されているフォルダは残ります。
- メール連動型ｉアプリフォルダに対応したソフトがある場合、フォルダを削除できません。ソフトを削除してからフォルダを削除してください。また、対応したソフトがない場合、フォルダを削除できますが、受信BOX、送信BOX、未送信BOX一覧内に作成されたメール連動型ｉアプリフォルダのうち、いずれかを削除すると、他のメール連動型ｉアプリフォルダもすべて削除されます。
- フォルダ選択削除の場合、[全選択]/[全解除]を押してすべてを選択/解除できます。

メールを管理する

メールの表示を切り替える<表示切替>

メール一覧画面で以下の5通りの表示に切り替えることができます。

- お買い上げ時は、[日時+題名表示]に設定されています。
- 受信BOX、送信BOX、未送信BOXについて、それぞれの表示方法を設定できます。

題名表示※1

日時+題名表示※1

名前表示※2

日時+名前表示※2

アドレス表示※3

※1 SMSは本文先頭文字を表示します。
※2 電話帳に登録されていない場合は、メールアドレスまたは電話番号を表示します。
※3 SMSは電話番号を表示します。

1 待受画面で[✉][1][受信BOX]を押す。

- 送信メールのときは、待受画面で[✉][2]を押します。
- 未送信メールのときは、待受画面で[✉][3]を押します。

2 フォルダを選んで[■]を押し、[📷][6][1][表示切替]を押す。

3 表示方法を選ぶ。

題名表示	[1]
日時＋題名表示	[2]
名前表示	[3]
日時＋名前表示	[4]
アドレス表示	[5]

■ 受信メールの差出人のアドレスを表示する＜アドレス確認＞

受信したメールの差出人を確認できます。

1 受信メール一覧画面（☞P.245）でメールを選んで[📷][6][3][アドレス確認]を押す。

■ メールを並べ替える＜ソート＞

受信メールの表示方法

日付順（新→旧）	受信した日時が新しい順
日付順（旧→新）	受信した日時が古い順
アドレス順	送信元のメールアドレスによって、数字→英字大文字→英字小文字の順
題名順	題名によって、半角文字（記号→数字→英字大文字→英字小文字）→全角文字（ひらがな→カタカナ→漢字→絵文字→数字→英字大文字→英字小文字）→半角カタカナの順（各文字種類内では、文字コード順）
保護メール優先※	保護メール→通常メールの順
添付ありメール優先※	添付ありメール→添付なしメールの順

※ 各項目内は「日付（新→旧）」の順で表示されます。

送信メール／未送信メールの表示方法

日付順（新→旧）	送信／保存した日時が新しい順
日付順（旧→新）	送信／保存した日時が古い順
アドレス順	宛先のメールアドレスによって、数字→英字大文字→英字小文字の順
題名順	受信メールの表示方法の[題名順]と同様
保護メール優先※	保護メール→通常のメールの順
添付ありメール優先※	添付ありメール→添付なしメールの順

※ 各項目内は「日付（新→旧）」の順で表示されます。

1 受信／送信／未送信メール一覧画面（☞P.245）で[📷][6][2][ソート]を押す。

2 ソート方法を選び[■]を押す。

お知らせ

- [受信トレイ]、[送信トレイ]の場合、iモードメール、FOMA端末（本体）のSMS、FOMAカードのSMSのすべてがソートされます。
- お買い上げ時は、受信／送信／未送信メールのいずれも、送信／保存（または受信）した日時が新しい順（[日付順（新→旧）]）に設定されています。
- メール一覧以外の画面を表示すると、変更した表示方法は、お買い上げ時の設定に戻ります。ただし、表示方法を変更した状態でメール表示画面を確認したあと、[CLR]を押したり、[1件移動]または[1件削除]してメール一覧画面に戻った場合は、変更した状態が保持されます。

■ メールを別のフォルダに移動する＜移動＞

1 受信／送信／未送信メール一覧画面（☞P.245）でメールを選んで[📷][3][1][移動]を押す。

2 移動方法を選ぶ。

メールを1件移動する	[1]→フォルダを選ぶ→[■]
フォルダ内で複数のメールをまとめて移動する	[2]→メールを選ぶ [■]（くり返し可）→[📷]→フォルダを選ぶ→[■] ● すべてを選択／解除する場合は、[i][全選択]／[i][全解除]を押します。
フォルダ内のすべてのメールを移動する	[3]→フォルダを選ぶ→[■]

■ メール表示画面でフォルダに移動する＜1件移動＞

1 受信メール表示画面（☞P.246）で[📷][5][1][1件移動]を押す。

- 送信メール表示画面のときは、[📷][6][1]を押します。

2 フォルダを選んで[■]を押す。

お知らせ

- FOMAカード内のSMSはFOMAカード内では移動できません。
- 受信したメールは[受信トレイ]に保存されます。また、送信したメールは[送信トレイ]に保存されます。ただし、振分け条件設定（☞P.252）の条件に合致していた場合は、設定したフォルダに保存されます。
- 受信／送信したメールを、自動的にフォルダに振り分けることができます。（☞P.252）
- メール連動型iアプリをダウンロードするときに自動的に作成されるフォルダに、すでに受信しているiアプリメールを手動で振り分けることもできます。

メールを保護する<保護>

● 受信メールは受信SMSと合わせて最大500件、送信メールは送信SMSと合わせて最大100件、未送信メールは未送信SMSと合わせて最大100件まで保護できます。(ただし、メールのサイズによって、保護できる件数が少なくなります。)

1 受信/送信/未送信メール一覧画面(☞P.245)でメールを選んで[i]1[保護]を押す。
- 受信メール表示画面のとき:[i]2
- 送信メール表示画面のとき:[i]3

2 [ON]/[OFF]を選ぶ。

設定する	1
解除する	2

お知らせ

● FOMAカード内のSMSは保護できません。保護されているSMSをFOMAカードにコピーすると、保護は解除されます。

メールを削除する<削除>

メールの削除方法

削除方法	説明	操作できる画面
1件削除	iモードメール/SMSを1件ずつ削除します。	受信/送信/未送信メール一覧画面 受信/送信メール表示画面
選択削除	保護されていない複数のiモードメール/SMSをまとめて削除します。	受信/送信/未送信メール一覧画面
フォルダ内全件削除	フォルダ内の保護されていないすべてのiモードメール/SMSを削除します。	
フォルダ内既読削除(受信メール)	フォルダ内の保護されていないすべての既読iモードメール/SMSを削除します。	受信メール一覧画面
フォルダ内未読削除(受信メール)	フォルダ内の保護されていないすべての未読iモードメール/SMSを削除します。	

メールを1件ずつ削除する<1件削除>

1 受信メール表示画面(☞P.246)で[i]3
- 送信メールを削除するとき:送信メール表示画面で[i]4

2 [はい]▶[●]

メール一覧画面から1件ずつ削除する<1件削除>

受信/送信/未送信メール一覧画面(☞P.245)で[i]21▶[はい]▶[●]

メール一覧画面からすべてのメールを削除する<フォルダ内全件削除>

1 受信/送信/未送信メール一覧画面(☞P.245)で[i]2

2 5[フォルダ内全件削除]
- 既読メールを全件削除するとき:3
- 未読メールを全件削除するとき:4
- 送信/未送信メールのとき:3

3 端末暗証番号(4~8桁の数字)を入力▶[●]▶[はい]▶[●]

メールを選んで削除する<選択削除>

1 受信/送信/未送信メール一覧画面(☞P.245)で[i]2

2 2[選択削除]

3 メールを選ぶ[●](くり返し可)▶[i]▶[はい]▶[●]

iアプリフォルダ内のメールを削除する<削除>

1 受信/送信BOX一覧画面(☞P.245)でiアプリフォルダを選ぶ▶[i]4
- 未送信BOX一覧画面のとき:iアプリフォルダを選ぶ▶[i]3

2 1件削除のときは、メールを選ぶ▶[i]21▶[はい]▶[●]
- フォルダ内のメールをすべて削除するとき:[i]25▶端末暗証番号(4~8桁の数字)を入力▶[●]▶[はい]▶[●]
- 送信メール/未送信メールのとき:[i]23▶端末暗証番号(4~8桁の数字)を入力▶[●]▶[はい]▶[●]
- 既読メールを削除するとき:[i]23▶端末暗証番号(4~8桁の数字)を入力▶[●]▶[はい]▶[●]
- 未読メールを削除するとき:[i]24▶端末暗証番号(4~8桁の数字)を入力▶[●]▶[はい]▶[●]
- メールを選んで削除するとき:[i]22▶メールを選ぶ[●](くり返し可)▶[i]▶[はい]▶[●]

お知らせ

● まとめて削除したとき、保護されているiモードメールやSMS、FOMAカード内のSMSは削除されません。
● 選択削除の場合、フォルダ内のメール件数が50件以下のときは、[全選択]/[全解除]を押して、すべてを選択/解除できます。
● メール一覧画面からは、FOMAカード内のメールを選択して削除することもできます。
● iアプリのソフトによっては、フォルダ内からiアプリメールが自動的に削除されることがあります。

メール受信履歴・メール送信履歴

メールの履歴を利用する

FOMA端末は、送受信したメール(iモードメール、SMS)の履歴を、最新のものから受信/送信それぞれ30件まで記憶しています。これらの履歴を利用して、メールを送信したり、音声電話や、テレビ電話をかけたり、相手のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録できます。

● 記憶できる件数を超えたときは、古い履歴から順に削除されます。
● 同じ相手と複数回送受信したときは、それぞれ別の履歴として記憶されます。

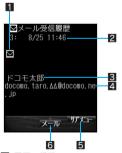
- 同報送信したメールアドレスは履歴に記憶されません。送信メール表示画面で、送信に成功した宛先を確認することができます。(☞P.230)
- メールアドレスは最大半角50文字まで表示されます。

■ メール受信／送信履歴一覧画面の見かた

ここでは、メール受信履歴一覧画面で説明しています。

1 履歴の種類
　✉：ｉモードメール　　SMS：SMS
　✉×：返信できないメールまたは発信者番号非通知のSMS(メール受信履歴)／送信を失敗したメール(メール送信履歴)
2 受信日時(メール受信履歴)／送信日時(メール送信履歴)
3 相手のメールアドレスまたは電話番号
4 相手の名前
　(電話帳に同じメールアドレスや電話番号が登録されているときに表示されます。)
5 サブメニュー表示
6 メール送信履歴表示(メール送信履歴の場合は、画面左下の操作ガイダンスに[受信履歴]が表示されます。(メール受信履歴表示))
7 メール受信履歴／メール送信履歴詳細画面表示(●を押すと表示されます。)
8 着信履歴表示(メール送信履歴の場合は、リダイヤル表示)

■ メール受信／送信履歴詳細画面の見かた

ここでは、メール受信履歴詳細画面で説明しています。

1 履歴の種類
　✉：ｉモードメール　　SMS：SMS
　✉×：返信できないメールまたは発信者番号非通知のSMS(メール受信履歴)／送信を失敗したメール(メール送信履歴)
2 受信日時(メール受信履歴)／送信日時(メール送信履歴)
3 相手の名前
　(電話帳に同じメールアドレスや電話番号が登録されているときに表示されます。)
4 相手のメールアドレスまたは電話番号
5 サブメニュー表示
6 メール作成画面表示(●を押すと表示されます。)

お知らせ

- メール送信履歴、メール受信履歴を表示しないように設定できます。(☞P.166)

■ メール受信履歴／メール送信履歴を利用してメールを送信する

1 待受画面で□(✉)□[受信履歴]を押す。

- 画面右上に表示される数字が小さいほど、新しく受信したものです。
- メール受信履歴表示を[OFF]に設定しているときには、[メール受信履歴表示OFF設定中]と表示されます。
- メール送信履歴を利用してメールを送信するときは、待受画面で□(□)□[送信履歴]を押します。メール送信履歴表示を[OFF]に設定しているときには、[メール送信履歴表示OFF設定中]と表示されます。

2 履歴を選んで●を押す。

- 確認を終わるときは、☎を押します。

3 ●[メール]を押す。

- ｉモードメールの履歴を選んで操作した場合は、ｉモードメール作成画面が表示されます。宛先欄には、相手のメールアドレスが入力されています。以降の操作については、P.229の操作３～４を参照してください。
- SMSの履歴を選んで操作した場合は、SMS作成画面が表示されます。宛先欄には、相手の電話番号が入力されています。以降の操作については、P.260の操作３～４を参照してください。

■ メール受信履歴のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録する

1 待受画面で□(✉)□[受信履歴]を押し、履歴を選んで●を押し、📷1[電話帳登録]を押す。

- メール受信履歴一覧画面で、履歴を選んで📷1を押しても登録できます。
- ｉモードメールの履歴を選んで操作を行うと、電話帳にメールアドレスが登録されます。
- SMSの履歴を選んで操作を行うと、電話帳に電話番号が登録されます。

2 登録方法を選ぶ。

FOMA端末(本体)電話帳に新規登録する	1
FOMAカード電話帳に新規登録する	2
電話帳に追加／上書き登録する	3→名前を選ぶ→●

- 電話帳入力画面に、メールアドレスまたは電話番号が入力されています。電話帳登録の操作を続けます。(☞P.110、P.114)

次ページへ続く

お知らせ

- メール送信履歴のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録することもできます。操作方法は、メール受信履歴の場合と同様です。

メールの履歴を削除する＜削除＞

1 メール受信／メール送信履歴一覧画面(☞**P.251**)で履歴を選んで[メニュー][2][削除]を押す。

2 削除方法を選ぶ。

履歴を1件削除する	[1]→[はい]→[決定]
すべての履歴を削除する	[2]→[はい]→[決定]

関連操作

メールの履歴から電話をかける＜電話発信＞

1 メール受信／メール送信履歴一覧画面(☞P.251)で履歴を選ぶ ▶ [メニュー][3] ▶ [はい] ▶ [決定]

2 音声電話をかけるときは[決定]

- テレビ電話をかけるとき：[テレビ電話]
- プッシュトークをかけるとき：[プッシュトーク]

お知らせ

電話発信について

- あらかじめ電話帳にメールを送信された相手のメールアドレスと電話番号が登録されている場合、発信することができます。

メール設定

FOMA端末のメール機能を設定する

メールの文字サイズを切り替える＜文字サイズ設定＞

ディスプレイに表示されるｉモードメールやSMSの文字の大きさを[大きい文字]、[標準]、[小さい文字]に設定できます。

- リスト画面や、テンプレートから呼び出したデコメールのプレビュー画面では文字サイズは変わりません。

お買い上げ時設定(標準)

1 待受画面で[メール][i][2][4]を押し、文字サイズを選ぶ。

- 詳細メニューから[メール](メール)→[メール設定]→[文字サイズ設定]の順に選択することもできます。

大きい文字	[1]
標準	[2]
小さい文字	[3]

メール表示画面でワンタッチで文字サイズを切り替える

文字サイズを大きくするときは[▲]
文字サイズを小さくするときは[▼]

メール表示画面でサブメニューから文字サイズを切り替える＜文字サイズ設定＞

1 受信メール表示画面(☞P.246)で[メニュー][i][2]

- 送信メール表示画面のとき：[メニュー][i][3]

2 文字サイズを選ぶ ▶ [決定]

メールを自動的にフォルダに振り分ける＜振分け条件設定＞

フォルダに振分け条件を設定すると、条件に合ったｉモードメールやSMSを自動的に振り分けることができます。

- [受信トレイ]や[送信トレイ]、[未送信BOX]のフォルダに振分け条件を設定することはできません。
- SMSをFOMAカードへ振り分けることはできません。
- 受信／送信BOXで、それぞれ最大25個(ｉアプリフォルダを含む)まで振り分けができ、1つのフォルダに最大10件まで振分け条件を設定できます。
- 通常のメールを、メール連動型ｉアプリフォルダに振り分けることもできます。このとき、メール連動型ｉアプリの振分け条件が優先されます。

振分け条件について

振分け条件として設定できるのは、次の6つです。

アドレス(差出人)	差出人のメールアドレスで振り分けます。(受信メールのみ)
アドレス(差出人／同報)／アドレス(送信先／同報)	受信メールはFrom、To、Cc、送信メールはTo、Cc、Bccのアドレスが振分け条件の対象となり、画面上で上にあるフォルダから優先的に振り分けられます。
グループ	FOMA端末(本体)電話帳に設定されているグループで振り分けます。
題名	題名に含まれている文字列で振り分けます。
電話帳登録なし	FOMA端末(本体)電話帳に登録されていない相手からのメールを振り分けます。送信メールの場合、すべての宛先が電話帳に登録されていない場合のみ振り分けます。
すべての受信(送信)メール	すべての受信メール(または送信メール)を振り分けます。

- 複数のフォルダの振分け条件に合致した場合、[フォルダ1]が最も優先順位が高く、一番下に表示されているフォルダが最も優先順位が低くなります。
- シークレット登録した電話帳データは、登録されていないのと同じ扱いになります。[グループ]では振分け対象外になり、[電話帳登録なし]では振分け対象になりますので、ご注意ください。[グループ]の対象にするには、シークレットモードを[ON]に設定してください。
- 指定したメールアドレスのメールを振り分けます。メールアドレスは@以降の文字も含めてアドレス全体を指定します。(最大半角50文字)ただし、送信元がｉモード端末(mova含む)のアドレスの場合、「@docomo.ne.jp」は省略できます。また、電話番号を指定すると、SMSも振り分けられます。

- 相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話番号のみをメールアドレスとして登録してください。
- 電話帳のPIMロック中は、[グループ]と[電話帳登録なし]は振り分け対象外となりますので、ご注意ください。

フォルダに振分け条件を設定する

1 受信／送信BOX一覧画面（☞P.245）でフォルダを選んで[MENU][3][振分け条件設定]を押す。

- 上にあるフォルダに設定されている条件ほど優先度が高くなります。

2 登録先番号を選んで[●]を押し、振分け条件を設定する。

- 設定済みの番号を選ぶと、振分け条件を編集できます。振分け条件を選び直して[●]を押し、[はい]を選んで[●]を押します。
- メール連動型ｉアプリフォルダに設定するときは、[メールはソフトで利用されます　設定しますか？]と表示されます。[はい]を選んで[●]を押し、振分け条件を設定します。[いいえ]を選んで[●]を押すと、操作1の画面に戻ります。

受信メールを差出人のメールアドレスで振り分ける	[アドレス（差出人）]→[●]→入力方法を選ぶ→[●]→メールアドレスを選ぶ（または入力）→[●] ● 半角20文字分まで表示されます。
差出人または宛先と同報のメールアドレスで振り分ける	[アドレス（差出人／同報）]または[アドレス（送信先／同報）]→[●]→入力方法を選ぶ→[●]→メールアドレスを選ぶ（または入力）→[●] ● 半角20文字分まで表示されます。
グループで振り分ける	[グループ]→[●]→グループ名を選ぶ→[●] ● グループ名が表示されます。
題名に含まれる文字列で振り分ける	[題名]→[●]→文字列を入力→[●] ● 最大全角15文字（半角30文字）まで入力でき、入力した文字列の先頭から全角10文字分（半角20文字分）が表示されます。
FOMA端末（本体）の電話帳に登録していない相手からのメールを振り分ける	[電話帳登録なし]→[●]
すべての受信（送信）メールを振り分ける	[全ての受信メール]または[全ての送信メール]→[●]→[はい]→[●] ● [全ての受信（送信）メール]が[1]に設定されます。 ● [いいえ]を選んで[●]を押すと、指定した番号に設定されます。

3 複数の振分け条件を設定するときは、操作2をくり返す。

4 [i][完了]を押す。

お知らせ

- FOMAカード電話帳に登録してある相手からのメールは、[電話帳登録なし]のメールとして振り分けられます。
- ｉアプリメールは振分け条件に関係なく、対応するメール連動型ｉアプリフォルダに振り分けられます。

設定した振分け条件を削除する

振分け条件を削除できます。

1 受信／送信BOX一覧画面（☞P.245）でフォルダを選んで[MENU][3][振分け条件設定]を押す。

2 振分け条件を選んで[MENU]を押し、削除方法を選ぶ。

振分け条件を1件削除する	[1]→[はい]→[●]→[i]
すべての振分け条件を削除する	[2]→[はい]→[●]→[i]

ｉモードメールに署名を付ける <署名登録>

署名を利用して自分の名前や電話番号、メールアドレスなどを伝えることができます。また、署名を装飾することもできます。

- ｉモードメール作成時に、署名を自動的に貼り付けるように設定することもできます。
- 署名は1件のみ登録できます。
- チャットメールやSMSには署名を貼り付けることができません。

お買い上げ時設定（ON）

1 待受画面で[✉][○][2][○][2]を押す。

- 詳細メニューから[✉]（メール）→[メール設定]→[署名登録]の順に選択することもできます。
- すでに署名が登録されているときは、現在登録されている署名が表示されます。

2 署名を入力して[●]を押し、[1][ON]を押す。

- 最大全角5000文字（半角10000文字）まで入力できます。
- 改行[↲]も入力できます。
- 新規メール作成時には、あらかじめ署名が[本文]に入力されます。

関連操作

署名を装飾する

待受画面で[✉][○][2][○][2]▶P.233「装飾しながら本文を作成する」の操作3～6、およびP.234「範囲を指定して装飾する」を参照して署名を装飾

署名を削除する

待受画面で[✉][○][2][○][2]▶[CLR]（1秒以上）▶[●]▶[2][OFF]

ｉモード問い合わせの内容を設定する ＜ｉモード問い合わせ設定＞

ｉモード問い合わせをするかどうかを種類別（ｉモードメール、メッセージR／F）に設定できます。
お買い上げ時設定（ｉモードメール：ON　メッセージR：ON　メッセージF：ON）

1 待受画面で[メール][・][2][6]を押し、種類と[ON]／[OFF]を選ぶ。
- 詳細メニューから(メール)→[メール設定]→[ｉモード問い合わせ設定]の順に選択することもできます。

ｉモードメール	[1]→[1][ON]／[2][OFF]
メッセージR	[2]→[1][ON]／[2][OFF]
メッセージF	[3]→[1][ON]／[2][OFF]

2 [完了]を押す。

ｉモードメールを選択して受信できるようにする＜メール選択受信設定＞

- メール選択受信設定を[ON]に設定した場合でも、ｉモード問い合わせを行うとすべてのメールを受信します。受信したくない場合には、お問い合わせしたい項目からｉモードメールを外してご利用ください。（☞P.240）

お買い上げ時設定（OFF）

1 待受画面で[メール][・][2][8]を押し、[1][ON]を押し、[はい]を選んで[●]を押す。
- 詳細メニューから(メール)→[メール設定]→[メール選択受信設定]の順に選択することもできます。

メールメンバーリストを作成する ＜メールメンバー設定＞

複数の宛先をメールメンバーに登録しておくと、簡単な操作で複数の宛先を指定できます。宛先を１件ずつ指定する同報送信の操作とは異なり、一度に複数の宛先を指定できます。
- １つのメールメンバーにつき、最大５件のメールアドレスを登録できます。
- メールメンバーは、最大10件まで登録できます。
- 通信料は、１通のみ送信した場合と同じです。（ただし、追加した宛先の情報量については、通信料が増えます。）

■ メールメンバーにアドレスを登録する

1 待受画面で[メール][・][2][・][1]を押す。
- 詳細メニューから(メール)→[メール設定]→[メールメンバー設定]の順に選択することもできます。

2 登録先のメールメンバーの番号を選んで[●]を押し、登録先を選んで[●]を押す。

3 入力方法を選んで[●]を押し、メールアドレスを選択（または入力）して[●]を押す。
- すでに登録されている番号を選んだときは、入力方法選択画面で[2][直接入力]以外を押すと、[上書きしますか？]と表示されます。[はい]を選んで[●]を押すと、メールアドレスを選択できます。[いいえ]を選んで[●]を押すと、操作３の画面に戻ります。[2][直接入力]を押したときは、アドレス入力画面が表示されます。

- メールアドレスを追加して登録するときは、登録先を選んで[●]を押し、操作３をくり返します。

4 [完了]を押す。

■ メールメンバーのメンバー名を編集する

1 待受画面で[メール][・][2][・][1]を押し、メールメンバーを選んで[メニュー][1][メンバー名編集]を押す。
- メンバー名をリセットするときは、[メニュー][2][メンバー名１件リセット]を押します。[はい]を選んで[●]を押すと、メンバー名がお買い上げ時のメンバー名（[メンバー１]～[メンバー10]）に戻ります。

2 メンバー名を編集して[●]を押す。
- 最大全角10文字（半角20文字）まで入力できます。
- メンバー名を削除するときは[CLR]を１秒以上押します。

■ メールメンバーに登録されているメールアドレスを削除する

メールメンバーに登録されているメールアドレスは、次のいずれかの方法で削除できます。

1 待受画面で[メール][・][2][・][1]を押し、メールメンバーを選んで[●]を押す。

メール　メール設定

2 メールアドレスを選んで[メニュー]を押し、削除方法を選ぶ。

メールアドレスを1件削除する	[1]→[はい]→[●]→[終話]
すべてのメールアドレスを削除する	[2]→[はい]→[●]→[終話] ● 選んだメールメンバー内のすべてのメールアドレスを削除します。

メロディを自動再生するかどうかを設定する＜メロディ自動再生＞

メッセージR／Fや受信したｉモードメールに添付または貼り付けられているメロディを、自動再生するかどうかを設定できます。

お買い上げ時設定（自動再生する）

1 待受画面で[メール][○][2][3]を押し、自動再生するかどうかを選ぶ。

● 詳細メニューから[メール]（メール）→[メール設定]→[メロディ自動再生]の順に選択することもできます。

自動再生する	[1]	開封時に自動的に演奏します。
自動再生しない	[2]	開封時に自動的に演奏しません。

お知らせ

● ［自動再生する］に設定した場合、マナーモード設定中は、メロディを再生するかどうかの確認画面が表示されます。［はい］を選択すると再生されます。

クイック返信メールの本文を設定する＜クイック返信メール設定＞

クイック返信（☞P.241）するときは、送信する本文をあらかじめ設定しておきます。

● 本文は全角250文字（半角500文字）以内で10件まで登録できます。

● お買い上げ時に登録されている本文は次のとおりです。

[1]	また後でかけ直します	[6]	よろしくお願い致します
[2]	OKです	[7]	キャンセルです
[3]	NGです	[8]	今忙しい
[4]	ありがとうございます	[9]	了解しました
[5]	ごめんなさい	[○][1]	ちょっと待ってください

1 待受画面で[メール][○][2][1]を押し、登録または編集する本文の番号を選んで[●]を押す。

● 詳細メニューから[メール]（メール）→[メール設定]→［クイック返信メール設定］の順に選択することもできます。

2 本文を編集して[●]を押す。

添付ファイルを受信するかどうかを設定する＜添付ファイル受信＞

メールに添付されている画像やメロディファイルを、受信するかどうかを設定できます。

お買い上げ時設定（全添付ファイル）

1 待受画面で[メール][○][2][2]を押し、添付ファイルの種類を選ぶ。

● 詳細メニューから[メール]（メール）→[メール設定]→［添付ファイル受信］の順に選択することもできます。

すべての添付ファイルを受信する	[1]
画像のみ受信する	[2]
メロディのみ受信する	[3]
添付ファイルを受信しない	[4]

お知らせ

● 添付ファイル受信を［受信しない］に設定すると、受信し直すことはできません。添付ファイルはｉモードセンターで削除されます。削除されたことは通知されませんので、ご注意ください。

● メッセージR／Fの場合、設定にかかわらず、すべての添付ファイルを受信します。

● メール本文中に貼り付けられたMFi形式のメロディは設定にかかわらず受信します。

操作中のメール受信の通知方法を設定する＜メール受信表示設定＞

操作中にメールを受信した場合の通知方法を設定できます。

● 通話中、ｉアプリ実行中、カメラ起動中、ストリーミングタイプのｉモーションの取得中は、メール受信画面と受信結果は表示されません。

お買い上げ時設定（通知優先）

1 待受画面で[メール][○][2][5]を押し、通知方法を選ぶ。

● 詳細メニューから[メール]（メール）→[メール設定]→［メール受信表示設定］の順に選択することもできます。

通知優先	[1]	メール受信時に、受信した[✉]、[R]、[F]、[SMS]や着信ランプなどが点灯し、メール着信音が鳴ります。
操作優先	[2]	メール受信時に、受信した[✉]、[R]、[F]、[SMS]などが点灯します。メール着信音は鳴らず、着信ランプやバイブレータも動作しません。

メールの設定状況を確認する
＜メール設定確認＞

メールの設定状況を確認できます。

1 待受画面で[A/a][・][2][7]を押す。

- 詳細メニューから[メール]（メール）→［メール設定］→［メール設定確認］の順に選択することもできます。
- [・]でページを切り替えできます。
- 確認を終わるときは、[■]を押します。

メール機能の設定をリセットする
＜メール設定リセット＞

メールの設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

1 待受画面で[A/a][・][2][8]を押す。

- 詳細メニューから[メール]（メール）→［メール設定］→［メール設定リセット］の順に選択することもできます。

2 端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して[■]を押し、［はい］を選んで[■]を押す。

お知らせ

- 内容がリセットされない設定は次のとおりです。
  - ■ 署名登録　■ SMSセンター設定
  - ■ クイック返信メール設定　■ SMS有効期間設定
  - ■ メールメンバー設定　■ SMS本文入力設定

関連操作

メールをPIMロックする＜PIMロック＞
待受画面で[A/a][・][2][・][9]▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶[■]▶[1]

チャットメール作成・送信

チャットメールを作成して送信する

複数の相手と会話をするようにメールを交換し、楽しむことができます。

- あらかじめ相手のメールアドレスをチャットメールのメンバーに登録しておく必要があります。
- チャットメールのメンバー設定画面に表示される自分のメールアドレスは、所有者情報と連動しています。（☞P.368）
- メンバーは自分を含め、最大６人まで登録できます。
- 複数の相手とチャットメールをやりとりした場合の通信料は、同報メール送信の場合と同じです。
- 相手がチャットメール非対応端末の場合、送信したチャットメールは題名が「チャットメール」（半角または全角）のメールとして相手に受信されます。
- 自分を含めて３人以上のメンバーとチャットメールを行う場合、自分だけでなく各メンバーが他のメンバーのメールアドレスをチャットメンバーに登録しておく必要がありますので、チャットメールを行う前に、メンバーのメールアドレスを交換し合うことをおすすめします。
- メール選択受信設定を［ON］に設定しているときは、チャットメールを起動できません。［OFF］に設定してからもう一度操作してください。（☞P.254）

チャットメンバーを設定する
＜メンバー設定＞

- チャットメールを使用する場合、事前にメンバーを登録する必要があります。

1 待受画面で[A/a][6]を押す。

- 詳細メニューから[メール]（メール）→［チャットメール］の順に選択することもできます。
- チャットメンバーがすでに登録されている場合は、チャットメール画面（☞P.257）が表示されます。追加登録するときは[カメラ][4]を押してメンバー設定画面を表示し、操作２に進みます。
- 受信／送信／未送信BOX内に、フォルダセキュリティが［ON］に設定されているフォルダがある場合は、端末暗証番号入力画面が表示されます。端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力するとチャットメールを起動できます。

2 [カメラ][1]［新規作成］を押し、入力方法を選ぶ。

電話帳から選ぶ	[1]→相手を選ぶ→[■] ● メールアドレスが登録されていないときは、[✉]、[ ]、[ ]、[ ]が表示されません。電話帳に登録されているメールアドレスのアイコンは最大３件まで表示されます。
直接入力	[2]→メールアドレスを入力→[■] ● 半角の英字、数字、一部の記号を最大50文字まで入力できます。 ● 記号入力（☞P.398）、インターネットに関連した定型文（☞P.398）を利用できます。
メール送信履歴から選ぶ	[3]→相手を選ぶ→[■]→[■]
メール受信履歴から選ぶ	[4]→相手を選ぶ→[■]→[■]
メールメンバー	[5]→［はい］→[■]→メールメンバーを選ぶ→[■]→[i] ● 指定したメールメンバーに置き換えられます。（メンバー設定完了） ● あらかじめメールメンバーを登録しておいてください。（☞P.254）

- シークレットコードを登録している相手とチャットメールをやりとりするときは、相手のシークレットコードをあらかじめ設定しておく必要があります。（☞P.112）
- 同じメールアドレスを重複して登録すると送信できません。

3 [👤]を選んで[●]を押し、名前（チャット名）を入力して[●]を押す。

- 最大全角２文字（半角４文字）まで入力できます。

4 [ｉ][完了]を２回押す。

- 続けてメンバーを登録する場合は、[ｉ]を１回押し、操作２〜３をくり返します。

■ チャットメールのメンバーを登録／解除する

- メンバー設定画面で設定するメンバーを選んで[●]を押します。☑は選択、□は解除の状態です。[●]を押すと交互に切り替えることができます。チャットメールを送るメンバーをすべて選んで[ｉ]を押します。

お知らせ

チャットメールの自動起動が設定されているとき（☞P.259）

- 題名に「チャットメール」（すべて半角またはすべて全角）が含まれる受信メールをメール一覧表示から開こうとしたとき、自動起動の確認画面が表示されます。

チャットメールを作成して送信する

1 待受画面で[✉][６]を押す。

- メンバーが登録されていないときは、メンバー設定画面が表示されます。メンバーを登録してください。（☞P.256）
- 登録されているメンバーを確認するときは、[📷][４]を押します。☑がついているメンバーにチャットメールが送信されます。

2 [●]を押し、本文を入力して[●]を押す。

- 全角で250文字（半角500文字）入力できます。

3 [ｉ][送信]を押す。

- ☑がついている宛先すべてに、チャットメールが送信されます。
- 送信に失敗したときは、エラーメッセージが表示されます。[●][確認]を押すとチャットメール画面に戻り、失敗したチャットメールはオレンジ色で表示されます。再送信するときは、もう一度操作２〜３を行ってください。

お知らせ

- 送信したチャットメールは[送信トレイ]に保存されます。ただし、振分け条件設定の条件に合致していた場合は、設定したフォルダに保存されます。
- 送信に失敗したメールは、[未送信トレイ]に保存されます。
- チャットメールには画像やメロディを添付できません。

チャットメールを受信する

■ チャットメール起動中にチャットメールを受信すると

チャットメール起動中、チャットメンバーから題名に「チャットメール」（すべて半角またはすべて全角）が含まれるメールを受信すると、受信チャットメール本文を最上段に表示します。（それ以外のメールを受信しても、チャットメールの画面では表示されません。）このとき、チャットメール着信音は鳴りません。

チャットメール本文（チャットメール表示部には、チャットメールが最新のものから最大50件まで表示されます。）
送信可能文字数は全角250文字（半角500文字）です。

チャットメール画面

- [○]で１行ごとに上下にスクロールします。
- [✉]または[□]を押すと、１画面ごとに上下にスクロールします。

お知らせ

- 受信したチャットメールは既読メールとして[受信トレイ]に保存されます。ただし、振分け条件設定の条件に合致していた場合は、設定したフォルダに保存されます。
- チャットメールで受信したメッセージの中に電話番号、メールアドレス、URLが記載されていても、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能は利用できません。チャットメールを終了（☞P.258）して、[受信トレイ]から受信したチャットメールを表示したときは、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能が利用できます。
- 受信したチャットメールに添付ファイルがある場合、チャットメール画面では本文のみ表示されます。

■ チャットメール起動中以外でチャットメールを受信すると

- チャットメール着信音が鳴ります。
- メール選択受信設定を[ON]に設定しているときは、チャットメールは起動できません。

1 題名に「チャットメール」（すべて半角またはすべて全角）が含まれるメールをメール一覧表示から開こうとしたとき、チャットメールの確認画面が表示される。

- 自動起動設定を[OFF]に設定しているときは、自動起動できません。自動起動設定については、P.259を参照してください。
- 送信者がチャットメンバーに登録されているときは、[チャットメンバーです　チャットメールを起動しますか？]と表示されます。
- 送信者がチャットメンバーに登録されていないときは、[チャットメンバーに登録してチャットメールを起動しますか？]と表示されます。（メンバーがすでに６人登録されているときは、登録されません。）

次ページへ続く ▶▶

2 [はい]を選んで■を押す。

- 選択した受信メールの本文が最新のチャットメール本文として追加され、チャットメール画面が表示されます。(すでにチャットメール本文に追加されている受信メールを選択した場合は、同じ内容の本文が最新のチャットメールとして追加されます。)
- 登録が解除(□)されていたときは、有効(☑)に切り替わり、チャットメール画面が表示されます。
- チャットメールを起動しないときは、[いいえ]を選んで■を押すと、受信メール表示画面が表示されます。

お知らせ

- iモードメールで返信するときは、iモードメールと同じ操作で返信できます。(☞P.240)
- チャットメール画面で表示される名前は、最大全角2文字(半角4文字)です。
- 名前が登録されていない場合、電話番号・メールアドレスの最初の4文字が表示されます。
- 送受信したメールは、新しい順に、最大50件まで表示できます。

関連操作

チャットメールを更新する<更新>
チャットメール画面で📷2

チャットメールを終了する <チャットメール終了>

1 チャットメール中に☎またはを📷6[チャットメール終了]を押す。

- [チャットメールを終了します　チャットメールを削除しますか？]と表示されます。
- 未送信のチャットメールは削除されます。
- チャットメールの本文やメンバー設定を編集中に☎を押すと[編集中の内容が失われます　終了しますか？]と表示されます。[はい]を選んで■を押すと、待受画面に戻ります。(送受信したチャットメールは保存されます。)

2 [いいえ]を選んで■を押す。

- チャットメールを削除して終了するときは、[はい]を選んで■を押します。

お知らせ

- チャットメールを削除せずにチャットメールを終了すると、次回チャットメールを起動したときは、前回のチャットメールが表示されます。

受信メールからチャットメールを開始する<チャットメール起動>

- 受信メールからチャットメールを起動できます。ただし、デコメールとSMSからは起動できません。
- メール選択受信設定を[ON]に設定しているときは、チャットメールを起動できません。

1 待受画面で✉1を押す。

- 詳細メニューから✉(メール)→[受信BOX]の順に選択することもできます。

2 フォルダを選んで■を押し、iモードメールを選んで📷7[チャットメール起動]を押す。

3 [はい]を選んで■を押す。

- 以降の操作については、P.257の操作2～3を参照してください。

お知らせ

- 送信元が返信不可のメールアドレスの場合、チャットメールを起動できません。

チャットメールの宛先を確認する <最新メール宛先確認>

受信した最新のチャットメールの宛先と現在のチャットメンバーを確認できます。
チャットメンバーに設定されていないアドレスをメンバーに登録したり解除することもできます。

1 待受画面で✉6を押し、📷3[最新メール宛先確認]を押す。

- 設定済みのメンバーと、未設定のメンバーに分かれて表示されます。

2 ▯[設定]を押し、メンバーを選んで■を押す。

- ☑は選択、□は解除の状態です。■を押すと交互に切り替えることができます。
- メンバーは5人まで選ぶことができます。

3 ▯[完了]を押す。

- メンバーが再設定され、チャットメール画面に戻ります。

メンバーを編集する

チャットメンバーの名前とアドレスを編集できます。
- 自分のメールアドレスは編集できません。

1 待受画面で✉6を押し、📷4[メンバー設定]を押す。

2 メンバーを選んで📷2[編集]を押す。

3 名前、メールアドレスを編集し、▯[完了]を2回押す。

- 詳しくは、P.257の操作3～4を参照してください。

メンバーを削除する

- 自分は削除できません。

1 待受画面で✉6を押し、📷4[メンバー設定]を押す。

2 メンバーを選んで📷3[削除]を押し、削除方法を選ぶ。

メンバーを1件削除する	1→[はい]→●→🗑
すべてのメンバーを削除する	2→[はい]→●→🗑

お知らせ

- メンバーを削除しなくても、メンバー設定画面で☑を☐にすることにより、チャットメールを送らないようにすることもできます。

チャットメールを削除する<チャットメール削除>

チャットメール画面に表示されているすべてのチャットメールを削除します。

- 受信メールフォルダ／送信メールフォルダ／未送信メールフォルダ内のデータも削除されます。
- 保護されているメールは、メールフォルダから削除されません。

1 待受画面で✉6を押し、📷5[チャットメール削除]を押す。

2 [はい]を選んで●を押す。

お知らせ

- チャットメールを1件ずつ削除する場合は、通常のｉモードメールと同様の方法で削除してください。(☞P.250)

チャットメール画面の文字サイズを切り替える<文字サイズ切替>

お買い上げ時設定(標準)

1 待受画面で✉6を押し、📷7[文字サイズ切替]を押す。

標準

小さい文字

チャットメールを自動的に起動するかどうかを設定する<自動起動設定>

題名に「チャットメール」(すべて半角またはすべて全角)が含まれている受信メールを開くときに、チャットメール画面を自動的に開くかどうかを設定します。

お買い上げ時設定(ON)

1 待受画面で✉6を押し、📷8[自動起動設定]を押して1[**ON**]を押す。

SMS作成・送信

SMS(ショートメッセージ)を作成して送信する

SMSを新規に作成して、送信します。

- SMSの宛先には電話番号を入力します。
- SMSの本文に入力できる文字数は、SMS本文入力設定により異なります。
- SMSの本文に半角カタカナや絵文字を使うと、受信側で正しく表示されないことがあります。
- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国・海外通信事業者についてはドコモのホームページをご覧ください。

1 待受画面で✉5を押す。

- 詳細メニューから✉(メール)→[新規SMS作成]の順に選択することもできます。
- [未送信BOXがいっぱいのため起動できません]と表示されたときは、SMSを作成できません。未送信メールを削除してください。(☞P.250)

2 [宛先]を選んで●を押し、入力方法を選ぶ。

電話帳から選ぶ	1→相手を選ぶ→● ● 電話番号が20桁を超える場合、超えた部分は削除されます。
直接入力する	2→宛先を入力→● ● 電話番号(最大20桁まで)を入力します。 ● 0を1秒以上押すと[+]を入力できます。[+]を入力した場合は、合計21桁まで入力できます。 ● 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合は、[+](0を1秒以上押す)、国番号、相手先の携帯電話番号の順で入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力します。また、「010」、国番号、相手先携帯電話番号の順に入力しても送信できます。(受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力して海外に返信してください。)

次ページへ続く

メール送信履歴から選ぶ	[3]→相手を選ぶ→[■]→[■] ● SMSのメール送信履歴がある場合に選択できます。
メール受信履歴から選ぶ	[4]→相手を選ぶ→[■]→[■] ● SMSのメール受信履歴がある場合に選択できます。

3 [本文]を選んで[■]を押し、本文を入力して[■]を押す。

- SMS本文入力設定を[日本語(70文字)]に設定している場合は、全角・半角を問わず最大70文字まで入力できます。
  [英語(160文字)]に設定している場合は、半角英数字のみを最大160文字まで入力できます。
- 改行[↲]は、[日本語(70文字)]に設定している場合は1文字、[英語(160文字)]に設定している場合は2文字としてカウントされます。スペース(空白)は1文字としてカウントされます。
- [英語(160文字)]に設定している場合、[ ] ^ ¦ { } ~ は、本文入力画面では半角1文字としてカウントされますが、送信するときに全角1文字としてカウントされるため、本文入力画面で160文字以内でも[送信できませんでした]と表示され、送信されないことがあります。

4 [送信]を押す。

- 送信が完了すると、[送信完了しました]と表示されます。
- 送達通知を設定するときは、[📷][3]を押し、[1][要求する]または[2][要求しない]を押します。
- 有効期間を設定するときは、[📷][4]を押し、有効期間を選んで[■]を押します。

お知らせ

- 宛先入力では、[+]は先頭でのみ有効となります。
- 電波状況などにより、送信できない場合があります。送信できなかったSMSは、未送信SMSとして保存されます。
- 電波状況などにより、受信側で文字が正しく表示されない場合があります。
- SMSはｉモード契約をしていなくても送信できます。
- FOMA端末では、movaサービスのｉモード端末からのショートメールをSMSとして受信できます。
- 受信SMSと送信SMSを合わせて最大20件まで、FOMAカードに保存できます。未送信SMSをFOMAカードに保存することはできません。
- 送信時に設定した送達通知や有効期間は、メール設定のSMS送達通知設定やSMS有効期間設定には反映されません。

編集中に電話がかかってくると

- 通話後、着信前の画面に戻り編集を続けることができます。

ダイヤル発信制限中は

- 電話帳に登録されている宛先以外へSMSを送ることはできません。

「**184**」/「**186**」を付けたとき(☞**P.49**)

- 宛先の先頭に「186」を付けると、SMSを送信できません。「184」を付けた場合は、SMSが送信されますが、発信者番号も通知されます。

SMS(ショートメッセージ)を保存しておき、あとで送信する<SMS保存>

SMSの作成中に操作を中断しなければならないときや、作成したSMSを保存しておきたいときは、FOMA端末(本体)に一時保存できます。また、保存したSMSを編集して送信することもできます。

- SMSの作成については、P.259を参照してください。
- 未送信SMSと送信SMSはｉモードメールと合わせて、それぞれ最大200件まで、FOMA端末(本体)に保存できます。

未送信SMSを保存する

1 **SMSの作成中(☞P.259の操作1〜3)に**[📷][2][保存]を押す。

- 作成中のSMSが、未送信SMSとして保存されます。

お知らせ

- SMS作成中に[☎]を押すと、終了確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、SMSの作成を中止できます。ただし、作成を中止したSMSは保存されません。
- 未送信SMSはFOMAカードにコピー(保存)できません。

保存したSMSを編集・送信する

1 待受画面で[✉][3][未送信**BOX**]を押し、フォルダを選んで[■]を押し、**SMS**を選んで[■]を押す。

2 項目を選んで[■]を押し、編集して[送信]を押す。

- 新規作成時と同様に編集できます。詳しくは、P.259の操作2〜3を参照してください。
- 送信したSMSは[送信トレイ]に保存されます。ただし、振分け条件設定(☞P.253)の条件に合致していた場合は、設定したフォルダに保存されます。

お知らせ

FOMAカードについて

- FOMA端末(本体)に保存された送信SMSを、FOMAカードにコピーできます。(☞P.263)
- FOMAカードに保存されているSMSのデータを、FOMA端末(本体)にコピーできます。(☞P.264)

miniSDメモリーカードについて

- FOMA端末(本体)やFOMAカードに保存されているSMSをminiSDメモリーカードにコピーしたり(☞P.326)、miniSDメモリーカード内のSMSを表示(☞P.327)できます。
- miniSDメモリーカードに保存されているSMSをFOMA端末(本体)にコピー(☞P.328)できます。

送信したSMSを編集・再送する

1 待受画面で[✉][2][送信**BOX**]を押す。

2 フォルダを選んで[■]を押し、**SMS**を選んで[■]を押す。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

3 編集・再送する。

編集する	[icon]または[icon][1]→SMS編集 ● 新規作成時と同様に編集できます。詳しくは、P.259の操作2～3を参照してください。
再送する	[icon][2]

SMS受信

SMS（ショートメッセージ）を受信したときは

SMSが送られてきたときは自動的に受信します。

- 受信SMSはｉモードメールと合わせて最大100～1000件までFOMA端末（本体）に保存できます。（受信メールのサイズによって、保存できる件数が異なります。）

1 SMSが届くと、自動的に受信する。

2 受信終了後、SMSの受信結果が表示され、SMS着信音が鳴る。（[SMS]表示）

メインディスプレイ
受信完了画面

新着メール 1件

サブディスプレイ
受信完了画面

- FOMA端末を閉じているときは、サブディスプレイに［受信完了］と表示されたあと、ｉモードメールとSMSの合計の件数が表示されます。
- 受信したSMSは［受信トレイ］に保存されます。ただし、振分け条件設定（☞P.253）の条件に合致していた場合は、設定したフォルダに保存されます。

待受画面に表示されるマークの意味

[SMS]（赤文字）：未読SMSがあります。
[icon]：未読ｉモードメールと未読SMSの両方があります。
[icon]：FOMA端末内のｉモードメールやSMSがいっぱいです。
[SMS]（青文字）：FOMAカード内のSMSがいっぱいです。
[icon]（赤色）：FOMA端末内のｉモードメールやSMS、FOMAカード内のSMSがいっぱいです。

3 受信結果画面で、［メール］を選んで[●]を押す。

- 未読のメールが保存されているフォルダは、ピンク色で表示されています。
- 受信結果画面で、何も操作せずにそのままにしておくと、約30秒後、自動的に受信前の画面に戻ります。
  待受画面に戻ると［新着メールあり　○件］と表示されます。

4 フォルダを選んで[●]を押し、SMSを選んで[●]を押す。

- 受信SMSの見かたについては、P.261「受信したSMS（ショートメッセージ）を見る＜受信SMS表示＞」を参照してください。

お知らせ

- SMS着信音は変更できます。（☞P.129）

お知らせ

- FOMAカード内のSMSは上書きされません。
- FOMA端末（本体）に保存された受信SMSをFOMAカードにコピーできます。ただし、SMS送達通知はコピーできません。
- 送信SMSをFOMAカードにコピーすると、それに対応するSMS送達通知もFOMAカードにコピーされます。
- FOMA端末（本体）とFOMAカードの容量がいっぱいの場合は、新規にSMS受信できません。［本体内の容量がいっぱいです　空きがないためこれ以上受信できません］または［FOMAカード（UIM）の容量がいっぱいです　空きがないためこれ以上受信できません］と表示された場合は、FOMA端末（本体）とFOMAカード内の未読ｉモードメール／SMSの確認（☞P.238、P.261）、保護解除（☞P.250）、不要なｉモードメール／SMSの削除（☞P.250、P.264）を行ってください。

待受中以外の状態で受信したとき

- メール受信表示設定を［通知優先］に設定している場合、SMS着信音が鳴り、ディスプレイにマーク（☞P.261）と受信完了画面が表示されます。

SMS（ショートメッセージ）があるかどうかを問い合わせる＜SMS問い合わせ＞

圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどに送られてきたSMSはSMSセンターに保管されています。SMSセンターに問い合わせて受信できます。

1 待受画面で[icon][8]を押す。

- 詳細メニューから[icon]（メール）→［SMS問い合わせ］の順に選択することもできます。

- 右の画面が表示されたあと、センターにSMSが保管されていると、自動受信が始まります。

お知らせ

- FOMA端末（本体）とFOMAカードの容量がいっぱいの場合は、それ以上SMSを受信できません。未読SMSを確認／削除するか、保護を解除してください。読んだり、保護を解除したSMSは、受信時に古いものから上書きされます。（☞P.261）
- 問い合わせをしたあと、自動受信がすぐに始まらない場合があります。

受信したSMS（ショートメッセージ）を見る＜受信SMS表示＞

受信したSMSを表示します。

- 受信したSMSは［受信トレイ］に保存されます。ただし、振分け条件設定（☞P.253）の条件に合致していた場合は、設定したフォルダに保存されます。
- FOMAカードにコピーした受信SMSも［受信トレイ］に保存されます。

1 待受画面で[icon][1]を押す。

- 詳細メニューから[icon]（メール）→［受信BOX］の順に選択することもできます。
- BOX一覧画面の見かた（☞P.245）
- 送信SMSを表示するときは、待受画面で[icon][2]を押します。

次ページへ続く

メール　SMS受信

- 未送信SMSを表示するときは、待受画面で✉3を押します。

2 フォルダを選んで●を押し、SMSを選んで●を押す。

SMS表示画面

- メール一覧画面／表示画面の見かた（☞P.245）
- FOMAカード内の受信SMSを表示するときは、[受信トレイ]を選んで●を押し、SMSを選んで●を押します。[受信トレイ]には、FOMA端末（本体）内とFOMAカード内の両方の受信SMSが一覧表示されます。マークで区別してください。（☞P.245）
- FOMAカード内の送信SMSを表示するときは、[送信トレイ]を選んで●を押し、SMSを選んで●を押します。
- 表示を終わるときは、☎を押します。

お知らせ

- 受信SMSはｉモードメールと合わせて、最大1000件までFOMA端末（本体）に保存できます。

受信したSMS（ショートメッセージ）に返信する<SMS返信>

SMSに返信できます。

1 SMS表示画面で📷11[返信]を押し、SMSを作成して📱[送信]を押す。

- 受信SMSの本文を引用して返信するときは、SMS表示画面で📷13[引用返信]を押し、SMSを作成します。
- 本文の文字数は、送ってきた相手のSMSの設定（文字数の設定）により入力できます。
- 送信が完了すると、[送信完了しました]と表示されます。
- 詳しくは、P.259の操作2～3を参照してください。

お知らせ

- SMSはクイック返信できません。
- 送信元が非通知設定、公衆電話、通知不可のSMSには返信できません。
- FOMAカード内のSMSへの返信SMSを作成中に保存した場合、未送信SMSはFOMA端末（本体）に保存されます。
- 送信元がドコモ以外の海外通信事業者の場合、宛先の先頭に[＋]が自動的に入力されます。

受信したSMS（ショートメッセージ）を転送する<SMS転送>

1 SMS表示画面で📷14[転送]を押し、SMSを作成して📱[送信]を押す。

- 送信が完了すると、[送信完了しました]と表示されます。
- 詳しくは、P.259の操作2～3を参照してください。

SMS設定

SMS（ショートメッセージ）の設定を行う

SMS（ショートメッセージ）センターの設定をする<SMSセンター設定>

SMSセンターの接続先を変更できます。

- FOMAカードが挿入されていない場合は設定できません。

※ 通常は設定を変更する必要はありません。

お買い上げ時設定（「ドコモ」（ドコモのSMSセンター））

1 待受画面で✉◯2◯3を押す。

- 詳細メニューから✉（メール）→[メール設定]→[SMSセンター設定]の順に選択することもできます。

2 2[ユーザ設定]を押し、SMSセンターのアドレスを入力して●を押す。

- アドレスは最大20桁まで入力できます。

3 1[International]または2[Unknown]を押す。

相手に届いたら通知を受け取る<SMS送達通知設定>

送信するSMSの送達通知を受け取るかどうかを設定できます。
お買い上げ時設定（要求しない）

1 待受画面で✉◯2◯4を押す。

- 詳細メニューから✉（メール）→[メール設定]→[SMS送達通知設定]の順に選択することもできます。

2 送達通知を受け取るかどうかを選ぶ。

SMS送達通知を受け取る	1
SMS送達通知を受け取らない	2

お知らせ

- SMS送達通知はSMSで届きます。
- SMS送達通知は、SMS作成時に設定することもできます。
- SMS送達通知単独ではFOMAカードへコピー、miniSDメモリーカードへコピー、赤外線送信することはできません。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.323）

SMS（ショートメッセージ）に有効期間を設定する<SMS有効期間設定>

送信したSMSが圏外などで届かなかった場合にSMSセンターに保管する期間を設定します。0日〜3日を選択できます。
0日を設定すると一定時間後、再送したのちにSMSセンターから削除されます。
● FOMAカードが挿入されていない場合は設定できません。
お買い上げ時設定（3日）

1 待受画面で[メール][MENU][2][MENU][5]を押す。
● 詳細メニューから[メール]（メール）→[メール設定]→[SMS有効期間設定]の順に選択することもできます。

2 期間を選ぶ。

0日	1
1日	2
2日	3
3日	4

お知らせ
● 有効期間設定は、SMS作成時に設定することもできます。

本文に入力できる文字を設定する<SMS本文入力設定>

SMSの本文に入力できる文字の種類を設定できます。
● FOMAカードが挿入されていない場合は設定できません。
お買い上げ時設定（日本語（70文字））

1 待受画面で[メール][MENU][2][MENU][6]を押す。
● 詳細メニューから[メール]（メール）→[メール設定]→[SMS本文入力設定]の順に選択することもできます。

2 入力する文字の種類を選ぶ。

日本語を入力する	1
半角英数字を入力する	2

SMS（ショートメッセージ）をFOMAカードに保存する

FOMA端末（本体）に保存されているSMSを、FOMAカードにコピーできます。FOMAカードには、受信SMS、送信SMS合わせて最大20件まで保存できます。
● あらかじめFOMAカードを挿入しておいてください。

FOMA端末（本体）のSMS（ショートメッセージ）をFOMAカードにコピーする

例：受信SMSの場合

1 待受画面で[メール][1][受信BOX]を押し、フォルダを選んで[●]を押す。
● 受信メール一覧画面が表示されます。
● SMS送達通知はコピーできません。
● 送信SMSのときは、待受画面で[メール][2]を押し、フォルダを選んで[●]を押します。
● SMS表示画面からコピーするときは、SMS表示画面で[カメラ][5][4]（送信SMSのときは[カメラ][6][4]）を押します。[はい]を選んで[●]を押すと、コピーされます。

2 FOMA端末（本体）内のSMSを選んで[カメラ][3][3][FOMAカードへコピー]を押す。
● FOMA端末（本体）のSMSを選んだ場合、サブメニューに[FOMAカードへコピー]が表示されます。

マークの意味
■ FOMA端末（本体）内
[アイコン]：未読SMS　[アイコン]：未読SMS（保護有）
[アイコン]：既読SMS　[アイコン]：既読SMS（保護有）
[アイコン]：送信済みSMS　[アイコン]：送信済みSMS（保護有）
■ FOMAカード内
[アイコン]：未読SMS　[アイコン]：既読SMS
[アイコン]：送信済みSMS

3 コピー方法を選ぶ。

SMSを1件コピーする	[1]→[はい]→[●]
SMSを選択してコピーする	[2]→SMSを選ぶ[●]（くり返し可）→[カメラ]→[はい]→[●] ● すべてを選択／解除する場合は、[i][全選択]／[i][全解除]を押します。

● 受信SMSは[受信トレイ]に、送信SMSは[送信トレイ]にコピーされます。

お知らせ
● 未送信SMSはFOMAカードにコピーできません。
● 上書きコピーはできません。
● FOMAカードの最大保存件数を超えると、コピーが中止されます。

次ページへ続く

お知らせ

- 送信SMSをFOMAカードにコピーすると、それに対応するSMS送達通知もFOMAカードにコピーされます。ただし、送信日時はコピーされません。

FOMAカード内のSMS(ショートメッセージ)をFOMA端末(本体)にコピーする

例:受信SMSの場合

1 待受画面で[受信BOX]を押し、[受信トレイ]フォルダを選んでを押す。

- 送信SMSのときは、待受画面でを押し、[送信トレイ]フォルダを選んでを押します。
- SMS表示画面からコピーするときは、SMS表示画面で、(送信SMSのときは)を押します。[はい]を選んでを押すと、コピーされます。

2 FOMAカード内のSMSを選んで[本体へコピー]を押す。

- FOMAカードのSMSを選んだ場合、サブメニューに[本体へコピー]が表示されます。

マークの意味

：FOMAカードの未読SMS
：FOMAカードの送信済みSMS
：FOMAカードの既読SMS

3 コピー方法を選ぶ。

SMSを1件コピーする	→[はい]→
SMSを選択してコピーする	→SMSを選ぶ(くり返し可)→→[はい]→ ● すべてを選択/解除する場合は、[全選択]/[全解除]を押します。

- 受信SMSは[受信トレイ]に、送信SMSは[送信トレイ]にコピーされます。

お知らせ

- 上書きコピーはできません。
- FOMA端末(本体)の最大保存件数(受信SMSはｉモードメールと合わせて最大1000件、送信SMSは最大200件)を超えると、コピーが中止されます。

SMS削除

SMS(ショートメッセージ)を削除する

例:受信SMSの場合

1 待受画面で[受信BOX]を押し、フォルダを選んでを押す。

- FOMA端末(本体)のSMSとFOMAカード内のSMSはマークで区別します。
- SMS表示画面から削除するときは、SMS表示画面で、受信SMSのときは、送信SMSのときはを押します。[はい]を選んでを押すと、削除されます。

2 SMSを選んで[削除]を押す。

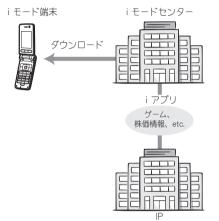
3 [1件削除]を押し、[はい]を選んでを押す。

お知らせ

- 受信メール一覧画面、送信メール一覧画面から、SMSをまとめて削除できます。(☞P.250)

ｉアプリ

iアプリとは

iアプリをサイトからダウンロードすることにより、iモード対応FOMA端末（以下、iモード端末）をより便利に活用いただけます。たとえば、iモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のiアプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックするなどが可能です。
さらに、地図のiアプリでは、必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。また、iアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存・画像取得などデータBOXと連動できるiアプリもあります。

- iアプリをダウンロードするには☞P.267
- iアプリを実行するには☞P.268
- iアプリを自動実行するには☞P.273
- ソフトによっては、iモード端末の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を利用する場合があります。
- ソフトによっては、実行時に通信を行うものがあります。通信を行わないように設定することもできます。

登録データを利用する

iアプリのソフトには、お客様のiモード端末の登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報、トルカ）を参照、登録、操作ができるものがあります。登録データを利用してできることは以下のとおりです。

- 電話帳登録
- アイコン情報利用
- ブックマーク登録
- スケジュール登録
- データBOXからの画像取得
- データBOXへの画像保存
- トルカの新規登録
- miniSDメモリーカードの利用

iアプリDXとは

iアプリDXでは、iモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信か知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、iアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。（☞P.268）

登録データを利用する

iアプリDXのソフトでは、通常のiアプリで利用できる登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報、トルカ）に加えて、メール、リダイヤル、着信履歴、着信音などの登録データを参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは以下のとおりです。

- 電話帳登録
- 電話帳参照
- アイコン情報利用
- ブックマーク登録
- スケジュール登録
- メールメニューの利用
- iモードメール作成画面利用
- 最新のリダイヤル参照
- 最新の着信履歴参照
- 最新の未読メール参照
- 着信音保存
- 着信音変更（電話、メール、メッセージR／F）
- データBOXからの画像取得
- データBOXへの画像保存
- 画面設定の変更（待受画面、電話発着信、メール送受信、メッセージR／F受信）
- トルカの新規登録、選択、取得
- miniSDメモリーカードの利用

- iアプリDXでは、ソフトの有効性を確認するため、ソフトの通信設定にかかわらず通信する場合があります。通信回数やタイミングはソフトによって異なります。
- iアプリDXを起動するには日付・時刻設定が必要です。

メール連動型iアプリとは

メール連動型iアプリは、iアプリDXの一種で、iモードメールで情報をやりとりすることにより、株価などの欲しい情報やゲームの進行がリアルタイムに更新されるなど、ソフトをより便利に楽しく利用することができます。

- メール連動型iアプリで利用されるiアプリメールは、正しく表示できない場合があります。

おサイフケータイ対応iアプリとは

おサイフケータイ対応iアプリを用いて、ＩＣカード内のデータの読み書きを行い、電子マネーや乗車券をダウンロードすることや、その残高や利用履歴を携帯電話上で参照するなど、便利な機能がご利用いただけます。

- おサイフケータイ対応iアプリを利用すると、ご契約しているサービスのIP（情報サービス提供者）などにＩＣカード内の情報が送信されます。
- おサイフケータイとは（☞P.284）

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.323）

こんなこともできます

iアプリ待受画面

iアプリ待受画面では、iアプリを待受画面として利用することができ、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。（☞P.275）

- iアプリ待受画面に対応したソフトで利用できる機能です。

iアプリの自動起動

時刻や日付、曜日などを指定して、ソフトを自動起動できます。あらかじめソフトに設定されている時間間隔で自動起動できるソフトもあります。（☞P.273）

カメラ撮影

ソフトからiモード端末のカメラを使って撮影できます。（☞P.278）

- カメラ撮影機能に対応したソフトで利用できる機能です。

赤外線通信

ソフトから、赤外線通信機能が搭載された機器と通信できます。赤外線通信機能搭載機器と連動して、より広がった使いかたができます。（☞P.278）

- 赤外線通信機能に対応したソフトで利用できる機能です。
- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

赤外線リモコン

ソフトから赤外線リモコンに対応した家電機器など各種機器を操作できます。たとえばプリインストールされている「Gガイド番組表リモコン」では、テレビ番組表と連動したAVリモコンとして利用することができます。（☞P.338）

- 赤外線リモコン機能に対応したソフトで利用できる機能です。相手の機器に対応したソフトが必要です。

バーコードリーダー

ソフトからiモード端末のカメラを使ってバーコード（JANコード、QRコード）を読み取ることができます。（☞P.278）

ダウンロード

サイトからiアプリをダウンロードする

サイトやインターネットホームページからiアプリのソフトをダウンロードすると、FOMA端末のディスプレイ上で実行できます。

- ソフトは最大100件まで保存できます。（ソフトのサイズによって、保存できる件数が変わります。）

1 サイト（☞**P.198**の操作1～3）やインターネットホームページ（☞**P.203**）を表示中に、ソフトを選んで■を押す。

- iアプリダウンロード中画面が表示され、ダウンロードが開始されます。

[ソフトを起動しますか？]が表示されたとき	[はい]→■ ● ダウンロードが完了すると自動的に起動するように設定されているものもあります。このようなソフトは、ダウンロード後すぐにFOMA端末には保存されません。ソフト終了後に、保存可能なソフトについては、保存するかどうかを選択できます。
FOMA端末（本体）のメモリの空き容量が不足しているとき	[メモリが不足しているか保存可能件数を超えました　上書きしますか？]→[はい]→■→ソフトを選ぶ ■（くり返し可）→▯
ダウンロードを中止するとき	[ダウンロード中]表示中に、▯

- 別のFOMAカードを使用してダウンロード済みのときは、[異なるFOMAカード（UIM）でダウンロード済みです　ソフトを上書きしますか？]と表示されます。[はい]を選んで■を押すと、上書きされます。ただし、おサイフケータイ対応iアプリのソフトの場合は、ICカード内にデータが残っていると上書きできません。

お知らせ

- 電波状況などによりダウンロードが失敗した場合、iアプリは登録されません。
- ダウンロード時にメモリの空き容量が不足したため古いソフトを削除したあとで、電波状況などによりダウンロードが失敗しても、古いソフトは復活できません。
- 通信設定を[通信しない]に設定すると、情報提供できない場合がありますので、ご注意ください。
- ダウンロード時に、携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号や登録データ、miniSDメモリーカードを利用する旨の確認画面が表示される場合があります。[はい]を選択すると、ダウンロードを開始します。なお、▯[登録データ]を押すと、利用する登録データの一覧が確認できます。
- SSL対応のページからiアプリの情報やiアプリをダウンロード中は、[SSL]が表示されます。
- iアプリのソフトによっては、ダウンロードをしたあとも自動的に通信を行う場合がありますが、このサービスを利用するにはあらかじめFOMA端末での設定が必要です。
- iアプリのPIMロック中に、iアプリダウンロードを行うと、端末暗証番号入力画面が表示されます。端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力すると、PIMロックは一時解除され、ダウンロードできます。

選択したソフトがすでに**FOMA**端末に保存されているとき

- ソフトのバージョンが更新されているときは、バージョンアップするかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、ダウンロード（バージョンアップ）が開始されます。

次ページへ続く ▶▶

お知らせ

おサイフケータイ対応ｉアプリのダウンロードができないとき

- ＩＣカード内のデータ容量によっては、ソフト保存領域に空きがあってもおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードできない場合があります。確認画面に従い、表示されるソフトを削除してから再度ダウンロードを行ってください。(ダウンロードするソフトによって一部のソフトが削除対象とならない場合があります。)ソフトによってはお客様がソフトを起動して、ＩＣカード内のデータを削除してから、ソフト自体の削除を行うものがあります。
- ＩＣカードロック中は、おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードできない場合があります。

メモリエリアについて

- データBOXとｉアプリのエリアを共有しています。データBOXに保存されているデータのデータ量によっては、ｉアプリのソフトが保存できない場合があります。
- 保存できるｉアプリのファイルサイズは、ソフト１件あたり最大520Kバイトです。

メール連動型ｉアプリのダウンロードについて

メール連動型ｉアプリをダウンロードするときは、次の点にご注意ください。

- メール連動型ｉアプリをダウンロードした場合、受信BOX、送信BOX、未送信BOXにメール連動型ｉアプリ用フォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名となり、変更できません。
- メール連動型ｉアプリ用フォルダは、最大５個保存可能です。
- 同じフォルダを利用するメール連動型ｉアプリが、すでにソフト一覧にある場合、そのソフトはダウンロードできません。
- メール連動型ｉアプリ用フォルダのみが残っており、そのフォルダを利用するメール連動型ｉアプリを再ダウンロードしようとした場合、フォルダを利用できます。フォルダを利用しない場合は、フォルダを削除して新規フォルダを作成できます。新規フォルダを作成しない場合は、メール連動型ｉアプリをダウンロードできません。
- メール連動型ｉアプリを残したままで、対応するメール連動型ｉアプリ用フォルダは削除できません。ソフトがない場合はフォルダを削除できますが、受信BOX、送信BOX、未送信BOXに作成されたフォルダがまとめて削除されます。
- メール連動型ｉアプリを削除する場合、自動的に作られたフォルダを同時に削除するかどうかを選択することができます。ただし、フォルダ内に保護されているメールがある場合はフォルダの削除はできません。フォルダのみを残した場合は、受信BOX、送信BOX、未送信BOXでフォルダにカーソルを合わせて[i]を押し、[ｉモードメール閲覧]を選んで[■]を押すと、メール本文を確認することができます。
- メールのPIMロック中(☞P.162)は、メール連動型ｉアプリをダウンロードできません。
- メールのPIMロック中、メールフォルダ名を変更するメール連動型ｉアプリは、ダウンロードしたりバージョンアップできません。
- メールのPIMロック中、新規メールフォルダを作成するメール連動型ｉアプリはダウンロードできません。

ダウンロード時にｉアプリの情報を見る <ソフト情報表示設定>

ダウンロード開始時に、ソフトの情報を表示するかどうかを設定できます。

1 待受画面で[i]を１秒以上押して[3][ソフト情報表示設定]を押し、[1][ON]を押す。

- ダウンロードを開始すると、ソフト情報が表示されます。

iアプリ実行

ｉアプリを実行する

FOMA端末に保存されているｉアプリを実行(起動)します。

- ソフトによっては、起動したときに自動的に通信するものがあります。あらかじめ通信設定(☞P.269)で通信しないようにしたり、起動するたびに接続するかどうかを確認するよう設定できます。
- ショートカットメニューにソフトを登録することもできます。(☞P.366)

1 待受画面で[i]を１秒以上押す。

- 詳細メニューから[iα](ｉアプリ)で選択することもできます。
- 待受画面で[i]を２回押してもｉアプリ画面が表示されます。
- おサイフケータイ対応ｉアプリのときは、待受画面で[■][9][2][4]を押します。ＩＣカード一覧画面が表示されます。

2 [1][ソフト一覧]を押す。

- FOMA端末に保存されているソフトのタイトルが表示されます。
- 選択しているソフトの設定状態によって、下のマークが表示されます。

ソフト一覧画面

マークの意味

- [α]：ｉアプリ待受画面の機能を持ったソフト
- [AUTO]：自動起動の機能を持ったソフト
- [SSL]：SSL通信でダウンロードしたソフト
- [DX]：ｉアプリDXのソフト
- [α✉]：メール連動型ｉアプリのソフト
- [α]：ｉアプリ待受画面に設定されているソフト
- [AUTO]：自動起動が設定されているソフト
- [通信]：通信する機能を持ったソフト
- [IC]：おサイフケータイ対応ｉアプリのソフト
- [SD]：ｉアプリ使用データをminiSDメモリーカードに保存できるソフト
- [UIM]：UIM動作制限が設定されているソフト

ｉアプリ

ｉアプリ実行

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

3 実行するソフトを選んで■を押す。

- ｉアプリ起動中画面が表示され、ソフトが起動されます。
- ソフトを終了するときは、ソフト実行中に[終話/電源]を押し、[はい]を選んで■を押します。

お知らせ

- ｉアプリのダウンロード時に使用したFOMAカードと同じFOMAカードを挿入していないと実行（起動）できないｉアプリがあります。
- ソフト実行中にスケジュールやアラームの時刻になると、ソフトは中断され、スケジュールやアラームの通知画面が表示されます。スケジュールやアラームの通知画面を終了すると再開されます。ｉアプリのソフトによっては、アラームが動作したときにソフトを終了するものもあります。
- メール連動型ｉアプリは、受信BOX、送信BOX、未送信BOXからも起動できます。各フォルダ一覧からｉアプリメール用フォルダを選択してください。
- ｉアプリによっては、起動時にソフトのバージョンが更新されていた場合に、確認画面が表示されバージョンアップできます。
- 3Dポリゴンエンジン搭載により、ｉアプリで立体画像を表示できます。
  3Dポリゴンは、多角形（三角形や四角形など）を組み合わせることにより、立体的で奥行きがある画像を表現します。
- ソフト実行中に通信回数が多くなると、［ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？］と表示され、通信を行うかどうかを選択できます。
- ｉアプリのソフトによっては、ｉアプリ使用データをminiSDメモリーカードに保存できるものがあります。保存したｉアプリ使用データは、ｉアプリ使用データ一覧で確認できます。また、ｉアプリ使用データを利用するソフトは、ｉアプリ使用データの情報表示で確認できます。（☞P.277）
- ｉアプリ使用データの保存・削除中に、miniSDメモリーカードや電池パックを抜くと、ｉアプリ使用データを参照できなくなる場合があります。
  その場合は、miniSDメモリーカードをFOMA SH902iSLでフォーマットしてください。（フォーマットを行うと、miniSDメモリーカード内のデータはすべて消去されます。）
- miniSDメモリーカードに保存したデータは、他の機種で利用できない場合があります。
- 同時に起動している他の機能がminiSDメモリーカードを使用している場合は、ｉアプリからminiSDメモリーカードの読み書きをすることができない場合があります。

ｉアプリ**DX**を起動するとき

- ｉアプリDXのソフトによっては、有効性を確認するために通信設定にかかわらず通信するものがあります。（通信する回数やタイミングは、ソフトにより異なります。）
- 日付・時刻を正しく設定していないときは、有効性の確認は実行されずソフトは起動できません。
- ソフトが無効になった場合、有効性を確認できるまではソフトを起動できません。

関連操作

ショートカットメニューから起動する
待受画面で■▶[i]でショートカットメニューを表示▶ソフトを選ぶ▶■

音量を調節する<ｉアプリ音量設定>
待受画面で[i]（1秒以上）▶[2]▶[↑]（上げる）／[↓]（下げる）▶■

ソフトの情報を表示する<ソフト情報表示>
ソフト一覧画面でソフトを選ぶ▶[メニュー][1]

関連操作のお知らせ

ショートカットメニューについて

- よく使うｉアプリのソフトなどを、あらかじめ登録しておく必要があります。（☞P.366）

ｉアプリ音量設定について

- ｉアプリによっては音の鳴らないものもあります。

ソフト情報表示について

- 表示される情報はソフト名、バージョン、ソフト提供、ソフト保存領域、プロファイルバージョン、対応機種、自動起動の時間間隔、SSL接続などです。
- 表示されるｉアプリのソフト名は変更できません。

通信を行うかどうかを設定する <通信設定>

ｉアプリ実行中に通信を行ってもよいかどうかを、ソフトごとに設定します。

- ここでの設定は通信を利用するソフトに対してのみ有効です。
- ソフトのダウンロード時は、［通信する］に設定されています。

1 ソフト一覧画面（☞**P.268**）でソフトを選んで[メニュー][6]［ソフト利用設定］を押す。

2 ［通信設定］を選んで■を押し、通信するかどうかを選ぶ。

通信する	[1]
通信しない	[2]
ｉアプリが起動するたびに確認する	[3]

3 [i]［完了］を押す。

お知らせ

- 通信設定を［通信しない］に設定すると、動作しない場合やタイムリーな情報提供ができない場合があります。また、起動しないソフトもありますので、ご注意ください。
- ｉアプリで利用する画像やお客様が入力したデータなどは、インターネットを経由して送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。（「ｉアプリで利用する画像」とは、起動中のソフトからカメラ機能を起動して撮影した画像、起動中のｉアプリから赤外線通信機能を利用して取得した画像、起動中のソフトからデータBOXを参照して取得した画像です。）

アイコン情報通知を許可するかどうかを設定する<アイコン情報設定>

ｉアプリ実行中、未読のメール・メッセージR／Fの有無、電池残量、圏内・圏外情報、マナーモードの設定状態などのアイコンの有無を、ソフトへ通知してもよいかどうかをソフトごとに設定します。

- ここでの設定はアイコン情報を利用するソフトに対してのみ有効です。
- ソフトのダウンロード時は、[利用する]に設定されています。

1 ソフト一覧画面(☞P.268)でソフトを選んで[ソフト利用設定]を押す。

2 [アイコン情報設定]を選んでを押し、[利用する]を押す。

3 [完了]を押す。

お知らせ

- アイコン情報が必要なソフトの場合、[利用しない]に設定すると動作しないことがあります。
- アイコン情報設定を[利用する]に設定すると、未読のメール・メッセージR／F、電池残量、マナーモード、圏内・圏外のアイコンの有無がお客様の「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」と同様にインターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信される場合があるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。

電話帳や履歴の参照を許可するかどうかを設定する<電話帳／履歴参照>

ｉアプリには、電話帳、リダイヤルや着信履歴の参照を許可するかどうかを設定できるものがあります。[許可する]に設定した場合、ｉアプリから電話帳、リダイヤルや着信履歴を自動的に参照できます。

- ここでの設定は電話帳や履歴情報を利用するソフトに対してのみ有効です。
- ソフトのダウンロード時は、[許可する]に設定されています。

1 ソフト一覧画面(☞P.268)でソフトを選んで[ソフト利用設定]を押す。

2 [ソフトからの電話帳／履歴参照を]を選んでを押し、[許可する]を押す。

3 [完了]を押す。

お知らせ

- [許可しない]に設定すると、ソフトによっては利用できないものもありますので、ご注意ください。

着信音や画面の変更を許可するかどうかを設定する<着信音／画像変更>

ｉアプリには、着信音や画面の変更を許可するかどうか、また、変更時に確認画面を表示するかどうかを設定できるものがあります。[許可する]に設定した場合、ｉアプリから着信音や画面を自動的に変更できます。

- ソフトのダウンロード時は、[許可する]・[表示しない]に設定されています。

1 ソフト一覧画面(☞P.268)でソフトを選んで[ソフト利用設定]を押す。

2 [ソフトからの着信音／画像／メニューアイコン変更を]を選んでを押し、[許可する]を押す。
- 変更を許可しないときは、を押し、操作4に進みます。

3 [変更ごとに確認画面を]を選んでを押し、[表示する]を押す。
- 確認画面を表示しないときは、を押します。

4 [完了]を押す。

ソフトから他のソフトを起動する

ソフトによっては、他のソフトを起動できるものがあり、ソフト一覧に戻ることなくソフトを楽しむことができます。

- 起動するソフトが指定されていないときは、画面の指示に従ってソフトを選択します。
- 起動するソフトがFOMA端末に保存されていない場合は、ダウンロードする必要があります。

お買い上げ時に登録されているソフト

お買い上げ時には、以下のソフトが登録されています。

- ■ Gガイド番組表リモコン
- ■ 電子マネー「Edy」
- ■ ケータイクレジット「iD(アイディ)」
- ■ DCMXクレジットアプリ

- お買い上げ時に登録されているソフトを削除後にもう一度ご利用になる場合、ｉMenu内のサイト[SH-MODE]からダウンロードできます。
[ｉMenu]→[メニュー／検索]→[ケータイ電話メーカー]→[SH-MODE]

サイト接続用QRコード

■Gガイド番組表リモコン

メイン画面

テレビ番組表とAVリモコン機能が1つになった月額利用料が無料の便利アプリです。
いつでもどこでも知りたい時間の地上アナログもしくは地上デジタルのテレビ番組情報を簡単に取得できます。テレビ番組のタイトル・番組内容・開始／終了時間などを知ることができます。
気になる番組があったら、インターネットを通じて番組をDVDレコーダーに録画予約することもできます。(リモート録画予約機能に対応しているDVDハードディスクレコーダーが必要になります。ご利用の際には本アプリの初期設定が必要です。)
さらにテレビのジャンルや好きなタレントなどのキーワードで番組情報の検索が可能です。また、テレビ・ビデオ・DVDプレーヤのリモコン操作ができます。(一部対応していない機種もあります。)

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。
※ はじめて利用するときは、初期設定を行って利用規約に同意する必要があります。
※ 別途パケット通信料がかかります。
※ 詳しくは、『ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)』をご覧ください。

ソフトを起動する

1 ソフト一覧画面で[Gガイド番組表リモコン]を選んで[■]を押す。
- ソフトが起動し、メイン画面が表示されます。
- 初回起動時は、初期設定画面が表示されます。

2 郵便番号、生まれた年、性別を入力する。

3 番組表設定で[地上デジタル]または[地上アナログ]を選んで[■]を押す。

4 [📷][設定]を押す。
- 利用規約画面が表示されます。

5 規約に同意するときは、[はい]を選んで[■]を押す。
- 通信後、メイン画面とお知らせが表示されます。

番組情報の表示

● 番組情報を切り替える

メイン画面には番組情報や広告が表示されます。番組情報の部分を選択しているときに、[↕]を押すとチャンネルを選択できます。[↔]を押すと、時間帯を切り替えられます。[■]を押すと番組情報が表示されます。このとき、リモコン登録およびリモコンチャンネル設定がされている場合は、赤外線送信されます。

● メイン画面での共通操作

使い方画面を表示	[i] ● リモコンの設定をしていない場合は表示できません。
メニューを表示	[📷]
予約リストへの登録／登録取消(アナログのみ)	[#]
リモコンの切り替え(TV1→TV2→ビデオ→DVDの順)	[0]
リモート録画予約	[*]

● 広告表示での操作

広告部分を選択すると、登録されている文字情報が吹き出しで表示されます。[■]を押すと、広告に設定されている機能(Phone To機能、Mail To機能、Web To機能)を起動できる場合があります。

日時を指定して番組表を表示する

1 メイン画面で[📷][メニュー]を押し、[日時指定]を選んで[■]を押す。

2 表示日を選択して[■]を押し、表示時刻を選択して[■]を押す。

3 [📷][表示]を押す。
- 番組表が表示されます。
[サーバから番組データを取得します。]と表示されたときは、[YES]を選んで[■]を押すと、番組情報を取得します。

キーワードで番組を検索する

1 メイン画面で[📷][メニュー]を押し、[検索]を選んで[■]を押す。

2 [キーワード]を選んで[■]を押し、キーワードを入力するか、検索履歴から選択して[■]を押す。
- ジャンルで検索するときは、[ジャンル]を選んで[■]を押し、ジャンルを選んで[■]を押し、サブジャンルを選んで[■]を押します。

3 [📷][検索]を押し、[YES]を選んで[■]を押す。
- 検索結果画面で[■]を押して番組情報を表示したり、予約リスト(アナログのみ)に登録することができます。

リモート録画予約について

リモート録画予約に対応しているDVDレコーダーをお持ちの場合には、インターネットを通じて、外出先などから本アプリの番組表より録画予約をすることができます。リモート録画予約には本アプリにおいて初期設定が必要です。

● 初期設定の方法

1 DVDレコーダーにインターネット接続の設定をする。
- ご利用のDVDレコーダーの取扱説明書をご確認ください。

2 メイン画面で[📷][メニュー]を押し、[*][リモート録画予約]を選んで[■]を押す。
- ガイダンスに従って初期設定を進めてください。

次ページへ続く

● 番組予約の方法

初期設定が完了したあと、お好きな番組を指定してメニューから[リモート録画予約]を選ぶと、インターネット経由で本アプリで設定したDVDレコーダーと接続し、録画予約をすることができます。

※ すでに同じ時間に予約されている場合は、番組表にメッセージが表示されます。

※ 別途パケット通信料がかかります。

関連操作

番組詳細情報を表示する

メイン画面で◙▶[番組詳細]▶■

予約リスト一覧を表示する(アナログのみ)

メイン画面で◙▶[赤外線予約]▶■▶[予約リスト]▶■

視聴チャンネルの設定を行う

メイン画面で◙▶[更新・設定]▶■▶[視聴チャンネル]▶■▶チャンネルを選び■(くり返し可)▶◙▶■

リモコン登録を行う

メイン画面で◙▶[更新・設定]▶■▶[リモコン登録]▶■▶登録する機器を選び■▶登録機器のメーカを選ぶ▶◙▶■

リセットする

メイン画面で◙▶[更新・設定]▶■▶[リセット]▶■▶■▶[YES]▶■▶■

リモコンチャンネルの設定を行う

メイン画面で◙▶[更新・設定]▶■▶[リモコンチャンネル設定]▶■▶チャンネルを選ぶ▶◙▶■

最新の番組表に更新する

メイン画面で◙▶[更新・設定]▶■▶[最新に更新]▶■▶[YES]▶■▶■

電子マネー「Edy」(おサイフケータイ iモード FeliCa対応)

電子マネー「Edy」とは、誰でも簡単にご利用いただけるプリペイド型の電子マネーサービスです。電子マネー「Edy」は、ビットワレット株式会社が提供するサービスです。ご利用の際には、注意事項、利用約款などをご確認のうえ、初期設定を実行してください。

- iアプリの通信設定で[通信しない]を設定した場合や、携帯電話を[セルフモード](☞P.162)に設定した場合は、iモード通信ができず、[初期設定]、および電子マネー「Edy」iアプリの[サービスメニュー]内の機能はご利用いただけませんのでご注意ください。
- [初期設定]、および電子マネー「Edy」iアプリの[サービスメニュー]の機能など、iモード通信を行うと別途パケット通信料がかかります。
- 機種変更時には、Edyの残高を新しい機種に移し替えることができます。また、旧携帯電話をEdyカードと同様にご利用いただくことができますので廃棄する際にはご注意ください。詳しくは、[サービスメニュー]の[7機種変更のお手続き]をご確認ください。
- 迷惑メール対策(受信/拒否設定)でインターネットからのメールを拒否している方への注意事項として、Mobile Edy(ネットでのお支払い)をご利用の際に、Edyセンターからの決済開始メールの受信が必要となりますので、[bitwallet.co.jp]をドメイン指定受信に加えてください。

サービス内容

初期設定・サービス登録(無料)

チャージ(入金)
- 店頭でのEdyチャージ(入金)
- iモードでのEdyチャージ(入金)※

使う(お支払い)
- 店頭でのお支払い
- Mobile Edy(ネットでのお支払い)※

便利な機能
- 残高・履歴照会
- Edyギフトのお受取り
- Edy to Edy(他端末とのEdyマネーの送付※/受け取り)

サポート
- 機種変更時の「Edy」に関するお手続き※
- 故障時の「Edy」に関するお手続き※

※事前にサービス登録が必要です。

電子マネー「Edy」についての詳しいサービス内容やご利用可能店舗およびFOMA端末の機種変更・故障時などのEdyに関する諸手続きなどにつきましては、Edyのiモードサイトおよびホームページをご参照いただくか、下記連絡先までお問い合わせください。

本サービスについてのお問い合わせ先

ビットワレット株式会社

- Edyに関する情報については、iモードサイトおよびホームページをご覧ください。

iモードサイト:[iMenu]→[メニュー/検索]→[くらしの情報]→[生活総合の電子マネー「Edy」]
ホームページ:http://www.edy.jp

サイト接続用QRコード

- Edyに関する諸手続きでお困りの場合は
  Edy緊急ダイヤル:0570-081-999(ナビダイヤル)
  平日 9:30〜19:00/土・日・祝日10:00〜18:00
  ※ ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。

ケータイクレジット「iD(アイディ)」

ケータイクレジット「iD(アイディ)」とは、おサイフケータイをかざすだけで買い物やキャッシングのできるクレジットサービスです。今までのようにカードを財布から出したり、サインしたりすることなく、カンタン便利にショッピングができます。

- iDのご利用には、iDに対応した各カード発行会社へのお申し込みとiDアプリ、各カード発行会社提供のカードアプリが必要になります。
- iDアプリをはじめて起動される際は、「ご利用上の注意」に同意し、ご利用の準備を行ったあと、カードアプリのダウンロードを行う必要があります。
- iD対応のクレジットサービスのご利用にかかる費用(年会費など)は、各カード発行会社により異なります。
- iDアプリおよび各カード発行会社のカードアプリをダウンロードするにはパケット通信料がかかります。

- iDに関する情報については、iDのｉモードサイトおよびホームページをご覧ください。

ｉモードサイト：[ｉMenu]→[メニュー／検索]→[ケータイクレジット「iD」]
ホームページ：http://id-credit.com

サイト接続用QRコード

DCMXクレジットアプリ

「DCMX」とは、「iD(アイディ)」に対応した、エヌ･ティ･ティ･ドコモ･グループが提供するクレジットサービスです。
DCMXには、月額１万円まで利用できるDCMX miniと、キャッシングやリボなどのサービスも充実し、クレジットカードも同時発行するDCMX、DCMX goldの各サービスがございます。
DCMX miniなら、本アプリからの簡単なお申し込みで今すぐケータイクレジットがご利用いただけます。

アプリの機能

入会申込み･審査※1

カード情報設定

使う
面倒なチャージは不要！
設定済ケータイを店頭の読み取り機にかざすだけで、サインなどすることなく、ショッピングが楽しめます。

確認する※2
当月のご利用可能残額やご利用明細もケータイから確認！

変更する
お使いのカードの更新および再発行の際にもアプリから設定可能！

※1　お申し込み時にオンラインで簡単な入会審査をさせていただきます。また、DCMX mini以外のお申し込みについては、ｉモードのお申し込みページに接続します。
※2　ご利用状況などの確認機能は、DCMX miniのみ可能です。

- サービス内容やお申し込み方法の詳細については下記をご参照ください。

ｉモードサイト：[ｉMenu]→[メニュー／検索]→[DCMX(ケータイクレジット)]
ホームページ：http://www.dcmx.jp

サイト接続用QRコード

- 本サービスについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 本アプリをはじめて起動される際には、「ご利用上の注意」に同意のうえ、ご利用ください。
- 本アプリの利用にともないｉモード通信を利用する際は、パケット通信料がかかります。
- 申し込み･設定完了後は、本アプリからは起動できません。ご利用状況の確認や設定の変更などをご利用になる場合は、iDアプリを起動し、DCMXアプリを選択して連携起動してください。

お知らせ

- お買い上げ時、内蔵ｉアプリの各機能は次のように設定されています。
- ソフト一覧のサブメニューから設定を変更できます。

設定項目	お買い上げ時の設定			
	Gガイド番組表リモコン	電子マネー「Edy」	ケータイクレジット「ｉD(アイディ)」	DCMXクレジットアプリ
待受画面設定	－	－	－	－
通信設定	通信する			
ｉアプリTo設定	許可する			
アイコン情報設定	－	－	－	－
着信音／画像変更	－	－	－	－
電話帳／履歴参照	－	－	－	－

- ご利用には別途パケット通信料がかかります。

おサイフケータイ対応ｉアプリに関するご注意
- ＩＣカードに設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 詳しくは、『ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)』をご覧ください。

自動起動設定
ｉアプリを自動実行する

ｉアプリを自動起動する方法は３通りあります。
- あらかじめ、日時を正しく設定しておいてください。(☞P.48)

ｉアプリDXからの設定による自動起動	有効にするには、自動起動設定を[ON]に設定します。
ソフト自体の機能による自動起動	あらかじめソフトに組み込まれている自動起動の動作です。有効にするには、自動起動設定を[ON]に設定して、自動起動するソフトを登録します。最大９件まで登録できます。
FOMA端末の設定による自動起動	FOMA端末に保存されているｉアプリに対して、時刻･日付･曜日を指定して自動起動を設定します。有効にするには、自動起動設定を[ON]に設定して、スケジュールを設定します。最大９件まで登録できます。

自動起動するかどうかを設定する ＜自動起動設定＞

お買い上げ時設定(OFF)

1 待受画面で[i]を１秒以上押して[4]　[自動起動設定]を押す。

- 詳細メニューから[α](ｉアプリ)→[自動起動設定]で選択することもできます。

自動起動設定画面

2 [1][ON]を押す。

■ FOMA端末の設定でソフトの起動日時を設定する

1 自動起動設定画面で[3][詳細設定]を押し、番号を選ぶ。

自動起動のスケジュールを新規登録する	番号を選ぶ→[●] 新規に登録するときは[--------------------]が表示されている番号を選びます。
自動起動のスケジュールを変更する	変更する番号を選ぶ→[●]→[1]
自動起動のスケジュールを削除する	削除する番号を選ぶ→[●]→[2]

- 自動起動設定ソフト一覧画面が表示されます。

2 ソフトを選んで[●]を押し、起動日時を設定する。

- 時刻は24時間制で入力します。
- カーソルは[方向キー]で移動できます。

スケジュール設定画面

毎日起動する	[1]→時刻を入力→[●]
曜日を指定して起動する	[2]→曜日を選ぶ[●](くり返し可)→[メニュー]→時刻を入力→[●] ● すべての曜日を選択／解除する場合は、[i][全選択]／[i][全解除]を押します。
日付を指定して起動する	[3]→日付・時刻を入力→[●]

■ 自動起動対応のソフトの設定を有効にする

1 スケジュール設定画面で[4][時間間隔設定]を押す。

- 無効にするには、自動起動の設定を削除します。(「■FOMA端末の設定でソフトの起動日時を設定する」の操作1「自動起動のスケジュールを削除する」)
- 自動起動設定がないソフトの場合、[時間間隔設定]は選択できません。

お知らせ

- 自動起動できなかったときは、自動起動失敗履歴に記憶されます。
- 次の場合、ソフトは自動起動できません。
  - ■ 電源が入っていないとき
  - ■ 他の機能が起動している場合
  - ■ ｉアプリが起動中の場合
  - ■ 通話中
  - ■ スケジュール、ToDoリストのアラーム時刻が自動起動の時刻と同じ場合
  - ■ ｉアプリのPIMロック中

お知らせ

- 同じ時刻に設定した以下の機能は次の優先順位で動作します。

	優先順位(高→低)
機能	自動電源OFF→自動電源ON→アラーム→ToDoリスト→ｉアプリ自動起動

- 設定リセットを行うと、ｉアプリ自動起動失敗履歴は削除され、ｉアプリの自動起動設定は解除されます。
- 自動起動設定したソフトの通信設定が[起動ごとに確認]となっている場合、自動起動したときに通信するかどうかの確認画面が表示されます。そのまま操作せずに５秒間経過すると自動的に確認画面で[いいえ]を選択した設定で起動します。
- 同一ソフトの自動起動が前回の自動起動から10分未満の場合、起動できません。自動起動する間隔を10分以上に設定してください。自動起動失敗履歴には[起動エラー]と表示されます。

ｉアプリTo機能

サイトやｉモードメールからｉアプリを実行する

ｉアプリTo(ｉアプリ起動設定)が設定されている場合、サイト、インターネットホームページ、ｉモードメールや画面メモからｉアプリを起動できます。

- 下記の方法でもｉアプリを起動できます。
  - ■ 赤外線通信中にｉアプリ起動の信号を受信したとき
  - ■ バーコードリーダーでｉアプリの起動情報を読み取ったとき
  - ■ FeliCaマークを読み取り装置(リーダー／ライター)にかざしてｉアプリの起動情報を読み取ったとき
- ｉアプリToを許可するかどうかは、ｉアプリTo設定で設定します。

ｉアプリToでの起動を設定する
<ｉアプリTo設定>

ｉアプリToで起動させるかどうかを、ソフトごとに設定できます。
お買い上げ時設定(許可する)

1 ソフト一覧画面(☞P.268)でソフトを選んで[メニュー][6][ソフト利用設定]を押す。

2 [ｉアプリTo設定]を選んで[●]を押し、[1][許可する]を押す。

3 [i][完了]を押す。

お知らせ

- 起動するソフトは、サイト、インターネットホームページ、ｉモードメールや画面メモによって決まっています。指定のソフトをあらかじめダウンロードしておく必要があります。

サイトやｉモードメールからｉアプリを起動する<ｉアプリTo機能>

- ｉアプリTo設定が[許可しない]に設定されている場合、ｉアプリToでは起動できません。
- ｉアプリ待受画面として起動することはできません。
- フルブラウザでは起動できません。

1 サイト、インターネットホームページ、ｉモードメールや画面メモに表示されているｉアプリを選んで●を押し、[はい]を選んで●を押す。

- 起動を中止するときは、[ｉアプリ起動中]と表示されているときに☎を押します。

お知らせ

- ｉアプリを終了すると、元のサイトやインターネットホームページ、受信メール表示画面や画面メモに戻ります。
- ｉアプリの起動指定に該当するソフトがない場合は、[指定されたソフトがありません]と表示されます。
- サイトから起動するソフトによっては、FOMA端末に保存できないソフトもあります。
- サイトによっては、指定のソフトがFOMA端末に保存されていないときや、FOMA端末に保存されているソフトのバージョンが古いときに、ソフトをダウンロードできる場合があります。
- ソフトによってはダウンロードが完了すると自動的に起動するように設定されているものもあります。このようなソフトはダウンロード後すぐにFOMA端末には保存されません。ソフト実行後、終了時に保存するかどうかを選択できます。
- 実行中に通信設定(☞P.269)が必要な場合もあります。
- ｉモードメールからのｉアプリToは、IP(情報サービス提供者)からのｉモードメール配信で利用する機能です。FOMA端末どうしではご利用になれません。

ｉアプリ待受設定

ｉアプリ待受画面を設定する

ｉアプリを待受画面に設定できます。

- 待受画面に設定したｉアプリは、CLKを押すと操作できるようになります。

ｉアプリ待受画面を設定する<待受画面設定>

- ｉアプリ待受設定されたソフトから通信するかどうかは、待受画面通信設定(☞P.276)で設定できます。

1 ソフト一覧画面(☞P.268)でソフトを選んで📷4[待受画面設定]を押し、[はい]を選んで●を押す。

- ｉアプリ待受画面に設定され、待受画面に戻ると、ソフトが起動します。
- 通信を利用するソフトのときは、右の画面が表示されます。[通信する]を選択すると通信が許可されます。

[通信しない]を選択すると通信されず、情報提供ができない場合がありますので、ご注意ください。

お知らせ

- ｉアプリ待受画面に設定できるソフトは1つのみです。
- ｉアプリ待受画面に設定できないソフトもあります。
- ｉアプリ待受画面を設定している場合、待受画面にはｉアプリが表示されます。待受画面設定で設定した画像は表示されません。ｉアプリ待受画面設定を解除すると、待受画面設定した画像が表示されます。
- 通信を行うソフトをｉアプリ待受画面に設定した場合は、電波状況などにより正しく動作しないことがあります。
- ｉアプリ待受画面表示中にオールロックを設定すると、ｉアプリ画面は終了し、お買い上げ時に待受画面設定されている[待受画面1]の画像が表示されます。また、ｉアプリ待受画面表示中にｉアプリのPIMロックを設定すると、ｉアプリ画面は終了し、待受画面設定で設定した待受画面が表示されます。オールロックまたはｉアプリのPIMロックを解除するとｉアプリ待受画面が再表示されます。
- ｉアプリDXをｉアプリ待受画面に設定した場合、ｉアプリDXのソフトによっては、有効性を確認するため、通信設定にかかわらず通信するものがあります。
- ｉアプリ待受画面を設定しているときは、電源を入れるとｉアプリ待受画面起動の確認画面が表示されます。[はい]を選択するか、約5秒そのままにしておくと、ｉアプリ待受画面が起動します。[いいえ]を選択すると、通常の待受画面になり、ｉアプリ待受画面の設定が解除されます。ただし、自動電源ONで電源を入れたときは確認画面が表示されず、待受画面に戻ると起動します。
- ｉアプリ待受画面を設定すると、電池の利用可能時間が短くなります。
- 次の操作を行うと待受画面のｉアプリはいったん終了します。
  - ■ カメラ機能を利用する場合
  - ■ データBOX機能を利用する場合
  - ■ ｉモード機能を利用する場合
  - ■ メール機能を利用する場合
  - ■ テレビ電話を利用する場合
  - ■ 電話帳お預かりサービスを利用する場合
  - ■ モバイルオーディオを利用する場合
  - ■ ｉアプリの設定を変更する場合
  - ■ ｉモーションの再生を行う場合
  - ■ トルカ機能を利用する場合
  - ■ 赤外線通信を利用する場合
  - ■ ｉアプリのソフトをダウンロードする場合
  - ■ ｉアプリを起動する場合
  - ■ ブックリーダーを利用する場合
  - ■ パターンデータを更新する場合
  - ■ ソフトウェアを更新する場合

セキュリティエラーについて

- ｉアプリ待受画面を設定している場合、ｉアプリが不正な動作をしようとしたり、ｉアプリのソフトが許可されている機能以外の動作をしようとしたときは、ｉアプリ待受画面は解除されます。
- ｉアプリ待受画面が解除されてしまうようなエラーが発生した場合、エラー発生時刻などがエラー履歴に記録、表示されます。通常終了時には記録されません。待受画面に[セキュリティエラー]と表示されているときは、●を押すと、エラー履歴が表示されます。

次ページへ続く

関連操作

ｉアプリ待受画面から通信するかどうかを設定する＜待受画面通信設定＞

1 ソフト一覧画面（P.268）で、待受画面に設定されているソフトを選ぶ▶［メニュー］［5］
2 ［1］

メニューからｉアプリ待受画面を設定する＜待受画面設定＞

1 待受画面で［■］［2］［1］［1］［3］
2 ソフトを選ぶ▶［■］
- 待受画面に設定しているｉアプリを設定し直すとき：［設定］▶［■］▶ソフトを選ぶ▶［■］▶［はい］▶［■］
- 待受画面に設定しているｉアプリを終了するとき：［終了］▶［■］
- 待受画面に設定しているｉアプリを解除するとき：［解除］▶［■］

ｉアプリ待受画面を解除する

ｉアプリ待受画面を解除すると、待受画面設定で設定した画像が表示されます。
- ｉアプリ待受画面を終了しても、ｉアプリ待受画面設定は解除されず、待受画面に戻ったときにｉアプリ待受画面が再起動します。

1 待受画面で［ｉアプリ］を１秒以上押して［1］［ソフト一覧］を押し、待受画面に設定されているソフトを選んで［メニュー］［4］［待受画面設定］を押す。

2 ［はい］を選んで［■］を押す。

ｉアプリを管理する

FOMA端末に保存したｉアプリのバージョンアップを行ったり、削除やソート、実行時のエラー情報やトレース情報の表示などを行うことができます。
- ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたソフトにアクセスし、直接使用停止状態にしたりすることがあります。その場合は、そのソフトの起動、待受画面設定、バージョンアップなどができなくなり、削除およびソフト詳細表示のみが可能になります。再度、ご利用いただくにはソフト停止解除の通信を受ける必要があるため、IP（情報サービス提供者）にお問い合わせください。
- ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたソフトにデータを送信する場合があります。
- このようにIP（情報サービス提供者）がソフトに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信した場合、携帯電話は通信を行い、ｉモードアイコンが点滅します。この際通信料はかかりません。

ｉアプリをバージョンアップする＜バージョンアップ＞

FOMA端末に保存済みのソフトがサイト側で新しいバージョンに更新されている場合に、バージョンアップできます。
ソフトによっては、実行時に更新情報を自動確認し、自動的にバージョンアップできるものもあります。

1 ソフト一覧画面（**P.268**）でソフトを選んで［メニュー］［2］［バージョンアップ］を押す。

2 ［はい］を選んで［■］を押す。
- ソフトの情報が表示されたときは、［■］を押します。

お知らせ
- FOMA端末（本体）のメモリの空き容量がない場合は、バージョンアップできません。他のソフトまたはｉアプリとメモリエリアを共有しているデータBOXのデータを削除してください。
- おサイフケータイ対応ｉアプリによっては、ＩＣカードロック中、ダウンロードやバージョンアップができない場合があります。

関連操作

自動バージョンアップする

［最新ソフトにバージョンアップしますか？］の確認画面で、［はい］▶［■］

関連操作のお知らせ
- メールのPIMロック中、メールフォルダ名を変更するメール連動型ソフトはバージョンアップできません。

ｉアプリを並べ替える＜ソート＞

一覧の表示順番を、次のいずれかに変更できます。

ダウンロード（新→旧）	ダウンロードした日付の新しい順
ダウンロード（旧→新）	ダウンロードした日付の古い順
使用順	最近使用されたソフトの順
ソフトサイズ順	プログラムサイズの大きいもの順

- お買い上げ時は、［ダウンロード（新→旧）］に設定されています。

1 ソフト一覧画面（**P.268**）で［メニュー］［7］［ソート］を押し、ソート方法を選んで［■］を押す。

エラー表示を確認する＜エラー表示＞

ソフト実行時のエラー情報（［自動起動失敗履歴］、［待受画面エラー履歴］、［セキュリティエラー履歴］）やトレース情報を確認できます。
- トレース情報がない場合は、［トレース情報がありません］と表示されます。

1 待受画面で［ｉアプリ］（１秒以上）を押して［6］［エラー表示］を押す。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.323）

2 エラー履歴を選んで■を押す。

お知らせ

- iアプリ待受画面が解除されてしまうようなエラーが発生した場合、エラー発生時刻などがエラー履歴に記録、表示されます。通常終了時には記録されません。

関連操作

トレース情報を表示する<トレース表示>

1 待受画面でi(1秒以上)▶7
2 確認を終わるときは■
- トレース情報を削除するとき:i▶[はい]▶■

関連操作のお知らせ

iアプリ作成者の方へ

- 作成したiアプリが正常な動作をしない場合は、トレース情報の内容が参考になることがあります。
- トレースを採取するように設定されているソフトがないときは、トレース情報が表示されません。

iアプリをPIMロックする<PIMロック>

1 待受画面でi(1秒以上)を押して8[PIMロック]を押し、端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力して■を押す。

2 [ON]/[OFF]を選ぶ。

ロックする	1
ロック解除する	2

iアプリを削除する<削除>

1 ソフト一覧画面(☞P.268)で、ソフトを選んで📷3[削除]を押す。

2 削除方法を選ぶ。

ソフトを1件削除する	1→[はい]→■
複数のソフトをまとめて削除する	2 →ソフトを選ぶ■(くり返し可)→📷→[はい]→■ ● すべてを選択/解除する場合は、i[全選択]/i[全解除]を押します。
すべてのソフトを削除する	3→端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力→■→[はい]→■

お知らせ

- メール連動型iアプリのソフトを削除する場合、自動的に作られたメールフォルダを同時に削除するかどうかを選択できます。ただし、メールフォルダ内に保護されているiモードメールがある場合、ソフト、フォルダは削除できません。
- 削除するソフトのiアプリ使用データがminiSDメモリーカードに保存されている場合、iアプリ使用データを同時に削除するかどうかを選択できます。

お知らせ

- フォルダを残してメール連動型iアプリのソフトを削除した場合、フォルダ内のiモードメールを確認するときは、受信BOX、送信BOX、未送信BOXで📷を押し、[iモードメール閲覧]を選択します。メール連動型iアプリを起動せずにフォルダ内のiモードメールを表示できます。
- 内蔵ソフトを削除後にもう一度ご利用になる場合は、iMenu内のサイト[SH-MODE]からダウンロードできます。(ダウンロードしたiアプリはFOMAカード動作制限機能の対象になります。☞P.39)

おサイフケータイ対応iアプリのソフトを削除するとき

- ソフトによっては、お客様がソフトを起動してICカード内のデータを削除しないと、ソフトを削除できないものがあります。
- おサイフケータイ対応iアプリによっては、削除できない場合があります。
- ICカードロック中、おサイフケータイ対応iアプリのソフトは削除できない場合があります。

メール連動型iアプリを含むソフトを全件削除するとき

- フォルダ内に保護されたiモードメールがあるとき、ソフトやフォルダは削除できません。

iアプリ使用データ(コンテンツ移行対応)

miniSDメモリーカード内のiアプリ使用データを表示する

miniSDメモリーカードに保存したiアプリ使用データのフォルダを一覧表示できます。

- iアプリ使用データフォルダを削除したり、選択したフォルダの詳細情報を表示することができます。
- 詳細情報には、利用可能ソフト/CP名、フォルダ利用可/不可、利用不可原因が表示されます。
- フォルダの利用不可原因は次のとおりです。
  - ■ ソフト動作制限[あり]:保存されたデータを使用するソフトが無いため利用できません。
  - ■ FOMAカード動作制限[あり]:保存したときと異なるFOMAカードが挿入されているため利用できません。
  - ■ 機種制限[あり]:保存したときと異なる機種のため利用できません。
  - ■ シリーズ制限[あり]:ソフトのシリーズが異なるため利用できません。
- サイトから取得したFOMA端末外への出力が禁止されているiモーションを、miniSDメモリーカードに移動できます。(☞P.316)

1 待受画面でiを1秒以上押して5[iアプリ使用データ]を押す。

- 詳細メニューからα(iアプリ)→[iアプリ使用データ]の順に選択することもできます。

iアプリ使用データフォルダを1件削除する	フォルダを選ぶ→📷→[はい]→■
情報を表示する	i ● 確認を終わるときは■を押します。

お知らせ

- 同時に起動している他の機能がminiSDメモリーカードを使用している場合は、iアプリ使用データのフォルダを表示できません。他の機能を終了してから操作してください。

ｉアプリのさまざまな機能を利用する

● 利用する機能によっては、同時に起動している他の機能を終了してから利用できるものがあります。

ｉアプリからサイトを表示する

● サイト表示に対応したソフトをダウンロードする必要があります。
● URLが半角の英数字や記号で255文字を超えるサイトは表示できません。

1 ソフト実行中にURLの項目を選んで■を押し、[はい]を選んで■を押す。
● サイトやインターネットホームページを表示する方法は、ソフトによって異なります。

ｉアプリから電話をかける

実行中のソフトから、音声電話、テレビ電話、プッシュトークをかけることができます。
● 音声電話、テレビ電話、プッシュトークをかけることに対応したソフトをダウンロードする必要があります。
● ダイヤル発信制限中、セルフモード中は、電話をかけることができません。

1 ソフト実行中に電話番号の項目を選んで■を押し、[はい]を選んで■を押す。
● 音声電話、テレビ電話、プッシュトークをかける方法は、ソフトによって異なります。
● 音声電話、テレビ電話、プッシュトークをかける電話番号が表示されます。

2 電話をかける。

音声電話をかける	／■
テレビ電話をかける	
プッシュトークをかける	／()

ｉアプリからカメラ機能を利用する

● ｉアプリからカメラを起動した場合、撮影した画像はｉアプリの一部として保存、利用されます。

1 ソフト実行中にカメラの起動項目を選んで■を押す。
● カメラモード（静止画撮影画面）になります。明るさを調整したり、セルフタイマー、ズームを利用することもできます。
● ソフトから[画像サイズ]や[連続撮影]、[画質]、[フレーム]などの設定ができるものもあります。設定できる項目や設定方法、カメラ起動方法はソフトによって異なります。

2 ■[]を押す。
● 撮影した画像を保存するときは、■を押します。

お知らせ

● ソフトによってはｉアプリで利用する画像やお客様が入力したデータなどを、自動的にインターネットを経由して送信することがあります。ｉアプリで利用する画像とは、実行中のｉアプリが、カメラ機能を起動して撮影した画像、データBOXのマイピクチャから選択した画像および赤外線通信機能を利用して取得した画像などです。

ｉアプリからバーコードリーダーを利用する

1 ソフト実行中にバーコードリーダーの起動項目を選んで■を押す。
● カメラモード（バーコードリーダー）になります。
● バーコードリーダーの起動方法は、ソフトによって異なります。

2 バーコード（JANコード、QRコード）が表示されるようにカメラを合わせ、■[読取]を押す。
● バーコード（JANコード、QRコード）が撮影されます。

お知らせ

● 読み込んだデータはソフトで利用される場合があります。

ｉアプリから赤外線通信機能を利用する

● セルフモード中は、赤外線通信機能（☞P.335）を利用することはできません。

1 ソフト実行中に赤外線通信を起動し、[はい]を選んで■を押す。
● 赤外線通信の起動方法は、ソフトによって異なります。
● 赤外線通信を中止するときは、を押します。

ｉアプリからトルカを登録する

1 ソフト実行中にトルカの保存項目を選んで■を押す。
● トルカの登録方法は、ソフトによって異なります。

2 プレビュー表示または保存を行う。

トルカをプレビュー表示する	[プレビュー]→■
新規保存する	[新規保存]→■
上書き保存する	[上書き保存]→■→フォルダを選ぶ→■→データを選ぶ→■→

ｉチャネル

ｉチャネルとは

ニュースや天気などをグラフィカルな情報としてドコモまたはIP（情報サービス提供者）がｉチャネル対応端末に配信するサービスです。
定期的に情報を受信し、最新の情報が、待受画面にテロップとして流れたり、ｉチャネル対応ボタンを押すことでチャネル一覧が表示されます（チャネル一覧の表示方法は☞P.281）。さらに、チャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。

- ｉチャネルのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

未契約

1 未契約時

契約後

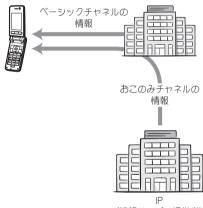
2 テロップ表示

3 チャネル一覧

4 詳細情報画面

1 ｉチャネルをご契約いただいていない場合。
2 ｉチャネルをご契約いただいたあと、情報を受信したタイミング、もしくはチャネル一覧を表示したタイミングで、待受画面に自動的にテロップが流れます。
3 「ch」ボタンを押下するとチャネル一覧が表示されます。各チャネルごとにテロップで流れていた情報などを一覧でみることができます。
4 各チャネルを選択するとそれぞれの詳細情報画面が閲覧できます。
※ 各画像はイメージです。実際の画面とは異なります。

ｉチャネルには「ベーシックチャネル」と「おこのみチャネル」の２種類があります。「ベーシックチャネル」はドコモが提供するチャネルであり、あらかじめ登録されていますのでｉチャネルの利用開始時からすぐに利用することができます。「ベーシックチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料はｉチャネルのサービス利用料に含まれます。「おこのみチャネル」はドコモ以外のIP（情報サービス提供者）が提供するチャネルで、お客様ご自身がお好きなチャネルを登録して利用できます。「おこのみチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料などは、ｉチャネルのサービス利用料には含まれません。なお、待受画面にテロップとして流すことができるのは、「ベーシックチャネル」の情報のみとなります。

- 「おこのみチャネル」には、ご利用にあたり情報料がかかるものがあります。
- 「おこのみチャネル」には、ご利用にあたりチャネルを提供するIP（情報サービス提供者）に対し別途お申し込みが必要になるものがあります。
- 「ベーシックチャネル」も「おこのみチャネル」も、チャネル一覧から詳細情報を閲覧する際は、ｉチャネルのサービス利用料とは別にパケット通信料がかかります。

ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みにはｉモード契約が必要です。

- 操作方法は☞P.281

※ 対応機種 …ｉチャネル対応機種でご利用いただけます。詳しくは、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

おためしサービス

ｉモードをご契約の上ｉチャネル対応端末を利用しているお客様で、ｉチャネル対応端末を利用している契約者回線についてｉチャネルを申し込んだことがない場合、一定期間、サービス利用料無料で「ベーシックチャネル」を利用できます。なお、チャネル一覧から詳細情報を閲覧される際にかかるパケット通信料は、お客様のご負担となります。

● おためしサービスのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

おためしサービスは、原則としてFOMAカードを挿入してｉチャネル対応端末の利用を開始した際、一定時間経過後に自動的に開始されます。自動的に開始しない場合は、ｉチャネル対応ボタンを押下することで開始できます。
おためしサービスを利用できるのは、1つのご契約者回線につき1回のみです。
おためしサービスは開始後一定期間経過すると、自動的に終了します。また、途中で終了したい場合の操作方法については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』を参照してください。

ｉチャネルを表示する

ｉチャネルを契約し、ｉチャネル情報を受信すると、待受画面のテロップに自動的に情報が流れます。さらに、[上]を押してチャネル一覧を表示することができます。

● 待受画面で[ｉ][8][1]を押してもチャネル一覧を表示できます。

お知らせ

最新情報の受信について
● 電源が入っていないときや圏外など電波状況が良くないときは、情報を受信できない場合があります。チャネル一覧を表示したときに情報を受信すると、待受画面でテロップが流れます。
● 情報を受信しても、着信音・バイブレータは動作しません。また、着信ランプも点灯／点滅しません。
● ご利用の状況により、チャネル一覧を表示したときに情報を受信することがあります。

関連操作

効果音の音量を調節する<効果音設定>
チャネル一覧で[カメラ][7][5]▶[上]（上げる）／[下]（下げる）▶[■]

関連操作のお知らせ

● ｉチャネルの音量は、ｉモードの効果音設定と共通の設定です。

詳細情報を表示する

ｉモードサイトに接続して各チャネルの詳細情報を入手できます。

1 チャネル一覧でチャネルを選んで[■]を押す。

お知らせ

● オールロック中は、チャネル一覧を表示できません。ｉチャネルのPIMロック中は、端末暗証番号（4～8桁の数字）の入力が必要です。

お知らせ

ｉチャネルの接続先変更について
● ｉモードの接続先選択でｉチャネルの接続先を設定できます。通常は設定を変更する必要はありません。
● ｉチャネルの接続先を変更すると、ｉチャネルテロップは表示されなくなります。ただし、チャネル一覧を表示すると最新の情報を受信し、ｉチャネルテロップが表示されます。
● ｉチャネルの接続先変更後、情報が自動更新されない場合があります。最新の情報を受信したい場合は、チャネル一覧を表示してください。

ｉチャネルテロップ設定
ｉチャネルの設定を行う

待受画面にｉチャネルテロップを表示するかどうかを設定します。

メインディスプレイに表示する

お買い上げ時設定（ON（テロップ文字サイズ：大（標準）、テロップ色：パターン1（文字色：緑、背景色：黒）、テロップ速度：標準））

1 待受画面で[ｉ][8][2][1]を押し、[1][ON]を押す。
● 詳細メニューから[ｉ]（ｉモード）→[ｉチャネルメニュー]→[ｉチャネルテロップ設定]→[メイン画面]の順に選択することもできます。

2 [テロップ文字サイズ設定]を選んで[■]を押し、文字サイズを選ぶ。

小	[1]
中	[2]
大（標準）	[3]

● 画面下部にテロップの見本が表示されます。

3 [テロップ色設定]を選んで[■]を押し、テロップの色を選んで[■]を押す。
● [パターン1]～[パターン9]から選択します。

4 [テロップ速度設定]を選んで[■]を押し、速度を選ぶ。

遅い	[1]
標準	[2]
速い	[3]

5 [ｉ][完了]を押す。

サブディスプレイに表示する

お買い上げ時設定（ON）

1 待受画面で[ｉ][8][2][2]を押し、[1][ON]を押す。
● 詳細メニューから[ｉ]（ｉモード）→[ｉチャネルメニュー]→[ｉチャネルテロップ設定]→[サブ画面]の順に選択することもできます。

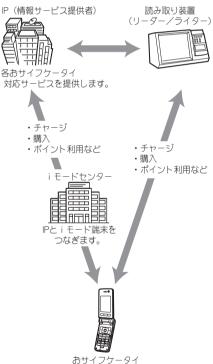
次ページへ続く

お知らせ

- お客様の操作によりｉチャネルテロップ設定を[OFF]にした場合、テロップは表示されません。
- テロップ表示のON／OFFやテロップの速度は、ｉチャネルテロップ設定で設定できます。
- ｉチャネルサービスまたはｉモードサービスを解約すると、ｉチャネルテロップは表示されなくなります。
- ｉチャネルサービスまたはｉモードサービス未契約時は、ｉチャネルテロップは表示されません。
- オールロック中、PIMロック中は、ｉチャネルテロップは表示されません。
- 公共モード(ドライブモード)中は、テロップは表示されません。
- カレンダー表示設定とｉチャネルテロップ設定がどちらも設定されているときは、待受画面で☎を押すと、カレンダー表示とｉチャネルテロップ表示が切り替わります。
- サブディスプレイにｉチャネルテロップを表示するように設定している場合、1回再生が終了するか、再生中に(✿)を押すと時計表示に戻ります。また、時計表示されているときに(✿)を押すとｉチャネルテロップが再生されます。

おサイフケータイ／トルカ

おサイフケータイとは

ｉモード端末のＩＣカード機能を使ったｉモードの便利な機能（ｉモード FeliCa）やＩＣカードを搭載したｉモード端末を「おサイフケータイ」と呼びます。
FeliCaとは、かざすだけでデータの読み書きができる非接触ＩＣカードの技術方式の１つです。
おサイフケータイを対応店舗の読み取り装置（リーダー／ライター※）にかざすだけで電子マネーを使ってショッピングの支払いができたり、飛行機のチケットやポイントカードとして利用できるなど携帯電話が実生活の中でますます便利な道具になります。
また、従来のFeliCaに対応した非接触ＩＣカードと比べ、おサイフケータイ内のＩＣカードに電子マネーをサイトから入金したり、残高や利用履歴を確認できたりと、より便利に利用できます。
※ ＩＣカードの読み書きを行う装置です。

※ ＩＣカード機能をご利用いただくには、ＩＣカード機能に対応したおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードしてください。

- 各おサイフケータイ対応サービスのお申し込み・ご利用の方法につきましては、それぞれ異なりますので、IP（情報サービス提供者）などのお問い合わせ先にご連絡ください。
- ご利用の各おサイフケータイ対応サービスのサービス名やお問い合わせ先などはメモをとり保管してください。おサイフケータイの故障・修理・FOMA端末の変更やその他の取り扱いによって、ＩＣカード内のデータが消失・変化してしまう場合があります。（修理の場合は、原則データをお客様自身で消去していただきますので、あらかじめご了承ください。）万が一、ＩＣカード内のデータが消失・変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。ＩＣカード内のデータを消去する場合や、消失・変化してしまった場合の対応は、各おサイフケータイ対応サービスにより異なりますので、事前にご契約しているサービスのIP（情報サービス提供者）などにお問い合わせのうえ、ご確認ください。
- ドコモショップなど窓口にて、他のおサイフケータイへの交換時および故障取替時に、ＩＣカード内のデータを新機種へコピーすることはできません。対応方法につきましては各おサイフケータイ対応サービスにより異なりますので、事前にご契約しているサービスのIP（情報サービス提供者）などにお問い合わせください。
- おサイフケータイの紛失にはご注意ください。万が一紛失してしまった場合、ご利用いただいていたおサイフケータイ対応サービスに関することは、ご契約しているサービスのIP（情報サービス提供者）などにお問い合わせください。

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動する

おサイフケータイの利用方法

おサイフケータイのご利用手順は次のようになります。

おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードする ☞P.267

↓

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動してＩＣカード内のデータの読み書きを行う P.284

↓

FeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざす P.285

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動してＩＣカード内のデータの読み書きを行う

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動して、電子マネーや乗車券にチャージ（入金）したり、残高や利用履歴を参照するなど、便利な機能をご利用いただくことができます。

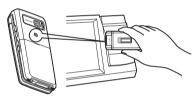
1 待受画面で[■][9][2][4]を押す。
- 詳細メニューから[LifeKit]（LifeKit）→［ＩＣカード一覧］の順に選択することもできます。

2 おサイフケータイ対応ｉアプリを選んで[■]を押す。
- おサイフケータイ対応ｉアプリが起動します。

FeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざす

FOMA端末のFeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざして、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりとしてご利用することなどができます。

- ソフトを起動せずご利用いただくことができます。
- FOMA端末を読み取り装置（リーダー／ライター）にぶつけないようにご注意ください。
- FeliCaマーク面以外は、読み取れません。
- FeliCaマークと読み取り装置（リーダー／ライター）は、平行にかざしてください。
- FOMA端末は、できるだけ読み取り装置（リーダー／ライター）の中心位置にかざしてください。
- FOMA端末のFeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしても認識されない場合は、前後左右にずらしてかざしてください。
- FeliCaマーク面に金属物などがあると、読み取れない場合があります。

1 読み取り装置（リーダー／ライター）に**FOMA端末のFeliCa**マークをかざす。

FeliCa
マーク

2 読み取ったことを確認する。

- 読み取り装置（リーダー／ライター）のディスプレイなどで読み取り結果を確認します。

おサイフケータイをお使いになるときのご注意

- おサイフケータイご利用時は、電池パックを装着してください。
- 電源OFF時もFeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしておサイフケータイをご利用いただくことができますが、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動することはできません。また、電池が切れた状態では使用できませんので、充電を行ってください。
- 通話中やｉモード接続中は、FeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしておサイフケータイをご利用いただくことができますが、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動することはできません。
- FOMA端末のFeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしても認識されない場合は、前後左右にずらしてかざしてください。
- 読み取り装置（リーダー／ライター）から起動情報を読み取ってｉアプリを起動したり、サイトに接続することもできます。
- 電池が切れた場合は、FeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしても、利用できない場合があります。
- ＩＣカードロック中（☞P.290）は、FeliCaのＩＣカード機能を使用できません。
- オールロック（☞P.160）を設定しても、FeliCaのＩＣカード機能はロックされません。
- おまかせロック（☞P.161）を設定すると、FeliCaのＩＣカード機能の使用も停止できますが、おまかせロックを解除すると、ＩＣカードロック（☞P.290）の設定する前の状態に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時に登録されているｉアプリソフト、電子マネー「Edy」もご利用いただけます。
- 以下の場合は、ソフトからのＩＣカード内へのデータの読み書きが中断されます。その際、読み書きされたデータは破棄されます。通話終了後の操作は、ご利用サービスによって異なります。
  - ■ ソフト実行中に電話がかかってくるとソフトは中断され、電話を切ると再開します。
  - ■ ソフト実行中にスケジュールやアラームの時刻になると、ソフトの実行は中断され、スケジュールやアラームの通知画面になります。スケジュールやアラームの通知画面を終了すると再開します。
- 次の場合、ソフトは自動起動できません。
  - ■ 電源OFF時
  - ■ 他の機能が起動している場合
  - ■ 通話中
  - ■ ｉアプリが起動中の場合
  - ■ ｉアプリのPIMロック中
- 端末暗証番号および各サービスのパスワードは、他人に知られないよう十分ご注意ください。

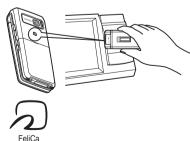
トルカ

トルカとは

トルカとはおサイフケータイで取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で便利にご利用いただけます。トルカは読み取り装置やサイトなどから取得が可能で、メールや赤外線、外部メモリを使って簡単に交換できます。
取得したトルカは「LifeKit」メニューの「トルカ」内に保存されます。

- トルカ対応機種でご利用いただけます。詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

トルカ利用の流れ

おサイフケータイを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしてトルカを取得。

トルカ一覧から取得したトルカを選択。
［詳細］ボタンでより詳しい情報を見ることができます。

■ トルカの取得手段

お知らせ

- ｉモード通信でトルカをやりとりする場合は、通常のパケット料金がかかります。

トルカ取得
トルカを取得する

トルカは、ＩＣカード機能、ｉモードメールの添付ファイル、ｉアプリ、ｉモードからのダウンロード、miniSDメモリーカード、赤外線通信のいずれかの方法で取得することができます。

- トルカのPIMロック中は、ＩＣカード機能を利用しての取得を除き、PIMロックを解除する必要があります。

読み取り装置（リーダー／ライター）から取得する

読み取り装置（リーダー／ライター）にFOMA端末をかざしてトルカを取得することができます。

- 取得できるトルカは最大256バイトです。トルカ（詳細）は取得することはできません。

1 確認画面が表示されたときは、［はい］を選んで■を押す。

お知らせ

- ＩＣカードロック中またはＩＣカードから取得を［OFF］に設定している場合は、読み取り装置（リーダー／ライター）を利用してトルカを取得できません。

ｉモードメールの添付ファイルから取得する

ｉモードメールの添付ファイルとしてトルカを取得することができます。

1 トルカが添付されている受信メールを表示し、Ⓜ41［添付ファイル確認］を押す。

2 ◎でトルカを選び、確認する。

トルカプレビュー画面を表示する	■
トルカのまま保存する	ⓘ→［はい］→■

3 トルカプレビュー画面で、［詳細］を選んで■を押し、［はい］を選んで■を押す。

- ｉモード通信を行いトルカ（詳細）を取得します。（通常のパケット料金がかかります。）

4 ■［保存］を押し、［はい］を選んで■を押す。

お知らせ

メール添付について
- トルカをｉモードメールに添付して送信した場合、トルカ（詳細）取得前の状態で送信されます。ただし、送信された先で再度詳細を取得することが可能です。

miniSDメモリーカードについて
- トルカをminiSDメモリーカードにコピーした場合、トルカ（詳細）取得前の状態でコピーされます。また、miniSDメモリーカード内のトルカからは詳細を取得することができません。
- miniSDメモリーカードに保存されているトルカを、FOMA端末（本体）にコピー（☞P.328）できます。

赤外線通信について
- トルカを赤外線送信した場合、トルカ（詳細）取得前の状態で送信されます。ただし、送信された先で再度詳細を取得することが可能です。（☞P.335）

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.323）

お知らせ

iモードやiアプリから取得したトルカについて
- トルカのデータサイズによっては、iアプリから取得できない場合があります。
- トルカのデータサイズによっては、メールに添付して送信したり、赤外線通信で送信したり、miniSDメモリーカードにコピーできない場合があります。

トルカを取得すると

ICカード機能を利用して新しくトルカを取得すると、待受画面に[新着トルカあり　○件]が表示されます。また、FOMA端末(本体)に未読トルカがあると、[◆]が表示されます。
- FOMA端末を閉じているときは、新着トルカの件数がサブディスプレイに表示されます。

メインディスプレイ

サブディスプレイ

1 待受画面で■を押し、[新着トルカあり]を選んで■を押す。

トルカビューア

トルカを表示する

取得したトルカ(詳細)やトルカを表示します。

1 待受画面で■ 9 2 3 を押す。

詳細メニューから(LifeKit)→[トルカ]の順に選択することもできます。
- miniSDメモリーカード内のトルカ情報を表示するときは、[→miniSD切替]を選択します。

2 フォルダを選んで■を押す。
- 全フォルダのトルカ一覧を表示するときは、を押します。(miniSDメモリーカードの場合は表示されません。)

3 データを選んで■を押す。
- トルカまたはトルカ(詳細)の詳細画面からWeb To、Mail To、Phone To(AV Phone To)などを利用できます。(ただし、miniSDメモリーカード内のトルカからは利用できません。)

お知らせ

- トルカのPIMロック中にトルカの一覧や詳細画面の表示を行うと、端末暗証番号入力画面が表示されます。端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力すると、PIMロックが一時解除され、表示できます。
- フォルダセキュリティ設定中に全フォルダのトルカ一覧を表示する場合は、端末暗証番号(4～8桁の数字)の入力が必要です。
- フォルダセキュリティ設定中に該当フォルダ内の一覧や詳細画面を表示する場合は、端末暗証番号(4～8桁の数字)の入力が必要です。
- メモリが不足している場合、トルカ(詳細)を保存できません。不要なトルカを選択削除し、メモリの空き容量を増やしてください。

トルカ一覧画面・詳細画面の見かた

フォルダ一覧画面の見かた

1 →miniSD切替
選択すると、miniSDメモリーカード内のトルカのフォルダ一覧画面が表示されます。(miniSDメモリーカードの場合は[→本体切替]が表示されます。)
2 フォルダマーク
：未読トルカが存在するフォルダ
：未読トルカが存在しないフォルダ
3 フォルダ名
先頭から全角9文字(半角18文字)まで表示されます。
4 を押すと、全フォルダのトルカの一覧が表示されます。(miniSDメモリーカードの場合は表示されません。)
5 を押すと、フォルダの作成や削除、PIMロックなどができます。

トルカ一覧画面の見かた

1 トルカの種類
：未読トルカ※
：未読トルカ(保護有)
：既読トルカ
：既読トルカ(保護有)
2 カテゴリ
3 インデックス
4 タイトル
5 を押すと、トルカの移動や削除などができます。
6 ■を押すと、選択されたトルカ(詳細)またはトルカの詳細画面が表示されます。
7 を押すと、トルカを添付したメールを送信できます。
※ サイトからダウンロードしたトルカは未読になりません。

トルカ詳細画面の見かた

1 カテゴリ
2 インデックス
3 取得日時
4 タイトル
5 説明文
6 詳細ボタン：選択すると、トルカ(詳細)を取得します。
7 を押すと、移動や削除、赤外線送信などができます。
8 を押すと、トルカを添付したメールを送信できます。

トルカ(詳細)詳細画面の見かた

1 カテゴリ
2 インデックス
3 取得日時
4 タイトル
5 トルカ(詳細)詳細情報
6 を押すと、移動や削除、赤外線送信などができます。
7 を押すと、トルカを添付したメールを送信できます。
8 を押すと、トルカ(詳細)情報を更新します。

トルカからトルカ(詳細)を取得する

1 トルカ詳細画面を表示し(☞P.287の操作1～3)、[詳細]を選んで■を押す。

2 [はい]を選んで■を押す。
- iモードサイトに接続され、トルカ(詳細)が取得されます。

関連操作

トルカの電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する<電話帳登録>
1 トルカ(詳細)詳細画面またはトルカ詳細画面(☞P.287の操作1～3)で 6
2 FOMA端末(本体)電話帳に登録するときは 1
- FOMAカード電話帳に登録するとき: 2
- 電話帳に追加／上書き登録するとき: 3 ▶名前を選ぶ▶■

トルカ(詳細)の画像を保存する<本文中画像確認>
1 トルカ(詳細)詳細画面(☞P.287の操作1～3)で 5
2 画像を選ぶ▶▶[はい]▶■
- 画像を確認するとき:■(戻るとき:■)

フォルダを管理する

最大20個のフォルダを作成して、ファイルを管理できます。

フォルダを作成する<フォルダ新規作成>

1 待受画面で■ 9 2 3 を押す。

2 1 1 [フォルダ新規作成]を押し、フォルダ名を入力して■を押す。
- 「新しいフォルダ」名を削除するときは、CLR(1秒以上)を押します。

お知らせ
- フォルダ名は最大全角9文字(半角18文字)まで入力できます。

フォルダ名を編集する<フォルダ名編集>

1 待受画面で■ 9 2 3 を押す。

2 フォルダを選んで 1 2 [フォルダ名編集]を押す。

3 フォルダ名を編集し、■を押す。
- フォルダ名を削除するときは、フォルダ名編集画面でCLR(1秒以上)を押します。

お知らせ
- 自分で作成したフォルダ以外は変更できません。

フォルダを上に移動する

1 待受画面で■ 9 2 3 を押す。

2 フォルダを選んで 1 3 [フォルダ移動(↑)]を押す。
- トルカフォルダおよび一番上のユーザ作成フォルダは移動できません。

トルカをPIMロックする<PIMロック>

1 待受画面で■ 9 2 3 を押す。

2 7 [PIMロック]を押す。

3 端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力して■を押す。

4 [ON]／[OFF]を選ぶ。

設定する	1
解除する	2

フォルダセキュリティを設定する <フォルダセキュリティ>

1 待受画面で■ 9 2 3 を押す。

2 フォルダを選んで 1 4 [フォルダセキュリティ]を押す。

3 端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力して■を押す。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

4 [ON]／[OFF]を選ぶ。

設定する	1
解除する	2

- フォルダセキュリティはトルカフォルダには設定できません。

■ フォルダを削除する<削除>

1 待受画面で■ 9 2 3を押し、フォルダを選んで◙ 2［削除］を押す。

2 削除方法を選ぶ。

フォルダを1件削除する	1→端末暗証番号（4〜8桁の数字）を入力→■→［はい］→■
複数のフォルダをまとめて削除する	2→フォルダを選ぶ■（くり返し可）→◙→端末暗証番号（4〜8桁の数字）を入力→■→［はい］→■
フォルダは残してすべてのトルカを削除する	3→端末暗証番号（4〜8桁の数字）を入力→■→［はい］→■
すべてのフォルダおよびトルカを削除する	4→端末暗証番号（4〜8桁の数字）を入力→■→［はい］→■

お知らせ

- 自分で作成したフォルダ以外は削除できません。

トルカを管理する

FOMA端末内やminiSDメモリーカード内のトルカやトルカ（詳細）の削除、移動、コピー、並べ替えを行うことができます。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。（☞P.323）

■ トルカを並べ替える<ソート>

一覧の表示順番を、次のいずれかに変更できます。

- お買い上げ時は、［日付順（新→旧）］に設定されています。
- miniSDメモリーカード内のトルカはソートできません。
- ソートを実行したあと、トルカ画面を終了しても、その設定は継続されます。

日付順（新→旧）	保存した日付の新しい順
日付順（旧→新）	保存した日付の古い順
カテゴリ順	カテゴリによって（天気→星座→スポーツ→乗り物など）の順
タイトル順	タイトルによって、（半角数字→半角英大文字→半角英小文字→ひらがな→全角カタカナ→漢字→絵文字1→絵文字2→全角数字→全角英大文字→全角英小文字→半角カタカナ）の順 ※ 各文字種類内では、文字コード順
インデックス順	インデックスによって、（半角数字→半角英大文字→半角英小文字→ひらがな→全角カタカナ→漢字→絵文字1→絵文字2→全角数字→全角英大文字→全角英小文字→半角カタカナ）の順 ※ 各文字種類内では、文字コード順

1 待受画面で■ 9 2 3を押す。

2 フォルダを選んで■を押し、◙ 4［ソート］を押す。

3 ソート方法を選んで■を押す。

■ トルカを別のフォルダやminiSDメモリーカードに移動またはコピーする<移動／コピー／miniSDへコピー>

1 待受画面で■ 9 2 3を押す。

2 フォルダを選んで■を押し、トルカを選んで◙ 5［移動／コピー］を押す。

3 移動またはコピーを選ぶ。

トルカを移動する	1
トルカを別のフォルダにコピーする	2
トルカをminiSDメモリーカードにコピーする	3

4 移動またはコピー方法を選ぶ。

トルカを1件ずつ移動またはコピーする	1
複数のトルカを選んで移動またはコピーする	2→トルカを選ぶ■（くり返し可）→◙
フォルダ内のすべてのトルカを移動またはコピーする	3→端末暗証番号（4〜8桁の数字）を入力→■

5 フォルダを選んで■を押す。

- miniSDへコピーする場合は［はい］を選んで■を押します。

お知らせ

- miniSDメモリーカードにコピーするとき、フォルダの選択は不要です。
- 保護したトルカをFOMA端末からminiSDメモリーカードへコピーしたとき、保護が解除されたトルカがコピーされます。

■ トルカを保護する<保護>

1 待受画面で■ 9 2 3を押す。

2 フォルダを選んで■を押し、トルカを選んで◙ 1［保護］を押す。

3 [ON]／[OFF]を選ぶ。

保護する	1
解除する	2

■ トルカを削除する<削除>

1 待受画面で■923を押す。

2 フォルダを選んで■を押し、トルカを選んで📷2［削除］を押す。

3 削除方法を選ぶ。

トルカを1件削除する	1→［はい］→■
複数のトルカをまとめて削除する	2→トルカを選ぶ■（くり返し可）→📷→［はい］→■
フォルダ内のすべてのトルカを削除する	3→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→■→［はい］→■

トルカを検索する

トルカをカテゴリ、インデックス、タイトルで検索することができます。

- 検索対象はFOMA端末（本体）内のトルカのみです。

1 待受画面で■923を押し、フォルダを選んで📷3［検索］を押す。

- フォルダを選んで■を押し、📷3を押すと、該当フォルダ内の検索になります。

2 検索範囲を選ぶ。

選択したフォルダ内を検索する	1
すべてのフォルダを検索する	2

3 検索方法を選び、キーワードを指定する。

カテゴリで検索する	1→カテゴリを選ぶ→■
インデックスで検索する	2→インデックスの一部を入力→■
タイトルで検索する	3→タイトルの一部を入力→■

- 検索結果の一覧画面が表示されます。
- インデックスやタイトルなどキーワードは最大全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

4 絞り込み検索するときは、検索結果画面で📷3［絞り込み検索］を押す。

iモードメールにトルカを添付する

1 トルカ（詳細）詳細画面またはトルカ詳細画面（☞**P.287**の操作1～3）で、✉［メール］を押す。

- トルカ一覧画面で✉を押すこともできます。

2 iモードメールを作成し、送信する。

- 詳しくは、P.229の操作2～4を参照してください。

お知らせ

- トルカ（詳細）をメールに添付して送信した場合、トルカ（詳細）取得前の状態で送信されます。ただし、送信された先で再度詳細を取得することが可能です。

お知らせ

- トルカに対応していない機種には送信できません。

ICカードから取得

トルカを取得するかどうかを設定する

ICカード機能を利用してトルカを取得するかどうかを設定できます。

お買い上げ時設定（ON（取得する））

1 待受画面で■923を押す。

2 📷4［ICカードから取得］を押し、［**ON**］／［**OFF**］を選ぶ。

取得する	1
取得しない	2

ICカードロック

ICカード機能をロックする

FeliCaのICカード機能を利用できないように、ICカードロックを設定できます。

なお、おまかせロックを設定した場合も、ICカードロックが自動的に設定されます（☞P.161）。

お買い上げ時設定（OFF）

1 待受画面で■76を押し、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力して■を押す。

2 4［ICカードロック］を押し、［**ON**］／［**OFF**］を選ぶ。

設定する	1
解除する	2

- ICカードロックを設定すると、🔒が表示されます。

お知らせ

- ICカードロック中は、読み取り装置（リーダー／ライター）を利用してトルカを取得できません。
- 電池パックを取り外すとICカードロックが自動的に設定されます。再度、電池パックを取り付けたときに、電池残量が残っていると、電源を入れなくてもICカードロックは解除されます。ただし、ICカードロックを設定しているときに電池パックを取り外すと、再度電池パックを取り付けたときにICカードロックが保持されます。
- ICカードロックまたはおまかせロックでICカードロックを設定しているときに電池残量がなくなり、電源が切れてもICカードロックは保持されます。
- おサイフケータイ対応iアプリによっては、ICカードロック中、ダウンロードやバージョンアップができない場合があります。

フルブラウザ

パソコン向けのホームページを表示する

フルブラウザを利用すると、i モードに対応していないインターネットホームページをパソコンと同じようにFOMA端末で表示することができます。

- 情報量の多いインターネットホームページは正しく表示されないことがあります。
- フルブラウザ接続中は、パケット通信料がかかります。
- フルブラウザ接続中は、「パケ・ホーダイ」の対象外となります。
- 画面メモの保存はできません。
- 着信メロディ、i アプリ、トルカ、i モーション、Flashの再生、ダウンロードや保存はできません

1 待受画面で[i][9]を押す。

- 詳細メニューから[i]（i モード）→[Internet（フルブラウザ）]の順に選択することもできます。

フルブラウザメニュー画面

2 表示するインターネットホームページを指定する。

登録済みのホームページ（ポータルサイト）を表示する	[1]
ブックマークから表示する	[2]→ フォルダを選ぶ →[●]→ ブックマークを選ぶ →[●]
URLを入力して表示する	[3]→[3]→ URLを入力 →[●] ● 最大半角512文字まで入力できます。（「http://」などを含む。）

- フルブラウザでインターネットホームページが表示されます。
- ページによっては表示に時間がかかる場合があります。

お知らせ

- フルブラウザの**アクセス設定**が[OFF]に設定されている場合、アクセス設定画面が表示されます。[利用する]を選択すると、アクセス設定が[ON]に設定変更され、フルブラウザでインターネットホームページが表示されます。

お知らせ

フルブラウザ中のボタン操作

番号（ボタン操作）	動　作
[1]	ウィンドウリスト画面を表示し、ウィンドウを切り替える
[2]	画面の最上部へ移動
[3]	リンクを新ウィンドウで開く
[4]	前のページへ戻る
[5]	登録しているホームページを新ウィンドウで開く
[6]	次のページへ進む
[7]	登録している検索サイトでウェブ検索を行う
[8]	ページ内の文字列を検索する
[9]	ブックマーク機能を利用する

関連操作

ホームページ（ポータルサイト）を登録する
<ホーム登録>
フルブラウザで登録したいインターネットホームページを表示中（☞P.292の操作1～2）に[📷][7][2][2]

URL履歴を使ってページを表示する<URL履歴>
フルブラウザメニュー画面（☞P.292の操作1）で[3][2]▶URLを選ぶ▶[●]

最後に表示したページを表示する<ラストURL>
フルブラウザメニュー画面（☞P.292の操作1）で[3][1]

アクティブマーカーを使ってページを表示する
<アクティブマーカー>
待受画面で[□]▶（フルブラウザ履歴）▶[●]▶履歴を選ぶ▶[●]

関連操作のお知らせ

- i モードのブックマークとフルブラウザのブックマークは別に管理されます。
- フルブラウザのブックマークには、お買い上げ時、[Bookmark]フォルダ、[検索]フォルダが登録されています。[Bookmark]フォルダ、[検索]フォルダ合わせて最大20個のフォルダを作成できます。
- ブックマークはフォルダ全体で最大100件まで登録できます。
- URLの文字数は最大半角512文字までです。（「http://」などを含む。）
- ウェブ検索時、ブックマークの[検索]フォルダの一番上に登録されたサイトを利用します。（☞P.295）

フルブラウザの表示について

フルブラウザでの表示中の操作は、i モードのInternetメニューからのサイト表示操作と基本的な部分は共通です。(☞P.203)ここでは、異なる部分を中心に説明します。

Internet(フルブラウザ)中に表示されるマーク

- FB：フルブラウザ起動中です。(通信中は が点滅)
- FB：フルブラウザアクセス中です。(データ受信中は[ ]が点滅)
- SSL：SSLページ表示中です。
- ：横スクロールモード中です。
- ：フレーム拡大表示中です。
- 1/1：マルチウィンドウ中(ウィンドウ/全ウィンドウ数)

■ 画面の上下スクロール

上下にスクロールするときは、 / で行います。

- 通常モードの場合は、[▼ページ]/[▲ページ]を押しても1画面単位でスクロールできます。

■ 画面の横スクロール(横スクロールモード)

横にスクロールするときは、 / で行います。
横スクロールモードのときは、ページの横幅の範囲内で、左右のスクロールが可能です。

- 横スクロールモードに切り替えるときは、フルブラウザでインターネットホームページを表示中(☞P.292の操作1～2)に 1 5 2 を押します。
  1 5 1 を押すと通常モードに戻ります。

■ 一番上に移動する(ホームポジション)

- 2 または 7 4 を押すと、表示中のページの一番上に移動できます。

■ 前のページに戻る/次のページに進む(キャッシュについて)

FOMA端末はサイトやインターネットホームページの画面と表示してきた経路を、合計900Kバイトまで記憶しています。これを「キャッシュ」と呼び、簡単に表示できます。

- 通常モードの場合、 を押して前のページを表示したあとは、 を押して次のページを表示できます。
- 横スクロールモードの場合、[戻る]を押して前のページを表示したあとは、[進む]を押して次のページを表示できます。
- 前のページに戻るときに 4 、次のページに進めるときに 6 を使うこともできます。
- または[戻る]を続けて押すと、これまで表示してきたページをさかのぼって表示できます。ただし、途中で または[戻る]を押して前のページを表示させ(「C」から「B」に戻る)、そのページから他のページ(「D」)を表示させたときは、「D」から または[戻る]を2回押しても「C」は表示されません。「B」→「A」の順で前のページを表示します。
  〈画面「A」→「B」→「C」→「B」→「D」の順番でページを表示させたとき。〉(☞P.201)
- キャッシュに記憶されたページを表示するときは、以前入力した文字や設定などの情報は表示されません。
- キャッシュがいっぱいになった状態で、新たなページを表示すると、古い履歴から順に削除されます。
- 前または次のページを表示するときに、キャッシュ内にそのページが残っていない場合や、FOMA端末のキャッシュサイズをオーバーしている場合、また必ず最新情報を読み込むように設定(作成)されたページを表示する場合は、インターネットホームページからダウンロードして表示します。
- キャッシュに保存した画面を切り替えているとき、画面の表示に時間がかかることがあります。
- キャッシュの情報は、フルブラウザを終了するとリセットされます。

■ フレームページを表示する

複数のフレームで構成されたインターネットホームページを表示することもできます。
フレーム選択画面でフレームを選択すると、フレームごとにページを表示できます。

- フレーム選択画面で を押してフレームを選んで を押すと、フレーム詳細画面が表示されます。
- フレームごとのインターネットホームページからフレーム選択画面に戻るときは、 7 5 [全体表示]を押します。

お知らせ

- インターネットホームページ表示時に、画像を読み込まないように設定することもできます。(☞P.296)
- インターネットホームページによっては、文字が正しく表示されなかったり、実際のインターネットホームページの画面と同じ表示ができない場合があります。文字が正しく表示されない場合は、文字コード変換を行うと正しい文字に変換して表示できることがあります。文字コード変換を4回くり返すと、元の表示に戻ります。(☞P.293)
- インターネットホームページからダウンロードしたファイル形式により、FOMA端末の持っている最大表示色数で発色できない場合があります。
- インターネットホームページ表示中に を押すと、終了確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、フルブラウザを終了します。
- **電話帳指定着信許可/拒否、非通知理由別着信拒否、電話帳登録外着信拒否**を設定している場合、着信を許可しない相手からインターネットホームページ表示中に電話がかかってきたときも、着信音が鳴りません。相手の電話番号や電話帳に登録した名前が着信履歴に残ります。相手には話中音が聞こえます。
- インターネットホームページ表示時に、通信エラーなどで画面に表示できるデータが何も取得できなかった場合、画面に[☒]が表示されることがあります。この場合は、インターネットホームページの再読み込みを行うことで、正しく表示される場合があります。

関連操作

インターネットホームページを再読み込みする<再読み込み>
フルブラウザでインターネットホームページを表示中(☞P.292の操作1～2)に 1

URLを参照する<URL表示>
フルブラウザでインターネットホームページを表示中(☞P.292の操作1～2)に 1 1

文字コードを変換する<文字コード変換>
フルブラウザでインターネットホームページを表示中(☞P.292の操作1～2)に 1 3

GIFアニメーションを再び再生する<リトライ>
フルブラウザでインターネットホームページを表示中(☞P.292の操作1～2)に 1 4

次ページへ続く ▶▶

関連操作

ブックマークに登録する<Bookmark登録>

1 フルブラウザでインターネットホームページを表示中（☞P.292の操作1～2）に[i][2][1]
2 フォルダを選ぶ▶[■]
3 登録するときは[OK]▶[■]
- タイトルを変えて登録するとき：[タイトル編集]▶[■]▶タイトルを編集▶[■]
- 保存するフォルダを変更して登録するとき：[フォルダ変更]▶[■]▶フォルダを選ぶ▶[■]▶[OK]▶[■]

画像を保存する<画像保存>

1 フルブラウザでインターネットホームページを表示中（☞P.292の操作1～2）に[i][3]
2 画像を選ぶ▶[■]▶フォルダを選ぶ▶[■]

インターネットホームページのURLをメール送信する<メール作成>

フルブラウザでインターネットホームページを表示中（☞P.292の操作1～2）に、[i][4]

SSL対応のページを表示するとき

フルブラウザでは、「https://」から始まるインターネットホームページ（SSLページ）を表示できます。また、ユーザ証明書が必要な場合は、確認画面が表示されます。送信してよい場合は、[はい]を選んで[■]を押し、PIN2コードを入力してください。

- SSL対応のページを表示しているときは、[SSL]が表示されます。
- マルチウィンドウのとき、裏ウィンドウのみでSSLページを表示している場合、[SSL]は表示されません。
- SSL対応のページから通常のページへ移動するときは、SSLを終了するかどうかの確認画面が表示されます。

関連操作

インターネットホームページのサーバー証明書を参照する<証明書参照>

フルブラウザで参照するインターネットホームページを表示中（☞P.292の操作1～2）に[i][→][1][2]

関連操作のお知らせ

- [このサイトは安全でない可能性があります。 接続しますか？]、[このサイトの安全性が確認できません。接続しますか？]、[この接続先の安全性が確認できません。 接続しますか？]と表示されたときは、ページのSSL証明書が期限切れになっているか、FOMA端末が使用しているSSL証明書と異なる証明書を使用しているページを表示しようとしています。
この場合、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報を安全に送信できませんので、ご注意ください。続けてページを表示させるときは[はい]を選択します。ページを表示させないときは[いいえ]を選択します。

マルチウィンドウを使う

フルブラウザのウィンドウは最大5枚開くことができます。

URLを入力して新しいウィンドウで表示する

フルブラウザでインターネットホームページ表示中に、新しいウィンドウで別のインターネットホームページを表示することができます。

1 フルブラウザでインターネットホームページを表示中（☞**P.292**の操作1～2）に[i][5][**Internet**]を押す。

2 表示するインターネットホームページを指定する。

URL履歴から表示する	[1]→URL履歴を選ぶ→[■]
URLを入力して表示する	[2]→URLを入力→[■] ● 最大半角512文字まで入力できます。（「http://」などを含む。）

3 [新ウィンドウで開く]を選んで[■]を押す。
- 新しいウィンドウでインターネットホームページが表示されます。

選択しているリンクを新しいウィンドウで表示する

リンクを選択してリンク先のページを表示するときに、現在のウィンドウはそのままにして新しいウィンドウで表示できます。

1 フルブラウザでインターネットホームページを表示中（☞**P.292**の操作1～2）にリンクを選び、[3]または[i][8][1][新ウィンドウで開く]を押す。

開いているウィンドウの一覧を表示する

開いているウィンドウを一覧表示し、最大5件のウィンドウが一覧表示されます。

1 フルブラウザでインターネットホームページを表示中（☞**P.292**の操作1～2）に、[1]または[i][8][2][ウィンドウリスト表示]を押す。

2 次の操作を選ぶ。

手前に表示するウィンドウを切り替える	ウィンドウを選ぶ→[■]
選択したウィンドウを閉じる	ウィンドウを選ぶ→[✉]
一番手前のウィンドウを残してすべてのウィンドウを閉じる	[📖]

フルブラウザ

パソコン向けのホームページを表示する

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.323）

■ ウィンドウを閉じる

現在一番手前に表示しているウィンドウを閉じます。

1 フルブラウザでインターネットホームページを表示中（☞P.292の操作1～2）に、[i][8][3][ウィンドウを閉じる]を押す。

2 [はい]を選んで[●]を押す。

関連操作

登録しているホームページ（ポータルサイト）を新しいウィンドウで表示する<ホーム表示>

フルブラウザでインターネットホームページを表示中（☞P.292の操作1～2）に[5]または[i][7][2][1]

ファイルをアップロードする

フォームからのファイルアップロードに対応しているインターネットホームページでは、画像をアップロードすることができます。

- アップロードできる画像のファイルの種類は、GIF画像、JPEG画像で、それぞれ80Kバイトまでです。

1 フルブラウザでインターネットホームページを表示中（☞P.292の操作1～2）に、ファイル選択用の[参照]ボタンを選んで[●]を押す。

2 フォルダを選んで[●]を押し、画像を選んで[●]を押す。

3 インターネットホームページ上の送信用のボタンを選んで[●]を押す。

ファイルをダウンロードする

インターネットホームページから電子書籍／電子辞書をダウンロードできます。

- ダウンロードしたファイルはminiSDメモリーカードに保存されます。
- ダウンロードできるファイルの種類（拡張子）XMDF（.zbf）、Text形式の電子書籍（.zbk）
- ダウンロードできるファイルサイズは500Kバイトまでで、分割しないでダウンロードされます。

1 フルブラウザでインターネットホームページを表示中（☞P.292の操作1～2）に、ダウンロードするデータを選んで[●]を押す。

2 [はい]を選んで[●]を押す。

- [ファイルをダウンロードしますか？]と表示されます。[はい]を選んで[●]を押します。

3 ダウンロードが完了したら[外部メモリに保存]を選んで[●]を押す。

ウェブ検索を行う

検索サイトを利用してウェブ検索を行います。

1 フルブラウザでインターネットホームページを表示中（☞P.292の操作1～2）に、[7]または[i][6][1][ウェブ検索]を押す。

- ブックマークの[検索]フォルダに登録された最上位のインターネットホームページに接続されます。[検索]フォルダに登録されていない場合は[Bookmarkの登録はありません]と表示されます。
- 検索方法については、各検索サイトの指示に従ってください。

ページ内検索を行う

表示中のページから特定の文字列を検索します。

1 フルブラウザでインターネットホームページを表示中（☞P.292の操作1～2）に、[i][6][2][ページ内検索]を押す。

2 検索キーワードを入力して[●]を押す。

- 指定したキーワードが反転表示されます。

操作ガイドを表示する

1 フルブラウザでインターネットホームページを表示中（☞P.292の操作1～2）に、[i][ ][2][操作ガイド]を押す。

iモードからフルブラウザに切り替える

iモードのInternetメニューから表示したインターネットホームページが正しく表示されない場合、フルブラウザでの表示に切り替えることができます。

1 **Internet**メニューからのインターネットホームページ表示中に[i][8][フルブラウザ切替]を押し、[はい]を選んで[●]を押す。

フルブラウザの設定をする

フルブラウザに関する各種の機能を設定します。

Cookieについて設定する

Cookieとは、インターネットホームページに接続したときに、FOMA端末にユーザ名やアクセス日時、アクセス回数などのデータを一時的に記録するしくみです。次回同じインターネットホームページに接続したときにその情報が参照されます。FOMA端末でもフルブラウザでインターネットホームページに接続したときに、Cookieを記録させることができます。

- Cookieを有効にすることで第三者にお客様の情報が知られても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

Cookieの有効／無効を設定する

Cookieの記録を有効にするかどうかを設定できます。

お買い上げ時設定（有効）

1 待受画面でi 9 4 2 1を押す。

- 詳細メニューからi（iモード）→［Internet（フルブラウザ）］→［フルブラウザ設定］→［Cookie設定］→［設定］の順に選択することもできます。

2 有効／無効を選ぶ。

有効	1 ● ［無効］から［有効］に切り替える場合は、端末暗証番号（4～8桁の数字）の入力が必要となる場合があります。
有効（毎回確認）	2→1［送信時のみ］／2［受信時のみ］／3［送受信時］ ● ［無効］から［有効（毎回確認）］に切り替える場合は、端末暗証番号（4～8桁の数字）の入力が必要となる場合があります。
無効	3

お知らせ

- Cookieを［有効］に設定したときに挿入していたFOMAカードを別のFOMAカードに差し替えると、Cookieが［無効］になります。
- Cookieを［無効］から［有効］または［有効（毎回確認）］に切り替えたとき、以前のCookie情報が残っていると、Cookie情報をすべて削除する確認画面が表示されることがあります。［はい］を選択してCookie情報を削除してください。

Cookieを削除する

FOMA端末に保存されているCookie情報をすべて削除します。

1 待受画面でi 9 4 2 2を押し、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力して●を押す。

- 詳細メニューからi（iモード）→［Internet（フルブラウザ）］→［フルブラウザ設定］→［Cookie設定］→［削除］の順に選択することもできます。
- 入力した端末暗証番号は［*］で表示されます。

2 ［はい］を選んで●を押す。

JavaScriptの有効／無効を設定する

インターネットホームページにJavaScriptが記載されているとき、プログラムを実行させるかどうかを設定できます。

お買い上げ時設定（有効）

1 待受画面でi 9 4 3を押し、1［有効］を押す。

- 詳細メニューからi（iモード）→［Internet（フルブラウザ）］→［フルブラウザ設定］→［Script設定］の順に選択することもできます。
- ［無効］を設定するとき：2

画像を表示しないようにする ＜画像表示設定＞

フルブラウザからインターネットホームページを表示したときに画像を表示しないように設定できます。

お買い上げ時設定（ON（表示する））

1 待受画面でi 9 4 4 2を押し、2［**OFF**］を押す。

- 詳細メニューからi（iモード）→［Internet（フルブラウザ）］→［フルブラウザ設定］→［画面設定］→［画像表示設定］の順に選択することもできます。

文字サイズを変更する＜文字サイズ設定＞

フルブラウザからインターネットホームページを表示したときの文字サイズを設定できます。

お買い上げ時設定（標準）

1 待受画面でi 9 4 4 3を押し、文字サイズを選ぶ。

- 詳細メニューからi（iモード）→［Internet（フルブラウザ）］→［フルブラウザ設定］→［画面設定］→［文字サイズ設定］の順に選択することもできます。

大きい文字	1
標準	2
小さい文字	3
最小	4

お知らせ

- インターネットホームページによっては[文字サイズ設定]を変更すると正しく表示されない場合があります。

新しいウィンドウを自動で開かないようにする＜ウィンドウオープンガード設定＞

インターネットホームページのJavaScriptに新規ウィンドウを開く操作があっても、フルブラウザがこれを実行しないように設定できます。
お買い上げ時設定(無効(ガードしない))

1 待受画面で i 9 4 5 を押し、1 [有効]を押す。

- 詳細メニューから i (i モード)→[Internet(フルブラウザ)]→[フルブラウザ設定]→[ウィンドウオープンガード設定]の順に選択することもできます。

Refererについて設定する

リンクをたどりながらインターネットホームページを見ていったとき、ブラウザは、Refererと呼ぶフィールドを使って、リンク先のサーバーに対して参照元のURL(どこのサーバーから来たか)を送信します。FOMA端末のフルブラウザも参照元のURLを送信することができますが、送信するのか、確認後に送信するのか、送信しないのかを設定できます。

- Refererを使用することで第三者にお客様の情報が知られても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

お買い上げ時設定(送信する)

1 待受画面で i 9 4 6 を押す。

- 詳細メニューから i (i モード)→[Internet(フルブラウザ)]→[フルブラウザ設定]→[Referer設定]の順に選択することもできます。

2 送信する/しないを選ぶ。

送信する	1
送信しない	2
毎回確認	3

フルブラウザ起動時にアクセス設定画面を設定する＜アクセス設定＞

フルブラウザを起動するときに、フルブラウザを利用するかどうか確認するアクセス設定画面を表示させることができます。また、表示しないように設定することも可能です。
お買い上げ時設定(OFF)

1 待受画面で i 9 4 7 を押し、[利用する]を選んで ■ を押す。

- 詳細メニューから i (i モード)→[Internet(フルブラウザ)]→[フルブラウザ設定]→[アクセス設定]の順に選択することもできます。
- [利用する]を選択すると[ON]になり、[利用しない]を選択すると[OFF]になります。

フルブラウザの設定をお買い上げ時の状態に戻す＜フルブラウザ設定リセット＞

- フルブラウザ設定リセットを行うと、ホーム登録も解除されます。

1 待受画面で i 9 4 8 を押し、端末暗証番号(4~8桁の数字)を入力して ■ を押す。

- 詳細メニューから i (i モード)→[Internet(フルブラウザ)]→[フルブラウザ設定]→[フルブラウザ設定リセット]の順に選択することもできます。

2 [はい]を選んで ■ を押す。

データ表示／編集／管理／音楽再生

イメージビューア

保存した画像を表示する

FOMA端末で撮影した静止画や、サイトやインターネットホームページからダウンロードした画像は、データBOXのマイピクチャに保存され、イメージビューアで再生できます。

- FOMA端末（本体）のデータBOXのマイピクチャに保存されているJPEG画像、GIF画像は、お預かりセンターに保存することもできます。（☞P.308）

1 待受画面で■ 9 1 1を押す。

- 詳細メニューから（データBOX）→［マイピクチャ］の順に選択することもできます。
- 待受画面で📷を1秒以上押し、1を押しても表示できます。
- 静止画撮影画面（☞P.178）で📷 2を押しても表示できます。
- miniSDメモリーカード内の静止画を確認するときは、［→miniSD］を選択します。再びFOMA端末（本体）の静止画を確認するときは、［→本体］を選択します。

マイピクチャの
フォルダ一覧画面

2 フォルダを選んで■を押す。

- 画像一覧表示を切り替えるときは、📷 8 1を押し、1［9分割］または2［16分割］、3［リスト表示］を押します。
- リスト表示中は、を押すと次のページ、を押すと前のページが表示されます。

画像一覧画面

3 静止画を選んで■を押す。

- を押すと、前後の画像を表示します。
- 静止画がディスプレイより小さいときや大きいときは、■を押すと、［等倍］、［縮小］、［拡大］表示を切り替えることができます。（静止画のサイズ自体は変更されません。）
- 静止画のサイズが［240×240］より小さい場合、［等倍］、［拡大］表示を切り替えることができます。［240×240］より大きい場合、［等倍］、［縮小］表示を切り替えることができます。［240×240］の場合、［拡大］、［等倍］、［縮小］は表示されません。
- GIFアニメーションやFlash画像は拡大表示／縮小表示の変更ができません。
- 静止画を全画面表示するときは、または📷 1 3を押します。
- 画像一覧画面でを押しても全画面表示できます。全画面表示を解除するときは、以外のいずれかのボタンを押します。を押すと前後の画像を表示します。

画像表示画面

お知らせ

- メモリの空き容量がなくなると、データをそれ以上保存できなくなります。ただし、カメラで撮影した静止画や、画像編集した静止画、ダウンロードした画像をFOMA端末（本体）に保存するときは、不要なファイルを削除し、メモリの空き容量を増やして保存できます。（☞P.335）
撮影や静止画の編集、サイトから画像をダウンロードする前に、メモリの使用状況を確認してください。
- 画像の保存件数が多くなると、画像の表示、保存が遅くなる場合があります。
- 保存したGIFアニメーションやFlash画像は、コマ落ちなど、サイトやインターネットホームページでの見えかたと異なる場合があります。
- 現在の画像の参照先（FOMA端末（本体）またはminiSDメモリーカード）は、イメージビューアをいったん終了しても記録され、次回、イメージビューアを起動したときにも同じ参照先となります。

データ**BOX**のマイピクチャに保存した静止画は、パソコンをお持ちの場合、**miniSD**メモリーカード（☞**P.323**）を利用してパソコンに転送・保管することをおすすめします。

- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、データBOXのマイピクチャに登録してある静止画が消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

関連操作

ズームを利用する<ズームアップ>

画像表示画面で📷 4 ▶ 📷

- 他の部分を表示するとき：
- 元の表示に戻すとき：■
- 拡大した静止画表示を縮小（ズームダウン）するとき：

ライトアップする<ライトアップ>

画像表示画面で📷 1 4

- または#（1秒以上）
- 消すとき：同じ操作をする、または他の画像を表示する

再生時の照明を設定する<バックライト点灯時間>

1 マイピクチャのフォルダ一覧画面で📷 4
2 常にONにするときは2
- 照明設定に従うとき：1

関連操作のお知らせ

ズームアップについて

- ズームを利用できるのは、JPEG画像のみです。

照明について

- バックライト点灯時間を［照明設定に従う］に設定しているときは、照明時間設定で設定した時間が経過すると、バックライトが消灯します。
- バックライト点灯時間を［常にON］に設定しているときは、Flash画像の再生時、画像の表示を終了するまで照明時間設定で設定した時間が経過してもバックライトが消灯しません。ただし、ライトアップ時は設定した時間が経過するとバックライトが消灯します。
- ライトアップ時は、ディスプレイの明るさの設定（☞P.144）にかかわらず、最大の明るさで表示されます。

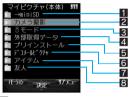
＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.323）

関連操作のお知らせ

バックライト点灯時間について

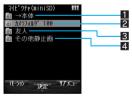
- お買い上げ時は、[照明設定に従う]に設定されています。(☞P.185)

マイピクチャのフォルダ一覧画面／画像一覧画面の見かた

マイピクチャのフォルダ一覧画面の見かた

FOMA端末(本体)

1 miniSDメモリーカードのフォルダ一覧画面を表示
2 FOMA端末で撮影した静止画フォルダ
3 サイトやインターネットホームページ、メッセージR／Fやｉモードメールで入手した静止画フォルダ
4 バーコードリーダーやminiSDメモリーカード、赤外線通信、FOMA USB接続ケーブル(別売)を利用して入手した画像用フォルダ
5 あらかじめFOMA端末に内蔵されている静止画用フォルダ
6 あらかじめFOMA端末に内蔵されているデコメール画像用フォルダ
7 サイトやインターネットホームページから入手したフレームやスタンプの画像用フォルダ
8 お客様が作成できるフォルダ(☞P.332)

miniSDメモリーカード

miniSDメモリーカードを挿入しているとき、マイピクチャフォルダ一覧画面で[→miniSD]を選択するか📷6[本体⇔miniSD切替]を押すと、miniSDメモリーカード内のフォルダが表示されます。
(☞P.325)

1 FOMA端末(本体)のフォルダ一覧画面を表示
2 FOMA端末で撮影した静止画や、DCF準拠のJPEG、GIFアニメーション以外のGIF画像フォルダ。静止画撮影やFOMA端末(本体)から静止画をコピーするとカメラフォルダ100が自動的に作成され、ファイル数が400件になると、カメラフォルダXXX(「XXX」は100～999の３桁の半角数字)という名前のフォルダが自動的に作成されます。(カメラフォルダの「XXX」は変更できますが、000～099に変更しても認識されません。)
3 お客様が作成できるフォルダ(☞P.329)
4 FOMA端末(本体)からコピーしたGIFアニメーションやDCFに準拠していないJPEG画像用フォルダ

画像一覧画面の見かた

画像一覧画面は、[９分割]、[16分割]、[リスト表示]のいずれかで表示できます。

９分割

16分割

リスト表示

- 画面右上上部に表示される件数表示は最大３桁です。そのため、１つのフォルダに1000件の画像を保存した場合の件数は[xxx/999]と表示されます。(「xxx」は選択している画像の数字です。)また、1000件目の表示は[０/999]と表示されます。

表示方法を変更する<表示切替>

お買い上げ時設定(９分割)

1 待受画面で■911を押し、フォルダを選んで■を押し、📷81[表示切替]を押す。

2 表示方法を選んで■を押す。

お知らせ

- 静止画のタイトル名は、最大全角25文字(半角50文字)まで入力できますが、各表示画面でのタイトル表示は、最大全角７文字(半角14文字)です。全角７文字(半角14文字)を超える場合は、全角６文字(半角12文字)まで表示され、以降は「…」の表示となります。

静止画情報マークの見かた

	JPEG		
画像の種類とサイズ	アイコン：76×76	sQCIF：128×96	QCIF：176×144
マーク	76	128	176

	JPEG			
画像の種類とサイズ	待受：240×320	CIF：352×288	VGA：480×640	1.2M：960×1280
マーク	240	352	480	960

次ページへ続く

画像の種類とサイズ	JPEG UXGA：1200×1600	JPEG 3M：1536×2048	JPEG その他	GIF画像	Flash画像
マーク	1200	3M	JPG	GIF	[Flash]

- FOMAカード動作制限機能が設定された静止画には、[ ]が表示されます。
- 待受画面やピクチャーコールなどの画面設定画像や所有者画像、スケジュールなどに設定した静止画には、[ ]が表示されます。
- メール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されている静止画には、[ ]が表示されます。
- ｉモードなどでダウンロードした静止画には[ ]が、バーコードリーダーやminiSDメモリーカード、赤外線通信、FOMA USB接続ケーブル(別売)を利用して取得した静止画には[ ]が表示されます。ただし、フレーム画像とスタンプ画像は取得元にかかわらず[ ]が表示されます。
- カメラ撮影した静止画には[ ]が表示されます。
- テレビ電話中に撮影した静止画メモには[ ]が表示されます。
- キャラ電撮影した静止画には[ ]が表示されます。
- 電子書籍／電子辞書で保存した静止画には[ ]が表示されます。
- 画像サイズが該当しない場合は、[ ]が表示されます。また、画像サイズは[情報表示]の表示サイズで確認することができます。(☞P.333)
- 本FOMA端末で撮影できる撮影サイズ、撮影枚数などについては、P.175を参照してください。

Flash画像を再生する

サイトやインターネットホームページからダウンロードしたFlash画像は、データBOXのマイピクチャの[ｉモード]フォルダに保存され、再生できます。

1 待受画面で■ 9 1 1 を押し、フォルダを選んで■を押し、Flash画像を選んで■を押す。

- 詳細メニューから(データBOX)→[マイピクチャ]の順に選択することもできます。
- 画像一覧画面でFlash画像には、[ ]が表示されます。
- 再生を始めからやり直すときは■を押し、再生を停止させたあと、 1 [リトライ]を押します。

お知らせ

- 保存したFlash画像は、サイトやインターネットホームページでの見えかたと異なる場合があります。

関連操作

再生時の照明を設定する<バックライト点灯時間>

1 Flash画像の停止(一時停止)中に 7
2 常にONにするときは 2
- 照明設定に従うとき： 1

再生時の音量を調節する<音量設定>

待受画面で■ 9 1 1 ▶フォルダを選ぶ▶■▶ 8 4 ▶(上げる)／(下げる)▶■

関連操作

関連操作のお知らせ

バックライト点灯時間について
- お買い上げ時は、[照明設定に従う]に設定されています。(☞P.185)

音量設定について
- お買い上げ時は、[音量5]に設定されています。

スライドショーを見る<スライドショー>

指定したフォルダ内の、再生可能なすべての画像を、連続表示できます。

1 待受画面で■ 9 1 1 を押し、フォルダを選んで 3 1 [スライドショー開始]を押す。

- [画像展開中]と表示され、全画面表示サイズでスライドショーが開始されます。
- 再生を中止するときは、 CLK 、 PWR 、または MULTI を押します。

スライドショー動作時にBGMを流す

スライドショー動作時にBGMを流すことができます。BGMの音色や音量も設定できます。ただし、マナーモード設定中は、BGM設定をしてもサイレントで再生します。

- BGMの音色は、データBOXのメロディから選択できます。

お買い上げ時設定(音色:Feelin' Groovy　音量:サイレント)

1 待受画面で■ 9 1 1 を押し、フォルダを選んで 3 [スライドショー]を押す。

2 BGMの音色や音量を選ぶ。

BGMの音色を設定する	2→フォルダを選ぶ→■→メロディを選ぶ→ ● メロディを確認するときは、メロディを選んで■を押します。停止するときは を押します。
BGMの音量を変更する	3→音量を選ぶ→■

スライドショーの再生間隔や効果を変更する

マイピクチャフォルダ内のスライドショー動作時の再生間隔(スピード)や効果を設定できます。

お買い上げ時設定(再生間隔:普通　効果:ランダム)

1 待受画面で■ 9 1 1 を押し、フォルダを選んで 3 [スライドショー]を押す。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

2 4[再生間隔]を押し、再生間隔を選ぶ。

もっと速く	1	画像を表示後、すぐに次の画像を再生します。
速く	2	画像を約3秒間表示してから次の画像を再生します。
普通	3	画像を約5秒間表示してから次の画像を再生します。
ゆっくり	4	画像を約10秒間表示してから次の画像を再生します。

※ 再生間隔は、画像の大きさにより表示時間が異なる場合があります。

3 5[効果設定]を押し、効果を選ぶ。

ひし形	1	次の画像が中から外へ、ひし形が大きくなるようにして切り替わります。
ピンウィール	2	次の画像が回転しながら大きくなって切り替わります。
ホイール	3	次の画像が中心から回転するように広がって切り替わります。
ディゾルブ	4	次の画像が細かい粒子状に浮かび上がって切り替わります。
ストレッチ	5	次の画像が中心から縦方向に広がりながら切り替わります。
ランダム	6	効果の種類がランダムに選択されて反映されます。
OFF	7	効果を設定しません。

静止画を添付してｉモードメールを送信する

データBOXのマイピクチャから静止画を選択し、ｉモードメールに添付して送信できます。

- 送信できる静止画のファイルサイズは、最大500Kバイト(512000バイト)です。
- 送信できる静止画は、ｉモードメールに添付されてきた静止画、FOMA端末で撮影した静止画、サイトからダウンロードした静止画のうちメール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されていないものです。
- ファイル制限されている静止画でも、本FOMA端末で撮影した静止画やminiSDメモリーカードで取得した静止画は送信できます。

1 待受画面で■9 1 1を押し、フォルダを選んで■を押し、静止画を選んで✉[メール]を押す。

- 「待受:240×320」より大きいサイズのJPEG画像を選んだときは、[待受サイズ(240×320)に縮小しますか？]と表示されます。[はい]を選んで■を押すと縮小して添付されます。[いいえ]を選んで■を押すと、ファイルサイズが500Kバイト以下の場合はそのまま添付されます。500Kバイトを超える場合は自動的に500Kバイト以下になるように圧縮して添付されます。
- 「待受:240×320」サイズはｉモード端末に送信するのに適したサイズです。
- 圧縮された静止画は、静止画の取得元の各フォルダに自動的に保存されます。

2 ｉモードメールを作成し、送信する。

- 詳しくは、P.229の操作2～4を参照してください。

画像を待受画面などに設定する<画面設定>

データBOXのマイピクチャに保存されている静止画を、待受画面や電話発着信、メール送受信画面、マーク表示などに設定できます。

- フレームとスタンプは画面設定できません。
- Flash画像は、待受画面、発着信画面、メール送受信画面に設定できます。
- JPEG画像とGIFアニメーション、一部のGIF画像は、サブメニュー画像設定およびお知らせウィンドウアニメに設定できません。

1 待受画面で■9 1 1を押し、フォルダを選んで■を押し、静止画を選んで📷4[画面設定]を押す。

- 画像表示画面(☞P.300の操作3)で📷3、Flash画像の場合は、停止中に📷4を押しても表示できます。

2 画面設定の種類を選んで■を押す。

- 待受画面に設定するときは、[はい]を選んで■を押します。
- 画面の種類によっては、さらに項目を選びます。

静止画を高速赤外線通信で送信する(IrSS機能)

データBOXのマイピクチャのJPEG画像を、高速赤外線通信を利用してIrSS対応機器に送信できます。

- FOMA端末外への出力が禁止されている静止画は送信できません。
- IrSSとは、IrSimple1.0準拠の片方向通信機能(Home Appliance Profile)です。
- IrSSは、片方向通信のため、受信側からの応答を確認せずに送信します。このため、受信側が受け取れない場合でも送信側は正常に終了します。

1 待受画面で■9 1 1を押し、フォルダを選んで■を押し、静止画を選んで文字を押す。

2 受信側のFOMA端末を受信待ち状態にして、[はい]を選んで■を押す。

- 通信を中止するときは、📷を押します。
- 送信が終了すれば、受信側の端末に保存されなかった場合でも「送信終了しました」が表示されます。

画像編集

静止画を編集する(スピーディラボ)

画像編集では、編集前と編集後の静止画を見比べながら、連続して編集できます。

- FOMA端末で撮影した静止画のサイズによっては、編集できない場合があります。
- サイトやインターネットホームページからのダウンロードや、データリンクソフトからインポートした静止画でも、画像によっては編集できない場合があります。
- 静止画にフレームやマーカースタンプを貼り付けるなどの画像編集をくり返し行う場合、保存してから再び編集を行うと、画質が劣化することがあります。
- 画像を編集することによって、データの容量が増減する場合があります。
- 編集後の画像をｉモードメールに添付して送信できます。(☞P.305)
- Flash画像とアニメGIF画像は編集できません。

編集画面を表示する<画像編集>

1 待受画面で[■][9][1][1]を押し、フォルダを選んで[■]を押し、静止画を選んで[📷][1][1][画像編集]を押す。

- 画像表示画面(☞P.300の操作3)で[📷][1][1]を押しても表示できます。
- カメラ撮影後の静止画プレビュー画面(☞P.178の操作2)で[📷][1]を押しても表示できます。

編集画面

編集種別ボタンの見かた

編集種別ボタンを使うと、直接編集メニューを呼び出すことができます。

trimming	resize	rotate
画像切り出し(☞P.305)	サイズ変更(☞P.305)	画像回転(☞P.304)
effect	correct	stamp
エフェクト(☞P.306)	画像補正(☞P.306)	スタンプ(☞P.307)
frame	position	cancel
フレーム(☞P.306)	顔検出位置修正(☞P.307)	元に戻す(☞P.304)

※ 編集種別ボタンは機能や画面によって異なります。

■ 編集画面でのボタン操作

編集種別の選択方法には、次の3通りの方法があります。

- [📷]を押し、編集種別を選択する。
- [✥]で編集種別ボタンを選択する。
- ダイヤルボタン([1]～[9])を押して選択する。
(編集種別ボタンの並びは、ダイヤルボタンの並びに対応しています。)
  - ■ 画像編集後、続けて編集の種類を選択すると、同じ静止画を連続で編集できます。
  - ■ 編集名が選択できない場合は、操作できません。

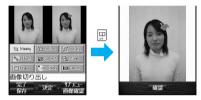
■ 直前の操作を取り消す<元に戻す>

1 [📷][◯][1][元に戻す]を押し、[はい]を選んで[■]を押す。

- 直前に編集した静止画が編集前に戻ります。(何も編集していないときは操作できません。)
- 取消は1回のみ可能です。続けて取消操作を行うと、静止画が未編集状態に戻ります。

■ 1画面で表示する

編集した静止画を1画面で表示できます。編集を開始する前には、元の画像を1画面で表示します。

1 [📖][画像確認]を押す。

お知らせ

- 編集した静止画は圧縮して保存し直されるため、静止画を再び表示したときに、編集中の静止画と異なって見える場合があります。

静止画を回転する<画像回転>

静止画を左右に90度ずつ回転したり、上下、左右に反転できます。

- サイトやインターネットホームページからのダウンロードや、データリンクソフトからインポート(☞P.331)した静止画など、画像によっては操作できない場合があります。
- 「VGA:480×640」より大きいサイズの静止画は回転できません。

1 編集画面(☞**P.304**)で[📷][3][画像回転]を押し、回転の種類を選ぶ。

- [回転処理中]と表示され、処理後の静止画が右画面に表示されます。

回転の種類	ボタン
右回転(90度)	[1]
左回転(90度)	[2]
上下反転	[3]
左右反転	[4]

2 静止画を保存する。

静止画を保存する	[📄]→[はい]→[■]→[OK]→[■]

データ表示／編集／管理／音楽再生　画像編集

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

タイトルを変更して保存する	→[はい]→■→[タイトル編集]→■→タイトルを編集→■→[OK]→■ ● 最大全角25文字(半角50文字)まで入力できます。
フォルダを変更して保存する	→[はい]→■→[フォルダ変更]→■→フォルダを選ぶ→■→[OK]→■
iモードメールに添付して作成する	→[はい]→■→[メール作成]→■→iモードメール作成・送信 ● 静止画は自動的に保存されます。 ● 詳しくは、P.229の操作2〜4を参照してください。
保存せずに別の編集をする	→編集種別番号
保存後に続けて編集する	→[OK]→■→→編集種別番号

お知らせ

- 画像切り出しやサイズ変更した静止画は回転できますが、画質が劣化することがあります。
- 静止画を右回転または左回転すると、「アイコン:76×76」以外は縦横比が変わります。
- 画像によっては、保存先フォルダを指定できない場合があります。

静止画のサイズを修正する<画像切り出し>

アイコン設定用や待受画面設定用など、目的や用途に応じて静止画のサイズを修正したり、切り出したりできます。

変更前の静止画サイズ	変更可能な静止画サイズ
アイコン:76×76	アイコン:76×76
sQCIF:128×96	アイコン:76×76、sQCIF:128×96
QCIF:176×144	アイコン:76×76、sQCIF:128×96、QCIF:176×144
待受:240×320	アイコン:76×76、sQCIF:128×96、QCIF:176×144、待受:240×320、アイコン(9分割)
CIF:352×288 VGA:480×640 1.2M:960×1280 UXGA:1200×1600 3M:1536×2048	アイコン:76×76、sQCIF:128×96、QCIF:176×144、待受:240×320

※ カメラ撮影サイズ以外に、miniSDメモリーカードや赤外線通信、データリンクソフトを利用して取り込んだ、任意サイズの静止画も修正できますが、サイズによっては、修正できない場合もあります。

1 編集画面(☞P.304)で 1 [画像切り出し]を押し、画像サイズを選ぶ。

- 元の静止画サイズによっては、修正できないサイズもあります。修正できないサイズは、選択できません。

アイコン(76×76)	1
sQCIF(128×96)	2
QCIF(176×144)	3
待受(240×320)	4
アイコン(9分割)	5

- [画像展開中]と表示され、修正後の静止画が表示されます。
- 現在の横サイズを変換後の横サイズに拡大または縮小します。上下が足りない場合は、静止画を中央に配置して、上下に余白が付きます。
- 「sQCIF:128×96」の画像を編集(90度回転)すると、「sQCIF:128×96」に切り出すことができません。また、待受の画像を編集(90度回転)すると、アイコン(9分割)に切り出すことができません。

2 で切り出し部分を指定して■を押す。

- を押して拡大したり、を押して縮小してからで切り出し部分を指定できます。[アイコン(9分割)]のときは拡大・縮小できません。

3 静止画を保存する。

- 保存については、P.304「静止画を回転する」の操作2を参照してください。

静止画のサイズを変更する<サイズ変更>

デコメール用や待受画面設定用など、目的や用途に応じて静止画のサイズを変更できます。

- サイズ変更しても縦横比は変更されません。縦横比が異なる画像をアイコンやテレビ電話代替画像に使用する場合は画像切り出しを利用してください。
- 画像サイズが、「sQCIF:128×96」、「QCIF:176×144」、「待受:240×320」でファイルサイズ(映像部)が9000バイト以下の場合は、デコメール用にサイズ変更はできません。

変更前の静止画サイズ	変更可能な静止画サイズ
アイコン:76×76	sQCIF:128×96、QCIF:176×144、待受:240×320
sQCIF:128×96	アイコン:76×76、QCIF:176×144、待受:240×320、デコメール用
QCIF:176×144	アイコン:76×76、sQCIF:128×96、待受:240×320、デコメール用
待受:240×320	アイコン:76×76、sQCIF:128×96、QCIF:176×144、デコメール用
CIF:352×288 VGA:480×640 1.2M:960×1280 UXGA:1200×1600 3M:1536×2048	アイコン:76×76、sQCIF:128×96、QCIF:176×144、待受:240×320、デコメール用

1 編集画面(☞P.304)で 2 [サイズ変更]を押し、画像サイズを選ぶ。

アイコン(76×76)	1
sQCIF(128×96)	2
QCIF(176×144)	3
待受(240×320)	4
デコメール用	5 ● 静止画は9000バイト以下に圧縮されます。「待受:240×320」サイズより大きい静止画は、「待受:240×320」サイズ以下に縮小されます。

- [サイズ変更中]と表示され、修正後の静止画が右画面に表示されます。
- 現在の横サイズを変換後の横サイズに拡大または縮小します。上下が足りない場合は、静止画を中央に配置して、上下に余白が付きます。

次ページへ続く

2 静止画を保存する。

- 保存については、P.304「静止画を回転する」の操作2を参照してください。

静止画を補正する<画像補正>

静止画にシャープネスやソフトなどの補正をかけることができます。

- サイトやインターネットホームページからのダウンロードや、データリンクソフトからインポート(☞P.331)した静止画など、画像によっては操作できない場合があります。
- 「VGA:480×640」より大きいサイズの静止画は補正できません。

1 編集画面(☞**P.304**)で📷5[画像補正]を押し、補正の種類を選ぶ。

シャープネス	1	エッジを強調する
ソフト	2	エッジをぼかす
感度アップ	3	明るさ、およびコントラストをアップする
鮮やか	4	色彩度をアップする

- [画像補正処理中]と表示され、補正後の静止画が右画面に表示されます。

2 静止画を保存する。

- 保存については、P.304「静止画を回転する」の操作2を参照してください。

お知らせ

- 色の変化が少ないものなど、静止画によっては効果が表れにくいものもあります。

フレームを重ねる<フレーム>

静止画にいろいろなフレームを重ねることができます。

- 「1.2M:960×1280」より大きいサイズの静止画にフレームを重ねることはできません。

1 編集画面(☞**P.304**)で📷7[フレーム]を押し、フォルダを選んで●を押し、フレームを選んで📱[決定]を押す。

- フレームを確認するときは、フレームを選んで●を押します。CLRを押すと元の画面に戻ります。
- [フレーム処理中]と表示され、処理後の静止画が右画面に表示されます。

2 静止画を保存する。

- 保存については、P.304「静止画を回転する」の操作2を参照してください。

いろいろな効果をかける<画像エフェクト>

静止画の色あいやタッチを変えることができます。

- サイトやインターネットホームページからのダウンロードや、データリンクソフトからインポート(☞P.331)した静止画など、画像によっては操作できない場合があります。
- 「VGA:480×640」より大きいサイズの静止画に画像エフェクトを行うことはできません。

1 編集画面(☞**P.304**)で📷41[画像エフェクト]を押し、エフェクトの種類を選ぶ。

モノクロ	1
セピア	2
きらきら	3
色えんぴつ	4
円ソフトフレーム	5
波紋	6
万華鏡(大)	7
万華鏡(小)	8
魚眼	▢1

- [エフェクト処理中]と表示され、処理後の静止画が右画面に表示されます。

2 静止画を保存する。

- 保存については、P.304「静止画を回転する」の操作2を参照してください。

お知らせ

- 静止画によって効果に差があります。
- 画像切り出しやサイズ変更した静止画にフレームを付けると、画質が劣化することがあります。

顔を装飾する<フェイスエフェクト>

人物の顔の静止画に喜怒哀楽の表情の効果を付けることができます。

- フェイスエフェクトを使っての画像編集、または編集後の静止画をｉモードメールで送信したり、待受画面に設定する場合は、人格権および肖像権を尊重し、他の方の中傷にならないようにご配慮ください。
- フェイスエフェクトは、顔の輪郭情報を自動抽出し、その情報を元にエフェクトをかけます。そのため、静止画内の顔の位置や大きさによっては、うまく加工できないこともあります。特に、次の静止画の場合はご注意ください。ピントが合っていない、首を傾けている、暗い、目が髪で隠れている、口が開いている、メガネをかけている、ヒゲを生やしているなど。
- フェイスエフェクトには、正面を向いた顔が大きく中央に写っている静止画を使用してください。
- 「VGA:480×640」より大きいサイズの静止画にはフェイスエフェクトをかけられません。

1 編集画面(☞**P.304**)で📷42[フェイスエフェクト]を押し、エフェクトの種類を選ぶ。

ほっそり	1
ふっくら	2
目ぱっちり	3
微笑む	4
怒る	5
悲しむ	6
シワ隠し	7
色白	8
くしゃ顔	▢1

左右対称顔(右)	[・][2]
左右対称顔(左)	[・][3]

- 顔の輪郭情報を自動抽出し、[エフェクト処理中]と表示され、処理後の静止画が右画面に表示されます。
- 顔の輪郭情報が正しく自動抽出できないときは、[📷][・][1][元に戻す]を押し、[はい]を選んで[■]を押すと、編集前の画像に戻ります。[📷][8][顔検出位置修正]を押し、輪郭情報を手動で設定してください。詳しくは、次項「各部の輪郭情報を手動で設定する <顔検出位置修正>」を参照してください。

2 静止画を保存する。

- 保存については、P.304「静止画を回転する」の操作2を参照してください。

各部の輪郭情報を手動で設定する <顔検出位置修正>

フェイスエフェクトまたはフェイススタンプで利用する顔の各部の輪郭情報を、顔の輪郭、画面上の右の目の輪郭、画面上の左の目の輪郭、口の輪郭の順番に手動で設定できます。

- [+]カーソルは画像エリア内のみで移動します。
- 顔の輪郭は赤色、画面上の右の目の輪郭は青色、画面上の左の目の輪郭は緑色、口の輪郭は黄色の枠で示されます。
- 輪郭情報は、プチエステ(☞P.308)でも利用されます。

1 編集画面(☞P.304)で[📷][8][顔検出位置修正]を押し、顔の輪郭を指定する。

1. [✥]で輪郭の左上に[+]カーソルを合わせ、[■]を押す。

2. [✥]で輪郭の右下に[+]カーソルを合わせ、[■]を押す。

2 画面上の右の目の輪郭を指定する。

1. [✥]で輪郭の左上に[+]カーソルを合わせ、[■]を押す。
2. [✥]で輪郭の右下に[+]カーソルを合わせ、[■]を押す。

3 画面上の左の目の輪郭を指定する。

1. [✥]で輪郭の左上に[+]カーソルを合わせ、[■]を押す。
2. [✥]で輪郭の右下に[+]カーソルを合わせ、[■]を押す。

4 口の輪郭を指定する。

1. [✥]で輪郭の左上に[+]カーソルを合わせ、[■]を押す。
2. [✥]で輪郭の右下に[+]カーソルを合わせる。

5 [📷][完了]を押し、静止画を保存する。

- 保存については、P.304「静止画を回転する」の操作2を参照してください。

お知らせ

- [✥]を押し続けると[+]カーソルを連続して移動させることができます。
- 輪郭を指定中に[CLR]を押すと、1つ前の操作に戻ります。

お知らせ

- 設定した顔の輪郭情報は、編集した画像を保存したときに、保存されます。画像を保存しないと、輪郭情報の設定は元に戻ります。次回画像編集を行うときは、この輪郭情報を元に画像編集が行われます。

顔スタンプを貼り付ける<フェイススタンプ>

顔の各部に涙やサングラス、うずまきほっぺなど、装飾用の静止画を貼り付けることができます。

- フェイススタンプを使っての画像編集、または編集後の画像をｉモードメールで送信したり、待受画面に設定する場合は、人格権および肖像権を尊重し、他の方の中傷にならないようにご配慮ください。
- フェイススタンプには、正面を向いた顔が大きく中央に写っている静止画を使用してください。
- フェイススタンプは、顔の輪郭情報を自動抽出し、その情報を元にエフェクトをかけます。そのため、静止画内の顔の位置情報や大きさによっては、うまく加工できないこともあります。特に、次の静止画の場合はご注意ください。
  ピントが合っていない、首を傾けている、暗い、目が髪で隠れている、口が開いている、メガネをかけている、ヒゲを生やしているなど。
- 「VGA：480×640」より大きいサイズの静止画はフェイススタンプを貼り付けできません。

1 編集画面(☞P.304)で[📷][6][2][フェイススタンプ]を押し、スタンプの種類を選ぶ。

怒り	[1]
涙	[2]
うずまきほっぺ	[3]
きらきら目	[4]
サングラス	[5]
真面目メガネ	[6]
モザイク(目)	[7]
モザイク(顔)	[8]

- 顔の輪郭情報を自動抽出し、[エフェクト処理中]と表示され、処理後の静止画が右画面に表示されます。
- 顔の輪郭情報が正しく自動抽出できないときは、[📷][・][1][元に戻す]を押し、[はい]を選んで[■]を押すと、編集前の画像に戻ります。[📷][8][顔検出位置修正]を押し、輪郭情報を手動で設定してください。詳しくは、P.307を参照してください。

2 静止画を保存する。

- 保存については、P.304「静止画を回転する」の操作2を参照してください。

お知らせ

- 画像切り出しやサイズ変更した静止画にフェイススタンプを貼り付けると、画質が劣化することがあります。

画像スタンプを貼り付ける<画像スタンプ>

静止画に星や花、キスマークなど、あらかじめ登録されている画像スタンプやダウンロードした画像スタンプを貼り付けできます。

- 「VGA：480×640」より大きいサイズの静止画は画像スタンプを貼り付けできません。

次ページへ続く

1 編集画面（☞P.304）で[📷][6][1][画像スタンプ]を押し、フォルダを選んで[■]を押し、画像スタンプを選んで[i][決定]を押す。

- スタンプを確認するときは、画像スタンプを選んで[■]を押します。[CLR]を押すと元の画面に戻ります。
- [✥]を押すと、画像スタンプの貼り付け位置を調整できます。
- 画像スタンプを選び直すときは、[CLR]を押します。選んでいたスタンプは削除され、編集画面に戻ります。

2 [■]を押す。

- 続けて同じ画像スタンプを貼り付けるときは、貼り付け位置を調整して[■]を押します。

3 [i][完了]を押し、静止画を保存する。

- 保存については、P.304「静止画を回転する」の操作2を参照してください。

お知らせ

- **画像切り出し**や**サイズ変更**した静止画に画像スタンプを貼り付けると、画質が劣化することがあります。

文字スタンプを貼り付ける＜文字スタンプ＞

静止画に入力した文字や日付を貼り付けできます。

- 「VGA：480×640」より大きいサイズの静止画は文字スタンプを貼り付けできません。

1 編集画面（☞P.304）で[📷][6][3][文字スタンプ]を押し、文字スタンプを選ぶ。

フリーワード	[1]→文字を入力→[■] ● 全角11文字（半角22文字）まで入力できます。文字が画面の幅を超える場合は、途中まで入力されます。（改行できません。）
日付	[2]

- [✥]を押すと、文字の貼り付け位置を調節できます。
- 文字サイズを変更するときは、[▼][▼サイズ]／[▲][▲サイズ]を押します。文字サイズは、20ドット⇔24ドット⇔30ドット⇔40ドット（縦倍角）⇔12ドット⇔16ドット⇔20ドットに変更されます。

2 [📷]を押し、文字色を選ぶ。

オレンジ	[1]
ブラック	[2]
ホワイト	[3]
レッド	[4]
イエロー	[5]
グリーン	[6]
ブルー	[7]

3 [■]を押し、静止画を保存する。

- 保存については、P.304「静止画を回転する」の操作2を参照してください。

お知らせ

- **画像切り出し**や**サイズ変更**した静止画に文字スタンプを貼り付けると、画質が劣化することがあります。

人物の顔をメークアップする＜プチエステ＞

人物の顔の静止画に、美白やナチュラルのメークアップ効果をかけることができます。

- 「VGA：480×640」より大きいサイズの静止画は効果をかけられません。

1 待受画面で[■][9][1][1]を押し、フォルダを選んで[■]を押し、静止画を選んで[📷][1][2][プチエステ]を押す。

2 [📷]を押し、効果の種類を選ぶ。

美白	[1]	肌を白く美しくします。
ナチュラル	[2]	肌を自然に、健康的にします。

- ［プチエステ処理中］と表示され、処理後の静止画が右画面に表示されます。

3 静止画を保存する。

- 保存については、P.304「静止画を回転する」の操作2を参照してください。

お知らせ

- 静止画によって効果に差があります。

静止画をお預かりセンターに保存する＜電話帳お預かりサービス＞

- データBOXのマイピクチャに保存されているJPEG画像またはGIF画像で、100Kバイト以下の静止画を保存できます。
- 選択保存するときは、最大10件まで選択できます。
- 本サービスはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 保存した静止画の復元などの利用方法については、『ご利用ガイドブック（iモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。

1 画像一覧画面で静止画を選んで[📷][□][1][お預かりセンターに保存]を押す。

2 画像を保存する。

1件保存する	[1]→［はい］→[■]→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→[■]
複数のファイルをまとめて保存する	[2]→静止画を選ぶ [■]（くり返し可）→[📷]→［はい］→[■]→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→[■]

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.323）

お知らせ

- FOMA端末以外への出力が禁止されている静止画は保存できません。
- miniSDメモリーカード内の静止画は直接利用できません。あらかじめFOMA端末（本体）マイピクチャの［外部取得データ］フォルダにコピーしてご利用ください。
- お預かりセンターへ保存したときの通信履歴は、電話帳通信履歴表示で確認できます。（☞P.126）

ビデオプレーヤ

動画／iモーションを再生する

FOMA端末で撮影した動画、サイトやインターネットホームページから取得したiモーションは、データBOXのiモーションに保存され、ビデオプレーヤで再生できます。

1 待受画面で■９１２を押す。

- 詳細メニューから（データBOX）→［iモーション］の順に選択することもできます。
- 待受画面で■を１秒以上押し、２を押しても表示できます。
- 動画撮影画面（☞P.178）などで、■２を押しても表示できます。

iモーションのフォルダ一覧画面

- miniSDメモリーカード内の動画／iモーションを確認するときは、［→miniSD］を選択します。再びFOMA端末（本体）の動画／iモーションを確認するときは、［→本体］を選択します。

2 フォルダを選んで■を押す。

- 映像一覧表示を切り替えるときは、■８１を押し、１［９分割］または２［16分割］、３［リスト表示］を押します。
- リスト表示中は、□を押すと次のページ、□を押すと前のページが表示されます。

映像一覧画面

3 動画／iモーションを選んで■を押す。

再生状態のマーク
動画再生画面

- 再生中に■［ポーズ］を押すと、一時停止します。
- 音声のみの動画／iモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）の場合、画面には固定のアニメーションが表示されます。

全画面表示で再生する※1	再生中、一時停止中、停止中に□ ● 横方向の全画面表示で再生されます。全画面表示中に□を押したり、停止すると、元の表示サイズに戻ります。
音量を調節する※1	再生中、一時停止中、停止中に□（下げる）または□（上げる）
早送りする※1	再生中または一時停止中に□を押し続ける。 ● 再生中の場合、ボタンから指を離した時点で、再生します。一時停止中の場合は再生せず、一時停止のままとなります。
早戻しする※1	再生中または一時停止中に□を押し続ける。 ● 再生中の場合、ボタンから指を離した時点で、再生します。一時停止中の場合は再生せず、一時停止のままとなります。
一時停止する	■［ポーズ］ ● もう一度■を押すと、続きを再生します。 ● 一時停止中に□を押すとコマ送り、□を押すとコマ戻しできます。
ボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプする	１～９ ● 一時停止中に押すと、ボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプします。 再生中に押すと、ボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプして、再生を開始します。※2
次の動画／iモーションを再生する※1	再生中に□
前の動画／iモーションを再生する※1	再生中に□

※1　全画面表示中は上下と左右の操作が入れ替わります。FOMA端末を横向きに持った状態で操作してください。

※2　１を押すと再生中の動画／iモーションの先頭に戻ります。２～９を押すと録画時間の約１／９ずつ先の位置にジャンプします。ただし、録画時間が短い場合は、ジャンプしないときがあります。

- 再生可能な動画／iモーションの種類は次のとおりです。動画／iモーションの種類は情報表示で確認できます。

ファイル形式		符号化方式
MP4（拡張子：「.mp4」「.3gp」「.m4a」）	映像	MPEG-4、H.263、H.264
	音声	AMR、AAC、HE-AAC
ASF（拡張子：「.asf」）	映像	MPEG-4
	音声	AMR、G.726

- 再生可能な動画／iモーションの画像サイズは、「sQCIF：128×96」、「QCIF：176×144」、「QQVGA：160×120」、「hQVGA：240×176」、「QVGA：320×240」です。
- ファイル形式がASFの動画／iモーションは、FOMA端末（本体）への保存、コピーはできません。
- 符号化方式がH.263の動画は、「sQCIF：128×96」、「QCIF：176×144」のみ再生可能です。また、符号化方式がH.264の動画は、「QCIF：176×144」のみ再生可能です。

次ページへ続く

再生状態のマークの見かた

再生状態	音量	～
	バッファリング中表示（標準タイプ・ストリーミングタイプ）	
	ダウンロード未完了	
	リピート再生	
	バックライト点灯時間	
	拡大再生中表示	
	等倍再生中表示	
	画像サイズ	128 176 240 320
モノラル		
再生種別	音声あり	
	映像あり	
	テロップあり	
	音声再生不可	
	映像再生不可	

お知らせ

- 再生中にアラーム動作や電話着信があったり、マルチアシスタントを使って他の機能を起動したり、サブメニューを選ぶと再生が一時停止されます。再生を再開する場合、再生中のデータや選択したサブメニューによっては少し戻った位置から再生を開始することがあります。
- データによっては[1]～[9]を押しても指定した位置にジャンプできないデータや位置があります。また、コマ送り・コマ戻しで、一部画像を表示できない場合があります。
- 外部機器でminiSDメモリーカードに保存した動画もFOMA端末で再生できます。（☞P.425）
- 再生中にFOMA端末を閉じても、再生は継続されます。
- 現在の動画／iモーションの参照先（FOMA端末（本体）またはminiSDメモリーカード）は、ビデオプレーヤをいったん終了しても記録され、次回、ビデオプレーヤを起動したときにも同じ参照先となります。

データBOXのiモーションに保存した動画／iモーションは、パソコンをお持ちの場合、**miniSD**メモリーカード（☞**P.323**）を利用してパソコンに転送・保管することをおすすめします。

- ［移行可能コンテンツ］フォルダに保存されている動画／iモーションは、パソコンでは保管できません。誤ってminiSDメモリーカードから削除しないよう、取り扱いには十分ご注意ください。（☞P.317）
- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、データBOXのiモーションに登録してある動画／iモーションが消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

動画／iモーションを再生中に音声電話やテレビ電話がかかってくると

- 着信画面が表示され、電話に出ることができます。再生は中止され、通話終了後に、動画／iモーションの停止画面に戻ります。FOMA端末（本体）に保存されたMP4ファイルの場合は、miniSDメモリーカード側でレジューム再生を［ON］に設定しても、再生を中止したところから再生できません。

関連操作

リピート再生する＜リピート再生＞

停止中（一時停止中）／再生中に[MENU][6][1]

- 通常の再生に戻すとき：[MENU][6][1]
- 再生を中止するとき：[CLR]

再生サイズを切り替える＜表示サイズ切替＞

1 停止中（一時停止中）／再生中に[MENU][6][2]

2 [2]［拡大］

- 等倍にするとき：[1]

ライトアップする＜ライトアップ＞

停止中（一時停止中）／再生中に[MENU][6][3]

- または[#]（1秒以上）
- 消すとき：同じ操作をする

コマ送りの幅を設定する＜送り幅指定＞

1 停止中（一時停止中）／再生中に[MENU][6][7]

- 映像編集画面（☞P.314）で設定するとき：[MENU][ ][2][1]

2 送り幅を細かくするときは[2]

- 送り幅を大まか（高速）にするとき：[1]

再生時の照明を設定する＜バックライト点灯時間＞

1 動画／iモーションのフォルダ一覧画面（☞P.309）で[MENU][4][1]

2 [2]［常にON］

- 照明設定に従うとき：[1]

再生時の音量を調節する＜音量設定＞

1 動画／iモーションのフォルダ一覧画面（☞P.309）で[MENU][4][2]

- 映像一覧画面（☞P.309）で設定するとき：[MENU][8][4]

2 [↑]（上げる）／[↓]（下げる）▶[●]

レジューム再生するかどうかを設定する＜レジューム再生設定＞

1 動画／iモーションのフォルダ一覧画面（☞P.309）で［→miniSD］▶[●]▶フォルダを選ぶ▶[●]▶動画／iモーションを選ぶ▶[MENU][8][5]

2 レジューム再生するときは[1]

関連操作のお知らせ

リピート再生について

- 再生回数に制限のあるデータは、リピート再生できません。
- リピート再生が開始される前の3秒間に[1]～[9][0][*][#][☎][ ][ ][MENU][MULTI][ ]( )[ ]( )[ ]を押すと、リピート再生は停止します。（ただし、[MULTI]を1秒以上押すと再生は継続されます。）
- リピート再生を終了するときは、[CLR]または[PWR]を押します。

表示サイズ切替について

- 画像サイズが「sQCIF：128×96」、「QCIF：176×144」（テロップなし）、「QQVGA：160×120」（テロップなし）の場合、表示サイズを［拡大］に切り替えることができます。
- お買い上げ時は、［等倍］に設定されています。

照明について

- バックライト点灯時間を［照明設定に従う］に設定しているときは、**照明時間設定**で設定した時間が経過すると、バックライトが消灯します。
- バックライト点灯時間を［常にON］に設定しているときは、動画／iモーションを終了するまで照明時間設定で設定した時間が経過してもバックライトは消灯しません。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.323）

関連操作

関連操作のお知らせ

- ライトアップ時は、ディスプレイの明るさの設定（☞P.144）にかかわらず、最大の明るさで表示されます。

コマ送りの幅の設定について

- お買い上げ時は、[大まか（高速）]に設定されています。
- 映像のない動画は、[細かい]に設定しても無効となり、[大まか（高速）]でコマ送りされます。
- 一部、[細かい]に設定しても無効となり、[大まか（高速）]でコマ送りされる動画があります。
- 映像編集画面で編集中のデータサイズが500Kバイトを超える場合、コマ送り幅は[大まか（高速）]となります。

バックライト点灯時間について

- お買い上げ時は、[照明設定に従う]に設定されています。（☞P.185）

音量設定について

- お買い上げ時は、[音量５]に設定されています。

レジューム再生について

- お買い上げ時は、[ON]に設定されています。
- レジューム再生は、miniSDメモリーカードに保存されている動画／ｉモーションが対象となります。ただし、[移行可能コンテンツ]フォルダ、および[マルチメディア]フォルダの動画／ｉモーションは対象となりません。
- レジューム再生を[ON]に設定すると、miniSDメモリーカードに保存された動画／ｉモーションを再生中に着信などで中断した場合、再生を中止したところから再生を開始できます。
- miniSDメモリーカードに、動画／ｉモーションが保存されていない場合、レジューム再生設定はできません。

ｉモーションフォルダ一覧画面／映像一覧画面の見かた

ｉモーションフォルダ一覧画面の見かた

FOMA端末（本体）

1 miniSDメモリーカードのフォルダ一覧画面を表示
2 FOMA端末で撮影した動画用フォルダ
3 サイトやインターネットホームページ、メッセージR／Fやｉモードメールで入手した動画／ｉモーション用フォルダ
4 バーコードリーダーやminiSDメモリーカード、赤外線通信で入手した動画／ｉモーション用フォルダ
5 あらかじめFOMA端末に内蔵されている動画／ｉモーション用フォルダ
6 お客様が作成できるフォルダ（☞P.332）

miniSDメモリーカード

miniSDメモリーカードを挿入しているとき、ｉモーションフォルダ一覧画面で[→miniSD]を選択するか 📷 7 [本体⇔miniSD切替]を押すと、miniSDメモリーカード内のフォルダが表示されます。

1 FOMA端末（本体）のフォルダ一覧画面を表示
2 FOMA端末で撮影した動画用フォルダ
3 お客様が作成できるフォルダ（☞P.329）
4 映像・音声切替を音声のみ、保存先をminiSDメモリーカードに設定して撮影した動画用フォルダおよびボイスレコーダーで録音した音声用フォルダ
  - ■ [マルチメディア]フォルダのフォルダ名変更、フォルダ削除はできません。
  - ■ [マルチメディア]フォルダには、お客様が撮影・録音したデータを最大400件まで保存できます。ファイル形式はMP4です。
  - ■ [マルチメディア]フォルダには、お客様が撮影・録音したもの以外のデータも、パソコンを経由して保存することができます。ファイル形式はMP4、ASF、3GPPで、MMF0001～MMF9999までのファイル名が付きます。FOMA端末では、最大400件まで参照することができます。再生できないデータがある場合や、401件以上データが存在する場合には、データが表示されない場合があります。（ファイル名を「MMFxxxx」（「xxxx」は数字）にしないと表示されません。）

5 サイトから取得した、FOMA端末外への出力が禁止されている動画／ｉモーションを保存することができるフォルダ
  - ■ [移行可能コンテンツ]フォルダ以外に保存された動画は、FOMA端末（本体）に移動できません。

※ FOMA SH902iSより前に発売された機種で使用したminiSDメモリーカードを挿入した場合、[ミュージック／ボイス]フォルダが表示されます。保存されているデータは、FOMA SH902iSLで再生することができます。[ミュージック／ボイス]フォルダ内のデータは、別のフォルダには移動できません。またフォルダ名編集やフォルダ削除はできません。

映像一覧画面の見かた

映像一覧画面は、[９分割]、[16分割]、[リスト表示]のいずれかで表示できます。

９分割

16分割

リスト表示

次ページへ続く

● ９分割や16分割では、動画／ｉモーションの種類が次のいずれかに該当する場合は、画像の代わりに[♪]、[画]が表示されます。

■ [♪]が表示されるデータ
- ●音声のみのデータ
- ●画像サイズが非対応のデータ
- ●画像ファイル形式が非対応のデータ

■ [画]が表示されるデータ
- ●テキストのみのデータ
- ●符号化方式がH.264のデータ
- ●画像が表示できない(壊れている)データ
- ●[移行可能コンテンツ]フォルダ内のFOMAカード動作制限機能が設定されているデータ

表示方法を変更する<表示切替>

お買い上げ時設定(９分割)

1 待受画面で●９１２を押し、フォルダを選んで●を押し、📷８１[表示切替]を押す。

2 表示方法を選んで●を押す。

お知らせ

● 動画／ｉモーションのタイトル名は、最大全角18文字(半角36文字)まで入力できますが、各表示画面でのタイトル表示は、最大全角７文字(半角14文字)です。(タイトル名が最大全角７文字(半角14文字)を超えると、表示されるタイトル名は、最大全角６文字(半角12文字)までです。)

動画／ｉモーション情報マークの見かた

	MP4(Mobile MP4)		ASF
	再生制限なし	再生制限あり	－
マーク	MP4	MP4	ASF

● FOMAカード動作制限機能が設定されたｉモーションには、[ ]が表示されます。
● 待受画面、ピクチャーコールや着信音、指定着信音、アラーム、スケジュールアラーム、ToDoアラームに設定した動画／ｉモーションには、[ ]が表示されます。
● メール添付やFOMA端末から出力できないようにファイル制限されている動画／ｉモーションには、[ ]が表示されます。
● ｉモードなどで取得した動画／ｉモーションには[ ]が、miniSDメモリーカード、赤外線通信など、本FOMA端末以外から取得した動画／ｉモーションには[ ]が表示されます。
● カメラ撮影した動画には[ ]が表示されます。
● キャラ電撮影した動画には[ ]が表示されます。

動画を連続して再生する<連続再生>

指定したフォルダ内のすべての動画／ｉモーションを連続して再生できます。

● [移行可能コンテンツ]フォルダ内の動画／ｉモーションは連続再生できません。

1 待受画面で●９１２を押し、フォルダを選んで📷３１[連続再生開始]を押す。

● 再生中に●を押すと、一時停止します。
● 再生中に□を押すと、停止します。●を押すと、停止した動画／ｉモーションの先頭から再生し、連続再生は継続されます。
● 再生回数、再生期間の制限を超えた動画／ｉモーションの場合、[再生できないデータをスキップしました]と表示され、次の動画／ｉモーションを再生します。

連続再生の設定をする

動画／ｉモーションを連続再生するときの設定を行います。

設　定	内　容	お買い上げ時
リピート再生設定	くり返し再生するかどうかを設定します。設定内容はすべてのフォルダに反映されます。	しない
ダイジェスト再生設定	それぞれの動画の最長再生時間を設定します。(つなぎ目の時間は含みません。)設定内容はすべてのフォルダに反映されます。	しない
つなぎ目効果設定	動画と動画の間のつなぎ目の効果を設定します。miniSDメモリーカード内の動画／ｉモーションのフォルダのみに設定できます。ただし、[マルチメディア]、[移行可能コンテンツ]、[ミュージック／ボイス]フォルダには設定できません。フォルダごとに設定します。	ランダム

リピート再生する

1 待受画面で●９１２を押し、フォルダを選んで📷３２[リピート再生設定]を押し、１[する]を押す。

ダイジェスト再生する

1 待受画面で●９１２を押し、フォルダを選んで📷３３[ダイジェスト再生設定]を押す。

2 再生時間を選ぶ。

5秒	１
15秒	２
ダイジェスト再生しない	３

つなぎ目効果を設定する

● miniSDメモリーカード内の動画／ｉモーションのフォルダのみに設定できます。

1 待受画面で●９１２を押し、[→**miniSD**]を選んで●を押し、フォルダを選んで📷３４[つなぎ目効果設定]を押す。

2 効果の種類を選ぶ。

ひし形	１	次の画像が中から外へ、ひし形が大きくなるようにして切り替わります。
ピンウィール	２	次の画像が回転しながら大きくなって切り替わります。

データ表示／編集／管理／音楽再生　ビデオプレイヤ

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

ホイール	3	次の画像が中心から回転するように広がって切り替わります。
ディゾルブ	4	次の画像が細かい粒子状に浮かび上がって切り替わります。
ストレッチ	5	次の画像が中心から縦方向に広がりながら切り替わります。
ランダム	6	効果の種類がランダムに選択されて反映されます。
OFF	7	つなぎ目効果を設定しません。

動画／iモーションを添付してiモードメールを送信する＜iモーションメール＞

動画／iモーションを、iモードメールに添付して送信できます。

- 送信できる動画／iモーションのファイルサイズは、最大500Kバイト（512000バイト）、ファイル形式はMP4です。
- 送信できる画像サイズは「sQCIF：128×96」、または「QCIF：176×144」です。

1 待受画面で[■][9][1][2]を押し、フォルダを選んで[■]を押し、動画／iモーションを選んで[✉][メール]を押す。

- メール作成画面が表示されます。選択した動画／iモーションが添付されます。
- 300Kバイトを超える動画／iモーションのときは、[メール用（短）]と[メール用（長）]の選択画面が表示されます。

- [メール用（短）]を選んで[■]を押すと、先頭から約290Kバイトが自動的に切り出されます。
- [メール用（長）]を選んで[■]を押すと、500Kバイトを超える場合は先頭から約490Kバイトが自動的に切り出されます。300Kバイトを超え、500Kバイト以下の動画／iモーションはそのまま添付されます。

2 iモードメールを作成し、送信する。

- 詳しくは、P.229の操作2～4を参照してください。

動画／iモーションを待受画面などに設定する＜音・映像設定＞

動画／iモーションを、待受画面に設定できます。

- 待受画面にGIFアニメーション、Flash画像やiモーションを設定しているとき、カレンダーに切り替えると、待受画面の画像が停止します。

1 待受画面で[■][9][1][2]を押し、フォルダを選んで[■]を押し、動画／iモーションを選んで[📷][4][音・映像設定]を押す。

音・映像設定 1/2
1 待受画面
2 音声電話着信音
3 テレビ電話着信音
4 非通知着信音
5 メール着信音
6 ﾒｯｾｰｼﾞR着信音
7 ﾒｯｾｰｼﾞF着信音
8 SMS着信音

- 音声のみの動画／iモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）やファイル形式がASFの動画／iモーションは、待受画面に設定できません。
- 画像サイズが「QQVGA：160×120」の動画／iモーションは、待受画面に設定できません。
- miniSDメモリーカード内の動画／iモーションは、待受画面や着信音などに設定できません。

2 項目を選ぶ。

待受画面	1
音声電話着信音	2
テレビ電話着信音	3
非通知着信音	4
メール着信音	5
メッセージR着信音	6
メッセージF着信音	7
SMS着信音	8
チャットメール着信音	[□][1]
プッシュトーク着信音	[□][2]

3 待受画面を選んだ場合、[はい]を選んで[■]を押し、表示方法を選ぶ。

等倍表示する	1
拡大表示する	2

- 画像サイズが「sQCIF：128×96」と「QCIF：176×144」以外のときは、拡大表示できません。

お知らせ

- FOMA端末（本体）に保存されているデータのみ、待受画面や着信音などに設定できます。
- iモーションによっては、待受画面に設定できないものがあります。
- iモーション待受画面から、Phone To（AV Phone To）機能、Mail To機能、Web To機能はご利用になれません。
- 待受画面に設定した動画／iモーションの音量は、オープン音の音量で設定できます。
- プッシュトーク着信音に設定できる動画／iモーションは、音声のみのiモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）です。

映像編集

動画を編集する（スピーディラボ）

撮影した動画を編集できます。

- FOMA SH902iSL以外で撮影した動画は、編集できない場合があります。

映像編集画面を表示する＜映像編集＞

1 待受画面で[■][9][1][2]を押し、フォルダを選んで[■]を押し、動画を選んで[📷][1][1][映像編集]を押す。

次ページへ続く

- 映像編集画面が表示されます。このとき、ファイルの先頭の映像が表示されます。
- 動画再生中（☞P.309）に📷1 1を押しても、動画が停止して映像編集画面が表示されます。
- ◀▶を押して、コマ送り／戻しできます。1秒以上押すと、早送り／早戻しします。このとき、音声は再生されません。
- 1～9を押すと、指定した位置にジャンプします。動画によっては指定位置にジャンプできない場合もあります。

編集種別マーク

映像編集画面

編集種別マークの見かた

	静止画キャプチャ（☞P.315）		映像カッター（☞P.314）
ABCD	テロップ編集（☞P.315）		アフレコ編集（☞P.316）
EFFECT	エフェクト挿入（☞P.316）		サイズ変換（☞P.316）
	情報表示（☞P.314）	Save	保存（☞P.314）
FINISH	終了（☞P.314）		

■ 映像編集画面でのボタン操作

編集種別の選択方法には、次の方法があります。
- 📷を押し、編集種別を選択する。
- ▲▼で編集種別マークを選択する。

お知らせ

- 映像編集後、続けて編集の種類を選択すると、同じ動画を連続で編集できます。
- 画像サイズが「sQCIF：128×96」または「QCIF：176×144」のときのみテロップ編集、アフレコ編集、エフェクト挿入ができます。
- ファイルサイズが500Kバイトを超えるときは、テロップ編集、アフレコ編集、エフェクト挿入を行うことはできません。

関連操作

テロップを表示しないようにする<テロップ表示>

1 映像編集画面（☞P.314）で📷◀▶2 2
2 2

詳細情報を表示する<情報表示>

映像編集画面（☞P.314）で📷7
- 確認を終わるとき：●またはCLR

関連操作のお知らせ

テロップ表示について
- お買い上げ時は、[ON]に設定されています。
- すでにテロップがついている動画のテロップを表示させないときに設定します。プレビューのときはテロップは表示されます。

動画を切り取る<映像カッター>

動画の一部を切り取り、新しい動画として保存します。
- テロップが付いている場合、テロップの始点から終点までが切り取る範囲に含まれていないと、テロップは削除されます。

■ 動画の始点と終点を指定して切り取る

始点と終点を指定して切り取ります。
- 3秒未満の動画は切り取りできません。

1 映像編集画面（☞**P.313**）で📷2[映像カッター]を押し、切り取り方法を選ぶ。

- ◀▶を押してコマ送り／戻しをできます。1秒以上押すと、早送り／早戻しします。このとき、音声は再生されません。

- 終点を始点と同じ位置、または始点より前の位置に指定することはできません。
- 終点を選択すると、切り出した動画のサイズ確認画面が表示されます。

始点と終点を指定して切り取る	3[部分切り出し]→📱[始点]→📱[終点]→●
始点からファイルの最後までを切り取る	4[前部分消去]→📱[始点]→●
ファイルの最初から終点までを切り取る	5[後部分消去]→📱[終点]→●

2 動画を保存する。

編集した動画を保存する	📷8→[OK]→●
タイトルを変更して保存する	📷8→[タイトル編集]→●→タイトルを編集→●→[OK]→● ● 静止画キャプチャの場合、最大全角25文字（半角50文字） ● その他の場合、最大全角18文字（半角36文字）まで入力できます。
保存するフォルダを変更して保存する	📷8→[フォルダ変更]→●→フォルダを選ぶ→●→[OK]→● ● miniSDメモリーカード内の動画の場合、フォルダを変更できないことがあります。
iモードメールに添付して送信する	📷8→[メール作成]→●→iモードメール作成・送信 ● 動画は自動的に保存されます。 ● 詳しくは、P.229の操作2～4を参照してください。
編集した動画を保存しない	📷◀▶1→[はい]→●
編集した動画を再生する	📱

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.323）

- 編集した動画の画像サイズが「sQCIF：128×96」または「QCIF：176×144」で、ファイルサイズが300Kバイトを超えるときは、メール添付用に変換するかどうかの選択画面が表示されます。[メール用(短)]を選んで■を押すと、先頭から約290Kバイトが自動的に切り出されます。[メール用(長)]を選んで■を押すと、先頭から約490Kバイトが自動的に切り出されます。そのまま保存するときは、[何もしない]を選んで■を押します。

■動画からメール用に切り出す

iモードメール添付用に、動画を切り出します。

- [メール用(短)]は、指定した位置から約290Kバイトまでを自動的に切り出します。
- [メール用(長)]は、指定した位置から約490Kバイトまでを自動的に切り出します。
- 画像サイズが「sQCIF：128×96」または「QCIF：176×144」のときのみ切り出しできます。
- 約290Kバイト以下の動画は切り出しができません。

1 映像編集画面(☞P.313)で📷2[映像カッター]を押し、切り出し方法を選ぶ。

[メール用(短)]を選ぶ	1
[メール用(長)]を選ぶ	2

- ◁▷を押してコマ送り/戻しをできます。1秒以上押すと、早送り/早戻しします。

2 切り取る始点で[始点]を押し、■[確認]を押す。

3 動画を保存する。

- 保存については、P.314「動画を切り取る」の操作2を参照してください。

動画を静止画として保存する<静止画キャプチャ>

動画の一場面を、静止画として保存できます。保存した静止画はFOMA端末で撮影した静止画と同様に扱うことができます。また、iモードメールに添付して送信することもできます。

- 映像のないデータは、静止画キャプチャできません。

1 映像編集画面(☞P.313)で、◁▷で静止画として保存したい場面を選び、📷1[静止画キャプチャ]を押す。

2 [OK]を選んで■を押す。

- 動画の一場面が静止画として保存されます。
- 保存画面での操作方法については、P.304の操作2「静止画を保存する」を参照してください。

動画のテロップを編集する<テロップ編集>

動画を再生中に、テロップを付けたいところで一時停止して、1ファイルにつき、最大5個のテロップを付けることができます。
文字の色やサイズを変更したり、背景に色を付けるなどの装飾ができます。

- 画像サイズが「sQCIF：128×96」または「QCIF：176×144」のときのみテロップ編集できます。
- 1秒未満のデータ、500Kバイトを超えるデータや映像のないデータは、テロップ編集できません。

1 映像編集画面(☞P.313)で📷3[テロップ編集]を押す。

- すでにテロップが付いている動画の場合、[現在のテロップをすべて削除します よろしいですか?]と表示されます。削除する場合は、[はい]を選んで■を押します。[いいえ]を選んで■を押すと、現在のテロップを残したままテロップ編集できます。

2 ■[再生]を押し、テロップを入れる場面で■[ポーズ]を押し、[始点]を押す。

- [始点]を押す前に◁▷を押してコマ送り/戻しをして位置を調整できます。1秒以上押すと、早送り/早戻しします。

3 文字を入力して(☞P.394)■を押す。

- 最大全角20文字(半角40文字、絵文字、改行も含む)まで入力できます。

4 📷1[デコレーション]を押し、装飾の種類を選んで■を押し、装飾内容を指定する。

装飾の種類	装飾内容の指定
文字色	文字色→■
背景色	背景色→■
アンダーライン	1[引く]/2[引かない]
点滅	1[する]/2[しない]
文字サイズ	1[文字→小]/2[文字→大]
文字表示位置	1[左]/2[中央]/3[右]
スクロールイン	1[する]/2[しない]
スクロールアウト	1[する]/2[しない]
スクロール方向	1[←(右から左)]/2[→(左から右)]/3[↑(下から上)]/4[↓(上から下)]

- 入力した文字に装飾が反映されます。
- [スクロールイン]または[スクロールアウト]を設定した場合に[スクロール方向]が表示されます。

5 テロップ編集を完了する。

編集を完了する	📷2
再び文字を編集する	📷3→操作3～4(くり返し可)
装飾を解除する	📷4→[はい]→■
テロップを削除する	📷5→[はい]→■

他のところにテロップを付ける	操作2～4(くり返し可)

6 動画を保存する。

- 保存については、P.314「動画を切り取る」の操作2を参照してください。

お知らせ

- テロップ編集を行うと、そのデータは、着信音などの設定ができません。

動画をアフレコ編集する<アフレコ編集>

動画に音声を付けることができます。動画を再生しながら吹き込みます。音声は送話口から録音されます。

- 画像サイズが「sQCIF:128×96」または「QCIF:176×144」のときのみアフレコ編集できます。
- 1秒未満のデータ、500Kバイトを超えるデータや映像のないデータは、アフレコ編集できません。
- 別売りの平型スイッチ付イヤホンマイク接続時は、イヤホンマイクから録音できます。

1 映像編集画面(☞P.313)で[MENU][4][アフレコ編集]を押す。

- 映像のみで撮影した動画のときは、操作3に進みます。

2 [はい]を選んで[●]を押す。

- ファイルの最初で一時停止します。
- ファイルの途中からアフレコ編集を開始することはできません。

3 [●][録音]を押し、録音が終了したら[●][完了]を押す。

- 映像に合わせて音声を吹き込みます。
- 録音中に一時停止、早送り、早戻し、コマ送り、コマ戻しはできません。
- 動画が終了するまで録音すると、自動的に完了します。

4 動画を保存する。

- 保存については、P.314「動画を切り取る」の操作2を参照してください。

動画全体に効果をかける<エフェクト挿入>

動画の色あいやタッチを変えることができます。

- 画像サイズが「sQCIF:128×96」または「QCIF:176×144」のときのみ編集できます。
- 500Kバイトを超えるデータや映像のないデータは、エフェクト挿入できません。

1 映像編集画面(☞P.313)で[MENU][5][エフェクト挿入]を押し、エフェクトの種類を選ぶ。

モノクロ	[1]
セピア	[2]
きらきら	[3]
色えんぴつ	[4]
残像	[5]
波紋	[6]
万華鏡(大)	[7]
万華鏡(小)	[8]
魚眼	[●][1]

2 動画を保存する。

- 保存については、P.314「動画を切り取る」の操作2を参照してください。

動画のサイズを変換する<サイズ変換>

メール添付できるように動画のサイズを変換します。変換後は画質が[NORMAL]で画像サイズが「QCIF:176×144」になります。また、先頭から約490Kバイトまでを自動的に切り出します。

- 画像サイズを「hQVGA:240×176」、「QVGA:320×240」に設定して撮影した動画、または画像サイズを「QCIF:176×144」、画質を[SUPER FINE]に設定して撮影した動画のみ変換できます。

1 映像編集画面(☞P.313)で[MENU][6][サイズ変換]を押し、[はい]を選んで[●]を押す。

2 動画を保存する。

- 保存については、P.314「動画を切り取る」の操作2を参照してください。

コンテンツ移行対応

動画/iモーションをminiSDメモリーカードに移動する

サイトから取得したFOMA端末外への出力が禁止されている動画/iモーションを、miniSDメモリーカードに移動できます。また、miniSDメモリーカードに移動した動画/iモーションを、FOMA端末(本体)に移動できます。

- miniSDメモリーカードに移動した動画/iモーションは、[移行可能コンテンツ]フォルダ内に保存されます。
- miniSDメモリーカードへの移動が[可]/[可(同一機種間)]に設定されている動画/iモーションのみを移動できます。移動の可否は動画/iモーションの詳細情報で確認できます。(☞P.222)
- miniSDメモリーカードに移動した動画/iモーションをFOMA端末(本体)へ移動するときは、FOMA端末(本体)への移動が[可]の場合、取得時と同じFOMAカードを挿入している場合、または、FOMA端末(本体)への移動が[可(同一機種間)]の場合、取得時と同じFOMAカードを挿入した同一機種の場合のみFOMA端末(本体)に移動できます。
- 動画/iモーションをminiSDメモリーカードに移動中またはFOMA端末(本体)に移動中に、miniSDメモリーカードまたは電池パックを抜いた場合、移動している動画/iモーションを再生できなくなる場合があります。miniSDメモリーカードの動画/iモーションを再生しようとした場合は、[再生可能回数が終了しました 削除しますか?]と表示されます。FOMA端末(本体)の動画/iモーションの場合は、選択できなくなります。

データ表示/編集/管理/音楽再生

コンテンツ移行対応

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

- miniSDメモリーカード内の[移行可能コンテンツ]フォルダ内(SD_BINDフォルダ内)に保存されている動画／ｉモーションなどのファイルをパソコンで削除･移動･編集を行うと、[移行可能コンテンツ]フォルダ内の動画／ｉモーションを参照できなくなる場合があります。また、動画／ｉモーションを移動･削除･保存中にminiSDメモリーカードを抜いたり、電池パックを抜いたりした場合にも、[移行可能コンテンツ]フォルダ内の動画／ｉモーションを参照できなくなる場合があります。その場合は、miniSDメモリーカードをFOMA SH902iSLでフォーマットしてください。(フォーマットを行うとminiSDメモリーカード内のデータはすべて消去されます。)

FOMA端末内の動画／ｉモーションをminiSDメモリーカードに移動する ＜miniSDへ移動＞

1 待受画面で■912を押し、フォルダを選んで■を押す。

- すべての動画／ｉモーションを移動するときは、フォルダ一覧画面でフォルダを選んで📷62を押し、端末暗証番号(４～８桁の数字)を入力して■を押します。

2 動画／ｉモーションを選んで📷63[miniSDへ移動]を押し、移動方法を選ぶ。

動画／ｉモーションを１件移動する	1
フォルダ内のすべての動画／ｉモーションを移動する	2→端末暗証番号(４～８桁の数字)を入力→■
複数の動画／ｉモーションをまとめて移動する	3→動画／ｉモーションを選ぶ■(くり返し可)→📷 ● すべてを選択／解除する場合は、[全選択]／[全解除]を押します。
移動先フォルダを指定する	4→移動先フォルダを選ぶ→📷

miniSDメモリーカード内の動画／ｉモーションをFOMA端末に移動する ＜本体へ移動＞

1 待受画面で■912を押し、[→miniSD]を選んで■を押す。

2 [移行可能コンテンツ]フォルダを選んで■を押し、フォルダを選んで■を押す。

- すべての動画／ｉモーションを移動するときは、[移行可能コンテンツ]フォルダを選んで📷62を押し、端末暗証番号(４～８桁の数字)を入力して■を押します。

3 動画／ｉモーションを選んで📷73[本体へ移動]を押し、移動方法を選ぶ。

動画／ｉモーションを１件移動する	1
フォルダ内のすべての動画／ｉモーションを移動する	操作２でフォルダを選ぶ→📷61→端末暗証番号(４～８桁の数字)を入力→■
複数の動画／ｉモーションをまとめて移動する	3→動画／ｉモーションを選ぶ■(くり返し可)→📷 ● すべてを選択／解除する場合は、[全選択]／[全解除]を押します。

- FOMA端末(本体)へ移動する場合は[ｉモード]フォルダに保存され、移動先選択はできません。

キャラ電プレーヤ

キャラ電とは

テレビ電話中、自分のカメラ映像の代わりにキャラクタを相手へ送信できます。さらに、キャラクタが音に反応して口を動かしたり(リップシンク対応データ)、お客様のボタン操作に従ってキャラクタの手足を上げたり、ダンスをするなど、さまざまなアクションをさせることができます。お好きなキャラクタをダウンロードし、そのキャラ電を撮影した静止画･動画ファイルを待受画像に設定したり、メールに添付して送ることもできます。(メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像ファイル･動画ファイルは送信できません。)キャラ電やアクションは、キャラ電プレーヤでいつでも確認したり、撮影することが可能です。

- キャラ電は、FOMA端末にあらかじめ登録されている他、サイトやインターネットホームページからダウンロードできます。(☞P.210)
- テレビ電話中(☞P.88)、キャラ電再生中、キャラ電撮影中(☞P.319)のキャラクタ操作では、ボタン確認音は鳴りません。

キャラ電を再生する＜キャラ電プレーヤ＞

データBOXのキャラ電に保存されているキャラ電を再生できます。またアクションを実行することもできます。

1 待受画面で■914を押す。

- 詳細メニューから(データBOX)→[キャラ電]の順に選択することもできます。

2 フォルダを選んで■を押す。

- 次のページを表示するときは、前のページを表示するときはを押します。

キャラ電一覧画面

データ表示／編集／管理／音楽再生

キャラ電プレーヤ

次ページへ続く

3 キャラ電を選んで■を押す。

- キャラ電が再生されます。
- アクションモードを切り替えるときは、■または■を押します。全体アクションモードとパーツアクションモードが交互に切り替わります。
- アクションをさせるときは、■または■を押し、アクションを選んで■を押すか、表示されているアクションの番号(1～9)を押します。アクション一覧を表示せずに、直接アクションの番号を押してアクションをさせることもできます。
- あらかじめ登録されているキャラ電のアクションについては、P.88を参照してください。

アクションモードマーク

アクションモードマークの見かた

■：全体アクションモード
■：パーツアクションモード

お知らせ

キャラ電プレーヤでキャラ電を表示中のボタン操作

■／■	■	■／■
アクションモード切替	画面サイズ切替(☞P.318)	アクション一覧(☞P.319)
■	1～9	0
サブメニュー表示	アクション操作(☞P.318)	アクション中止(☞P.319)

■ 画面サイズを変更する<画面サイズ切替>

キャラ電を表示する画面サイズを変更できます。

- お買い上げ時は、[拡大]に設定されています。

等倍

拡大

1 キャラ電再生中(☞**P.318の操作3**)に■[等倍]を押す。

- 拡大サイズに戻すときは、■を押します。

関連操作

再生時の照明を設定する<バックライト点灯時間>

1 キャラ電再生中に■■1
- キャラ電一覧画面から設定するとき：■72

2 常にONにするときは2
- 照明設定に従うとき：1

キャラ電をテレビ電話代替画像に設定する<テレビ電話代替画像>

キャラ電再生中に■1または■31
- キャラ電一覧画面から設定するとき：キャラ電を選ぶ▶■31

関連操作

電話帳に設定する<電話帳代替画像>

1 再生中に■2または■32
- キャラ電一覧画面から設定するとき：キャラ電を選ぶ▶■32

2 1[本体新規登録]
- 上書き登録するとき：2

関連操作のお知らせ

バックライト点灯時間について
- お買い上げ時は、[照明設定に従う]に設定されています。(☞P.185)

代替画像設定について
- 設定されたキャラ電には、[■]が表示されます。

■ キャラ電を代替画像として電話をかける<キャラ電発信>

お好みのキャラ電を選んで代替画像としてテレビ電話をかけることができます。

1 待受画面で■914を押し、フォルダを選んで■を押し、キャラ電を選んで■6[キャラ電発信]を押す。

- 再生中に発信するときは、■5[キャラ電発信]を押します。

2 入力方法を選び、テレビ電話をかける。

電話帳を利用してかける	1→相手を選ぶ→■→■
電話番号を直接入力してかける	2→電話番号を入力→■

キャラ電を操作する

■ キャラ電にアクションをさせる

テレビ電話中やキャラ電再生中に、キャラ電にアクションをさせることができます。

- 全体アクションモードにすると、喜ぶや怒るなどの感情を選ぶことができます。
- パーツアクションモードにすると、体の一部を動かしたり、ジャンプやダンスなどをさせることができます。
- パーツアクションの中には、別のアクションと組み合わせて実行できるものもあります。
- キャラ電によっては、マイクからの音に合わせて口を動かすことができます。
- アクションの種類は、キャラ電により異なります。
- キャラ電によっては、アクションしないものがあります。

1 待受画面で■914を押し、フォルダを選んで■を押し、キャラ電を選んで■を押す。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

2 [アクションリスト]または[・]を押し、アクションを選んで[■]を押す。

- アクションリストの詳細を表示するときは、[ ]を押します。
- 表示されているアクションの番号([1]〜[9])を押すこともできます。アクション一覧を表示せずに、直接アクションの番号を押してアクションさせることもできます。

- あらかじめ登録されているキャラ電のアクションについては、P.88を参照してください。
- アクションを中止するときは、[0]を押します。

お知らせ

- キャラ電の種類によっては、操作しなくてもアクションを行う場合があります。

キャラ電を撮影する<キャラ電撮影>

キャラ電を画像として撮影できます。

- マナーモード設定中、シャッター音は鳴りません。

静止画を撮る

キャラ電を撮影し、静止画として保存します。

- キャラ電で撮影した静止画はデータBOXのマイピクチャの[カメラ撮影]フォルダに保存されます。
- 撮影できるサイズは「QCIF:176×144」です。

1 待受画面で[■][9][1][4]を押し、フォルダを選んで[■]を押し、キャラ電を選んで[■]を押し、[📷][1][1][キャラ電撮影]を押す。

2 [2][静止画]を押す。

- 動画撮影に切り替えるときは、[📷][1][1]を押します。
- 画質を変更するときは、[📷][2]を押し、画質の種類を選んで[■]を押します。
- キャラ電を切り替えるときは、[📷][3]を押し、フォルダを選んで[■]を押し、使用するキャラ電を選んで[ ]を押します。

- 画面サイズを切り替えるときは、[ ]を押して[等倍]と[拡大]を切り替えます。
- 保存先を切り替えるときは、あらかじめminiSDメモリーカードを装着し、[📷][6]を押します。

3 [■][📷]を押し、[■][保存]を押す。

- 撮影したいアクションをさせた直後に[■]を押して撮影できます。
- 撮影したキャラ電をメールに添付してメールを作成するときは、[ ]を押します。詳しくは、P.229の操作2〜4を参照してください。

動画を撮る

キャラ電を撮影し、動画として保存します。

- キャラ電を撮影した動画は、データBOXのｉモーションの[カメラ撮影]フォルダに保存されます。
- 撮影できるサイズは「QCIF:176×144」です。

1 待受画面で[■][9][1][4]を押し、フォルダを選んで[■]を押し、キャラ電を選んで[■]を押し、[📷][1][1][キャラ電撮影]を押す。

2 [1][動画]を押す。

- 静止画撮影に切り替えるときは、[📷][1][2]を押します。
- 画質を変更するときは、[📷][2][1]を押し、画質の種類を選んで[■]を押します。

- ファイルサイズ制限を設定するときは、[📷][2][2]を押し、[1][メール用(短)]／[2][メール用(長)]／[3][制限なし]を押します。
- キャラ電を切り替えるときは、[📷][3]を押し、フォルダを選んで[■]を押し、使用するキャラ電を選んで[ ]を押します。
- 画面サイズを切り替えるときは、[ ]を押して[等倍]と[拡大]を切り替えます。
- バックライトの点灯時間を設定するときは、[📷][6]を押し、[1][照明設定に従う]または[2][常にON]を押します。
- 映像・音声を切り替えるときは、[📷][2][3]を押し、[1][映像＋音声]または[2][映像のみ]を押します。
- 保存先を切り替えるときは、あらかじめminiSDメモリーカードを装着し、[📷][7]を押します。

3 [■][録画]を押す。

- アクション一覧表示中も録画は継続されていますが、録画残時間表示が更新されないことがありますので、ご注意ください。

4 [■][停止]を押す。

- 録画を停止します。
- 録画残時間表示が0:00:00になったときは、自動的に撮影は停止します。また、録画残時間表示は目安であり、撮影対象により0:00:00より以前に撮影が自動的に停止する場合もあります。

5 保存する。

保存する	[1]
ｉモードメールに添付してメール作成する	[2]→ｉモードメール作成・送信 ● 動画は自動的に保存されます。 ● 詳しくは、P.229の操作2〜4を参照してください。
再生する	[3]
保存しない	[4]→[はい]→[■]

お知らせ

- キャラ電の動画撮影中は**ボタン確認音**は鳴りませんが、ボタン操作音が録音されることがあります。

フォルダを管理する

■ フォルダを作成する<フォルダ新規作成>

1 待受画面で■914を押し、📷11[フォルダ新規作成]を押す。

2 フォルダ名を入力して■を押す。
- 「新しいフォルダ」名を削除するときは、CLR(1秒以上)を押します。

お知らせ
- フォルダ名は最大全角9文字(半角18文字)まで入力できます。

■ フォルダ名を編集する<フォルダ名編集>

1 待受画面で■914を押し、フォルダを選んで📷12[フォルダ名編集]を押す。

2 フォルダ名を編集して■を押す。
- フォルダ名を削除するときはフォルダ名編集画面でCLR(1秒以上)を押します。

お知らせ
- 緑色のフォルダ以外は変更できません。

■ フォルダを削除する<削除>

1 待受画面で■914を押し、フォルダを選んで📷2[削除]を押す。

2 削除方法を選ぶ。

フォルダを1件削除する	1→端末暗証番号(4〜8桁の数字)を入力→■→[はい]→■
複数のフォルダをまとめて削除する	2→フォルダを選ぶ■(くり返し可)→📷→端末暗証番号(4〜8桁の数字)を入力→■→[はい]→■ ● すべてを選択/解除する場合は、i[全選択]/i[全解除]を押します。
フォルダは残してすべてのキャラ電を削除する	3→端末暗証番号(4〜8桁の数字)を入力→■→[はい]→■
すべてのフォルダとキャラ電を削除する	4→端末暗証番号(4〜8桁の数字)を入力→■→[はい]→■

お知らせ
- 緑色のフォルダ以外は削除できません。

キャラ電を管理する

キャラ電のタイトル編集や削除、並べ替えなどができます。

■ タイトルを変更する<タイトル編集>

1 待受画面で■914を押し、フォルダを選んで■を押す。

2 キャラ電を選んで📷12を押し、1[直接入力]を押す。
- 元のタイトルに戻すときは、2を押します。

3 タイトルを編集して■を押す。
- タイトルを削除するときは、CLRを1秒以上押します。

お知らせ
- 最大全角25文字(半角50文字)まで入力できますが、各表示画面でのタイトル表示は、最大全角7文字(半角14文字)です。全角7文字(半角14文字)を超える場合は、全角6文字(半角12文字)まで表示され、以降は「…」の表示となります。

■ キャラ電を並べ替える<ソート>

一覧の表示順番を、次のいずれかに変更できます。

日付順(新→旧)	保存した日付の新しい順
日付順(旧→新)	保存した日付の古い順
タイトル名順	タイトルによって、(半角数字→半角英大文字→半角英小文字→ひらがな→全角カタカナ→漢字→絵文字1→絵文字2→全角数字→全角英大文字→全角英小文字→半角カタカナ)の順
ファイル取得元順	取得元によって、空白→iモードの順
サイズ順(大→小)	サイズの大きい順
サイズ順(小→大)	サイズの小さい順

- お買い上げ時は、[日付順(新→旧)]に設定されています。

1 待受画面で■914を押し、フォルダを選んで■を押し、📷71[ソート]を押す。

2 ソート方法を選んで■を押す。

■ キャラ電を別のフォルダへ移動する<移動>

1 待受画面で■914を押し、フォルダを選んで■を押す。

2 キャラ電を選んで📷5[移動]を押す。

3 移動方法を選ぶ。

キャラ電を1件移動する	1→フォルダを選ぶ→■

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

複数のキャラ電をまとめて移動する	2→キャラ電を選ぶ■(くり返し可)→📷→フォルダを選ぶ→■ ● すべてを選択／解除する場合は、[全選択]／[全解除]を押します。
フォルダ内のすべてのキャラ電を移動する	3→端末暗証番号(4〜8桁の数字)を入力→■→フォルダを選ぶ→■

■ 詳細情報を表示する<情報表示>

表示される情報は次のとおりです。

- ■ 保存日時
- ■ 表示サイズ
- ■ ファイルサイズ
- ■ ファイル制限［あり／なし］
- ■ 電話帳設定［ON／OFF］
- ■ テレビ電話設定［ON／OFF］
- ■ ファイル名
- ■ オリジナルタイトル
- ■ 撮影後ファイル制限［あり／なし］
- ■ 取得元

1 待受画面で■9 1 4を押し、フォルダを選んで■を押す。

2 キャラ電を選んで📷4［情報表示］を押す。

● 確認を終わるときは、■またはCLRを押します。

お知らせ

● 撮影後ファイル制限とは、キャラ電撮影により作成された静止画／動画のメールへの添付、miniSDメモリーカードへの保存、編集などを規制するかどうかを表したものです。

■ キャラ電を削除する<削除>

1 待受画面で■9 1 4を押し、フォルダを選んで■を押す。

2 キャラ電を選んで📷2［削除］を押す。

3 削除方法を選ぶ。

キャラ電を1件削除する	1→［はい］→■
複数のキャラ電をまとめて削除する	2→キャラ電を選ぶ■(くり返し可)→📷→［はい］→■ ● すべてを選択／解除する場合は、[全選択]／[全解除]を押します。
フォルダ内のすべてのキャラ電を削除する	3→端末暗証番号(4〜8桁の数字)を入力→■→［はい］→■

お知らせ

● 全件削除すると、お買い上げ時に登録されているキャラ電も含めてすべて削除されます。

● お買い上げ時に登録されているキャラ電を削除後にもう一度ご利用になる場合は、i Menu内のサイト［SH-MODE］からダウンロードできます。(☞P.210)

メロディプレーヤ

メロディを再生する

サイトやインターネットホームページからダウンロードしたｉメロディや、メッセージR／Fやｉモードメールに添付されているメロディは、データBOXのメロディに保存され、メロディプレーヤで再生できます。

1 待受画面で■9 1 3を押す。

● 詳細メニューから(データBOX)→［メロディ］の順に選択することもできます。

● miniSDメモリーカード内のメロディを確認するときは、［→miniSD］を選択します。再びFOMA端末(本体)のメロディを確認するときは、［→本体］を選択します。

2 フォルダを選んで■を押す。

● 次のページを表示するときは、前のページを表示するときはを押します。

3 メロディを選んで■［再生］を押す。

● 選んだメロディが再生されます。

● 再生中に■を押すと、停止し、メロディ一覧画面に戻ります。

お知らせ

● 一部再生できないメロディがありますので、ご了承ください。

データ**BOX**のメロディに保存したメロディは、パソコンをお持ちの場合、**miniSD**メモリーカード(☞**P.323**)を利用してパソコンに転送・保管することをおすすめします。

● FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、データBOXのメロディに登録してあるメロディが消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

● メロディを着信音に設定できます。(☞P.322)

● 現在のメロディの参照先(FOMA端末(本体)またはminiSDメモリーカード)は、メロディプレーヤをいったん終了しても記録され、次回、メロディプレーヤを起動したときにも同じ参照先となります。

関連操作

音量を調節する<音量設定>

P.321の操作2の画面で📷7 3▶(上げる)／(下げる)▶■

関連操作のお知らせ

音量設定について

● お買い上げ時は、［音量5］に設定されています。

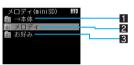
データ表示／編集／管理／音楽再生　メロディプレーヤ

メロディフォルダ一覧画面の見かた

FOMA端末(本体)

1 miniSDメモリーカードのフォルダ一覧画面を表示
2 サイトやインターネットホームページ、メッセージR/Fやiモードメールで取得したメロディ用フォルダ
3 バーコードリーダーやminiSDメモリーカード、赤外線通信、FOMA USB接続ケーブル(別売)を利用して入手したメロディ用フォルダ
4 あらかじめFOMA端末に内蔵されているメロディ用フォルダ
5 お客様が作成できるメロディ用フォルダ(☞P.332)

miniSDメモリーカード

miniSDメモリーカードを挿入しているとき、メロディフォルダ一覧画面で[→miniSD]を選択するか[メニュー][6][本体⇔miniSD切替]を押すと、miniSDメモリーカード内のフォルダが表示されます。

1 FOMA端末(本体)のフォルダ一覧画面を表示
2 あらかじめ用意されているメロディ用フォルダ
3 お客様が作成できるメロディ用フォルダ(☞P.329)

■ メロディマークの見かた

	SMF	MFi
マーク	SMF	MFi

- FOMAカード動作制限機能が設定されたメロディには、[ ]が表示されます。
- 着信音などに設定したメロディには、[ ]が表示されます。
- iモードなどでダウンロードしたメロディには[ ]が、バーコードリーダーやminiSDメモリーカード、赤外線通信、FOMA USB接続ケーブル(別売)を利用して取得したメロディには[ ]が表示されます。
- メール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されているメロディには、[ ]が表示されます。

連続再生する<連続再生>

指定したフォルダ内のすべてのメロディを連続して再生できます。

1 待受画面で[●][9][1][3]を押し、フォルダを選んで[メニュー][3][連続再生]を押す。

途中で次のメロディにスキップする	[→]
現在のメロディの先頭に戻る	[←] ● メロディの先頭でもう一度[←]を押すと、1つ前のメロディに戻ります。

メロディの演奏部分を指定する<開始位置選択>

メロディの指定されている部分だけを演奏できます。
- 演奏部分は、あらかじめ指定されている部分が決まっていて、変更できません。

1 待受画面で[●][9][1][3]を押し、フォルダを選んで[●]を押し、[メニュー][7][1][開始位置選択]を押す。

2 再生方法を選ぶ。

メロディを全部演奏する[フルコーラス再生]	[1]
メロディを一部演奏する[ポイント再生]	[2]

お知らせ
- [ポイント再生]に設定しても、開始位置が指定されていないメロディの場合はフルコーラス再生されます。

メロディを添付してiモードメールを送信する

データBOXのメロディからメロディ(SMF)を選択し、iモードメールに添付して送信できます。
- 送信できるメロディのサイズは最大10000バイトです。これを超えるサイズは添付できません。

1 待受画面で[●][9][1][3]を押し、フォルダを選んで[●]を押し、メロディを選んで[メール][メール]を押す。
- メール作成画面が表示され、選択したメロディファイルが添付されます。

2 iモードメールを作成し、送信する。
- 詳しくは、P.229の操作2～4を参照してください。

お知らせ
- 相手の機種がFOMA SH900iより前に発売された機種の場合、送ったメロディを正しく再生できないことがあります。
- ファイル形式がMFiのメロディ、メールに添付されたメロディ、iモードでダウンロードしたメロディやiアプリから取得したファイル制限ありのSMFのメロディは一部、iモードメールに添付できないものがあります。

メロディを着信音などに設定する<音設定>

データBOXのメロディに保存されているメロディは、着信音などに設定できます。

1 待受画面で[●][9][1][3]を押し、フォルダを選んで[●]を押し、メロディを選んで[文字][音設定]または[メニュー][3][音設定]を押す。

2 項目を選んで[●]を押す。

データ表示/編集/管理/音楽再生
メロディプレイヤ

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

miniSDメモリーカードについて

FOMA端末では、miniSDメモリーカードを利用できます。miniSDメモリーカードは、SDメモリーカードをさらに小型化したメモリーカードです。FOMA端末内の電話帳やメール、ブックマークなどのデータをminiSDメモリーカードに保存したり、miniSDメモリーカード内のデータをFOMA端末（本体）に取り込むことができます。また、FOMA端末からminiSDメモリーカード内のデータを閲覧できます。miniSDメモリーカードに保存できる静止画撮影枚数、動画撮影時間、音声録音時間の目安については、P.448を参照してください。
miniSDメモリーカードアダプタを利用すると、SDメモリーカード対応パソコンやプリンタなどでも利用できます。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードおよびminiSDメモリーカードアダプタをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
miniSDメモリーカードをお使いになるときは、次のことにご注意ください。

- FOMA端末の電源を入れたままの状態でminiSDメモリーカードを取り付けたり、取り外したりしないでください。データが壊れたり、正常に動作しなくなることがあります。
- miniSDメモリーカードは正しく挿入してください。正しく挿入していないと、使用できません。
- miniSDメモリーカードを挿入したときに、[miniSDが使用中です]または[miniSD認識中]と表示されることがあります。この場合は、しばらくたってからご使用ください。
- FOMA SH902iSLでは、2Gバイトまでのminiメモリーカードに対応しています。（2006年12月現在）
- miniSDメモリーカードの最新対応状況については、FOMA端末からの場合：[ｉMenu]→[メニュー／検索]→[ケータイ電話メーカー]→[SH-MODE]
パソコンからの場合：http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh902isl/をご覧ください。
- FOMA SH902iSLでは、サイトから取得した、FOMA端末外への出力が禁止されている動画／ｉモーションをminiSDメモリーカードに移動できます。ただし、IP（サービス提供者）が許可していない場合は保存できません。
- miniSDメモリーカードや他の機器でフォーマットしたminiSDメモリーカードなどをお使いの場合は次の点にご注意ください。
  - ■ FOMA端末に挿入するとFOMA端末でご使用いただくための情報を書き込みます。使用するminiSDメモリーカードによっては、書き込み時間が長くなる場合があります。（最大約30秒）
その間にminiSDメモリーカードを取り外したり、電源を切らないでください。データが壊れたり、正常に動作しなくなることがあります。
  - ■ パソコンなどでフォーマットしたminiSDメモリーカードは、FOMA端末では正常に使用できない場合があります。FOMA端末でフォーマットしたminiSDメモリーカードを使用することをおすすめします。フォーマットの操作については、P.329を参照してください。
フォーマットすると元のデータが消えてしまいますので、ご注意ください。
- miniSDメモリーカード内のデータ編集中に、miniSDメモリーカードを抜き差ししないでください。また、データ編集中にFOMA端末やminiSDメモリーカードを挿入した機器の電源を切らないでください。データが壊れたり正常に動作しなくなることがあります。
- 他の機器からminiSDメモリーカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できない場合があります。また、FOMA端末からminiSDメモリーカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できない場合があります。
- 他のFOMA端末やパソコンなどで使用していたminiSDメモリーカードをFOMA SH902iSLに挿入した場合、使用できないことがあります。不要なデータを削除してから、再度挿入してください。
- SD-Jukeboxを利用してminiSDメモリーカードに音楽データを保存するときは、FOMA USB接続ケーブル（別売）でFOMA端末とパソコンを接続して保存するか、著作権保護機能対応のSDメモリーカードスロット付パソコンやSDメモリーカードリーダーライターを利用して保存します。
- miniSDメモリーカードに保存されたデータはバックアップをとるなどして別に保管してくださるようお願いします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

miniSDメモリーカードの取り付けかた／取り外しかた

■ miniSDメモリーカードを挿入する

FOMA端末の電源を切ってからminiSDメモリーカードを取り付けてください。

1 miniSDメモリーカードスロットのカバーを開いて引き出す。（1）

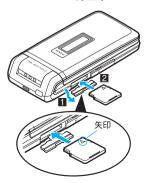
2 miniSDメモリーカードの矢印（▲）を図のように向けてゆっくりと挿入する。（2）

- miniSDメモリーカードが傾いたままで無理に押し込まないでください。miniSDメモリーカードスロットが破損することがあります。

3 「カチッ」と音がするまで、ゆっくり押し込む。（3）

- 指で押し込んでください。

4 miniSDメモリーカードスロットのカバーを閉じる。（4）

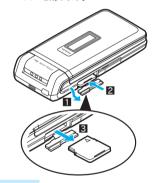
次ページへ続く

■ miniSDメモリーカードを取り外す

FOMA端末の電源を切ってからminiSDメモリーカードを取り外してください。

1 miniSDメモリーカードスロットのカバーを開いて引き出し(1)、miniSDメモリーカードを軽く押し込む。(2)

- 「カチッ」と音がするまで押し込んでください。miniSDメモリーカードが手前に飛び出します。無理に引き抜くと、FOMA端末やminiSDメモリーカードを破損させるおそれがあります。

2 miniSDメモリーカードを取り外す。(3)

- ゆっくりまっすぐに取り外してください。取り外したあと、miniSDメモリーカードスロットのカバーを閉じます。

お知らせ

- miniSDメモリーカードスロットを顔の方に向けて、挿入したり、取り外したりしないでください。急に指を離すとminiSDメモリーカードが飛び出し危険です。
- miniSDメモリーカードを取り外すときは、必ずminiSDメモリーカードを軽く押し込み「カチッ」と鳴ったことを確認したあと、miniSDメモリーカードを引き抜いてください。無理に引き抜くと、FOMA端末やminiSDメモリーカードを破損させるおそれがあります。
- FOMA端末から取り外したときは、必ずminiSDメモリーカードに付属の専用保護ケースに収納してください。
- 電源を入れた状態で、miniSDメモリーカードを取り付けたり、取り外した場合には、警告音が鳴ります。

miniSDメモリーカードの使用条件

FOMA端末(本体)のデータを、miniSDメモリーカードにコピーできます。
コピーには、1件コピー、全件コピー、選択コピーの方法があります。また、機能によっては、グループやフォルダなど分類内のデータをすべてコピーする方法もあります。

■ FOMA端末からminiSDメモリーカードにコピーできるデータ

機 能	件 数※1	1件/選択/全件コピー	グループ内全件コピー	フォルダ内全件コピー
電話帳※2	合わせて最大65535件	○	○	−
スケジュール※3※8		○	−	−
ToDoリスト※3		○	−	−
テキストメモ		○	−	−
ブックマーク		○	−	○※9
iモードメール/SMS※5※6		○	−	○
静止画※4※7	最大999フォルダ/1フォルダ最大400件(☞P.448)	○	−	○
動画※4	999フォルダ/1フォルダ最大400件(☞P.448)	○	−	○
メロディ※4	999フォルダ/1フォルダ最大400件	○	−	○
トルカ	21フォルダ/1フォルダ最大999件 合わせ最大1000件	○	−	○

※1 保存するデータの大きさや、miniSDメモリーカードの容量によっては、件数が少なくなる場合があります。
※2 シークレット設定、グループ番号、グループ名、メモリ番号、シークレットコード、指定着信音、指定メール着信音、キャラ電設定はコピーされません。電話帳で[画像転送設定]を[しない]に設定しているときは、ピクチャーコール設定もコピーされません。[画像転送設定]を[する]に設定しても、ファイル制限(FOMA端末外への出力制限)のあるデータはコピーされません。名前やフリガナ・電話番号・メールアドレスの登録場所が変わる場合があります。
※3 シークレット設定とアラーム時刻以外のアラーム情報はコピーされません。スケジュールでは、連絡先、画像設定の情報もコピーされません。
※4 ファイル制限(FOMA端末外への出力制限)のないデータのみコピーできます。
※5 miniSDメモリーカードにコピーしたメールは、返信したり、転送できますが、保護設定はできません。また、フォルダ情報はコピーされません。
※6 大容量添付ファイルやトルカが添付されている場合は、削除されてコピーされます。
※7 Flash画像、フレームはminiSDメモリーカードにコピーされません。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

※8　祝日設定はコピーされません。終了日時が入力されていないデータをコピーすると、終了日時に開始日時が設定されます。
※9　フォルダ情報はコピーされません。

お知らせ

- FOMA端末で撮影した静止画または動画は、FOMA端末（本体）またはminiSDメモリーカードに保存できます。
- miniSDメモリーカードにデータをコピーすると、管理情報もminiSDメモリーカードに書き込まれます。
- パソコンからminiSDメモリーカードへ直接ファイルをコピーしても、FOMA端末では表示されないことがあります。その場合はデータリンクソフトをご利用ください。データリンクソフトのダウンロードについては、P.426を参照してください。
- PIMロック中、ロックされているデータは操作できません。端末暗証番号（4〜8桁の数字）を入力すると、PIMロックが一時的に解除され、操作できるようになります。
- トルカをminiSDメモリーカードにコピーした場合、トルカ（詳細）取得前の状態でコピーされます。また、miniSDメモリーカード内のトルカからは詳細を取得できません。

ｉモードやｉアプリから取得したトルカについて
- トルカのデータサイズによっては、miniSDメモリーカードにコピーできない場合があります。

miniSD管理画面について

miniSD管理画面では、miniSDメモリーカード内のデータを参照したり、バックアップやフォーマットを行うなど、miniSDメモリーカード内のデータを管理・利用できます。また、FOMA端末をFOMA USB接続ケーブル（別売）でパソコンに接続し、miniSDリーダーライターとして利用することもできます。（☞P.330）

- miniSD管理画面は、■9 2 5を押して表示します。
- miniSDメモリーカード内のフォルダやファイル名などの情報は、「管理情報」と呼ばれる部分で管理されています。パソコンなどでminiSDメモリーカードを利用（データ編集や追加、削除など）した場合は、miniSDメモリーカードの管理情報を更新する必要があります。（☞P.330）管理情報が正しくない状態では、データの編集、保存や移動、コピーなどができない場合がありますので、ご注意ください。

miniSDメモリーカードのフォルダ構成

miniSD メモリーカード
- BOOK　ブックリーダーフォルダ
- DCIM　静止画フォルダ
  - xxxSHARP　撮影静止画用フォルダ
  - xxxSH_UF　ユーザ作成フォルダ
- MISC　DPOF設定ファイル用フォルダ
- SD_AUDIO※1　音楽データ用フォルダ
- SD_PIM　PIMデータ用フォルダ（電話帳、スケジュール／ToDoリスト、メール、テキストメモ、ブックマーク）
- SD_VIDEO　動画フォルダ
  - PRLxxx　撮影動画用フォルダ
- PRIVATE
  - DOCOMO
    - MMFILE　ボイスメモフォルダ・ｉモーション（音楽データ含む）
    - RINGER　メロディファイル用フォルダ
    - STILL　その他画像ファイル用フォルダ
    - TORUCA　トルカフォルダ
    - TABLE　管理情報フォルダ※2
  - SHARP
    - IMPORT　インポートフォルダ
    - VOICE　FOMA SH902iSより前に発売された機種で保存したボイスメモフォルダ・ｉモーション（音楽データ含む）
- SD_BIND
  - SVC00001※3　動画（移行可能コンテンツ）フォルダ
  - SVC00002　ｉアプリデータフォルダ

※1　お使いのパソコンの設定によっては表示されないことがあります。また、パソコンなどで直接「SD_AUDIO」フォルダ下のファイルの削除、変更、追加を行なわないでください。モバイルオーディオが正しく動作しない可能性があります。
※2　[TABLE]フォルダの下には[DCIM]、[MMFILE]、[RINGER]、[STILL]、[SD_VIDEO]、[TORUCA]それぞれについて、付加情報を格納するフォルダがあります。

次ページへ続く

※３ miniSDメモリーカード内の[移行可能コンテンツ]フォルダ内(SD_BINDフォルダ内)に保存されている動画／ｉモーションなどのファイルをパソコンで削除・移動・編集を行うと、[移行可能コンテンツ]フォルダ内の動画／ｉモーションを参照できなくなる場合があります。また、動画／ｉモーションを移動・削除・保存中にminiSDメモリーカードを抜いたり、電池パックを抜いたりした場合にも[移行可能コンテンツ]フォルダ内の動画／ｉモーションを参照できなくなる場合があります。その場合は、miniSDメモリーカードをFOMA SH902iSLでフォーマットしてください。(フォーマットを行うとminiSDメモリーカード内のデータはすべて消去されます。)

- フォルダ名「xxxSHARP」「xxxSH_UF」の「xxx」は、100〜999の３桁の半角数字になります。(「xxx」は変更できますが、000〜099に変更しても認識されません。)
- GIFアニメーションファイルは[STILL]フォルダに入り、それ以外のGIFファイルは[DCIM]フォルダに入ります。
- パソコンでフォルダ名の変更や削除をすると、FOMA端末でminiSDメモリーカードのデータを正しく表示できなくなります。

miniSDへコピー

FOMA端末からminiSDメモリーカードにコピーする

データの一覧画面や内容表示画面から、データをminiSDメモリーカードにコピーします。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。(☞P.323)

- 機能や画面によってサブメニューの番号は異なります。

例：電話帳の場合

1 待受画面で[文字]を押し、名前を選んで[メニュー][5][2][miniSDへコピー]を押す。

- 電話帳の内容を確認してからコピーするときは、内容表示画面で[メニュー][3][3]を押します。そのあと、[はい]を選んで[●]を押します。

2 コピー方法を選ぶ。

1件コピーする	[1]→[はい]→[●]
グループ内全件コピーをする	[2]→グループを選ぶ→[●]→端末暗証番号(4〜8桁の数字)を入力→[●]→[はい]→[●]
全件コピーする	[3]→端末暗証番号(4〜8桁の数字)を入力→[●]→[はい]→[●]
選択コピーする	[4]→名前を選ぶ[●](くり返し可)→[メニュー]→[はい]→[●] ● すべてを選択／解除する場合は、[i][全選択]／[i][全解除]を押します。

お知らせ

- データBOXの静止画、メロディ、動画／ｉモーションをminiSDメモリーカードにコピーする場合、コピー先のフォルダを選択できます。

お知らせ

- FOMA端末とminiSDメモリーカードの間で静止画、動画／ｉモーションをコピーすると、元の画像より画質が劣化したり、ファイルサイズが変わる場合があります。コピー先フォルダの静止画が400件を超えると新しいフォルダが自動的に作成され、新しいフォルダに画像が保存されます。
- miniSDを参照中の選択コピー、選択削除では、メール、電話帳、スケジュール、ToDo、ブックマーク、テキストメモのデータは50件まで選択可能です。
- FOMA端末に保存してあるJPEG画像をminiSDメモリーカードにコピーすると、画像のファイルサイズが大きくなります。FOMA端末のメモリが少ないと、元の画像を削除しても、miniSDメモリーカードにコピーした画像をFOMA端末にコピーして戻せない場合があります。
- FOMA端末で撮影可能な画像サイズや、撮影可能なファイルサイズよりも大きい画像は、コピーできない場合があります。
- コピーした項目を再度コピーすると別のデータとして保存されます。
- miniSDメモリーカードのメモリ使用状況によっては、コピーできない場合があります。

バックアップ／復元

FOMA端末(本体)のデータをバックアップする

FOMA端末の各機能(電話帳、メール、スケジュール、ToDoリスト、ブックマーク、テキストメモ)のデータを、miniSDメモリーカードにバックアップデータとして各機能ごとに１ファイルで保存できます。電話帳のバックアップ／復元では所有者情報も含んで転送されます。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。(☞P.323)

- 個人データのバックアップは、同一機種間またはminiSDメモリーカード対応FOMA端末などでの情報共有、または機種交換時の個人データの移動などの目的でご利用されることをおすすめします。
- 電池残量が少ない場合、バックアップできなかったり、正しくバックアップできないことがあります。充電しながら行うことをおすすめします。
- あらかじめ、日付・時刻を正しく設定しておいてください。(☞P.48)
- PIMロック中は、バックアップできません。
- ダイヤル発信制限中は、電話帳をバックアップできません。

FOMA端末→miniSDメモリーカードにバックアップする

1 待受画面で[●][9][2][5][2][1]を押し、機能を選んで[●]を押す。

- 詳細メニューから[LifeKit](LifeKit)→[miniSD管理]→[バックアップ／復元]→[miniSDへバックアップ]の順に選択することもできます。
- [メール]を選んだときは、メール内の分類が表示されます。バックアップするメールを選んで[●]を押します。
- [Bookmark]を選んだときは、[ｉモード]または[フルブラウザ]を選んで[●]を押します。

データ表示／編集／管理／音楽再生　miniSDへコピー

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

2 端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力して■を押し、［はい］を選んで■を押す。

- バックアップが終了すると、［バックアップ完了しました］と表示されます。

お知らせ

- miniSDメモリーカードのメモリ使用状況によっては、転送できない場合もあります。
- バックアップされたデータは、他のFOMA端末で読み込んでも利用できないことがあります。
- 電話帳でバックアップされないのは次の設定です。
  - ■ シークレットコード　■ 指定着信音
  - ■ 指定メール着信音　■ キャラ電

  名前やフリガナ・電話番号・メールアドレスの登録場所が変わる場合があります。
- 電話帳で［画像転送設定］を［する］に設定している場合、ピクチャーコールに設定した画像もバックアップされます。バックアップされる画像は、本FOMA端末でカメラ撮影した静止画、動画およびそれらを編集したものです。
- スケジュール・ToDoリストでは、アラーム時刻以外のアラーム情報はバックアップされません。スケジュールでは、連絡先、画像設定の情報もバックアップされません。
- ToDoリストをバックアップすると、シークレット登録したデータが通常のデータとして保存されますので、ご注意ください。
- メールでは、i アプリ To、フォルダ情報はバックアップされません。
- FOMAカード内の電話帳・SMSはバックアップされません。

■ miniSDメモリーカード→FOMA端末にバックアップデータを読み込む

miniSDメモリーカードからFOMA端末にバックアップデータを読み込みます。

- FOMA端末内のデータを残したまま追加する方法と、FOMA端末内のデータを消去して書き込む方法があります。
- 電池残量が少ない場合は実行できません。電池残量を確かめてから操作してください。

1 待受画面で■ 9 2 5 2 2 を押し、機能を選んで■を押す。

- 詳細メニューから（LifeKit）→［miniSD管理］→［バックアップ／復元］→［本体へ復元］の順に選択することもできます。
- 選んだ機能のバックアップデータが表示されます。該当するデータがないときは、［miniSDデータがありません］と表示されたあと、操作1の画面に戻ります。
- 本FOMA端末でバックアップしたデータ名には、バックアップした日付が付いています。

  例：2006年8月22日午後1時5分の場合→［datagr060822_1305］
- ［メール］を選んだときは、メール内の分類を選んで■を押すと、メールのバックアップリスト表示画面が表示されます。
- ［Bookmark］を選んだときは、［i モード］または［フルブラウザ］を選んで■を押します。
- バックアップデータの内容を確認するときは、バックアップデータを選んで 2 を押します。
- バックアップデータの情報を確認するときは、バックアップデータを選んで 3 を押します。タイトル、ファイル形式、ファイル名、場所、ファイル制限、保存日時が表示されます。

2 バックアップデータを選んで■を押し、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力して■を押す。

3 ［追加］を選んで■を押す。

- バックアップデータの読み込みが終了すると、［復元完了しました］と表示されます。
- FOMA端末のデータに上書きするときは、［上書き］を選んで■を押してから、［はい］を選んで■を押します。電話帳にバックアップデータを上書きする場合、所有者情報については、ご契約の電話番号を除いて上書きされます。また、電話帳のグループ名も上書きされ、上書き対象でないグループ設定は初期化されますので、ご注意ください。

お知らせ

- メールとブックマークにはフォルダの情報が保存されていないため、受信メールは［受信トレイ］に、送信メールは［送信トレイ］に、ブックマークは［Bookmark］フォルダに保存されます。
- メールについては、転送に時間がかかる場合があります。

■ バックアップデータを削除する

1 待受画面で■ 9 2 5 2 2 を押し、機能を選んで■を押す。

- 詳細メニューから（LifeKit）→［miniSD管理］→［バックアップ／復元］→［本体へ復元］の順に選択することもできます。
- ［メール］を選んだときは、メール内の分類を選んで■を押すと、メールのバックアップリスト表示画面が表示されます。
- ［Bookmark］を選んだときは、［i モード］または［フルブラウザ］を選んで■を押します。

2 データを選んで 1［削除］を押し、削除方法を選ぶ。

データを1件削除する	1→［はい］→■
複数のデータをまとめて削除する	2→データを選ぶ■（くり返し可）→→［はい］→■
フォルダ内のすべてのデータを削除する	3→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→■→［はい］→■

miniSDデータ参照

miniSDメモリーカードのデータをプレビューする

miniSDメモリーカードにコピーしたデータは、各機能の画面またはminiSD管理画面から確認できます。miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。（☞P.323）

各機能の画面から確認する

miniSDメモリーカード内のデータの確認は、各データの一覧画面から操作できます。

例：電話帳の場合

1 待受画面でを押し、[miniSDデータ参照]を押す。

- miniSDメモリーカード内のデータが表示されます。FOMA端末（本体）のデータと同様に確認できます。
- バックアップデータを選んでを押すと、miniSDメモリーカードにバックアップしたデータの内容を確認できます。
- 該当するデータがないときは、[miniSDデータがありません]と表示されたあと、元の画面に戻ります。

miniSD管理画面から確認する

1 待受画面でを押し、機能を選んでを押す。

- 詳細メニューから(LifeKit)→[miniSD管理]→[miniSDデータ参照]の順に選択することもできます。
- 選んだ機能内のデータがリスト形式で表示されます。該当するデータがないときは、[miniSDデータがありません]と表示されたあと、元の画面に戻ります。
- [メール]を選んだときは、メール内の分類が表示されます。参照するメールを選んでを押します。
- データを削除するときは、を押し、[削除]を選んでを押します。削除方法を選んでを押したあと、画面の指示に従って操作してください。（基本的な操作方法は、電話帳などと同様です。）
- FOMA端末（本体）へコピーするときは、を押し、[本体へコピー]を選んでを押します。コピー方法を選んでを押したあと、画面の指示に従って操作してください。バックアップ／復元（P.326）で作成されたデータはコピーできません。
- データ情報を確認するときは、を押し、[情報表示]を選んでを押します。

2 データを選んでを押す。

- データ表示中の操作については、各機能の説明ページを参照してください。

お知らせ

- miniSDメモリーカード内のブックマーク一覧画面では、ｉモードのブックマークとフルブラウザのブックマークが混在して表示されます。ｉモードのブックマークには[]が、フルブラウザのブックマークには[]が表示されます。

本体へコピー

miniSDメモリーカードからFOMA端末にコピーする

miniSDメモリーカードに保存されている各データを、FOMA端末（本体）にコピーできます。1件コピー、全件コピー、選択コピーの方法があります。
miniSDメモリーカードからのコピーは、各データのリスト画面から操作します。

miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。（P.323）

- 機能や画面によってサブメニューの番号は異なります。

例：電話帳の場合

1 待受画面でを押し、[miniSDデータ参照]を押す。

2 データを選んで[本体へコピー]を押し、コピー方法を選ぶ。

1件コピーする	→[はい]→
選択コピーする	→名前を選ぶ（くり返し可）→→[はい]→
全件コピーする	→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→→[はい]→

- 電話帳をコピーしたときは、[プッシュトーク電話帳に登録しますか？]と表示されます。登録するときは[はい]を選んでを押します。電話番号が複数登録されているときは、電話番号を選択します。

お知らせ

- miniSD管理画面でデータを確認中にコピーすることもできます。
- miniSDメモリーカードにバックアップしたデータをコピーするには、miniSDメモリーカードからの読み込み（P.327）を行ってください。ただし、バックアップされたデータでも詳細画面を表示させた場合は、そのデータに限り本体へコピーすることができます。

電話帳をコピーするとき

- 名前が未登録のデータがコピーされたときは[No Name]と表示されます。

ブックマークをコピーするとき

- [同じURLは上書きされます　よろしいですか？]と表示されます。現在のデータに上書きするときは、[はい]を選択します。
- FOMA端末（本体）のｉモードのブックマークとフルブラウザのブックマークのどちらかが最大件数まで保存されているときに、miniSDメモリーカードに保存されているブックマークを選択コピーまたは全件コピーする場合、最大件数まで保存されている方のブックマーク以降のブックマークはコピーされません。

miniSDメモリーカードの管理について

データBOXのマイピクチャ、ｉモーション、メロディ、トルカ、ブックリーダーは、miniSDメモリーカード内のデータを管理するために、フォルダの作成や削除、フォルダ名の編集を行うことができます。データの詳細情報を表示したり、静止画をプリント指定することもできます。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。（P.323）

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.323）

- miniSDメモリーカード内には、1つのフォルダに最大400件までのファイルを保存できます。フォルダやデータについては、P.324～P.325を参照してください。

miniSDメモリーカードをフォーマットする<フォーマット>

フォーマット（初期化）されていないminiSDメモリーカードを使うときは、FOMA端末でフォーマットする必要があります。

- フォーマットすると、miniSDメモリーカード内のすべてのデータが消去されますので、ご注意ください。
- 電池残量が少ない場合は実行できません。電池残量を確かめてから操作してください。
- パソコンなどでフォーマットしたminiSDメモリーカードは、FOMA端末では正常に使用できない場合があります。FOMA端末でフォーマットしたminiSDメモリーカードを使用することをおすすめします。
- フォーマットを中止すると、miniSDメモリーカードがパソコンなどで認識されなくなりますので、ご注意ください。

1 待受画面で■ 9 2 5 5を押す。
- 詳細メニューから(LifeKit)→[miniSD管理]→[フォーマット]の順に選択することもできます。

2 端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力して■を押し、[はい]を選んで■を押す。
- フォーマットが終了すると、[フォーマットしました]と表示されます。

お知らせ

- 実行中は、miniSDメモリーカードを抜かないでください。

フォルダを管理する

フォルダを作成する<フォルダ新規作成>

例：マイピクチャの場合

1 待受画面で■ 9 1 1を押し、[→miniSD]を選んで■を押し、📷 1 1[フォルダ新規作成]を押す。

2 作成するフォルダを選ぶ。

カメラフォルダ	1
その他静止画	2

3 フォルダ名を入力して■を押す。
- 「新しいフォルダ」名を削除するときは、CLR（1秒以上）を押します。

お知らせ

- miniSDメモリーカードの空き容量がない場合、miniSDメモリーカード内にフォルダを新規作成することはできません。
- フォルダ名は最大全角9文字（半角18文字）まで入力できます。[移行可能コンテンツ]フォルダ内のフォルダ名は、最大全角10文字（半角20文字）まで入力できます。ブックリーダーのフォルダ名は、全角・半角を問わず最大64文字まで入力できます。

フォルダ名を編集する<フォルダ名編集>

例：マイピクチャの場合

1 待受画面で■ 9 1 1を押し、[→miniSD]を選んで■を押し、フォルダを選んで📷 1 2[フォルダ名編集]を押す。

2 フォルダ名を編集して■を押す。
- フォルダ名を削除するときはフォルダ名編集画面でCLR（1秒以上）を押します。

フォルダを削除する<削除>

例：マイピクチャの場合

1 待受画面で■ 9 1 1を押し、[→miniSD]を選んで■を押す。

2 フォルダを選んで📷 2[削除]を押す。

3 削除方法を選ぶ。

フォルダを1件削除する	1→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→■→[はい]→■
複数のフォルダをまとめて削除する	2→フォルダを選ぶ■（くり返し可）→📷→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→■→[はい]→■ ● すべてを選択／解除する場合は、[全選択]／[全解除]を押します。
フォルダは残してすべてのデータを削除する	3→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→■→[はい]→■
すべてのフォルダおよびデータを削除する	4→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→■→[はい]→■

お知らせ

- miniSD管理画面でデータを確認中に削除することもできます。（☞P.328）
- iモーションの[移行可能コンテンツ]フォルダ内の先頭に表示されるフォルダは、自動的に作成されるフォルダであり、フォルダ削除を行っても削除されません。

データを管理する

データの詳細情報を表示する<情報表示>

例：電話帳の場合

1 待受画面で📖を押し、📷 3[miniSDデータ参照]を押し、📷 3[情報表示]を押す。
- 確認を終わるときは■を押します。

お知らせ

- 機能や画面によってサブメニューの番号は異なります。
- miniSD管理画面でデータを確認中に情報表示することもできます。（☞P.328）

■ データを削除する<削除>

例：電話帳の場合

1 待受画面で[文字]を押し、[カメラ][メニュー][3]［miniSDデータ参照］を押す。

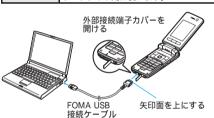
2 データを選んで[カメラ][1]［削除］を押す。

3 削除方法を選ぶ。

データを1件削除する	[1]→［はい］→[■]
複数のデータをまとめて削除する	[2]→名前を選ぶ[■]（くり返し可）→[i]→［はい］→[■]
フォルダ内のすべてのデータを削除する	[3]→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→[■]→［はい］→[■]

miniSDリーダーライターとして使う <USBモード設定>

FOMA端末をFOMA USB接続ケーブル（別売）でパソコンに接続し、miniSDメモリーカードのデータの読み込みや書き込みをすることができます。

通信モード	外部接続端子をパケット通信、64Kデータ通信、データの送受信（OBEX）用に使います。（☞P.390）
miniSDモード	外部接続端子をminiSDメモリーカードのリードライト用に使います。

お買い上げ時設定（通信モード）

1 待受画面で[■][9][2][5][6]を押す。
- 詳細メニューから[LifeKit]（LifeKit）→［miniSD管理］→［USBモード設定］の順に選択することもできます。
- 待受画面で[■][3][6][2]を押しても操作できます。

2 [2]［miniSDモード］を押し、［はい］を選んで[■]を押す。

3 **FOMA USB**接続ケーブルの**FOMA**端末側コネクタを**FOMA**端末の外部接続端子に差し込む。（①）

4 **FOMA USB**接続ケーブルのパソコン側コネクタをパソコンの**USB**コネクタに差し込む。（②）
- 通信モードに戻るときは、いずれかのボタンを押し、［はい］を選んで[■]を押します。または、約90秒間何も操作しないでそのままにしておくと、自動的に通信モードに切り替わります。

お知らせ

- FOMA端末をminiSDリーダーライターとして利用するには、次の機器が必要です。

項　目	説　明
接続ケーブル	FOMA USB接続ケーブル（別売）
パソコン	FOMA USB接続ケーブル（別売）が使用できるUSBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠）が使用可能なパソコン
対応OS	Windows 2000、Windows XP（いずれも日本語版）

- パソコンなどでフォーマットしたminiSDメモリーカードは、FOMA端末では正常に使用できない場合があります。FOMA端末でフォーマットしてください。
- FOMA端末とパソコンが正しく接続されていることを十分に確認してください。正しく接続されていない場合、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- FOMA端末の電池残量が十分残っていることを確認してください。電池残量がほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。また、パソコンの電源についても確認してください。
- データの読み込み／書き込み中はFOMA USB接続ケーブルを抜かないでください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- FOMA端末からminiSDメモリーカード内のデータの読み込み／書き込み中は［miniSDモード］に設定できません。
- miniSDモード中は、電話やｉモードなどの通信ができません。

miniSDメモリーカードの管理情報を更新する<管理情報の更新>

miniSDメモリーカードを他の機器で利用（データ編集や追加、削除など）した場合、miniSDメモリーカードの管理情報を更新する必要があります。

- 電池残量が少ない場合は実行できません。電池残量を確かめてから操作してください。
- miniSDメモリーカードの空き容量がないときは、管理情報を更新できない場合があります。
- FOMA端末で管理情報を更新しないと、miniSDメモリーカードが正しく動作しない場合があります。
- miniSDメモリーカード内のファイル数やデータ量によっては、管理情報の更新が完了するまで時間がかかることがあります。
- 他の機器で書き込んだデータを利用するときは、管理情報の更新が必要な場合があります。
- 管理情報の更新を行うと、Exif形式以外のデータのタイトル名は消去されますので、ご注意ください。ただし、オリジナルタイトルの付いたｉモーションとメロディのタイトル名は消去されません。

1 待受画面で[■][9][2][5][4]を押す。
- 詳細メニューから[LifeKit]（LifeKit）→［miniSD管理］→［管理情報の更新］の順に選択することもできます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.323）

2 項目を選んで■を押す。

- マークが[☑]に変わります。☑が選択、□が解除の状態です。■を押すと交互に切り替えることができます。管理情報を更新する項目をすべて選択します。
- [全て]を選択したときは、[はい]を選んで■を押すと管理情報更新が開始されます。

3 [完了]を押し、[はい]を選んで■を押す。

お知らせ

- 更新中はminiSDメモリーカードを抜かないでください。
- 更新中に音声電話やテレビ電話を受けたり、メールを受けることもできますが、次の機能はご利用になれません。
  - ｉアプリ
  - 静止画・動画撮影
  - バーコードリーダー
  - 電話帳、メール、スケジュール、ToDoリスト、テキストメモ、ブックリーダー、トルカおよびデータBOXのマイピクチャ・ｉモーション・メロディからのminiSDデータ参照
  - miniSDメモリーカードのメモリ確認
  - 赤外線受信
  - プリント指定(DPOF)
  - モバイルオーディオ

パソコンなどで作成したデータをFOMA端末で確認する<インポート>

パソコンなどで作成したデータ(電話帳、メール、スケジュール、ToDoリスト、テキストメモ、データBOXの静止画、動画／ｉモーション、メロディ)を、miniSDメモリーカードを経由して、FOMA端末で確認できます。

- あらかじめ、データリンクソフトを使って、パソコンなどからminiSDメモリーカードのインポートフォルダにデータをコピーしておいてください。

1 待受画面で■9 2 5 3を押す。

- 詳細メニューから(LifeKit)→[miniSD管理]→[インポート]の順に選択することもできます。

2 機能を選んで■を押す。

- 該当するデータがないときは、[miniSDデータがありません]と表示されたあと、操作1の画面に戻ります。
- 選んだ機能のデータ(ファイル名)が表示されます。
- データを削除するときは、1を押します。以降の操作は通常のデータの削除と同様です。
- FOMA端末(本体)へコピーするときは、2を押します。以降の操作は通常のデータのコピーと同様です。
- ファイル名に特殊な記号やカタカナが含まれている場合は、インポートできない場合があります。
- データ情報を確認するときは、3を押します。パソコンなどで作成したデータは、タイトル情報がない場合があります。

3 データを選んで■を押す。

お知らせ

- メロディの場合、FOMA端末(本体)へのコピーは100Kバイト、miniSDメモリーカード上の再生は200Kバイトまで可能となります。静止画の場合、JPEG画像は1.2Mバイト、GIF画像は500Kバイト、動画の場合は800Kバイトまでコピーできます。
- バックアップデータをインポートフォルダに入れた場合、バックアップデータ内の最初の１件のみを表示します。
- 横1536×縦2048ドットを超える静止画(JPEG／GIF)は表示できない場合があります。大きな画像は、画像一覧用の画像を表示する場合もあります。
- 次の場合は、添付ファイルの一部または全部が削除されます。
  - FOMA端末で未対応のファイルが添付されているメール
  - 100Kバイトを超えるJPEG画像が添付されているメール
  - 500Kバイトを超える動画／ｉモーションが添付されているメール
  - 10000バイト以下の添付ファイルが合計11件以上添付されているメール
  - ｉモーションまたは10000バイトを超える静止画ファイルまたは10000バイトを超えるメロディ(SMF)ファイルが合計２件以上添付されているメール
  - ｉモーションまたは10000バイトを超える静止画ファイルまたは10000バイトを超えるメロディ(SMF)ファイルを除く添付ファイルの合計サイズがメール本文と合わせて10000バイトを超えるメール
- インポートフォルダのデータについては、次のようなファイル名の制限があります。
  - PIMデータは、全角・半角を問わず228文字以内(拡張子を除く)
  - 静止画、動画、メロディは、全角・半角を問わず100文字以内(拡張子を除く)

データを管理する

データBOXには次のフォルダがあります。

データBOX

- マイピクチャ
  FOMA端末で撮影した静止画やダウンロードした画像が保存されます。(☞P.300)
- ｉモーション
  FOMA端末で撮影した動画や録音した音声、取得したｉモーションが保存されます。(☞P.309)
- メロディ
  メロディが保存されます。(☞P.321)
- キャラ電
  キャラ電が保存されます。(☞P.317)
- プリント指定(DPOF)
  miniSDメモリーカードに保存された静止画のプリント指定の枚数などが、miniSDメモリーカードに保存されます。(☞P.345)

フォルダを管理する

データBOXのマイピクチャ、iモーション、メロディ、キャラ電にそれぞれ最大20個のフォルダを作成して、データを管理できます。

● キャラ電の管理については、P.320を参照してください。

フォルダを作成する<フォルダ新規作成>

例：マイピクチャの場合

1 待受画面で■911を押し、◎11［フォルダ新規作成］を押す。

2 フォルダ名を入力して■を押す。
- 「新しいフォルダ」名を削除するときは、CLR（1秒以上）を押します。

お知らせ
- フォルダ名は最大全角9文字（半角18文字）まで入力できます。

フォルダ名を編集する<フォルダ名編集>

例：マイピクチャの場合

1 待受画面で■911を押し、フォルダを選んで◎12［フォルダ名編集］を押す。

2 フォルダ名を編集して■を押す。
- フォルダ名を削除するときはフォルダ名編集画面でCLR（1秒以上）を押します。

お知らせ
- 自分で作成したフォルダ以外は編集できません。

フォルダを削除する<削除>

例：マイピクチャの場合

1 待受画面で■911を押し、フォルダを選んで、◎2［削除］を押す。

2 削除方法を選ぶ。

フォルダを1件削除する	1→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→■→［はい］→■
複数のフォルダをまとめて削除する	2→フォルダを選ぶ■（くり返し可）→◎→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→■→［はい］→■ ● すべてを選択／解除する場合は、i［全選択］／i［全解除］を押します。
フォルダは残してフォルダ内のすべてのデータを削除する	3→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→■→［はい］→■
すべてのフォルダおよびデータを削除する	4→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→■→［はい］→■

お知らせ
- 緑色のフォルダ以外は削除できません。
- 保存されているデータごと削除されます。
- フォルダ内に待受画面や着信音などの各種機能に設定されているデータが保存されているときは、フォルダ削除できません。設定を解除して、やり直してください。

データを管理する

データの削除や並べ替えなどができます。

タイトルを変更する<タイトル編集>

例：マイピクチャの場合

1 待受画面で■911を押し、フォルダを選んで■を押す。

2 データを選んで◎13［タイトル編集］を押す。

3 タイトルを編集して■を押す。
- タイトルを削除するときはタイトル編集画面でCLR（1秒以上）を押します。

お知らせ
- タイトル名はデータ一覧などで表示される名前です。また、ファイル名はデータをiモードメールに添付して送信するときに使用される名前です。
- 最大全角25文字（半角50文字）まで入力できます。iモーションの場合は、最大全角18文字（半角36文字）まで入力できます。
- iモーション、メロディ、キャラ電は、［タイトル編集］を選択したあと、［直接入力］／［オリジナルタイトルに戻す］を選択します。
- 各表示画面でのタイトル表示は、最大全角7文字（半角14文字）です。（タイトル名が最大全角7文字（半角14文字）を超えると、表示されるタイトル名は、最大全角6文字（半角12文字）までです。）

ファイル名を変更する<ファイル名編集>

例：マイピクチャの場合

1 待受画面で■911を押し、フォルダを選んで■を押し、データを選んで◎14［ファイル名編集］を押す。

2 ファイル名を編集して■を押す。
- ファイル名を削除するときはファイル名編集画面でCLR（1秒以上）を押します。

お知らせ
- ファイル名は、最大半角36文字まで入力できます。
- サイトやインターネットホームページからダウンロードしたデータや、iモードメールに添付されているデータ、iアプリから保存したデータで、ファイル制限が［あり］のデータや、テレビ電話中に撮影した静止画メモ、miniSDメモリーカードに保存されているデータのファイル名は編集できません。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.323）

データを並べ替える<ソート>

一覧の表示順番を、次のいずれかに変更できます。

● お買い上げ時は、[日付順(新→旧)]に設定されています。

日付順(新→旧)※1	保存した日付の新しい順
日付順(旧→新)※1	保存した日付の古い順
タイトル名順	タイトルによって、(半角数字→半角英大文字→半角英小文字→ひらがな→全角カタカナ→漢字→絵文字1→絵文字2→全角数字→全角英大文字→全角英小文字→半角カタカナ)の順
ファイル取得元順※2	取得元によって、空白→iモード→カメラ→データ交換→キャラ電→テレビ電話の順
サイズ順(大→小)	サイズの大きい順
サイズ順(小→大)	サイズの小さい順

※1 miniSDメモリーカード内データのファイル制限を変更すると日時情報が更新され、情報表示の保存日時で表示される日時と日付順でソートした結果が一致しない場合があります。

※2 データの種類により取得元は異なります。

例:マイピクチャの場合

1 待受画面で[●][9][1][1]を押し、フォルダを選んで[●]を押し、[📷][8][2][ソート]を押す。

2 ソート方法を選んで[●]を押す。

データを別のフォルダに移動する<移動>

例:マイピクチャの場合

1 待受画面で[●][9][1][1]を押し、フォルダを選んで[●]を押す。

2 データを選んで[📷][6][1][移動]を押す。

3 移動方法を選ぶ。

データを1件移動する	[1]→フォルダを選ぶ→[●]
フォルダ内のすべてのデータを移動する※	[2]→端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力→[●]→フォルダを選ぶ→[●]
複数のデータをまとめて移動する※	[3]→データを選ぶ[●](くり返し可)→[📷]→フォルダを選ぶ→[●] ● すべてを選択／解除する場合は、[i][全選択]／[i][全解除]を押します。

※ 自分で作成したフォルダへのみ移動できます。

お知らせ

● miniSDメモリーカードの場合、移動先フォルダ内の静止画や動画／iモーション、メロディのデータ数が400件を超えると、超えた分のデータは移動できません。

● miniSDメモリーカードの[マルチメディア]フォルダ内のデータは[カメラフォルダ]には移動できません。

● FOMA端末(本体)にて、データを別のフォルダに移動中、[CLR]、[☎]を押すと[中止処理中]と表示されますが、移動処理は中止されません。

詳細情報を表示する<情報表示>

表示される情報は、次のとおりです。

項　目	マイピクチャ	iモーション	メロディ
保存日時	○	○	○
保存日時(Exif)(カメラ撮影画像のみ)	○	－	－
作成日時	－	－	○(MFiのみ)
表示サイズ※1(Flash画像を除く)	○	○	－
ファイルサイズ	○	○	○
ファイルサイズ(映像部)(JPEG画像のみ)	○	－	－
ファイル形式(Flash画像を除く)	○	○	○
ファイル制限[あり／なし]	○	○	○
音色設定※2	－	○	○
画面設定※2	○	○	－
電話帳設定※2	○	○	○
スケジュール／ToDo設定※2	○	○	○
テレビ電話設定※2	○	－	－
伝言メモ設定※2	○	－	－
所有者情報設定※2	○	－	－
デイリーアラーム設定※2	－	○	○
スライドショー設定※2	－	－	○
作成者	－	○	－
コピーライト	－	○	－
説明	－	○	－
ファイル名	○	○	○
撮影日時(JPEG画像のみ)	○	－	－
オリジナルタイトル	－	○	○
再生回数制限[MobileMP4／MP4]※3	－	○	－
再生期限制限[MobileMP4／MP4]※3	－	○	－
再生期間制限[MobileMP4／MP4]※3	－	○	－
音[AAC/AMR]※4	－	○	－
取得元	○	○	○
故障時移行可否[可／不可]※2	○	－	○
着信音設定[可／不可、MobileMP4／MP4]	－	○	－
着信画面設定[可／不可]	－	○	－
サウンド再生[可／不可]※4	－	○	－
miniSDへの移動[可／不可／可(同一機種間)]※5	－	○	－

※1 表示サイズは数値(ドット)で表示されます。

次ページへ続く

※２　miniSDメモリーカードの情報表示では、表示されません。
※３　再生制限がない場合は表示されません。
※４　音声のない動画／ｉモーションの場合は、表示されません。
※５　コピー可能なコンテンツは可で表示されます。

例：マイピクチャの場合

1 待受画面で[■][9][1][1]を押し、フォルダを選んで[■]を押す。

2 データを選んで[📷][5][情報表示]を押す。
- 確認を終わるときは[■]または[CLR]を押します。

お知らせ

- 故障時移行可否は、お客様のFOMA端末を修理する際、お客様の情報内容をドコモ指定の故障取扱窓口にて移行することが可能かどうかを示します。（万が一、お客様の情報内容の移行ができない場合および情報内容の消失・変化に関し、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。）
- 故障時移行可否が[可]になるのは、移行を許可された、ダウンロードした画像／メロディです。

静止画や動画のFOMA端末外への出力を制限する<ファイル制限>

静止画や動画のメール添付や、FOMA端末外への出力ができないように設定できます。
- FOMA端末で撮影したデータをファイル制限設定すると、お客様がｉモードメールに添付して送信することはできますが、受け取った相手がさらに他の方に送信することはできなくなります。
- サイトやインターネットホームページからダウンロードしたデータや、ｉモードメールに添付されているデータ、テレビ電話中に撮影した静止画メモ、ｉアプリから保存したデータのファイル制限設定を変更することはできません。
- FOMA SH902iSLで撮影、または編集して作成したデータのみ設定を変更できます。
- FOMA SH902iSLで撮影した動画であっても、サイトやインターネットホームページから取得したｉモーションや、ｉモーションメールの本文中に表示されているURLから取得したｉモーションのファイル制限設定を変更することはできません。

例：マイピクチャの場合

1 待受画面で[■][9][1][1]を押し、フォルダを選んで[■]を押す。

2 データを選んで[📷][1][5][ファイル制限]を押し、[1][あり]を押す。

データを削除する<削除>

例：マイピクチャの場合

1 待受画面で[■][9][1][1]を押し、フォルダを選んで[■]を押す。

2 データを選んで[📷][2][削除]を押す。
- miniSDメモリーカード内のデータを削除するときは、フォルダ一覧画面で[→miniSD]→[■]→フォルダを選ぶ→[■]→データを選ぶ→[📷]→[削除]→[■]を押します。

3 削除方法を選ぶ。

データを１件削除する	[1]→[はい]→[■]
複数のデータをまとめて削除する	[2]→データを選ぶ[■]（くり返し可）→[📷]→[はい]→[■] ● すべてを選択／解除する場合は、[i][全選択]／[i][全解除]を押します。
フォルダ内すべてのデータを削除する	[3]→端末暗証番号（４〜８桁の数字）を入力→[■]→[はい]→[■]

お知らせ

- 待受画面や着信音などの各種機能に設定されているデータは、フォルダ内全件削除では削除できません。
- マイピクチャの[プリインストール]フォルダ内のデータと、メロディの[プリインストール]フォルダ内のデータは削除できません。

メモリの使用状況を確認する<メモリ確認>

確認できる内容は次のとおりです。

項　目	内　容
電話帳、スケジュール、ToDo	残り件数・登録件数・シークレット件数
ブックマーク、テキストメモ	残り件数・登録件数
受信BOX、送信BOX、未送信BOX、メッセージR／F、画面メモ	使用率（％）
データBOXのマイピクチャ、ｉモーション、メロディ、キャラ電、ｉアプリ	合計の使用率（％）
miniSDメモリーカード	容量・使用容量・空き容量
FOMAカード	電話帳残り件数・登録件数・SMS使用率（％）

- シークレットデータの件数は、シークレットモードを[ON]に設定しているときのみ表示されます。（☞P.166）

1 待受画面で[■][3][1][2]を押す。

FOMA端末（本体）

miniSDメモリーカード

FOMAカード

- 詳細メニューから✕（設定）→[一般設定]→[確認]→[メモリ確認]の順に選択することもできます。
- miniSDメモリーカードやFOMAカードのメモリ使用状況を確認するときは、[i][⇒miniSD]を押すと、miniSDメモリーカード使用状況が表示されます。もう一度[i][FOMAカード]を押すと、FOMAカードの使用状況が表示されます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.323）

- 現在のメモリの使用状況が表示されます。
- 各画面のインジケータ、および目盛は目安です。
- 本体のメモリ確認中に、他の機能のメモリ使用状況を表示するときは、[◎]を押します。
- 確認を終了するときは、[■]、[CLR]または[PWR]を押します。
- 電話帳の登録数はシークレットデータを含んで表示されます。

メモリ不足や保存件数オーバーになったときは

メモリが足りなくなったり、保存件数をオーバーしたときは、データやファイルを保存できません。miniSDメモリーカードなどに保存したり、不要なファイルの削除をおすすめします。

- 保存件数を超えたときは、メモリに空きがあっても保存できません。不要なデータを削除してから保存してください。
- 画像やｉモーション、メロディ、キャラ電、ｉアプリのソフトを保存するときにメモリが足りなくなったときは、[メモリが不足しているか保存可能件数を超えました上書きしますか？]と表示され、不要なデータやファイルを削除して保存することもできます。
- サイトから取得したFOMA端末外への出力が禁止されているｉモーションを、miniSDメモリーカードに保存するときにメモリが足りなくなったときは、上書き確認画面が表示され、[移行可能コンテンツ]フォルダ内のデータを削除して保存することができます。

1 上書き確認画面で[はい]を選んで[■]を押す。

2 データの種類を選んで[■]を押し、フォルダを選んで[■]を押す。

3 データを選んで[■]を押す。

- [☑]が選択、[□]が解除の状態です。[■]を押すと交互に切り替えることができます。
- メモリの確保状態が100%になるまでデータを選択します。

4 [i][完了]を押し、[はい]を選んで[■]を押す。

お知らせ

- FOMA端末（本体）のメモリが少なくなったときや、なくなったときは、待受画面に[M]、[M]が表示されます。

[M]（黄色）	メモリの空き容量が1.2Mバイト未満になったときに表示されます。
[M]（赤色）	メモリの空き容量が100Kバイト未満になったときに表示されます。

赤外線通信

赤外線通信について

赤外線通信機能を搭載した他のFOMA端末などと、電話帳やスケジュール、メール、静止画などのデータを送受信したり、ｉアプリで赤外線通信を利用することにより、赤外線通信機能を搭載した機器と連動したりできます。

- FOMA端末の赤外線通信機能は、IrMC1.1に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC1.1に準拠していても、機能によっては送受信できないデータがあります。
- SH902iSLから他のFOMA端末へデータBOX内のデータ（マイピクチャ、ｉモーション、メロディなど）を赤外線通信で送信できない場合があります。
- 赤外線通信中は圏外と同じ状態になります。そのため、着信、通話、ｉモード、ｉモードメール送受信、SMS送受信、メッセージR／F受信などはできません。
- 通話中は、赤外線通信できません。
- FOMA端末の赤外線受信機能およびデータBOX内コンテンツ、トルカの赤外線送信機能はIrSimple1.0に対応しています。
- データBOXのマイピクチャに保存されているJPEG画像は、高速赤外線通信で送信することができます。（IrSS機能※）（☞P.303）

※ IrSSとは、IrSimple1.0準拠の片方向通信機能（Home Appliance Profile）です。

各種ロック中の動作について

- オールロック中やセルフモード中は、赤外線通信できません。
- ダイヤル発信制限中は、電話帳の送受信ができません。
- PIMロック中は、ロックされている機能のデータの受信ができません。たとえば、電話帳のPIMロック中、電話帳を受信できません。ただし、PIMロックを一時解除することで送信することができます。

赤外線通信を行うと

赤外線通信機能では、次のデータを送受信できます。

FOMA端末から送信できるデータ

機　能	1件	全件	備　考
電話帳	○	○	1件送信ではグループ情報、プッシュトーク電話番号、プッシュトークグループ情報は送信されません。シークレット登録した電話帳はシークレットモードを[ON]に設定しないと1件送信できません。シークレットコード、指定着信音、指定メール着信音、キャラ電設定は送信できません。電話帳全件送信は、所有者情報も送信されます。また、シークレット登録した電話帳も送信されます。
スケジュール	○	○	シークレット登録したスケジュールはシークレットモードを[ON]に設定しないと1件送信できません。なお、全件送信の場合、シークレットで登録されたデータも送信されます。アラーム時刻以外のアラーム情報（鳴動時間、アラーム音選択、アラーム音量選択）および連絡先、画像設定の情報は送信されません。また、終了日時が設定されていないデータは、終了日時に開始日時を設定して送信されます。

次ページへ続く

機　能	1件	全件	備　考
ToDoリスト	○	○	シークレット登録したToDoリストはシークレットモードを[ON]に設定しないと1件送信できません。なお、全件送信の場合、シークレットで登録されたデータも送信され、受信側では通常のデータとして保存されます。アラーム時刻以外のアラーム情報(鳴動時間、アラーム音選択、アラーム音量選択、連絡先の設定)は送信できません。
テキストメモ	○	○	－
ｉモードメール、SMS	○	○	貼り付けられたデータ、添付ファイル(トルカを除く)、保護メールも送信されます。 添付不可のデータは送信できません。ファイルサイズが10000バイト以上の添付ファイルは送信できません。
ブックマーク	○	○	ｉモードブックマーク、フルブラウザブックマークどちらも送信できます。フォルダ情報は送信できません。
データBOXの静止画、動画／ｉモーション、メロディ	○	×	サイトやインターネットホームページからダウンロードしたり、受信したｉモードメールに添付されたデータで、ファイル制限ありのデータは送信できません。FOMA端末にあらかじめ内蔵されているデータは送信できません。送信できるデータは静止画(JPEG)1.2Mバイト、静止画(GIF)500Kバイト、動画800Kバイト、メロディ100Kバイトまでです。
所有者情報	○	※	受信側では電話帳として保存されます。 ※ 電話帳の備考覧参照
トルカ	○	×	ファイルサイズが1Kバイトを超えるトルカは送信できません。

FOMA端末で受信できるデータ

機　能	1件	全件	格納場所	格納順
電話帳	○	○	電話帳	1件受信時メモリ番号は[010]以降で一番若い空き番号が自動的に付加されます。電話帳全件受信は、ご契約の電話番号以外の所有者情報は上書きされます。名前が未登録のデータが送信されたときは[No Name]と表示されます。
スケジュール	○	○	スケジュール	開始日時順に登録されます。
ToDoリスト	○	○	ToDoリスト	期限順に登録されます。
テキストメモ	○	○	テキストメモ	最終修正日時順に登録されます。
ｉモードメール、SMS	○	○	ｉモードメール、SMS	受信日時／送信日時／保存日時順に登録されます。
ブックマーク	○	○	ブックマーク	1件受信時は一番上に登録されます。全件受信時は利用された古い順に登録されます。
データBOXの静止画、動画／ｉモーション、メロディ	○	×	データBOXのマイピクチャ、ｉモーション、メロディ	一番上に登録されます。
所有者情報	○	※	電話帳	1件受信時メモリ番号[010]以降で一番若い空き番号に保存されます。 ※ 電話帳の格納順覧参照
トルカ	○	×	トルカ	－

お知らせ

- miniSDメモリーカード内のデータは送受信できません。
- 全件受信時に上書きを選択すると、該当機能のデータがすべて削除されますので、ご注意ください。
- FOMAカード内の電話帳は送受信できません。
- ブックマークを送受信した場合はフォルダ分けの設定は反映されません。すべて[Bookmark]フォルダに保存されます。
- トルカを赤外線送信した場合、トルカ(詳細)取得前の状態で送信されます。ただし、送信された先で再度詳細を取得することが可能です。

電話帳の1件送受信について
- 受信した電話帳のデータは、メモリ番号[010]以降で一番若い空き番号が自動的に付加されます。ただし、[010]以降に空きがないときは、[000]以降の空き番号に付加されます。
- グループ番号はすべて[指定なし]になります。

電話帳の全件受信について
- 全件受信時は、メモリ番号、シークレット設定、グループ名、グループ番号、プッシュトーク電話番号、プッシュトークグループ名、プッシュトークグループ番号も登録されます。

メールの送受信について
- ｉアプリToが貼り付けられたｉモードメールの貼り付け情報は、削除され、送受信されません。

絵文字の送受信について
- 絵文字が登録できる機能については、絵文字を送受信できます。ただし、ｉモード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。

ｉモードやｉアプリから取得したトルカについて
- トルカによっては、メールに添付して送信したり、赤外線通信で送信したり、miniSDメモリーカードにコピーすることができない場合があります。

赤外線通信機能をお使いになるときのご注意

- 上の図のように机などの安定した台の上に、受信側と送信側FOMA端末の赤外線ポートが20cm以内に向き合うようにして置いてください。

データ表示／編集／管理／音楽再生　赤外線通信

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

- 次のときは、お互いの赤外線ポートを向き合わせたままにして、動かさないでください。
  - ■ データを受信すると受信側に[○○○保存しますか？]と表示され、[はい][いいえ]を選択するまで。
  - ■ データの送受信が終わるまで。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できない場合があります。
- 赤外線ポートが汚れていると通信できにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布で拭き取ってください。

お知らせ

- 赤外線通信が正常にできなかったときは、次のメッセージが表示されます。
  [認証に失敗しました　続けますか？]
  [接続相手が見つかりません　続けますか？]
  このような場合は、[はい]を選択すると、もう一度通信をやり直すことができます。
- 正常に通信できなかったときは、FOMA端末を近づけてもう一度通信してください。
- 赤外線通信で画像を送信すると元の画像より画質が劣化したりファイルサイズが変わる場合があります。
- IrSSは、片方向通信のため、受信側からの応答を確認せずに送信します。このため、受信側が受け取れない場合でも送信側は正常に終了します。

認証パスワードについて

全件データの送受信には、端末暗証番号と認証パスワードの入力が必要になります。

- 端末暗証番号には、FOMA端末に設定されている現在の端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力します。
- 認証パスワードは、赤外線通信のための専用パスワードです。送受信を始める前にお好きな4桁の数字を決めておき、送信側・受信側で同じ数字を入力します。赤外線通信するたびに変更してもかまいません。

データを1件ずつ送受信する

赤外線通信を利用して、FOMA端末のデータを1件ずつ送受信できます。

- 送受信できるデータについては、P.335を参照してください。

データを1件送信する<赤外線送信>

送信したいデータのリスト画面や内容表示画面から操作します。

例：電話帳の場合

1 電話帳リスト画面（☞P.119）や内容表示画面（☞P.119）でデータを選んで📷を押し、[赤外線送信]を選んで■を押す。

- サブメニューの番号を入力して操作できますが、番号は送信するデータの種類や画面によって異なります。

2 受信側のFOMA端末を1件受信待ち状態にして1[送信]を押し、[はい]を選んで■を押す。

- 送信が完了すると、[通信終了しました]と表示され、元の画面に戻ります。

データを1件受信する<赤外線受信>

赤外線通信を利用した1件受信は、赤外線受信画面から操作します。

1 待受画面で■9221を押し、[はい]を選んで■を押す。

電話帳を受信した場合

- 詳細メニューから🔧（LifeKit）→[赤外線受信]→[受信]の順に選択することもできます。
- データ送信側のFOMA端末で、事前に1件送信状態にしておきます。
- 受信待ち状態になります。30秒以内に送信側のFOMA端末からデータが送信されると、自動的に受信します。
- 受信が完了すると、確認画面が表示されます。

2 [はい]を選んで■を押す。

- 電話帳を受信したときは、[プッシュトーク電話帳に登録しますか？]と表示されます。登録するときは[はい]を選んで■を押します。電話番号が複数登録されているときは、電話番号を選択します。
- 同じ内容のブックマークが存在するときは、[同一Bookmarkが存在します　保存しますか？]と表示されます。現在のデータに上書きするときは、[はい]を選んで■を押します。

データを全件送受信する

赤外線通信機能を利用して、FOMA端末のデータを全件送受信できます。

- 送受信できるデータについては、P.335を参照してください。

データを全件送信する<赤外線全件送信>

送信したいデータのリスト画面から操作します。

例：電話帳の場合

1 電話帳リスト画面（☞P.119）で📷を押し、[赤外線送信]を選んで■を押す。

- サブメニューの番号を入力して操作できますが、番号は送信するデータの種類や画面によって異なります。

2 2[全件送信]を押す。

次ページへ続く

3 受信側のFOMA端末を全件受信待ち状態にし、端末暗証番号(4~8桁の数字)を入力して■を押す。

4 認証パスワード(4桁の数字)を入力して■を押し、[はい]を選んで■を押す。

- 受信側で入力した認証パスワードと一致すると、送信が開始されます。
- 送信が完了すると、[通信終了しました]と表示され、元の画面に戻ります。

お知らせ

- ブックマークを全件送信すると、受信側のブックマーク一覧画面では利用された古い順に表示されます。
- スケジュールを全件送信するときは、カレンダー表示またはスケジュール全件表示にしてから操作してください。

データを全件受信する<赤外線全件受信>

赤外線通信を利用した全件受信は、赤外線受信画面から操作します。

- 全件受信には、端末暗証番号と認証パスワードの入力が必要です。
- 全件受信すると、受信したデータにより上書きされ、登録していたデータはすべて削除されますので、ご注意ください。

1 待受画面で■ 9 2 2 2を押し、[はい]を選んで■を押す。

- 詳細メニューから(LifeKit)→[赤外線受信]→[全件受信]の順に選択することもできます。

2 端末暗証番号(4~8桁の数字)を入力して■を押す。

3 送信側のFOMA端末を全件送信状態にする。

- 送信側で入力した認証パスワードを覚えておいてください。

4 送信側と同じ認証パスワード(4桁の数字)を入力して■を押す。

- 30秒以内に相手側のFOMA端末からデータが送信されると、自動的に通信を開始します。

5 [はい]を選んで■を押す。

- データの受信中に全件受信を中止するときは、■[中止]を押します。
- 受信が完了すると[通信終了しました]と表示され、元の画面に戻ります。

iアプリと連携して赤外線通信を行う

実行中のソフトから、赤外線通信機能(☞P.335)を利用できます。また、赤外線通信からiアプリを起動することもできます。

- セルフモード中は、赤外線通信機能を利用できません。
- iアプリのPIMロック中はiアプリを起動できません。

iアプリから赤外線通信を起動する

1 ソフト実行中に赤外線通信を起動し、[はい]を選んで■を押す。

- 赤外線通信の起動方法は、ソフトによって異なります。
- 赤外線通信を開始します。
- 赤外線通信を中止するときは、■を押します。

赤外線通信からiアプリを起動する

iアプリ起動機能を持つ赤外線通信機器からの赤外線通信中に、iアプリ起動の信号を受信すると、ソフトを起動できます。

- iアプリTo設定を[許可しない]に設定しているときは、赤外線通信からiアプリを起動できません。
- iアプリ待受画面として起動することはできません。

1 待受画面で■ 9 2 2 1を押す。

- 受信待ち状態になります。詳しくは、P.337「データを1件受信する<赤外線受信>」の操作1を参照してください。

2 送信側からiアプリ起動の信号を受信すると、ソフトが起動する。

赤外線リモコン

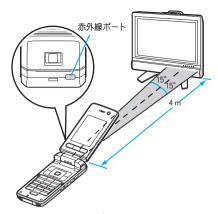
赤外線リモコン機能を利用する

iアプリのソフトからFOMA端末の赤外線ポートを利用して、テレビやビデオなど赤外線リモコンに対応した機器を操作できます。

- 赤外線リモコン機能に対応したiアプリのソフトが必要です。(お買い上げ時に登録されている「Gガイド番組表リモコン」は、赤外線リモコン機能に対応しています。)
- セルフモード中は、赤外線リモコン機能を使用できません。

リモコン操作を行う

赤外線リモコン機能に対応したiアプリを起動し、FOMA端末の赤外線ポートをテレビやビデオなどのリモコン受光部の正面に向けて、リモコン操作を行います。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

● 実際の操作方法はｉアプリのソフトによって異なります。「Gガイド番組表リモコン」については、P.271を参照してください。
● 操作できる距離は、およそ4mです。（相手側の機器や周囲の明るさなどによって、変わります。）
● 赤外線リモコンの送信中は、[]が点灯します。

お知らせ

● 相手側の機器によっては、正常に操作できない場合があります。
● 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くなどでは、正常に操作できない場合があります。

ボイスレコーダー

ボイスレコーダーとして使う

FOMA端末をボイスレコーダーとして利用できます。ボイスレコーダーは、動画撮影機能を利用したもので、[音声のみ]（＝映像なし）の動画データとして、miniSDメモリーカードの[マルチメディア]フォルダに保存されます。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。（☞P.323）

● 32MバイトのminiSDメモリーカードに保存する場合は、最長約5時間です。
● 録音データは、最大400件まで保存できます。（録音時間により保存件数は変わります。）1件あたり最長6時間まで録音できます。400件を超えて録音しようとした場合、「録音処理に失敗しました。」とメッセージが表示されボイスレコーダーが終了します。余分なデータを削除して録音し直してください。
● 録音した音声は、ビデオプレーヤ（☞P.309）で再生できます。
● 録音したデータは、ファイル制限なしのファイルとして保存されます。
● 録音距離は、1.5m以内をおすすめします。
● レコーダー設定保持を[ON]に設定すると、設定を記憶しておくことができます。

録音する

1 待受画面で[■][9][3][2]を押し、[■][録音]を押す。

● 詳細メニューから（メディアツール）→[ボイスレコーダー]の順に選択することもできます。
● miniSDメモリーカードが挿入されていない場合、ボイスレコーダーは選択できません。
● 録音を開始すると、シャッター音が鳴り、撮影ランプが自動的に点滅します。録音を終了すると自動的に消灯します。（録音中に消灯させることはできません。）
● 録音を一時停止するときは[]を押します。録音を再開するときは[]を押します。

2 録音を止めるときは[■][停止]を押す。

● 残時間表示が00:00:00になったとき（録音中にファイルサイズ制限に達したときや、miniSDメモリーカードの空き容量がなくなったとき）は、自動的に録音が停止します。

3 [1][保存]を押す。

● 録音した音声を再生するときは、[2]を押します。再生を一時停止するときは[■][ポーズ]、停止するときは[]を押します。[CLR]を押すと、元の画面に戻ります。
● 保存しないときは、[3]を押し、[はい]を選んで[■]を押します。

お知らせ

● 録音中にFOMA端末を閉じても録音は継続され、サブディスプレイに[ボイス録音中]と表示されます。
● 録音中に音声電話やテレビ電話がかかってくると、録音が自動的に停止し、電話に出ることができます。通話終了後、保存確認画面が表示されます。
● 録音した音声は、ビデオプレーヤで再生できます。miniSDメモリーカードのｉモーションのフォルダ一覧画面で[マルチメディア]を選択します。（☞P.311）

ボイスレコーダーの設定を変える

ボイスレコーダーでは次の設定ができます。詳しくは、動画撮影を参照してください。

■ データBOXを表示する<データBOX表示>

指定されている保存先フォルダのファイルを表示します。

1 待受画面で[■][9][3][2]を押し、[📷][1][データBOX表示]を押す。

■ ノイズキャンセラを設定する <ノイズキャンセラ>

音声のノイズを少なくするときに設定します。

● お買い上げ時は、[ON]に設定されています。

1 待受画面で[■][9][3][2]を押し、[📷][2][ノイズキャンセラ]を押す。

2 [1][ON]を押す。

セルフタイマーを設定する
<セルフタイマー>

● お買い上げ時は、[OFF]に設定されています。

1 待受画面で■9 3 2を押し、📷3[セルフタイマー]を押す。

2 設定時間を選ぶ。

2秒に設定する	1
5秒に設定する	2
10秒に設定する	3
解除する	4

ボイスレコーダーの設定を保持する
<レコーダー設定保持>

ボイスレコーダーの設定を記憶しておくことができます。

● お買い上げ時は、[ON]に設定されています。

1 待受画面で■9 3 2を押し、📷4[レコーダー設定保持]を押す。

2 1[ON]を押す。

ブックリーダー
電子辞書や電子書籍を表示する

miniSDメモリーカードに保存されている電子書籍／電子辞書を、FOMA端末で表示できます。miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。(☞P.323)

● 表示できる電子書籍／電子辞書の種類(拡張子):XMDF形式(.zbf)(メディアバインドXMDFには非対応)、TEXT形式(.zbk .txt .text)
● 閲覧するファイルはあらかじめminiSDメモリーカードの\BOOKフォルダに置いてください。(☞P.325)
● お買い上げ時は、FOMA端末(本体)にサポートブックが内蔵されています。
● 操作の前にFOMA端末のminiSDメモリーカードスロットに、電子辞書や電子書籍が入っているminiSDメモリーカードを挿入しておいてください。サポートブックをご利用になる場合、miniSDメモリーカードを挿入する必要はありません。
● 電子書籍／電子辞書によっては、音声や画像が埋め込まれているデータがありますが、FOMA端末では音声をご利用になれません。画像によってもご利用になれない場合があります。

1 待受画面で■9 3 3を押し、フォルダを選んで■を押す。

● 詳細メニューから(メディアツール)→[ブックリーダー]の順に選択することもできます。
● 詳細メニューから(LifeKit)→[miniSD管理]→[miniSDデータ参照]→[ブックリーダー]の順に選択することもできます。
● 前回の閲覧時にまたはを押して終了した場合、終了時に表示されていたページが表示されます。

● 次のページを表示するときは[▼ページ]、前のページを表示するときは[▲ページ]を押します。

2 電子書籍／電子辞書を選んで■を押す。

内容表示画面(横書き画面)　内容表示画面(縦書き画面)

行を移動する	横書き画面	
	縦書き画面	
次のページを表示する		[▼ページ]
前のページを表示する		[▲ページ]
先頭のページを表示する		または📷4 2
ブックリーダー一覧画面に戻る		CLRまたは📷4 4

お知らせ

● 内容表示画面は、綿矢りさ著「蹴りたい背中」©ザウルスセレクト文庫／河出書房新社提供のものを使用しています。

履歴を表示する

前に表示したページを、順に戻ったり進んだりできます。

● 履歴がないときは、操作できません。

表示したページを順に戻る	横書き画面	
	縦書き画面	
表示したページを順に進む	横書き画面	
	縦書き画面	

お知らせ

● を押してブックリーダーを終了したあと、次回ブックリーダーを起動すると、自動的に終了時のページが表示されます。ただし、挿入し直したminiSDメモリーカードに、終了時に閲覧していたファイルが入っていないときや、文字読み取りから起動したときは表示されません。また、待受画面からサポートブックを起動したときも表示されません。
● 電子書籍／電子辞書によってはパスワードの入力が必要な場合があります。パスワード(最大16桁)を入力して■を押してください。
● データによっては、コンテンツ内の他のページに移動する情報が埋め込まれている場合があります。情報が埋め込まれている文字列や画像を選び■を押すと、指定されているページに移動します。移動先のページで(横書き画面の場合)、(縦書き画面の場合)を押すと、元のページに戻ります。
● ファイル一覧に表示できるのは最大400件までです。

マルチアシスタントを使う

● メール作成中などにMULTIを押すと、ブックリーダーを利用できます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

関連操作

フォルダを切り替える<表示フォルダ切替>

待受画面で[■][9][3][3]▶[⊡][3]▶フォルダを選ぶ▶[■]

関連操作のお知らせ

表示フォルダ切替について

- 携帯情報端末など、FOMA端末以外でXMDF形式の電子書籍を利用していた場合、その電子書籍の入ったフォルダを表示できます。
- 利用されていた携帯情報端末によっては、フォルダを表示できない場合もあります。

内容表示画面の操作方法

電子書籍／電子辞書の内容表示画面では次の機能を利用できます。

しおり設定	しおりをはさむ	表示中のページにしおりを設定します。1つの電子書籍／電子辞書に最大2個(最大10冊)のしおりを設定できます。
	しおりへ移動	以前に設定したしおりのページを表示します。
情報表示		電子書籍／電子辞書の詳細情報を表示します。
現在位置確認		現在のページが全体のおよそ何%にあるかを表示します。
移動	目次	目次に対応した書籍データの場合は、目次からページを表示できます。
	先頭へ	先頭のページを表示します。
	最後へ	最後のページを表示します。
	リストへ	ブックリーダー一覧画面を表示します。
	%指定移動	文書全体のページ数に対するおおよその位置を%で指定して表示します。
文字列コピー		電子書籍／電子辞書内の文字列をコピーします。他の画面などに貼り付けできます。一度にコピーできる文字数は最大全角20文字(半角20文字)です。
表示設定	文字サイズ設定	電子書籍／電子辞書の文字サイズを[大きい文字]、[標準]、[小さい文字]に設定できます。(お買い上げ時:標準)
	縦横設定	画面の縦横表示を設定できます。(お買い上げ時:縦書き)
	ルビ表示	ルビ(ふりがな)を表示するかどうかを設定できます。(お買い上げ時:OFF)

横書き画面

縦書き画面

ルビ表示[ON]

しおりをはさむ<しおりをはさむ>

1 内容表示画面(☞P.340)で[⊡][1][1]
2 [1]
- しおり2を設定するとき:[2]

しおりへ移動する<しおりへ移動>

内容表示画面(☞P.340)で[⊡][1][2]▶しおりを選ぶ▶[■]

電子書籍／電子辞書の詳細な情報を確認する<情報表示>

内容表示画面(☞P.340)で[⊡][2]

現在の表示位置を確認する<現在位置確認>

内容表示画面(☞P.340)で[⊡][3]
- 確認を終わるとき:[■]

目次からページを表示する<目次>

内容表示画面(☞P.340)で[⊡][4][1]▶項目を選ぶ▶[■]

最後のページを表示する<最後へ>

内容表示画面(☞P.340)で[⊡][4][3]

%指定でページを移動する<%指定移動>

内容表示画面(☞P.340)で[⊡][4][5]▶移動先(2桁:00～99%)を入力▶[■]

文字をコピーする<文字列コピー>

内容表示画面(☞P.340)で[⊡][5]▶最初の文字を選ぶ▶[■]▶最後の文字を選ぶ▶[■]

文字サイズを設定する<文字サイズ設定>

内容表示画面(☞P.340)で[⊡][7][1]▶文字サイズを選ぶ▶[■]

縦書き／横書きを切り替える<縦横設定>

1 内容表示画面(☞P.340)で[⊡][7][2]
2 [2]
- 縦書きにするとき:[1]

ルビ(ふりがな)を表示するかどうかを設定する<ルビ表示>

1 内容表示画面(☞P.340)で[⊡][7][3]
2 [1]

お知らせ

しおりについて
- 11冊目のしおりを設定すると、自動的に古いしおりから消去されます。
- ブックリーダーを終了すると、最後に表示していたページに[自動しおり1]が設定されます。次に同じ電子書籍／電子辞書を表示し、終了した場合は、最後に表示していたページが[自動しおり1]に設定され、前回の[自動しおり1]は[自動しおり2]に設定されます。(自動しおりも、1つの電子書籍／電子辞書に最大2個(最大10冊)まで設定され、古いものから自動的に消去されます。)
- 電池パックを取り外したときは、[自動しおり]は設定されません。
- 待受画面でMULTIを押してサポートブック(内蔵)を起動したときは、[自動しおり]を参照せずに常に先頭ページから表示されます。また、マルチアシスタントからサポートブックを起動したときは、[自動しおり]を参照せずに起動元の機能に対応したページまたは先頭ページが表示されます。

コピーについて
- 電源を切ると、読み取った文字は破棄されます。
- コピーできない文字もあります。
- マスクが設定されている文字やルビ文字、外字などはコピーできません。

表示設定について
- データによっては、表示を切り替えることができないものや、表示の設定が指定されている電子書籍／電子辞書もあります。
- サポートブック(内蔵)は縦書き／横書きの切り替えに対応していません。

ルビ表示について
- ルビが設定されていない電子書籍／電子辞書では表示されません。

サポートブック(ヘルプ)を利用する

1 待受画面でMULTIを押す。
- 詳細メニューから(メディアツール)→[ブックリーダー]→[プリインストール]→[サポートブック(内蔵)]の順に選択することもできます。
- サポートブック(内蔵)から対応する機能を起動することもできます。(☞P.37)

辞書で調べる

辞書も電子書籍と同様の操作が可能です。辞書の検索例を説明します。
- 文字読み取りで読み取った文字を辞書で調べることもできます。(☞P.343)
- 操作の前に、電子辞書が入っているminiSDメモリーカードを挿入してください。

※ 辞書については別途お買い求めください。

1 待受画面で■ 9 3 3を押し、フォルダを選んで■を押し、辞書を選んで■を押す。
- 文字読み取りで文字を読み取るときは、📷 6 [文字読み取り]を押します。(☞P.190)

2 入力欄を選んで■を押し、用語を入力して■を押す。
- 255文字まで入力できます。

3 用語を選んで■を押す。

電子書籍／電子辞書内の情報を利用する

電子書籍／電子辞書内から他のページへ移動したり、Phone To(AV Phone To)、Mail To、Web To機能を利用したり、動画の実行、静止画の保存、文字列のマスクなどの機能を利用することができます。(対応ページのみ)
- 操作の前に、電子辞書や電子書籍が入っているminiSDメモリーカードを挿入してください。

Phone To(AV Phone To)、Mail To、Web To機能を利用する

電子書籍／電子辞書内で反転表示された文字情報(電話番号、メールアドレス、URLなど)やPhone To(AV Phone To)、Mail To、Web To機能が埋め込まれた画像を利用して、簡単な操作で電話をかけたり、メールを送信したり、サイトやインターネットホームページを表示できます。(☞P.211)

1 待受画面で■ 9 3 3を押し、フォルダを選んで■を押し、電子書籍／電子辞書を選んで■を押す。

2 電話番号やメールアドレス、URLなどを選んで■を押す。
- 画像に設定されているときは、■ 2 [リンクへ移動]を押します。

3 [はい]を選んで■を押す。
- Phone To(AV Phone To)機能が設定されているときは、テレビ電話の場合は、表示されている電話番号を確認し、📱を押します。音声電話の場合は、表示されている電話番号を確認し、📞を押します。
- Mail To機能が設定されているときは、メールアドレスが入力されたメール作成画面が表示されます。
- Web To機能が設定されているときは、接続が開始され、サイトやホームページが表示されます。

お知らせ
- 電話番号やメールアドレス、URLが表示されていても、電話をかけたり、メッセージを送信したり、画面を表示できない場合もあります。

リンク先のページを表示する

文字列や画像に別のページのリンク情報が設定されているときは、そのページを表示できます。

1 「Phone To(AV Phone To)、Mail To、Web To機能を利用する」(☞P.342)の操作1の内容表示画面で、リンク情報が設定されている文字列や画像を選んで■を押す。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

動画を再生する

画像に動画を実行する情報が設定されているときは、動画を再生できます。

1 「Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用する」（☞P.342）の操作1の内容表示画面で、画像を選んで[■][4][動画の実行]を押す。

関連操作

文字列や画像をマスク（目隠し）する<マスク>

「Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用する」（☞P.342）の操作1の内容表示画面で文字列／画像を選ぶ▶[■]

- マスクされた文字列を表示するとき：文字列▶[■]
- マスクされた画像を表示するとき：画像▶[■][3]

電子書籍／電子辞書内の画像を保存する

電子書籍／電子辞書に表示された静止画をマイピクチャ（☞P.300）に保存すると、待受画面などに設定できます。（☞P.137）

- PNG形式など、保存できない画像もあります。
- 保存した画像は、マイピクチャ内の[カメラ撮影]フォルダに保存されます。（☞P.178）
- 画像の保存件数は、最大1000件です。メモリの使用状況によっては、少なくなることがあります。
- すべて著作権のある画像として保存されます。miniSDメモリーカードへの保存や、メールへの添付はできません。

1 「Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用する」（☞P.342）の操作1の内容表示画面で、静止画を選んで[■][1][マイピクチャ登録]を押す。

文字読み取り
カメラで文字を読み取って検索する

電子辞書を表示中に、英単語をFOMA端末で撮影し、検索できます。

- 操作の前に、電子辞書が入っているminiSDメモリーカードを挿入してください。
- 詳しくは、P.190「文字を読み取る」を参照してください。

例：英和辞書の場合

1 P.342の「■辞書で調べる」の操作1の内容表示画面で[カメラ][6][文字読み取り]を押す。

2 読み取る文字をディスプレイの中央に表示する。（☞P.190）

3 [■]を押す。

- 静止画として撮影され、読み取る内容が表示されます。
- 複数の行を撮影したときは、[↕]で読み取る行を指定します。（文字の読み取りは一行単位で行います。）

4 [■][読取]を押す。

- 読み取りが完了すると、文字読み取りの候補選択画面になり、読み取った文字の内容が表示されます。

5 単語を選んで[■]を押す。

電子書籍／電子辞書を管理する

電子書籍／電子辞書は、フォルダを作成して管理したり、削除、移動することができます。ファイル名を編集したり、詳細情報を表示することもできます。

フォルダを管理する

最大398個のフォルダを作成して、ファイルを管理できます。

フォルダを作成する<フォルダ新規作成>

1 待受画面で[■][9][3][3]を押し、[カメラ][1][1][フォルダ新規作成]を押す。

2 フォルダ名を入力して[■]を押す。

- 「新しいフォルダ」名を削除するときは、[CLR]（1秒以上）を押します。

お知らせ

- 最大全角・半角64文字まで入力できます。

■ フォルダ名を編集する<フォルダ名編集>

1 待受画面で[■][9][3][3]を押し、フォルダを選んで[MENU][1][2][フォルダ名編集]を押す。

2 フォルダ名を編集して[■]を押す。

- フォルダ名を削除するときは、フォルダ名編集画面で[CLR]（1秒以上）を押します。

お知らせ

- 自分で作成したフォルダ以外は変更できません。

フォルダ名／ファイル名について

- 対応していない文字コードを持つ名前のフォルダやファイルをパソコンなどで作成した場合、フォルダ名、ファイル名が空白文字で表示されます。

■ フォルダを削除する<削除>

1 待受画面で[■][9][3][3]を押し、フォルダを選んで[MENU][2][削除]を押す。

2 削除方法を選ぶ。

フォルダを1件削除する	[1]→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→[■]→[はい]→[■]
複数のフォルダをまとめて削除する	[2]→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→[■]→フォルダを選ぶ[■]（くり返し可）→[MENU]→[はい]→[■] ● すべてを選択／解除する場合は、[i][全選択]／[i][全解除]を押します。
すべてのデータを削除する	[3]→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→[■]→[はい]→[■]

お知らせ

- 自分で作成したフォルダ以外は削除できません。
- フォルダに保存されているすべてのファイルごと削除されます。

電子書籍／電子辞書を管理する

電子書籍／電子辞書を削除したり、移動したりできます。

■ ファイル名を編集する<ファイル名編集>

サポートブック（内蔵）のファイル名は変更できません。

1 待受画面で[■][9][3][3]を押し、フォルダを選んで[■]を押す。

2 電子書籍／電子辞書を選んで[MENU][1][ファイル名編集]を押す。

3 ファイル名を入力して[■]を押す。

- ファイル名を削除するときは、ファイル名編集画面で[CLR]（1秒以上）を押します。

お知らせ

- ファイル名は、最大全角・半角64文字まで入力できます。
- 半角8文字以内のファイルの名前および拡張子の英字は、半角小文字が半角大文字に変わる場合があります。

■ ファイルを別のフォルダに移動する<移動>

サポートブック（内蔵）は移動できません。

1 待受画面で[■][9][3][3]を押し、フォルダを選んで[■]を押す。

2 電子書籍／電子辞書を選んで[MENU][4][移動]を押す。

3 移動方法を選ぶ。

ファイルを1件移動する	[1]→フォルダを選ぶ→[■]
複数のファイルをまとめて移動する	[2]→ファイルを選ぶ[■]（くり返し可）→[MENU]→フォルダを選ぶ→[■] ● すべてを選択／解除する場合は、[i][全選択]／[i][全解除]を押します。
フォルダ内のすべてのファイルを移動する	[3]→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→[■]→フォルダを選ぶ→[■]

■ 詳細情報を表示する<情報表示>

表示される詳細情報は次のとおりです。

- XMDF形式（.zbf）は、ブックリーダー一覧画面ではタイトル、ファイル名、著者、出版社、ファイルサイズが、内容表示画面ではシリーズ、タイトル、サブタイトル、ファイル名、著者、出版社、出版人、要約、配布日時、ファイルサイズ、配布時の刻印情報が表示されます。（これらの項目でも電子書籍／電子辞書に記録されていない情報は表示されません。

1 待受画面で[■][9][3][3]を押し、フォルダを選んで[■]を押す。

2 電子書籍／電子辞書を選んで[■]を押し、[MENU][2][情報表示]を押す。

- ブックリーダー一覧画面から表示するときは、[MENU][3]を押します。
- 確認を終わるときは、[■]を押します。

お知らせ

- サポートブック（内蔵）の情報は表示できません。
- ファイル名は、拡張子も併せて表示されます。

■ 電子書籍／電子辞書を削除する<削除>

サポートブック（内蔵）は削除できません。

1 待受画面で[■][9][3][3]を押し、フォルダを選んで[■]を押す。

2 電子書籍／電子辞書を選んで[MENU][2][削除]を押す。

3 削除方法を選ぶ。

ファイルを1件削除する	[1]→[はい]→[■]
複数のファイルをまとめて削除する	[2]→電子書籍／電子辞書を選ぶ[■]（くり返し可）→[MENU]→[はい]→[■] ● すべてを選択／解除する場合は、[i][全選択]／[i][全解除]を押します。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.323）

フォルダ内のすべてのファイルを削除する	3→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→■→［はい］→■

プリント指定（DPOF）

保存した画像を印刷する

DPOF（ディーポフ：「Digital Print Order Format」の略称）とは、デジタルカメラで撮影した静止画のプリント指定形式です。FOMA端末で撮影したminiSDメモリーカード内の静止画の中から、プリントしたい静止画とその枚数を指定しておけば、DPOF対応のデジタルカメラプリントショップやプリンタで、指定した情報に沿ってプリントできます。

- サイトやインターネットホームページからダウンロードした静止画はプリントできません。ただし、miniSDメモリーカードにコピーできるJPEG画像の場合は、プリントできます。
- プリント時の操作など、詳しくは、プリントする機器の取扱説明書を参照してください。
- DPOF対象となるフォルダ
  - 撮影静止画用フォルダ／ユーザ作成フォルダ（☞P.325）
  - 他の機器で作成したDCF準拠フォルダ（☞P.186）
- DPOF対象となるファイル
  - 上記フォルダに保存されている静止画（DCF準拠JPEG）
- FOMA端末（本体）の静止画は指定できません。

miniSDメモリーカードに保存されている画像の印刷方法を設定する<プリント指定(DPOF)>

1 待受画面で■951を押す。

- 詳細メニューから(データBOX)→［プリント指定（DPOF）］の順に選択することもできます。
- プリント指定（DPOF）のフォルダ一覧画面が表示されます。
- すでに他の機器で設定したDPOFがあるときは、確認画面が表示されます。クリアするときは、［はい］を選んで■を押します。クリアしないと、新たにDPOFを設定できません。

2 プリント内容を設定する。

静止画を選んでプリント枚数を設定する	フォルダを選ぶ→■→静止画を選ぶ→✉→枚数（1～99）を入力→■ ● 静止画を選んで、0～9でプリント枚数を入力することもできます。 ● 続けて他の静止画を指定できます。
すべての静止画を同じ枚数ずつプリントする	📷1→1→枚数（1～99）を入力→■
［640×480以上］の静止画を同じ枚数ずつプリントする	📷1→2→枚数（1～99）を入力→■
［1024×768以上］の静止画を同じ枚数ずつプリントする	📷1→3→枚数（1～99）を入力→■
指定をすべて取り消す	📷2→［はい］→■
日付を付ける	📷3→1 ● 静止画のプロパティの日付が付けられます。
インデックスプリントを指定する	プリント枚数を設定→📷4→1 ● インデックスプリントとは、はがきやA4用紙などに縮小画像をファイル名付きで印刷する機能です。
プリント指定状況を確認する	📷5 ● 枚数一括指定をしている場合、枚数は概算が表示されます。 ● 確認を終わるときは■を押します。

3 ［完了］を押し、［はい］を選んで■を押す。

- プリント指定をやり直すときは、［いいえ］を選んで■を押します。

4 ■［確認］を押す。

お知らせ

- 他の機器でminiSDメモリーカードに保存したDCF準拠以外の静止画は、印刷指定できない場合があります。

関連操作

静止画を並べ替える<ソート>
待受画面で■951▶フォルダを選ぶ▶■▶📷2▶ソート方法を選ぶ▶■

モバイルオーディオ

モバイルオーディオを利用する

お客様が購入した音楽CDの楽曲などを、SD-Jukeboxとパソコンなどを利用してminiSDメモリーカードに保存すると、FOMA端末で音楽を再生することができます。
モバイルオーディオでは、SD-Audioデータとｉモーションの［マルチメディア］フォルダ内のデータを再生できます。

種　類	ソフト	形　式
SD-Audioデータ	SD-Jukebox	SD-Audio対応AAC
［マルチメディア］内データ※	AMR・AAC・HE-AAC形式に変換可能な任意のソフト	3GP、MP4（AMR・AAC・HE-AAC）

※ ファイル名を「MMFxxxx」に変更してから保存し、miniSDメモリカードの管理情報を更新してください。（ファイル名の「xxxx」は、0001～9999の半角数字）
また、［マルチメディア］内に作成されたフォルダ内のデータは再生できません。

miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。（☞P.323）

- miniSDメモリーカード内に保存した楽曲は、個人使用の範囲内でのみ使用することができます。

次ページへ続く

- ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。
- miniSDメモリーカード内に保存した楽曲は、パソコンなど他の媒体に複製または移動をしないでください。

SD-Jukeboxについて

SD-Jukeboxは次のホームページより購入できます。
http://www.sense.panasonic.co.jp/PanaSense/special/soft/sd_jukebox/
SD-Jukeboxの動作環境詳細は次のホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/software/sdjb/

miniSDメモリーカードに音楽データを登録する

FOMA USB接続ケーブル(別売)でFOMA端末とパソコンを接続し、miniSDメモリーカードに音楽データを保存します。

- SDメモリーカードリーダーライターなどを用いることもできます。ただし、SDメモリーカードリーダーライターは著作権保護機能に対応している必要があります。
- iモーションの[マルチメディア]フォルダに保存する方法については、P.348の「パソコンで作成したiモーション(音楽データ含む)をFOMA端末で再生する」を参照してください。

1 **SD-Jukebox**をパソコンにインストールする。

2 **FOMA**端末に**miniSD**メモリーカードを挿入する。

3 **FOMA**端末を[**miniSD**モード]に設定する。(☞**P.330**)

4 **FOMA**端末と**FOMA USB**接続ケーブル、パソコンを接続する。

5 **SD-Jukebox**を起動し、パソコンに音楽**CD**をセットする。

6 登録する音楽を選び、**miniSD**メモリーカードに楽曲をコピーする。

- SD-Jukeboxの操作方法については、SD-Jukeboxのヘルプをご覧ください。

7 **FOMA**端末から**FOMA USB**接続ケーブルを取り外す。

モバイルオーディオで音楽を再生する

AAC形式でminiSDメモリーカードに保存された音楽を再生します。

1 待受画面で[■][9][3][1]を押す。

- 詳細メニューから(メディアツール)→[モバイルオーディオ]の順に選択することもできます。

2 [■][再生]を押す。

- 音楽が再生されます。
- 前回再生した曲の終了した時点から再生されます。
- マナーモード解除中で、イヤホンマイクを接続していない場合、モバイルオーディオでマナー再生設定を[ON]に設定しているときに再生しようとすると、[マナー再生中です　音楽を再生しますか?]と表示され、[はい]を選んで[■]を押すと、マナー再生設定が[ON]で再生されます。マナー再生設定を[ON]に設定中は、音量が制限され、小さい音量で再生されます。(音量は、音量0~5で変更できます。)
- オリジナルマナーモード設定中は、モバイルオーディオ起動時のマナー再生はオリジナルマナーモードの設定に従います。
- SD-Audioデータがない場合は、[マルチメディアに切替えますか?]と表示されます。[はい]を選んで[■]を押し、[■][再生]を押すと、[マルチメディア]フォルダ内のデータが再生されます。

お知らせ

- 音楽再生中に着信やアラームが動作したり、他の機能の操作を行ったりすると、再生が停止することがあります。
- 音楽再生中に他の機能の操作を行ったりすると、音楽が途切れることがあります。
- モバイルオーディオ再生時、最後に再生した曲の履歴情報(曲番号と再生時間)をminiSDメモリーカード内に保持します。次回再生時は、この履歴情報により、最終再生位置から再生を再開します([マルチメディア]再生時は非対応)。また、FOMA端末やパソコンでminiSDメモリーカード内の曲を削除したり、曲の追加などを行なったりした場合は、履歴情報がクリアされたり、異なるデータに履歴情報が適用されることがあります。
- モバイルオーディオ再生時に電池パックを取り外したり、miniSDメモリーカードを抜いた場合、最後に再生した曲の履歴情報は保持されません。また、曲を削除したり、並べ替えをした場合は、履歴情報はクリアされます。
- 曲は2秒単位で構成されているため、再生を中断させた場合、停止位置と再生の再開位置がずれることがあります。
- マルチメディアのPIMロック中は、端末暗証番号(4~8桁の数字)を入力するとモバイルオーディオを起動できます。
- モバイルオーディオ再生時に、他の機能からminiSDメモリーカードを使用することはできません。
- 他の機能でminiSDメモリーカードを使用しているときは、モバイルオーディオを起動できません。

関連操作

FOMA端末を閉じているとき

待受中に[◎]([音])(1秒以上)▶(モバイルオーディオ再生)▶[◎]([音])(1秒以上)(モバイルオーディオ終了)

リピート再生/ランダム再生を設定する
<再生モード設定>

1 音楽停止中(一時停止中)/音楽再生中に[◎][3][1]

2 全曲リピート再生するときは[3]
- 通常再生するとき:[1]
- 1曲リピート再生するとき:[2]
- ランダム再生するとき:[4]

マナー再生モードにする<マナー再生設定>

1 音楽停止中(一時停止中)/音楽再生中に[◎][3][2]

2 [1]

データ表示/編集/管理/音楽再生　モバイルオーディオ

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

関連操作

再生中の画面を設定する＜再生中画面設定＞

1 音楽停止中に[i][4]
2 パターン1を表示するときは[1]
- パターン2を表示するとき：[2]
- パターン3を表示するとき：[3]
- 静止画を表示するとき：[4]▶フォルダを選ぶ▶[●]▶静止画を選ぶ▶[i]

タイトルやアーティスト名を編集する＜トラック情報編集＞

1 音楽停止中に[i][5]
- プレイリスト画面から編集するとき：曲を選ぶ▶[i][1]
2 タイトルを編集するときは[1]▶タイトルを編集▶[●]
- アーティスト名を編集するとき：[2]▶アーティスト名を編集▶[●]

関連操作のお知らせ

FOMA端末を閉じているときについて

- マルチメディアのPIMロックを設定している場合、モバイルオーディオは起動できません。
- マナーモード設定中またはマナー再生設定中でイヤホンマイクを接続していない場合、モバイルオーディオは起動できません。
- SD-Audio内にデータがない場合やSD-Audio内のデータがすべて非対応曲の場合、モバイルオーディオを起動できません。

情報編集について

- ［マルチメディア］参照中は操作できません。
- 音楽CDからminiSDメモリーカードに楽曲を保存すると、タイトル（全角）、タイトル（半角）、アーティスト名（全角）、アーティスト名（半角）、コメントの情報が設定されます。
- タイトル（全角）とアーティスト名（全角）は編集することができます。タイトル・アーティスト名をあわせた文字数の合計は、最大125文字までです。また、タイトル（半角）とアーティスト名（半角）については、FOMA端末で確認することはできません。

再生中のボタン操作

	FOMA端末を開いているとき	FOMA端末を閉じているとき
停止する	[●][停止]	－
音量を調節する	[▼]（下げる）または[▲]（上げる） ● ボタンを押し続けると、連続して調節できます。	[▼]（下げる）または[▲]（上げる）
前の曲に戻す／頭出しをする	[◀] ● 再生経過時間が2秒以内の場合は前の曲に戻ります。2秒以上の場合は頭出しになります。 ● ボタンを押し続けると、早戻しになります。（［マルチメディア］参照中は曲をまたいでの早戻しはできません。）	[▲]（1秒以上） ● 再生経過時間が2秒以内の場合は前の曲に戻ります。2秒以上の場合は頭出しになります。
曲を送る	[▶] ● ボタンを押し続けると、早送りになります。	[▼]（1秒以上）
モバイルオーディオを終了する	[CLR]または[PWR]	[■]（[↻]）（1秒以上）
日時を表示する	－	[■]（[↻]）
サブディスプレイの表示をスクロールする	－	[■]（[P]）

- [i][操作パネル]を押すと操作パネルが表示されます。
- 操作パネルから[✣]で動作を選んで[●]を押すか、ダイヤルボタン（[1]～[9]）を押して操作することもできます。操作パネルの並びは、ダイヤルボタンの並びに対応しています。

iモーションを再生する＜参照先切替＞

miniSDメモリーカード内の\PRIVATE\DOCOMO\MMFILEフォルダにある、音声のみの動画／iモーションはモバイルオーディオでも再生することができます。

- \PRIVATE\DOCOMO\MMFILEフォルダ内に作られたフォルダにiモーションがある場合、そのiモーションは再生できません。

1 音楽停止中に[i][2][2][マルチメディア]を押す。
- 音楽データ（AAC）の再生に戻すときは、[i][2][1][SD-Audio]を押します。

2 [はい]を選んで[●]を押す。

プレイリストを利用する＜プレイリスト表示＞

登録されているプレイリストを使って再生します。

- お客様がSD-Jukeboxで作成したユーザプレイリストは参照（表示）できません。

1 音楽停止中に[i][1][プレイリスト表示]を押す。
- 音楽再生中でも操作できます。

2 再生する曲を選んで[●][再生]を押す。

関連操作

音楽データを削除する＜トラック削除＞

1 音楽停止中にプレイリスト画面で曲を選ぶ▶[i][2]
2 1件削除するときは[1]▶[はい]▶[●]
- 複数の曲をまとめて削除するとき：[2]▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶[●]▶曲を選ぶ▶[●]（くり返し可）▶[i]▶[はい]▶[●]
- すべての曲を削除するとき：[3]▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶[●]▶[はい]▶[●]

プレイリストの曲を並べ替える＜並べ替え＞

音楽停止中にプレイリスト画面で[i][3]▶移動する曲を選ぶ[●]移動先を選ぶ[●]（くり返し可）▶[i]

次ページへ続く▶▶

関連操作

詳細情報を表示する<情報表示>

プレイリスト画面で曲を選ぶ▶[メニュー][5]
- 確認を終わるとき:[●]または[CLR]

関連操作のお知らせ

トラック削除／並べ替えについて
- [マルチメディア]参照中は操作できません。

プレイリストの曲を検索する<トラック検索>

1 プレイリスト画面で[i][検索]または[メニュー][4][トラック検索]を押し、検索方法を選択する。

タイトルで検索	[1]→タイトルを入力→[●]
アーティストで検索	[2]→アーティスト名を入力→[●]
検索履歴から検索	[3]→検索履歴を選択→[●] ● 最近検索した履歴が5件まで表示されます。

- 検索結果リストから曲を削除するとき:[メニュー][1]→削除方法を選択(検索結果リストから削除しても、元の音楽データは削除されません。)
- 検索をやり直すとき:[メニュー][2]または[i]
- プレイリスト画面に戻るとき:[メニュー][4]または[CLR]
- [マルチメディア]参照中は操作できません。
- モバイルオーディオを終了すると、検索履歴はクリアされます。

2 再生する曲を選んで[●][再生]を押す。
- 再生中に[メニュー][1][検索結果表示]を押すと、検索結果リストに戻ります。

パソコンで作成したｉモーション(音楽データ含む)をFOMA端末で再生する

お客様が購入したCDの楽曲などを、パソコンなどを利用してminiSDメモリーカードに保存し、FOMA端末で再生することができます。
ここでは、データBOXのｉモーションの[マルチメディア]フォルダに保存して再生する方法を説明します。モバイルオーディオで再生する方法については、P.345の「モバイルオーディオを利用する」を参照してください。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。(☞P.323)
- miniSDメモリーカード内に保存した楽曲は、個人使用の範囲内でのみ使用することができます。
- ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。
- miniSDメモリーカード内に保存した楽曲は、パソコンなど他の媒体に複製または移動しないでください。

1 お客様が購入したCDの楽曲などを、MP4形式に変換できる市販のソフトを利用して変換し、パソコンに保存する。
- ソフトウェアの使用方法など詳細については、ソフトウェア提供各社のホームページなどでご確認ください。

2 miniSDメモリーカードをパソコンにセットし、楽曲ファイルをコピーする。
- コピー方法は次のとおりです。
  1. 操作1で作成したファイルの名前を「MMFxxxx.3gp」／「MMFxxxx.mp4」に変更する。
     - ファイル名を変更する際は、パソコン上の設定で拡張子を表示してから行ってください。
     - 変更後のファイル名は、拡張子を除いて半角で「MMF0001」～「MMF9999」までのファイル名に変更してください。
  2. miniSDメモリーカード内の\PRIVATE\DOCOMO\MMFILEフォルダにコピーする。
     - [MMFILE]フォルダがminiSDメモリーカード内にない場合は、miniSDメモリーカードをFOMA端末に一度挿入して認識させてから、再度パソコンに挿入してください。
     - miniSDメモリーカードのフォルダ構成については、P.325を参照してください。

3 miniSDメモリーカードの管理情報の更新を行う。
- 詳しくは、P.330を参照してください。

4 待受画面で[●][9][1][2][メニュー][7]を押し、[マルチメディア]フォルダから楽曲を選んでｉモーション(音楽データ含む)を再生する。
- ｉモーションの再生についてはP.309、リピート再生についてはP.310、連続再生についてはP.312を参照してください。
- [マルチメディア]フォルダ内のデータは、最大400件まで表示されます。フォルダ内に再生できないデータがある場合や、401件以上のデータが存在する場合には、データが表示されないことがあります。

お知らせ
- 再生中に着信やアラーム動作があった場合、再生は中止されます。
- ご使用になる市販のソフトウェアなどによっては、楽曲ファイルをFOMA端末でうまく再生できない場合があります。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

その他の便利な機能

設定状況確認

設定状況を確認する

各種機能の設定状況を確認できます。

- 確認できる機能は次のとおりです。
  音、表示、一般設定、通話・通信機能設定、セキュリティ、ｉモード、フルブラウザ、メール・メッセージ、ｉアプリ

1 待受画面で[■][3][1][4]を押し、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力して[■]を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[一般設定]→[確認]→[設定状況確認]の順に選択することもできます。
- 入力した端末暗証番号は、[✕]で表示されます。

2 確認する機能を選ぶ。

- 設定状況が表示され、内容を確認できます。[▲▼]でページを切り替えできます。
- [■]を押すと、元の画面に戻ります。

［音］を選んだ場合

音	[1]
表示	[2]
一般設定	[3]
通話・通信機能設定	[4]
セキュリティ	[5]
ｉモード	[6]
フルブラウザ	[7]
メール・メッセージ	[8]
ｉアプリ	[9]

マルチアクセス

マルチアクセスについて

FOMA端末では音声電話と一部のパケット通信（ｉモードメールの受信およびパソコンをつないだデータ通信）の複数の通信を同時にご利用いただけます。これをマルチアクセスと呼びます。

- マルチアクセスとは別に、音声電話などの通信中にSMSを受信できます。
- 音声電話中にも他のパケット通信（ｉモードおよびｉモードメール送信）はご利用できます。

マルチアクセスの主な組み合わせ

FOMA端末で同時に使用可能な通信機能の主な組み合わせは、P.422の「マルチアクセスの組み合わせについて」を参照してください。

マルチアクセスでできる主な操作

音声電話の通話中にｉモードメールやSMSを受信できます。さらに、マルチアシスタント（☞P.351）をご利用になると、音声電話をかけながら受信したメールを見ることなどもできます。

通話中にｉモードメールやSMSを受信する

音声電話の通話中にｉモードメールやSMSを受信したり、テレビ電話中にSMSを受信したとき、通話中の画面のまま受信できます。音声電話の通話中にマルチアシスタントを使うと、通話しながらｉモードメールやSMSを見ることもできます。

- テレビ電話中はｉモードメールを受信できません。ｉモードメールはｉモードセンターに保管されます。

1 音声電話の通話中にｉモードメールや**SMS**を受信する。

- ディスプレイに［✉］、［📨］または［SMS］が表示されます。
- このまま通話を続けて、通話終了後にｉモードメールやSMSを見ることもできます。

2 通話しながらｉモードメールや**SMS**を見るときは、[MULTI]を押す。

- マルチアシスタントの使いかたについては、P.351を参照してください。
- 通話中画面に戻るときは、[MULTI]を押します。

3 ［メール］を選んで[■]を押し、［受信**BOX**］を選んで[■]を押す。

4 フォルダを選んで[■]を押し、メールを選んで[■]を押す。

- 通話中画面に戻るときは、[MULTI]を押し、［音声電話］を選んで[■]を押します。

ｉモード中に電話をかける

ｉモード中に通信を継続したまま、Phone To（AV Phone To）機能により音声電話をかけることができます。

1 サイトやインターネットホームページで表示されている電話番号を選んで[■]を押す。

2 ［はい］を選んで[■]を押し、[📞]または[■]［発信］を押す。

- ｉモードに接続したまま、ダイヤルされます。
- テレビ電話をかけた場合は、ｉモード通信が終了します。

3 通話が終わったら、[☎]を押す。

- サイトやインターネットホームページの画面に戻ります。

マルチアシスタント(マルチタスク)について

マルチアシスタント(マルチタスク)とは音声電話中にメールを作成するなど、複数の機能を同時に使用できる機能です。

- 音声電話の着信やデータ通信の着信などで、4つ以上の機能が同時に動くこともあります。
- ディスプレイ上部に、起動中の機能のマーク(マルチタスク表示)が表示されます。(☞P.29)

新しい機能を呼び出す

音声電話中や機能の操作中に別の機能を起動することができます。

- 待受画面表示中、テレビ電話中、プッシュトーク通信中、カメラ起動中、ボイスレコーダー起動中、メール送受信中、赤外線受信中、アラーム設定中、タイマー設定中、miniSD管理画面、各種設定画面、詳細メニュー、基本メニュー、ショートカットメニューなどは、マルチアシスタントで他の機能を起動できません。
- マルチアシスタントで同時に起動できる機能の組み合わせについて(☞P.423)

1 音声電話の通話中や機能の操作中にMULTIを押す。

- アプリアイコン選択画面が表示されないときは、[切替]を何回か押します。
- アプリリスト選択画面が表示されたときは、で切り替えるか、そこから起動する機能を選ぶこともできます。

アプリアイコン選択画面

- マルチアシスタントを利用できないときはMULTIを押してもマルチアシスタントの画面は表示されません。

アプリリスト選択画面

2 起動する機能アイコンを選んで■を押す。

- でカーソルを移動します。
- 選択できない機能は起動できません。
- 起動する機能が一覧表示されたときは、機能を選んで■を押します。機能の操作については、各機能の説明ページを参照してください。

[電話帳]を選んだ場合

- 音声電話をかけるときは、を押し、電話番号を入力してを押します。
- アプリアイコン選択画面の機能アイコンの位置を入れ替えるときは、機能アイコンを選んでを押し、移動先を選んで■を押します。元に戻すときは、[リセット]を押します。

画面を切り替える

マルチアシスタントで複数の機能を起動しているときは、表示する画面を切り替えることができます。

1 複数の機能の動作中にMULTIを押す。

アプリアイコン切替画面

- 現在動作している複数の機能が、アプリアイコン切替画面にアイコンとして表示されます。(4つ以上の機能が動作しているときは、アプリリスト切替画面が表示されます。)

2 表示する機能を選んで■を押す。

- 4つ以上の機能が動作しているときは、で機能を選んで■を押します。

機能を終了する

表示中の機能を終了する

1 複数の機能が動作しているときに、を押す。

- 表示されていた機能が終了し、別の動作中の画面が表示されます。

機能を選んで終了する

1 複数の機能が動作しているときにMULTIを押す。

2 機能を選んで[終了]を押す。

- 4つ以上の機能が動作しているときは、で機能を選んでを押します。
- すべての機能を終了するときは、[全終了]を押します。

お知らせ

- 機能によっては確認画面が表示される場合があります。[はい]を選んで■を押すと終了します。

アクティブマーカー

最近利用した機能やファイルを呼び出す

最近利用した機能、最近表示したページや画像などは待受画面から簡単に呼び出すことができます。当日のスケジュールやToDoリストの詳細を表示することもできます。

アイコン	機 能	内 容
	iモード履歴	iモードメニューから接続したiモードサイトのURLとタイトルを最新5件分記憶しています。履歴一覧から選択するだけで、同じサイトにすぐに接続できます。(同じサイトは重複せず1件として記憶されます。)
	フルブラウザ履歴	Internet(フルブラウザ)メニューから接続したインターネットサイトのURLとタイトルを最新5件分記憶しています。履歴一覧から選択するだけで、同じサイトにすぐに接続できます。(同じサイトは重複せず1件として記憶されます。)
	モバイルオーディオ履歴	モバイルオーディオで再生したminiSDメモリーカード内の楽曲のタイトル最新1件とプレイリストを記憶しています。履歴一覧から選択するだけですぐに再生できます。(音声のみのiモーション(歌手の歌声など映像のないiモーション)は記憶されません。)
	スケジュール表示	当日のスケジュールまたは当日が期限のToDoリストのうち開始時間/期日時間が早いものが5件まで表示されます。一覧から選択すると、詳細画面が表示されます。
	メール履歴	表示したメールを最新5件分記憶しています。履歴一覧から選択してメール表示画面を表示できます。
	マイピクチャ履歴	イメージビューアで再生した画像を最新5件分記憶しています。履歴一覧から選択して再生できます。(Flash画像、GIFアニメーションは記憶されません。)
	iモーション履歴	ビデオプレーヤで再生したiモーションを最新5件分記憶しています。履歴一覧から選択して再生できます。([移行可能コンテンツ]フォルダ内のiモーション再生時は記憶されません。)
	iアプリ履歴	保存されているiアプリのうち最近起動したものを5件分記憶しています。履歴一覧から選択して起動できます。(待受iアプリを実行した場合は履歴に記憶されません。)

1 待受画面で□を押す。

- 待受画面にカレンダーを表示しているときは□を押し、カレンダー表示を解除したあと、□を押してください。

デスクトップアイコン選択画面

2 デスクトップアイコンを選んで□を押し、履歴を選んで□を押す。

- 履歴のないデスクトップアイコンでは、履歴は表示されません。
- 選択した履歴の機能が起動します。
- 選択した機能のPIMロック中は端末暗証番号(4〜8桁の数字)の入力が必要です。
- 選択した履歴のファイルやメールを削除または移動した場合は、[起動できません 削除/移動されている可能性があります]または[起動できません 削除されている可能性があります]と表示され、起動できません。また、カレンダー/日付表示エリアの選択画像表示は代替画像に切り替わります。選択した履歴のiアプリを削除した場合は、[指定されたソフトがありません]と表示されます。
- マイピクチャ履歴、iモーション履歴は、FOMA端末(本体)にデータがある場合は、フォルダを移動しても表示され、起動できます。

カレンダー/日付表示エリア

- デスクトップアイコンが[スケジュール表示]の場合は常にカレンダーが表示されます。[マイピクチャ履歴]、[iモーション履歴]の場合は選択した画像が表示されます。
それ以外の場合は、[カレンダー/日付表示]の設定に従います。

アクティブマーカーのデザインを変更する

アクティブマーカーのデザインを変える <スクリーンテーマ>

デスクトップアイコンのタイトル画像やアクションを、統一されたイメージに変更できます。

1 デスクトップアイコン選択画面で□□[スクリーンテーマ]を押し、テーマを選ぶ。

テーマ:Luxury	1
テーマ:Skyscraper	2
テーマ:Sunnyday	3

アクティブマーカーの背景を設定する <背景設定>

アクティブマーカーの背景画像を設定できます。

- 横240×縦320ドット以下のJPEG画像、GIF画像を利用できます。(Flash画像、GIFアニメーションは利用できません。)

お買い上げ時設定(待受画面1)

1 デスクトップアイコン選択画面で□□[背景設定]を押し、フォルダを選んで□を押し、静止画を選んで□[決定]を押す。

- 静止画を確認するときは、静止画を選んで□を押します。□を押すと元の画面に戻ります。

その他の便利な機能 アクティブマーカー

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

カレンダー／日付の表示を設定する ＜カレンダー／日付表示＞

カレンダー／日付表示エリアの表示を変更できます。

- デスクトップアイコンが[スケジュール表示]の場合はこの設定にかかわらず常にカレンダーが表示されます。[マイピクチャ履歴]、[iモーション履歴]の場合は選択した画像が表示されます。

1 デスクトップアイコン選択画面で[3][カレンダー／日付表示]を押し、表示する内容を選ぶ。

カレンダーを表示する	[1]
日付を表示する	[2]
表示しない	[3]

履歴を削除する＜履歴削除＞

アクティブマーカーの履歴を、機能ごとに削除または全削除することができます。

- スケジュールは削除できません。

1 デスクトップアイコン選択画面で[4][履歴削除]を押し、削除方法を選ぶ。

選択した機能の履歴を全削除する	[1]
すべての機能の履歴を全削除する	[2]→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→[■]

デスクトップアイコンを表示するかどうかを設定する＜表示カテゴリ設定＞

機能ごとにデスクトップアイコンを表示するかどうかを設定できます。

お買い上げ時設定（すべて表示）

1 デスクトップアイコン選択画面で[5][表示カテゴリ設定]を押し、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力して[■]を押す。

2 表示または非表示にする項目を選んで[■]を押し、[完了]を押す。

- ☑は表示、☐は非表示の状態です。
- [■]を押すと、表示と非表示を交互に切り替えることができます。
- すべてを選択／解除する場合は、[全選択]／[全解除]を押します。

自動電源ON

自動的に電源をONにする

指定した時刻になったら自動的にFOMA端末の電源を入れます。

- 自動電源ONを解除するまで、毎日同じ時刻に動作します。
- あらかじめ、日時を正しく設定しておいてください。（☞P.48）
- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くや、航空機内、病院など使用を禁止された区域に入る場合は、あらかじめ自動電源ONを解除してから、FOMA端末の電源を切ってください。

お買い上げ時設定（OFF（解除））

1 待受画面で[■][3][3][1]を押す。

- 詳細メニューから✕（設定）→[一般設定]→[自動電源ON／OFF]→[自動電源ON]の順に選択することもできます。

2 [自動電源ON設定]を選んで[■]を押し、[ON]を選んで[■]を押す。

3 [時刻]を選んで[■]を押し、動作時刻（4桁）を入力して[■]を押す。

- 時刻は24時間制で入力します。
- カーソルは、[◀▶]で移動できます。

4 [アラーム設定]を選んで[■]を押し、[ON]を選んで[■]を押す。

- アラームを鳴らさないときは、[OFF]を選んで[■]を押し、操作7へ進みます。

5 [アラーム音]を選んで[■]を押し、フォルダを選んで[■]を押し、アラーム音を選んで[決定]を押す。

- アラーム音を確認するときは、アラーム音を選んで[■]を押します。停止するときは[i]を押します。

6 [アラーム音量]を選んで[■]を押し、[▲]（上げる）／[▼]（下げる）を押して音量を調節し、[■]を押す。

7 [完了]を押す。

- アラーム設定を[ON]に設定したときは、[PIN1コード入力がONのときにはPIN1コードが入力されるまでアラームは鳴動しません]と表示されます。[■][確認]を押すと、自動電源ON機能が設定されます。

■ 指定した時刻になると

自動的に電源が入り、[自動電源ON時刻が過ぎました]と表示されます。

- 指定した時刻に電源が入っていたときも、同様に動作します。
- PIN1コード入力設定(☞P.158)を[ON]に設定しているときは、PIN1コード入力画面になり、PIN1コード入力後[自動電源ON時刻が過ぎました]と表示されます。
- アラームが鳴るように設定しているときは、約15秒間アラームが鳴ります。いずれかのボタンを押すと止まります。
- 通話中や着信時の場合は、通話終了後にアラームが鳴ります。

お知らせ

- 自動電源ONとアラーム(アラーム/スケジュールアラーム/ToDoアラーム)を同じ時刻に設定すると、自動電源ONが優先します。自動電源ON通知画面でしばらく(約15秒)お待ちいただくか、またはボタンを押して自動電源ON通知画面を消すとアラームが動作します。
- 自動電源ONと自動電源OFFの時間を同時刻に設定した場合、FOMA端末の電源が切れているときは電源が入り、電源が入っているときは電源が切れます。ただし、電源が入っているときは、電源が切れたあとすぐに電源が入る場合があります。

アラーム設定時刻に自動で電源を入れてアラームを鳴らす<アラーム連動電源ON>

電源が入っていないときにアラーム設定時刻になった場合、自動的に電源を入れてアラームを動作させることができます。

お買い上げ時設定(OFF)

1 待受画面で■333を押し、1[ON]を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[一般設定]→[自動電源ON/OFF]→[アラーム連動電源ON]の順に選択することもできます。

2 ■[確認]を押す。

お知らせ

- 自動電源ONとアラーム連動電源ONを同じ時刻に設定すると、自動電源ONが優先します。

自動電源OFF
自動的に電源をOFFにする

指定した時刻になったら自動的にFOMA端末の電源を切ります。

- 自動電源OFFを解除するまで、毎日同じ時刻に動作します。
- あらかじめ、日時を正しく設定しておいてください。(☞P.48)

お買い上げ時設定(OFF(解除))

1 待受画面で■332を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[一般設定]→[自動電源ON/OFF]→[自動電源OFF]の順に選択することもできます。

2 [自動電源OFF設定]を選んで■を押し、[ON]を選んで■押す。

3 [時刻]を選んで■を押し、動作時刻(4桁)を入力して■を押す。

- 時刻は24時間制で入力します。
- カーソルは、◯で移動できます。

4 i[完了]を押す。

- 自動電源OFF機能が設定されます。

■ 指定した時刻になると

指定した時刻に何かの操作をしていると(待受画面以外のとき:iモード/メール/アラーム(鳴動時)/電卓/スケジュール/ToDo/タイマー/メロディプレーヤ/データBOXの連続再生・スライドショー・全画面表示など)、確認画面が表示されます。[はい]を選択するか、約1分間何も操作しないでそのままにしておくと、電源は切れます。

確認画面

[いいえ]を選択すると、操作を続けることができます。

- 通話中のときは、通話を終了して通話前の画面に戻ると確認画面が表示されます。
- ソフトウェア更新中(☞P.438)は、ソフトウェア更新終了後、待受画面に戻ると確認画面が表示されます。

お知らせ

- 自動電源OFFとアラーム(アラーム/スケジュールアラーム/ToDoアラーム)を同じ時刻に設定すると、自動電源OFFにより電源が切れ、アラームは動作しません。(ただし、同時刻内に手動で電源を入れた場合や確認画面が表示されたときに、[いいえ]を選択した場合は、アラームが動作します。)
- iアプリ起動中は、自動電源OFFで設定した時刻になっても、電源は切れません。iアプリを終了すると自動電源OFF確認画面が表示され、何も操作しないでそのままにしておくと電源が切れます。
- 赤外線通信機能起動中は、自動電源OFF で設定した時刻になっても、電源は切れません。赤外線通信が終了すると自動電源OFF確認画面が表示され、何も操作しないでそのままにしておくと電源が切れます。
- 自動電源ONと自動電源OFFの時間を同時刻に設定した場合、FOMA端末の電源が切れているときは電源が入り、電源が入っているときは電源が切れます。ただし、電源が入っているときは、電源が切れたあとすぐに電源が入る場合があります。

タイマー
一定の時間が経過するとアラームで知らせる

設定した時間が経過したときに、アラーム音でお知らせできます。

- アラーム音は約15秒間鳴ります。いずれかのボタンを押すと止まります。

● 着信バイブレータ(☞P.132)を設定していると、アラーム動作時にバイブレータも連動して動作します。

1 待受画面で[■][9][2][9][3]を押す。

● 詳細メニューから(LifeKit)→[便利機能]→[タイマー]の順に選択することもできます。

2 時間を入力して[■][開始]を押す。

● 左の2桁に分を、右の2桁に秒を入力します。
● 1秒〜99分59秒の間で設定できます。

9分58秒
➡[09:58]

タイマーを止める	[■] ● 再開するときは[■][開始]を押します。 ● [リセット]を押すと、設定時間が[3分]に戻ります。
タイマーを解除する	[☎]

お知らせ

● タイマーでお知らせする音や鳴動時間を変えたり、音量を変えることもできます。(☞P.130)
● タイマーを利用中に電話がかかってきたりメールを受信しても、タイマーは継続します。ただし、通話中、メール受信中など、タイマーが表示されていない時に設定した時間が経過した場合、アラーム音は鳴りません。
● タイマー動作中に電源を切った場合、タイマーは終了します。

関連操作

待受画面からタイマーを使う<タイマー>
待受画面で、時間(1〜99分)を入力▶[■][3]

アラーム

指定した時刻にアラームで知らせる

指定した時刻・曜日に、アラーム音や動画/iモーションでお知らせします。

● あらかじめ、日時を正しく設定しておいてください。(☞P.48)
● アラームは9件まで登録でき、毎日、または曜日指定の繰り返し設定を行っている場合は、解除するまでお知らせします。
● 着信バイブレータ(☞P.132)を設定していると、アラーム動作時にバイブレータも連動して動作します。

アラームを登録する

ここでは、アラームが動作する時刻と曜日を設定する手順を例に、基本的なアラームの登録方法を説明します。

● アラーム音量や音色を変えたり、メッセージや電話番号を表示するなど、アラーム動作時の状態を設定することもできます。(☞P.356)

メッセージ	アラーム動作時にメッセージを表示できます。最大全角30文字(半角60文字)まで入力できます。
連絡先	アラーム動作時に電話番号を表示できます。アラーム動作時に簡単に電話をかけられます。(☞P.356)
アラーム音選択	アラーム音を変更できます。動画/iモーションも設定できます。
アラーム音量選択	アラーム音量を変えることができます。
スヌーズ設定	アラームが鳴る回数と間隔を設定できます。
鳴動時間	アラーム動作時にアラームが鳴っている時間を変更できます。

お買い上げ時設定(アラーム音選択:着信音1　アラーム音量選択:音量5　スヌーズ設定:OFF　鳴動時間:15秒)

1 待受画面で[■][9][2][9][4]を押し、登録番号を押す。

● 詳細メニューから(LifeKit)→[便利機能]→[アラーム]の順に選択することもできます。

アラーム登録画面

2 [1][時刻入力]を押し、動作時刻(4桁)を入力して[■]を押す。

● 時刻は24時間制で入力します。
● カーソルは、[○]で移動できます。

3 [2][繰り返し設定]を押し、くり返し方法を選ぶ。

アラームを1回だけ動作させる	[1] ● アラーム動作後、設定が自動的に解除されます。
動作させる曜日を指定する	[2]→曜日を選ぶ[■](くり返し可)→[■] ● [休日設定日を除く]にチェックを入れたときは、休日設定・祝日設定された日にはアラームが動作しません。 ● 曜日指定を解除する場合は、曜日を選び[■]を押します。 ● すべてを選択/解除する場合は、[■][全選択]/[■][全解除]を押します。
アラームを毎日動作させる	[3]

次ページへ続く▶▶

4 [完了]を押す。

設定内容の見かた

1 アラーム設定されているときに表示
2 設定時刻
- 登録を終わるときはを押します。(待受画面に[]表示)

3 くり返し設定の内容を表示
:1回だけ
:曜日指定
:毎日
4 アラーム音が動作している時間
5 スヌーズ設定されているときに表示
6 未登録

お知らせ

- アラームとスケジュールアラーム/ToDoアラームを同じ時刻に設定すると、アラーム→スケジュールアラーム/ToDoアラームの順に動作します。
- 当日(時刻が過ぎている場合は翌日)、1回のみのアラームを簡単に設定することもできます。(クイックアラーム)

関連操作

待受画面からアラームを設定する<クイックアラーム>
待受画面▶時刻(例 午後2時5分:「1405」)入力▶

メッセージを表示する<メッセージ>
アラーム登録画面(P.355)で▶メッセージを入力▶

連絡先を表示する<連絡先>
1 アラーム登録画面(P.355)で
2 ▶名前を選ぶ▶
- 直接入力するとき:▶電話番号を入力▶

アラーム音を変更する<アラーム音選択>
1 アラーム登録画面(P.355)で
2 [メロディ]
- 動画/iモーションを設定するとき:
- 設定しないとき:

3 フォルダを選ぶ▶▶アラーム音を選ぶ▶
- アラーム音を確認するとき:アラーム音▶(で停止)
- 動画/iモーションを確認するとき:動画/iモーション▶(で停止)

アラーム音量を変更する<アラーム音量選択>
1 アラーム登録画面(P.355)で
2 (上げる)/(下げる)▶
- アラーム音を鳴らさないとき:[サイレント]

関連操作

アラームの回数と間隔を設定する<スヌーズ設定>
1 アラーム登録画面(P.355)で
2
3 間隔(2桁:02〜15分)を入力▶▶回数(2〜6)を入力▶

鳴動時間を変更する<鳴動時間>
アラーム登録画面(P.355)で▶鳴動時間(2桁:02〜99秒)を入力▶

関連操作のお知らせ

待受画面からのアラーム設定について(クイックアラーム)
- 日時は当日(時刻が過ぎている場合は翌日)、分類は[分類なし]、メッセージは[クイックアラーム]としてスケジュールに登録されます。

連絡先の表示について
- ダイヤル発信制限中は、連絡先を入力できません。
- 電話帳のPIMロック中は、電話帳利用時に端末暗証番号(4〜8桁の数字)の入力が必要です。

アラーム音設定について
- マルチメディアのPIMロック中、[メロディ]、[iモーション]を設定するときは、端末暗証番号(4〜8桁の数字)の入力が必要です。

スヌーズ間隔について
- スヌーズ中に音声電話着信があった場合、通話中にスヌーズ設定された時刻になった場合には、通話終了後に直ちに鳴動します。スヌーズ設定された時刻になっていない場合は、通話終了後にスヌーズ中となり、スヌーズ設定された時刻になると鳴動します。

アラーム設定時刻になると

1 アラーム音が鳴る。

- アラームのオプションで設定した、アラーム音の種類、音量、鳴動時間などに従って動作します。(登録しているメッセージ、連絡先の電話帳に登録されている画像も表示されます。)
- FOMA端末を閉じているときは、サブディスプレイに[アラーム鳴動中]と表示されます。
- 着信バイブレータ(P.132)を設定しているときは、アラーム音と同時にバイブレータも動作します。
- アラーム音量をステップトーン以外に設定しているときは、(上げる)/(下げる)を押して音量を調節できます。

2 止めるときは、いずれかのボタンを押す。

表示を消す	
電話をかける(連絡先登録時)	→電話をかける(P.119)

● スヌーズを設定しているときは、[☎]以外のボタンでアラーム音を止めると、あらかじめ指定した間隔で複数回アラームが鳴ります。[☎]でアラーム音を止めたときは、以降その時刻に対するスヌーズは動作しません。

お知らせ

● アラームの連絡先に設定した電話帳にピクチャーコールが設定されていた場合、アラーム時にその画像が表示されます。
● アラームの連絡先に設定した電話帳に、ピクチャーコールとグループピクチャーコールの両方が設定されている場合、電話帳に登録されているピクチャーコールが優先されます。
● 映像と音を含んだｉモーションをアラーム音に設定した場合、登録されている連絡先のピクチャーコールに関係なくｉモーションの映像が表示されます。
● 音声のみのｉモーション(歌手の歌声など映像のないｉモーション)をアラーム音に設定した場合、登録されている連絡先のピクチャーコールが表示されます。ピクチャーコールにｉモーションが登録されている場合は通常のアラーム画面が表示されます。
● メモ／スケジュール／ToDoのPIMロック中、設定した時刻になってもアラームは動作しません。
● 赤外線通信中、データ送受信中、赤外線リモコン操作中にアラーム／スケジュールアラーム／ToDoアラームで設定した時刻になったときは、通信が終了し、待受画面に戻ると動作しますが、ソフトウェア更新操作中にアラーム／スケジュールアラーム／ToDoアラームで設定した時刻になったときは、ソフトウェア更新操作終了後でも動作しない場合があります。

操作２で何も操作しないで、アラーム鳴動時間が経過すると

● アラーム音が止まり、アラーム時間が過ぎたことを、ディスプレイの表示でお知らせします。(アラームの設定時間が表示されます。)

通話中にアラーム時刻になったとき

● 通話を終了し、通話前の画面に戻るとアラームが動作します。

マナーモード設定中にアラーム時刻になったとき

● 通常マナーモードの場合、アラーム音は鳴りませんが、バイブレータは動作します。サイレントマナーモードの場合、アラーム音はならず、バイブレータも動作しません。オリジナルマナーモードの場合は、アラーム音やバイブレータの[ON]／[OFF]の設定に従います。
通常マナーモードや、オリジナルマナーモードでバイブレータを[ON]にしている場合、バイブレータ設定を[OFF]に設定していても、バイブレータは[パターン１]で振動します。

公共モード(ドライブモード)設定中にアラーム時刻になったとき

● アラーム音／バイブレータは鳴らず、着信ランプも点滅しません。

アラームを解除／削除／再設定する

アラームは、１件ごとに設定(再設定)／解除／削除できます。削除すると登録内容が消えますが、解除しても登録内容は消えません。再設定を行うことで、再び同じ内容でアラームを動作させることができます。

1 待受画面で[■][9][2][9][4]を押し、登録番号を選んで解除／削除／再設定する。

解除する	[i] ● 解除するときは[⏲]が表示されている番号を選びます。解除すると[⏲]が消えます。
設定(再設定)する	[i] ● 再設定するときは[⏲]が表示されていない番号を選びます。設定すると[⏲]が表示され、待受画面に[🔔]が表示されます。
削除する	[📷]→[はい]→[■] ● 設定されていた内容が削除され、アラーム一覧画面に[-------------------]が表示されます。

スケジュール

スケジュールを管理する

予定の開始日時、終了日時、内容、連絡先(電話番号)などを登録して管理できます。開始時刻前にアラームでお知らせしたり、メッセージや電話番号、静止画を表示することもできます。また、連絡先でスケジュールを検索したり、電話帳を表示して電話をかけたり、メールを作成することもできます。アイコン表示のカレンダーでは、簡単な操作で分類アイコンだけをスケジュールに登録できます。あとから内容を追加することもできます。(☞P.358)

● あらかじめ、日時を正しく設定しておいてください。(☞P.48)
● スケジュールは最大300件まで登録できます。
● 2000年１月１日～2099年12月31日まで登録できます。

カレンダーを表示する<カレンダー>

カレンダーを表示できます。(☞P.138)スケジュール機能で登録した予定を確認することもできます。

● お買い上げ時は、カレンダーには「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律(平成17年法律第43号)」に基づいた祝日が登録されています(2006年12月現在)。(春分の日、秋分の日の日付は前年の２月１日の官報で発表されるため異なる場合があります。)祝日は赤色で表示されます。
● 自分の休日など、新たな休日や祝日を登録し、カレンダーに表示することもできます。

次ページへ続く ▶▶

1 待受画面で■9 2 8 1を押す。

- 詳細メニューから(LifeKit)→[スケジュール]→[スケジュール]の順に選択することもできます。
- 今月のカレンダーが表示されます。
- カレンダーを消すときは☎を押します。

カレンダー画面

前月のカレンダーを表示する	◧
次月のカレンダーを表示する	◨

■ 指定した日付のカレンダーを表示する <日付指定表示>

1 カレンダー画面で◙3 5[日付指定表示]を押す。

日付指定 2006年08月22日

2 日付を入力して■を押す。

関連操作

待受画面から日付を入力してカレンダーを表示する
待受画面で日付入力▶■1

関連操作のお知らせ

- 日付入力と表示されるカレンダーの対応は次のとおりです。
  01〜31　今月のカレンダー(1日〜31日)
  0101〜1231　指定月日のカレンダー(1月1日〜12月31日)
  20000101〜20991231　指定年月日のカレンダー(2000年1月1日〜2099年12月31日)

■ カレンダー表示を切り替える<表示切替>

- カレンダーの表示をアイコン表示に切り替えても、待受画面のカレンダー表示設定には反映されません。(設定したスケジュールや休日は反映されます。)待受画面のカレンダー表示設定については、P.138を参照してください。

お買い上げ時設定(通常表示)

1 カレンダー画面で◙3 1[表示切替]を押し、表示形式を選ぶ。

- 予定の内容を表示するときは、予定を選んで■を押します。(☞P.361)

表示切替
1 通常表示
2 アイコン表示

通常表示	1
アイコン表示	2

■ カレンダー画面の見かた

アイコン表示　　通常表示

1 本日(反転表示)
2 選択している日(黒線枠で表示)
3 選択している日(緑色で表示)
4 休日設定されている日(赤色で表示)
5 登録されている予定(分類別にアイコンで表示)
6 予定が登録されている日(アンダーライン表示)
- 2日以上の予定が登録されている日(アンダーライン表示)

スケジュールを登録する

ここでは、予定の日時と内容、分類、連絡先を登録する手順を例に、基本的な予定の登録方法を説明します。

- 開始日時と内容は必ず設定してください。
- 予定の開始時刻前にアラームを鳴らしたり(☞P.360)、予定をシークレット登録する(☞P.360)こともできます。

1 待受画面で■9 2 8 1を押し、日を選んで◧[新規]または◙1[新規作成]を押す。

- アイコン表示の場合は、◙1を押します。

予定登録画面

2 [日時]を選んで■を押し、予定の開始日を入力する。

- カレンダーから日付を選ぶときは、◙[切替]を押し、開始日を選んで■を押します。

カレンダーでの日付選択画面

3 時間を入力して■を押す。

- 時刻は24時間制で入力します。
- 終了日時を入力すると、操作4で[1回のみ]以外は選択できません。
- 終了日時をリセットするときは、◧を押します。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

4 くり返し方法を選ぶ。

1回のみの予定を登録する	1
毎日くり返す予定を登録する	2→くり返しの回数を入力(00～99)→■
毎週1回の予定を登録する	3→くり返しの回数を入力(00～99)→■
毎月1回の予定を登録する	4→くり返しの回数を入力(00～99)→■
毎年1回の予定を登録する	5→くり返しの回数を入力(00～99)→■

- くり返しの回数に「00」を入力したときは、くり返し回数が制限なしの予定が登録されます。

5 [要約]を選んで■を押し、要約を入力して■を押す。

- 最大全角20文字(半角40文字)まで入力できます。

6 [分類]を選んで■を押し、分類アイコンを選んで■を押す。

分類の種類

アイコン	分　類	アイコン	分　類
	分類なし		誕生日
	プライベート		趣味
	休日		デート
	旅行		カラオケ
	仕事		飲み会
	会議		買い物
	食事		習い事
	ドライブ		出張
	スポーツ		鑑賞
	記念日		病院

- 選択された分類名が表示されます。
- 分類が決定されると、次回分類を選ぶときに、前回選択した分類が一番上に表示されます。

7 [画像]を選んで■を押し、画像を選ぶ。

静止画を設定する	1→フォルダを選ぶ→■→静止画を選ぶ→i ● 静止画を確認するときは、静止画を選んで■を押します。戻るときは、CLRを押します。
静止画を設定しない	2

- 動画／iモーションを選択することはできません。
- 選択された静止画のタイトル名が表示されます。
- 設定した画像は、予定リスト画面やスケジュール詳細画面で表示されます。

8 [連絡先]を選んで■を押し、入力方法を選んで連絡先を設定する。

- 連絡先を設定すると、スケジュール詳細画面やアラーム画面に表示され、簡単に電話をかけることができます。
- ダイヤル発信制限中は連絡先を設定することはできません。

電話帳から選択する	1→電話番号を選ぶ→■ ● 電話番号が登録されていない電話帳は、連絡先として選択できません。
直接入力する	2→電話番号を入力→■

9 [内容]を選んで■を押し、内容を入力して■を押す。

- 最大全角100文字(半角200文字)まで入力できます。

10 i[完了]を押す。

お知らせ

赤外線通信について

- FOMA端末(本体)のスケジュールを赤外線通信で送受信できます。(☞P.337)

miniSDメモリーカードについて

- FOMA端末(本体)に登録したスケジュールをminiSDメモリーカードにコピーしたり(☞P.326)、miniSDメモリーカード内のスケジュールを表示(☞P.327)できます。
- miniSDメモリーカードに保存されているスケジュールをFOMA端末(本体)にコピー(☞P.328)できます。

スケジュールに登録した内容は、別にメモを取るか、パソコンをお持ちの場合は**miniSD**メモリーカード(☞**P.323**)やデータリンクソフト(☞**P.426**)をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。

関連操作

アイコン表示カレンダーから分類アイコンのみを登録する

カレンダー画面(☞P.358)で📷3 1 2[アイコン表示]▶日を選ぶ▶i▶分類アイコンを選ぶ▶■

関連操作のお知らせ

スケジュールに登録される内容

日時	カーソル日＋操作した時間
要約	－
分類	選択したアイコンの分類
アラーム	OFF
画像	－
連絡先	－
シークレット	OFF
内容	[未入力]と入力されます。

アラームを設定する

予定の開始時刻前にアラームでお知らせするように設定できます。アラーム動作時の状態を設定することもできます。

- 着信バイブレータ（☞P.132）を設定していると、アラーム動作時にもバイブレータが連動して動作します。
- 同じ時刻に複数のスケジュールアラームを設定した場合、設定した回数、アラームが鳴ります。

アラーム時刻	予定の開始時刻の何分前にアラームを鳴らすか設定します。
鳴動時間	アラームが鳴っている時間を変更できます。
アラーム音選択	アラーム音を変更できます。
アラーム音量選択	アラーム音量を変更できます。

- 上記の設定は、予定登録画面（☞P.358「スケジュールを登録する」の操作1～4）から行います。

アラームを設定する

お買い上げ時設定（アラーム時刻：00分　鳴動時間：15秒　アラーム音選択：着信音１　アラーム音量選択：音量５）

1 スケジュールの予定登録画面（☞**P.358**）で、[アラーム]を選んで■を押し、1[**ON**]を押す。

アラーム設定画面

2 1[アラーム時刻]を押し、アラームを鳴らす時刻（予定開始時刻の何分前：**00**～**99**）を入力して■を押す。

3 [完了]を押す。
- 予定登録画面に戻ります。

関連操作

アラームが鳴っている時間を変更する＜鳴動時間＞
アラーム設定画面で2▶鳴動時間（２桁：02～99秒）▶■

アラーム音を変更する＜アラーム音選択＞
1 アラーム設定画面で3
2 1[メロディ]
- 動画／ｉモーションを設定するとき：2
- 設定しないとき：3

3 フォルダを選ぶ▶■▶アラーム音を選ぶ▶
- アラーム音を確認するとき：アラーム音▶■（で停止）
- 動画／ｉモーションを確認するとき：動画／ｉモーション▶■（で停止）

関連操作

アラーム音量を変更する＜アラーム音量選択＞
アラーム設定画面で4▶（上げる）／（下げる）▶■
- アラーム音を鳴らさないとき：[サイレント]

シークレット登録する

予定をシークレット登録すると、端末暗証番号（☞P.156）を入力してFOMA端末のシークレットモードを[ON]に設定しない限り、読み出すことができなくなります。他の人に見られたくない予定を守ることができます。

- シークレットモードの設定方法については、P.166を参照してください。
- シークレット登録を解除するときは、あらかじめシークレットモードを[ON]に設定（☞P.166）してから操作してください。

1 スケジュールの予定登録画面（☞**P.358**）で、[シークレット]を選んで■を押し、1[**ON**]を押す。

アラーム設定時刻になると

設定した内容でアラームが動作します。アラームを止めるときは、いずれかのボタンを押します。連絡先が登録されているときは、アラームを止めると連絡先が表示されます。（☞P.356）

- アラーム音量がステップトーン以外のときは、（上げる）／（下げる）を押して音量を調節できます。
- スケジュールに画像が設定されていたり、アラーム音に映像を含んだｉモーションを設定していたり、連絡先として登録した電話帳にピクチャーコール設定（画像）されている場合は、その画像や映像が次の優先順位で表示されます。

	優先順位（高→低）
画像	アラーム音に設定したｉモーション→スケジュールの画像→電話帳のピクチャーコール設定→グループピクチャーコール設定→通常のアラーム画像

通常のスケジュール

シークレットデータ

- シークレット登録している予定の場合、アラームは動作しますが、電話番号やメッセージ、登録画像は表示されません。（シークレットモードを[ON]に設定（☞P.166）しているときは、表示されます。）
- メモ／スケジュール／ToDoのPIMロック中は、設定した時刻になってもアラームは動作しません。
- 通常マナーモード、サイレントマナーモード設定中は、アラーム音が鳴りません。オリジナルマナーモードの場合はアラーム音の[ON]／[OFF]を設定できます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.323）

● 公共モード（ドライブモード）設定中に設定した時刻になったときは、アラーム音／バイブレータは鳴らず、着信ランプも点滅しません。

休日を登録する<休日設定>

特定の日を休日に設定したり、毎週決まった曜日を休日に設定できます。休日は最大100件まで設定できます。また、自分で設定した休日をすべて解除したり、過去の休日のみすべて（曜日指定で設定した休日を除く）解除できます。

● 全解除を行うと、曜日指定で設定した休日はお買い上げ時の設定（日曜日のみ休日）に戻ります。

1 カレンダー画面（☞P.358）で休日に設定する日（休日を解除する日）を選んで[メニュー][4][1][休日設定]を押し、休日の設定方法を選ぶ。

● 毎週同じ曜日を休日に設定したり、休日をすべて解除するときは、日を選ぶ必要はありません。

選択した日を休日に設定／解除する	[1] ● 休日に設定されている日を選んだときは、設定が解除されます。
毎週決まった曜日を休日にする	[2]→曜日を選ぶ[●]（くり返し可）→[メニュー] ● すべてを選択／解除する場合は、[i][全選択]／[i][全解除]を押します。

● 設定した休日は、赤色で表示されます。

関連操作

設定した休日をまとめて解除する<全解除>

1 カレンダー画面（☞P.358）で[メニュー][4][1]
2 [4]▶[はい]▶[●]
● 過去の休日をすべて解除するとき：[3]▶[はい]▶[●]

関連操作のお知らせ

● 曜日指定で設定した休日はお買い上げ時の設定（日曜日のみ休日）に戻ります。

祝日を登録する<祝日設定>

カレンダーに祝日を設定したり、初期設定に戻したりできます。

● あらかじめ登録されている国民の祝日の他に、最大20件まで設定できます。

1 カレンダー画面（☞P.358）で祝日に設定する日を選んで[メニュー][4][2][祝日設定]を押す。

2 [1][新規登録]を押す。

● 設定した祝日をすべて解除するときは、[2][初期設定に戻す]を押し、[はい]を選んで[●]を押します。

3 祝日の設定方法を選ぶ。

「毎年○月○日」として設定する	[1]
「毎年○月第○○曜日」として設定する	[2]

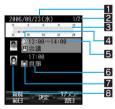
4 祝日名を入力して[●]を押す。

● 最大全角20文字（半角40文字）まで入力できます。
● 設定した祝日内容を変更するときは、スケジュール詳細画面で[メニュー][1][編集]を押します。変更する日を入力して[●]を押し、操作3へ進みます。
● 設定した祝日は、赤色で表示されます。

スケジュールを確認する

登録されているスケジュールの内容を確認します。分類別、連絡先別に表示できます。電話番号やメールアドレスが登録されているときは、電話をかけたりｉモードメールを送信することもできます。スケジュールをコピーすることもできます。

1 待受画面で[●][9][2][8][1]を押し、日を選んで[●]を押す。

● 指定した日の予定がリストで3件まで表示されます。（予定リスト画面）
● [前日]を押すと、前の日の予定一覧が表示されます。
● [翌日]を押すと、次の日の予定一覧が表示されます。
● シークレット登録した予定を確認するときは、シークレットモードを[ON]に設定（☞P.166）してください。
● miniSDメモリーカード内の予定を確認するときは、カレンダー画面で[メニュー][7]を押します。

予定リスト画面

1 日付
2 当日に登録されている件数
3 タイムバー（スケジュールの開始時刻～終了時刻までの目安が、30分単位で表示されます。）
4 アラームの有無
5 予定時刻
6 要約または内容※
7 分類アイコン
8 画像（マイピクチャに保存されている画像または電話帳に登録されている画像）

※ 要約が登録されているときは、要約の先頭全角8文字分（半角16文字分）が表示されます。
要約が登録されていないときは、内容の先頭全角8文字分（半角16文字分）が表示されます。

次ページへ続く

2 予定を選んで■を押す。

- 画像が登録されているとき、iを押すと、画像を確認できます。
- 連絡先が登録されていると、電話番号が表示され、電話をかけることができます。電話帳に登録されているときは名前が表示されます。■を押すと電話帳内容表示画面になり、電話をかけたりメールを送信できます。(☞P.119)
- 確認を終わるときは☎を押します。

スケジュール詳細画面

お知らせ

- 音声電話の通話中やメール作成中などにMULTIを押すと、スケジュールを呼び出して予定を確認できます。(☞P.351)

関連操作

分類別に表示する<分類別表示>
待受画面で■9281▶◙33▶分類を選ぶ▶■

連絡先別に表示する<連絡先別表示>
待受画面で■9281▶◙34▶連絡先を選ぶ▶■

すべてのスケジュールを確認する<スケジュール全件表示>
待受画面で■9281▶◙32
- 予定を確認するとき:予定を選ぶ▶■
- miniSDメモリーカード内の予定を確認するとき:カレンダー画面で◙7*

スケジュールから電話をかける
1 スケジュール詳細画面で■[電話]
2 音声電話をかけるときは■
- テレビ電話をかけるとき:i
- プッシュトークをかけるとき:✉

スケジュールからｉモードメールを作成する
スケジュール詳細画面で■[電話]▶アドレスを選ぶ▶■[メール]▶ｉモードメール作成

スケジュールをコピーする<コピー>
スケジュール詳細画面で◙41
- コピーしたスケジュールは、メール本文や電話帳などの文字入力画面で、貼り付けたりすることができます。

スケジュールのPIMロックを設定する<PIMロック>
待受画面で■9281▶◙8▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶■▶1

関連操作のお知らせ

ｉモードメールの作成について
- 予定からｉモードメールを作成できるのは、電話帳にメールアドレスも登録されているときのみです。

スケジュールを修正する<編集>

1 待受画面で■9281を押し、日を選んで■を押し、予定を選んで◙2[編集]を押す。

- シークレット登録している予定を選ぶときは、シークレットモードを[ON]に設定(☞P.166)してください。

2 予定を修正し、i[完了]を押して登録方法を選ぶ。

- 修正方法は、登録時の操作と同様です。(☞P.358)

新しい予定として登録する	1
予定を上書き登録する	2→[はい]→■

着信履歴、リダイヤルの連絡先を登録する

着信履歴やリダイヤルの電話番号をスケジュールの連絡先として登録できます。

1 着信履歴(☞**P.66**の操作1)またはリダイヤル(☞**P.56**の操作1)を選んで◙●1[スケジュール作成]を押す。

スケジュールに登録される内容

	着信履歴	リダイヤル
日時	着信日時	発信日時
要約	―	
分類	分類なし	
アラーム	OFF	
画像	―	
連絡先	電話番号	
シークレット	OFF	
内容	[未入力]と入力されます。	

2 スケジュールの内容を追加登録する。(☞**P.358**の操作2～**10**)

ｉモードメールの本文を登録する

受信/送信メールの本文をスケジュールの内容として登録できます。

- ｉモードメールに添付されたファイルは、スケジュールの内容として登録できません。

1 受信メールを表示(☞**P.244**の操作1～2)して◙64[スケジュール作成]を押す。

- 送信メールのときは、送信メールを表示して◙74を押します。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

スケジュールに登録される内容

	受信メール	送信メール
日時	受信日時	送信日時
要約	–	
分類	分類なし	
アラーム	OFF	
画像	–	
連絡先	差出人の登録されている電話帳の1つ目の電話番号(電話帳に登録されていない場合、連絡先は登録されません。)	宛先の登録されている電話帳の1つ目の電話番号(電話帳に登録されていない場合、連絡先は登録されません。)
シークレット	OFF	
内容	メールの題名と本文(全角100文字(半角200文字)まで)	

2 スケジュールの内容を追加登録する。(☞P.358の操作2～10)

■ テキストメモの本文を登録する

テキストメモの本文をスケジュールの内容として登録できます。

1 待受画面で■9 2 9 2を押し、テキストメモを選んで📷1 3[スケジュール作成]を押す。

スケジュールに登録される内容

日時	----/--/--
要約	–
分類	テキストメモに登録されている分類
アラーム	OFF
画像	–
連絡先	–
シークレット	OFF
内容	テキストメモに登録されている本文

2 スケジュールの内容を追加登録する。(☞P.358の操作2～10)

■ マイピクチャの静止画を登録する

データBOXのマイピクチャの静止画を、スケジュールの静止画として登録できます。

- データBOXの動画/iモーションは、スケジュールの内容として登録できません。

1 静止画を選んで(☞P.300の操作1～3)📷3 8[スケジュール画像設定]を押す。

スケジュールに登録される内容

日時	静止画の保存日時
要約	–
分類	分類なし
アラーム	OFF
画像	静止画のタイトル名
連絡先	–
シークレット	OFF
内容	[未入力]と入力されます。

2 スケジュールの内容を追加登録する。(☞P.358の操作2～10)

お知らせ

- カメラ撮影後のプレビュー画面で📷3 3[スケジュール]を押すと、撮影した静止画をすぐに登録できます。なお、保存先をminiSDメモリーカードに設定しているときは、スケジュールに登録できません。保存先をFOMA端末(本体)に設定してから撮影してください。
- miniSDメモリーカード内の静止画は、直接スケジュールに登録できません。FOMA端末(本体)にコピーしてから登録してください。

スケジュールを削除する<スケジュール削除>

予定は、次のいずれかの方法で削除できます。

1件削除	予定を1件ずつ削除します。
過去全件削除	指定した日の前日までのすべての予定を削除します。
全件削除	すべての予定を削除します。
選択削除	複数の予定をまとめて削除します。

1 待受画面で■9 2 8 1を押し、📷3 2[スケジュール全件表示]を押し、予定を選んで📷3[削除]を押す。

- 1件削除や選択削除でシークレット登録している予定を選ぶときは、シークレットモードを[ON]に設定(☞P.166)してください。

- 選択削除の場合は、操作2で予定を選択します。
- 過去全件削除の場合は、選択した予定の前日までの予定を削除します。

2 削除方法を選ぶ。

予定を1件削除する	1→[はい]→■
過去のすべての予定を削除する	2→端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力→■→[はい]→■
すべての予定を削除する	3→端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力→■→[はい]→■
複数の予定をまとめて削除する	4→予定を選ぶ■(くり返し可)→📷→[はい]→■ ● すべてを選択/解除する場合は、i[全選択]/i[全解除]を押します。

次ページへ続く

関連操作

カレンダー画面から削除する

1 カレンダー画面(☞P.358)で[i][2]
2 [1][過去全件削除]
● 全件削除するとき:[2]
3 端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶[■]▶[はい]▶[■]

ToDoリスト

ToDoリストを登録する

行動予定の期限、内容などを登録して行動予定を管理できます。優先度を設定したり、行動予定の期限前にアラームでお知らせすることもできます。また、行動予定をシークレット登録すると、端末暗証番号(☞P.156)を入力してシークレットモードを[ON]に設定しない限り、読み出すことができなくなります。他の人に見られたくない行動予定を守ることができます。

● あらかじめ、日時を正しく設定しておいてください。(☞P.48)
● ToDoリストは最大100件まで登録できます。
● 2000年1月1日～2099年12月31日まで登録できます。

ここでは、行動予定の期限と内容、分類などを登録する手順を例に、基本的な行動予定の登録方法を説明します。

1 待受画面で[■][9][2][8][2]を押し、[i][新規]または[i][1][新規作成]を押す。

● 詳細メニューから[i](LifeKit)→[スケジュール]→[ToDoリスト]の順に選択することもできます。

行動予定登録画面

2 [期限]を選んで[■]を押し、期限(時刻)を入力して[■]を押す。

● 完了日を設定するときは、[完了日]を選んで[■]を押し、完了日(時刻)を入力して[■]を押します。
● 状態を設定するときは、[状態]を選んで[■]を押し、状態を選んで[■]を押します。
● 優先度を設定するときは、[優先度]を選んで[■]を押し、優先度を選んで[■]を押します。

3 [内容]を選んで[■]を押し、内容を入力して[■]を押す。

● 内容は最大全角100文字(半角200文字)まで入力できます。
● 要約を入力するときはこのあと、[要約]を選んで[■]を押し、要約を入力して[■]を押します。最大全角20文字(半角40文字)まで入力できます。

4 [分類]を選んで[■]を押し、分類のアイコンを選んで[■]を押す。

● 分類の種類については、P.359を参照してください。
● 分類が決定されると、次回分類を選ぶときに、前回選択した分類が一番上に表示されます。

5 [i][完了]を押す。

● 行動予定の内容が入力されていない場合、[i]を押しても完了することはできません。

お知らせ

赤外線通信について
● FOMA端末(本体)のToDoリストを赤外線通信で送受信できます。(☞P.337)

miniSDメモリーカードについて
● FOMA端末(本体)に登録したToDoリストをminiSDメモリーカードにコピーしたり(☞P.326)、miniSDメモリーカード内のToDoリストを表示(☞P.327)できます。
● miniSDメモリーカードに保存されているToDoリストをFOMA端末(本体)にコピー(☞P.328)できます。

ToDoリストに登録した内容は、別にメモを取るか、パソコンをお持ちの場合は**miniSD**メモリーカード(☞**P.323**)やデータリンクソフト(☞**P.426**)をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。

関連操作

行動予定の期限前にアラームで知らせる<アラーム設定>

1 行動予定登録画面(☞P.364)で[アラーム]▶[■]
2 [1]
3 [1][アラーム時刻]▶時刻(期限の何分前)を入力▶[■]
● アラームに連絡先を登録するとき:[5]▶入力方法を選ぶ▶[■]▶連絡先を設定▶[■]
4 [i]

行動予定をシークレット登録する<シークレット>

1 行動予定登録画面(☞P.364)で[シークレット]▶[■]
2 [1]

関連操作のお知らせ

アラーム設定について
● アラーム音の変更方法などについては、スケジュールの「アラームを設定する」(☞P.360)を参照してください。
● 連絡先を設定するとアラーム画面に表示され、簡単に電話をかけることができます。
● ダイヤル発信制限中は連絡先を設定することはできません。

シークレットについて
● シークレットモードの設定方法については、P.166を参照してください。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

アラーム設定時刻になると

設定した内容でアラームが動作します。アラームを止めるときは、いずれかのボタンを押します。
（☞P.356）

通常の予定

シークレットデータ

- シークレット登録している行動予定の場合、アラームは動作しますが、電話番号やメッセージ、登録画像は表示されません。（シークレットモードを[ON]に設定（☞P.166）しているときは、表示されます。）
- メモ／スケジュール／ToDoのPIMロック中は、設定した時刻になってもアラームは動作しません。
- 通常マナーモード、サイレントマナーモード設定中は、アラーム音が鳴りません。オリジナルマナーモードの場合はアラーム音の[ON]／[OFF]を設定できます。
- 公共モード（ドライブモード）設定中に設定した時刻になったときは、アラーム音／バイブレータは鳴らず、着信ランプも点滅しません。

お知らせ

- アラームの連絡先に設定した電話帳にピクチャーコールが設定されていた場合、アラーム時にその画像が表示されます。
- 映像と音を含んだｉモーションをアラーム音に設定した場合、登録されている連絡先のピクチャーコールに関係なくｉモーションの映像が表示されます。
- 音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）をアラーム音に設定した場合、登録されている連絡先のピクチャーコールが表示されます。ピクチャーコールにｉモーションが登録されている場合は通常のアラーム画面が表示されます。

ToDoリストを確認する

状態や分類を指定してToDoリストを表示したり、完了したToDoリストをチェックできます。

1 待受画面で[■][9][2][8][2]を押す。

- miniSDメモリーカード内の予定を確認するときは、行動予定リスト画面で、[📷][8]を押します。

行動予定リスト画面

※ 要約が登録されているときは、要約の先頭全角９文字分（半角18文字分）が表示されます。
要約が登録されていないときは、内容の先頭全角９文字分（半角18文字分）が表示されます。

2 行動予定を選んで[■][表示]を押す。

内容をコピーする	[📷][2]
確認を終了する	[☎]

行動予定内容画面

お知らせ

- **音声電話**の通話中やメール作成中などに[MULTI]を押すと、ToDoリストを呼び出して行動予定を確認できます。（☞P.351）

状態を切り替える<状態切替>
待受画面で[■][9][2][8][2]▶行動予定を選ぶ▶[📷][5]▶項目を選ぶ▶[■]

状態別／分類別に表示する<状態別表示／分類別表示>
1 待受画面で[■][9][2][8][2]
2 [📷][6][1]
- 分類別表示をするとき：[📷][6][2]
3 項目を選ぶ▶[■]

完了したToDoリストをチェックする
待受画面で[■][9][2][8][2]▶行動予定を選ぶ▶[✉][☑]
- 未チェック（[未]）に戻すとき：すでに[完]が表示されている行動予定を選んで[✉][☑]

ToDoリストのPIMロックを設定する<PIMロック>
待受画面で[■][9][2][8][2]▶[📷][・][1]▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶[■]▶[1]

関連操作のお知らせ

ToDoリストのチェックについて
- チェックすると、完了日時が自動的に登録されます。

ToDoリストを修正する

1 待受画面で[■][9][2][8][2]を押し、行動予定を選んで[📷][2][編集]を押す。

2 行動予定を修正する。

- 修正方法は、登録時の操作と同様です。（☞P.364）
- 完了日を設定するときは、行動予定登録画面で[完了日]を選んで[■]を押します。行動予定の完了日（時刻）を入力して、[■]を押します。

次ページへ続く

3 修正が終わったら[完了]を押し、登録方法を選ぶ。

新しい行動予定として登録する	1
行動予定を上書き登録する	2→[はい]→■

ToDoリストを削除する

行動予定は、次のいずれかの方法で削除できます。

1件削除	行動予定を1件ずつ削除します。
完了のみ削除	完了したすべての行動予定を削除します。
全件削除	すべての行動予定を削除します。
選択削除	複数の行動予定をまとめて削除します。

※ 状態別表示や分類別表示のときは、完了のみ削除、全件削除を行うことはできません。

1 待受画面で■9282を押し、行動予定を選んで3[削除]を押す。

● [完了のみ削除]、[全件削除]の場合は、削除したい行動予定を選択する必要はありません。

2 削除方法を選ぶ。

行動予定を1件削除する	1→[はい]→■
完了したすべての行動予定を削除する	2→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→■→[はい]→■
すべての行動予定を削除する	3→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→■→[はい]→■
複数の行動予定をまとめて削除する	4→行動予定を選ぶ■（くり返し可）→→[はい]→■ ● すべてを選択／解除する場合は、[全選択]／[全解除]を押します

ショートカットメニュー

よく使う機能を手早く実行する

よく使う機能をあらかじめショートカットに登録しておくと、簡単な操作でその機能を表示できます。

ショートカットメニューを登録する

登録できるショートカットは、最大18件です。
FOMA端末には、あらかじめ次のショートカットが登録されていますが、よく使う機能やｉアプリのソフト、ブックマークを上書き登録できます。

1 登録したい機能（が表示されている）の画面でMULTIを1秒以上押す。

2 登録先を選んで■を押す。

3 上書き登録のときは、[はい]を選んで■を押す。

お知らせ

● ショートカットに登録したｉアプリのソフトそのものや、ブックマークのURLを削除すると、ショートカットメニューからも自動的に削除されます。
● 設定リセットを行うと、お買い上げ時のショートカットに戻ります。

ショートカットメニューを実行する

1 待受画面で■を押し、ショートカットアイコンを選んで■を押す。

● 待受画面で■を押したときに、詳細メニューや基本メニューが表示されたときは[メニュー切替]を押してショートカットメニューに切り替えてください。待受画面で■を押すと、前回と同じメニューが表示されます。
● 登録している機能が実行されます。
● ショートカットメニューのページを切り替えるときは、[▲ページ]／[▼ページ]を押します。

ショートカットメニューから削除する

1 ショートカットメニューを表示させた状態で、ショートカットアイコンを選んでⓜ2[削除]を押す。

2 削除方法を選ぶ。

ショートカットを１件削除する	1→[はい]→●
すべてのショートカットを削除する	2→端末暗証番号（4〜8桁の数字）を入力→●→[はい]→●

- 選択したショートカットが削除され、ショートカットメニューに表示されなくなります。

ショートカットメニューのアイコンを移動する<アイコン移動>

ショートカットメニューのアイコンの位置を入れ替えできます。

1 ショートカットメニューを表示させた状態で、ショートカットアイコンを選んでⓜ12[アイコン移動]を押す。

2 移動先を選んで●を押す。
- 最初に選んだショートカットと入れ替わります。

ショートカットメニューのアイコンを設定する<アイコン画像設定>

ショートカットメニューのアイコンを変更できます。１つのアイコンに非選択時用と選択時用の２枚の画像を設定し、切替表示できます。
- 横76×縦76ドットのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーションを利用できます。
- GIFアニメーションの場合は最大３シーンが切り替わります。選択時用の画像は設定できません。

1 ショートカットメニューを表示させた状態で、ショートカットアイコンを選んでⓜ11[アイコン画像設定]を押す。

2 フォルダを選んで●を押し、非選択時用の静止画を選んでi[決定]を押す。
- 非選択時用のアイコンが設定されます。
- 静止画を確認するときは、静止画を選んで●を押します。戻るときは、CLRを押します。

3 選択時用の静止画を選ぶ。

非選択時用と選択時用の画像を同じにする	[いいえ]→●
選択時用の画像を別に設定する	[はい]→●→フォルダを選ぶ→●→静止画を選ぶ→i

- 操作２でGIFアニメーションを選択したときは、ショートカットメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- ショートカットアイコンに設定できない画像は表示されません。
- あらかじめ内蔵されているショートカットメニューのアイコンは、GIFアニメーションです。
- マイピクチャの静止画をショートカットアイコンに設定した場合、元の静止画を削除しても、ショートカットアイコンの設定を変更するまでショートカットメニューの表示は変わりません。

ショートカットメニューのアイコンにアクションフォーカスを設定する<アクションフォーカス>

ショートカットメニューのアイコンにアクションフォーカスを設定できます。
- GIFアニメーションが設定されている場合は、最後に表示される画像にアクションフォーカスを設定します。

お買い上げ時設定（OFF）

1 ショートカットメニューを表示させた状態で、ⓜ3[アクションフォーカス]を押し、アクションフォーカスの種類を選ぶ。

グローブ	1	円が速度を変えながら回転します。
ターゲット	2	大きい四角形から小さい四角形になります。
ミスト	3	霧のような光の幕がかかります。
スターダスト	4	光がきらきら輝きます。
ウインドミル	5	３本の棒が次々に現れ、アイコンの下で回転します。
リップル	6	丸い枠が広がっていきます。
OFF	7	設定しません。

ショートカットメニューの背景を設定する<背景設定>

ショートカットメニューの背景画像を設定できます。
- JPEG画像、GIF画像が利用できます。（Flash画像、GIFアニメーションは利用できません。）

お買い上げ時設定（メニュー背景１）

1 ショートカットメニューを表示させた状態で、ⓜ4[背景設定]を押す。

2 フォルダを選んで●を押し、静止画を選んでi[決定]を押す。
- 静止画を確認するときは、静止画を選んで●を押します。戻るときは、CLRを押します。

次ページへ続く

お知らせ

- 背景画像に設定できない静止画は、表示されません。
- マイピクチャの静止画を背景画像に設定した場合、元の静止画を削除しても、背景画像の設定を変更するまでショートカットメニューの表示は変わりません。

ショートカットメニューをリセットする <メニューリセット>

ショートカットメニューをお買い上げ時の状態に戻すことができます。

1 ショートカットメニューを表示させた状態で、[カメラ][5][メニューリセット]を押す。

2 [はい]を選んで[■]を押す。

所有者情報登録
自分の名前や画像を登録する

お客様の所有者情報として、名前とフリガナ、自宅などの電話番号やメールアドレス、郵便番号、住所、誕生日、メモ、所有者画像を登録・変更できます。
電話番号はご契約の電話番号の他に２件、メールアドレスは３件まで登録できます。

- お買い上げ時は、取り付けたFOMAカードの電話番号のみが表示され、メールアドレスは未登録です。取得したｉモードメールアドレスを追加登録してください。

■ 登録できる項目

アイコン	登録項目
(人)	名前(最大全角16文字／半角32文字)
ｶﾅ	フリガナ(最大半角32文字)
(自局)	ご契約の電話番号(編集不可)
(電話)	電話番号(２件、１件あたり最大26桁)
(メール)	メールアドレス(３件、１件あたり最大半角50文字)
〒	郵便番号(半角数字、最大７桁)
(住所)	住所(最大全角50文字／半角100文字)
(誕生日)	誕生日(半角数字、1900年１月１日～2099年12月31日まで)
(メモ)	メモ(最大全角100文字／半角200文字)
(画像)	所有者画像

1 待受画面で[■][0]を押し、[■][詳細]を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[一般設定]→[確認]→[所有者情報]の順に選択することもできます。

2 端末暗証番号(４～８桁の数字)を入力して[■]を押し、[カメラ][1][編集]を押す。

3 [▲▼]で項目を選んでそれぞれの内容を登録する。

- 登録方法は、電話帳と同様です。詳しくは、P.110～P.112を参照してください。
- １つの項目の登録が終わると、操作２の画面に戻ります。続けて他の項目を登録できます。
- 名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、郵便番号、住所、誕生日、メモを削除するときは、各入力画面で[CLR]を押して削除します。所有者画像を削除するときは[3]を選びます。

4 必要な項目の登録が終わったら[i][完了]を押す。

- [◀▶]で各項目のアイコンを選ぶと、登録した内容が表示されます。

お知らせ

- ｉモードメールアドレスは、お好みで変更することもできます。(☞P.225)
- ｉモードメールアドレスを変更しても、電話番号表示に表示されるメールアドレスは、自動的には変更されません。メールアドレスは登録し直してください。

関連操作

自分のｉモードメールアドレスを確認する(ｉモードご契約者のみ)
待受画面で[i]▶[1][ｉMenu]▶[料金＆お申込・設定]▶[■]▶[メール設定]▶[■]▶[アドレス確認]▶[■]

所有者情報の詳細を表示する

所有者情報の詳細を表示できます。

- 所有者情報の各項目の文字情報をコピーして、他の画面に貼り付けできます。

1 待受画面で[■][0]を押し、[■][詳細]を押す。

2 端末暗証番号(４～８桁の数字)を入力して[■]を押す。

- [◀▶]を押すと、登録した内容を順に表示できます。
- 所有者情報の項目をコピーするときは、[◀▶]でコピーする項目を選んで[カメラ][2]を押します。コピーできる項目は、名前、ご契約の電話番号、電話番号、メールアドレス、住所、メモです。

お知らせ

- 赤外線通信機能を利用して、所有者情報を他のFOMA端末などに送信することもできます。(☞P.337)

関連操作

iモードメールやSMS作成中にコピーする

1 待受画面で[メール][4]▶[本文]▶[■]▶[カメラ][8][2]
- SMSのとき：待受画面で[メール][5]▶[本文]▶[■]▶[カメラ][6][2]

2 [■]▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶[■]▶項目を選ぶ▶[■]

所有者画像を赤外線通信で転送しないように設定する
<画像転送設定>
所有者情報詳細画面で[カメラ][4]▶[2]

通話中音声メモ／待受中音声メモ

通話中の相手の声や待受中の自分の声を録音する

音声電話の通話中に相手の声(通話中音声メモ)を録音したり、待受中に自分の声(待受中音声メモ)を録音できます。

- 録音した待受中音声メモを応答保留音や保留音(☞P.69)、応答メッセージ(☞P.75)に設定することもできます。
- 録音時間は1件につき約15秒で、音声伝言メモの用件(☞P.73)と合わせて3件(1件あたり約15秒)まで録音できます。
- テレビ電話伝言メモは2件(1件あたり約15秒)まで録画できます。

通話中に相手の声を録音する <通話中音声メモ>

1 音声電話の通話中に[カメラ][2][通話中音声メモ]を押す。
- 録音時の注意点は、待受中に自分の声を録音するとき(☞P.369)と同様です。
- 15秒以内に録音を止めるときは[カメラ]を押します。(中止前までの内容は録音されています。)

待受中に自分の声を録音する <待受中音声メモ>

1 待受画面で[■][9][2][9][5]を押し、[1][録音]を押す。

インジケータ

- 詳細メニューから[LifeKit](LifeKit)→[便利機能]→[音声／伝言メモ]の順に選択することもできます。
- 待受画面で[1]を1秒以上押し、[1]を押しても操作できます。
- 録音が始まります。
- 送話口から10cm以内でお話しください。
- すでに音声伝言メモと音声メモが3件録音されていて、テレビ電話伝言メモが2件録音されているときは、[これ以上録音できません]と表示されます。テレビ電話伝言メモが2件未満のときは、[音声伝言メモがすでに3件録音されています]と表示されます。不要な録音内容を削除してからやり直してください。(☞P.77)
- 録音は約15秒で自動的に終わります。
- インジケータは目安です。
- 15秒以内に録音を止めるときは、[■][停止]を押します。(中止前までの内容は録音されています。)

お知らせ

- 通話中音声メモ、待受中音声メモの再生／削除については、P.76を参照してください。
- 音声メモが3秒以下の場合、録音されないことがあります。
- 通話中音声メモでは、自分の声は録音されません。ただし、回線の状態などによっては、自分の声が録音される場合もあります。
- 圏外通知や番号変更案内などのガイダンスは録音できません。
- 待受中音声メモ録音中、**ボタン確認音**は鳴りません。

待受中音声メモ録音中に電話がかかってくると
- 録音は中止されます。[開始]を押すと電話に出ることができます。(中止前までの内容は録音されています。)

録音した内容は、別にメモを取り保管してくださるようお願いします。
- FOMA端末の録音内容は、使用誤りや静電気・電気的ノイズを受けたとき、また、故障・修理・FOMA端末の変更やその他取り扱いによって、録音内容が変化・消失してしまう場合もあります。万が一、録音した内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

電卓

電卓として使う

電卓用の画面で加算、減算、乗算、除算、パーセント計算、税計算などができます。
- 電卓計算例については、P.421を参照してください。

1 待受画面で[■][9][2][9][1]を押す。
- 詳細メニューから[LifeKit](LifeKit)→[便利機能]→[電卓]の順に選択することもできます。
- 待受画面で計算用の数字を入力→[■][4]を押しても操作できます。

2 計算用の数字を入力する。
- 次のボタンを押して、入力します。

[0]～[9]	0～9の数字
[*]	小数点
[#]	＋／－の切り替え※

※ 先に数値を入力してから[#]を押すことにより、＋／－の切り替えができます。

- [CLR]を押すと、入力した数字がすべて消えます。(数字が0のとき、[CLR]を押すと電卓が終了します。)

次ページへ続く

3 演算方法を選ぶ。

電卓画面

- 加減乗除は、マルチガイドボタンで指定します。

	＋ 加算		－ 減算		× 乗算		÷ 除算

- 次の演算も指定できます。

	CM クリア メモリ		RM メモリ 呼出し		% パーセント 計算
	TAX 税計算		M+ メモリ加算		

4 計算用の数字を入力して■[＝]を押す。

- 電卓を終了するときは、を押します。待受画面に戻ります。

お知らせ

- 電卓表示中にアラーム、スケジュールアラームまたは、ToDoアラームが動作しても待受画面には戻りません。アラーム動作終了後、電卓の画面に戻ります。
- メモリ計算をご利用の場合、電卓を終了しても計算結果は保存されています。

税率を変更する

電卓画面で（1秒以上）▶税率（01～99の数字）を入力▶■

税額を計算する

計算結果を表示して[TAX]（税）

- 税抜額を計算するとき:計算結果を表示して[TAX][TAX]（税抜）

計算内容をコピーする

計算中に（1秒以上）

関連操作のお知らせ

税計算について

- お買い上げ時は、税率は[5%]に設定されています。
- 税額は小数点以下切り捨てで計算されます。
  例:120 [TAX]と押すと、[5税]と表示されます。

通話時間／料金確認

通話時間／料金を表示する

音声電話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

- 通話時間として音声電話通話時間とテレビ電話通話時間、64Kデータ通信時間が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金は、かけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、[0円]もしくは[¥¥¥¥¥¥円]が表示されます。
- テレビ電話と音声電話を切り替えて使用した場合の料金表示は、音声電話通話料金○○円、テレビ電話通話料金○○円と表示されます。複数回切り替えた場合は、音声電話、テレビ電話ごとに、それぞれが合算されて表示されます。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算開始）が表示されます。
  ※ 901iシリーズより前に発売されたFOMA端末では、FOMAカードに蓄積された料金を表示することはできません。（FOMAカードには蓄積されています。）
- 表示される通話時間および通話料金は、リセットすることができます。
- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間／料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。

通話明細を表示する

1 待受画面で■ 4 7 を押す。

- 詳細メニューから（設定）→[NWサービス]→[通話時間／料金確認]の順に選択することもできます。
- FOMAカード読み込み中のときは、[FOMAカード（UIM）読み込み中です]と表示されます。
- 一度もリセットしていない場合には、リセット日時は[----/--/--/(--)--:--]と表示されます。
- 積算通話料金をリセットすると、リセット日時にリセット時の積算通話料金が記録されます。
- 確認を終わるときはを押します。

お知らせ

- プッシュトーク通信中、i モード通信、パケット通信の通信時間・通信料金はカウントされません。i モード利用料などの確認方法については、i モードご契約時にお渡しする『ご利用ガイドブック（i モード<FOMA>編）』をご覧ください。
- 前回の通話時間が9時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントします。
- 積算の通話時間が999時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントします。
- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
- 電源を切ると、前回通話料金は[¥¥¥¥¥¥円]になります。
- 着もじの送信料金は含まれません。

通話時間と通話料金をリセットする

前回の通話時間および積算の通話時間・通話料金の記憶を「0」に戻すことができます。

1 待受画面で■ 4 7を押し、[リセット]を押す。

積算リセット
1 積算料金リセット
2 積算通話時間ﾘｾｯﾄ

2 リセットする項目を選ぶ。

積算料金をリセットする	1→PIN2コード(4～8桁の数字)を入力→■→[はい]→■
積算通話時間をリセットする	2→端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力→■→[はい]→■

- [リセット日時]に、リセットした年月日が登録されます。

通話料金の上限を設定して知らせる <料金上限通知設定>

設定した通話料金の上限を超えた通話が終了したあと、待受画面に戻ったときにメッセージを表示したり、アラームで知らせるように設定できます。毎月1日に通話料金のリセット通知を表示し、リセットすることもできます。

お買い上げ時設定(無効)

1 待受画面で■ 4 7を押し、[上限通知]を押す。

2 1[料金上限通知設定]を押し、端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力して■を押す。

3 [料金上限通知設定]を選んで■を押し、1[有効]を押す。

4 [料金上限額設定]を選んで■を押し、上限の料金を入力して■を押す。

- 10～100,000円の間、10円単位で入力できます。
- お買い上げ時は、0円に設定されています。

5 [通知方法選択]を選んで■を押し、通知方法を選ぶ。

待受画面にメッセージを表示し、アラームを鳴らす	1→アラーム音／アラーム音量／鳴動時間を設定→ ● アラーム音、アラーム音量、鳴動時間の設定方法については、P.356を参照してください。動画／iモーションはアラーム音に設定できません。
待受画面にメッセージを表示する	2

- アラームを鳴らす設定にした場合、料金上限通知アラームの動作中に省電力モードになったときに、アラームが停止します。

6 [自動リセット]を選んで■を押し、自動リセットするかどうかを選ぶ。

自動リセットする	1 ● 毎月1日午前0時を通過したとき、または日時設定(☞P.48)で翌月以降に日時を変更したときに、待受画面に[リセット時刻経過]が表示され、通話料金をリセットすることができます。
自動リセットしない	2

7 [完了]を押し、PIN2コード(4～8桁の数字)を入力して■を押す。

お知らせ

- 待受画面に料金上限通知メッセージが表示されている場合、料金上限通知を再設定すると、料金上限通知メッセージが削除されます。

関連操作

待受画面に表示された料金上限通知メッセージを削除する<通知あり表示削除>
待受画面で料金上限通知メッセージが表示中に■▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶■

リセット通知画面から通話料金をリセットする
待受画面に[リセット時刻経過]表示中に■▶■▶PIN2コード(4～8桁の数字)を入力▶■▶[はい]▶■

関連操作のお知らせ

通知あり表示削除について
- 料金上限通知メッセージを削除すると、積算通話料金をリセットするか、料金上限通知を再設定するまで、料金上限通知メッセージは表示されなくなります。

自動リセットについて
- リセットを中断したり、リセット確認画面で[いいえ]を選択してもリセット通知の表示は消去されます。翌月の1日午前0時になるまでリセット通知は表示されません。

テキストメモ

メモを入力する

よく利用する文章を登録しておき、メールやスケジュール、ToDoリストを作成するときに利用できます。

- テキストメモは、最大10件まで登録できます。また、20種類に分類できます。

次ページへ続く

1 待受画面で[■][9][2][9][2]を押す。

- 詳細メニューから[LifeKit]（LifeKit）→［便利機能］→［テキストメモ］の順に選択することもできます。

テキストメモ
一覧画面

2 [ｉ]［新規］または[メニュー][1][1]［新規作成］を押す。

- 登録したメモを確認するときは、メモを選んで[■]を押します。

3 ［本文］を選んで[■]を押し、本文を入力して[■]を押す。

- 本文は最大全角64文字（半角128文字）まで入力できます。

4 ［分類］を選んで[■]を押し、分類のアイコンを選んで[■]を押す。

- 20種類の分類設定から選択できます。分類の種類については、P.359を参照してください。
- 分類が決定されると、次回分類を選ぶときに、前回選択した分類が一番上に表示されます。

5 [ｉ]［完了］を押す。

お知らせ

赤外線通信について

- FOMA端末（本体）のテキストメモを赤外線通信で送受信できます。（☞P.337）

miniSDメモリーカードについて

- FOMA端末（本体）に保存されているテキストメモをminiSDメモリーカードにコピーしたり（☞P.326）、miniSDメモリーカード内のテキストメモを表示（☞P.327）できます。
- miniSDメモリーカードに保存されているテキストメモをFOMA端末（本体）にコピー（☞P.328）できます。

テキストメモに登録した内容は、別にメモを取るか、パソコンをお持ちの場合は**miniSD**メモリーカード（☞**P.323**）やデータリンクソフト（☞**P.426**）をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。

メモを利用する

テキストメモに登録されているメモを、メールやスケジュール、ToDoリストを作成するときに利用できます。

1 テキストメモ一覧画面（☞**P.372**）で、メモを選んで[■]［表示］を押す。

2 メモを利用する機能を選ぶ。

メール作成に利用する	[メニュー][1][1] ● メール作成画面が表示されます。［本文］にメモの文章が入力されます。
スケジュールに利用する	[メニュー][1][2] ● 予定登録画面が表示されます。［内容］にメモの文章が、［分類］にメモの分類が入力されます。
ToDoリストに利用する	[メニュー][1][3] ● 行動予定登録画面が表示されます。［内容］にメモの文章が、［分類］にメモの分類が入力されます。

お知らせ

- 音声電話の通話中やメール作成中などに[MULTI]を押すと、テキストメモを呼び出して起動できます。（☞P.351）

登録したメモを修正する

1 テキストメモ一覧画面（☞**P.372**）で、メモを選んで[メニュー][2]［編集］を押す。

2 メモを編集する。

- 編集方法は、登録時と同様です。（☞P.371）

3 修正が終わったら[ｉ]［完了］を押し、登録方法を選ぶ。

新規登録する	[1]
上書き登録する	[2]→［はい］→[■]

メモを削除する

1 テキストメモ一覧画面（☞**P.372**）で、メモを選んで[メニュー][3]［削除］を押す。

2 削除方法を選ぶ。

メモを1件削除する	[1]→［はい］→[■]
複数のメモを削除する	[2]→メモを選ぶ[■]（くり返し可）→[メニュー]→［はい］→[■] ● すべてを選択／解除する場合は、[ｉ]［全選択］／[ｉ]［全解除］を押します。
すべてのメモを削除する	[3]→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→[■]→［はい］→[■]

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.323）

関連操作

テキストメモのPIMロックを設定する<PIMロック>

待受画面で[■][9][2][9][2]▶[📷][7]▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶[■]▶[I]

関連操作のお知らせ

- テキストメモでPIMロック設定を行うと、スケジュール、ToDo、アラームも同時にPIMロックが設定され、アラームとして設定した時刻になってもアラームは動作しません。

スイッチ付イヤホンマイク

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

イヤホンマイク端子に平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続すると、スイッチを押すだけでメモリ番号に登録した相手に音声電話をかけたり、かかってきた音声電話やテレビ電話を受けることができます。

- イヤホンマイクは、次の単品あるいは組み合わせでご使用になれます。
  - ■ 平型スイッチ付イヤホンマイク
  - ■ スイッチ付イヤホンマイク ＋ イヤホンジャック変換アダプタ P001
  - ■ ステレオイヤホンセット P001 ＋ イヤホンジャック変換アダプタ P001
  - ■ イヤホンターミナル P001 ＋ イヤホンジャック変換アダプタ P001
    （この組み合わせには、これらとは別にステレオイヤホンが必要です。）
- テレビ電話をかけるときはFOMA端末のボタンを操作してください。
- イヤホンマイク端子のゴムカバーは無理に引っ張らないでください。破損する場合があります。

スイッチ付イヤホンマイクの動作を設定する<イヤホンマイク自動発信>

平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチのみで音声電話をかけるように設定できます。あらかじめ相手の電話番号をFOMA端末（本体）電話帳に登録し、そのメモリ番号を指定します。

- FOMA端末（本体）電話帳のメモリ番号000～749から1件のみ登録することができます。
- スイッチの操作でテレビ電話をかけることはできません。

お買い上げ時設定（OFF）

1 待受画面で[■][6][2]を押し、[I][ON]を押す。

- 詳細メニューから✕（設定）→［通話・通信機能設定］→［イヤホンマイク自動発信］の順に選択することもできます。

2 メモリ番号（3桁：000～749）を入力して[■]を押す。

- イヤホンマイク自動発信が設定されます。

スイッチを使って音声電話をかける

1 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続する。

- イヤホンマイク端子に、平型スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込みます。

2 待受画面でスイッチを2秒以上押す。

- イヤホンマイク自動発信で設定したメモリ番号に登録されている電話番号に自動的に発信します。
- イヤホンマイク自動発信で設定したメモリ番号に電話番号が複数登録されている場合は、1件目に登録されている電話番号に発信します。1件目に電話番号が登録されていないときは2件目に、2件目にも登録されていないときは3件目の電話番号に発信します。

3 通話が終わったら、スイッチを2秒以上押す。

- 電話が切れます。（FOMA端末の[☎]を押しても、電話を切ることができます。）

お知らせ

- イヤホンマイク自動発信に設定したメモリ番号がシークレット登録されている場合は、シークレットモードを［ON］に設定してから、スイッチ操作で電話をかけてください。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクをFOMA端末に接続したままかばんなどに入れると、スイッチが押されて電話がかかってしまうことがあります。使用しないときは、外してください。
- 電話帳のPIMロック中は、電話をかけることができません。
- スイッチのないイヤホンマイクを接続してすぐに外すと、自動的に電話をかけてしまうおそれがありますので、ご注意ください。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続すると、ボタン確認音は、イヤホンから聞こえます。
- イヤホンからの受話音量は受話音量調節（☞P.68）で設定されている音量で聞こえます。

スイッチを使って電話を受ける

1 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続する。

- イヤホンマイク端子に、平型スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込みます。

2 電話がかかってくると、着信音が鳴る。

- 着信音は、着信音出力切替（☞P.134）で設定したところから流れます。

3 スイッチを2秒以上押す。

- 電話がつながります。（FOMA端末の[☎]を押しても、電話がつながります。）
- FOMA端末を閉じているときにテレビ電話がかかってきたときは、スイッチを押すと代替画像設定（☞P.91）で設定した代替画像が送信されます。FOMA端末を開いているときは、自分側のカメラ映像が送信されます。

次ページへ続く

4 通話が終わったら、スイッチを２秒以上押す。

- 電話が切れます。(FOMA端末の☎を押しても、電話を切ることができます。)

お知らせ

- 着信音が鳴ってから接続する場合、スイッチを押していないのに、接続した瞬間に電話を受けてしまうことがありますので、ご注意ください。使用しないときは、外してください。
- スイッチを連続して押したり離したりしないでください。自動的に電話をかけたり、受けたりすることがあります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末(本体)に巻き付けないでください。内蔵アンテナが正しく働かないことがあります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのコードを内蔵アンテナに近づけると、ノイズが入ることがありますので、ご注意ください。
- プラグは確実に差し込んでください。差し込みが不完全で途中で止まっていると音が聞こえない場合があります。
- 通話中にプラグの差し込みが不完全な場合は「プー」という音がしますが故障ではありません。
- 電源を入れた瞬間に「パチッ」という音がすることがありますが故障ではありません。

オート着信設定

イヤホンをつないで自動で電話を受ける

イヤホンマイク端子に平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)などを接続しているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話、プッシュトークを自動的に受けるように設定できます。

- 音声電話やテレビ電話のときは、自動的に電話を受けるまでの時間(着信時間)を設定することもできます。
- オート着信設定を[ON]に設定していても、平型スイッチ付イヤホンマイクを接続していないときは、自動的に電話を受けることはできません(プッシュトークを除く)。

お買い上げ時設定(OFF)

1 待受画面で■6 3 2を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[通話・通信機能設定]→[着信時設定]→[オート着信設定]の順に選択することもできます。

2 項目を選び、オート着信を設定する。

音声電話、テレビ電話を設定する	1→1→着信時間(3桁:000〜120秒)を入力→■ ● 電話を受けるまでの時間を入力せずに■を押すと、電話がかかってくると約2秒後に自動的に電話を受けます。(お買い上げ時は、[2秒]に設定されています。) ● 着信時間を[000秒]に設定すると、着信音やバイブレータが動作せずに電話を受けますので、ご注意ください。
プッシュトークを設定する	2→1

お知らせ

- 電話帳指定着信拒否・許可などの機能を利用して電話を受けないようにしている相手から電話がかかってきた場合、自動的に電話を受けることはできません。
- オート着信設定と伝言メモ応答時間設定は、同じ時間に設定できません。
- 留守番電話サービスや転送でんわサービスをオート着信設定と同時に設定しているときに、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間を同じ時間に設定した場合、留守番電話サービスや転送でんわサービスが優先される場合があります。
オート着信設定を優先させるためには、伝言メモや留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間よりもオート着信設定の着信時間を短く設定してください。
- オート着信設定のプッシュトーク設定とプッシュトーク電話帳のオート着信設定(☞P.104)は連動しており、どちらかを[ON]にすると同時に設定されます。また、マナーモード設定時はオート着信できません。
- テレビ電話がかかってきたときは、代替画像設定で設定した代替画像が相手に送信されます。そのあと、自分側の映像をカメラ映像に切り替えることができます。(☞P.90)

設定リセット

各種機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す

お客様が設定できる内容を、お買い上げ時の状態に戻します。

- お買い上げ時の状態については、P.404〜P.409「詳細メニュー一覧」を参照してください。

1 待受画面で■#を押し、端末暗証番号(4〜8桁の数字)を入力して■を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[一般設定]→[設定リセット]の順に選択することもできます。

2 [はい]を選んで■を押す。

お知らせ

設定リセットを行うと

- 次のものはリセット(削除・変更)されません。リセットするときは、それぞれのページを参照してください。

日時設定(☞P.48)	ToDoリスト(☞P.366)
端末暗証番号(☞P.156)	画面メモ(☞P.208)
所有者情報(☞P.368)	送受信/未送信メール(☞P.250)
電話帳指定着信許可リスト(☞P.168)	署名の登録内容(☞P.253)
電話帳指定着信拒否リスト(☞P.169)	ネットワークサービスの設定(☞P.378〜P.388)
伝言メモなどの録音内容(☞P.76)	電話帳の登録内容(☞P.109、P.114)
データBOXのデータ(☞P.321、P.331、P.334)	miniSDメモリーカード内のデータ(☞P.330)
カメラで撮影した画像(☞P.331、P.334)	テキストメモ(☞P.372)
Bilingual(☞P.148)	ユーザ辞書(☞P.400)
アラーム(☞P.357)	ダウンロード辞書(☞P.401)
スケジュール(☞P.363)	光るワンタッチキーの登録内容(☞P.150)

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

お知らせ

- ｉモードの設定のリセットについては、P.214を参照してください。
- メールの設定のリセットについては、P.256を参照してください。
- 設定リセットを行うと、ｉチャネルテロップは表示されなくなります。最新の情報を受信するか、チャネル一覧を表示すると、ｉチャネルテロップが自動的に表示されます。

ユーザデータ削除

登録データを一括して削除する

お客様が登録されたデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

- 端末暗証番号はお買い上げ時の番号[0000]に戻ります。
- FOMA端末の保護されているデータも削除されます。
- データ一括削除中は、他の機能を使用できません。また、音声電話／テレビ電話の着信やメールの受信、アラームなどは動作しません。
- データ一括削除を行うときは、電池をフル充電しておいてください。電池残量が不十分の場合は、一括削除できないことがあります。
- データ一括削除を行っているときは、電源を切らないでください。
- お買い上げ時に登録されているデータBOXのメロディのプリインストールフォルダ内のメロディ、マイピクチャのプリインストールフォルダ内の静止画、GIFアニメーション、Flash画像は削除されません。ただし、ｉアプリ、キャラ電、ｉモーション、デコメール用画像は削除されます。お買い上げ時の状態については「詳細メニュー一覧」を参照してください。(☞P.404〜P.409)

削除されるデータ	電話帳、データBOX内の静止画・動画・メロディ・キャラ電、ｉアプリ、メール、メッセージR／F、ブックマーク、画面メモ、ダウンロード辞書、音声メモ、テキストメモ、ToDoリスト、アラーム設定、着信履歴、リダイヤル、送信メッセージ履歴、メール送信履歴、メール受信履歴、URL履歴、署名、ユーザ辞書、ブックリーダーのしおり、フォルダ※、チャットメール、SMS(ショートメッセージ)、ｉアプリメールのデータ、メールテンプレート、伝言メモ(録音した応答ガイダンス含む)、バーコードリーダーで読み取ったデータ、スケジュール(登録・変更した祝日を含む)、トルカ、ラストURL、電話帳通信履歴、着もじメッセージ、ソフトウェア更新予約情報、ワンタッチキーに登録した内容
削除されないデータ(お買い上げ時の状態に戻るデータ)	各種設定リセット(☞P.374)の対象となる機能と次の機能は、お買い上げ時の状態に戻ります。 ● 待受画面設定、着信メロディ設定、伝言メモ応答メッセージ、定型文、学習機能、各種設定、端末暗証番号、日時設定、詳細メニューのアイコン、ショートカットメニュー、通話時間、画面カスタマイズ設定、応答メッセージ登録、USSD登録、所有者情報(ご契約の電話番号以外)、メールメンバー、URL入力、プレフィックス設定、データBOXのマイピクチャ、ｉモーション、メロディの各種動作設定、メール設定、ｉモード設定、ｉアプリ設定

※ お買い上げ時に登録されているフォルダは削除されません。

1 待受画面で[■][7][8][1]を押す。

- 詳細メニューから[設定]→[セキュリティ]→[データ一括削除]→[ユーザデータ削除]の順に選択することもできます。

2 端末暗証番号(４〜８桁の数字)を入力して[■]を押し、[はい]を選んで[■]を押す。

- [20分程度かかる事がありますがよろしいですか？]と表示されます。

3 [はい]を選んで[■]を押す。

- [削除後再起動しますがよろしいですか？]と表示されます。

4 [はい]を選んで[■]を押す。

- データ削除完了後にFOMA端末が再起動します。

お知らせ

- お買い上げ時に登録されているｉアプリ、キャラ電、ｉモーション、デコメール用画像は、ｉMenu内のサイト[SH-MODE]からダウンロードできます。ダウンロードには別途パケット通信料がかかります。(☞P.208、P.210、P.221、P.267)
- FOMAカードやminiSDメモリーカードに保存・登録・設定されているデータは削除されません。
- 他の機能が動作中は、一括削除できません。
- 削除するデータが多い場合は、データ一括削除に時間がかかる場合があります。
- データ一括削除中は、表示が乱れることがありますのでFOMA端末を閉じないでください。
- ユーザデータ削除を行うと、ｉチャネルテロップは表示されなくなります。最新の情報を受信するか、チャネル一覧を表示すると、ｉチャネルテロップが自動的に表示されます。
- ｉアプリの電子マネー「Edy」、ケータイクレジット「iD(アイディ)」、DCMXクレジットアプリは削除されません。

シークレットデータをまとめて削除する <シークレットデータ削除>

電話帳、スケジュール、ToDoリストにシークレット登録したデータを、一括して削除できます。

- シークレットモードを[ON]／[OFF]どちらに設定していても、削除できます。

1 待受画面で[■][7][8][2]を押す。

- 詳細メニューから[設定]→[セキュリティ]→[データ一括削除]→[シークレットデータ削除]の順に選択することもできます。

2 端末暗証番号(４〜８桁の数字)を入力して[■]を押し、[はい]を選んで[■]を押す。

ネットワークサービス

本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

FOMA端末から利用できるネットワークサービス

FOMA端末では、次のようなネットワークサービスを利用できます。

サービス名称	お申し込み	月額使用料	ページ
留守番電話サービス	要	有料	P.378
キャッチホン	要	有料	P.380
転送でんわサービス	要	無料	P.381
迷惑電話ストップサービス	要	無料	P.383
発信者番号通知サービス	不要	無料	P.49
公共モード（ドライブモード）	不要	無料	P.70
公共モード（電源OFF）	不要	無料	P.71
番号通知お願いサービス	不要	無料	P.384
デュアルネットワークサービス	要	有料	P.384
英語ガイダンス	不要	無料	P.385
マルチナンバー	要	有料	P.387

※「サービス停止」とは、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。

- お申し込みが必要なサービスについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

お知らせ

- ネットワークサービスは、ネットワークサービスセンターに接続して操作するサービスのため、圏外のときは操作できません。（公共モードは圏外でも設定できます。）
- ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたときには、新しいサービスをメニューに登録することができます。（☞P.388）

留守番電話サービス
留守番電話サービスを利用する

圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどに、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりします。音声電話やテレビ電話をかけてきた方には、応答メッセージでお答えします。

お知らせ

- 伝言メッセージの録音時間は1件あたり最長3分、音声電話とテレビ電話それぞれ最大20件で、最長72時間保存されます。
- **留守番電話サービス**を［開始］に設定しているときに電話がかかってきた場合は、着信音が設定された呼出秒数の間（呼出時間は変更できます：☞P.378）鳴ります。その間に応答すると、そのまま通話できます。その間に応答しない場合は、自動的に留守番電話サービスセンターに接続されます。この着信は、**待受画面**や**着信履歴**でもお知らせします。ただし、呼出時間を［0秒］に設定した場合は、着信履歴に記憶されません。

お知らせ

- **伝言メモ**を同時に設定しているとき、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスを［開始］に設定しているときにテレビ電話対応機種からテレビ電話がかかってきた場合、設定した呼出時間が経過すると、留守番電話サービスに接続し、メッセージ録音／録画が開始されます。また、設定した呼出時間内に応答すると、留守番電話サービスに接続せずに、そのまま通話できます。
- 留守番電話のテレビ電話対応設定について変更するには、「1412」へ音声電話発信をしてください。
- AV32Kテレビ電話による留守番電話接続はできません。
- キャラ電で留守番電話に接続された場合、DTMF操作が行えません。機能メニューよりDTMF送信モードに切り替えてください。（☞P.82）

留守番電話サービスの基本的な流れ

STEP 1　留守番電話サービスを開始する。
STEP 2　お客様のFOMA端末に音声電話／テレビ電話がかかる。
STEP 3　音声電話／テレビ電話に出られないときは留守番電話サービスセンターに接続される。
STEP 4　相手が用件を伝言メッセージに録音／録画する。
STEP 5　伝言メッセージを再生する。

留守番電話サービスを開始／停止する
<留守番電話サービス開始／留守番電話サービス停止>

■ 留守番電話サービスを開始する

1 待受画面で[■][4][1][3]を押す。

- 詳細メニューから✕（設定）→［NWサービス］→［留守番電話］→［留守番電話サービス開始］の順に選択することもできます。

2 開始方法を選ぶ。

留守番電話サービスを開始する	[1]→［はい］→[■]
呼出時間を設定してからサービスを開始する	[2]→呼出秒数（000～120秒）を入力→[■]→［はい］→[■]

- 留守番電話サービスが開始され、メッセージが表示されます。
- 留守番呼出時間は、待受画面で[■][4][1][4]を押しても設定できます。

■ 留守番電話サービスを停止する

1 待受画面で■415を押し、[はい]を選んで■を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[NWサービス]→[留守番電話]→[留守番サービス停止]の順に選択することもできます。
- 留守番電話サービスが停止され、メッセージが表示されます。

伝言メッセージを聞く <留守番メッセージ再生>

1 待受画面で■412を押し、[はい]を選んで■を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[NWサービス]→[留守番電話]→[留守番メッセージ再生]の順に選択することもできます。

2 音声ガイダンスの指示に従って、伝言メッセージを再生する。

お知らせ

- 待受画面に[留守録音あり○件]が表示されているときに■を押すと、[留守番メッセージ再生しますか？]が表示されます。[はい]選び、■を押すとメッセージを再生できます。ただし、待受画面にｉアプリを設定しているときは、CLRを押すと表示が消えます。
- 表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。
- テレビ電話の伝言メッセージの場合は、「1417」へテレビ電話でかけてメッセージを再生することができます。

音声ガイダンスで留守番電話サービスを設定する<留守番サービス設定>

音声ガイダンスに従って留守番電話サービスを設定できます。

1 待受画面で■417を押し、[はい]を選んで■を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[NWサービス]→[留守番電話]→[留守番サービス設定]の順に選択することもできます。

2 音声ガイダンスの指示に従って9を押し、設定する。

不在案内変更	1
応答メッセージまたは名前のアナウンスの確認・変更	2
発信者番号案内の確認・変更	3

新しい伝言メッセージがあるか確認する <メッセージ問合せ>

留守番電話サービスセンターに、伝言メッセージが入っているかどうかを問い合わせます。

1 待受画面で■411を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[NWサービス]→[留守番電話]→[メッセージ問合せ]の順に選択することもできます。
- 問い合わせが完了すると、メッセージが表示されます。
- 音声電話の伝言メッセージが入っていると、待受画面に[留守録音あり ○件]が表示されます。
- テレビ電話の伝言メッセージが入ったときは、伝言メッセージがあることをお知らせするSMSを受信します。

留守番電話サービスの設定を確認して変更する<留守番設定確認>

留守番電話サービスの設定を確認してから、開始、停止、呼出時間を変更できます。

1 待受画面で■416を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[NWサービス]→[留守番電話]→[留守番設定確認]の順に選択することもできます。
- 現在の設定内容が表示されます。

2 📷を押し、機能を選ぶ。

留守番電話サービスを開始する	11→[はい]→■
呼出時間を設定してから留守番電話サービスを開始する	12→呼出秒数(000～120秒)を入力→■→[はい]→■
留守番電話サービスを停止する	2→[はい]→■
呼出時間を変更する	3→呼出秒数(000～120秒)を入力→■

伝言メッセージが増えたときに着信音が鳴るようにする<件数増加鳴動設定>

新しい伝言メッセージが届いたときに、着信音でお知らせできます。

1 待受画面で■41 8 1を押し、1[ON]を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[NWサービス]→[留守番電話]→[件数お知らせ設定]→[件数増加鳴動設定]の順に選択することもできます。
- 件数増加鳴動が設定されます。

伝言メッセージマークを消去する
<表示消去>

伝言メッセージが届いたことを示す[留守録音あり ○件]を消去できます。

1 待受画面で■4182を押し、[はい]を選んで■を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[NWサービス]→[留守番電話]→[件数お知らせ設定]→[表示消去]の順に選択することもできます。
- [留守録音あり ○件]が消去されます。
- 待受画面に[留守録音あり○件]が表示されているときにCLRを1秒以上押しても消去できます。

お知らせ

- 伝言メッセージが留守番電話センターに残っているとき、[留守録音あり ○件]を消去しても、伝言メッセージは消去されません。メッセージ問い合わせを行ったり、新しい伝言メッセージが録音されると、再び表示されます。

着信通知機能を利用する
<着信通知開始／着信通知停止>

圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどに着信があった場合、再び電源を入れたときや圏内になったときに着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。

着信通知を開始する

1 待受画面で■4191を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[NWサービス]→[留守番電話]→[着信通知]→[着信通知開始]の順に選択することもできます。

2 発信者番号非通知の着信を通知するかどうかを選ぶ。

発信者番号非通知の着信を通知する	[はい]→■→[はい]→■
発信者番号非通知の着信を通知しない	[いいえ]→■→[はい]→■

- 着信通知の開始画面で[はい]を選択すると、着信通知が開始され、メッセージが表示されます。

着信通知を停止する

1 待受画面で■4192を押し、[はい]を選んで■を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[NWサービス]→[留守番電話]→[着信通知]→[着信通知停止]の順に選択することもできます。
- 着信通知が停止され、メッセージが表示されます。

着信通知の設定を確認する

1 待受画面で■4193を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[NWサービス]→[留守番電話]→[着信通知]→[着信通知開始設定確認]の順に選択することもできます。
- 現在の設定内容が表示されます。

キャッチホン

キャッチホンを利用する

通話中に第三者から電話がかかってきたことを、通話中着信音「ププ…ププ…」でお知らせします。現在通話中の相手との通話を保留にしたまま、第三者と通話できます。

- 圏外のときは、キャッチホンの設定はできません。

お知らせ

- 通話中のテレビ電話を保留にして、音声電話やテレビ電話に出る、またはかけることはできません。
- 通話中の音声電話を保留にして、かかってきたテレビ電話に出る、またはかけることはできません。

キャッチホンを開始／停止する
<キャッチホンサービス開始／キャッチホンサービス停止>

キャッチホンを開始する

1 待受画面で■421を押し、[はい]を選んで■を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[NWサービス]→[キャッチホン]→[キャッチホンサービス開始]の順に選択することもできます。
- キャッチホンが開始され、メッセージが表示されます。

キャッチホンを停止する

1 待受画面で■422を押し、[はい]を選んで■を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[NWサービス]→[キャッチホン]→[キャッチホンサービス停止]の順に選択することもできます。
- キャッチホンが停止され、メッセージが表示されます。

お知らせ

- キャッチホンを使用するときは、**着信動作選択**を[通常着信]に設定してください。他の設定になっている場合は、キャッチホンを[開始]に設定しても、音声電話の通話中にかかってきた音声電話に応答できません。
- キャッチホンを停止しても、通話中の音声電話を保留にして、別の相手に音声電話をかけることはできます。

キャッチホンの設定を確認する

1 待受画面で■423を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[NWサービス]→[キャッチホン]→[キャッチホンサービス設定確認]の順に選択することもできます。

開始中の場合

- 現在の設定内容が表示されます。

通話中の音声電話を保留にして、かかってきた音声電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら、[通話キー]を押す。

- 最初の方との通話は自動的に保留になり、新しくかかってきた音声電話を受けることができます。

2 新しくかかってきた方との通話が終わったら、[通話キー]を押す。

- 最初の方との通話に切り替わります。
- [通話キー]を押すたびに通話の相手を切り替えることもできます。

保留中の音声電話を終わらせるとき

- [メニュー][3][保留呼切断]を押します。

お知らせ

- テレビ電話中に音声電話やテレビ電話がかかってきても通話中に「ププ…ププ…」と聞こえず、電話に出ることもできません。テレビ電話終了後、待受画面に戻ると[着信あり]と表示されます。

通話中の音声電話を終わらせて、かかってきた音声電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら、[終話キー]を押す。

- 新しくかかってきた電話の着信音が鳴ります。

2 [通話キー]を押す。

- 新しくかかってきた電話の方と通話できます。

通話中の音声電話を保留にして、別の相手に音声電話をかける

通話中の音声電話を保留にして、新たにお客様のほうから別の相手に音声電話をかけることができます。

1 通話中に別の相手の電話番号をダイヤルする。

- 電話帳、着信履歴、リダイヤルを利用してダイヤルすることもできます。

2 [通話キー]を押す。

- 新しくかけた相手と通話できます。
- 最初の方との通話は自動的に保留されます。
- 保留中の相手がいるとき、[通話キー]を押して通話する相手を切り替えることができます。

3 新しくかけた相手との通話が終わったら、[終話キー]を押す。

- 新しくかけた相手との通話が終了します。
- [通話キー]を押すと、最初の方と通話できます。

転送でんわサービス

転送でんわサービスを利用する

圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどに、FOMA端末にかかってきた音声電話やテレビ電話を、一般の電話機や携帯電話、テレビ電話など、あらかじめ登録しておいた転送先に転送できます。

お知らせ

- テレビ電話をかけた側には、転送中のガイダンスは流れず、転送中のメッセージが画面に表示されます。
- 転送でんわサービスを[開始]に設定しているときに音声電話やテレビ電話がかかってきた場合は、着信音が設定された呼出秒数の間(呼出時間は変更できます：☞P.382)鳴ります。その間に応答すると、そのまま通話できます。その間に応答しない場合は、あらかじめ登録されている転送先に転送します。この着信は、待受画面や着信履歴でもお知らせします。ただし、呼出時間を[0秒]に設定した場合は、着信履歴に記憶されません。
- 転送でんわサービスを[開始]に設定しているときは、コレクトコール(料金着信払通話)での着信はできません。
- 音声電話やテレビ電話の着信中に[メニュー][2](テレビ電話の場合は[メニュー][3])[着信転送]を押して手動で転送できます。
- 通話中に別の音声電話がかかってきたときは、自動的に転送させることもできます。
- 留守番電話サービスを[開始]に設定すると、転送でんわサービスは、自動的に停止します。
- 圏外のときは、FOMA端末から転送でんわサービスの設定はできません。このような場合は、プッシュ式の一般電話、公衆電話などからネットワーク暗証番号を利用して転送でんわサービスの操作ができます。あらかじめ、遠隔操作設定で遠隔操作ができるように設定しておく必要があります。

転送でんわサービスの基本的な流れ

STEP 1 転送先の電話番号を登録する。
STEP 2 転送でんわサービスを開始する。
STEP 3 お客様のFOMA端末に音声電話／テレビ電話がかかる。
STEP 4 音声電話／テレビ電話に出られないときはあらかじめ登録した転送先に自動的に転送される。

転送でんわサービスを開始／停止する <転送サービス開始／転送サービス停止>

転送でんわサービスを開始する

1 待受画面で[メニュー][4][3][1]を押す。

- 詳細メニューから[設定]→[NWサービス]→[転送でんわ]→[転送サービス開始]の順に選択することもできます。

2 [3][転送先電話番号入力]を押し、転送先電話番号を入力する。

直接入力する	[1]→電話番号を入力→[●]
電話帳から入力する	[2]→名前を選ぶ→[●]→[●]

3 [2][呼出秒数設定]を押し、呼出秒数（3桁:**000〜120**秒）を入力して[●]を押す。

4 [1][転送サービス開始]を押し、[はい]を選んで[●]を押す。

- 転送サービスが開始され、メッセージが表示されます。

お知らせ

- 圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどは、着信音は鳴らずに自動的に転送されます。
- 着信音が鳴っている間に応答すると、転送されずに通話できます。

転送でんわサービスを停止する

1 待受画面で[●][4][3][2]を押し、[はい]を選んで[●]を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[NWサービス]→[転送でんわ]→[転送サービス停止]の順に選択することもできます。
- 転送サービスが停止され、メッセージが表示されます。

通話中にかかってきた電話を転送先へ転送する

通話中（iモード待機中）に別の電話がかかってきたときも、その電話を登録されている転送先へ転送できます。

1 通話中着信音が鳴っている間に[📷][2][着信転送]を押す。

- かかってきた電話を登録されている転送先へ転送します。

着信音が鳴っているときに電話を転送先へ転送する

1 着信音が鳴っている間に[📷][2][着信転送]を押す。

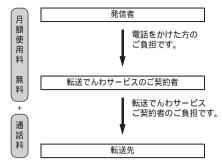
- かかってきた電話を登録されている転送先へ転送します。

転送ガイダンス有・無を設定する場合

1 待受画面で[1][4][2][9][☎]を押す。

- 音声ガイダンスに従って設定してください。

転送でんわサービスの料金

■ 通話料金

※ 転送でんわサービスの転送先登録、サービスの開始／停止などの操作の通話料は無料です。

転送先を変更する<転送先変更>

1 待受画面で[●][4][3][3]を押し、入力方法を選んで電話番号を修正する。

- 詳細メニューから✕(設定)→[NWサービス]→[転送でんわ]→[転送先変更]の順に選択することもできます。

直接入力する	[1]→電話番号を入力→[●]
電話帳から入力する	[2]→名前を選ぶ→[●]→[●]

2 転送でんわサービスを開始するかどうかを選ぶ。

転送先を変更するだけ	[1]
転送先を変更してからサービスを開始する	[2]

- 転送先電話番号が変更されます。

転送先が通話中のとき留守番電話サービスで応対する<転送先通話中時設定>

- 留守番電話をご利用になるには、留守番電話サービス（月額使用料:有料）のお申し込みが必要です。

1 待受画面で[●][4][3][4]を押し、[はい]を選んで[●]を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[NWサービス]→[転送でんわ]→[転送先通話中時設定]の順に選択することもできます。
- 転送先通話時留守番サービスが設定され、メッセージが表示されます。

転送サービス設定を確認する

1 待受画面で[●][4][3][5]を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[NWサービス]→[転送でんわ]→[転送サービス設定確認]の順に選択することもできます。
- 現在の設定内容が表示されます。

迷惑電話ストップサービス

迷惑電話ストップサービスを利用する

いたずら電話や悪質なセールス電話など、特定の相手からの電話が着信しないように登録できます。最大30件登録できます。

最後に着信応答した電話番号を迷惑電話ストップサービスに登録する
＜迷惑電話着信拒否登録＞

1 待受画面で■441を押し、[はい]を選んで■を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[NWサービス]→[迷惑電話ストップ]→[迷惑電話着信拒否登録]の順に選択することもできます。
- 電話番号が登録され、メッセージが表示されます。
- プッシュトーク通信以外の最後に着信応答した電話番号が迷惑電話ストップサービスに登録されます。
- すでに30件登録されているときは、[限度数を超えました。最も古い登録を削除し、迷惑電話を登録しますが、よろしいですか？]と表示されます。[はい]を選んで■を押すと、上書き登録されます。

電話番号を選択して着信拒否登録する
＜電話番号指定拒否登録＞

1 待受画面で■442を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[NWサービス]→[迷惑電話ストップ]→[電話番号指定拒否登録]の順に選択することもできます。

2 選択先を選ぶ。

着信履歴から選択する	1→電話番号を選ぶ→■→[はい]→■
リダイヤルから選択する	2→電話番号を選ぶ→■→[はい]→■
電話帳から選択する	3→電話番号を選ぶ→■→[はい]→■

- 電話番号が登録され、メッセージが表示されます。
- すでに30件登録されているときは、[限度数を超えました。最も古い登録を削除し、迷惑電話を登録しますが、よろしいですか？]と表示されます。[はい]を選んで■を押すと、上書き登録されます。

お知らせ

- 非通知着信およびプッシュトークの発着信履歴については着信拒否登録することはできません。

登録した電話番号をすべて削除する
＜迷惑電話全登録削除＞

1 待受画面で■443を押し、[はい]を選んで■を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[NWサービス]→[迷惑電話ストップ]→[迷惑電話全登録削除]の順に選択することもできます。
- 電話番号が削除され、メッセージが表示されます。

■ 最後に登録した電話番号１件のみを削除する

1 待受画面で■444を押し、[はい]を選んで■を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[NWサービス]→[迷惑電話ストップ]→[迷惑電話１登録削除]の順に選択することもできます。
- 最後に登録した電話番号を１件削除します。同様の操作をくり返し行うことにより、最後に登録した順より１件ずつ削除することができます。
- 電話番号が削除され、メッセージが表示されます。

拒否登録した電話番号の件数を確認する
＜拒否登録件数確認＞

1 待受画面で■445を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[NWサービス]→[迷惑電話ストップ]→[拒否登録件数確認]の順に選択することもできます。
- 現在の拒否登録件数が表示されます。

お知らせ

- 迷惑電話番号を削除する方法は、すべて削除、または最後に登録した１件の削除のいずれかです。特定の番号のみの削除はできません。

■ 各サービス利用時の応答

次の各サービスの開始中に迷惑電話着信拒否登録した方から着信があった場合、次のようになります。

- 迷惑電話ストップサービスで拒否登録した電話番号からプッシュトーク着信があった場合、相手に音声ガイダンスは流れず、切断されます。

サービス名	迷惑電話着信拒否登録した方への応答
留守番電話サービス	着信拒否ガイダンスが流れます。メッセージはお預かりしません。
転送でんわサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。転送先には転送されません。
キャッチホン	着信拒否ガイダンスが流れます。
番号通知お願いサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。

お知らせ

- 相手が発信者番号を通知してこない電話でも拒否登録できます。
- 国際電話を拒否登録できない場合があります。
- この機能によって着信しなかった場合、着信履歴に記憶されません。

番号通知お願いサービス

番号通知お願いサービスを利用する

発信者番号が通知されない電話をガイダンスの案内により、「番号の通知のお願い」をし、自動的に電話を切るサービスです。相手がわからないなどによるトラブルを防ぎ、安心できる携帯電話の活用が可能になります。

- 発信者番号が通知されないプッシュトークの着信があった場合、ガイダンスは流れず、切断します。

■ 各サービス利用時の応答中の着信とサービスとの関係

番号通知お願いサービスを[開始]に設定している場合、次の各サービスの開始中に、発信者番号を通知しない着信があった場合、次のようになります。

サービス名	発信者番号を通知しない方への応答
留守番電話サービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。メッセージはお預かりしません。
転送でんわサービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。転送先には転送されません。
キャッチホン	番号通知お願いガイダンスが流れます。
迷惑電話ストップサービス	迷惑電話着信拒否登録した電話番号から着信すると、着信拒否ガイダンスが流れます。

番号通知お願いサービスを開始する ＜番号通知サービス開始＞

1 待受画面で[■][4][6][1]を押し、[はい]を選んで[■]を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[NWサービス]→[番号通知お願いサービス]→[番号通知サービス開始]の順に選択することもできます。
- 番号通知お願いサービスが開始され、メッセージが表示されます。

番号通知お願いサービスを停止する ＜番号通知サービス停止＞

1 待受画面で[■][4][6][2]を押し、[はい]を選んで[■]を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[NWサービス]→[番号通知お願いサービス]→[番号通知サービス停止]の順に選択することもできます。
- 番号通知お願いサービスが停止され、メッセージが表示されます。

設定内容を確認する＜サービス設定確認＞

1 待受画面で[■][4][6][3]を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[NWサービス]→[番号通知お願いサービス]→[サービス設定確認]の順に選択することもできます。
- 現在の設定内容が表示されます。

デュアルネットワークサービス

デュアルネットワークサービスを利用する

FOMAでご契約されたひとつの電話番号で、movaもご利用いただけます。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

■ デュアルネットワークサービスの切り替え

デュアルネットワークサービスの切り替えは、サービスエリア内で利用不可状態のFOMA端末またはmova端末から操作することにより行います。

FOMAのネットワーク
movaのネットワーク

- FOMA端末からデュアルネットワーク切替を行うとFOMAのネットワークに切り替わります。

- mova端末からデュアルネットワーク切替を行うとmovaサービスのネットワークに切り替わります。

※ 一部のサービスはご利用になれません。
※ FOMAとmovaを同時にご利用いただくことはできません。

FOMA端末を使えるようにする

FOMAのネットワークに切り替えます。

1 待受画面で[■][5][2][1]を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[その他のNWサービス]→[デュアルネットワーク]→[デュアルネットワーク切替]の順に選択することもできます。
- ネットワーク暗証番号入力画面が表示されます。

2 ネットワーク暗証番号(4桁の数字)を入力して[■]を押し、[はい]を選んで[■]を押す。

- 入力したネットワーク暗証番号は、[✱]で表示されます。
- ネットワーク切替が終了します。

お知らせ

- ネットワーク切替を行うときは、アンテナ表示でサービスエリアであることを確認してください。FOMA端末、mova端末の画面の[Yıl]は、電波状態を示しているもので、ネットワーク利用可能、不可能の状態を示しているものではありません。

設定内容を確認する<デュアルネットワーク状態確認>

1 待受画面で[■][5][2][2]を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[その他のNWサービス]→[デュアルネットワーク]→[デュアルネットワーク状態確認]の順に選択することもできます。
- 現在の設定内容が表示されます。

英語ガイダンス

ガイダンスを日本語と英語で切り替える

留守番電話サービスや転送でんわサービスなど、各種ネットワークサービス設定時の音声ガイダンスの言語を設定できます。また、番号通知お願いサービスなど、お客様へ電話をかけてきた方へのガイダンスの言語を設定することもできます。

- 圏外のときは、英語ガイダンスの設定はできません。
- 発信者が本サービスを利用している場合は、発信者側の発信時の設定が着信者側の着信時の設定より優先されます。

■ 利用できるガイダンスの種類

	メニュー項目	ガイダンスの内容
発信時(ネットワークサービス設定時に流れるガイダンス)	日本語	すべて日本語ガイダンスで流れます。
	英語	すべて英語ガイダンスで流れます。
着信時(相手がかけてきたときに流れるガイダンス)	日本語	すべて日本語ガイダンスで流れます。
	日本語+英語	最初に日本語ガイダンスが流れ、そのあとに英語ガイダンスが流れます。
	英語+日本語	最初に英語ガイダンスが流れ、そのあとに日本語ガイダンスが流れます。

1 待受画面で[■][5][3][1]を押し、ガイダンスの種類を選ぶ。

- 詳細メニューから✕(設定)→[その他のNWサービス]→[英語ガイダンス]→[ガイダンス設定]の順に選択することもできます。

発信時と着信時のガイダンスを設定する	[1]
発信時のみのガイダンスを設定する	[2]
着信時のみのガイダンスを設定する	[3]

2 言語の種類を選ぶ。

発信時のガイダンス		着信時のガイダンス	
日本語	[1]	日本語	[1]
英語	[2]	日本語+英語	[2]
		英語+日本語	[3]

設定内容を確認する<ガイダンス設定確認>

1 待受画面で[■][5][3][2]を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[その他のNWサービス]→[英語ガイダンス]→[ガイダンス設定確認]の順に選択することもできます。
- 現在の設定内容が表示されます。

サービスダイヤル

サービスダイヤルを利用する

お買い上げ時は、FOMAカードにはあらかじめ「ドコモ故障問合せ」と「ドコモ総合案内・受付」の電話番号が登録されています。メニュー操作で電話をかけることができます。

- 圏外のときは、電話をかけることはできません。

故障問い合わせ先へ電話をかける

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな?と思ったら、まずチェック」(☞P.427～P.428)を参照してお調べください。

お知らせ

- 表示される画面や発信する番号は、FOMAカードにより異なる場合があります。

1 待受画面で[■][5][4][1]を押し、[はい]を選んで[■]を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[その他のNWサービス]→[サービスダイヤル]→[ドコモ故障問合せ]の順に選択することもできます。

総合案内・受付へ電話をかける

1 待受画面で[■][5][4][2]を押し、[はい]を選んで[■]を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[その他のNWサービス]→[サービスダイヤル]→[ドコモ総合案内・受付]の順に選択することもできます。

着信動作選択

通話中に電話がかかってきたときの対応方法を選ぶ

通話中に別の音声電話がかかってきたときの動作を設定できます。
- 着信動作選択を利用するには、通話中着信設定を[開始]に設定してください。

選択できる着信動作

留守番電話	通話中にかかってきた音声電話を留守番電話サービスに自動で接続します。留守番電話サービスの[開始]／[停止]に関係なく、伝言メッセージをお預かりします。
転送でんわ	通話中にかかってきた音声電話を転送でんわサービスに自動で接続します。転送でんわサービスの[開始]／[停止]に関係なく、登録してある電話番号に転送します。
着信拒否	通話中にかかってきた音声電話の着信を自動で拒否します。
通常着信	キャッチホンが[開始]に設定されている場合、キャッチホンの動作となります。キャッチホンが[停止]に設定されている場合、次のいずれかの動作が可能です。 ● 通話中の音声電話を終了し、かかってきた音声電話に出ることができます。 ● 通話中にかかってきた音声電話を手動で留守番電話サービスや転送でんわサービスへ接続、または着信拒否できます。 ● 留守番電話サービスや転送でんわサービスが[開始]に設定されているときは、その設定に従います。

- キャッチホンを使用するときは、[通常着信]に設定してください。
- 着信動作選択がいずれの設定の場合でも、通話中に着信があったことを着信履歴でお知らせします。

1 待受画面で■4 8 9を押し、着信動作を選ぶ。
- 詳細メニューから✕(設定)→[NWサービス]→[着信動作選択]の順に選択することもできます。

留守番電話	1
転送でんわ	2
着信拒否	3
通常着信	4

お知らせ
- テレビ電話中やテレビ電話を着信した場合、または64Kデータ通信の着信をした場合は、着信動作選択どおりに動作しません。

通話中着信設定

通話中着信設定を開始／停止する

通話中着信設定を[開始]に設定すると、通話中に別の音声電話がかかってきたときに、着信動作選択(☞P.386)に従い着信させることができます。
- 圏外のときは、通話中着信設定はできません。

通話中着信設定を開始する＜通話中着信設定開始＞

1 待受画面で■4 8 1を押し、[はい]を選んで■を押す。
- 詳細メニューから✕(設定)→[NWサービス]→[通話中着信設定]→[通話中着信設定開始]の順に選択することもできます。
- 通話中着信設定が開始され、メッセージが表示されます。

通話中着信設定を停止する＜通話中着信設定停止＞

1 待受画面で■4 8 2を押し、[はい]を選んで■を押す。
- 詳細メニューから✕(設定)→[NWサービス]→[通話中着信設定]→[通話中着信設定停止]の順に選択することもできます。
- 通話中着信設定が停止され、メッセージが表示されます。

設定内容を確認する＜通話中着信設定確認＞

1 待受画面で■4 8 3を押す。
- 詳細メニューから✕(設定)→[NWサービス]→[通話中着信設定]→[通話中着信設定確認]の順に選択することもできます。
- 現在の設定内容が表示されます。

遠隔操作設定

遠隔操作を設定する

遠隔操作とは、留守番電話サービスや転送でんわサービスの操作を一般電話、NTT公衆電話、ドコモの携帯電話などから行うことです。FOMAのサービスエリア外でも操作できます。
遠隔操作を行う前に、遠隔操作設定を[開始]に設定してください。
- 圏外のときは、遠隔操作設定はできません。

遠隔操作を開始する＜遠隔操作開始＞

遠隔操作ができるように設定します。

1 待受画面で■5 1 1を押し、[はい]を選んで■を押す。
- 詳細メニューから✕(設定)→[その他のNWサービス]→[遠隔操作設定]→[遠隔操作開始]の順に選択することもできます。
- 遠隔操作が開始され、メッセージが表示されます。

遠隔操作を停止する＜遠隔操作停止＞

遠隔操作ができないように設定します。

1 待受画面で■5 1 2を押し、[はい]を選んで■を押す。

- 詳細メニューから(設定)→[その他のNWサービス]→[遠隔操作設定]→[遠隔操作停止]の順に選択することもできます。
- 遠隔操作が停止され、メッセージが表示されます。

設定内容を確認する<遠隔操作設定確認>

1 待受画面で■5 1 3を押す。
- 詳細メニューから(設定)→[その他のNWサービス]→[遠隔操作設定]→[遠隔操作設定確認]の順に選択することもできます。
- 現在の設定内容が表示されます。

公衆電話などからネットワークサービスの操作をする

- 公衆電話などからネットワークサービスを操作する詳しい方法は『ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)』をご覧ください。

マルチナンバー
マルチナンバーを利用する

マルチナンバーを利用すると、電話番号を追加して「ビジネス用」、「プライベート用」など、電話番号を使い分けることができます。
- 基本契約番号の他に、付加番号1と付加番号2の最大2つの番号を追加してご利用になれます。
- それぞれの番号に、名称と着信音(☞P.128)を設定できます。

お知らせ
- **リダイヤル**から発信した場合、以前発信したときの電話番号で発信します。
- **着信履歴**から発信した場合、以前着信したときの電話番号で発信します。

マルチナンバーを登録する<電話番号設定>

- 「基本契約番号」は電話番号の削除はできません。
- 登録した電話番号と名称は、発信時のマルチナンバー選択画面や着信画面で表示されます。

お買い上げ時設定(着信音:着信音1)

1 待受画面で■5 6 3を押す。
- 詳細メニューから(設定)→[その他のNWサービス]→[マルチナンバー]→[電話番号設定]の順に選択することもできます。

2 登録する番号を選んで■を押す。

3 名称を入力して■を押す。
- 最大全角7文字(半角14文字)まで入力できます。

4 電話番号を入力して■を押す。
- 電話番号は26桁まで入力できます。「P」は入力できません。

5 着信音を選んで[決定]を押す。
- 着信音の設定について詳しくは、P.128を参照してください。

電話をかけるときに発信番号を選ぶ

登録した電話番号の中から発信元としたい番号を選んで電話をかけることができます。

1 待受画面で電話番号を入力する。

2 4[マルチナンバー選択]を押す。

3 使用する電話番号を選択し■を押す。
- 電話番号設定でマルチナンバー登録を行っていない場合は番号を選択できません。マルチナンバー登録を行ってください。

4 を押す。
- 選択した電話番号から発信します。

お知らせ
- **着信履歴**または**リダイヤル**から登録した電話番号を選んで電話をかけるときは、相手を選び5を押して操作3～4を行います。
- FOMAカードを抜いたり、差し替えた場合、FOMA端末へ登録していたマルチナンバーの設定(名前・番号・着信音など)が消去されることがあります。このようなときは再度登録を行ってください。
- 上記操作の他、電話番号の後に「¥590#」を入力して発信した場合は「基本契約番号」、「¥591#」を入力して発信した場合は「付加番号1」、「¥592#」を入力して発信した場合は「付加番号2」を発信元番号として発信します。
その場合、サブメニューから[マルチナンバー選択]でマルチナンバー発信元を選択しても、入力した「¥590#」、「¥591#」、「¥592#」の発信元情報が優先され発信されます。

使用する発信番号を設定する<通常発信番号設定>

電話をかけるときに使用する電話番号を設定します。すべての発信先に、設定した電話番号で電話をかけることができます。

1 待受画面で■5 6 1を押す。
- 詳細メニューから(設定)→[その他のNWサービス]→[マルチナンバー]→[通常発信番号設定]の順に選択することもできます。

2 使用する番号を選んで■を押し、[はい]を選んで■を押す。
- 設定した番号で発信するようになります。

マルチナンバーの設定内容を確認する<通常発信番号設定確認>

1 待受画面で■5 6 2を押す。
- 詳細メニューから(設定)→[その他のNWサービス]→[マルチナンバー]→[通常発信番号設定確認]の順に選択することもできます。
- 現在の設定内容が表示されます。

マルチナンバーを修正する

1 待受画面で■563を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[その他のNWサービス]→[マルチナンバー]→[電話番号設定]の順に選択することもできます。

2 番号を選んで■1[修正]を押す。

- 修正方法は登録時の操作と同じです。

マルチナンバーを削除する

1 待受画面で■563を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[その他のNWサービス]→[マルチナンバー]→[電話番号設定]の順に選択することもできます。

2 番号を選んで■2[削除]を押す。

3 [はい]を選んで■を押す。

追加サービス(USSD)
サービスを登録して利用する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたときに、新しいネットワークサービスを最大10件まで登録できます。

- 圏外のときは、追加サービスの設定はできません。
- FOMA端末には、新しく追加提供されたサービスの特番またはサービスコードを登録できます。
- サービスコードが提供される場合、FOMA端末には「USSD」として登録されます。

サービスを登録する<USSD登録>

1 待受画面で■551を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[その他のNWサービス]→[追加サービス]→[USSD登録]の順に選択することもできます。

2 登録する番号を選んで📷1[編集]を押し、サービス名を入力して■を押す。

- 最大全角10文字(半角20文字)まで入力できます。

3 追加するサービスの特番またはサービスコードを入力して■を押す。

- 新しいサービスが追加されます。

登録したサービスを利用する

1 待受画面で■551を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[その他のNWサービス]→[追加サービス]→[USSD登録]の順に選択することもできます。

2 サービスを選んで■[発信]を押す。

登録したサービスを削除する

1 待受画面で■551を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[その他のNWサービス]→[追加サービス]→[USSD登録]の順に選択することもできます。

2 サービスを選び、削除方法を選ぶ。

サービスを1件削除する	📷2→[はい]→■
すべてのサービスを削除する	📷3→端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力→■→[はい]→■

- サービスが削除されます。

登録したサービスの受信表示を編集する<応答メッセージ登録>

1 待受画面で■552を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[その他のNWサービス]→[追加サービス]→[応答メッセージ登録]の順に選択することもできます。

2 受信表示を選び、編集する。

- 新しい受信表示名が登録または変更されます。

受信表示を編集する	📷1→受信表示名を入力→■→特番またはサービスコードを入力→■ ● 受信表示名は最大全角10文字(半角20文字)まで入力できます。
受信表示を1件削除する	📷2→[はい]→■
すべての受信表示を削除する	📷3→端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力→■→[はい]→■

データ通信

データ通信について、詳細は添付のCD-ROM※内の「PDF版「データ通信マニュアル」(データ通信マニュアル.pdf)」をご覧ください。「PDF版「データ通信マニュアル」(データ通信マニュアル.pdf)」をご覧になるには、Adobe Reader (バージョン6.0以上を推奨)が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます。(別途通信料がかかります。)
詳細はアドビシステムズ株式会社のホームページをご覧ください。

● この章では、Windows 98とWindows 98SEをまとめてWindows 98と表記しています。
※ 添付のCD-ROMをパソコンにセットし、[マイコンピュータ]→[FOMA_SH902iSL]を選んで右クリックし、[エクスプローラ]をクリックします。

データ通信について

FOMA端末から利用できるデータ通信について

FOMA端末の通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信、データ転送の３つに分類されます。

- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA端末をmusea、sigmarionⅡ、sigmarionⅢと接続してデータ通信を行うことができます。musea、sigmarionⅡを使用する場合は、アップデートしてご利用ください。アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページを参照してください。
- FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて課金されます。ネットワークに接続中でもデータの送受信を行っていないときは通信料がかからないので、ネットワークに接続したまま必要なときにデータの送受信を行うという使いかたができます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」など、FOMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、送信最大64kbps、受信最大384kbpsの速度でデータ通信できます。（通信環境や、電波などが混み合った状態の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。）

パケット通信はFOMA端末とパソコンなどを接続して、各種設定を行うと利用できます。メールの文字データの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。

データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。

FOMA端末では、パソコンなどによるパケット通信と音声電話を同時に利用できます。（☞P.350）

64Kデータ通信

接続している時間に応じて課金されます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」など、FOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDNの同期64Kアクセスポイントを利用します。

64Kデータ通信はFOMA端末とパソコンなどを接続して、各種設定を行うと利用できます。データBOXコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行う場合に適しています。

長時間通信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

データ転送

FOMA USB接続ケーブル（別売）や赤外線を使ってデータを転送、交換する、課金が発生しない通信形態です。電話帳、送受信メール、ブックマークなどのデータを送受信できます。

FOMA端末と他のFOMA端末や携帯電話を接続する場合は、赤外線通信を使います。パソコンなどを接続する場合は、赤外線通信とFOMA USB接続ケーブルを使う方法があります。

ご利用にあたっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットをご利用の場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に、インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み不要、月額使用料無料です。

接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときは、FOMAパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- PIAFSなどのPHS64K/32Kデータ通信のアクセスポイントには接続できません。

ユーザー認証について

接続先によっては、接続時にユーザー認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、インターネットサービスプロバイダ、または接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、以下の条件が必要になります。

- FOMA USB接続ケーブルに対応したパソコンであること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、前述の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況などにより通信ができないことがあります。

お知らせ

- パケット接続を行う場合は、FOMA端末と接続する機器がJATE（財団法人電気通信端末機器審査協会）の認定品である必要があります。

データ通信用語集

APN（Access Point Name）
インターネットサービスプロバイダや企業内LANを識別する文字列。ドコモのインターネット接続サービスmopera Uは「mopera.net」、moperaは「mopera.ne.jp」がAPNとなります。

cid（Context Identifier）
FOMA端末にAPNを登録するときに割り当てる登録番号。FOMA端末では1番から10番まで使えます。

DNS（Domain Name System）
ドメインネーム（例：nttdocomo.co.jp）を、コンピュータで使うIPアドレスに変換するシステムのこと。

IrDA（Infrared Data Association）
赤外線通信に関する規格を制定している組織の名称。

IrMC（Ir Mobile Communications）
携帯電話どうしやPDA（携帯情報端末）間でデータを転送する目的で作られた規格。IrMCに準拠した赤外線端子を持つ携帯電話どうしやPDAとの間で、電話番号やスケジュールをやりとりできます。

OBEX（Object Exchange）
データ通信の国際規格の1つ。OBEXに対応している携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、プリンタなどの間で、データを送受信できます。

QoS（Quality of Service）
サービスの品質。通信時にユーザーの意図どおりに、回線を利用するための技術。FOMA端末では、接続するときの通信速度などを設定できます。

W-CDMA
世界標準規格として認定された第三世代移動通信システム（IMT-2000）の1つ。FOMA端末は、W-CDMA規格に準拠しています。

W-TCP
FOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータです。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

パソコンの管理者権限を持ったユーザー
Windows XP、2000 Professionalを使用するときに、OSのシステムなどすべてにアクセスできる権限のこと。1台のパソコンに最低1人は、パソコンの管理者権限を持つユーザーが設定されています。通常、パソコンの管理者権限がないユーザーは、ドライバ、ソフトなどのインストールおよびアンインストールができません。

データ通信の準備の流れ

パソコンとFOMA端末を接続して、パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。以下のような流れになります。

※ FOMAでインターネットをするには、ブロードバンド接続などに対応した「mopera U」（お申し込み必要）が便利です。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもございます。また、お申し込みが不要で今すぐインターネットに接続できる「mopera」もご利用いただけます。

通信設定ファイルについて

FOMA端末をパソコンに接続してデータ通信を行うには、添付のCD-ROMから通信設定ファイルをインストールする必要があります。

FOMA PC設定ソフト／FirstPass PCソフトについて

添付のCD-ROMからFOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールして使うと、FOMA端末とパソコンを接続して行うパケット通信や、64Kデータ通信に必要なさまざまな設定を、簡単に行うことができます。
また、FirstPass PCソフトは、FirstPass対応のFOMA端末より取得したユーザ証明書を利用してパソコンのWebブラウザからFirstPass対応サイトにアクセスできるようにしたものです。
詳しくはCD-ROM内のFirstPassManualをご覧ください。「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧になるには、Adobe Reader(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます(別途通信料がかかります)。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページを参照してください。

動作環境の確認

通信設定ファイル・FOMA PC設定ソフトは、以下の動作環境でご利用ください。

項　目	必要環境
パソコン本体※1	PC/AT互換機
OS※2	Windows 98、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP(各日本語版)
必要メモリ※3	Windows 98、Windows Me：32MB以上 Windows 2000 Professional：64MB以上 Windows XP：128MB以上
ハードディスク容量※3	5MB以上の空き容量

※1　USBポート(USB仕様1.1/2.0に準拠)が必要です。
※2　OSアップグレードからの動作は保証いたしかねます。
※3　必要メモリ・ハードディスク容量は、「FOMA PC設定ソフト」に関する動作環境です。なお、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。

FirstPass PCソフトは、以下の動作環境でご利用ください。

項　目	必要環境
パソコン本体	PC/AT互換機
OS	Windows 98SE、Windows Me、 Windows 2000 Professional、 Windows XP(各日本語版) (Windows 98には対応していません。)
必要メモリ※	Windows 98SE、Windows Me、 Windows 2000 Professional： 32MB以上 Windows XP：128MB以上
ハードディスク※	10MB以上の空き容量
ブラウザ	Internet Explorer 5.5以上 ● Windows XPの場合はInternet Explorer 6.0以上

※ 必要メモリ・ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。
- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用による問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。
- FOMA USB接続ケーブル(別売)
- 添付CD-ROM「FOMA SH902iSL用CD-ROM」

お知らせ

- USBケーブルは専用の「FOMA USB接続ケーブル」をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。

ATコマンドについて

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド(命令)です。パソコンでコマンドを入力すると、その内容に従ってFOMA端末が動作します。
ATコマンドの詳細は添付のCD－ROM内の「データ通信マニュアル」をご覧ください。

文字入力

文字入力について

FOMA端末には、電話帳やメールなど文字入力が必要な機能がいくつかあります。
実際にお使いになる前に、文字入力のしくみを覚えておいてください。

文字入力変換方式について

かな方式	1つのダイヤルボタンに複数の文字が割り当てられ、ボタンを数回押すことにより目的の文字を入力する方式です。各ボタンの文字の割り当てについては、P.412〜P.413を参照してください。表示を逆戻りさせるときは[キー]を押します。
2タッチ方式	ポケットベル※へ文字を送信するときのように、2つの数字を組み合わせて文字を入力する方式です。数字の組み合わせと入力できる文字(変換方法)については、P.414を参照してください。

- 文字入力変換方式の選択方法については、P.402を参照してください。
- それぞれの入力方式には、文字の種類に合わせた入力モードがあります。(☞P.396、P.402)

入力できる文字の種類

全角文字	漢字、ひらがな、カタカナ、英大文字・英小文字、数字、記号、絵文字
半角文字	カタカナ、英大文字・英小文字、数字、記号

- 全角文字の数字は、全角英数字入力モードで入力できます。
- 詳しくは、P.412〜P.414を参照してください。

近似予測変換と連携予測について

近似予測変換	ひらがなを1〜5文字入力するたびに、入力した文字で始まる変換候補が表示されます。専用の辞書を持っており、一般的によく使われる単語が登録されています。
連携予測	文字を確定すると、これまでの文字入力・変換履歴から推測して、確定した文字に続くと思われる文字の候補が自動的に表示されます。

- お買い上げ時は、両方の変換機能が利用できるように設定されています。個別に利用を停止することもできます。(☞P.402)
- 学習された変換候補をすべてリセットできます。(☞P.400)

お知らせ

- 文字入力画面のデザインは、機能により異なります。

かな方式

かな方式で文字を入力する

漢字・ひらがな・カタカナ(全角)を入力する

漢字モードで、ひらがなを入力して漢字・ひらがな・カタカナ(全角)や記号などに変換します。

1 文字入力画面でダイヤルボタンを押してひらがなを入力する。

- 押す回数で文字が変わります。
- ひらがなを1文字入力するたびに、変換候補が表示されます。
- 同じボタンに割り当てられた文字を連続して入力するときは、[→]を押してカーソルを移動させるか、最初の文字を入力したあとで、同じボタンを1秒以上押します。
(例:「あい」 [1]→[→]→[1][1]または[1]→[1](1秒以上)→[1])
- カタカナや英数字を入力するときは、[文字]を押します。押すたびに入力モード(文字の種類)が切り替わります。

2 [↓]で変換候補欄にカーソルを移動し、文字を選んで[●]を押す。

- 選択をやめるときは、[CLR]を押します。文字入力画面にカーソルが戻り、入力を続けることができます。

次のリスト画面を表示する	[文字][次ページ]→[文字][次ページ] ● リストの最後の候補にカーソルがあるときは[文字][次ページ]を1回押します。
前のリスト画面を表示する	[メール][前ページ]→[メール][前ページ] ● リストの最初の候補にカーソルがあるときは[メール][前ページ]を1回押します。
目的の漢字に変換されないとき	● 文字入力画面にカーソルがあるときは[←→]で変換の対象になる文字(反転している文字)の区切りを変えて変換し直します。 ● 選択候補画面にカーソルがあるときは[i][⇐文節]または[カメラ][文節⇒]で文字の区切りを変えます。 ● ワンタッチ変換するときは[↑]を押します。(☞P.395)

関連操作

濁点(゛)を付ける
文字を入力▶[*]

半濁点(゜)を付ける
文字を入力▶[*][*]

小文字に変換する
文字を入力▶[メール][大/小]

文末にスペースを入力する
文末で[→]

関連操作

入力を取り消し、元に戻す<UNDO機能>

文字を入力▶操作(削除、切り取り)確定▶[戻る]

文字表示サイズを変える<文字サイズ設定>

1 文字入力画面で[メニュー]▶[文字入力／辞書設定]▶[■]▶[2]

2 [1][大きい文字]／[2][標準]／[3][小さい文字]

操作ガイドを表示する<操作ガイド>

文字入力画面で[メニュー]▶[操作ガイド一覧]▶[■]

関連操作のお知らせ

濁点、半濁点について

- 半角カタカナの場合、[*]を1回押すと濁点(゛)、2回押すと半濁点(゜)、3回押すと長音(ー)、4回押すと改行(↵)が追加されます。5回押すと再び濁点(゛)に戻ります。追加された文字は1文字として数えられます。
- 全角かなの場合、[*]を1回押すと濁点(゛)、2回押すと半濁点(゜)、3回押すと元の文字に戻ります。

小文字について

- 英字の場合は、小文字に変換され、入力モードも小文字になります。

スペース入力について

- 入力モードに関係なく半角スペースが入力されます。半角スペースは1文字として数えられます。

入力の取り消し(UNDO機能)について

- [戻る]を11回以上押すと、[UNDO　これ以上元にもどせません]と表示され、10回前の画面に戻ります。メール本文入力中は1回のみ取り消しできます。
- 文字編集が終了すると、記憶されている操作はクリアされます。

文字サイズ設定について

- 文字サイズ設定できない文字入力画面もあります。
- [大きい文字]は24ドット、[標準]は20ドット、[小さい文字]は16ドットです。電話帳登録時の入力画面では[小さい文字]は12ドットです。
- メール本文入力画面でサブメニューからデコレーションを選択し、文字サイズの変更を行った場合、変更前の文字サイズを基準に、一段階大きいドットまたは小さいドットに変更できます。変更可能なドットは、30／24／20／16／12ドットです。
- 文字の表示(太さ)も設定できます。(☞P.148)

1文字変換について

変換によって入力した漢字を再度入力するときには、先頭の1文字を入力するだけで漢字に変換できます。

入力したい漢字が見つからないとき <音訓変換>

漢字の音読みや訓読みを入力して1文字ずつ漢字を入力できます。

1 文字入力画面でひらがなを入力して[i][音訓]を押す。

2 漢字を選んで[■]を押す。

お知らせ

- 漢字候補の表示順序は、辞書の学習機能によって変わります。
- 変換できる漢字は、JIS第一水準漢字・第二水準漢字の6355文字です。
- 複雑な漢字は、一部変形もしくは省いています。

漢字変換用の文字を簡単に指定する <ワンタッチ変換>

ワンタッチ変換を使うと、押したボタンに割り当てられているすべてのひらがなの組み合わせを利用して、漢字変換を行うことができます。目的のひらがなを入力するために、何度も同じボタンを押す必要がなくなります。

例:「おはよう」と入力する場合

1 文字入力画面で[1][6][8][1]を押す。

- ワンタッチ変換は、主に名詞に対応しています。
- 濁点・半濁点付きの文字を指定するときは、元の文字が割り当てられているボタンを1回押したあと、濁点・半濁点を入力します。(例:「勉強」の場合「[6][*][0][2][8][1]」と入力)

2 [○]を押す。

- ワンタッチ変換状態のとき、[i][⇐文節]または[メニュー][文節⇒]で、変換の対象となる文字の区切りを変えることもできます。このときも以降の変換はワンタッチ変換となります。
- ワンタッチ変換では、これまでによく変換した文字列が優先してリストに表示されます。
- ワンタッチ変換の変換候補が表示されているときに[CLR]を押すと、変換前のひらがなに戻ります。この状態で[○]を押すと、通常変換の変換候補が表示されます。
- 電話帳登録のとき、ワンタッチ変換で名前を入力してもフリガナは自動的に入力されません。

3 文字を選んで[■]を押す。

※ 2001年1月から、ドコモのポケットベルは、「クイックキャスト」に名称が変わりました。

推測頭出し変換について

１文字だけ入力してワンタッチ変換を行うと、入力した文字の行の文字（「あ」を入力した場合「あ」「い」「う」「え」「お」）で始まる言葉が、操作した時間帯に応じて表示されます。

- 表示される言葉は、あらかじめ登録されています。
- 表示される言葉は、5:00～10:59、11:00～16:59、17:00～22:59、23:00～4:59の時間帯で変わります。

ワンタッチ１文字学習について

以前にワンタッチ変換を行った文字列の先頭の１文字（「あたあさわ」と入力してワンタッチ変換で「お父さん」を採用していた場合は「あ」）を入力してワンタッチ変換を行うと、以前の変換結果（「お父さん」）が表示されます。

かな方式の入力モードの種類と切り替え方法

かな方式では、入力する文字の種類に合わせて、入力モードを切り替えます。

入力モードの種類

- ■ 漢字･ひらがな
- ■ 全角カタカナ
- ■ 半角カタカナ
- ■ 全角英数字
- ■ 半角英数字
- ■ 半角数字
- ■ 区点コード

1 文字入力画面で[文字]を押す。

- [文字]を押すたびに、[ア]（全角カタカナ）→[ｱ]（半角カタカナ）→[A]（全角英数字）→[A]（半角英数字）→[１]（半角数字）→[区]（区点コード）→[漢]（漢字･ひらがな）の順に入力モードが切り替わります。
- [文字]を押したあとは、を押しても同様に切り替えできます。を押すと、逆の方向に切り替わります。

お知らせ

- 文字入力画面で[絵･記号]と表示されているときは、[絵･記号]を押すと、絵文字入力モードや記号入力モードに切り替わります。（☞P.398）

文字入力を中止するとき

- 文字入力を中止し１つ前の画面に戻るには、CLRを押します。すでに文字を入力しているときは、CLRを押してすべての文字を削除（☞P.396）したあと、CLRを押します。
  文字の途中にカーソルがあるときは、CLRを１秒以上押す操作を２回くり返し、CLRを押します。

文字を修正する

文字を追加する

1 追加したい文字の位置にカーソルを移動し、追加する文字を入力する。

例：「接近」の前に「最」を追加する場合

追加したい位置にカーソルを移動

文字入力

カーソル位置に追加される

文字を削除する

1 削除したい文字の左側にカーソルを移動し、CLRを押す。

- カーソル右側の文字が消えます。
- 文字にカーソルがあたっているときは、カーソル位置の文字が消えます。

例：「ごろ」を削除する場合

削除したい位置にカーソルを移動

CLR２回

文字が削除される

- CLRを１秒以上押すと、カーソル位置に応じて文字をまとめて削除できます。
  - ■ カーソルの前後に文字があるときやカーソルの後ろだけに文字があるときは、カーソル位置の文字を含み、後ろの文字がすべて削除されます。
  - ■ カーソルの前にだけ文字があるときは、カーソル位置の前の文字がすべて削除されます。

文字を変更する

1 変更したい文字を削除し、文字を入力する。

例:「ごろ」を「近く」に変更する場合

変更したい位置にカーソルを移動　　文字が削除される

文字入力

カーソル位置に追加される

カタカナ(半角)を入力する

1 [文字]を数回押して[ｱ]を表示する。

2 ダイヤルボタンを押して半角カタカナを入力する。

- 次の文字を入力するか、□または□を押すと確定されます。
- ｉモードメールの本文入力時は、■で確定されます。
- 同じボタンに割り当てられた文字を連続して入力するときは、□を押してカーソルを移動させるか、最初の文字を入力したあとで、同じボタンを1秒以上押します。(例:「アイ」 1→□→11または1→1(1秒以上)→1)

関連操作

かなをカタカナ(全角/半角)に変換する
<カナ英数字変換>
ひらがなを入力▶[カナ英数]▶全角カタカナ/半角カタカナ▶■

英数字を入力する

英字を入力する

1 [文字]を数回押して[Ａ]または[A]を表示する。

- [Ａ]を表示したときは全角英数字、[A]を表示したときは半角英数字が入力できます。
- を押すと大文字と小文字が切り替わります。文字を入力後にを押して、直前に入力した文字を変換することもできます。

大文字　　小文字

2 ダイヤルボタンを押して英字を入力する。

- 次の文字を入力するか、□または□を押すと確定されます。
- ｉモードメールの本文入力時は、■で確定されます。
- 同じボタンに割り当てられた文字を連続して入力するときは、□を押してカーソルを移動させるか、最初の文字を入力したあとで、同じボタンを1秒以上押します。(例:「AB」「ab」2→□→22または2→2(1秒以上)→2)
- 漢字モードで英単語の固有名詞(例「はうす」など)を入力し、変換候補から半角英字(例「House」、「house」など)を選んで入力することもできます。
- 漢字モードでひらがな(例「ひとみ」)を入力し、変換候補から半角ローマ字(例「hitomi」など)を選んで入力することもできます。

数字を入力する

1 [文字]を数回押して[1]を表示する。

2 ダイヤルボタンを押して数字を入力する。

- すぐに確定されます。
- 全角数字は、全角英数字モード(大文字/小文字)で、入力したい数字のダイヤルボタンをくり返し押すと入力できます。
  例:「1」を入力するとき→1を5回押す
  「2」を入力するとき→2を7回押す(大文字の場合)/2を4回押す(小文字の場合)
- 漢字モードでひらがなを入力し、カナ英数字変換候補から数字を選んで入力することもできます。

関連操作

かなを英字/数字に変換する<カナ英数字変換>
ひらがなを入力▶[カナ英数]▶英字/数字▶■

関連操作のお知らせ

- 変換候補には、ボタンに割り当てられている数字や英字が表示されます。
  例:「あした」(1334)と入力して[カナ英数]を押すと、「アシタ(全角カタカナ)」、「ｱｼﾀ(半角カタカナ)」、「１３４(全角数字)」、「134(半角数字)」、「．ＥＧ(全角英字の大文字)」、「.EG(半角英字の大文字)」、「．ｅｇ(全角英字の小文字)」、「.eg(半角英字の小文字)」、「１３３４(全角数字)」、「1334(半角数字)」が表示されます。

バーコードリーダーを利用して入力する

ｉモード接続中に、JANコードやQRコードを読み取って文字入力画面で入力できます。(☞P.201「サイトやインターネットホームページ内の項目選択や文字入力」)

1 サイトやインターネットホームページの文字入力画面で 6 3 [バーコードリーダー]を押す。

2 データを読み取る。
- バーコードリーダーの利用方法については、P.188を参照してください。

定型文を利用する<定型文挿入>

あらかじめ登録されている固定定型文(☞P.416)や、自分で登録した自作定型文(☞P.398)、メールアドレスなどを簡単に入力できます。

1 文字入力画面でを押し、[定型文挿入]を選んでを押す。
- 文字入力画面でを１秒以上押しても、定型文挿入画面が表示されます。
- すべての定型文を表示するときは、を押します。定型文選択(全表示)画面が表示されます。

定型文挿入画面

2 定型文の分類を選んでを押す。

3 定型文を選んでを押し、定型文を確認してを押す。

■ メールアドレスなどを簡単に入力する

- メールアドレスなどは半角で入力されます。

1 文字入力画面でを１秒以上押し、定型文を選んでを押す。

お知らせ
- 定型文選択(全表示)画面を表示したとき、定型文は最後に使用されたものから、使用された順番に表示されます。

絵文字／記号を入力する

1 文字入力画面でを押して[絵文字]／[記号]を切り替える。

次のリスト画面を表示する	[次ページ]→[次ページ] ● リストの最後の絵文字または記号にカーソルがあるときは[次ページ]を１回押します。
前のリスト画面を表示する	[前ページ]→[前ページ] ● リストの最初の絵文字または記号にカーソルがあるときは[前ページ]を１回押します。

2 絵文字または記号を選んでを押す。
- 連続して入力できます。
- 絵文字を入力中

絵文字１と絵文字２を切り替える	
元の入力モードに戻る	CLR

- 記号入力中

全角記号と半角記号を切り替える	
元の入力モードに戻る	CLR

お知らせ
- 絵文字の「読み」を入力して絵文字に変換することもできます。P.415「絵文字一覧」を参照してください。
- 入力できる記号・特殊文字については、P.414「記号・特殊文字一覧」を参照してください。
- 一覧の１行目に表示される絵文字または記号は、最近使用された10個の記号が表示されます。
- ２タッチ方式でも同様に操作できます。

顔文字を入力する<顔文字>

顔文字一覧表(☞P.416)

1 文字入力画面でを押し、[顔文字]を選んでを押す。

次のリスト画面を表示する	[▼ページ]→[▼ページ] ● リストの最後の行にカーソルがあるときは[▼ページ]を１回押します。
前のリスト画面を表示する	[▲ページ]→[▲ページ] ● リストの最初の行にカーソルがあるときは[▲ページ]を１回押します。

2 顔文字を選んでを押す。
- 数字を押しても入力できます。

お知らせ
- ひらがなで「かお」と入力してを押すと、漢字の候補と共に顔文字も表示されます。

定型文登録

定型文を修正／登録する

よく使う言葉を自作定型文として登録したり、あらかじめ登録されている定型文を修正できます。
- あらかじめ登録されている定型文については、P.416を参照してください。
- 定型文は全角64文字(半角128文字)まで入力できます。
- 定型文をお買い上げ時の状態に戻すこともできます。

1 待受画面で■323を押し、6[自作定型文]を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[一般設定]→[文字入力設定]→[定型文編集]の順に選択することもできます。
- 登録されている定型文を修正するときは、1～5のいずれかを押します。

2 登録する番号を選んで[編集]を押す。

3 定型文を入力して■を押す。

定型文をお買い上げ時の状態に戻す<リセット>

定型文のリセットを行うと、修正／登録した定型文を、お買い上げ時の状態に戻すことができます。
リセットできる種類は次のとおりです。

1件リセット	指定した定型文を1件ずつリセットします。
フォルダ内リセット	指定した分類内の定型文をすべてリセットします。
全件リセット	すべての定型文をリセットします。

関連操作

1件リセット／フォルダ内リセットを行う
<1件リセット／フォルダ内リセット>

1 待受画面で■323▶分類を選ぶ▶■▶定型文を選ぶ▶📷
- 編集していない定型文のフォルダにはサブメニューが表示されません。

2 1[1件リセット]
- フォルダ内の定型文をすべてリセットするとき：2

3 [はい]▶■

すべての定型文をリセットする<全件リセット>

1 待受画面で■323▶📷

2 [はい]▶■

文字コピー
文字の切り取り・コピーと貼り付け

連続した文字列をコピー／切り取りして、他の場所に貼り付けることができます。

- 同じ画面へも、他の文字入力画面へも貼り付けできます。(サブメニューが表示されていない画面へは貼り付けできません。)
- 切り取りした場合、指定した文字列は元の位置から削除されます。
- 他の画面へ一度に切り取り・コピーできる文字数は、最大全角5000文字(半角10000文字)までです。
- コピー／切り取りして文字を記憶できるのは1件のみです。新たにコピー／切り取りを行うと、前に記憶していた文字に上書きされます。

文字をコピーする／切り取る

例：テキストメモの文字をコピーまたは切り取る場合

1 文字入力画面で、コピーまたは切り取る最初の文字にカーソルを移動する。

2 コピーまたは切り取りを選ぶ。

コピーする	📷1→■
切り取る	#(1秒以上) ● メニューで操作するときは、📷2を押し、■押します。

3 最後の文字にカーソルを移動して■を押す。

- 文字列が選択され、反転表示されます。(反転表示されている文字列が、コピーまたは切り取りの対象になります。)
- ▢を1秒以上押すと、操作1で指定した開始位置以降のすべての文字を選択できます。
- ▢を1秒以上押すと、操作1で指定した開始位置以前のすべての文字を選択できます。

メールの本文などをコピーする

例：受信メールの本文をコピーする場合

1 受信したメールを表示し、📷52[コピー]を押す。

- 送信メールのときは、送信メール表示画面で📷62を押します。
- 未送信メールのときは、メール作成画面で[本文]を選んで■を押し、📷3を押します。操作3に進みます。

2 コピーする項目を選ぶ。

アドレスをコピーする	1 ● アドレスがコピーされ、操作が終了します。
題名をコピーする	2
本文をコピーする	3

3 コピーする最初の文字にカーソルを移動して■[開始]を押す。

4 コピーする最後の文字にカーソルを移動して■[コピー]を押す。

文字を貼り付ける

例：新規送信メールの本文に文字を貼り付ける場合

1 貼り付け先の文字入力画面を表示し、貼り付ける位置にカーソルを移動して[*]を1秒以上押す。

- メニューで操作するときは、[メニュー][5]を押し、貼り付ける位置にカーソルを移動して[●]を押します。
- 記憶されている文字列が、カーソルの位置に挿入されます。

お知らせ

- 電話帳の「フリガナ」入力欄など、半角文字のみ入力できる部分に貼り付けした場合、記憶されている文字列内の半角文字のみ入力されます。また、貼り付け先に応じて入力可能な文字数分のみ貼り付けされます。
- コピー／切り取りした文字列は、新たにコピー／切り取りするか、電源を切るまで記憶しています。

区点コード入力

区点コードで入力する

4桁の区点コードを利用して漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。

- 区点コードとは、漢字などの文字ひとつひとつに付与されている固有の番号です。
  区点コードおよび区点でコード入力できる文字については、P.417～P.420「区点コード一覧」を参照してください。

1 文字入力画面で[文字][文字]を数回押して[区]を表示する。

2 4桁の区点コードを入力する。

- 4桁目を押すと、コード入力した文字が表示されます。
- 区点コードを押し間違えたときは、4桁目を押す前に[CLR]を押すと、数字が消えます。正しい数字を入力し直してください。

単語登録（ユーザ辞書）

よく使う単語を登録する

よく使う単語に見出し語（全角ひらがな最大8文字）を付けて、最大100語まで登録できます。登録した単語は、見出し語を入力して漢字変換すると、変換候補に表示され、簡単に入力できます。

- 同じ見出し語は5件まで登録できます。

単語を新規登録する

1 待受画面で[●][3][2][1]を押す。

- 詳細メニューから✕（設定）→［一般設定］→［文字入力設定］→［ユーザ辞書］の順に選択することもできます。
- ユーザ辞書一覧画面が表示されます。
- 単語と見出し語のリストを切り替えるときは、[i]を押します。

2 ［新規登録］を選んで[●]を押す。

3 単語を入力して[●]を押す。

- 最大全角15文字まで入力できます。
- 改行は入力できません。

4 見出し語を入力して[●]を押す。

- ひらがなで入力します。（最大全角8文字）

登録した単語を修正する

1 待受画面で[●][3][2][1]を押し、単語を選んで[●]を押す。

2 単語を修正して[●]を押す。

3 見出し語を修正して[●]を押し、登録方法を選ぶ。

- 修正しないときは、そのまま[●]を押して登録方法を選びます。

新規登録する	[1] ● 同じ見出し語がすでに5件登録されている場合は、新規登録できません。
上書き登録する	[2]

登録した単語を削除する

1 待受画面で[●][3][2][1]を押し、単語を選んで[メニュー][1][削除]を押す。

2 ［はい］を選んで[●]を押す。

変換学習クリア

学習された変換候補をリセットする

近似予測変換や連携予測機能などで学習された変換候補を、すべてリセットできます。

- 絵文字や記号の変換候補もリセットされます。

1 待受画面で[●][3][2][4]を押し、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力して[●]を押す。

- 詳細メニューから✕（設定）→［一般設定］→［文字入力設定］→［変換学習クリア］の順に選択することもできます。

2 ［はい］を選んで[●]を押す。

ダウンロード辞書

ダウンロードした辞書を使用する

FOMA端末には、サイトやインターネットホームページから日本語変換用の辞書をダウンロードして、最大10件まで登録できます。このうち5件の辞書を、漢字変換用の辞書として使用できます。専門用語などの辞書をダウンロードして使用すると、その辞書に登録されている用語が変換候補に表示されるようになります。

- ユーザ辞書をダウンロード辞書に変換できます。
- 辞書のダウンロード方法については、P.210を参照してください。

お買い上げ時設定(辞書登録なし)

使用辞書を設定/解除する

1 待受画面で■3 2 2を押す。
- 詳細メニューから✕(設定)→[一般設定]→[文字入力設定]→[ダウンロード辞書]の順に選択することもできます。
- 登録されている辞書が表示されます。現在使用中の辞書には、[■]が表示されます。

2 辞書を選び、使用辞書を設定または解除する。

使用辞書を設定/解除する	◎1 ● すでに5件使用を設定されているときは、[使用辞書登録は最大5つまでです]と表示されます。現在使用中の辞書を解除してから、やり直してください。 ● すでに設定されている使用辞書を選んだときは、解除されます。
辞書の情報を確認する	◎4 ● 辞書の情報(タイトル、作者、バージョン、ダウンロード日時など)が表示されます。CLRまたは■[戻る]を押すと、元の画面に戻ります。

お知らせ

- 文字入力画面で◎を押し、[文字入力/辞書設定]を選択して3 5[ダウンロード辞書切替]を押しても、設定/解除の操作ができます。

辞書の内容を確認する

1 待受画面で■3 2 2を押し、辞書を選んで■[表示]を押す。
- 単語の詳細情報を表示するときは、■[詳細]を押します。
- 確認を終了するときは、CLRを押します。
- 見出し語の一覧を確認するときは、■[切替]を押します。■を押すたびに、「単語の一覧」→「見出し語の一覧」の順に切り替わります。

辞書を削除する

登録されている辞書を1件ずつ、またはすべての辞書をまとめて削除できます。

1 待受画面で■3 2 2を押し、辞書を選んで◎5[削除]を押す。

2 削除方法を選ぶ。

辞書を1件削除する	1→[はい]→■
すべての辞書を削除する	2→[はい]→■

お知らせ

- ダウンロードしたときに挿入していたFOMAカードとは別のFOMAカードが挿入されている場合、そのダウンロード辞書の横にFOMAカード動作制限マークが表示されます。その場合、辞書の内容を確認することはできませんが、削除することはできます。

ユーザ辞書をダウンロード辞書に変換する<ダウンロード辞書変換>

単語登録したユーザ辞書を、ダウンロード辞書に変換できます。

1 待受画面で■3 2 1を押し、◎2[ダウンロード辞書変換]を押す。

2 保存先を選んで■を押す。
- 登録されている辞書に上書きするときは、[はい]を選んで■を押します。
- 使用辞書登録確認画面が表示されたときは、[はい]を選んで■を押すと使用辞書に設定されます。すでに5件使用辞書に設定されているときは表示されません。

お知らせ

- ユーザ辞書をダウンロード辞書に変換するとユーザ辞書は削除されます。

関連操作

ダウンロード辞書変換した辞書のタイトルを編集する<タイトル編集>

待受画面で■3 2 2 ▶ 辞書を選ぶ ▶ ◎3 ▶ タイトルを編集 ▶ ■

ダウンロード辞書変換した辞書の内容を編集する<編集>

1 待受画面で■3 2 2 ▶ 辞書を選ぶ ▶ ◎6
2 単語を選ぶ ▶ ■
● 新規登録するとき:1
3 単語を編集 ▶ ■ ▶ 見出し語を編集 ▶ ■ ▶ ◎

近似予測変換辞書／連携予測辞書
使用する変換方法を選ぶ

近似予測変換および連携予測を使用するかどうかを設定できます。(☞P.394)
お買い上げ時設定(近似予測変換辞書:ON(使用する)、連携予測辞書:ON(使用する))

1 文字入力画面で📷を押し、[文字入力／辞書設定]を選んで■を押し、3 2
[近似予測変換辞書]を押す。
- 連携予測辞書を選ぶときは、📷を押し、[文字入力／辞書設定]を選んで■を押し、3 3を押します。

2 1 [ON]を押す。

変換候補の優先度を設定する ＜優先候補設定＞

英語、姓名、地名、固有名詞、顔文字については、変換候補として表示されるときの優先順位を高くすることができます。
お買い上げ時設定(高い)

1 文字入力画面で📷を押し、[文字入力／辞書設定]を選んで■を押し、3 1
[優先候補設定]を押す。

2 項目を選んで■を押す。
- ☑は高い、☐は低い設定の状態です。

3 [完了]を押す。

顔文字を変換候補に表示する ＜顔文字連携＞

変換候補に顔文字を表示するかどうかを設定できます。
お買い上げ時設定(ON)

1 文字入力画面で📷を押し、[文字入力／辞書設定]を選んで■を押し、3 4
[顔文字連携]を押す。

2 1 [ON]を押す。

2タッチ方式
2タッチ方式で文字を入力する

2タッチ方式に設定する＜変換方式＞

ボタン2つでひらがなが入力できる、2タッチ方式に切り替えできます。2タッチでの文字指定に慣れた方におすすめです。

1 文字入力画面で📷を押し、[文字入力／辞書設定]を選んで■を押し、1 2
[2タッチ方式]を押す。
- 2タッチ方式は、通常の入力方式[かな方式]にするまで継続します。
- 2タッチ方式でも、かな方式と同様に定型文挿入を利用できます。
- 2タッチ方式では、カナ英数字変換はできません。
- かな方式に戻すときは、文字入力画面で📷を押し、[文字入力／辞書設定]を選んで■を押し、1 1を押します。

入力モードを切り替える

1 文字入力画面で[文字]を押す。
- を押すたびに、半(半角大文字)→区(区点コード)→全(全角大文字)に切り替わります。

お知らせ

- 大文字モード／小文字モードの切り替えは、全角モード／半角モードの状態で行うことができます。
また、文字を入力後[大／小]を押すと、1文字ずつ変換することもできます。(☞P.397)
- 文字入力画面で[文字]を押したあと、を押しても同様に切り替えできます。を押すと、逆の方向に切り替わります。

文字を入力する

2タッチ方式で、2桁の数字を押し、1文字ずつ指定します。

1 文字入力画面で2桁の数字を入力する。
例:2 2 ➡[き]
- 文字の割り当てについては、P.414を参照してください。

付録／外部機器連携／困ったときには

詳細メニュー一覧

設定メニュー

音

機能メニュー		ボタン操作	お買い上げ時	ページ
①音量選択	着信音量選択	■111	音声電話着信音・テレビ電話着信音・公衆電話着信音・非通知設定着信音・通知不可能着信音：音量５☆	P.130
	メール着信音量選択	■112	メール着信音・メッセージR着信音・メッセージF着信音・SMS着信音：音量５☆	P.131
	チャットメール着信音量選択	■113	音量５☆	P.131
	プッシュトーク着信音量選択	■114	音量５☆	P.131
	各種設定音量選択	■115	ボタン確認音・オープン音・クローズ音・充電開始音・充電完了音・タイマー音：音量５☆	P.132
②音選択	着信音選択	■121	音声電話着信音：着信音１／テレビ電話着信音・公衆電話着信音・非通知設定着信音・通知不可能着信音：音声電話着信音に従う☆	P.128
	メール着信音選択	■122	メール着信音：着信音２／メッセージR着信音・メッセージF着信音・SMS着信音：メール着信音に従う☆	P.129
	チャットメール着信音選択	■123	着信音２☆	P.129
	プッシュトーク着信音選択	■124	着信音１☆	P.129
	各種設定音選択	■125	オープン音：OP（標準音）／クローズ音：CL（標準音）／シャッター音：標準音／タイマー音：TI（標準音）☆	P.130 P.186
③バイブレータ設定	着信バイブレータ	■131	OFF☆	P.132
	メール着信バイブレータ	■132	OFF☆	P.132
④マナーモード設定	通常マナーモード	■1411	－	P.135
	サイレントマナーモード	■1412	－	P.135
	オリジナルマナーモード	■1413	伝言メモ・バイブレータ・マイク感度アップ：ON／アラーム音・ボタン確認音・電池残量警告音・マナー再生：OFF／着信音・メール着信音：サイレント☆	P.136
⑤着信音出力切替	－	■15	イヤホン＋スピーカ☆	P.134
⑥着信鳴動時間設定	メール	■161	ON／３秒☆	P.134
	プッシュトーク	■162	ON／30秒☆	P.134
⑦呼出動作開始時間設定	－	■17	OFF☆	P.170
⑧保留・応答保留音	応答保留音	■181	応答保留音１☆	P.69
	保留音	■182	保留メロディ１☆	P.69

● お買い上げ時欄に［☆］が付いているものは、設定リセット（☞P.374）でお買い上げ時の状態に戻る項目です。

表示

機能メニュー		ボタン操作	お買い上げ時	ページ
①メイン画面設定	待受画面設定	■211	待受画面１☆	P.137
	待受時計表示設定	■212	ON（大）☆	P.139
	カレンダー表示設定	■213	OFF☆	P.138
②サブ画面設定	相手表示設定	■221	ON☆	P.141
	時計表示設定	■222	待受時計（大）☆	P.141
③文字表示設定	－	■23	太字☆	P.148
④テーマカラー設定	－	■24	Luxury☆	P.145

機能メニュー		ボタン操作	お買い上げ時	ページ
5画面カスタマイズ設定	発着信画面設定	■ 2 5 1	ピクチャーコール設定:ON／電話発信画面:電話発信1／音声電話着信画面・公衆電話着信画面・非通知設定着信画面・通知不可能着信画面:電話着信1／テレビ電話着信画面:電話着信2☆	P.139
	メール送受信画面設定	■ 2 5 2	メール送信画面設定:メール送信1／メール受信画面設定:メール受信1☆	P.140
	サブメニュー画像設定	■ 2 5 3	上画像:メニュー枠1(上)／下画像:メニュー枠1(下)☆	P.144
	お知らせウィンドウアニメ	■ 2 5 4	お知らせアニメ1☆	P.144
	マーク表示設定	■ 2 5 5	電波マーク:電界強度1／電池マーク:電池残量1／小時計マーク:時計表示1☆	P.145
6着信ランプ設定	着信ランプ動作設定	■ 2 6 1	メロディ非連動☆	P.129
	メール着信ランプ動作設定	■ 2 6 2	メロディ非連動☆	P.129
7着信お知らせ設定	—	■ 2 7	ON☆	P.73
8省電力設定※1	通常モード	■ 2 8 1	—	P.141
	節約モード	■ 2 8 2	—	P.141
	ユーザ設定	■ 2 8 3	照明時間設定:10秒(充電時・iモード時:通常時と同じ／テレビ電話時:常にON)／画面表示時間設定:2分／明るさ調整:明るさ12／ボタン照明設定:点灯☆	P.142
	サブ画面常時表示設定	■ 2 8 4	OFF☆	P.142
9視野切替設定	マナーモード連動設定	■ 2 9 1	OFF☆	P.149
	視野切替画面設定	■ 2 9 2	文字パターン(濃)☆	P.149

● お買い上げ時欄に[☆]が付いているものは、設定リセット(☞P.374)でお買い上げ時の状態に戻る項目です。
※1 お買い上げ時は、通常モードに設定されています。

一般設定

機能メニュー		ボタン操作	お買い上げ時	ページ
1確認	所有者情報	■ 3 1 1	—	P.368
	メモリ確認	■ 3 1 2	—	P.334
	電池残量確認	■ 3 1 3	—	P.45
	設定状況確認	■ 3 1 4	—	P.350
2文字入力設定	ユーザ辞書	■ 3 2 1	—	P.400
	ダウンロード辞書	■ 3 2 2	—	P.401
	定型文編集	■ 3 2 3	※2	P.398
	変換学習クリア	■ 3 2 4	—	P.400
3自動電源ON／OFF	自動電源ON	■ 3 3 1	OFF☆	P.353
	自動電源OFF	■ 3 3 2	OFF☆	P.354
	アラーム連動電源ON	■ 3 3 3	OFF☆	P.354
4日時設定	—	■ 3 4	自動時刻補正:ON☆	P.48
5Bilingual	—	■ 3 5	日本語	P.148
6その他の設定	ワンタッチキー設定	■ 3 6 1	ワンタッチキー設定:まとめて簡単ロック／お知らせランプ設定:ON☆	P.150
	USBモード設定	■ 3 6 2	通信モード☆	P.330
7スキャン機能	パターンデータ更新	■ 3 7 1	—	P.444
	自動更新設定	■ 3 7 2	—	P.445
	スキャン機能設定	■ 3 7 3	有効☆	P.444
	バージョン表示	■ 3 7 4	—	P.446
8ソフトウェア更新	—	■ 3 8	—	P.438
9設定リセット	—	■ 3 9	—	P.374

● お買い上げ時欄に[☆]が付いているものは、設定リセット(☞P.374)でお買い上げ時の状態に戻る項目です。
※2 お買い上げ時に登録されている定型文については、P.416を参照してください。

NWサービス

機能メニュー		ボタン操作	お買い上げ時	ページ
1留守番電話	メッセージ問合せ	■ 4 1 1	−	P.379
	留守番メッセージ再生	■ 4 1 2	−	P.379
	留守番電話サービス開始	■ 4 1 3	−	P.378
	留守番呼出時間設定	■ 4 1 4	−	P.378
	留守番サービス停止	■ 4 1 5	−	P.378
	留守番設定確認	■ 4 1 6	−	P.379
	留守番サービス設定	■ 4 1 7	−	P.379
	件数お知らせ設定	■ 4 1 8	件数増加鳴動設定:ON☆	P.379
	着信通知	■ 4 1 9	−	P.380
2キャッチホン	キャッチホンサービス開始	■ 4 2 1	−	P.380
	キャッチホンサービス停止	■ 4 2 2	−	P.380
	キャッチホンサービス設定確認	■ 4 2 3	−	P.380
3転送でんわ	転送サービス開始	■ 4 3 1	−	P.381
	転送サービス停止	■ 4 3 2	−	P.382
	転送先変更	■ 4 3 3	−	P.382
	転送先通話中時設定	■ 4 3 4	−	P.382
	転送サービス設定確認	■ 4 3 5	−	P.382
4迷惑電話ストップ	迷惑電話着信拒否登録	■ 4 4 1	−	P.383
	電話番号指定拒否登録	■ 4 4 2	−	P.383
	迷惑電話全登録削除	■ 4 4 3	−	P.383
	迷惑電話１登録削除	■ 4 4 4	−	P.383
	拒否登録件数確認	■ 4 4 5	−	P.383
5発信者番号通知	設定確認	■ 4 5 1	非通知設定	P.49
	発信者番号通知設定	■ 4 5 2	−	P.49
6番号通知お願いサービス	番号通知サービス開始	■ 4 6 1	−	P.384
	番号通知サービス停止	■ 4 6 2	−	P.384
	サービス設定確認	■ 4 6 3	−	P.384
7通話時間／料金確認	−	■ 4 7	−	P.370
8通話中着信設定	通話中着信設定開始	■ 4 8 1	−	P.386
	通話中着信設定停止	■ 4 8 2	−	P.386
	通話中着信設定確認	■ 4 8 3	−	P.386
9着信動作選択	留守番電話	■ 4 9 1	−	P.386
	転送でんわ	■ 4 9 2	−	P.386
	着信拒否	■ 4 9 3	−	P.386
	通常着信	■ 4 9 4	−	P.386

● お買い上げ時欄に[☆]が付いているものは、設定リセット（☞P.374）でお買い上げ時の状態に戻る項目です。

その他のNWサービス

機能メニュー		ボタン操作	お買い上げ時	ページ
1遠隔操作設定	遠隔操作開始	■ 5 1 1	−	P.386
	遠隔操作停止	■ 5 1 2	−	P.386
	遠隔操作設定確認	■ 5 1 3	−	P.387
2デュアルネットワーク	デュアルネットワーク切替	■ 5 2 1	−	P.384
	デュアルネットワーク状態確認	■ 5 2 2	−	P.385
3英語ガイダンス	ガイダンス設定	■ 5 3 1	−	P.385
	ガイダンス設定確認	■ 5 3 2	−	P.385
4サービスダイヤル	ドコモ故障問合せ	■ 5 4 1	−	P.385
	ドコモ総合案内･受付	■ 5 4 2	−	P.385
5追加サービス	USSD登録	■ 5 5 1	−	P.388
	応答メッセージ登録	■ 5 5 2	−	P.388

機能メニュー		ボタン操作	お買い上げ時	ページ
6マルチナンバー	通常発信番号設定	■ 5 6 1	－	P.387
	通常発信番号設定確認	■ 5 6 2	－	P.387
	電話番号設定	■ 5 6 3	－	P.387
7着もじ	メッセージ作成	■ 5 7 1	－	P.54
	メッセージ表示設定	■ 5 7 2	番号通知ありのみ☆	P.55

● お買い上げ時欄に[☆]が付いているものは、設定リセット(☞P.374)でお買い上げ時の状態に戻る項目です。

通話・通信機能設定

機能メニュー		ボタン操作	お買い上げ時	ページ
1通話中設定	ノイズキャンセラ	■ 6 1 1	ON☆	P.62
	再接続機能	■ 6 1 2	アラームあり(高音)☆	P.62
	通話品質アラーム	■ 6 1 3	アラームあり(高音)☆	P.133
2イヤホンマイク自動発信	－	■ 6 2	OFF☆	P.373
3着信時設定	エニーキーアンサー	■ 6 3 1	ON☆	P.65
	オート着信設定	■ 6 3 2	電話/テレビ電話・プッシュトーク:OFF☆	P.374
4テレビ電話設定	音声自動再発信	■ 6 4 1	OFF☆	P.95
	送信画像設定	■ 6 4 2	※3☆	P.91
	テレビ電話画面設定	■ 6 4 3	相手大／自分小☆	P.93
	子画面表示位置	■ 6 4 4	左上☆	P.94
	送信画質設定	■ 6 4 5	標準☆	P.92
	テレビ電話切替機能通知	■ 6 4 6	開始	P.95
	テレビ電話ハンズフリー設定	■ 6 4 7	ON☆	P.92
	パケット通信中着信設定	■ 6 4 8	テレビ電話優先☆	P.96
5伝言メモ設定	伝言メモ設定	■ 6 5 1	OFF☆	P.73
	伝言応答時間	■ 6 5 2	8秒☆	P.75
	応答メッセージ	■ 6 5 3	応答メッセージ1☆	P.75
	テレビ電話時応答画像	■ 6 5 4	テレビ電話代替☆	P.87
6プッシュトーク設定	番号通知設定	■ 6 6 1	非通知☆	P.106
	PT通信中着信設定	■ 6 6 2	着信拒否☆	P.106
7クローズ動作設定	電話／テレビ電話	■ 6 7 1	終話☆	P.65
	プッシュトーク	■ 6 7 2	スピーカ通話☆	P.65
8セルフモード	－	■ 6 8	OFF☆	P.162
9その他の設定	プレフィックス設定	■ 6 9 1	1件目:009130-010☆	P.60
	サブアドレス設定	■ 6 9 2	ON☆	P.61
	国際ダイヤル設定	■ 6 9 3	自動付加設定:自動付加／国際電話設定:WORLD CALL 009130-010☆	P.61

● お買い上げ時欄に[☆]が付いているものは、設定リセット(☞P.374)でお買い上げ時の状態に戻る項目です。

※3 代替画像設定:キャラ(男性)([キャラ(男性)]を削除したあとで、設定リセット(☞P.374)を行った場合は[テレビ電話代替])、応答保留画像設定:テレビ電話代替、保留画像設定:テレビ電話代替

セキュリティ

機能メニュー		ボタン操作	お買い上げ時	ページ
1シークレットモード	－	■ 7 1	OFF☆	P.166
2FOMAカード(UIM)設定	PIN1コード入力設定	■ 7 2 1	OFF	P.158
	PIN1コード変更	■ 7 2 2	0000	P.158
	PIN2コード変更	■ 7 2 3	0000	P.158
3着信拒否／許可設定	電話帳指定着信許可	■ 7 3 1	OFF☆	P.168
	電話帳指定着信拒否	■ 7 3 2	OFF☆	P.169
	電話帳登録外	■ 7 3 3	許可☆	P.171
	非通知設定	■ 7 3 4	許可☆	P.170
	公衆電話	■ 7 3 5	許可☆	P.170
	通知不可能	■ 7 3 6	許可☆	P.170

次ページへ続く

機能メニュー		ボタン操作	お買い上げ時	ページ
4発着信履歴表示	着信履歴表示	■ 7 4 1	ON☆	P.165
	リダイヤル表示	■ 7 4 2	ON☆	P.165
5メール履歴表示	メール送信履歴表示	■ 7 5 1	ON☆	P.166
	メール受信履歴表示	■ 7 5 2	ON☆	P.166
6ロック設定	オールロック	■ 7 6 1	―	P.160
	ダイヤル発信制限	■ 7 6 2	OFF☆	P.164
	PIMロック	■ 7 6 3	OFF☆	P.162
	ＩＣカードロック	■ 7 6 4	OFF☆	P.290
	まとめて簡単ロック設定	■ 7 6 5	OFF☆	P.165
7端末暗証番号変更	―	■ 7 7	0000	P.157
8データ一括削除	ユーザデータ削除	■ 7 8 1	―	P.375
	シークレットデータ削除	■ 7 8 2	―	P.375

● お買い上げ時欄に[☆]が付いているものは、設定リセット（☞P.374）でお買い上げ時の状態に戻る項目です。

その他の設定

機能メニュー		ボタン操作	お買い上げ時	ページ
初期設定	―	■ 8	―	P.47
電話番号表示	―	■ 0	ご契約の電話番号	P.49

データBOX

機能メニュー		ボタン操作	お買い上げ時	ページ
1マイピクチャ	―	■ 9 1 1	―	P.300
2iモーション	―	■ 9 1 2	―	P.309
3メロディ	―	■ 9 1 3	―	P.321
4キャラ電	―	■ 9 1 4	―	P.317
5プリント指定（DPOF）	―	■ 9 1 5	―	P.345

LifeKit

機能メニュー		ボタン操作	お買い上げ時	ページ
1バーコードリーダー	―	■ 9 2 1	―	P.188
2赤外線受信	―	■ 9 2 2	―	P.337
3トルカ	―	■ 9 2 3	―	P.287
4ＩＣカード一覧	―	■ 9 2 4	―	P.284
5miniSD管理	miniSDデータ参照	■ 9 2 5 1	―	P.327
	バックアップ／復元	■ 9 2 5 2	―	P.326
	インポート	■ 9 2 5 3	―	P.331
	管理情報の更新	■ 9 2 5 4	―	P.330
	フォーマット	■ 9 2 5 5	―	P.329
	USBモード設定	■ 9 2 5 6	通信モード☆	P.330
6文字読み取り	―	■ 9 2 6	―	P.190
7電話帳お預かりサービス	お預かりセンターに接続	■ 9 2 7 1	―	P.125
	電話帳通信履歴表示	■ 9 2 7 2	―	P.126
	電話帳内画像送信	■ 9 2 7 3	OFF☆	P.126
8スケジュール	スケジュール	■ 9 2 8 1	―	P.357
	ToDoリスト	■ 9 2 8 2	―	P.364

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.323）

機能メニュー		ボタン操作	お買い上げ時	ページ
9便利機能	電卓	■ 9 2 9 1	税率５%☆	P.369
	テキストメモ	■ 9 2 9 2	－	P.371
	タイマー	■ 9 2 9 3	－	P.354
	アラーム	■ 9 2 9 4	－	P.355
	音声／伝言メモ	■ 9 2 9 5	－	P.369

● お買い上げ時欄に[☆]が付いているものは、設定リセット（☞P.374）でお買い上げ時の状態に戻る項目です。

メディアツール

機能メニュー		ボタン操作	お買い上げ時	ページ
1モバイルオーディオ	－	■ 9 3 1	－	P.345
2ボイスレコーダー	－	■ 9 3 2	－	P.339
3ブックリーダー	－	■ 9 3 3	－	P.340

お買い上げ時に登録されているデータ

待受画面

待受画面１

待受画面２

待受画面３

待受画面４

待受画面５

プリインストールフレーム

フレーム１

フレーム２

フレーム３

フレーム４

フレーム５

フレーム６

フレーム７

フレーム８

フレーム９

※ 各フレームには、QCIF、QVGA、CIF、VGAのサイズがあります。

デコメールテンプレート

Bar

Dance

おめでとう

Message

あいさつ

Hello！

Good afternoon

お知らせ！

Birthday

待ち合わせ

Vacation

お久しぶり

お願い

夜景

デコメールピクチャ

Good afternoon（上）	Good afternoon（下）	Room（上）	Room（下）	Dragon（上）
Dragon（下）	和（上）	和（下）	夜空（上）	夜空（下）
Happy！（上）	Happy！（下）	おこる	なく	超ハッピー
悩む	ショック	さみしい	暑い	寒い
Hello!	ばいばい	ごめんね	ファイト	オヤスミ
おめでとう！	Good!	バンザイ	スキ	キライ
ありがとう	チュッ	お腹すいた	真っ青	感動
ちゃぶ台返し	Bar	おめでとう	Vacation	リボン
Wave	疲れた～	さくら	ハート	チェック
Thank you very much！	I'm sorry！	歌うかえる	ひよこちゃん	ありがとう

ピチピチ	カエルが帰る	猫をかぶる	クマったなぁ～	消火	イライラ	プンプン	GJ!
ドキドキ	がーん1	駄目だ…	大泣き	やった！	パトカー	救急車	電車
車	タクシー	バス	自転車	バイク	月	太陽	0
1	2	3	4	5	6	7	8
9	AM	PM	コロン	スラッシュ	にこにこ	えーんえーん	プンプン
ZZZ..	チラっ	照れっ	びっくり！				

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧（かな方式）

文字入力は、ダイヤルボタンで行います。1つのボタンには、次の表のように複数の文字が割り当てられています。

- ボタンを押す回数によって表示される文字が切り替わります。
  例：全角カタカナモードで[1]を3回押すと[1]［ア］が表示➡[1]［イ］が表示➡[1]［ウ］が表示（表示を逆戻りさせるときは[発信]を押します。）

全角文字の割り当て

ボタン	漢字（ひらがな）入力モード	全角カタカナ入力モード	全角英数字入力モード A 大小文字	全角英数字入力モード a 小文字	区点コードモード
[1]	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	．／＿＠１□（スペース）	．／＿＠１□（スペース）	1
[2]	かきくけこ	カキクケコ	ＡＢＣａｂｃ２	ａｂｃ２	2
[3]	さしすせそ	サシスセソ	ＤＥＦｄｅｆ３	ｄｅｆ３	3
[4]	たちつてとっ	タチツテトッ	ＧＨＩｇｈｉ４	ｇｈｉ４	4
[5]	なにぬねの	ナニヌネノ	ＪＫＬｊｋｌ５	ｊｋｌ５	5
[6]	はひふへほ	ハヒフヘホ	ＭＮＯｍｎｏ６	ｍｎｏ６	6
[7]	まみむめも	マミムメモ	ＰＱＲＳｐｑｒｓ７	ｐｑｒｓ７	7
[8]	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	ＴＵＶｔｕｖ８	ｔｕｖ８	8
[9]	らりるれろ	ラリルレロ	ＷＸＹＺｗｘｙｚ９	ｗｘｙｚ９	9
[0]	わをん□（スペース）	ワヲン□（スペース）	０□（スペース）	０□（スペース）	0
[0]～[9] 1秒以上押す	※3				0～9
[*]	゛ ゜ ↲※1		↲※1		↲
[#]	全角記号変換（ー、。！？・）				なし
[↑]	ワンタッチ変換（前候補）	カーソル上移動			
[↓]	通常変換（次候補）／↲※1	カーソル下移動／↲※1			
[←]	文節左移動	カーソル左移動			
[→]	文節右移動	カーソル右移動			
[文字]	文字入力モードの切り替え				
[文字] 1秒以上押す	定型文挿入の［インターネット］表示				
[A/a]	小文字変換（小文字変換可能な文字の場合）		大小文字変換+大小文字／小文字入力モードの切り替え	大文字変換+大小文字／小文字入力モードの切り替え	なし
[A/a] 1秒以上押す	定型文挿入				
[CLR]	1文字削除、変換中止	1文字削除			入力済みコードまたは1文字削除
[CLR] 1秒以上押す	カーソルより前の文字削除※2				
[●]	採用、決定	決定			
[発信]	逆順表示またはやり直し				やり直し

※1 文字確定後に押すと［↲］（改行）されます。［↲］は半角で表示されますが、全角1文字分として数えられます。他の文字と同様に削除や修正できます。メール本文入力時、スケジュール、ToDoリスト、テキストメモの内容入力時などに有効です。
※2 カーソルの前後に文字があるときや、カーソルの後ろだけに文字があるときは、カーソル位置の文字を含み、後ろの文字がすべて削除されます。
※3 同じ行の文字を続けて入力したい場合に、1秒以上押すと入力することができます。
- 濁点の付いたひらがなやカタカナは、一部を省略しているものがあります。

半角文字の割り当て

ボタン	半角カタカナモード	半角英数字モード 大小文字	半角英数字モード 小文字	半角数字モード
1	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ	./_@1□(スペース)	./_@1□(スペース)	1
2	ｶｷｸｹｺ	ABCabc2	abc2	2
3	ｻｼｽｾｿ	DEFdef3	def3	3
4	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	GHIghi4	ghi4	4
5	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKLjkl5	jkl5	5
6	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNOmno6	mno6	6
7	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRSpqrs7	pqrs7	7
8	ﾔﾕﾖｬｭｮ	TUVtuv8	tuv8	8
9	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZwxyz9	wxyz9	9
0	ﾜｦﾝ□(スペース)	0□(スペース)	0□(スペース)	0
0～9 1秒以上押す	※4			※5
*	ﾞ ﾟ ｰ ↲	↲※1		＊
#	半角記号変換（-､｡!?･~()’",:;¥&）※3			#
	カーソル上移動			P（電話番号入力時）／カーソル上移動
	カーソル下移動／↲※1			
	カーソル左移動			
	カーソル右移動			
文字	文字入力モードの切り替え			
文字 1秒以上押す	定型文挿入の［インターネット］表示			
A/a	小文字変換（小文字変換可能な文字の場合）	大小文字変換+大小文字／小文字入力モードの切り替え	大文字変換+大小文字／小文字入力モードの切り替え	なし
A/a 1秒以上押す	定型文挿入			
CLR	1文字削除			
CLR 1秒以上押す	カーソルより前の文字削除※2			
■	決定			
	逆順表示またはやり直し			やり直し

※1 ［↲］（改行）されます。［↲］は半角で表示されますが、全角1文字分として数えられます。他の文字と同様に削除や修正できます。メール本文入力時、スケジュール、ToDoリスト、テキストメモの内容入力時などに有効です。
※2 カーソルの前後に文字があるときや、カーソルの後ろだけに文字があるときは、カーソル位置の文字を含み、後ろの文字がすべて削除されます。
※3 半角英数入力限定時（メールアドレス、URL入力時）は、「､」、「｡」、「･」を入力することはできません。
※4 同じ行の文字を続けて入力したい場合に、1秒以上押すと入力することができます。
※5 0を1秒以上押した場合は、「+」が入力されます。

文字の数え方

全角1文字は、半角2文字分として数えられます。
半角文字では、濁点・半濁点も1文字分として数えられます。

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧（２タッチ方式）

■ 全角文字

全角大文字モード

1桁目（最初に押すボタン）＼2桁目（次に押すボタン）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ	い	う	え	お	A	B	C	D	E
2	か	き	く	け	こ	F	G	H	I	J
3	さ	し	す	せ	そ	K	L	M	N	O
4	た	ち	つ	て	と	P	Q	R	S	T
5	な	に	ぬ	ね	の	U	V	W	X	Y
6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z	？	！	ー	／
7	ま	み	む	め	も	￥	＆		☎	
8	や	（	ゆ	）	よ	＊	＃		♥	※
9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
0	わ	を	ん	゛	゜	6	7	8	9	0

■ 半角文字

半角大文字モード

1桁目（最初に押すボタン）＼2桁目（次に押すボタン）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	A	B	C	D	E
2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F	G	H	I	J
3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K	L	M	N	O
4	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	P	Q	R	S	T
5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U	V	W	X	Y
6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z	?	!	-	/
7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	¥	&		☎	
8	ﾔ	(	ﾕ	)	ﾖ	*	#		♥	※
9	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	1	2	3	4	5
0	ﾜ	ｦ	ﾝ	ﾞ	ﾟ	6	7	8	9	0

※ [8]➡[0]を押すと、大文字モードと小文字モードが切り替わります。□部分は、切り替えた文字モードにより大文字または小文字で入力できます。

- 全角小文字モードで[0]➡[4]を押すと「、」、[0]➡[5]を押すと「。」が入力できます。
- 半角小文字モードで[0]➡[4]を押すと「，」、[0]➡[5]を押すと「．」が入力できます。
- 半角大文字モードで[☎]、[♥]は半角２文字分となります。

お知らせ

- 空欄はスペースを示します。
- □部分は、文字入力後、[A/a]を押すたびに、大文字⇔小文字と切り替わります。（「ゎ」（小文字）は全角小文字モードでのみ入力できます。）

記号・特殊文字一覧

文字入力画面で[ ]を押すと［記号］と［絵文字］を切り替えて入力できます。
記号入力時に[ ]を押すと、［半角］、［全角］が切り替わり、絵文字入力時に[ ]を押すと、［絵文字２］、［絵文字１］が切り替わります。

■ 全角記号・特殊文字

、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛
゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ
ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’	“	”
（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉
《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－
±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞
∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	￠
￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○
●	◎	◇	◆	□	■	△	▲	▽	▼
※	〒	→	←	↑	↓	〓	∈	∋	⊆
⊇	⊂	⊃	∪	∩	∧	∨	￢	⇒	⇔
∀	∃	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪
≫	√	∽	∝	∵	∫	∬	Å	‰	♯
♭	♪	†	‡	¶	◯	ゎ	ゐ	ゑ	ヮ
ヰ	ヱ	ヴ	ヵ	ヶ	Α	Β	Γ	Δ	Ε
Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο
Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω	α
β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ
μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ

χ	ψ	ω	А	Б	В	Г	Д	Е	Ё
Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П
Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ
Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я	а	б	в	г
д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м
н	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц
ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я	─
│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼
━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻
╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸
╂	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
Ⅹ	㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑
㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝	㎞
㎎	㎏	㏄	㎡	㍻	〝	〟	№	㏍	℡
㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽
㍼	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟
⊿	∵	∩	∪						

特殊記号（①～∪）

※ 特殊文字は、ｉモードメール対応機以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。

■ 半角記号

!	"	#	$	%	&	'	(	)	*
+	,	-	.	/	:	;	<	=	>
?	@	[	¥	]	^	_	`	{		
}	~	｡	｢	｣	､	･	ｰ	ﾞ	ﾟ

絵文字一覧

読みを入力して絵文字に変換できます。

絵文字1

見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字
はれ		ばすけっと、ばすけ		びーる、さけ		しーでぃー		かちんこ		はた		かわいい	
くもり		はた		はんばーがー		はーと、はあと		ふくろ		ふりーだいやる		きす	
あめ、かさ		ぽけっとべる、ぽけべる		ぶてぃっく		すぺーど		ぺん		しゃーぷだいやる		ぴかぴか、きらきら	
ゆき		でんしゃ		はさみ、びよういん		だいや		ひとかげ		もばきゅー		ひらめき	
かみなり		ちかてつ		からおけ		くろーばー、くらぶ		いす		いち		むか、いかり	
うずまき、たいふう		しんかんせん		えいが		め		よる、つき		に		ぱんち	
きり		くるま		やじるし、みぎうえ		みみ		すーん		さん		ばくだん	
こさめ		くるま		ゆうえんち		ぐー		おん		よん、し		おんぷ	
おひつじざ		ばす		おんがく		ちょき、ぶい		えんど		ご		やじるし、ばっど	
おうしざ		ふね		あーと		ぱー		とけい		ろく		ねる、ねむい	
ふたござ		ひこうき		えんげき		やじるし、みぎした		でんわ		なな、しち		びっくり	
かにざ		いえ		いべんと		やじるし、ひだりうえ		めーる		はち		びっくり	
ししざ		びる		ちけっと		あし		ふぁっくす		きゅー、く		びっくり	
おとめざ		ゆうびんきょく		たばこ、きつえん		くつ		あいもーど		ぜろ		しょうげき、いらいら	
てんびんざ		びょういん		きんえん		めがね		あいもーど		はーと、はあと		あせ	
さそりざ		ぎんこう		かめら		くるまいす		めーる		はーと、はあと		あせ	
いてざ		ぎんこう、えーてぃーえむ		かばん		しんげつ、つき		どこも		しつれん、はーと、はあと		だっしゅ	
やぎざ		ほてる		ほん		つき		どこも		はーと、はあと		ー	
みずがめざ		こんびに		りぼん		はんげつ、つき		ゆうりょう		かお、にこ		ー	
うおざ		がそりん、すたんど		ぷれぜんと		みかづき、つき		ふりー、むりょう		かお、むか		おーけー	
すぽーつ		ちゅうしゃじょう		ばーすでー		まんげつ、つき		あいでぃー		かお、かなしい			
やきゅう		しんごう		でんわ		いぬ		かぎ、しーくれっと、ぱすわーど		かお、かなしい			
ごるふ		といれ		でんわ、けいたい		ねこ		りたーん		かお、ふらふら			
てにす		れすとらん		めも		よっと、りぞーと		くりあ		やじるし、ぐっど			
さっかー		きっさてん		てれび		くりすます		むしめがね、るーぺ、さーち		おんぷ			
すきー		ばー		げーむ		やじるし、ひだりした		にゅー		おんせん			

- 本絵文字を送信した場合、相手の機種によっては正しく表示されないことがあります。また、i モード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。
- SMSでは[♥]、[♥]、[☎]以外はスペースになります。
- 「見出し(ヨミ)」を入力すると、変換候補の絵文字の後ろに[絵1]と表示されますが、その候補を選択しても[絵1]という文字は採用されません。

絵文字2

見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字
あいあぷり		らぶれたー		かお、あせ		かお、かなしい		きんし		ちゅーりっぷ、はな		かたつむり	
あいあぷり		れんち、こうぐ		かお、あせ		かお、なみだ、かなしい		あき、くうしつ、くうせき、くうしゃ		ばなな		ひよこ	
てぃーしゃつ、しゃつ		えんぴつ		かお、むか		えぬじー		ごうかく		りんご		ぺんぎん	
さいふ		おうかん		かお、ぼけ		くりっぷ		まんしつ、まんせき、まんしゃ		め		さかな	
くちべに、けしょう		ゆびわ		はーと		こぴーらいと		やじるし、さゆう		もみじ		かお、うまい	
じーんず、じーぱん、ずぼん		すなどけい、とけい		おーけー、ぐっど、ないす		てぃーえむ、とれーどまーく、しょうひょう		やじるし、じょうげ		さくら		かお	
すのぼ		じてんしゃ		かお、べー		はしる、ひと		がっこう		おにぎり、おむすび		うま	
べる、ちゃぺる		おちゃ、ゆのみ		かお、ういんく		まるひ		なみ		けーき		ぶた	
どあ		うでどけい、とけい		かお、にこ、うれしい		りさいくる		ふじさん、やま		とっくり、さけ		わいん、さけ	
おかね、どるぶくろ		かお		かお、がまん、かなしい		まるあーる、しょうひょう		くろーばー		らーめん、どんぶり		かお、げっそり、さけび	
ぱそこん		かお、にこ		ねこ		きけん、けいこく		さくらんぼ、ちぇりー		ぱん、しょくぱん			

次ページへ続く

● 本絵文字を送信した場合、相手の機種によっては正しく表示されないことがあります。また、i モード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。
● サイトによっては正しく表示されない絵文字もあります。
● 「見出し(ヨミ)」を入力すると、変換候補の絵文字の後ろに[絵2]と表示されますが、その候補を選択しても[絵2]という文字は採用されません。

顔文字一覧

(^0^)	(+_+)	(^^ゞ	φ(..)	(^^)Y☆Y(^^)
o(^-^)o	(-_-)	(☆_☆)	(^人^)	o(^-^o)(o^-^)o
(^0^)/	(v_v)	(ノ>＜)ノ	<(__)>	(ノ°0°)ノ
p(^^)q	(T_T)	(−_−#)	(´Д`)	(° o°)＼(-_-)
(>_<)	(￥_￥)	(¨;)	＼(^^;;)	(∪o∪)。。。
(X_X)	(@_@)	(−_−メ)	(#^.^#)	(^ ^)＼(° °)
m(__)m	(?_?)	(° ∇°)	(^0)=3	＼^o^／
f^_^;	(;_;)	!(^ ^)!	(;´・`)	(┬┬_┬┬)
(:_;)	(0_0)	o(>＜)o	(´〜`;)	??(° Q。)??
(-.-;)	(^_^)	(。。;)	(￣∇￣;)	(^_-)-☆

● 「かお」と入力して変換すると顔文字の候補が表示され、そこから顔文字を入力することもできます。

定型文一覧

あいさつ	1	おはようございます	応答	1	OKです
	2	おやすみなさい		2	NGです
	3	昨日は、どうもありがとうございました		3	ありがとう
	4	行ってきます		4	ごめんなさい
	5	いってらっしゃい		5	待ってて
	6	お疲れ様でした		6	今忙しい
	7	お世話になっております		7	後で連絡入れます
	8	こんにちは		8	保留です
	9	こんばんは		9	キャンセルです
ビジネス	1	直行します	インターネット	1	.ne.jp
	2	直帰します		2	.co.jp
	3	休暇をとります		3	.ac.jp
	4	半休します		4	.or.jp
	5	電車遅延のため、遅れます		5	.go.jp
	6	本日の会議は中止となりました		6	.com
	7	出欠をご連絡ください		7	@docomo.ne.jp
	8	次の指示を待ってください		8	http://
	9	携帯の電源を切ります		9	www.
プライベート	1	遊びに行こう	自作定型文	1	--------------------
	2	飲みに行きませんか？		2	--------------------
	3	遅れます		3	--------------------
	4	変更します		4	--------------------
	5	中止です		5	--------------------
	6	先に行きます		6	--------------------
	7	先に帰ります		7	--------------------
	8	時間です		8	--------------------
	9	何してるの？		9	--------------------

● お買い上げ時は、自作定型文は登録されていません。

区点コード一覧

4桁の区点コードを利用して漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。

- 区点コードとは、漢字などの文字ひとつひとつに付けられている固有の番号です。
  区点コードでの入力のしかたについては、P.400「区点コードで入力する」を参照してください。

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡		≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138		≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県

お知らせ

- 区点コード一覧で該当する文字がない区点コードを入力すると、何も入力されないか、またはスペースが入力されます。
- 区点コード一覧の表示は、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点 1〜3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
―こ―										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
―さ―										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
―し―										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲

区点 1〜3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
―す―										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
―せ―										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
―そ―										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
―た―										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
―ち―										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
―つ―										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
―て―										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					

区点 1〜3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
―と―										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
―な―										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
―に―										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
―ぬ〜の―										
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
―は―										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
―ひ―										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
―ふ―										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
―へ―										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									

区点 1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
み										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
や										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
ゆ										
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ										
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら										
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
り										
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
る～れ										
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
ろ										
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
わ										
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑

区点 1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔

区点 1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

電卓計算例

計算例

計算例		操作	表示結果
加減乗除	14×3＋5＝	14[×]3[＋]5[＝]	47
	(－24)÷4－2＝	[－]24[÷]4[－]2[＝]	－8
定数計算	34＋57＝ 45＋57＝	34[＋]57[＝] 45 [＝] （加数が定数となります）	91 102
	48－23＝ 14－23＝	48[－]23[＝] 14 [＝] （減数が定数となります）	25 －9
	68×25＝ 68×40＝	68[×]25[＝] 40 [＝] （被乗数が定数となります）	1,700 2,720
	35÷14＝ 98÷14＝	35[÷]14[＝] 98 [＝] （除数が定数となります）	2.5 7
パーセント計算	200の10％は？	200[×]10[％]	20
	9は36の何％？	9[÷]36[％]	25
消費税計算	消費税込み3000円の消費税額は？	3000[TAX]	142税
	消費税込み3000円の税抜き額は？	3000[TAX][TAX]	2,858税抜
割増割引計算	200の10％増しは？	200[＋]10[％]（または200[×]10[％][＋][＝]）	220
	500の20％引きは？	500[－]20[％]（または500[×]20[％][－][＝]）	400
べき乗	$(4^3)^2$＝	4[×][＝][＝][×][＝]	4,096
逆数計算	1／8＝	8[÷][＝]	0.125
メモリ計算 累計	27×5＝ ＋)87÷3＝ ＋)68＋15＝ （計）＝	[CM]27[×]5[M＋] 87[÷]3[M＋] 68[＋]15[M＋] [RM] （[M＋]は[＝]の働きをかねています。）	M 135 M 29 M 83 M 247
メモリ計算 一時記憶	(13＋3×4)×(50－45)＝	[CM]13[M＋]3[×]4[M＋]50[－]45[×][RM][＝]	M 125
メモリ計算 定数記憶	135×(12＋14)＝ (12＋14)÷5＝	[CM]12[＋]14[M＋] 135[×][RM][＝] [RM][÷]5[＝]	M 26 M 3,510 M 5.2

- メモリに「0」以外の数値が入ると、[M]が表示されます。

お知らせ

- メモリ計算では[CM]を押して、メモリ内容を消去してから始めてください。

[E]が表示されたとき

- 計算の結果、[E]が表示されると、それ以降の計算ができません。[C・CE]を押してください。
  ①除数が0の計算をしたとき（例：5[÷]0[＝]）
  ②メモリの数値の整数部が12桁を超えたとき（例：[CM]999999999999[M＋]1[M＋]）
  ③計算結果の整数部が12桁以上になったとき（例：1000000000[÷]0.01[％]）
- 税計算は小数点以下は省略されます。
  例：120[TAX]と押すと、[5税]と表示されます。

マルチアクセスの組み合わせについて

マルチアクセスで同時に使用可能な通信機能の主な組み合わせは次のとおりです。

現在の通信状態＼実行する通信	音声電話		テレビ電話		iモード接続	iモードメール		SMS		データ通信(パケット)		データ通信(64K)		プッシュトーク		プッシュトークプラス
	発信	着信	発信	着信		送信	受信	送信	受信	発信	着信	発信	着信	発信	着信	ネットワーク接続
音声電話中	△※1	△※1	×	△※2	○	○	○	○	○	○	○	×	×※5	×	×※5	×
テレビ電話中	×	×※5	×	×※5	×	×	×	×	○	×	×	×	×※5	×	×	×
iモード中	○	○	△※7	△※3	×	○	○	○	○	×	×	×	×※5	△※4	△※8	×
iアプリ通信中	△※4	△※4	△※4	△※3	×	△※4	○	△※4	○	×	×	×	×※5	△※4	△※8	×
データ通信中(パケット)	○	○	×	×※5	×	×	×	×	○	×	×	×	×※5	×	×	×
データ通信中(64K)	×	×※5	×	×※5	×	×	×	×	○	×	×	×	×※5	×	×	×
プッシュトーク通信中	×	△※6	×	×※5	×	×	×	×	○	×	×	×	×※5	×	×※5	×
プッシュトークプラス(ネットワーク接続中)	○	○	×	×※5	×	×	×	×	○	×	×	×	×※5	○	○	×

○：現在の通信状態を継続したまま、実行する通信を処理できます。
×：現在の通信状態を継続します。(実行する通信を処理することはできません。)
△：条件により処理できます。

※1 キャッチホンをご契約の場合は、処理できます。(☞P.380)
※2 キャッチホンをご契約の場合は、音声電話を継続するか、音声電話を切断してテレビ電話を受けるかを選択できます。
※3 テレビ電話を着信するか、パケット通信を継続するかを選択できます。(☞P.96)
※4 iモード、iアプリからの通信は切断され、実行する通信を処理できます。
※5 着信履歴には記憶されます。
※6 [PT通信中着信設定]が[着信拒否](お買い上げ時)の場合、現在の通信状態を継続します。音声電話着信を処理するためには、[PT通信中着信設定]を[着信拒否]以外に変更してください。(☞P.106)また、着信があった状態で、音声電話に応答するとプッシュトークは切断されます。音声電話を拒否した場合は、プッシュトークは切断されません。
※7 iモード接続を切断してからテレビ電話発信を行います。
※8 [iモード通信中着信設定]が[プッシュトーク着信優先](お買い上げ時)の場合、iモード、iアプリからの通信は切断され、実行する通信を処理できます。(☞P.214)

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

マルチアシスタント（マルチタスク）の組み合わせについて

マルチアシスタント（マルチタスク）で同時に使用可能な機能の主な組み合わせは次のとおりです。

現在の操作中機能＼呼び出し可能な機能	メール／メールを読む／マナーモード設定／省電力設定／ToDo	履歴から電話する／マルチアシスタント画面	iモード	フルブラウザ／iチャネル／インターネットで検索／iモードのBookmark／ブラウザのBookmark	iアプリ	サポートブック／ブックリーダー	データBOX	電話帳／電話帳を開く	トルカ	スケジュール／スケジュールを見る	電卓	テキストメモ	モバイルオーディオ／音楽を聴く	ダイヤル入力／音声電話発信／テレビ電話発信	プッシュトーク発信
iアプリ	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○
モバイルオーディオ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
電話帳・プッシュトーク電話帳	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
テキストメモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
電卓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
キャラ電プレーヤ	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
スケジュール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
データBOX	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
音声電話	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	×
ブックリーダー	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
トルカ	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
iモード	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
フルブラウザ・iチャネル	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メール・メール作成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
データ通信（パケット）	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×

○：呼び出し可能な機能です。
×：呼び出し不可能な機能です。

- 表中の「現在の操作中機能」以外の機能を利用している場合は、マルチアシスタントを使用できないことがあります。
- アプリケーションの状態によってはこの表に従わない場合もあります。
- iアプリからFOMA端末の機能を利用している場合は、マルチタスクを使用できません。
- メモリの不足している場合など、この表の組み合わせでもマルチタスクを使用できない場合があります。
- 「ダイヤル入力」はマルチアシスタント画面で［ボタン］を押して呼び出します。
- モバイルオーディオ起動と他の機能からのminiSDメモリーカード使用は、同時に行うことはできません。

FOMA端末から利用できるサービス

利用できるサービス		電話番号
コレクトコール(料金着信払通話)		(局番なし)106
一般電話の電話番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内(有料)(電話番号の案内を希望されないお客様については、ご案内できません。)		(局番なし)104
電報の発信(有料)	午前8時〜午後10時	(局番なし)115
時報サービス(有料)		(局番なし)117
天気予報(有料)		知りたい地域の市外局番+177
警察への緊急通報		(局番なし)110
消防・救急への緊急通報		(局番なし)119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報		(局番なし)118
災害用伝言ダイヤル(有料)		(局番なし)171

お知らせ

- コレクトコール(106)をご利用の際には、通話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円(税込94.5円)がかかります。(2006年12月現在)
- 番号案内(104)をご利用の際には、案内料100円(税込105円)に加えて通話料がかかります。目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内をしております。詳しくは、一般電話から116番(NTT営業窓口)までお問い合わせください。(2006年12月現在)
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は、発信場所が特定できませんので、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
  また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。接続されない場合はお近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- 一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話/携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどでも発信者には呼出音が聞こえることがあります。
- 116番(NTT営業窓口)、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用になれませんので、ご注意ください。
  (一般電話または公衆電話から、FOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話はご利用になれます。)

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。
なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- FOMA ACアダプタ01
- 電池パック SH09
- 卓上ホルダ SH09
- リアカバー SH10
- FOMA DCアダプタ01
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01／P02
- イヤホンジャック変換アダプタ P001
- スイッチ付イヤホンマイク P001※1／P002※1
- ステレオイヤホンセット P001※1
- イヤホンターミナル P001※1
- 骨伝導レシーバマイク 01
- FOMA室内用補助アンテナ
- FOMA USB接続ケーブル
- 平型ステレオイヤホンセット P01
- FOMA海外兼用ACアダプタ01
- 車載ハンズフリーキット01※2
- FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル01
- 車内ホルダ01※3
- FOMA乾電池アダプタ 01
- キャリングケースL 01
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01

※1 スイッチ付イヤホンマイク、ステレオイヤホンセット、イヤホンターミナルは、イヤホンジャック変換アダプタを接続しないとご利用になれません。
※2 FOMA SH902iSLをUSB接続／充電するためには、FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル01が必要です。
※3 車内ホルダ01をご利用になるときは、サイドボタンのボタン操作無効設定をしてご利用ください。

外部機器との連携

対応する外部機器を利用してminiSDメモリーカードに保存した動画を、FOMA端末で再生できます※。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。(☞P.323)
対応機器などについては、http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh902isl/をご覧ください。または下記にお問い合わせください。

- 外部機器で作成したｉモーション（音楽データを含む）をFOMA端末で再生する。(☞P.348)

※ 保存した動画や外部機器の形式によっては、再生できない場合があります。

シャープ　データ通信サポートセンター
TEL 03-5396-2351
受付時間:平日10:00～12:00／13:00～17:00
（土・日・祝日および所定の休日を除く）

- ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。

動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画を再生するには、アップルコンピュータ（株）のQuickTime™ Player（無料）ver.6.4以上（またはver.6.3+3GPP）が必要です。
QuickTime™ Playerは、以下のホームページよりダウンロードできます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

- ダウンロードするには、インターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。
- 動作環境、ダウンロード方法、操作方法などについては、アップルコンピュータ（株）のホームページをご覧ください。

データリンクソフトのご紹介

「SHシリーズデータリンクソフト」を使って、静止画、動画、電話帳、メール、ブックマーク、スケジュールなどのデータを、FOMA端末と接続したパソコンとの間で転送できます。また、miniSDメモリーカードとパソコンとの間でもデータを転送できます。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。(☞P.323)
データリンクソフトは、http://k-tai.sharp.co.jp/support/からダウンロードできます。

ダウンロード方法、転送可能データ、動作環境、操作方法、制限事項などの詳細については、上記ホームページ、またはデータリンクソフトのヘルプをご覧ください。

- ダウンロードするには、インターネットに接続した環境のパソコンが必要です。
- ダウンロード時には別途通信料がかかります。
- パソコンと接続してデータリンクソフトを利用するには「FOMA USB接続ケーブル(別売)」が必要です。赤外線通信では使用できません。
- ダウンロードした情報は、著作権法により、データリンクソフトを利用してもFOMA端末外へ転送することはできません。また、FOMA端末外への出力が禁止されているデータも転送することができません。

対応OS

Microsoft Windows 98 Second Edition/Windows Me/Windows 2000 Professional/
Windows XP Home Edition/Windows XP Professional(いずれも日本語版)
※上記OSが動作するPC/AT互換機

データリンクソフトのご使用にあたって

- 著作権について
  本ソフトウェアはフリーウェアとして無料配布を行っておりますが、著作権はシャープ株式会社に帰属します。
- <免責事項>について
  シャープ株式会社は、本ソフトウェアの不稼動、稼動不良を含む法律上の瑕疵担保責任、その他の保証責任を負わないものとします。また、シャープ株式会社は、本ソフトウェアの商品性、またはお客様の特定の目的に対する適合性について、いかなる保証も行わないこととします。

データリンクソフトに関する技術的なお問い合わせ先

シャープ　データ通信サポートセンター
TEL 03-5396-2351
受付時間:平日10:00〜12:00／13:00〜17:00
(土・日・祝日および所定の休日を除く)

- ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

故障かな？と思ったら、まずチェック

まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックしていただき、必要な場合にはソフトウェア更新をしてください。（ソフトウェア更新☞P.438）

症　状	説　明	ページ
動作しない	● FOMA端末の電源が「切」になっていませんか？ ● 電池切れになっていませんか？ ● 電池パックが正しく取り付けられていますか？	P.46 P.45 P.41
電源が入らない	● [HLD/PWR]を２秒以上押していますか？ ● 電池切れになっていませんか？ 警告音が鳴ったあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。 ● 電池パックが正しく取り付けられていますか？	P.46 P.45 P.41
電源が切れる	● FOMAカードのIC部が汚れていませんか？ ● 電池パックの接続端子面やFOMA端末の電池パックとの接続端子（充電端子）が汚れていませんか？	P.38 P.40
充電ができない	● 電池パックが正しく取り付けられていますか？ ● 充電端子は汚れていませんか？ 端子部を綿棒などで清掃してください。 ● ACアダプタのコネクタがFOMA端末の外部接続端子や卓上ホルダの接続端子にしっかりと差し込まれていますか？ ● 卓上ホルダにFOMA端末が正しくセットされていますか？	P.41 ― P.43 P.44 P.44
充電しても、すぐに使えなくなる	● 卓上ホルダにFOMA端末が正しくセットされていますか？ ● 電池の寿命がきていませんか？ ● 充電端子は汚れていませんか？ 端子部を綿棒などで清掃してください。 ● FOMA端末の扱いかたによって電池の持ち時間は変化します。	P.44 P.42 ― P.42
ボタン操作ができない	● FOMA端末の電源が「切」になっていませんか？ ● オールロックやボタン操作無効が設定されていませんか？	P.46 P.160 P.165
[圏外]が表示されて電話がかけられない	● サービスエリア外か電波の弱い場所にいませんか？	P.28
[self]が表示されて電話がかけられない	● セルフモードが設定されていませんか？	P.162
電話帳ダイヤルで電話がかけられない	● 電話帳のPIMロックが設定されていませんか？ ● オールロックが設定されていませんか？	P.162 P.160
ダイヤルボタンで電話がかけられない	● ダイヤル発信制限が設定されていませんか？ ● オールロックが設定されていませんか？	P.164 P.160
通話がとぎれたり、切れる	● 電波の届きにくい場所にいませんか？ ● 電池切れになっていませんか？	P.28 P.45
通話中、相手の声が大きすぎる、ひずんで聞こえる	● 受話音量が大きくなっていませんか？	P.68
宛先登録時、[メール送信履歴]、[メール受信履歴]が選択できない	● メール送信履歴表示、メール受信履歴表示が[OFF]に設定されていませんか？	P.166
メールを受信したとき設定した着信音が鳴らない	● メール受信表示設定を[操作優先]に設定していませんか？	P.255
ダイヤルしても話中音（ツーツー…）が出る	● 「090」、「080」や「070」、または市外局番を忘れていませんか？ ● [圏外]が表示されていませんか？ ● 相手が携帯電話の場合、相手の電波状況が悪いと電話がかからないことがあります。	P.52 P.28 ―
通話中に「プチッ」と音が入る	● 電波が弱くなって別のエリアに切り替わるときに発生することがあります。	―
[サービス未契約です]と表示される	● ｉモードをご利用になるにはお申し込みが必要です。 ● ｉモードを途中から契約された場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。	― ―

次ページへ続く

症　状	説　明	ページ
着信音が鳴らない	● 着信音量が[サイレント]に設定されていませんか？ ● 電池切れになっていませんか？ ● FOMA端末の電源が「切」になっていませんか？ ● 通話中ではありませんか？ ● 保留のままになっていませんか？ ● 呼出動作開始時間設定を設定していませんか？ ● 電話帳指定着信許可を設定していませんか？ ● 電話帳指定着信拒否を設定していませんか？ ● 非通知着信拒否を設定していませんか？ ● 電話帳登録外着信拒否を設定していませんか？ ● 留守番電話サービスを使用し、呼出時間を[0秒]に設定していませんか？ ● 公共モード（ドライブモード）に設定していませんか？ ● マナーモードに設定していませんか？	P.130 P.45 P.46 P.52 P.53 P.86 P.170 P.168 P.169 P.170 P.171 P.378 P.70 P.135
日付の順序が逆に表示される	● Bilingualで[English]に設定していませんか？	P.148
[しばらくお待ちください]が表示されて消えない	● 音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってからおかけ直しください。	－
電話の発着信、メールの送受信、iモードの機能が使えない	● 電池切れになっていませんか？ ● [圏外]が表示されていませんか？ ● セルフモードが[ON]に設定されていませんか？	P.45 P.28 P.162
文字が入力できない	● 文字数の制限をオーバーしていませんか？	－
メールを受信したとき設定した着信音以外の着信音が鳴る	● 電話帳に指定メール着信音を設定した相手からのメールを受信したときは、指定メール着信音が鳴ります。 ● 電話帳のグループにメール着信音を設定した相手からのメールを受信したときは、そのグループのメール着信音が鳴ります。 ● 指定メール着信音とグループメール着信音の両方を設定した相手からのメールを受信したときは、指定メール着信音が鳴ります。 ● 複数のメールを受信した場合、最後に受信したメールアドレスに設定した指定メール着信音が鳴ります。 ● 相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話帳のメールアドレスには電話番号のみを登録し、指定メール着信音を設定してください。 ● メール送信元のメールアドレスを電話帳に正しく登録し、指定メール着信音を設定していますか？ ● SMSを受信したときは、電話帳に設定した指定メール着信音が有効となります。 ● 電話番号が正しく登録されていますか？	P.112 P.117 P.112 － P.112 P.112 － P.110
画面表示が消えた	● FOMA端末の電源が「切」になっていませんか？ ● 電池切れになっていませんか？ ● 省電力モードが起動していませんか？ ● 自動電源OFFを設定していませんか？	P.46 P.45 P.143 P.354
ドコモホームページやｉMenuの[お知らせ]にソフトウェア更新が必要との案内がある	● ソフトウェアの更新が必要です。 ソフトウェアを更新してください。	P.438
ＩＣカード（FeliCa機能）が使えない	● ＩＣカードロック、まとめて簡単ロックが設定されていませんか？ ● 電池切れになっていませんか？	P.164 P.290 P.45
正面やサイドから見たときに、黒い画像や模様などの画像が映り込んで見える	● 視野切替が[ON]になっていませんか？()を押すと視野切替を解除できます。	P.149
積算通話料金が増えない	● FOMAカードの積算通話料金の上限値（約1677万円）に達していると増えません。リセットすることにより、0円に戻ります。	P.371

付録／外部機器連携／困ったときには　故障かな？

こんな表示が出たら

● メッセージと共に、3桁の数字が表示される場合があります。一部の数字は、端末で表示させているドコモ独自のコードとなります。

表示	説明	ページ
[FOMAカード(UIM)が異なるためご利用できません]	● FOMAカード動作制限機能により保護されている画面メモ、メッセージR／Fを選んで実行しようとしたときに表示されます。	P.39
[FOMAカード(UIM)を挿入してください]	● FOMAカードが正しく差し込まれているかご確認ください。	P.38
[端末暗証番号を入力してください]	● PIMロック中に、禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。正しい端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力すると、PIMロックが一時解除され、操作できます。	P.162
[PIN1コードがロックされています]	● PIN1コードがロックされているときに、電源を入れると表示されます。しばらくするとPINロック解除コードを入力する画面が表示されますので、正しいPINロック解除コードを入力してロックを解除してください。	P.159
[PINロック解除コードがロックされています]	● PINロック解除コードがロックされているときに、電源を入れたりFOMAカードに関係した操作をしようとしたときに表示されます。ドコモショップ窓口までお問い合わせください。	P.159
[メモリの空きがありません]	● すでにFOMA端末(本体)の電話帳に電話番号またはメールアドレスが750件登録されているときに、電話番号またはメールアドレスを登録しようとした場合に表示されます。	P.108
[このカードは認識できません]	● 本端末で使用できないFOMAカードが差し込まれている可能性があるときに表示されます。 ● FOMAカードが正しく差し込まれていないか、破損している可能性があるときに表示されます。FOMAカードが正しく差し込まれているかご確認ください。	－ P.38
[シークレットデータが登録されています]	● シークレットモードでないときに、シークレットデータをツータッチダイヤルで発信しようとしたときに表示されます。	P.124
[セルフモード設定中です]	● セルフモード設定中に、禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。	P.162
[操作できませんでした]	● サービスエリア外や電波が届かないところで、ネットワークサービスの操作をしようとしたときに表示されます。[Yıll]が表示されるところまで移動してネットワークサービスの操作をしてください。	P.378
[ただ今、使用できません]	● サービスエリア外や電波が届かないところで、テレビ電話発信しようとしたときに表示されます。	P.81
[ダイヤル発信制限設定中です]	● ダイヤル発信制限中に、禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。	P.164
[端末暗証番号が違います][4～8桁で入力してください]	● 端末暗証番号(4～8桁の数字)の入力が必要な機能で、端末暗証番号を間違えたときに表示されます。正しい端末暗証番号を入力してください。端末暗証番号を万が一お忘れになったときは、FOMA端末およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの(運転免許証など)をドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。	P.156
[データベースが破損しました　復旧を行います]	● 端末のデータベースにエラーがありますので、復旧処理を行います。	－
[ネットワーク暗証番号が誤ってます]	● ネットワーク暗証番号の入力が必要な機能で、ネットワーク暗証番号を間違えたときに表示されます。正しいネットワーク暗証番号を入力してください。ネットワーク暗証番号を万が一お忘れになったときは、FOMA端末およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの(運転免許証など)をドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。	P.156
[メモリ番号:×××は書換えできません]	● シークレットモードでないときに、シークレットデータのメモリ番号と同じ番号に電話帳を登録しようとしたときに表示されます。 ● 電話帳指定着信許可または電話帳指定着信拒否を設定中に、リスト登録している電話帳のメモリ番号と同じ番号に電話帳を登録しようとしたときに表示されます。	P.124 P.167～P.169

次ページへ続く

表　示	説　明	ページ
[しばらくお待ちください]	● 音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってからおかけ直しください。ダイヤルボタンを押すとメッセージが消えます。 ● 110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。	－ －
[しばらくお待ちください(パケット)]	● パケット通信設備が故障、またはパケット通信ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってから、再度操作してください。	－
[外部機器接続中のため使用できません]	● 外部機器接続中のため、ｉモードを終了する以外のｉモードの操作はできません。	P.392
[画像に誤りがあり正しく動作しません]	● Flash画像に誤りがあります。	－
[同時に通話できる人数４人を超えています]	● ５人以上のメンバーがグループに登録されている場合に表示されます。登録メンバーは４人以下に設定してください。	P.102
[録音処理に失敗しました]	● 400件を超えて録音しようとしたときに表示され、ボイスレコーダーが終了します。余分なデータを削除して録音し直してください。	P.339
[おまかせロック中です]	● おまかせロックが設定されているときに表示されます。	P.161

ｉモード関連

● ｉモード関連のエラーメッセージ中の(　)で囲まれた数字は、ｉモードセンターから送信されるもので、エラーの内容を区別するためのコードです。

表　示	説　明	ページ
[FOMAカード(UIM)が異なるためご利用できません]	● FOMAカード動作制限機能により保護されている画面メモ、メッセージR／Fを選んで実行しようとしたときに表示されます。 ● ＩＣカード一覧からｉアプリを起動しようとした場合に表示されます。 ● ソフト一覧からｉアプリを起動しようとした場合に表示されます。 ● サイトやインターネットホームページ、ｉモードメールから、ｉアプリを指定して起動しようとした場合に表示されます。	P.39 － － P.39
[SMSがいっぱいです　これ以上コピーできません]	● FOMA端末(本体)またはFOMAカード内のSMSが最大件数まで保存されていてコピーできなかったときに表示されます。	P.263
[ｉアプリTo設定されていません]	● サイトやインターネットホームページ、メッセージR／Fやｉモードメールからソフトを起動しようとしたときに、指定したソフトが連携許可されていないため、起動できません。	P.274
[ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？]	● ｉアプリご利用時の通信回数が一定時間内に著しく多い場合に表示されます。 ● 通信を行ってｉアプリを継続するときは[はい]を選択します。通信を行わずにｉアプリを継続するときは[いいえ]を選択します。ｉアプリを終了するときは[終了]を選択します。	P.269 －
[ｉアプリ利用を継続し、通信を行いますか？]	● [ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？]と表示されたときに[いいえ]を選択してｉアプリを継続している場合、再度ｉアプリが通信を行おうとしたときに表示されます。 ● 通信を行ってｉアプリを継続するときは[はい]を選択します。通信を行わずにｉアプリを継続するときは[いいえ]を選択します。ｉアプリを終了するときは[終了]を選択します。	P.269 －
[ｉモーション再生サイズを超えています]	● 標準タイプのｉモーションを取得するときに、ｉモーションのサイズが500Kバイトを超えているため取得ができない場合に表示されます。	P.220
[ｉモーション再生サイズを超えました]	● 標準タイプのｉモーションを取得するときに、ｉモーションのサイズが500Kバイトを超えているため取得が完了しなかった場合に表示されます。	P.220
[ｉモーション最大サイズを超えています]	● ストリーミングタイプのｉモーションを取得するときに、ｉモーションのサイズが２Mバイトを超えているため取得ができない場合に表示されます。	P.220
[ｉモーション最大サイズを超えました]	● ストリーミングタイプのｉモーションを取得するときに、ｉモーションのサイズが２Mバイトを超えているため取得が完了しなかった場合に表示されます。	P.220
[サービス未契約です]	● ｉモードをご契約されておりません。ｉモードをご利用になるにはお申し込みが必要です。 ● ｉモードを途中から契約された場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから再度電源を入れ直してください。	P.194 －
[SSL通信が切断されました]	● SSL通信に対応したサイトやインターネットホームページに接続できなかったときに表示されます。再び接続し直してください。	P.199

表　示	説　明	ページ
[SSL通信が無効です]	● SSL通信の認証中にエラーが発生してSSL通信が切断されたときに表示されます。	P.199
[SSL通信が無効に設定されています]	● 証明書設定で無効に設定した証明書を受信したときに表示されます。証明書の内容を確認し、証明書を有効に設定してから再び接続し直してください。	P.218
[URLが長すぎて登録できません]	● URLが登録可能文字数を超えるため、ブックマークへ登録できません。	P.204
[応答がありませんでした(408)]	● サイトやインターネットホームページからの応答がなく、通信が中断されました。もう一度接続をお試しください。	P.202
[外部機器接続中のため使用できません]	● 外部機器接続中のため、iモードを終了する以外のiモードの操作はできません。	P.392
[接続できませんでした]	● テレビ電話発信時に番号通知お願いサービスを設定しているため、接続ができません。発信者番号を[通知する]に設定してかけ直してください。	P.384
[携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号を送信します]	● サイトやインターネットホームページを閲覧中に表示されることがあります。[はい]を選んで■[決定]を押すと、「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」が送信されます。送信せずに元の画面に戻るには、[いいえ]を選んで■[決定]を押すか、CLRを押します。	P.198
	● 送信される「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」は、IP(情報サービス提供者)がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP(情報サービス提供者)の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。	―
	● 送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」は、インターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別がIP(情報サービス提供者)などに通知されることはありません。	―
[圏外です]	● サービスエリア外や電波が届かないところで、iモードのサービスを利用しようとしたときに表示されます。[Y.ıl]が表示されるところまで移動してiモードのサービスをご利用ください。	―
[このiモーションを再生するためにはiモーションタイプ設定を変更してください　変更しますか？]	● iモーションタイプ設定を[標準タイプ]に設定しているときに、ストリーミングタイプのiモーションを取得しようとしたときに表示されます。	P.222
[このサイトとのSSL通信は無効です]	● 書換えられたSSL証明書を受信したときに表示されます。このサイトやインターネットホームページとはSSL通信できません。	P.199
[このサイトの安全性が確認できません。接続しますか？]	● サポート外のSSL証明書を受信したときに表示されます。接続するときは、[はい]を選んで■[決定]を押します。接続しないときには、[いいえ]を選んで■[決定]を押します。	P.199
[このサイトは安全でない可能性があります。接続しますか？]	● 期限切れまたは有効期間前のSSLサーバー証明書を受信したときに表示されます。接続するときは、[はい]を選んで■[選択]を押します。接続しないときには、[いいえ]を選んで■[決定]を押します。	P.199
[この接続先の安全性が確認できません。接続しますか？]	● 端末内のSSLルート証明書が期限切れの場合に表示されます。接続するときは、[はい]を選んで■[選択]を押します。接続しないときには、[いいえ]を選んで■[決定]を押します。「日時設定」を行ってください。	P.199
[この接続先は安全でない可能性があります。接続しますか？]	● 正しくない情報をもったSSLサーバー証明書を受信したときに表示されます。接続するときは、[はい]を選んで■[選択]を押します。接続しないときには、[いいえ]を選んで■[決定]を押します。	P.199
[このデータは再生できない可能性があります。取得しますか？]	● MP4(Mobile MP4)形式以外のiモーションを取得したときに表示されます。	P.312
[これ以上保護できません]	● メッセージR／F／メール／送信済みメールで保護できる最大件数を超えています。保護を解除してください。	P.250

次ページへ続く

表　示	説　明	ページ
[最大サイズを超えたので中断しました]	● サイトやインターネットホームページで受信したデータが1ページの最大サイズを超えたため、受信を中断し、ダウンロードしたところまでのデータを表示します。 ● メロディやダウンロード辞書をダウンロード中に最大サイズを超えた場合に表示されます。	P.203 —
[サイトが移動しました(301)]	● サイトやインターネットホームページが移動したため、URLが変更されています。 古いURLをブックマークに登録している場合は、新しいURLに更新されます。	P.204
[サイトに接続できませんでした(403)]	● 何らかの原因でサイトやインターネットホームページに接続できませんでした。もう一度接続をお試しください。	P.202
[削除される添付ファイルがあります]	● 転送または引用返信するｉモードメールに、ｉモードメールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付されています。 [■][決定]を押すと、ファイルが削除された状態でｉモードメール編集画面が表示されます。	P.237
[指定サイトがみつかりません(404)]	● サイトやインターネットホームページが見つかりませんでした。サイトやインターネットホームページが存在しない可能性があります。	—
[指定サイトに表示データがありません(204)]	● 接続したサイトやインターネットホームページに表示するデータがない場合に表示されます。	—
[指定されたソフトがありません]	● ｉモードメール、赤外線通信機能からのｉアプリ起動時に、該当するソフトがない場合に表示されます。	P.274
[指定されたソフトが起動できませんでした]	● サイトやインターネットホームページ、メッセージR／Fやｉモードメール、赤外線通信機能からソフトを起動しようとした場合、指定したソフトが起動できなかったときに表示されます。	P.275
[指定したサイトへは接続できませんでした(504)]	● 何らかの原因でサイトやインターネットホームページに接続できませんでした。もう一度接続をお試しください。	P.202
[セキュリティエラーのため終了しました]	● ｉアプリが不正な動作をしようとしました。 ● ソフトが許可されている機能以外の動作をしようとする場合に表示されます。セキュリティエラーによりソフトが終了した場合、エラー履歴が保存されます。	P.276 P.276
[接続が中断されました]	● 電波が弱いため、ｉモードが中断されました。 電波の強い場所に移動してからｉモードのサービスをご利用ください。 ● 電波が強く[Yıl]マークが表示されているのにこのメッセージが表示される場合には、接続したサイトやインターネットホームページが非常に混みあっています。しばらくたってから接続してください。	P.28 —
[接続できません]	● 接続先の設定が正しくないときに表示されます。 ｉモード設定の[接続先選択]で接続先を正しく設定し直してください。 ● 何らかの原因でｉモードに接続できませんでした。もう一度接続をお試しください。	P.213 P.202
[設定時間内に接続できませんでした]	● [接続待ち時間設定]で設定した接続待ち時間となったため、サイトやインターネットホームページへの接続、ｉモードメールの送信などが中断されました。しばらくたってからサイトやインターネットホームページへの接続やｉモードメール送信などを行ってください。	P.213
[送信できませんでした]	● ｉモードメールやSMSを正常に送信できなかった場合に表示されますので、電波の強いところでもう一度メールを送信し直してください。[宛先を確認してください]が併せて表示されるときは、宛先の修正を行ってから送信してください。 [ｉモードセンターが混みあっています]が併せて表示されるときは、しばらくたってから送信し直してください。また、[送信先のメールがいっぱいです]が併せて表示されるときは、送信先でメールを受け取ることができないためメールを送信できません。	—
[そのソフトは最新です]	● ｉアプリが更新されていないためバージョンアップされません。	P.276
[ソフトに誤りがあります]	● ｉアプリのデータが不正のためダウンロードやバージョンアップができません。	—
[ソフトに誤りがあるためダウンロードできません]	● ｉアプリのデータが不正のためダウンロードやバージョンアップができません。	—
[対応機種ではありません]	● ダウンロードしようとしたｉアプリがFOMA端末に対応していないため、ダウンロードできません。	—

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

表　示	説　明	ページ
[ダウンロード済みです]	● 同じバージョンのソフトがすでにダウンロードされています。	P.276
[ダウンロード中止しました]	● ダウンロード中に、ダウンロード中止操作を行ったときに表示されます。	P.209 P.267
[ダウンロードできませんでした] [コンテンツ不正のためダウンロードできません]	● ダウンロードするデータがない場合や、データが正しくない場合に表示されます。ダウンロードすることはできません。 ● 正しくない、または未対応の形式であるためダウンロードできません。	P.209 －
[ただいま利用制限中の為しばらくしてからご利用下さい]	● ｉモードパケット定額サービスをご利用の場合に限り、一定時間内に著しく大量なデータ通信があったときに表示されます。一定時間接続できなくなることがありますので、しばらくたってからｉモードをご利用ください。	P.390
[重複するアドレスがあります]	● ｉモードメール作成時、同じメールアドレスを宛先や同報として複数設定することはできません。重複するアドレスを削除して送信してください。	P.230
(赤外線通信中に) [中断されました] [接続相手が見つかりません　続けますか？] [認証に失敗しました　続けますか？]	● 赤外線通信を中止する操作をしたときに表示されます。 ● 通信相手が認識できなかったときに表示されます。[はい]を選んで■を押すと、もう一度やり直すことができます。 ● 赤外線通信が正確に行えなかったときに表示されます。[はい]を選んで■を押すと、もう一度やり直すことができます。	P.336 P.336 P.336
[入力データまたはURLが長すぎます]	● テキストボックスなどで入力した文字やURLなどの文字数が多すぎて送信できません。 文字数を減らしてから送信し直してください。	－
[入力データをご確認ください(205)]	● サイトやインターネットホームページで入力を行い送信したあとに、サーバーがこの内容をリセットしたいときに表示されます。 画面上の入力した文字や設定が消去されます。(直前に送信した内容はすでに送信されています。)	－
[認証タイプに未対応です(401)]	● 認証できないときに表示されます。 元のページに戻ります。	－
[認証を中止しました]	● 認証画面で[キャンセル]を選択したとき、またはCLRを押したときに表示されます。	－
[パスワードをご確認ください(401)]	● 認証画面で認証できないときに表示されます。	－
[保存中止しました]	● ｉアプリのダウンロード時に保存できなかった場合に表示されます。	－
[添付可能サイズを超えるため添付できません]	● サイズを超えているため添付できません。本文を削除するかファイルを添付せずに送信してください。	P.236
[無効なデータを受信しました(301)] [無効なデータを受信しました(302)]	● 受信したデータにエラーがあるため表示できません。受信したデータは破棄されます。	－
[未送信BOXがいっぱいのため起動できません]	● 未送信メールの空きエリアがないために新規メールを作成できません。未送信メールを送信または削除してから作成し直してください。	P.229 P.250
[メモリ不足です]	● メモリが不足したため、ソフトを実行できません。 ● メモリが不足したため処理を中断し、ｉモードを終了します。	－ －
[メモリ不足です。Internet(フルブラウザ)メニューに戻ります]	● フルブラウザでインターネットホームページを表示中にメモリが不足した場合、[メモリ不足です。Internet(フルブラウザ)メニューに戻ります]と表示されます。この場合は、[確認]を選択してください。開いていたすべてのウィンドウが終了します。	P.294

■ データBOX関連

表　示	説　明	ページ
[一部コピーできませんでした]	● miniSDメモリーカード内に、FOMA SH902iSL以外の端末やパソコンで作成したファイルやフォルダが存在する場合に表示されることがあります。	P.325
[リンク設定データがあるため一部削除できませんでした]	● フォルダの全件削除時に、待受画面や着信音などの各種機能に設定されているため削除されないデータがあった場合に表示されます。 ● xxxSHARP/xxxSH_UF/PRLxxxなどのフォルダ内にフォルダが存在する場合に表示されます。パソコンなどで該当フォルダを削除するか、miniSDメモリーカードをフォーマットしてください。	P.332 P.329

次ページへ続く

表　示	説　明	ページ
[このデータは再生できません　削除しますか？]	● 日時設定がリセットされたあとに、i モーションを再生しようとしたときに表示されます。	―
[再生可能回数が終了しました　削除しますか？]	● 再生可能回数が終了した i モーションを再生しようとしたときに表示されます。	P.222
[再生可能期限が切れました　削除しますか？]	● 再生期間または再生期限が終了した i モーションを再生しようとしたときに表示されます。	P.221
[再生可能日前です　再生できません]	● 再生期間が設定されている i モーションを、再生可能期間前に再生しようとしたときに表示されます。	P.221
[ただいまカメラを利用できません]	● 高温下にて保管されていた場合や、長時間連続で使用して、カメラ周辺部の温度が高くなった場合に表示されます。しばらくたってからカメラをご利用ください。 ● カメラの撮影画面が表示されているときに着信が発生すると、機能制限により表示されることがあります。この場合、着信終了後あるいは通話終了後に再度カメラを起動すれば使用できます。	― ―
[電池残量が足りません]	● 電池残量が不足しています。カメラモードを起動できません。充電してからお使いください。	P.42
[Ⓜ表示]	● メモリの空き容量が1.2Mバイト未満になったときに表示されます。 ● データBOX内のデータや i アプリを整理し、空き容量を確保してください。	― ―
[Ⓜ表示]	● メモリの空き容量が100Kバイト未満になったときに表示されます。 ● データBOX内のデータや i アプリを整理し、空き容量を確保してください。	― ―
[未対応画像です　画像編集できません]	● 画像データが正しくないため編集ができません。	―
[メモリが少なくなっています　不要な画像を削除してください]	● FOMA端末(本体)の空きメモリが少なくなっているため、現在の設定のまま撮影した画像を保存するには、すでに保存されている別のファイルを削除して空きエリアを増やす必要があります。	―

マルチアシスタント(マルチタスク)関連

表　示	説　明	ページ
[電池がありません　保存していないデータは失われます　動作中の機能は終了します]	● 電源が切れる約80秒前に表示されます。充電してください。	P.45
[既に起動中です　実行中の機能を終了し新規起動しますか？]	● すでに起動している機能を選択したときに表示されます。すでに起動中の機能を終了させて新規に起動するか、起動中の画面に切り替えるかを選択できます。	―
[これ以上起動できません] [これ以上起動できません MULTIボタンを押して機能を終了させてください]	● 起動できる最大数の機能が起動しています。使っていない機能を終了させてから再度操作してください。	―
[同時に利用できない機能を使用中です　起動できません　MULTIボタンを押して機能を終了させてください]	● 同時使用ができない機能を起動しています。使用中の機能を終了させてから再度操作してください。	―

その他の表示

表　示	説　明	ページ
[電池不足です　フル充電してください]	● ソフトウェアの更新時、電池残量が[▯]、[▯]のときに表示されます。[▮]になるように充電してください。	P.438
[通信に失敗しました]	● ソフトウェアの更新ができなかった場合に表示されます。再度ソフトウェア更新を実施してください。	P.438
[SSL通信を切断しました]	● ソフトウェアの更新時、FOMA端末の日付(年月日)が正しく設定されていないときに表示されます。FOMA端末の日時設定を行ってください。	P.438
[SSL通信が無効に設定されています]	● ソフトウェアの更新時、SSL証明書が有効に設定されていないときに表示されます。[証明書設定]で証明書1～11のすべてを有効にしてください。	P.438
[他機能実行中のため起動できませんでした]	● 他の機能が実行されているため、予約時刻にソフトウェア更新を実行できませんでした。即時更新を行うか、別の日時を予約し直してください。	P.438

表　示	説　明	ページ
[ただいまメインカメラを利用できません]	● 高温下にて保管されていた場合や、長時間連続でご使用して、FOMA端末の温度が高くなった場合に表示されます。しばらくたってからカメラをご利用ください。 ● 電池残量が少ないときに、テレビ電話でメインカメラを使用した場合に表示されます。充電してからご利用ください。	ー ー
[メモリ不足のためピクチャーコール画像を受信できませんでした]	● お預かりセンターとFOMA端末(本体)電話帳の更新時、FOMA端末(本体)の空きメモリが少ないため画像が保存できなかったときに表示されます。	ー
[プッシュトークグループに一部受信できませんでした]	● お預かりセンターとFOMA端末(本体)電話帳の更新時、お預かりセンターからのデータのプッシュトークグループが19件を超えている、または同じ電話番号がすでに登録されているため登録できなかったときに表示されます。	ー
[無効なデータが含まれています　一部送信できませんでした]	● お預かりセンターとFOMA端末(本体)電話帳の更新時やメールの選択保存時に、FOMAカード動作制限が設定された画像を削除して送信したときに表示されます。	ー
[ＩＣカード内のデータがいっぱいのためダウンロードできません　いずれかのソフトを削除しますか？]	● おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードする際、ＩＣカード内データの容量が足りない場合に表示されます。[はい]を選んで■[決定]を押すと、すでに登録しているおサイフケータイ対応ｉアプリの一覧と、ＩＣカード内の容量(バイト数)が表示されますので、不足エリアサイズを確認したあと、削除するサービスを選択し、ｉアプリを起動して削除してください。ただし、おサイフケータイ対応ｉアプリによっては[はい]を選んで■[決定]を押した後に、おサイフケータイ対応ｉアプリの一覧のみが表示されることがあります。この場合は、一覧からｉアプリを選択して削除してください。	ー
[ファイルの内容が正しくないため表示できません]	● miniSDメモリーカードの管理情報ファイルが正しくありません。miniSDメモリーカードの空き容量が無く、管理情報が正しく更新されなかった可能性がありますので、不要なファイルを削除してminiSDメモリーカードの空き容量を作り、「管理情報の更新」を行ってください。	P.330
[操作中]	● メインディスプレイに待受画面以外を表示させたままFOMA端末を閉じた場合に、サブディスプレイに表示されることがあります。また、表示中は、サイドボタンによる操作はできません。メインディスプレイを待受画面にしてFOMA端末を閉じてください。	ー

保証とアフターサービス

保証について

FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。
必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。
無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、iモード・iアプリにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。

※ 本FOMA端末は、電話帳などのデータをminiSDメモリーカードに保存していただくことができます。
※ 本FOMA端末は、iモーション、iアプリの利用するデータをminiSDメモリーカードに保存していただくことができます。
※ 本FOMA端末は、電話帳お預かりサービス（お申し込みが必要な有料サービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターに保存していただくことができます。
※ パソコン（Windows 98 Second Edition、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP Home Edition、Windows XP Professional）をお持ちの場合は、専用のデータリンクソフト（☞P.426）とFOMA USB接続ケーブル（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

アフターサービスについて

■ 調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。
それでも調子が良くないときは、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先にご連絡のうえ、ご相談ください。

※お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

■ 保証期間内は

保証書の規定に基づき無償で修理を行います。

- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障・損傷などは有償修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有償修理となります。

■以下の場合は修理できないことがあります。

- 水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ・結露・汗などによる腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有償修理となります。

■ 保証期間が過ぎた場合は

ご要望により有償修理いたします。

■ 部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先へお問い合わせください。

お願い

FOMA端末および付属品の改造はおやめください。

- 火災・けが・故障の原因となります。
- FOMA端末・FOMAカードは、電波の混信やネットワークの故障を防ぐため、法律により技術基準が定められており、技術基準を満たさないFOMA端末・FOMAカードは使用できません。
- 改造（部品の交換・改造・塗装など）が施されたFOMA端末の故障修理は、改造部分を元の状態（ドコモ純正品状態）に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取り扱いをさせていただきます。ただし、改造の内容によっては、故障修理をお断りする場合があります。
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。

FOMA端末に貼付されている銘板シールは、剥がさないでください。

- 銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意に剥がされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。

技術基準適合認証品

各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。

- お手数をおかけしますが、この場合は再び、設定を行ってくださるようお願いします。

FOMA端末の下記の箇所に、磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

- 使用箇所：スピーカ、受話口部

FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- お客様ご自身でFOMA端末などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- FOMA端末を機種変更や故障修理する際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。本FOMA端末はｉモード公式サイトからダウンロードした画像・着信メロディを故障修理時に限り移し替えいたします。（一部移し替えできないコンテンツもあります。また、故障の程度によっては移し替えができない場合があります。）

ソフトウェアを更新する

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかチェックし、必要な場合にはパケット通信※を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。

※ ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料となります。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモホームページおよびｉMenuの「お知らせ」にてご案内させていただきます。

- 更新方法には「即時更新」と「予約更新」の２種類があります。
  即時更新：更新したいときすぐ更新を行います。
  予約更新：更新したい日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。
- ｉモード設定の接続先選択をユーザ接続先に設定している場合もソフトウェア更新を行うことができます。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- 以下の場合はソフトウェアを更新できません。
  - 日付・時刻を正しく設定していないとき
  - 電池残量アイコンが[ ]または[ ]になっているとき
  - 通話中・圏外にいるとき
  - セルフモード中
  - 外部機器と接続中
  - オールロック中
  - PIMロック中
  - おまかせロック中
- PIN1コードON／OFF設定を[ON]に設定中にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書換え終了後の自動再起動時に、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話の発信、着信、各種通信機能の操作ができません。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能および、その他機能を利用することはできません。（ダウンロード中は音声電話の着信は可能です。）
- ソフトウェア更新中に送信されてきた、ｉモードメールやメッセージR／Fはｉモードセンターに、SMSはSMSセンターに保管されます。
- ｉモードセンターにｉモードメールやメッセージR／Fが保管されると[ ]／[ ]／[ ]が表示されますが、ソフトウェア更新の再起動時に消えます。また、メール選択受信を[ON]に設定している場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。ｉモードセンターには保管されています。
- ソフトウェアの更新の際には、サーバー（当社のサイト）へSSL通信を行います。SSL証明書を有効にしておく必要があります。（お買い上げ時は[有効]に設定されています。☞P.218）
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが３本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。
  ※ ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。
- すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に[更新は必要ありません　このままご利用ください]と表示されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバー（当社が管理するソフトウェア更新用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新中は絶対に電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新は、携帯電話に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様の携帯電話の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承願います。必要なデータは、更新前にバックアップ（☞P.326、P.426）を取ることをおすすめします。（ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います。）
- ソフトウェア更新に失敗した場合、[書換え失敗しました]と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。

ソフトウェア更新を起動する

1 待受画面で[■][3][8]を押す。

- 詳細メニューから(設定)→[一般設定]→[ソフトウェア更新]の順に選択することもできます。
- 初期設定でもソフトウェア更新確認画面が表示され、ソフトウェア更新を起動できます。(☞P.47)

2 端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力して[■]を押す。

- 入力した端末暗証番号は、[*]で表示されます。お買い上げ時は、[0000]に設定されています。
- ソフトウェア更新注意事項画面で電池残量が不足しているときは、[2][キャンセル]を押します。十分充電してからやり直してください。

3 [1][OK]を押す。

4 [OK]を選んで[■]を押す。

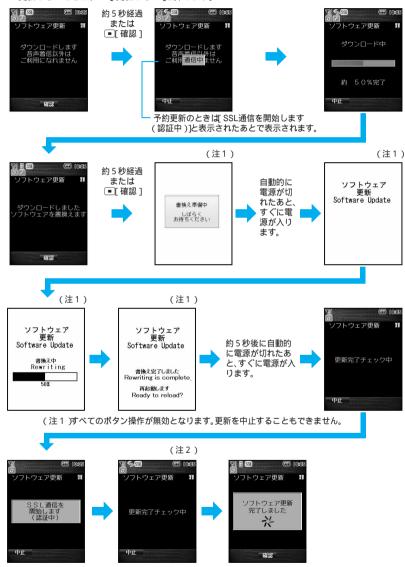
次ページへ続く

5 [OK]を選んで■を押す。

- ソフトウェア更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバー（当社が管理するソフトウェア更新用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新の必要がないときは、[更新は必要ありません　このままご利用ください]と表示されます。■を押して、そのままご利用ください。
- 更新が必要な場合には[更新が必要です]と表示されます。このとき、[今すぐ更新]するか[予約]するかを選択することができます。
- 送信を中止するときは、☎HLD PWRを押します。

すぐにソフトウェアを更新する<即時更新>

1 ソフトウェア更新を起動(☞P.439の操作1～5)し、[I]［今すぐ更新］を押す。

● ソフトウェアのダウンロードが開始されます。以降は、メニューなどを選択しなくても、自動的にソフトウェア更新が実行されます。

● 更新しないときは、[3]［更新しない］を押します。

● [☎]を押すと操作を終了するかどうかの問い合わせ画面が表示されます。ダウンロード中に終了した場合、それまでダウンロードされたデータは削除されます。(ソフト書換え中は操作できません。)

次ページへ続く

- ［通信中］と表示されたあと、［サーバーが混みあっています］と表示されたときは、1［予約］を押します。以降の操作については、P.442「日時を予約してソフトウェアを更新する＜予約更新＞」の操作２～４を参照してください。予約しないときは2［更新しない］を押します。操作を終了するかどうかの問い合わせ画面が表示されます。操作を終了するときは、［はい］を選んで■を押します。

2 ■［確認］を押す。

お知らせ

- 操作１～２を行っているときに［書換え準備中　しばらくお待ちください］、［ソフトウェア更新］、［ソフトウェア更新 書換え中］、［書換え完了しました　再起動します］と表示されているときは、圏外と同じ状態になり着信できません。これ以外の画面が表示されているときは着信できます。通話を終了すると通話する前の画面に戻ります。
- 操作１～２を行っているときに送信されてきたｉモードメールやメッセージR／Fはｉモードセンターに、SMSはSMSセンターに保管されます。
- ソフトウェア更新終了後、待受画面に［ソフトウェア更新完了］または［ソフトウェア更新説明あり］と表示されたら、■を押してください。正常に完了しなかった場合は、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力すると、その旨のメッセージが表示されます。■を押して、更新をし直してください。

日時を予約してソフトウェアを更新する＜予約更新＞

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバーが混みあっている場合には、ソフトウェア更新を行う日時をあらかじめ設定しておくことができます。

1 P.439の操作１～５を行い、2［予約］を押す。

- 予約候補選択画面が表示されます。
- 日時は、サーバーの時刻に合わせて表示されます。
- 操作を中止するときは、操作１～４で☎を押し、［はい］を選んで■を押します。

2 希望日時を選んで■を押す。

- 確認画面が表示されます。
- ［その他の日時］を選んだときは、サーバーと通信したあと、ご希望の日、時間帯を選ぶことができます。まず希望日を選んで■を押し、次に希望時間帯を選んで■を押します。
  時間帯を選択する画面には、各時間帯の予約空き状況が［○：空あり］、［△：空わずか］のように表示されます。希望する時間帯を１つ選んで■を押すと、再びサーバーと通信して予約時刻の候補が表示されます。ご希望の予約候補を選んで■を押します。

3 ［はい］を選んで■を押す。

- 希望日時が予約されます。

4 ■［確認］を押す。

お知らせ

- 操作中に電話がかかってきた場合は電話を受けることができます。通話を終了すると通話する前の画面に戻ります。送信されてきたｉモードメールやメッセージR／Fはｉモードセンターに、SMSはSMSセンターに保管されます。

予約した日時になると

予約した日時に待受画面が表示されていると左の画面が表示され、自動的にソフトウェア更新を開始します。予約した日時に電源が入っていないときは、ソフトウェアは更新されません。
以降は「すぐにソフトウェアを更新する<即時更新>」の操作１と同じ動作になります。
約５秒経過するか[■][確認]を押すと、自動的にソフトウェア更新が開始されます。

- ソフトウェア更新の予約日時には電波の十分届くところで待受画面を表示させておいてください。また、予約した日時に電池残量アイコンが[電池]または[電池]になっていると、ソフトウェアは更新されません。
- 予約した日時に待受画面以外の状態、メール送信中、ｉモード中、ｉアプリ起動中、メニュー表示中、外部機器接続中、セルフモード中、オールロック中、PIMロック中、おまかせロック中など操作を行っていた場合は、予約した日時を過ぎて待受画面に戻ってもソフトウェアは更新されません。メール受信中の場合は、メール受信終了後にソフトウェアが更新されます。
- 予約した日時と同じ時刻にアラームなどが設定されていた場合は(自動マナーモード解除は除く)、アラームなどを優先し、ソフトウェアは更新されません。
- ソフトウェア更新の予約日時になったときFOMA端末の電源が切れている場合や、予約起動後すぐにFOMA端末の電源を切った場合は、予約は無効となります。
- 予約した日時に通話中(着信中および発信中を含む)の場合、約10分以内に待受画面に戻るとソフトウェア更新が起動されます。それ以上経過して待受画面に戻ってもソフトウェアは更新されません。
- 予約が完了したあとに「データ一括削除(ユーザデータ削除)」(☞P.375)を行うと、予約時刻になってもソフトウェア更新は起動しません。再度ソフトウェア更新の予約を行ってください。

予約した日時を確認・変更・取り消す

1 待受画面で[■][3][8]を押し、端末暗証番号(４～８桁の数字)を入力して[■]を押す。

- 画面に予約されている日時が表示されます。

予約を確認したとき	[1]
予約を変更する	[2]→[OK]→[■]を選択すると、希望日選択画面が表示されます。 ● 以降の操作については、「日時を予約してソフトウェアを更新する」(☞P.442の操作１～４)を参照してください。
予約を取り消す	[3]→[はい]→[■]→[OK]→[■]→[予約を取消しました]と表示されたら、[■]

お知らせ

- 操作中に電話がかかってきた場合は電話を受けることができます。通話を終了すると通話する前の画面に戻ります。送信されてきたｉモードメールやメッセージR／Fはｉモードセンターに、SMSはSMSセンターに保管されます。

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る

まずはじめに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロードやｉモードメールなど、外部からFOMA端末に取得したデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- チェックのためにパターンデータを使います。パターンデータは新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。
- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を防ぐことができませんのであらかじめご了承ください。
- パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。そのため当社の都合により端末発売開始後３年を経過した機種向けパターンデータの配信は、停止することがありますのであらかじめご了承ください。

スキャン機能を設定する<スキャン機能設定>

お買い上げ時　有効

スキャン機能設定を［有効］に設定すると、データやプログラムを実行する際、自動的にチェックします。

1 待受画面で■３７３を押す。

- 詳細メニューから✕（設定）→［一般設定］→［スキャン機能］→［スキャン機能設定］の順に選択することもできます。

2 １［有効］を押し、［はい］を選んで■を押す。

- スキャン機能を設定すると、障害を引き起こすデータを検出した場合に５段階の警告レベルで表示されます。（☞P.446）

パターンデータを更新する<パターンデータ更新>

1 待受画面で■３７１を押す。

- 詳細メニューから✕（設定）→［一般設定］→［スキャン機能］→［パターンデータ更新］の順に選択することもできます。

2 ［はい］を選んで■を押す。

- 携帯電話情報を送信しないときは、［いいえ］を選んで■を押します。

3 ［はい］を選んで■を押す。

- ダウンロードが開始されます。
- ダウンロードを中止するときは、［中止］または☎を押し、［はい］を選んで■を押します。
- パターンデータ更新の必要がないときは、［パターンデータは最新です］と表示されます。■を押して、そのままご利用ください。

4 パターンデータ更新が完了したら■を押す。

お知らせ

- パターンデータ更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報(機種や製造番号など)が自動的にサーバー(当社が管理するスキャン機能用サーバー)に送信されます。当社は送信された情報をスキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- FOMA端末の日付(年月日)を正しく設定しておいてください。
- 電波の状態により、ダウンロードが中断される場合があります。

パターンデータを自動的に更新するように設定する<自動更新設定>

自動更新設定を[有効]に設定すると、パターンデータがバージョンアップされたときに、自動的に更新されます。
自動更新が成功した場合、待受画面に自動更新を行った旨のメッセージが表示されます。また、FOMA端末の状態によっては自動更新が行われないことがあります。その場合は、パターンデータのバージョンアップがあった旨のメッセージが表示されます。

1 待受画面で■3 7 2を押し、[有効]を選んで■を押す。

- 詳細メニューから✕(設定)→[一般設定]→[スキャン機能]→[自動更新設定]の順に選択することもできます。

2 [はい]を選んで■を押す。

3 [はい]を選んで■を押す。

4 ■[確認]を押す。

お知らせ

- 自動更新設定の有効／無効の情報はネットワークで保持しています。そのため、設定の際、FOMA端末では常に[有効]が選択された状態になっています。
- 自動更新設定の際、お客様の携帯電話端末固有の情報(機種や製造番号など)が自動的にサーバー(当社が管理するスキャン機能用サーバー)に送信されます。当社は送信された情報をスキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- 電波の状態により、自動更新設定が中断される場合があります。

スキャン結果の表示について

スキャンされた問題要素の表示について

- スキャンを実行すると、問題要素名のレベルの大きい順にスキャン結果の画面が表示されます。
- 問題要素を検出した場合、最大5個まで問題要素名が表示されます。6個以上検出した場合は、5個目の問題要素名の下に[などの問題があります]と表示されます。また、同じ問題要素を複数検出した場合は、1個のみ表示されます。

スキャン結果の表示について

警告レベル0	警告レベル1	警告レベル2	警告レベル3	警告レベル4
問題要素検出 BehaviorLv0 正常に動作できない場合があります 確認	問題要素検出 BehaviorLv1 正常に動作できない場合があります 確認	問題要素検出 BehaviorLv2 正常に動作できない場合があるため終了します 確認	問題要素検出 BehaviorLv3 正常に動作できない場合があります 確認	問題要素検出 BehaviorLv4 正常に動作できないためデータを削除します 確認
表示／起動／発信できます。以前に問題があったが、現在は問題が起こらない場合に表示されます。■[確認]を押すと表示／起動／発信できます。	■[確認]を押すと[動作を中止しますか？]と表示され、[いいえ]を選んで■を押すと表示／起動／発信できます。 [はい]を選んで■を押すと終了します。	表示／起動／発信できません。■[確認]を押すと終了します。	表示／起動／発信できません。■[確認]を押すと[データを削除しますか？]と表示され、[はい]を選んで■を押すと削除されます。 [いいえ]を選んで■を押すとデータを削除しないで終了します。	表示／起動／発信できません。[データを削除します]と表示され、■[確認]を押すと削除されます。

パターンデータのバージョンを確認する<バージョン表示>

1 待受画面で■374を押す。

● 詳細メニューから✕(設定)→[一般設定]→[スキャン機能]→[バージョン表示]の順に選択することもできます。

主な仕様

品名		FOMA SH902iSL
サイズ(H x W x D)		109(H)×51(W)×23(D)mm(折りたたみ時)
質量		約120g(電池パック装着時)
液晶部	方式	メイン:視野切替機能付きモバイルASV液晶/サブ:STN液晶
	サイズ	メイン:2.4inch /サブ:1.0inch
	画素数	メイン:縦320×横240ドット/サブ:縦26×横96ドット
連続待受時間※1※3		静止時 約500時間※4 移動時 約400時間※5
連続通話時間※2※3		音声電話 約140分 テレビ電話 約90分
最大出力		0.25W
電池パック種別		専用リチウムイオン蓄電池
電源電圧		3.7V
電池容量		830mAh
ACアダプタでの充電時間		約110分
DCアダプタでの充電時間		約110分
撮像素子	種類	メインカメラ/CMOS※6、サブカメラ/CMOS※6
	サイズ	メインカメラ CMOS総画素数 約150万画素※6 サブカメラ CMOS総画素数 約12万画素※6
カメラ部	有効画素数	メインカメラ 130万画素 サブカメラ 11万画素
	記録画素数	メインカメラ 120万画素 サブカメラ 10万画素
	ズーム(デジタル)	メインカメラ 最大約25倍 サブカメラ 最大約4倍

※1 連続待受時間とは、FOMA SH902iSLを折りたたみ、電波を正常に受信できる状態で移動したときの目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態(電波が届かないか、弱い場合)などにより、通話・待受時間は半分程度になることがあります。i モード通信を行うと通話(通信)・待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくても、ｉモードメールを作成したり、ダウンロードしたｉアプリ、ｉアプリ待受画面を起動させると通話(通信)・待受時間は短くなります。

※2 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。

※3 データ通信やマルチアクセス実行時およびカメラ起動時も、前述の通話時間や待受時間より短くなります。

※4 FOMA SH902iSLを折りたたみ、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。

※5 FOMA SH902iSLを折りたたみ、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」、「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

※6 CMOS(complementary metal-oxide semiconductor:相補型金属酸化膜半導体)とは、銀塩カメラのフィルムに当たる部分を構成する撮像素子です。

主な仕様(データBOX)

miniSDメモリーカードに保存できる静止画撮影枚数、動画撮影時間、音声録音時間の目安は次のとおりです。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。(☞P.323)

● 保存できる枚数や時間は、撮影環境や被写体などの条件により少なくなることがあります。

静止画撮影枚数(32Mバイト)

	ECONOMY	NORMAL	SUPER FINE
アイコン:76×76	—	約1800枚	—
sQCIF:128×96	約1800枚	約900枚	約900枚
QCIF:176×144	約1800枚	約900枚	約600枚
待受:240×320	約900枚	約600枚	約250枚
CIF:352×288	約900枚	約600枚	約250枚
VGA:480×640	約600枚	約350枚	約250枚
1.2M:960×1280	約200枚	約100枚	約60枚

動画撮影時間(32Mバイト)

			ECONOMY	NORMAL	FINE	SUPER FINE
sQCIF:128×96	メール用(短)	映像+音声	約90秒	約61秒	約30秒	—
		映像のみ	約124秒	約75秒	約36秒	—
	メール用(長)	映像+音声	約152秒	約103秒	約51秒	—
		映像のみ	約210秒	約127秒	約61秒	—
	制限なし	映像+音声	約156分	約106分	約52分	—
		映像のみ	約214分	約130分	約62分	—
QCIF:176×144	メール用(短)	映像+音声	約77秒	約45秒	約16秒	約11秒
		映像のみ	約102秒	約52秒	約18秒	約11秒
	メール用(長)	映像+音声	約131秒	約77秒	約28秒	約19秒
		映像のみ	約172秒	約89秒	約30秒	約20秒
	制限なし	映像+音声	約130分	約79分	約28分	約19分
		映像のみ	約176分	約91分	約31分	約20分
hQVGA:240×176	メール用(短)	映像+音声	—	—	—	—
		映像のみ	—	—	—	—
	メール用(長)	映像+音声	—	—	—	—
		映像のみ	—	—	—	—
	制限なし	映像+音声	—	約31分	約15分	約10分
		映像のみ	—	約34分	約16分	約10分
QVGA:320×240	メール用(短)	映像+音声	—	—	—	—
		映像のみ	—	—	—	—
	メール用(長)	映像+音声	—	—	—	—
		映像のみ	—	—	—	—
	制限なし	映像+音声	—	—	—	約10分
		映像のみ	—	—	—	約10分

音声録音時間(ボイスレコーダー)

● 32Mバイトの場合、最長約5時間です。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.323)

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種FOMA SH902iSLの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機FOMA SH902iSLのSARの値は0.508W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページを参照してください。

総務省のホームページ	http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ	http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ	http://www.nttdocomo.co.jp/product/
シャープ株式会社のホームページ	http://www.sharp.co.jp/products/menu/phone/cellular/sar/index.html

※技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

日本輸出管理規制/米国再輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。
また、米国再輸出規制(Export Administration Regulation)の適用を受けます。
本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては、経済産業省または米国商務省へお問い合せください。

索引／クイックマニュアル

索引

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

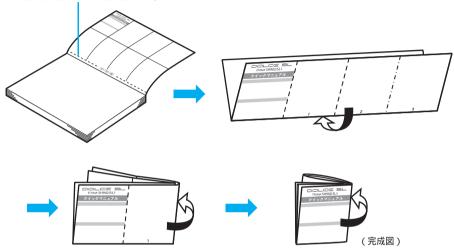
わ

英数字

クイックマニュアル

クイックマニュアルの使いかた

本書に綴じ込みされているクイックマニュアルは切り取り線で切り取り、下記のように折ってご使用ください。なお、クイックマニュアルは２枚合わせてご携帯ください。

折りたたみかた

ご注意

- 切り離しの際、けがなどをしないように十分にご注意ください。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際、回収・リサイクルに出しましょう。

DOLCE SL

（FOMA® SH902iSL）

クイックマニュアル

お申し込み・お問い合わせ

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉
ドコモの携帯電話、PHSからの場合
(局番なしの)151(無料)
※ 一般電話などからはご利用できません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※ 携帯電話、PHSからもご利用になれます。
● ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。

調子が悪いときは

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
(局番なしの)113(無料)
※ 一般電話などからはご利用できません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※ 携帯電話、PHSからもご利用になれます。
● ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。
● なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

電話帳登録

1 待受画面で■1秒以上▶■[本体新規]／■[FOMAカード(UIM)新規]
2 名前▶■▶[■]／[■]※▶■▶電話番号▶■▶電話種別▶■▶[■]／[■]※▶■▶メールアドレス▶■▶メールアドレス種別▶■
※FOMAカードの場合
3 ■[完了]▶メモリ番号(FOMAカードのときは省略)
4 プッシュトーク電話帳登録を選択する(FOMAカードのときは省略)

登録できる項目

アイコン	項 目	補 足
[■]	名前	全角16文字(半角32文字)以内 FOMAカードのときは全角10文字(半角21文字)以内
[ｶﾅ]	フリガナ	自動的に入力(半角32文字以内 FOMAカードのときは全角12文字(半角25文字)以内)
[■]	グループ	20種類 FOMAカードのときは11種類
[■]、[■]	電話番号	3件まで FOMAカードのときは1件
[■]、[■]、[■]、[■]、[■]、[■]、[■]	電話種別※	7種類
[■]、[■]	メールアドレス	3件まで FOMAカードのときは1件
[■]、[■]、[■]、[■]	メールアドレス種別※	4種類
[〒]	郵便番号※	半角7文字
[■]	住所※	全角50文字(半角100文字)以内
[■]	誕生日※	半角数字のみ
[■]	メモ※	全角100文字(半角200文字)以内
[■]	シークレット登録※	電話帳に表示しない
[■]	シークレットコード※	4桁の数字
[♪]	指定着信音選択※	—
[■]	指定メール着信音選択※	—
[■]	ピクチャーコール設定※	1件
[■]	キャラ電設定※	—

※ FOMAカードのときは登録できません。

電話帳編集

1 待受画面で■▶名前▶■■■■▶項目▶■▶編集

電話帳を呼び出して電話をかける

1 待受画面で■
検索方法を切り替えるとき：■■▶検索方法▶■
2 名前▶■
3 ■または■

文字入力

入力モードを切り替える

1 文字入力画面で■
■を押すごとに、ア(全角カタカナ)→ｱ(半角カタカナ)→A(全角英数字)→A(半角英数字)→1(半角数字)→区(区点コード)→漢(漢字・ひらがな)の順に切り替わります。

小文字を入力する

1 全角英数字モード／半角英数字モードで■
小文字入力モードに切り替わります。
文字入力後の小文字変換：■

ワンタッチ変換する

1 文字入力後に■

絵文字・記号を入力する

1 文字入力画面で■[絵・記号]
絵文字モードと記号モードが交互に切り替わります。

文字を削除する

1 カーソルを合わせて■
すべての文字を削除するとき：■1秒以上

定型文を利用する

1 文字入力画面で■1秒以上
2 定型文の分類▶■
3 定型文▶■▶■

顔文字を入力する

1 文字入力画面で■▶[顔文字]▶■▶顔文字▶■

文字入力例

例)「今日のテニス3時🎾」
1 文字入力画面で■2回▶■▶[今日]▶■

● ダイヤルボタンでひらがなを入力します。押す回数で文字が変わります。
● ひらがなを1文字入力するたびに、変換する候補が表示され、選択できます。
● ■で小文字変換されます。
● 同じボタンに割り当てられた文字を連続して入力するときは、■を押してカーソルを移動させるか、最初の文字を入力したあとで、同じボタンを1秒以上押します。

2 ■▶[の]▶■
3 ■■■▶■▶[テニス]▶■

残 9988
今日のテニス

● ■でワンタッチ変換されます。

4 ■5回▶■

残 9987
今日のテニス3

● ■5回で半角数字モードになります。

5 ■2回▶■2回▶■▶■▶[時]▶■

残 9985
今日のテニス3時
▼変換 (31)
の が
に と

● ■で濁点が付きます。

6 ■[絵・記号]▶■▶[🎾]▶■

残 9983
今日のテニス3時🎾
絵文字1

カメラ－静止画撮影

1 待受画面で■
2 ■
3 ■[保存]

カメラ－動画撮影

1 静止画撮影画面で■■■
2 ■[録画]▶(録画)
3 ■[停止]
4 ■[保存]

静止画を表示する

1 待受画面で■■■■▶フォルダ▶■▶静止画▶■

動画を表示する

1 待受画面で■■■■▶フォルダ▶■▶動画▶■

ボイスレコーダーで録音する

1 待受画面で■■■■▶■[録音]▶(録音)▶■[停止]▶■[保存]

テレビ電話

テレビ電話をかける

1 待受画面で、電話番号を入力▶■

テレビ電話を受ける

1 テレビ電話着信▶■

テレビ電話中にキャラ電を代替画像として送る

1 ■■■▶フォルダ▶■▶キャラ電▶■

ブックリーダー

電子辞書や電子書籍を表示する

1 待受画面で■■■■▶フォルダ▶■▶電子書籍／電子辞書▶■
行を移動するとき：■(横書き)／■(縦書き)
次／前のページを表示するとき：■[▼ページ]／■[▲ページ]

<切り取り線>

ｉモードメール作成・送信

1　待受画面で✉1秒以上▶[宛先]▶■
2　2▶宛先を入力▶■
　電話帳から選択するとき：1▶相手▶■
　メール送信／メール受信履歴から選択するとき：3／4▶相手▶■▶■
　メールメンバーから選択するとき：5▶メンバー▶■
3　[題名]▶■▶題名を入力▶■▶[本文]▶■▶本文を入力▶■
4　ⓘ[送信]

デコメールを送る

1　本文入力画面で📷1
2　デコレーション選択▶ⓘ[文字入力]▶文字を入力
3　📷・7[プレビュー]▶■
4　■▶ⓘ[送信]

画像／メロディを送る

1　待受画面で■911
　動画／ｉモーションを送るとき：■912
　メロディを送るとき：■913
2　フォルダ▶■▶ファイル
3　✉[メール]
　「待受：240×320」より大きいJPEG画像のとき：✉[メール]▶ファイルサイズ▶■

SMS（ショートメッセージ）作成・送信

1　待受画面で✉5
2　[宛先]▶■▶2▶宛先を入力▶■▶[本文]▶■▶本文を入力▶■
3　ⓘ[送信]

ｉモード問い合わせ

1　待受画面で✉7
　SMSのとき：✉8

メール自動受信

1　メールが届くと自動的に受信する
2　[メール]▶■▶フォルダ▶■▶メール▶■

詳細メニュー一覧

詳細メニューから選ぶ

1　待受画面で■
2　詳細メニューからアイコン▶■
3　機能▶■

詳細メニュー／ショートカットメニュー／基本メニューの切替

1　待受画面で■▶ⓘ

機能番号で呼び出す

1　待受画面で■▶機能番号

音

機能メニュー		機能番号
音量選択	着信音量選択	111
	メール着信音量選択	112
	チャットメール着信音量選択	113
	プッシュトーク着信音量選択	114
	各種設定音量選択	115
音選択	着信音選択	121
	メール着信音選択	122
	チャットメール着信音選択	123
	プッシュトーク着信音選択	124
	各種設定音選択	125
バイブレータ設定	着信バイブレータ	131
	メール着信バイブレータ	132
マナーモード設定	通常マナーモード	1411
	サイレントマナーモード	1412
	オリジナルマナーモード	1413
着信音出力切替		15
着信鳴動時間設定	メール	161
	プッシュトーク	162
呼出動作開始時間設定		17
保留・応答保留音	応答保留音	181
	保留音	182

表示

機能メニュー		機能番号
メイン画面設定	待受画面設定	211
	待受時計表示設定	212
	カレンダー表示設定	213
サブ画面設定	相手表示設定	221
	時計表示設定	222
文字表示設定		23
テーマカラー設定		24
画面カスタマイズ設定	発着信画面設定	251
	メール送受信画面設定	252
	サブメニュー画像設定	253
	お知らせウィンドウアニメ	254
	マーク表示設定	255
着信ランプ設定	着信ランプ動作設定	261
	メール着信ランプ動作設定	262
着信お知らせ設定		27
省電力設定	通常モード	281
	節約モード	282
	ユーザ設定	283
	サブ画面常時表示設定	284
視野切替設定	マナーモード連動設定	291
	視野切替画面設定	292

一般設定

機能メニュー		機能番号
確認	所有者情報	311
	メモリ確認	312
	電池残量確認	313
	設定状況確認	314
文字入力設定	ユーザ辞書	321
	ダウンロード辞書	322
	定型文編集	323
	変換学習クリア	324
自動電源ON／OFF	自動電源ON	331
	自動電源OFF	332
	アラーム連動電源ON	333
日時設定		34
Bilingual		35
その他の設定	ワンタッチキー設定	361
	USBモード設定	362
スキャン機能	パターンデータ更新	371
	自動更新設定	372
	スキャン機能設定	373
	バージョン表示	374
ソフトウェア更新		38
設定リセット		39

NWサービス

機能メニュー		機能番号
留守番電話	メッセージ問合せ	411
	留守番メッセージ再生	412
	留守番電話サービス開始	413
	留守番呼出時間設定	414
	留守番サービス停止	415
	留守番設定確認	416
	留守番サービス設定	417
	件数お知らせ設定	418
	着信通知	419
キャッチホン	キャッチホンサービス開始	421
	キャッチホンサービス停止	422
	キャッチホンサービス設定確認	423
転送でんわ	転送サービス開始	431
	転送サービス停止	432
	転送先変更	433
	転送先通話中時設定	434
	転送サービス設定確認	435

機能メニュー		機能番号
迷惑電話ストップ	迷惑電話着信拒否登録	441
	電話番号指定拒否登録	442
	迷惑電話全登録削除	443
	迷惑電話１登録削除	444
	拒否登録件数確認	445
発信者番号通知	設定確認	451
	発信者番号通知設定	452
番号通知お願いサービス	番号通知サービス開始	461
	番号通知サービス停止	462
	サービス設定確認	463
通話時間／料金確認		47
通話中着信設定	通話中着信設定開始	481
	通話中着信設定停止	482
	通話中着信設定確認	483
着信動作選択	留守番電話	491
	転送でんわ	492
	着信拒否	493
	通常着信	494

＜切り取り線＞

その他のNWサービス

機能メニュー		機能番号
遠隔操作設定	遠隔操作開始	511
	遠隔操作停止	512
	遠隔操作設定確認	513
デュアルネットワーク	デュアルネットワーク切替	521
	デュアルネットワーク状態確認	522
英語ガイダンス	ガイダンス設定	531
	ガイダンス設定確認	532
サービスダイヤル	ドコモ故障問合せ	541
	ドコモ総合案内・受付	542
追加サービス	USSD登録	551
	応答メッセージ登録	552
マルチナンバー	通常発信番号設定	561
	通常発信番号設定確認	562
	電話番号設定	563
着もじ	メッセージ作成	571
	メッセージ表示設定	572

通話・通信機能設定

機能メニュー		機能番号
通話中設定	ノイズキャンセラ	611
	再接続機能	612
	通話品質アラーム	613

機能メニュー		機能番号
イヤホンマイク自動発信		62
着信時設定	エニーキーアンサー	631
	オート着信設定	632
テレビ電話設定	音声自動発信	641
	送信画像設定	642
	テレビ電話画面設定	643
	子画面表示位置	644
	送信画質設定	645
	テレビ電話切替機能通知	646
	テレビ電話ハンズフリー設定	647
	パケット通信中着信設定	648
伝言メモ設定	伝言メモ設定	651
	伝言応答時間	652
	応答メッセージ	653
	テレビ電話時応答画像	654
プッシュトーク設定	番号通知設定	661
	PT通信中着信設定	662
クローズ動作設定	電話／テレビ電話	671
	プッシュトーク	672
セルフモード		68
その他の設定	プレフィックス設定	691
	サブアドレス設定	692
	国際ダイヤル設定	693

セキュリティ

機能メニュー		機能番号
シークレットモード		71
FOMAカード(UIM)設定	PIN1コード入力設定	721
	PIN1コード変更	722
	PIN2コード変更	723
着信拒否／許可設定	電話帳指定着信許可	731
	電話帳指定着信拒否	732
	電話帳登録外	733
	非通知設定	734
	公衆電話	735
	通知不可能	736
発着信履歴表示	着信履歴表示	741
	リダイヤル表示	742
メール履歴表示	メール送信履歴表示	751
	メール受信履歴表示	752
ロック設定	オールロック	761
	ダイヤル発信制限	762
	PIMロック	763
	ＩＣカードロック	764
	まとめて簡単ロック設定	765
端末暗証番号変更		77
データ一括削除	ユーザデータ削除	781
	シークレットデータ削除	782

その他の設定

機能メニュー	機能番号
初期設定	8
電話番号表示	0

データBOX

機能メニュー	機能番号
マイピクチャ	911
iモーション	912
メロディ	913
キャラ電	914
プリント指定(DPOF)	915

LifeKit

機能メニュー		機能番号
バーコードリーダー		921
赤外線受信		922
トルカ		923
ＩＣカード一覧		924
miniSD管理	miniSDデータ参照	9251
	バックアップ／復元	9252
	インポート	9253
	管理情報の更新	9254

機能メニュー		機能番号
miniSD管理	フォーマット	9255
	USBモード設定	9256
文字読み取り		926
電話帳お預かりサービス	お預かりセンターに接続	9271
	電話帳通信履歴表示	9272
	電話帳内画像送信	9273
スケジュール	スケジュール	9281
	ToDoリスト	9282
便利機能	電卓	9291
	テキストメモ	9292
	タイマー	9293
	アラーム	9294
	音声／伝言メモ	9295

メディアツール

機能メニュー	機能番号
モバイルオーディオ	931
ボイスレコーダー	932
ブックリーダー	933

その他の機能

マナーモード　設定／解除	# １秒以上
公共モード（ドライブモード）設定／解除	* １秒以上

リダイヤルの表示	
着信履歴の表示	
ｉチャネル情報表示	
アクティブマーカー	
ｉモードメニューの表示	
ｉアプリ画面の表示	１秒以上
伝言メモ／音声メモの機能	1 １秒以上
メールメニューの表示	
電話帳の表示	
カメラ（静止画モード）起動	
カメラ（動画モード）起動	静止画撮影画面で [カメラ] 1 2
データBOX画面の表示	[カメラ] １秒以上
サポートブック（内蔵）	待受画面で [MULTI]
マルチアシスタント（マルチタスク）の起動	アプリ実行中に [MULTI]
ショートカットメニューの登録	[ ]が表示されている画面で [MULTI] １秒以上
受話音量変更	▲／▼
視野切替　設定／解除	（ ）
モバイルオーディオの起動再生	FOMA端末を閉じた状態で １秒以上

ネットワークサービス

※ 確認画面が表示されたときは、［はい］を選んで■を押してください。

留守番電話サービス

お申し込みが必要なオプション（月額使用料：有料）サービスです。

STEP１ 留守番電話サービスを開始する。
STEP２ お客様のFOMA端末に音声電話／テレビ電話がかかる。
STEP３ 音声電話／テレビ電話に出られないときは留守番電話サービスセンターに接続される。
STEP４ 相手が用件を伝言メッセージに録音／録画する。
STEP５ 伝言メッセージを再生する。

留守番電話サービスの開始	待受画面で■41 31
呼出時間を設定してからサービスを開始	待受画面で■41 32▶呼出秒数を入力▶■
留守番電話サービスの停止	待受画面で■415
留守番メッセージの再生	待受画面で■412
音声ガイダンスで留守番電話サービスを設定	待受画面で■417
新しい伝言メッセージの確認	待受画面で■411

留守番電話サービスの設定を確認してから変更	待受画面で■416▶[カメラ]▶各設定
伝言メッセージ増加時に着信音を鳴らす	待受画面で■4181▶1［ON］
伝言メッセージマークの消去	待受画面で■4182
着信通知の開始	待受画面で■4191
着信通知の停止	待受画面で■4192
着信通知開始設定確認	待受画面で■4193

キャッチホン

お申し込みが必要なオプション（月額使用料：有料）サービスです。

キャッチホンサービスの開始	待受画面で■421
キャッチホンサービスの停止	待受画面で■422
キャッチホンサービス設定確認	待受画面で■423
通話中の音声電話を保留にして、かかってきた音声電話に出る	通話中に「ププ…ププ…」▶[通話]▶通話▶[通話]▶通話
通話中の音声電話を終わらせて、かかってきた音声電話に出る	通話中に「ププ…ププ…」▶[終話]▶[通話]▶通話
通話中の音声電話を保留にして、別の相手に音声電話をかける	通話中にダイヤル▶[通話]▶通話▶[終話]▶[通話]▶通話

＜切り取り線＞

転送でんわサービス

お申し込みが必要なオプション(月額使用料:無料)サービスです。

STEP 1 転送先の電話番号を登録する。
STEP 2 転送でんわサービスを開始する。
STEP 3 お客様のFOMA端末に音声電話/テレビ電話がかかる。
STEP 4 音声電話/テレビ電話に出られないときはあらかじめ登録した転送先に自動的に転送される。

転送でんわサービスの開始	待受画面で■ 4 3 1 3 1 ▶転送先電話番号の入力▶■▶2▶呼出秒数を入力▶■▶1
転送でんわサービスの停止	待受画面で■ 4 3 2
転送先の変更	待受画面で■ 4 3 3 1 ▶転送先電話番号の修正▶■▶1
転送先が通話中のとき留守番電話サービスで応対	待受画面で■ 4 3 4
転送サービス設定確認	待受画面で■ 4 3 5
着信中/通話中にかかってきた電話を転送先へ転送	着信中/通話中に📷 2

迷惑電話ストップサービス

お申し込みが必要なオプション(月額使用料:無料)サービスです。

最後に着信応答した電話番号を迷惑電話ストップサービスに登録	待受画面で■ 4 4 1
電話番号を選択して着信拒否登録	待受画面で■ 4 4 2
登録した電話番号をすべて削除	待受画面で■ 4 4 3
最後に登録した電話番号1件のみを削除	待受画面で■ 4 4 4
拒否登録した電話番号の件数を確認	待受画面で■ 4 4 5

番号通知お願いサービス

お申し込みなしでご利用いただけます(月額使用料:無料)。

番号通知お願いサービスの開始	待受画面で■ 4 6 1
番号通知お願いサービスの停止	待受画面で■ 4 6 2

デュアルネットワークサービスを利用する

お申し込みが必要なオプション(月額使用料:有料)サービスです。

FOMA端末を使えるようにする	待受画面で■ 5 2 1 ▶ネットワーク暗証番号(4桁の数字)を入力▶■
設定内容確認	待受画面で■ 5 2 2

FOMAからご利用できるサービス

利用できるサービス	電話番号
コレクトコール(料金着信払通話)	(局番なし)106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内(有料)(電話番号の案内を希望されないお客様については、ご案内できません。)	(局番なし)104
電報の発信(有料:電報料)午前8時～午後10時	(局番なし)115
時報サービス(有料)	(局番なし)117
天気予報(有料)	知りたい地域の市外局番+177
警察への緊急通報	(局番なし)110
消防・救急への緊急通報	(局番なし)119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	(局番なし)118
災害用伝言ダイヤル(有料)	(局番なし)171

マーク一覧

メインディスプレイ上部

サブディスプレイ

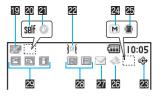
1 19 17 14 7 8 29
self
8/22(火) 10:05
9
20 10 6

電源を入れたときや機能の設定中などに、現在の状態を確認できます。(メインディスプレイ表示/サブディスプレイ表示の順で記載しています。)

1 : 電波状態表示
2 : iモード/フルブラウザ表示
3 : SSL表示
4 : iアプリ表示
5 : ショートカットメニュー表示
6 : 制限表示
7 (グレー)/ : miniSDメモリーカードを挿入中
(ピンク)/ : miniSDメモリーカード内のデータを参照中

8 : 電池残量
: 充電中表示
9 時計表示
10 : ICカードロック表示
11 : アラーム/スケジュールアラーム/ToDoアラーム表示
12 : 伝言メモ表示
～ : 伝言メモ
13 : イヤホンマイク接続表示
14 : 公共モード(ドライブモード)表示
15 : サイレント表示
16 : バイブレータ表示
17 : マナーモード表示
18 : USBモード表示
19 FOMAカードエラー表示
: FOMAカードが挿入されていない、またはFOMAカードに異常がある
: FOMAカード以外のカード挿入中
20 self/ : セルフモード表示
21 : プッシュトーク表示
22 (緑色) (赤色) : 赤外線通信/外部機器通信中表示
23 (赤色) (緑色):ハンズフリー表示
24 メモリ警告表示
(黄色) : メモリの空きが1.2Mバイト未満
(赤色) : メモリの空きが100Kバイト未満
25 : 視野切替表示

26 トルカ表示
(黄色) : 未読トルカあり
27 iモードメール/SMS受信表示
(青色) : 未読メールあり
(赤色) : 受信メールがいっぱい
: センターにメールを保管中
: センターに保管中のメールがいっぱい
(赤文字) (青文字): SMS状態表示
28 メッセージR/Fアイコン表示
: 未読メッセージR/Fあり
: 受信メッセージR/Fがいっぱい
: センターにメッセージR/Fを保管中
: センターに保管中のメッセージR/Fがいっぱい
29 マルチタスク表示
- 2つ以上の機能が起動中の場合サブディスプレイにも表示されます。

※ 表示されるマークの詳しい説明は、取扱説明書のP.28～P.30を参照してください。

<紛失時等の緊急連絡先>

おまかせロック

おまかせロックの設定/解除
0120-524-360
24時間受付

その他緊急連絡先

<連絡先: >

<連絡先: >

<連絡先: >

※ ダイヤル番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。

<切り取り線>

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

★航空機内　★病院内

※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■運転中の場合

運転中のFOMA端末のご使用は、安全な走行の妨げとなり危険です。

※車を安全なところに停車させてからご使用になるか、公共モード（ドライブモード）をご利用ください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気を付けましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●マナーモード（☞P.135）／オリジナルマナーモード（☞P.136）

ボタン確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音を消し、伝言メモが機能します（マナーモード）。マナーモード設定時に、自動的に設定される機能（伝言メモ、バイブレータ、マイク感度アップ、着信音、メール着信音、ボタン確認音、電池残量警告音、マナー再生）のON（設定）／OFF（解除）を設定することもできます（オリジナルマナーモード）。

●公共モード（ドライブモード）（☞P.70）

電話をかけてきた相手の方に、運転中のため電話に出られないことをお知らせするガイダンスを流し、電話を切ります。電話がかかってきても着信音が鳴らないので、安全に運転できます。

●着信バイブレータ（☞P.132）

電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

●伝言メモ（☞P.73）

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の方の用件を録音します。

※その他にも、留守番電話サービス（☞P.378）、転送でんわサービス（☞P.381）などのオプションサービスが利用できます。

「ドコモeサイト」では住所変更、料金プラン変更などの各種お手続き、資料請求を承っております。

ｉモードから	ｉ Menu ▶ 料金&お申込・設定 ▶ ドコモeサイト パケット通信料無料
パソコンから	My DoCoMo（http://www.mydocomo.com/）▶ 各種手続き（ドコモeサイト）

※ｉモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ｉモードからご利用いただく場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合、「DoCoMo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「DoCoMo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は下記総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用できません。

■ 一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。

故障お問い合わせ先

■ ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用できません。

■ 一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。
●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

◎公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道　株式会社NTTドコモ東北　株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海　株式会社NTTドコモ北陸　株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国　株式会社NTTドコモ四国　株式会社NTTドコモ九州

製造元　シャープ株式会社

'07.1（6.1版）
TINSJA201AFZE
07A 7.8 DS SO468⑥

FOMA® SH902iSL
データ通信マニュアル

データ通信マニュアルについて
本マニュアルでは、FOMA SH902iSLでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、CD-ROM内の「SH902iSL通信設定ファイル(ドライバ)」「FOMA PC設定ソフト」のインストール方法などを説明しています。
Windows XPの操作について
本マニュアルでは、Windows XP Service Pack 2 に対応した内容となっております。お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

'06.7(1版)
TINSJA240AFZZ

データ通信について

FOMA端末から利用できるデータ通信について

FOMA端末の通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信、データ転送の３つに分類されます。

- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA端末をmusea、sigmarionⅡ、sigmarionⅢと接続してデータ通信を行うことができます。musea、sigmarionⅡを使用する場合は、アップデートしてご利用ください。アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページを参照してください。
- FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。

■ パケット通信

送受信したデータ量に応じて課金されます。ネットワークに接続中でもデータの送受信を行っていないときは通信料がかからないので、ネットワークに接続したまま必要なときにデータの送受信を行うという使いかたができます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」など、FOMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、送信最大64kbps、受信最大384kbpsの速度でデータ通信できます。（通信環境や、電波などが混み合った状態の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。）
パケット通信はFOMA端末とパソコンなどを接続して、各種設定を行うと利用できます。メールの文字データの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。
データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。
FOMA端末では、パソコンなどによるパケット通信と音声電話を同時に利用できます。

■ 64Kデータ通信

接続している時間に応じて課金されます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」など、FOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDNの同期64Kアクセスポイントを利用します。
64Kデータ通信はFOMA端末とパソコンなどを接続して、各種設定を行うと利用できます。データBOXコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行う場合に適しています。
長時間通信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

■ データ転送

FOMA USB接続ケーブル（別売）や赤外線を使ってデータを転送、交換する、課金が発生しない通信形態です。電話帳、送受信メール、ブックマークなどのデータを送受信できます。
FOMA端末と他のFOMA端末や携帯電話を接続する場合は、赤外線通信を使います。パソコンなどを接続する場合は、赤外線通信とFOMA USB接続ケーブルを使う方法があります。

ご利用にあたっての留意点

■ インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットをご利用の場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この 利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に、インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み不要、月額使用料無料です。

■ 接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときは、FOMAパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- PIAFSなどのPHS64K/32Kデータ通信のアクセスポイントには接続できません。

■ ユーザー認証について

接続先によっては、接続時にユーザー認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、インターネットサービスプロバイダ、または接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

■ パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、以下の条件が必要になります。

- FOMA USB接続ケーブルに対応したパソコンであること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、前述の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況などにより通信ができないことがあります。

お知らせ

- パケット接続を行う場合は、FOMA端末と接続する機器がJATE（財団法人電気通信端末機器審査協会）の認定品である必要があります。

データ通信用語集

APN(Access Point Name)

インターネットサービスプロバイダや企業内LANを識別する文字列。ドコモのインターネット接続サービスmopera Uは「mopera.net」、moperaは「mopera.ne.jp」がAPNとなります。

cid(Context Identifier)

FOMA端末にAPNを登録するときに割り当てる登録番号。FOMA端末では1番から10番まで使えます。

DNS(Domain Name System)

ドメインネーム(例:nttdocomo.co.jp)を、コンピュータで使うIPアドレスに変換するシステムのこと。

IrDA(Infrared Data Association)

赤外線通信に関する規格を制定している組織の名称。

IrMC(Ir Mobile Communications)

携帯電話どうしやPDA(携帯情報端末)間でデータを転送する目的で作られた規格。IrMCに準拠した赤外線端子を持つ携帯電話どうしやPDAとの間で、電話番号やスケジュールをやりとりできます。

OBEX(Object Exchange)

データ通信の国際規格の1つ。OBEXに対応している携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、プリンタなどの間で、データを送受信できます。

QoS(Quality of Service)

サービスの品質。通信時にユーザーの意図どおりに、回線を利用するための技術。FOMA端末では、接続するときの通信速度などを設定できます。(☞P.31、P.36)

W-CDMA

世界標準規格として認定された第三世代移動通信システム(IMT-2000)の1つ。FOMA端末は、W-CDMA規格に準拠しています。

W-TCP

FOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータです。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

パソコンの管理者権限を持ったユーザー

Windows XP、2000 Professionalを使用するときに、OSのシステムなどすべてにアクセスできる権限のこと。1台のパソコンに最低1人は、パソコンの管理者権限を持つユーザーが設定されています。通常、パソコンの管理者権限がないユーザーは、ドライバ、ソフトなどのインストールおよびアンインストールができません。

データ通信の準備の流れ

パソコンとFOMA端末を接続して、パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。以下のような流れになります。

パソコンとFOMA端末を接続する(☞P.3)

通信設定ファイルをインストールする(☞P.4)

	Windows XPをお使いのとき	Windows 2000 Professionalをお使いのとき	Windows Meをお使いのとき	Windows 98をお使いのとき
インストールする	P.4	P.5	P.5	P.6
インストール後の確認をする	P.6	P.6	P.6	P.6

FOMA PC設定ソフトをインストールする(☞P.8)

かんたん設定でパケット通信の設定をする
- mopera Uまたはmopera※(☞P.11)
- その他のプロバイダ(☞P.12)

かんたん設定で64Kデータ通信の設定をする
- mopera Uまたはmopera※(☞P.13)
- その他のプロバイダ(☞P.14)

接続する(☞P.15)

FOMA PC設定ソフトを使わずに通信の設定をする
- パケット通信(☞P.17)
- 64Kデータ通信(☞P.17)

接続する(☞P.25)

※ FOMAでインターネットをするには、ブロードバンド接続などに対応した「mopera U」(お申し込み必要)が便利です。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもございます。また、お申し込みが不要で今すぐインターネットに接続できる「mopera」もご利用いただけます。

通信設定ファイルについて

FOMA端末をパソコンに接続してデータ通信を行うには、添付のCD-ROMから通信設定ファイルをインストールする必要があります。(☞P.4〜P.7)

お知らせ

- インストールに失敗してP.7の操作3の各画面で[FOMA SH902iSL]のデバイス名が表示されていない場合は、通信設定ファイルをアンインストールし(☞P.7)、もう一度インストールしてください。
- 何らかの原因により、パソコンがFOMA端末を認識できなくなった場合は、通信設定ファイルをアンインストールし(☞P.7)、もう一度インストールしてください。
- 自動検索の設定などで、誤って異なるOSのドライバをインストールすると、正しく動作しません。通信設定ファイルをアンインストールし(☞P.7)、もう一度インストールしてください。

FOMA PC設定ソフト／FirstPass PCソフトについて

添付のCD-ROMからFOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールして使うと、FOMA端末とパソコンを接続して行うパケット通信や、64Kデータ通信に必要なさまざまな設定を、簡単に行うことができます。(☞P.8)
また、FirstPass PCソフトは、FirstPass対応のFOMA端末より取得したユーザ証明書を利用してパソコンのWebブラウザからFirstPass対応サイトにアクセスできるようにしたものです。
詳しくはCD-ROM内のFirstPassManualをご覧ください。「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧になるには、Adobe Reader(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます(別途通信料がかかります)。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページを参照してください。

動作環境の確認

通信設定ファイル・FOMA PC設定ソフトは、以下の動作環境でご利用ください。

項　目	必要環境
パソコン本体※1	PC/AT互換機
OS※2	Windows 98、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP(各日本語版)
必要メモリ※3	Windows 98、Windows Me:32MB以上 Windows 2000 Professional:64MB以上 Windows XP:128MB以上
ハードディスク容量※3	5MB以上の空き容量

※1 USBポート(USB仕様1.1/2.0に準拠)が必要です。
※2 OSアップグレードからの動作は保証いたしかねます。
※3 必要メモリ・ハードディスク容量は、「FOMA PC設定ソフト」に関する動作環境です。なお、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。

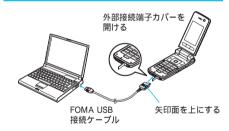
FirstPass PCソフトは、以下の動作環境でご利用ください。

項　目	必要環境
パソコン本体	PC/AT互換機
OS	Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP(各日本語版) (Windows 98には対応していません。)
必要メモリ※	Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000 Professional:32MB以上 Windows XP:128MB以上
ハードディスク※	10MB以上の空き容量
ブラウザ	Internet Explorer 5.5以上 ● Windows XPの場合はInternet Explorer 6.0以上

※ 必要メモリ・ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。
- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用による問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

パソコンとFOMA端末を接続する

パソコンとFOMA端末は、電源が入っている状態で接続してください。通信設定ファイルがインストールされている場合には、FOMA端末の画面に[ ]が表示されます。

FOMA USB接続ケーブルで接続する

1 **FOMA USB接続ケーブル(別売)のFOMA端末側コネクタをFOMA端末の外部接続端子に差し込む。(①)**

2 **FOMA USB接続ケーブルのパソコン側コネクタをパソコンのUSBコネクタに差し込む。(②)**

- はじめてパソコンに接続する場合は、FOMA USB接続ケーブルが差し込まれたことを自動的に認識し、ウィザード画面が表示されます。(☞P.4)

次ページへ続く

取り外しかた

1. FOMA USB接続ケーブルのFOMA端末側のリリースボタンを押した状態(①)で、FOMA端末からコネクタを水平に引き抜く(②)。無理に引っ張ると故障の原因となります。

2. パソコンからFOMA USB接続ケーブルのコネクタを抜く。

お知らせ

- FOMA端末を卓上ホルダで充電しながら接続することもできます。
- データ通信中にFOMA USB接続ケーブルを外さないでください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。

通信設定ファイルをインストールする

通信設定ファイル(ドライバ)をインストールする

Windows XPにインストールする

パソコンの管理者権限を持ったユーザーでインストールしてください。

1 添付の**CD-ROM**をパソコンにセットする。

- ランチャ画面が表示された場合は、画面を終了してください。(閉じてください。)この画面はCD-ROMをパソコンにセットすると自動的に表示されますが、お使いのパソコンの設定によっては表示されないことがあります。

2 **FOMA**端末をパソコンに接続する。

- ウィザードの開始画面が表示されます。

3 [いいえ、今回は接続しません]を選んで[次へ]をクリックする。

- お使いのパソコンにより、この画面が表示されない場合があります。

4 [一覧または特定の場所からインストールする(詳細)]を選んで[次へ]をクリックする。

- 検索場所の指定画面が表示されます。

5 検索するフォルダを指定する。

1. [次の場所で最適のドライバを検索する]を選ぶ。
2. [次の場所を含める]を選んで[参照]をクリックする。
   次のディレクトリを指定します。
   <CD-ROMドライブ名>:\USBDRV
3. [次へ]をクリックする。
   インストールが開始されます。インストールが終了すると検索ウィザードの完了画面が表示されます。

6 [新しいハードウェアの検索ウィザードの完了]が表示されたら、[完了]をクリックする。

- インストールが終了し、次のドライバの検索画面が表示されます。
- 最初にUSBドライバがインストールされます。

7 引き続き他のドライバをインストールする。

- 以降、操作3～6をくり返し行い、以下のドライバを順にインストールします。
  ①モデムドライバ　②OBEXポートドライバ
  ③コマンドポートドライバ
  すべてのドライバのインストールが完了すると、タスクバーのインジケータから[新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました]というポップアップメッセージが数秒間表示されます。
- インストールされるデバイスの種類とデバイス名を確認してください。(☞P.6)

Windows 2000 Professionalにインストールする

パソコンの管理者権限を持ったユーザーでインストールしてください。

1 添付の**CD-ROM**をパソコンにセットする。

- ランチャ画面が表示された場合は、画面を終了してください。（閉じてください。）この画面はCD-ROMをパソコンにセットすると自動的に表示されますが、お使いのパソコンの設定によっては表示されないことがあります。

2 **FOMA**端末をパソコンに接続し、[次へ]をクリックする。

- 検索方法の選択画面が表示されます。

3 [デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）]を選んで[次へ]をクリックする。

- 検索場所の指定画面が表示されます。

4 [場所を指定]を選んで[次へ]をクリックする。

- コピー元の指定画面が表示されます。

5 コピー元を指定して[**OK**]をクリックする。

- 検索終了画面が表示されます。
- コピー元には次のディレクトリを指定します。
<CD-ROMドライブ名>:\USBDRV
- [参照]をクリックした場合は、上記ディレクトリからいずれかのファイルを選んで[開く]をクリックします。

6 [ドライバファイルの検索　ハードウェアデバイスのドライバファイル検索が終了しました。]が表示されたら、[次へ]をクリックする。

- インストールが開始されます。インストールが終了すると検索ウィザードの完了画面が表示されます。
- 表示されるフォルダ名は、お使いのパソコンによって異なります。

7 [完了]をクリックする。

- インストールが終了し、次のドライバの検索画面が表示されます。
- 最初にUSBドライバがインストールされます。

8 引き続き他のドライバをインストールする。

- 以降、[次へ]をクリックし、操作3～7をくり返し行い、以下のドライバを順にインストールします。
①モデムドライバ　②OBEXポートドライバ
③コマンドポートドライバ
- インストールされるデバイスの種類とデバイス名を確認してください。(☞P.6)

Windows Meにインストールする

1 添付の**CD-ROM**をパソコンにセットする。

- ランチャ画面が表示された場合は、画面を終了してください。（閉じてください。）この画面はCD-ROMをパソコンにセットすると自動的に表示されますが、お使いのパソコンの設定によっては表示されないことがあります。

2 **FOMA**端末をパソコンに接続し、[ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）]を選んで[次へ]をクリックする。

- 検索場所の指定画面が表示されます。

3 検索するフォルダを指定する。

❶ [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）]を選ぶ。
❷ [検索場所の指定]を選んで[参照]をクリックする。
次のディレクトリを指定します。
<CD-ROMドライブ名>:\USBDRV
❸ [次へ]をクリックする。
インストール準備完了画面が表示されます。

次ページへ続く ▶▶

4 [新しいハードウェアの検索ウィザードの開始]が表示されたら、[次へ]をクリックする。

- インストールが開始されます。インストールが終了するとウィザードの完了画面が表示されます。
- 表示されるフォルダ名はお使いのパソコンによって異なります。

5 [完了]をクリックする。

- インストールが終了し、次のドライバの検索画面が表示されます。
- 最初にUSBドライバがインストールされます。

6 引き続き他のドライバをインストールする。

- 以降、[次へ]をクリックし、操作3～5をくり返し行い、以下のドライバを順にインストールします。
  ①モデムドライバ　②OBEXポートドライバ
  ③コマンドポートドライバ
- インストールされるデバイスの種類とデバイス名を確認してください。

Windows 98にインストールする

1 添付の**CD-ROM**をパソコンにセットする。

- ランチャ画面が表示された場合は、画面を終了してください。(閉じてください。)この画面はCD-ROMをパソコンにセットすると自動的に表示されますが、お使いのパソコンの設定によっては表示されないことがあります。

2 **FOMA**端末をパソコンに接続し、[次へ]をクリックする。

- 検索方法の選択画面が表示されます。

3 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]を選んで[次へ]をクリックする。

- 検索場所の指定画面が表示されます。

4 検索するフォルダを指定する。

1 [検索場所の指定]を選んで[参照]をクリックする。
次のディレクトリを指定します。
<CD-ROMドライブ名>:\USBDRV

2 [次へ]をクリックする。
インストールを確認する画面が表示されます。

5 [更新されたドライバ(推奨)]を選んで[次へ]をクリックする。

- インストール準備完了画面が表示されます。

6 [次のデバイス用のドライバファイルを検索します。]が表示されたら、[次へ]をクリックする。

- インストールが開始されます。
- 表示されるフォルダ名はお使いのパソコンによって異なります。

7 [新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。]が表示されたら、[完了]をクリックする。

- インストールが終了し、次のドライバの検索画面が表示されます。
- 最初にUSBドライバがインストールされます。

8 [次の新しいドライバを検索しています:]が表示されたら[次へ]をクリックし、引き続き他のドライバをインストールする。

- 以降、[次へ]をクリックし、操作3～7(操作5を除く)をくり返し行い、以下のドライバを順にインストールします。
  ①モデムドライバ　②OBEXポートドライバ
  ③コマンドポートドライバ
- インストールされるデバイスの種類とデバイス名を確認してください。

インストールした通信設定ファイル(ドライバ)を確認する

FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、設定および通信はできません。
<例>　Windows XPで確認するとき

1 [スタート]メニュー→[コントロールパネル]をクリックし、[システム]アイコンをダブルクリックする。

- システムのプロパティ画面が表示されます。

Windows 2000 Professional、Me、98の場合

- [スタート]メニュー→[設定]→[コントロールパネル]の順に選んで[システム]アイコンをダブルクリックします。

2 [ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]をクリックする。

- デバイスマネージャ画面が表示されます。

次ページへ続く ▶▶

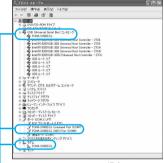
Windows 2000 Professionalの場合

- ［ハードウェア］タブをクリックし、［デバイスマネージャ］をクリックします。
  デバイスマネージャ画面が表示されます。

Windows Me、98の場合

- ［デバイスマネージャ］タブをクリックします。
  デバイスマネージャ画面が表示されます。

3 各デバイスをクリックしてインストールされたデバイス名を確認する。

［ポート（COMとLPT）］または［ポート（COM／LPT）］、［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］または［USB（Universal Serial Bus）コントローラ］、［モデム］の箇所に、インストールしたデバイス名がすべて表示されていることを確認します。

Windows XPの場合

Windows 2000 Professionalの場合

Windows Me、98の場合

認識されるとこのように表示されます。

- 通信設定ファイルをインストールすると、以下のドライバがインストールされます。

デバイスの種類	デバイス名
ポート（COM/LPT）	● FOMA SH902iSL Command Port（COMx） ● FOMA SH902iSL OBEX Port（COMx）
モデム	● FOMA SH902iSL
USB（Universal Serial Bus）コントローラ	● FOMA SH902iSL

※「COMx」の「x」は数値です。お使いのパソコンによって異なります。

インストールに失敗したとき、または操作3の画面に［FOMA SH902iSL］が表示されていないとき

- アンインストールしてから再度インストールしてください。アンインストールの操作については「通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする」を参照してください。

通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする

通信設定ファイルのアンインストール手順を説明します。OSによって画面表示などが異なります。

- Windows XP、2000 Professionalで通信設定ファイルのアンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーが行うとエラーになります。
  パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフトにお問い合わせください。

■ 添付のCD-ROMからアンインストールする

<例> Windows XPでアンインストールするとき

1 添付のCD-ROMをパソコンにセットする。

- ランチャ画面が表示された場合は、画面を終了してください。（閉じてください。）この画面はCD-ROMをパソコンにセットすると自動的に表示されますが、お使いのパソコンの設定によっては表示されないことがあります。

2 ［スタート］メニュー→［ファイル名を指定して実行］をクリックする。

- ［ファイル名を指定して実行］画面が表示されます。

3 ［<CD-ROMドライブ名>：¥USBDRV¥SH902SLU.EXE］と入力し、［OK］をクリックする。

次ページへ続く

4 [お使いのパソコンから**FOMA SH902iSL**が使用しているファイルをアンインストールいたします。]が表示されたら、[実行]をクリックする。

- 通信設定ファイルのアンインストールが開始されます。

5 [アンインストールが完了しました。]が表示されたら、[完了]をクリックする。

- 通信設定ファイルのアンインストールが終了します。

Windows 98の場合

- [今すぐ再起動しますか?]が表示されたら、[はい]をクリックして、パソコンを再起動してください。

■ コントロールパネルからアンインストールする

<例> Windows XPでアンインストールするとき

1 [スタート]メニュー→[コントロールパネル]をクリックし、[プログラムの追加と削除]アイコンをダブルクリックする。

- [プログラムの追加と削除]画面が表示されます。

Windows 2000、Me、98の場合

- [スタート]メニュー→[設定]→[コントロールパネル]の順に選んで、[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。

2 [**FOMA SH902iSL USB**]を選択して、[変更と削除]をクリックする。

3 削除するプログラム名を確認して、[実行]をクリックする。

- 通信設定ファイルのアンインストールが開始されます。

4 [完了]をクリックする。

お知らせ

- Windows Meの場合、通信設定ファイルをアンインストールしたあと、すぐにインストールし直してデータ通信を行うと、パソコンなどの環境によっては正しく通信できないことがあります。その場合は、FOMA USB接続ケーブルを一度抜き差ししてからデータ通信を行ってください。

FOMA PC設定ソフトによる通信の設定

FOMA PC設定ソフトについて

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。FOMA PC設定ソフトを使うと、簡単な操作で以下の設定ができます。

かんたん設定

メニューに従って操作することで、「FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成」や「W-TCPの設定」などを簡単に行います。

W-TCPの設定

[FOMAパケット通信]を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。
通信性能を最大限に活用するには、[W-TCP設定]による通信設定の最適化が必要です。

接続先(APN)の設定

パケット通信を行う際に必要な接続先(APN)の設定を行います。
FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPN(Access Point Name)と呼ばれる接続先名を登録し、その登録番号(cid)を接続先電話番号欄に指定して接続します。お買い上げ時、cidの1番にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、cidの3番にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されていますが、その他のプロバイダや企業内LANに接続する場合はAPN設定が必要になります。
cid[Context Identifier]…
FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先(APN)を管理する番号のこと。FOMA端末にAPN登録をするときに設定します。

お知らせ

- FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信や64Kデータ通信を設定することもできます。(☞P.17)

■ FOMA PC設定ソフトのインストールからインターネット接続までの流れ

FOMA PC設定ソフトの動作環境をご確認ください。(☞P.3)

STEP 1 FOMA PC設定ソフトをインストールする
お使いのパソコンに、本機種より前に発売されたFOMA端末に添付のW-TCP環境設定ソフト(以後、旧[W-TCP設定ソフト])、およびFOMAデータ通信設定ソフト(以後、旧[FOMAデータ通信設定ソフト])、FOMA PC設定ソフトをインストールされている場合は、あらかじめそれらのソフトをアンインストールしてください。
FOMA PC設定ソフトは、データ通信対応のすべてのFOMA端末で利用できます。

STEP 2 設定前の準備
設定を行う前に以下のことを確認してください。

- FOMA端末とパソコンの接続(☞P.3)
- FOMA端末がパソコンに認識されているか(☞P.6)

STEP 3 かんたん設定で通信の設定を行う

- mopera Uまたはmoperaを利用したパケット通信(☞P.11)
- その他のプロバイダを利用したパケット通信(☞P.12)
- mopera Uまたはmoperaを利用した64Kデータ通信(☞P.13)
- その他のプロバイダを利用した64Kデータ通信(☞P.14)

その他の設定は、P.17以降を参照してください。

STEP 4 接続する(☞P.15)
インターネットに接続します。

次ページへ続く

お知らせ

- FOMA端末がCOM20より大きい番号として認識されている場合は、接続先（APN）設定の際、接続先（APN）の情報の取得・書き込みができません。その場合は、ハイパーターミナルを使って、接続先（APN）の設定をしてください。（☞P.17）

FOMA PC設定ソフト／FirstPass PCソフトをインストールする

- Windows XP、2000 ProfessionalでFOMA PC設定ソフト／FirstPass PCソフトのインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーが行うとエラーになります。
  パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフトにお問い合わせください。
- インストールを始める前に、稼動中の他のプログラムがないことをご確認ください。ご使用中のプログラムがある場合は、FOMA PC設定ソフトの[キャンセル]をクリックし、使用中のプログラムを保存終了させたあと、インストールを再開してください。

<例>　Windows XPにインストールするとき

- Windows XP以外をご使用のときは、画面の表示が異なります。

1 添付のCD-ROMをパソコンにセットする。

2 [FOMA PC設定ソフトのインストール]をクリックする。

- 何らかの理由によりランチャ画面が表示されない場合は、Windowsの[スタート]メニューで[ファイル名を指定して実行]をクリックし、[<CD-ROMドライブ名>:\FOMA_PCSET\SETUP.EXE]と指定して[OK]をクリックします。

FirstPass PCソフトをインストールする場合

- ランチャ画面で[FirstPass PCソフトのインストール]をクリックします。
- CD-ROM内のFirstPassPCSoftフォルダ内の[FirstPassManual]の手順に従ってインストールしてください。

3 [次へ]をクリックする。

- 旧[W-TCP設定ソフト]および旧[FOMAデータ通信設定ソフト]がインストールされているという画面や、すでに[FOMA PC設定ソフト]がインストールされているという画面が表示された場合は、P.10を参照してください。

4 内容を確認のうえ、契約内容に同意する場合は[はい]をクリックする。

- FOMA PC設定ソフトの使用許諾契約書です。[いいえ]をクリックすると、インストールは中止されます。

5 [タスクトレイに常駐する]が☑であることを確認し、[次へ]をクリックする。

- セットアップ後、タスクトレイにW-TCP設定が常駐します。（☞P.15）
  これは、W-TCP通信の最適化の設定・解除を操作する機能で、常駐をおすすめします。
  インストール後に常駐の設定は変更できます。

6 インストール先を確認し、[次へ]をクリックする。

- 変更する場合は[参照]をクリックし、任意のインストール先を指定して[次へ]をクリックしてください。

7 プログラムフォルダのフォルダ名を確認し、[次へ]をクリックする。

- 変更する場合はフォルダ名を入力して[次へ]をクリックしてください。

8 [InstallShield Wizardの完了]の画面で[完了]をクリックする。

- FOMA PC設定ソフトが起動します。
  このまま各種設定を始められます。（☞P.11）

FOMA PC設定ソフト インストール時の注意

- 旧「W-TCP設定ソフト」、旧「FOMAデータ通信設定ソフト」または「FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合

旧「W-TCP設定ソフト」、旧「FOMAデータ通信設定ソフト」または「FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合、警告画面が表示されます。[OK]をクリックし、[アプリケーション(プログラム)の追加と削除]より、これらのソフトをアンインストールしてから、「FOMA PC設定ソフト」をインストールしてください。

- インストール途中で[キャンセル]をクリックした場合

セットアップ途中で[キャンセル]や[いいえ]をクリックし、インストールを中断した場合、セットアップの中止画面が表示されます。インストールを継続する場合は[いいえ]を、意図的に中止する場合は、[はい]をクリックしてください。

FOMA PC設定ソフト／FirstPass PCソフトをアンインストールする

アンインストールを実行する前に

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする前に、FOMA用に変更された通信設定を元に戻す必要があります。

- Windows XP、2000 ProfessionalでFOMA PC設定ソフト／FirstPass PCソフトのアンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーが行うとエラーになります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフトにお問い合わせください。

1 タスクトレイの[ ]を右クリックし、[終了]をクリックする。

右クリック

クリック

2 起動中のプログラムを終了させる。

- FOMA PC設定ソフトやW-TCP設定ソフトが起動中にアンインストールを実行しようとすると、上のような画面が表示されます。アンインストールプログラムを中断し、それぞれのプログラムを終了させてください。

アンインストールする

<例> Windows XPでアンインストールするとき

1 [スタート]メニュー→[コントロールパネル]をクリックし、[プログラムの追加と削除]アイコンをダブルクリックする。

- プログラムの追加と削除画面が表示されます。

Windows 2000 Professional、Me、98の場合

- [スタート]メニュー→[設定]→[コントロールパネル]の順に選んで[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。アプリケーションの追加と削除画面が表示されます。

2 [NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト]を選んで[変更と削除]をクリックする。

[NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト]を選ぶ

ここをクリック

FirstPass PCソフトをアンインストールする場合

- [FirstPass PCソフト]を選んで[変更と削除]をクリックします。

Windows Me、98SEの場合

- [追加と削除]をクリックします。

Windows 2000 Professionalの場合

- [変更と削除]をクリックします。

3 削除するプログラム名を確認し、[はい]をクリックする。

- FOMA PC設定ソフトのアンインストールが開始されます。

4 [OK]をクリックする。

- FOMA PC設定ソフトのアンインストールが終了します。

W-TCP最適化の解除

- W-TCPが最適化されている場合は次の画面が表示されます。
- 最適化の解除をする場合は、[はい]をクリックしてください。W-TCP最適化の解除は、再起動後に行われます。

各種設定前の準備

この設定ソフトでは、表示される設問に対する選択・入力を進めていくと、簡単にFOMA用ダイヤルアップを作成できます。

● 設定を行う前にFOMA端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。(☞P.3)

1 プログラムを起動する。

● [スタート]メニュー→[プログラム](Windows XPの場合は、[すべてのプログラム])→[FOMA PC設定ソフト]→[FOMA PC設定ソフト]の順に選びます。
FOMA PC設定ソフトを起動すると上の画面が表示されます。

タスクトレイからW-TCP設定を操作する場合

● タスクトレイの[ ]をクリックし、W-TCP設定を起動してください。(☞P.15)

各種設定の方法

■ かんたん設定からパケット通信を選択する場合(mopera Uまたはmoperaを利用)

最大384kbpsの高速パケット通信※の設定を行います。プロバイダは、ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaを利用します。

※【高速パケット通信】送受信したデータ量に応じて課金されます。接続時間を気にせずデータ通信ができます。送信最大64kbps、受信最大384kbps(一部機種を除く)の高速パケット通信が可能です。通信環境や、電波などが混み合った状態の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。パケット通信を利用して画像を含むサイトやインターネットホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータの多い通信を行うと、通信料が高額になりますので、ご注意ください。

1 FOMA PC設定ソフトを起動し、[かんたん設定]をクリックする。

2 [パケット通信]を選んで[次へ]をクリックする。

3 [「mopera U」への接続]または[「mopera」への接続]を選んで[次へ]をクリックする。

● mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。mopera Uを選択すると、ご契約の確認メッセージが表示されます。

● mopera Uまたはmopera以外のプロバイダをご利用の場合(☞P.12)

4 [FOMA端末設定取得]の画面で[OK]をクリックする。

● パソコンに接続されたFOMA端末から接続先(APN)設定を取得します。
しばらくお待ちください。

5 接続名を入力して[次へ]をクリックする。

● [接続名]欄に任意の接続名を入力します。

● 次の記号(半角文字)は入力できません。
\ / : * ? ! < > ¦ ”

6 [次へ]をクリックする。

● mopera Uまたはmoperaをご利用の場合は、[ユーザー名]と[パスワード]については空欄でも接続できます。

次ページへ続く

- ご使用のOSがWindows XP、2000 Professionalの場合は、使用可能なユーザーを選びます。

Windows XP、2000 Professionalの場合

Windows Me、98の場合

7 [最適化を行う]が☑であることを確認し、[次へ]をクリックする。

- パケット通信に必要なW-TCP設定を最適化します。すでに最適化されている場合には、この画面は表示されません。

8 設定情報を確認し、[完了]をクリックする。

- 設定した内容が一覧画面で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
  [デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する]が☑のとき、ショートカットが自動的に作成されます。
  設定内容を変更する場合は[戻る]をクリックしてください。

9 [完了]の画面で[**OK**]をクリックする。

- 設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動をする旨の画面が表示された場合は、[はい]を選びます。
- 通信を行うには(☞P.15)

■ かんたん設定からパケット通信を選択する場合(その他のプロバイダを利用)

最大384kbpsの高速パケット通信※の設定を行います。
※ 高速パケット通信について(☞P.11)

1 P.11の操作1～4を行う。

- 操作3の接続先は[その他]を選びます。

2 接続名を入力して[接続先(APN)設定]をクリックする。

- [接続名]欄に任意の接続名を入力します。
- 次の記号(半角文字)は入力できません。
  \ / : ＊ ? ! < > ¦ ”
- お買い上げ時、[接続先(APN)の選択]には、moperaに接続するための接続先(APN)、[mopera.ne.jp]が設定されています。
- [発信者番号通知を行う]を☑にすると、通信実行時に発信者番号を通知します。

高度な設定(TCP/IPの設定)

- [詳細情報の設定]をクリックするとIPアドレス・ネームサーバーの設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に、各種アドレスを登録してください。

3 接続先(**APN**)を設定する。

- お買い上げ時、cidの1番にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」、cidの3番にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。
  1 [追加]をクリックする。
  接続先(APN)の追加画面が表示されます。
  2 [接続先(APN)]にご利用のプロバイダのFOMAパケット網に対応した接続先名(APN)を正しく入力して[OK]をクリックする。
  接続先(APN)設定画面に戻ります。
- [接続先(APN)]には半角文字で、英数字、ハイフン(-)、ピリオド(.)のみ入力できます。

※cidは10まで登録可能です。

4 [接続先(**APN**)設定]の画面で[**OK**]をクリックする。

- 操作2の画面に戻ります。[接続先(APN)の選択]には、操作3で設定した接続先(APN)が表示されます。

5 [接続先(**APN**)の選択]で接続先名(**APN**)を確認し、[次へ]をクリックする。

次ページへ続く ▶▶

6 ユーザー名・パスワードを設定し、[次へ]をクリックする。

- ユーザー名・パスワードの設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字、小文字などに注意し、正確に入力してください。
- ご使用のOSがWindows XP、2000 Professionalの場合は、使用可能なユーザーを選びます。

Windows XP、2000 Professionalの場合

Windows Me、98の場合

7 [最適化を行う]が☑であることを確認し、[次へ]をクリックする。

- パケット通信に必要なW-TCP設定を最適化します。すでに最適化されている場合には、この画面は表示されません。

8 設定情報を確認し、[完了]をクリックする。

- 設定した内容が一覧画面で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
  [デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する]が☑のとき、ショートカットが自動的に作成されます。
  設定内容を変更する場合は[戻る]をクリックしてください。

9 [完了]の画面で[OK]をクリックする。

- 設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動をする旨の画面が表示された場合は[はい]を選びます。
- 通信を行うには(☞P.15)

■ かんたん設定から64Kデータ通信を選択する場合(mopera Uまたはmoperaを利用)

64Kデータ通信※の設定を行います。プロバイダは、ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaを利用します。

※【64Kデータ通信】接続していた時間に応じて課金されます。64kbpsの安定した通信速度によって快適なインターネットアクセスを実現できます。長時間通信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

1 P.11の操作1～4を行う。

- 操作2の接続方法は[64Kデータ通信]を選びます。

2 接続名の入力とモデムを選んで[次へ]をクリックする。

- [接続名]欄に任意の接続名を入力します。
- 次の記号(半角文字)は入力できません。
  \ / : ＊ ? ! < > ¦ ”
- [モデムの選択]が[FOMA SH902iSL]に設定されていることを確認してください。

3 [次へ]をクリックする。

- mopera Uまたはmoperaをご利用の場合は、[ユーザー名]と[パスワード]については空欄でも接続できます。
- ご使用のOSがWindows XP、2000 Professionalの場合は、使用可能なユーザーを選びます。

Windows XP、2000 Professionalの場合

次ページへ続く ▶▶

Windows Me、98の場合

4 設定情報を確認し、[完了]をクリックする。

● 設定した内容が一覧画面で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
[デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する]が☑のとき、ショートカットが自動的に作成されます。
設定内容を変更する場合は[戻る]をクリックしてください。

5 [完了]の画面で[**OK**]をクリックする。

● 通信を行うには(☞P.15)

■ かんたん設定から64Kデータ通信を選択する場合(その他のプロバイダを利用)

64Kデータ通信※の設定を行います。

※【64Kデータ通信】接続していた時間に応じて課金されます。64kbpsの安定した通信速度によって快適なインターネットアクセスを実現できます。

1 **P.11**の操作１～４を行う。

● 操作２の接続方法は[64Kデータ通信]、操作３の接続先は[その他]を選びます。

2 各項目を設定し、[次へ]をクリックする。

● ISDN同期64Kアクセスポイントを持つプロバイダに接続する場合は、ダイヤルアップ作成時に以下の項目をそれぞれ登録します。

■ 接続名:任意
■ モデムの選択:FOMA SH902iSL
■ 電話番号:
　プロバイダ情報を元に正しく入力してください。

● 接続名に次の記号(半角文字)は入力できません。
\ / : ＊ ? ! < > ¦ ”

● 電話番号に入力できる文字は次のとおりです。
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D P T W a b c d p t w
! @ $ - . ( ) + ＊ # , &および半角スペース

● [発信者番号通知を行う]を☑にすると、通信実行時に発信者番号を通知します。

高度な設定(TCP/IPの設定)

● [詳細情報の設定]をクリックするとIPアドレス・ネームサーバー設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に、各種アドレスを登録してください。

3 ユーザー名・パスワードを設定し、[次へ]をクリックする。

● ユーザー名・パスワードの設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字、小文字などに注意し、正確に入力してください。

● ご使用のOSがWindows XP、2000 Professionalの場合は、使用可能なユーザーを選びます。

Windows XP、2000 Professionalの場合

Windows Me、98の場合

4 設定情報を確認し、[完了]をクリックする。

● 設定した内容が一覧画面で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
[デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する]が☑のとき、ショートカットが自動的に作成されます。
設定内容を変更する場合は[戻る]をクリックしてください。

5 [完了]の画面で[**OK**]をクリックする。

設定した通信を実行する

1 デスクトップの接続アイコンをダブルクリックする。

- 接続画面が表示されます。
- 接続アイコン名には、設定を行ったときに作成した接続名が表示されます。

アイコンはOSによって異なります。

2 接続を実行する。

- Windows XPの画面です。他のOSをご使用のときは、画面の表示が異なります。
- mopera Uまたはmoperaを選んだ場合は[ユーザー名]と[パスワード]については空欄でも接続できます。
- P.14の操作3で[ユーザー名]と[パスワード]を入力した場合は、その情報が入力されています。
- その他のプロバイダやダイヤルアップ接続の場合は、[ユーザー名]と[パスワード]を入力して[ダイヤル]をクリックします。
- ユーザー名とパスワードを保存する項目を☑にすると、次回からは入力の必要がなくなります。

お知らせ

- デスクトップに接続アイコンがないとき
  (Windows XP)
  [スタート]メニュー→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ネットワーク接続]をクリックする。
  (Windows 2000 Professional)
  [スタート]メニュー→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ネットワークとダイヤルアップ接続]をクリックする。
  (Windows Me、98)
  [スタート]メニュー→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ダイヤルアップネットワーク]をクリックする。
- FOMA端末には、パケット通信を実行すると発信中の画面、64Kデータ通信を実行すると呼出中の画面がそれぞれ表示されます。
- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。

切断のしかた

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作をしてください。

タスクトレイの[ ]をクリックし、[切断]をクリックする。

- 接続が切断されます。

W-TCP設定

W-TCPの役割

W-TCP設定ソフトはFOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最適化するためのTCPパラメータ設定ツールです。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、このソフトウェアによる通信設定が必要です。

最適化の設定と解除

● Windows XPの場合

Windows XPの場合は、ダイヤルアップごとの最適化設定が可能です。

1 FOMA PC設定ソフトを起動し、[W-TCP設定]をクリックする。

タスクトレイからW-TCP設定を操作する場合

- タスクトレイの[ ]をクリックし、W-TCP設定を起動してください。

2 次の操作を行う。

システム設定が最適化されていない場合

- 次の画面が表示されます。
  [最適化を行う]をクリックすると、W-TCP設定(ダイヤルアップ)画面が表示されます。
  最適化するダイヤルアップを選んで[実行]をクリックすると、システム設定、ダイヤルアップ設定それぞれの最適化が実行されます。
  システム設定は、画面表示に従ってパソコンを再起動したあと、最適化が有効になります。

次ページへ続く ▶▶

システム設定が最適化されている場合

- 次の画面が表示されます。
  内容を変更する場合は設定を行ってください。
  変更した内容はパソコンを再起動したあと、有効になります。

最適化を解除する場合

- W-TCP設定(ダイヤルアップ)画面で[システム設定]をクリックします。
  次の画面が表示されます。
  [最適化を解除する]をクリックし、画面表示に従ってパソコンを再起動したあと、最適化が解除されます。

- Windows 2000 Professional、Me、98の場合

1 「**Windows XPの場合**」の操作1を行う。

2 次の操作を行う。

システム設定が最適化されていない場合

- 次の画面が表示されます。
  [最適化を行う]をクリックし、現在開いているすべてのプログラムを終了させ、最適化設定を有効にするために、再起動を実行してください。

システム設定が最適化されている場合

- 次の画面が表示されます。
  FOMA端末以外での通信などの理由から設定を解除する場合は、[最適化を解除する]をクリックしてください。再起動を確認する画面が表示されます。現在開いているすべてのプログラムを終了し、最適化解除を有効にするために、再起動を実行してください。

接続先(APN)の設定

FOMA端末からの接続先(APN)情報の読み込み

[接続先(APN)設定]をクリックし、FOMA端末設定取得画面で[OK]をクリックすると、接続されたFOMA端末に自動的にアクセスし、登録されている接続先(APN)情報を読み込みます。(FOMA端末が接続されていない場合は起動しません。)また、設定情報はツールバーから[ファイル]→[FOMA端末から設定を取得]を順に選んでも読み込むことができます。

接続先(APN)の追加・編集・削除

● 接続先(APN)を追加する場合

接続先(APN)設定画面で、[追加]をクリックします。

● 登録済みの接続先(APN)を編集または修正する場合

接続先(APN)設定画面で、対象の接続先(APN)を一覧から選んで[編集]をクリックします。

● 登録済みの接続先(APN)を削除するには

接続先(APN)設定画面で、対象の接続先(APN)を一覧から選んで[削除]をクリックします。

- 番号(cid)の1と3に登録されている接続先(APN)は削除できません。(番号(cid)の3を選択して、「削除」をクリックしても、実際には削除されず、「mopera.net」に戻ります。)

ファイルへの保存

FOMA端末に登録された接続先(APN)設定のバックアップや編集中の接続先(APN)設定を保存したい場合は、ツールバーの[ファイル]からの操作で、接続先(APN)設定の保存ができます。

■ ファイルからの読み込み

保存された接続先（APN）設定を再編集したり、FOMA端末に書き込みたい場合には、ツールバーの[ファイル]からの操作で、パソコンに保存されている接続先（APN）設定を読み込むことができます。

■ FOMA端末への接続先（APN）情報の書き込み

接続先（APN）設定画面で、[FOMA端末へ設定を書き込む]をクリックすると、表示されている接続先（APN）設定をFOMA端末に書き込むことができます。

■ ダイヤルアップ作成機能

接続先（APN）設定画面で追加・編集された接続先（APN）を選んで[ダイヤルアップ作成]をクリックします。FOMA端末への書き込み確認画面が表示されますので、[はい]をクリックしてください。接続先（APN）への書き込み終了後、パケット通信用ダイヤルアップの作成画面が表示されます。
任意の接続名を入力して[アカウント・パスワードの設定]をクリックします。（mopera Uまたはmoperaをご利用の場合は、空欄でも接続できます。）
[ユーザー名]と[パスワード]を入力して（Windows XP、2000 Professionalの場合は使用可能ユーザーを選んで）[OK]をクリックしてください。

ご利用のプロバイダより、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合、パケット通信用ダイヤルアップの作成画面で[詳細情報の設定]をクリックし、必要な情報を登録後、[OK]をクリックしてください。
設定を入力後、[FOMA端末へ設定を書き込む]をクリックして、上書きを確認してから、書き込みを実行してください。

FOMA PC設定ソフトを使わない通信の設定

パケット通信と64Kデータ通信の設定手順

FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信／64Kデータ通信を設定する方法について説明します。設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここではWindows標準添付の「ハイパーターミナル」を使って説明します。

- ATコマンドで設定する操作は、以下のような流れになります。
- 64Kデータ通信の場合、接続先（APN）の設定はありません。

ATコマンドをサポートする通信ソフトを起動する（操作2～5）

接続先（APN）の設定をする（☞P.18の操作6～7）	発信者番号通知／非通知を設定する（☞P.18）	ダイヤルアップネットワークを設定する（☞P.19）

通信ソフトを終了する（☞P.18の操作7）

お知らせ

- パケット通信／64Kデータ通信の設定をする前に通信設定ファイルをインストールしてください。（☞P.4）
- ATコマンドとは、モデム制御用のコマンドです。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。
- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaをご利用になる場合、お買い上げ時に設定されているため、接続先（APN）の設定は不要です。
- 発信者番号通知の設定は必要に応じて設定してください。（mopera Uまたはmoperaをご利用の場合、[通知]に設定する必要があります。）お買い上げ時は、[設定なし]に設定されています。
- その他の設定は必要に応じて設定してください。お買い上げ時のままでも利用できます。

接続先（APN）の設定

パケット通信を行う場合の接続先（APN）を設定します。最大10件まで登録できます。接続先は1～10のcid（☞P.18）という番号で管理されます。お買い上げ時、cidの1番にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」、cidの3番にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が設定されていますので、cid2、4～10に接続先（APN）を登録してください。

- 登録したcidはダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。
- mopera Uまたはmopera以外の接続先（APN）については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

<例> Windows XPの場合

1 **FOMA端末をパソコンに接続する。**

2 [スタート]メニュー→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ハイパーターミナル]の順に選ぶ。

- ハイパーターミナルが起動します。

Windows 2000 Professional、Meの場合

- [スタート]メニュー→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ハイパーターミナル]の順に選びます。

次ページへ続く ▶▶

Windows 98の場合

- ［スタート］メニュー→［プログラム］→［アクセサリ］→［通信］→［ハイパーターミナル］→［hypertrm.exe］の順に選びます。

3 ［名前］に接続先名など任意の名前を入力して［**OK**］をクリックする。

- 電話番号の詳細設定画面が表示されます。

4 ［接続方法］から［**FOMA SH902iSL**］を選んで［電話番号］に実在しない電話番号（［０］など）を仮入力して、［**OK**］をクリックする。

- 市外局番には、Windowsに設定されている値［03］などが表示されますが、接続先（APN）の設定とは関係ありませんので、任意の値を設定してください。

5 接続画面が表示されたら、［キャンセル］をクリックする。

6 接続先（**APN**）を入力して⏎を押す。

- 「AT+CGDCONT=<cid>, "PPP","APN"」の形式で入力します。（☞P.31）
  <cid>：　２、４～10までのうち任意の番号を入力します。
  "PPP"：　そのまま"PPP"と入力します。
  "APN"：　接続先（APN）の名称を" "で囲んで入力します。
- ［OK］と表示されると、APNの設定は完了です。

- 現在の接続先（APN）設定を確認したい場合は「AT+CGDCONT?⏎」と入力すると、接続先（APN）設定が一覧画面で表示されます。

ATコマンドを入力しても画面に何も表示されない場合

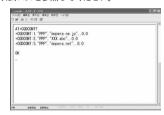
- ATE1⏎
  詳しくは、P.33を参照してください。

ATコマンドで接続先（APN）設定をリセットする場合

- AT+CGDCONT=⏎：　すべてのcidをリセットします
- AT+CGDCONT=<cid>⏎：特定のcidのみリセットします

リセットした場合、<cid>=１は「mopera.ne.jp」（初期値）、<cid>=3は「mopera.net」（初期値）に戻り、<cid>=２、４～10の設定は未登録になります。

ATコマンドで接続先（APN）設定を確認する場合

- AT+CGDCONT?⏎
  詳しくは、P.31を参照してください。

7 ［**OK**］が表示されていることを確認し、［ファイル］メニューから［ハイパーターミナルの終了］を選ぶ。

- ハイパーターミナルが終了します。
- ［セッション×××を保存しますか？］と表示されますが、保存する必要はありません。

発信者番号の通知／非通知を設定する

発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には十分にご注意ください。

1 **P.17**の操作１～５を行う。

次ページへ続く

2 パケット通信時の発信者番号の通知（186）／非通知（184）を設定する。

- 「AT*DGPIR=<n>」の形式で入力します。（☞P.30）
  AT*DGPIR=1⏎：
  パケット通信確立時、接続先（APN）に「184」を付けて接続します。
  AT*DGPIR=2⏎：
  パケット通信確立時、接続先（APN）に「186」を付けて接続します。

3 ［OK］が表示されたことを確認する。

■ ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に「186」（通知）／「184」（非通知）を付けることができます。
*DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で「186」（通知）／「184」（非通知）の設定を行った場合は、次のようになります。

ダイヤルアップネットワークの設定（<cid>=1の場合）	*DGPIRコマンドによる通知／非通知設定	発信者番号の通知／非通知
*99***1#	設定なし（初期値）	通知
	非通知	非通知
	通知	通知
184*99***1#	設定なし（初期値）	非通知（ダイヤルアップネットワークの「184」が優先される）
	非通知	
	通知	
186*99***1#	設定なし（初期値）	通知（ダイヤルアップネットワークの「186」が優先される）
	非通知	
	通知	

- 「186」（通知）／「184」（非通知）を［設定なし］（初期値）に戻すには、「AT*DGPIR=0」と入力してください。
- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaをご利用になる場合は、発信者番号を［通知］に設定する必要があります。

ダイヤルアップネットワークを設定する

接続先およびTCP/IPプロトコルを設定します。設定内容の詳細については、インターネットサービスプロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。

■ 接続先について

パケット通信では、あらかじめ接続先（APN）設定をしておきます。接続先（APN）設定で1～10の管理番号（cid）に接続先（APN）を登録しておけば、その管理番号を指定してパケット通信ができます。接続先（APN）設定とはパソコンでパケット通信用の電話帳を登録するようなもので、通常の電話帳と比較すると次のようになります。

電話帳の登録	パケット通信の設定
登録番号（メモリ番号）	1～10の管理番号（cid）
相手の名前	接続先の名前（接続先（APN））
相手の電話番号	*99***<cid>#

たとえば、moperaの接続先（APN）、「mopera.ne.jp」をcid1に登録している場合、「*99***1#」という接続先番号を指定すると、moperaに接続できます。他のcidに登録した場合も同様です。
*99***1#：　cid1に登録した接続先（APN）に接続します。*99#でも接続できます。
*99***2#：　cid2に登録した接続先（APN）に接続します。
　　～
*99***10#：　cid10に登録した接続先（APN）に接続します。
お買い上げ時、cid1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、cid3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。
moperaまたはmopera Uの接続先（APN）以外のインターネットサービスプロバイダや企業LANに接続する場合は、cid2、4～10に接続先（APN）を登録してください。（☞P.18）
64Kデータ通信では、接続先にはインターネットサービスプロバイダやネットワーク管理者から指定されたアクセスポイントの電話番号を入力します。

- 設定内容の詳細については、インターネットサービスプロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 64Kデータ通信をご利用の場合のアクセスポイントの電話番号は、mopera Uをご利用の場合「*8701」、moperaをご利用の場合「*9601」です。
- パケット通信をご利用の場合の接続先番号は、mopera Uをご利用の場合「*99***3#」、moperaをご利用の場合「*99***1#」です。（お買い上げ時）

■ Windows XPでダイヤルアップネットワークの設定をする

Windows XPでは「ネットワークの接続ウィザード」を使用して、接続先（APN）とTCP/IPプロトコルの両方を設定します。

＜例＞ <cid>=3を使いドコモのインターネット接続サービスmopera Uへ接続する場合（mopera Uをご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。）

1 ［スタート］メニュー→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［通信］→［ネットワーク接続］をクリックする。

- ネットワーク接続画面が表示されます。

2 ［ネットワークタスク］の［新しい接続を作成する］をクリックする。

- 新しい接続ウィザード画面が表示されます。

3 ［次へ］をクリックする。

- ネットワーク接続の種類を選ぶ画面が表示されます。

4 ［インターネットに接続する］を選んで［次へ］をクリックする。

- 準備画面が表示されます。

5 ［接続を手動でセットアップする］を選んで［次へ］をクリックする。

- インターネット接続画面が表示されます。

6 ［ダイヤルアップモデムを使用して接続する］を選んで［次へ］をクリックする。

- デバイスの選択画面が表示されます。

7 ［モデム－**FOMA SH902iSL（COMx）**］を選んで［次へ］をクリックする。

- 「x」には数字が入ります。
- 接続名画面が表示されます。
- ［FOMA SH902iSL］以外のモデムがインストールされていない場合、この画面は表示されません。

8 ［**ISP**名］に任意の接続名を入力して［次へ］をクリックする。

- ダイヤルする電話番号画面が表示されます。
- ［ISP名］とは、インターネットサービスプロバイダの名称です。

9 ［電話番号］に接続先の番号を入力して［次へ］をクリックする。

- インターネットアカウント情報画面が表示されます。
- ここでは<cid>=3（mopera U）への接続のため、「*99***3#」を入力します。

10 各項目を画面例のように設定し、［次へ］をクリックする。

- 新しい接続ウィザードの完了画面が表示されます。
- mopera Uまたはmoperaをご利用の場合は、［ユーザー名］と［パスワード］については空欄でも接続できます。
- mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合の［ユーザー名］と［パスワード］は、プロバイダご使用のユーザー名とパスワードを入力してください。

11 ［新しい接続ウィザードの完了］が表示されたら、［完了］をクリックする。

- 新しく作成した接続ウィザードが表示されます。

12 設定内容を確認し、［キャンセル］をクリックする。

- ここではすぐに接続せずに、設定の確認のみを行います。

13 作成した接続先アイコンを選んで［ファイル］メニューの［プロパティ］を選ぶ。

- 接続先のプロパティ画面が表示されます。

次ページへ続く ▶▶

14 [全般]タブの各項目の設定を確認する。

- パソコンに２台以上のモデムが接続されている場合は、[接続の方法]の[FOMA SH902iSL]が☑になっているか確認します。□の場合は、☑にします。また、[FOMA SH902iSL]以外のモデムの☑を□にします。
- [ダイヤル情報を使う]が□になっていることを確認します。☑の場合は、□にします。

15 [ネットワーク]タブをクリックし、各項目の設定を確認し、[設定]をクリックする。

- [呼び出すダイヤルアップサーバーの種類]は[PPP:Windows95/98/NT4/2000, Internet]に設定します。
- [この接続は次の項目を使用します]の欄は、[インターネットプロトコル(TCP/IP)]のみを☑にします。[QoSパケットスケジューラ]は設定変更できませんので、そのままにしておいてください。
- PPP設定画面が表示されます。
- ISPなどに接続する場合のTCP/IP設定は、ISPまたはネットワーク管理者に確認してください。

16 すべての項目を□にし、[**OK**]をクリックする。

- 接続先のプロパティ画面に戻ります。

17 [プロパティ]の画面で[**OK**]をクリックする。

- 接続先とTCP/IPプロトコルが設定されます。
- ダイヤルアップ接続するにはP.25を参照してください。

Windows 2000 Professionalでダイヤルアップネットワークの設定をする

Windows 2000 Professionalでは「ネットワークの接続ウィザード」を使用して、接続先とTCP/IPプロトコルの両方を設定します。

＜例＞ <cid>=3を使いドコモのインターネット接続サービスmopera Uへ接続する場合(mopera Uをご利用いただく場合は、お申し込みが必要(有料)となります。)

1 [スタート]メニュー→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ネットワークとダイヤルアップ接続]をクリックする。

- ネットワークとダイヤルアップ接続画面が表示されます。

2 [新しい接続の作成]アイコンをダブルクリックする。

- 所在地情報画面が表示されます。
- この画面は[新しい接続の作成]をはじめてダブルクリックしたときに表示されます。
２回目以降の場合は、操作５へ進みます。

3 [市外局番]を入力して[**OK**]をクリックする。

- 電話とモデムのオプション画面が表示されます。

4 [**OK**]をクリックする。

- ネットワークの接続ウィザード画面が表示されます。

5 [次へ]をクリックする。

- ネットワーク接続の種類を選択する画面が表示されます。

6 [インターネットにダイヤルアップ接続する]を選んで[次へ]をクリックする。

- ウィザードの開始画面が表示されます。

7 [インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク(**LAN**)を使って接続します]を選んで[次へ]をクリックする。

- インターネットの選択画面が表示されます。

8 [電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します]を選んで[次へ]をクリックする。

- モデムの選択画面が表示されます。

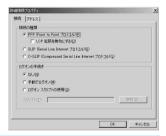
次ページへ続く

9 [インターネットへの接続に使うモデムを選択する]が[**FOMA SH902iSL**]に設定されていることを確認し、[次へ]をクリックする。

- インターネットアカウントの接続情報画面が表示されます。
- [FOMA SH902iSL]に設定されていない場合は、[FOMA SH902iSL]に設定してください。
- [FOMA SH902iSL]以外のモデムがインストールされていない場合、この画面は表示されません。

10 [電話番号]に接続先の番号を入力して[詳細設定]をクリックする。

- 詳細設定プロパティの接続画面が表示されます。
- [市外局番とダイヤル情報を使う]が☐になっていることを確認します。☑の場合は☐にします。

11 [接続]タブの各項目を画面例のように設定する。

12 [アドレス]タブをクリックし、各項目を画面例のように設定する。

- ISPなどに接続する場合のTCP/IP設定は、ISPまたはネットワーク管理者に確認してください。

13 [**OK**]をクリックする。

- インターネットアカウントの接続情報画面に戻ります。

14 [次へ]をクリックする。

- インターネットアカウントのログイン情報画面が表示されます。

15 各項目の設定を確認し、[次へ]をクリックする。

- コンピュータの設定画面が表示されます。
- mopera Uまたはmoperaをご利用の場合は、[ユーザー名]と[パスワード]については空欄でも接続できます。
- mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合の[ユーザー名]と[パスワード]は、プロバイダご使用のユーザー名とパスワードを入力してください。

16 [接続名]に任意の接続名を入力して[次へ]をクリックする。

- e-mailアカウントの設定画面が表示されます。

17 [いいえ]を選んで[次へ]をクリックする。

- インターネット接続ウィザードの終了画面が表示されます。

18 [完了]をクリックする。

- ネットワークとダイヤルアップ接続画面に戻ります。

19 作成した接続先アイコンを選んで[ファイル]メニューの[プロパティ]を選ぶ。

- 接続先のプロパティ画面が表示されます。

次ページへ続く

20 [全般]タブの各項目の設定を確認する。

- パソコンに２台以上のモデムが接続されている場合は、[接続の方法]の[FOMA SH902iSL]が☑になっているか確認します。□の場合は、☑にします。また、[FOMA SH902iSL]以外のモデムの☑を□にします。
- [ダイヤル情報を使う]が□になっていることを確認します。☑の場合は□にします。

21 [ネットワーク]タブをクリックし、各項目の設定を確認する。

- [呼び出すダイヤルアップサーバーの種類]は[PPP:Windows95/98/NT4/2000, Internet]に設定します。
- コンポーネントは[インターネットプロトコル(TCP/IP)]のみを☑にします。

22 [設定]をクリックする。

- PPPの設定画面が表示されます。

23 すべての項目を□にし、[OK]をクリックする。

- 接続先のプロパティ画面に戻ります。

24 [OK]をクリックする。

- 接続先とTCP/IPプロトコルが設定されます。
- ダイヤルアップ接続するにはP.25を参照してください。

■ Windows Meでダイヤルアップネットワークの設定をする

＜例＞ <cid>=3を使いドコモのインターネット接続サービスmopera Uへ接続する場合(mopera Uをご利用いただく場合は、お申し込みが必要(有料)となります。)

1 [スタート]メニュー→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ダイヤルアップネットワーク]をクリックする。

- はじめて操作したときは、「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面が表示されます。
- ２回目以降は「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面は表示されません。操作３へ進みます。

2 [次へ]をクリックする。

- ダイヤルアップネットワーク画面が表示されます。

3 [新しい接続]をダブルクリックする。

- 接続名を入力する画面が表示されます。

4 [接続名]に任意の接続名を入力して[次へ]をクリックする。

- 接続先電話番号の指定画面が表示されます。
- [モデムの選択]が[FOMA SH902iSL]に指定されていることを確認してください。設定されていない場合は、[FOMA SH902iSL]に設定してください。

5 接続先の番号を入力して[次へ]をクリックする。

- ダイヤルアップネットワーク接続の完了画面が表示されます。
- [市外局番]欄には何も入力しません。

次ページへ続く ▶▶

6 接続先名を確認し、[完了]をクリックする。

- 接続先が設定されます。

7 作成した接続先アイコンを選んで[ファイル]メニューの[プロパティ]を選ぶ。

- 接続先の詳細設定画面が表示されます。

8 [全般]タブの各項目の設定を確認する。

- [市外局番とダイヤルのプロパティを使う]が☐になっているか確認します。☑の場合は☐にします。
- [接続方法]が[FOMA SH902iSL]に設定されていることを確認してください。設定されていない場合は、[FOMA SH902iSL]に設定してください。

9 [ネットワーク]タブをクリックし、各項目の設定を確認する。

- [ダイヤルアップサーバーの種類]は[PPP：インターネット、Windows 2000/NT、Windows Me]に設定します。
- [使用できるネットワークプロトコル]は[TCP/IP]のみを☑します。
- ISPなどに接続する場合のTCP/IP設定は、ISPまたはネットワーク管理者に確認してください。

10 [セキュリティ]タブをクリックし、各項目の設定を確認後、[OK]をクリックする。

- TCP/IPが設定されます。
- mopera Uまたはmoperaをご利用の場合は、[ユーザー名]と[パスワード]については空欄でも接続できます。
- mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合の[ユーザー名]と[パスワード]は、プロバイダご使用のユーザー名とパスワードを入力してください。
- ダイヤルアップ接続するにはP.25を参照してください。

■ Windows 98でダイヤルアップネットワークの設定をする

＜例＞ <cid>=3を使いドコモのインターネット接続サービスmopera Uへ接続する場合（mopera Uをご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。）

1 [スタート]メニュー→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ダイヤルアップネットワーク]をクリックする。

- はじめて操作したときは、「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面が表示されます。
- ２回目以降は「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面は表示されません。操作３へ進みます。

2 [次へ]をクリックする。

- ダイヤルアップネットワーク画面が表示されます。

次ページへ続く

3 [接続名]に任意の接続名を入力して[次へ]をクリックする。

- 接続先電話番号の指定画面が表示されます。
- [モデムの選択]が[FOMA SH902iSL]に設定されていることを確認してください。設定されていない場合は、[FOMA SH902iSL]に設定してください。

4 接続先の番号を入力して[次へ]をクリックする。

- ダイヤルアップネットワーク接続の完了画面が表示されます。
- [市外局番]欄には何も入力しません。

5 接続先名を確認し、[完了]をクリックする。

- 接続先が設定されます。

6 作成した接続先アイコンを選んで[ファイル]メニューの[プロパティ]を選ぶ。

- 接続先の全般設定画面が表示されます。

7 [全般]タブの各項目の設定を確認する。

- [市外局番とダイヤルのプロパティを使う]が☐になっているか確認します。☑の場合は☐にします。
- [接続の方法]が[FOMA SH902iSL]に設定されていることを確認してください。設定されていない場合は、[FOMA SH902iSL]に設定してください。

8 [サーバーの種類]タブをクリックし、各項目の設定を確認する。

- [ダイヤルアップサーバーの種類]は[PPP:インターネット、Windows NT Server、Windows 98]に設定します。
- [使用できるネットワークプロトコル]は[TCP/IP]のみを☑にします。
- ISPなどに接続する場合のTCP/IP設定は、ISPまたはネットワーク管理者に確認してください。

9 [OK]をクリックする。

- TCP/IPが設定されます。

ダイヤルアップ接続する

<例> Windows XPでダイヤルアップ接続する場合

1 FOMA端末をパソコンに接続する。

2 [スタート]メニュー→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ネットワーク接続]をクリックする。

- ダイヤルアップネットワーク画面が表示されます。

次ページへ続く ▶▶

3 接続先のアイコンをダブルクリックする。

- 接続画面が表示されます。
- 接続先のアイコンを選んで[ファイル]メニューの[接続]を選ぶと、接続画面が表示されます。

4 各項目を確認し、[ダイヤル]をクリックする。

- 接続先へ接続されます。
- [ダイヤル]には「ダイヤルアップネットワークを設定する」(☞P.19)で設定した電話番号が表示されます。
- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、[ユーザー名]と[パスワード]については空欄でも接続できます。

■ 切断するには

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作をしてください。

タスクトレイの[ ]をクリックし、[切断]をクリックする。

- 接続が切断されます。

データの送受信(OBEX)について

FOMA端末内のデータをパソコンと送受信する

- FOMA端末は、データ通信用のプロトコルとして、OBEXを持っています。本データ通信(OBEXによるデータの送受信)を使ってパソコンとの間で電話帳、電話番号表示の所有者情報、スケジュール、ToDoリスト、送信メール(SMS含む)、受信メール(SMS含む)、未送信メール(SMS含む)、テキストメモ、メロディ、マイピクチャ、iモーション、マイドキュメント、ブックマークのデータを送受信できます。また、FOMA SH902iSLには赤外線通信機能が搭載されています。赤外線通信機能を搭載した他のFOMA端末やパソコンなどと電話帳や受信メールなどのデータを送信したり、受信したりできます。また、miniSDメモリーカード経由でもデータを転送できます。
- FOMA端末では、次の3通りのデータ送信が可能です。
  - ■ パソコンからFOMA端末にデータを1件ずつ送信する(1件書き込み)
  - ■ パソコンからFOMA端末にデータを一括して送信する(全件書き込み)
  - ■ FOMA端末からパソコンにデータを一括して送信する(全件読み出し)
- データの送受信中は圏外となり、音声電話やテレビ電話、iモードやiモードメール、パケット通信などはできません。
- データの送受信終了後、しばらく[圏外]と表示される場合があります。

お知らせ

- FOMA端末とパソコンが正しく接続されているか十分に確認してください。正しく接続されていない場合、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- FOMA端末の電池残量が十分残っていることを確認してください。電池残量がほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。FOMA端末を卓上ホルダで充電しながら操作することをおすすめします。
- パソコンの電源についても確認してください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- 待受画面の状態でデータ通信を行ってください。待受画面に動画/iモーションを設定している場合は、動画/iモーションの再生を停止してからデータ通信を行ってください。
- 通信中(音声通話やテレビ電話、データ通信)にデータの送受信はできません。また、データの送受信中には他の通信もできません。ただし、データの送受信開始直後などは着信を受ける場合があります。その場合、データの送受信が中止されます。
- FOMAカード内の電話帳は送信できません。
- 赤外線通信時、メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているメロディ、静止画、iモーションやPDFデータはパソコンに送信できません。ただし、内蔵のカメラで撮影した静止画や動画は、ファイル制限が[あり]に設定されていても送信されます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。

次ページへ続く ▶▶

お知らせ

- ｉアプリの起動指定が貼り付けられているメールは、貼り付けられているデータを削除して送信されます。
- 10001バイト以上500Kバイト以下のJPEG画像を添付したメールの添付データは削除して送信されます。
- オールロック、またはセルフモードが設定されている場合、電話帳などのデータの送受信はできません。PIMロックが設定されている場合、ロックされている機能のデータの受信はできません。
- ダイヤル発信制限が設定されている場合、電話帳のデータは送受信できません。
- データの大きさによっては、送受信に時間がかかる場合があります。また、データの大きさによってはFOMA端末で受信できない場合があります。
- 電話帳のデータを受信する場合、1件受信のときは、メモリ番号[010]から、全件受信のときは、メモリ番号の情報に従って登録します。
- 電話帳を全件受信すると、電話番号表示に登録されている所有者情報（1件目の電話番号を除く）も上書きされます。
- 電話帳はメモリ番号順に送信されます。
- 全件送信を行うと電話番号表示の所有者情報は電話帳と一緒に送信されます。
- 1.2Mバイトを超えるPDFは送信できません。

データの送受信（OBEX）に必要な機器

- データの送受信を行うには、OBEXに準拠したデータ転送用のソフトをインターネットからダウンロードし、パソコンにインストールする必要があります。データ転送用のソフトの動作環境、インストール方法については、データ転送用のソフトの取扱説明書を参照してください。また、あらかじめFOMA SH902iSL通信設定ファイルのインストール（☞P.4～P.6）が必要です。
- FOMA端末とパソコンの接続には、FOMA USB接続ケーブルが必要です。

お知らせ

- FOMA端末のデータの送受信（OBEX）機能は、IrMC1.1に準拠しています。ただし、相手機器がIrMC1.1に準拠していてもアプリケーションによっては送受信できないデータがあります。

データを1件送信する（1件書き込み）

- パソコンからFOMA端末へデータを1件ずつ送信します。
- FOMA端末からパソコンへ1件ずつ送信することはできません。
- データ送信の操作方法は、データ転送用のソフトによって異なります。詳しくは、データ転送用のソフトの取扱説明書を参照してください。

1 パソコンからデータ転送用のソフトを使ってデータ送信（1件書き込み）の操作を行う。

- データ送信のしかたについては、データ転送用のソフトの取扱説明書を参照してください。

お知らせ

- 電話帳のデータを1件ずつ受信するとき（パソコンからFOMA端末（本体）へ送信するとき）は電話帳のメモリ番号[010]～[749]の空いているメモリ番号の中で最も若いメモリ番号に登録されます。[010]～[749]がすべて登録されているときは、[000]～[009]の空いているメモリ番号の中で最も若いメモリ番号に登録されます。
- 電話帳のデータを受信した場合、すでに名前や電話番号またはメールアドレスが750件登録されているときや750件を超えるときは、登録できないことを通知するメッセージが表示されます。

データを全件送信する（全件書き込み／全件読み出し）

- パソコンとFOMA端末の間で一括書き込みと一括読み出しができます。
- 「全件書き込み」あるいは「全件読み出し」の操作では、データ転送用のソフトとFOMA端末の両方で認証パスワードを入力する必要があります。
- データ送信の操作方法は、データ転送用のソフトによって異なります。詳しくは、データ転送用のソフトの取扱説明書を参照してください。

1 パソコンからデータ転送用のソフトを使ってデータ送信（全件転送）の操作を行う。

- データ送信のしかたについては、データ転送用のソフトの取扱説明書を参照してください。
- パソコン側でも認証パスワードの入力が必要です。
- 認証パスワードは4桁の数字を入力してください。

2 FOMA端末で、端末暗証番号（4～8桁の数字）と認証パスワード（4桁の数字）を入力する。

3 データ送信を開始する。

お知らせ

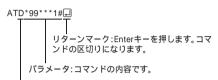
- パソコンからFOMA端末への全件書き込みを行うとFOMA端末のデータはすべて書換えられます。元のFOMA端末のデータは消去されますので、ご注意ください。シークレット登録した電話帳、スケジュール、保護されたメールを含みます。
- パソコンからFOMA端末への全件書き込みの途中で送信エラーが起こると、送信中のFOMA端末のすべてのデータが消去されることがあります。全件書き込みの前にケーブルの接続、FOMA端末の電池残量、パソコンの電源の状態を確認してください。FOMA端末を卓上ホルダで充電しながら操作することをおすすめします。
- 相手の機器によっては、通信状況（バー表示）が表示されないことがあります。

ATコマンド一覧

ATコマンドについて

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。パソコンでコマンドを入力すると、その内容に従ってFOMA端末が動作します。

ATコマンドの入力形式

ATコマンドは、コマンドの先頭に必ずATを付けて入力します。必ず半角英数字で入力してください。以下に入力例を示します。

ATコマンドはコマンドに続くパラメータ（数字や記号）を含めて、必ず１行で入力します。１行とは最初の文字から⏎を押した直前までの文字のことで、160文字（AT含む）まで入力できます。

ATコマンドの入力モード

ATコマンドでFOMA端末を操作するには、パソコンをターミナルモードにしてください。ターミナルモードにすると、キーボードから入力された文字がそのまま通信ポートに送られ、FOMA端末を操作できます。

- オフラインモード
  FOMA端末が待受の状態です。通常ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、この状態で操作を行います。
- オンラインデータモード
  FOMA端末が通信中の状態です。この状態のときにATコマンドを入力すると、送られてきた文字をそのまま通信先に送信して、通信先のモデムを誤動作させることがあります。通信中はATコマンドを入力しないでください。
- オンラインコマンドモード
  FOMA端末が通信中の状態でも、特別な操作をすると、ATコマンドでFOMA端末を操作できる状態になります。その場合、通信先との接続を維持したままATコマンドを実行し、終了すると再び通信を続けられます。

お知らせ

- ターミナルモードとは、パソコンを１台の通信端末（ターミナル）のように動作させるモードです。キーボードから入力した文字が通信ポートに接続されている機器や回線に送られます。

オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替える

FOMA端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えるには、以下の方法があります。

- +++コマンドまたはS2レジスタに設定したコードを入力します。
- AT&D1に設定されているときに、RS-232C※のER信号をOFFにします。

また、オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替えるには、ATO⏎と入力します。

※ USBインターフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリケーションによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

ATコマンド一覧

[M]：FOMA SH902iSL Modem Portで使用できるATコマンドです。

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT [M]	—	本コマンドの後に本一覧表のコマンドを付加することでFOMA端末のモデム機能を制御することができます。 ※ATのみ入力した場合でもOKが応答されます。	AT⏎ OK
AT%V [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。※2	—	AT%V⏎ Ver1.00 OK
AT&C<n> [M]	DTEへの回路CD（DCD）信号の動作条件を設定します。※1	n=0 ：回路CDを常にON n=1 ：回路CD信号は回線接続状態に従って変化（お買い上げ時） &C1に設定する場合は、接続完了時のCONNECTを送出する直前にCD信号を「ON」にします。回路が切断され、“NO CARRIER”を送出する直前にCD信号を「OFF」にします。	AT&C1⏎ OK
AT&D<n> [M]	オンラインデータモードのときに、DTEから受け取る回路ER（DTR）信号が「ON」から「OFF」に変わったときの動作を設定します。※1	n=0 ：状態を無視（常にONとみなす） n=1 ：ONからOFFに変わるとオンラインコマンドモード状態になる n=2 ：ONからOFFに変わると回線を切断しオフラインモード状態になる（お買い上げ時）	AT&D1⏎ OK
AT&E<n> [M]	接続時の速度表示仕様を選択します。※1	n=0 ：無線区間通信速度を表示 n=1 ：DTEシリアル通信速度を表示（お買い上げ時）	AT&E0⏎ OK
AT&F<n> [M]	FOMA端末のATコマンド設定値をお買い上げ時の状態にリセットします。通信中に本コマンドを入力した場合は、回線を切断してからリセットします。※2	n=0のみ指定可能（省略可）	AT&F⏎ OK
AT&S<n> [M]	DTEへ出力するデータセットレディ（DR）信号の制御のしかたを設定します。※1	n=0 ：常時ON（お買い上げ時） n=1 ：回線接続時にDR信号ON	AT&S0⏎ OK
AT&W<n> [M]	現在の設定値をFOMA端末に記憶します。※2、※5	n=0のみ指定可能（省略可）	AT&W⏎ OK
AT*DANTE [M]	アンテナ本数をTEに表示します。※2	本コマンドにより応答されるリザルトは以下の書式とします。 *DANTE:<m> <m> 0 ：FOMA端末にて圏外と表示される状態 1 ：FOMA端末にてアンテナ本数0本もしくは1本の状態 2 ：FOMA端末にてアンテナ本数2本の状態 3 ：FOMA端末にてアンテナ本数3本の状態	AT*DANTE⏎ *DANTE:3 OK
AT*DGANSM=<n> [M]	パケット着信呼に対する着信拒否／許可設定のモードを設定します。本コマンドの設定は、設定コマンド入力後のパケット通信着信呼のみ有効です。※2	n=0 ：着信拒否設定および着信許可設定を[OFF]に設定（お買い上げ時） n=1 ：着信拒否設定を[ON]に設定 n=2 ：着信許可設定を[ON]に設定	AT*DGANSM=0⏎ OK AT*DGANSM?⏎ *DGANSM:0 OK
AT*DGAPL=<n>[,<cid>] [M]	パケット着信呼に対して着信を許可する接続先（APN）を設定します。APN設定は「+CGDCONT」で定義された<cid>パラメータを使用します。※2	<n>パラメータによって着信許可リストへの追加および削除を指定し、<cid>パラメータを省略した場合は、<cid>のすべてをリストに追加（<n>=0）あるいは削除（<n>=1）します。本コマンドで追加（削除）しようとする<cid>が「+CGDCONT」コマンドで定義されていない場合でも、リストへ追加（削除）できます。 n=0 ：リストへ追加（<cid>で定義されたAPNを着信許可リストに追加します。） n=1 ：リストから削除（<cid>で定義されたAPNを着信許可リストから削除します。）	AT*DGAPL=0,1⏎ OK AT*DGAPL?⏎ *DGAPL:1 OK

次ページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT*DGARL=<n>[,<cid>] [M]	パケット着信呼に対して着信を拒否する接続先（APN）を設定します。APN設定は「+CGDCONT」で定義された<cid>パラメータを使用します。※2	<n>パラメータによって着信拒否リストへの追加および削除を指定し、<cid>パラメータを省略した場合は、<cid>のすべてをリストに追加（<n>=0）あるいは削除（<n>=1）します。本コマンドで追加（削除）しようとする<cid>が「+CGDCONT」コマンドで定義されていない場合でも、リストへ追加（削除）できます。 n=0 ：リストへ追加（<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストに追加します。） n=1 ：リストから削除（<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストより削除します。）	AT*DGARL=0,1↵ OK AT*DGARL?↵ *DGARL:1 OK
AT*DRPW [M]	MTFから通知される受信電力値を表示します。※2	本コマンドにより応答されるリザルトは以下の書式とします。 *DRPW:<m> m：0～75（受信電力の値）	AT*DRPW↵ *DRPW:0 OK
AT*DGPIR=<n> [M]	本コマンドの設定は、発信時に有効です。ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けることができます。※2	n=0 ：パケット通信確立時、接続先（APN）にそのまま接続（お買い上げ時） n=1 ：パケット通信確立時、接続先（APN）に184を付けて接続 n=2 ：パケット通信確立時、接続先（APN）に186を付けて接続 本コマンドとダイヤルアップネットワークの両方で186（通知）／184（非通知）を設定した場合については、P.19の表を参照してください。	AT*DGPIR=0↵ OK AT*DGPIR?↵ *DGPIR:0 OK
+++ [M]	FOMA端末のモードをオンラインデータモードからオンラインコマンドモードへ移行します。 エスケープガード区間は、1秒の固定値です。※2	―	（通信中） +++（表示は見えない） OK
AT+CACM=[<passwd>] [M]	UIMに記録される累積課金値をリセットします。※2	本コマンドで、パスワードが一致した場合は、UIMに記録される累積課金値をリセットします。 <passwd> : SIM PIN2 ※ ストリングパラメータであり、入力時は "で囲みます。	AT+CACM="0123"↵ OK
AT+CAOC=[<mode>] [M]	現在の課金値の問い合わせを行います。※2	<mode> 0：現在の呼の課金を問い合わせる 本コマンドにより応答されるリザルトは以下の書式とします。 +CAOC:"<ccm>"	AT+CAOC↵ +CAOC:"00001E" OK
AT+CBC [M]	バッテリー状態の問い合わせを行います。※2	本コマンドにより応答されるリザルトは以下の書式とします。 +CBC:<bcs>,<bcl> <bcs> 0：バッテリーによりFOMA端末が動作している状態 1：充電中 2：バッテリー未接続状態 3：減電中 <bcl> 0～100(バッテリー残量)	AT+CBC↵ +CBC:0,80 OK
AT+CBST=[<speed>[,<name>[,<ce>]]] [M]	発信時のベアラサービスの設定を行います。AT+FCLASS=<n>コマンド(☞P.33)が0の時のみ有効です。※1	<speed> 116：64Kデータ通信（お買い上げ時） <name> 1：固定値 <ce> 0：固定値	AT+CBST=116,1,0↵ OK
AT+CEER [M]	直前の通信の切断理由を表示します。※2	「切断理由一覧」を参照。（☞P.36）	AT+CEER↵ +CEER:36 OK

次ページへ続く ▶▶

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CGDCONT [M]	パケット発信時の接続先（APN）を設定します。※2	「ATコマンドの補足説明」を参照。 （☞P.36）	「ATコマンドの補足説明」を参照。 （☞P.36）
AT+CGEQMIN [M]	パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。※2	「ATコマンドの補足説明」を参照。 （☞P.36）	「ATコマンドの補足説明」を参照。 （☞P.36）
AT+CGEQREQ [M]	パケット通信時の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。※2	「ATコマンドの補足説明」を参照。 （☞P.37）	「ATコマンドの補足説明」を参照。 （☞P.37）
AT+CGMR [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。※2	—	AT+CGMR↵ 1234567890123456 OK
AT+CGREG=<n> [M]	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。通知されている内容は圏内／圏外です。※1	<n> 0：設定しない（お買い上げ時） 1：設定する AT+CGREG=1に設定すると、"+CGREG:<stat>"の形式で通知されます。<stat>パラメータは、0,1,4,5をサポートします。 <stat> 0：圏外 1：圏内（home） 4：不明 5：圏内（visitor）	AT+CGREG=1↵ OK （通知ありに設定） AT+CGREG?↵ +CGREG:1,0 OK （圏外を意味している） +CGREG:1 （圏外から圏内に移動した場合）
AT+CGSN [M]	FOMA端末の製造番号を表示します。※2	—	AT+CGSN↵ 123456789012345 OK
AT+CLIP=<n> [M]	64Kデータ通信の着信時に、相手の発信番号をパソコンに表示できます。※1	<n> 0：リザルトを出さない（お買い上げ時） 1：リザルトを出す 「AT+CLIP?」のとき、+CLIP:<n>,<m>を表示します。 <m> 0：発信時に相手に番号を通知しないNW設定 1：発信時に相手に番号を通知するNW設定 2：不明	AT+CLIP=0↵ OK AT+CLIP?↵ +CLIP:0,1 OK
AT+CLIR=<n> [M]	64Kデータ通信の発信時に、電話番号を相手側に通知するかどうかを設定します。※2	<n> 0：サービスご契約の設定どおり 1：通知しない 2：通知する（お買い上げ時） AT+CLIR?のとき、 +CLIR：<n>,<m>を表示します。 <m> 0：CLIRは起動していない（常時通知） 1：CLIRは常時起動している（常時非通知） 2：不明 3：CLIRテンポラリ・モード（非通知デフォルト） 4：CLIRテンポラリ・モード（通知デフォルト）	AT+CLIR=0↵ OK AT+CLIR?↵ +CLIR:2,3 OK
AT+CMEE=<n> [M]	FOMA端末のエラーレポートの有無を設定します。※1	エラーを"ERROR"のみで表示するか、理由を文字あるいは数値でレポートするかを設定します。 <n> 0：リザルトコードを使用せずに"ERROR"を表示（お買い上げ時） 1：リザルトコードを使用し、数字で理由を表示 2：リザルトコードを使用し、文字で理由を表示 「n=1」または「n=2」でエラーレポート表示に設定した場合、エラーレポートは以下のように表示されます。 +CME ERROR:xxxx（xxxxには数字または文字が表示されます。「エラーレポート一覧」☞P.36）	AT+CMEE=0↵ OK AT+CNUM↵ ERROR AT+CMEE=1↵ OK AT+CNUM↵ +CME ERROR:10

次ページへ続く ▶▶

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CNUM [M]	FOMA端末の自局番号を表示します。※2	number：電話番号 type　：129もしくは145 129 ：国際アクセスコード+を含まない 145 ：国際アクセスコード+を含む	AT+CNUM⏎ +CNUM:,"+819012345678",145 OK
AT+CPAS [M]	FOMA端末のアクティビティー状態問い合わせを行います。※2	本コマンドにより応答されるリザルトは以下の書式とします。 +CPAS:<pas> <pas> 0:ATコマンド送受信可能 1:ATコマンド送受信不可能(+CPAS:1のリザルトを送出しない) 2:不明 3:ATコマンド送受信可能かつ着信中 4:ATコマンド送受信可能かつ通信中	AT+CPAS⏎ +CPAS:0 OK
AT+CPIN=<pin>[,<newpin>] [M]	UIMに関するパスワード(PIN1,PIN2)の入力を行います。※2	<pin> PIN1入力待ち状態ではPIN1を入力(<pin>パラメータのみ入力) PIN2入力待ち状態ではPIN2を入力(<pin>パラメータのみ入力) PUK1入力待ち状態ではPUK1を入力 PUK2入力待ち状態ではPUK2を入力 ※ストリングパラメータであり、入力時は" "で囲みます <newpin> PUK1入力待ち状態では新しいPIN1を入力 PUK2入力待ち状態では新しいPIN2を入力 ※ストリングパラメータであり、入力時は" "で囲みます	AT+CPIN?⏎ +CPIN:SIM PIN1 OK (PIN1入力待ち状態を表している) AT+CPIN="1234"⏎ OK AT+CPIN?⏎ +CPIN:SIM PUK1 OK (PUK1入力待ち状態を表している) AT+CPIN="12345678","1234"⏎ OK
AT+CR=<mode> [M]	回線接続時に"CONNECT"のリザルトコードが表示される前に、パケット通信／64Kデータ通信を表示するかどうかを設定します。※1 パケット通信のときは、"GPRS"と表示され64Kデータ通信のときは"SYNC"と表示されます。	<mode> 0：回線接続時に表示しない 　(お買い上げ時) 1：回線接続時に表示する	AT+CR=1⏎ OK ATD*99***1# +CR:GPRS CONNECT
AT+CRC=<n> [M]	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。※1	n=0：拡張リザルトコードを使用しない(お買い上げ時) n=1：拡張リザルトコードを使用する	AT+CRC=0⏎ OK
AT+CREG=<n> [M]	ネットワークの圏内／圏外情報を表示するかどうかを設定します。※1	AT+CREG=1に設定すると、"+CREG:<stat>"の形式で通知されます。<stat>パラメータは0,1,4,5をサポートします。 <n> 0：通知なし(お買い上げ時) 1：通知あり <stat> 0：圏外 1：圏内(home) 4：不明 5：圏内(visitor)	AT+CREG=1⏎ OK (通知ありに設定) AT+CREG?⏎ +CREG:1,0 OK (圏外を意味している) +CREG:1 (圏外から圏内に移動した場合)
AT+CUSD=[<n>[,<str>[,<dcs>]]] [M]	付加サービスなどに関し、網側の設定を変更します。※1	<n> 0：中間リザルトを応答せず、OKを応答する 　(お買い上げ時) 1：中間リザルトを応答する <str> サービスコード ※ 詳しくは『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。 <dcs> 0：固定値	AT+CUSD=0,"xxxxxx"⏎ OK

次ページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+FCLASS=<n> [M]	モード設定を行います。※1	<n> 0：データ（固定値）	AT+FCLASS=0↵ OK
AT+GCAP [M]	FOMA端末の能力リストを表示します。※2	—	AT+GCAP↵ +GCAP:+CGSM,+FCLASS,+W OK
AT+GMI [M]	FOMA端末のメーカの名前が半角英数字で表示されます。※2	—	AT+GMI↵ SHARP OK
AT+GMM [M]	FOMA端末の製品名の略称（FOMA SH902iSL）がアルファベットおよび数字で表示されます。※2	—	AT+GMM↵ FOMA SH902iSL OK
AT+GMR [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。※2	—	AT+GMR↵ Ver1.00 OK
AT+IFC=<n,m> [M]	パソコンとFOMA端末間のローカルフロー制御方式を設定します。※1	DCE by DTE（<n>） 0：フロー制御を行わない 1：XON/XOFFフロー制御を行う 2：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行う（お買い上げ時） DTE by DCE（<m>） 0：フロー制御を行わない 1：XON/XOFFフロー制御を行う 2：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行う（お買い上げ時）	AT+IFC=2,2↵ OK
AT+WS46=<n> [M]	発信時に使用する無線ネットワークを設定します。着信に影響を与えるものではありません。※1	n=22：FOMAネットワーク（固定値）	AT+WS46=22↵ OK
A/ [M]	直前に実行したコマンドを再実行するときに使用します。※2	—	A/ OK
ATA [M]	パケット着信および64Kデータ通信の着信時に入力すると、着信処理を行います。※2	パケット着信中には、「ATA184↵」（発信者番号通知なし着信動作）および「ATA186↵」（発信者番号通知あり着信動作）を入力できます。	RING ATA↵ CONNECT
ATD [M]	発信処理を行います。※2、※3	● パケット通信ATD*99***<cid>#↵ ATD*99#を入力した場合： <cid>=1（お買い上げ時）を用います。（<cid>の入力を省略した場合は、<cid>=1になります。） ATD184*99***<cid>#で始まる書式を入力した場合： 指定した<cid>に規定した接続先（APN）に対して“184”が付加されます。（発信者番号通知ありの“186”でも同様の操作ができます。） ● 64K データ通信 ATD[パラメータ]、[電話番号]↵ 相手側の電話番号に、0～9、*、#、+、A、a、B、b、C、c、D、d、-（ハイフン）、スペース、T、t、P、p、!、W、w、@、,（カンマ）以外を設定した場合は、発信できません。　の文字は入力可能ですが、ダイヤル時には認識されません。	ATD*99***1#↵ CONNECT
ATE<n> [M]	パソコンから送信された本コマンドに対して、FOMA端末がエコーを返すかどうかを設定します。※1	n=0：エコーバックなし n=1：エコーバックあり（お買い上げ時） 通常はn=1で使用します。パソコンにエコー機能がある場合、n=0に設定してください。	ATE1↵ OK
ATH [M]	パケット通信および64Kデータ通信時に入力すると、回線を切断します。※2	—	（通信中） +++（表示は見えない） OK ATH↵ NO CARRIER

次ページへ続く ▶▶

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATI<n> [M]	確認コードを表示します。※2	n=0 ：NTT DoCoMo n=1 ：製品名の略称を表示（FOMA SH902iSL） n=2 ：製品のバージョンを"VerX.XX"などの形式で表示 n=3 ：ACMP信号の各要素を表示 n=4 ：FOMA端末の有する通信機能の詳細を表示	ATI0↵ NTT DoCoMo OK
ATO [M]	通信中にオンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻ります。※2	―	ATO↵ CONNECT
ATQ<n> [M]	リザルトコードを表示するかどうかを設定します。※1	n=0 ：リザルトコードを表示する（お買い上げ時） n=1 ：リザルトコードを表示しない	ATQ0↵ OK
ATV<n> [M]	リザルトコードの表示方法を設定します。※1	すべてのリザルトコードを数字表記あるいは英文字表記で表示します。 n=0 ：リザルトコードを数字表記で表示 n=1 ：リザルトコードを英文字表記で表示（お買い上げ時）	ATV1↵ OK
ATX<n> [M]	接続のCONNECT表示に速度表示の有無を設定します。また、ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行います。※1	ビジートーン検出： 接続先が通話中のとき、BUSY応答を送出します。 ダイヤルトーン検出： FOMA端末に接続されているかどうかを判定します。 速度表示： 接続時のCONNECT表示に速度を表示するかどうかを設定します。 n=0 ：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示なし n=1 ：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=2 ：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり n=3 ：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=4 ：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり（お買い上げ時）	ATX1↵ OK
ATZ<n> [M]	FOMA端末のATコマンド設定値をリセットします。※2、※4	FOMA端末のATコマンド設定値を不揮発メモリの内容にリセットします。通信中に本コマンドを入力した場合は、回線を切断してからリセットします。 n=0のみ指定可能（省略可）	（オンライン時） ATZ↵ NO CARRIER （オフライン時） ATZ↵ OK
ATS0=<n> [M]	FOMA端末が自動着信するまでの呼び出し回数を設定します。※1	n=0 ：自動着信しない（お買い上げ時） n=1～255　：指定したリング数で自動着信する	ATS0=0↵ OK
ATS2=<n> [M]	エスケープキャラクタの設定を行います。	n=0～127（お買い上げ時n=43） n=127に設定するとエスケープは無効になります。	ATS2=43↵ OK ATS2?↵ 043 OK
ATS3=<n> [M]	復帰（CR）キャラクタの設定を行います。	ATコマンド文字列の最後を認識するキャラクタを定義します。エコーバックされたコマンド文字列とリザルトコードの最後に付きます。設定値は変更できません。（お買い上げ時n=13）	ATS3=13↵ OK ATS3?↵ 013 OK
ATS4=<n> [M]	改行（LF）キャラクタの設定を行います。	英文でリザルトコードを表示する場合、CRキャラクタの後ろに付きます。設定値は変更できません。（お買い上げ時n=10）	ATS4=10↵ OK ATS4?↵ 010 OK
ATS5=<n> [M]	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。	ATコマンド入力中にこのキャラクタを検出すると、入力バッファの最後のキャラクタを削除します。設定値は変更できません。（お買い上げ時n=8）	ATS5=8↵ OK ATS5?↵ 008 OK

次ページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATS6=<n> [M]	ダイヤルするまでのポーズ時間(秒)を設定します。	本コマンドによりレジスタは設定されますが、動作しません。 n:2～10(お買い上げ時n=５)	ATS6=10↵ OK
ATS8=<n> [M]	カンマダイヤルするまでのポーズ時間(秒)を設定します。	本コマンドによりレジスタは設定されますが、ポーズ時間(３秒)に影響しません。 n=0 ：ポーズしない n:1～255(お買い上げ時n=3)	ATS8=3↵ OK
ATS10=<n> [M]	自動切断の遅延時間(秒)を設定します。(１/10秒) ※１	本コマンドによりレジスタは設定されますが、動作しません。 n:1～255(お買い上げ時n=1)	ATS10=1↵ OK
ATS30=<n> [M]	データの送受信をこの時間以上行わないと切断します。	本コマンドの設定は、64Kデータ通信時のみ有効です。<n>は分単位で設定します。 n:0～255(お買い上げ時n=0) n=0は不活動タイマオフ	ATS30=3↵ OK
ATS103=<n> [M]	着サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。	本コマンドの設定は、64Kデータ通信時のみ有効です。 n=0 ：*アスタリスク n=1 ：/スラッシュ (お買い上げ時) n=2 ：\マーク あるいはバックスラッシュ	ATS103=0↵ OK
ATS104=<n> [M]	発サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。	本コマンドの設定は、64Kデータ通信時のみ有効です。 n=0 ：#シャープ n=1 ：%パーセント(お買い上げ時) n=2 ：&アンド	ATS104=0↵ OK
AT\S [M]	現在の設定されている各コマンドとSレジスタの内容を表示します。※２	—	AT\S↵ E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 &E1 \V0 S000=000 S002=043 S003=013 S004=010 S005=008 S006=005 S007=060 S008=003 S010=001 S030=000 S103=001 S104=001 OK
AT\V<n> [M]	接続時の応答コード仕様を選択します。※１	本コマンドは、ATX<n>コマンド(☞P.34)がn=0以外のときのみ有効です。 n=0 ：拡張リザルトコードを使用しない (お買い上げ時) n=1 ：拡張リザルトコードを使用する	AT\V1↵ OK

※１　AT&WコマンドでFOMA端末に記憶されます。
※２　AT&WコマンドでFOMA端末に記憶されません。
AT&F、ATZコマンドによるリセットも行われません。
※３　ATDN↵やATDL↵でリダイヤル発信ができます。
※４　AT&Wコマンドを使用する前にATZコマンドを実行すると、最後に記憶した状態に戻り、それまでの変更内容は消去されます。
※５　AT&WコマンドでFOMA端末に記憶された設定値は、電源を切ると不揮発データとしてFOMA端末に格納されます。

切断理由一覧

パケット通信

値	理　由
27	接続先(APN)が存在しないか、もしくは正しくありません。
30	ネットワークによって切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

64Kデータ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手側が呼び出し中のため通信ができません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない伝達能力を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、もしくは着信を受けました。

エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
10	SIM not inserted	FOMAカードがセットされていません。
15	SIM wrong	ドコモ以外のSIM(FOMAカードに相当するＩＣカード)が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが間違っています。
100	unknown	不明なエラーです。

ATコマンドの補足説明

コマンド名:+CGDCONT=[パラメータ]

概要

パケット発信時の接続先(APN)の設定を行います。
AT&WコマンドでFOMA端末に記憶されません。
AT&F、ATZコマンドによるリセットも行われません。

書式

+CGDCONT=[<cid>[,"PPP"[,"<APN>"]]]↵

パラメータ説明

<cid>*　：1～10
<APN>*　：任意
<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先(APN)を管理する番号です。FOMA端末では1～10を登録できます。お買い上げ時、<cid>=1には「mopera.ne.jp」が、<cid>=3には「mopera.net」が初期値として登録されていますので、cidは2もしくは4～10に設定します。<APN>は接続先を示す接続ごとの任意の文字列です。

実行例

「abc」という接続先(APN)名を登録する場合のコマンド(<cid>=2の場合)
AT+CGDCONT=2,"PPP","abc"↵
OK

パラメータを省略した場合の動作

AT+CGDCONT=
すべての<cid>の設定をクリアします。ただし、<cid>=1および3の設定はお買い上げ時の状態に再設定されます。
AT+CGDCONT=<cid>
指定された<cid>の設定をクリアします。ただし、<cid>=1および3の設定はお買い上げ時の状態に再設定されます。
AT+CGDCONT=?
設定可能な値のリスト値を表示します。
AT+CGDCONT?
現在の設定値を表示します。

コマンド名:+CGEQMIN=[パラメータ]

概要

PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS(サービス品質)を許容するかどうかの判定基準値を登録します。
設定パターンは、以下のコマンド実行例に記載されている４パターンが設定できます。
AT&WコマンドでFOMA端末に記憶されません。
AT&F、ATZコマンドによるリセットも行われません。

書式

AT+CGEQMIN=[<cid> [,, <Maximum bitrate UL> [, <Maximum bitrate DL>]]]↵

パラメータ説明

<cid>*　　　　　　　　：１～10
<Maximum bitrate UL>*：なし(初期値)または64
<Maximum bitrate DL>*：なし(初期値)または384
<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先(APN)を管理する番号です。FOMA端末では１～10を登録できます。お買い上げ時、<cid>=１には「mopera.ne.jp」が、<cid>=3には「mopera.net」が初期値として登録されていますので、cidは2もしくは4～10に設定します。[Maximum bitrate UL]および[Maximum bitrate DL]では、FOMA端末と基地局間の上りおよび下りの最低通信速度(kbps)を設定します。[なし(お買い上げ時)]に設定した場合は、すべての速度を許容しますが、「64」および「384」を設定した場合、これらの速度以下の接続は許容されないため、パケット通信が接続されない場合がありますので、ご注意ください。

実行例

以下の４パターンのみ設定できます。(１)の設定が各cidに初期値として設定されています。
(１)　上り／下りすべての速度を許容する場合のコマンド(<cid>=2の場合)
AT+CGEQMIN=2↵
OK

次ページへ続く ▶▶

（2） 上り64kbps／下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（<cid>=3の場合）
AT+CGEQMIN=3,,64,384↵
OK

（3） 上り64kbps／下りすべての速度を許容する場合のコマンド（<cid>=4の場合）
AT+CGEQMIN=4,,64↵
OK

（4） 上りすべての速度／下り384kbps速度のみ許容する場合のコマンド（<cid>=5の場合）
AT+CGEQMIN=5,,,384↵
OK

パラメータを省略した場合の動作

AT+CGEQMIN=
すべての<cid>の設定をクリアします。
AT+CGEQMIN=<cid>
指定された<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGEQMIN=?
設定可能な値のリストを表示します。
AT+CGEQMIN?
現在の設定を表示します。

コマンド名：+CGEQREQ=［パラメータ］

概要

PPPパケット通信時の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
設定は以下のコマンド実行例に記載されている１パターンのみで初期値としても設定されています。
AT&WコマンドでFOMA端末に記憶されません。
AT&F、ATZコマンドによるリセットも行われません。

書式

AT+CGEQREQ=[<cid>]↵

パラメータ説明

各cidにはその内容がお買い上げ時に設定されています。
<cid>*：１～10
<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では１～10を登録できます。お買い上げ時、<cid>=1には「mopera.ne.jp」が、<cid>=3には「mopera.net」が初期値として登録されていますので、cidは2もしくは4～10に設定します。
上り64kbps／下り384kbpsの速度で接続を要求する場合のコマンド

実行例

<cid>=3の場合
AT+CGEQREQ=3↵
OK

パラメータを省略した場合の動作

AT+CGEQREQ=
すべての<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGEQREQ=<cid>
指定された<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGEQREQ=?
設定可能な値のリスト値を表示します。
AT+CGEQREQ?
現在の設定を表示します。

リザルトコード

リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手側と接続しました。
2	RING	着信を検出しました。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音の検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウトしました。
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

拡張リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
5	CONNECT 1200	FOMA端末－PC間速度1200bpsで接続しました。
10	CONNECT 2400	FOMA端末－PC間速度2400bpsで接続しました。
11	CONNECT 4800	FOMA端末－PC間速度4800bpsで接続しました。
13	CONNECT 7200	FOMA端末－PC間速度7200bpsで接続しました。
12	CONNECT 9600	FOMA端末－PC間速度9600bpsで接続しました。
16	CONNECT 19200	FOMA端末－PC間速度19200bpsで接続しました。
17	CONNECT 38400	FOMA端末－PC間速度38400bpsで接続しました。
18	CONNECT 57600	FOMA端末－PC間速度57600bpsで接続しました。
19	CONNECT 115200	FOMA端末－PC間速度115200bpsで接続しました。
20	CONNECT 230400	FOMA端末－PC間速度230400bpsで接続しました。
21	CONNECT 460800	FOMA端末－PC間速度460800bpsで接続しました。

お知らせ

- リザルトコードは、ATV<n>コマンド（☞P.34）がn=1に設定されている場合は英文字表記（初期値）、n=0に設定されている場合は数字表記で表示されます。

次ページへ続く

お知らせ

- 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため、通信速度は表示します。ただし、FOMA端末ーPC間はFOMA USB接続ケーブルで接続されているため、実際の接続速度と異なります。
- [RESTRICTION](数字:100)が表示された場合は、通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直してください。

通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	64Kデータ通信で接続
5	PACKET	パケット通信で接続

リザルトコード表示例

ATX0が設定されている場合

AT\V<n>コマンド(☞P.35)の設定にかかわらず、接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。

文字表示例:　ATD*99***1#
CONNECT

数字表示例:　ATD*99***1#
1

ATX1が設定されている場合

● ATX1、AT\V0が設定されている場合(初期値)

接続完了のときに、CONNECT<FOMA端末ーPC間の速度>の書式で表示します。

文字表示例:　ATD*99***1#
CONNECT 460800

数字表示例:　ATD*99***1#
1 21

● ATX1、AT\V1が設定されている場合※

接続完了のときに、以下の書式で表示します。

CONNECT<FOMA端末ーPC間の速度>PACKET<接続先(APN)>／<上り方向(FOMA端末→無線基地局間)の最高速度>／<下り方向(FOMA端末←無線基地局間)の最高速度>

文字表示例:　ATD*99***1#
CONNECT 460800 PACKET
mopera.ne.jp/64/384
(mopera.ne.jpに、上り最大64kbps、下り最大384kbpsで接続したことを表します。)

数字表示例:　ATD*99***1#
1 21 5

※ ATX1、AT\V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しく行えない場合があります。AT\V0のみでのご利用をおすすめします。